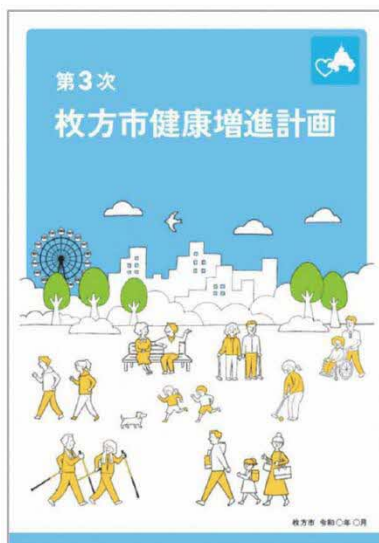


第3次枚方市健康増進計画
第2次枚方市歯科口腔保健計画
第4次枚方市食育推進計画

資料編（案）



目次

1 各アンケートと関連計画	1
2 アンケート結果	2
令和4年度 枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果	2
令和4年度 小学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果	94
令和4年度 中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果	94
令和4年度 高校生の「歯と口の健康」に関するアンケート結果	94
令和4年度 学校歯科保健アンケート結果.....	116
令和4年度 障害者（児）施設における歯と口腔の健康に関するアンケート 結果	125
令和4年度 枚方市内の介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における 歯と口腔の健康に関するアンケート結果	138
枚方市内企業の「従業員の健康づくり」に関するアンケート及び.....	151
「ひらかた健康優良企業」令和4年度報告書 兼 令和5年度計画書.....	151
令和4年度 枚方市内企業（事業所含む）で働く皆さまの「健康づくりに関するアンケート」結果	212
令和4年度 枚方市「食」に関する市民意識調査結果.....	282
令和4年度 枚方市「食」に関するアンケート結果報告書（高校生・大学生・専門学校生）	376
令和4年度 枚方市小中学校での食育の取り組みに関するアンケート結果.....	402
令和4年度 枚方市保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小規模保育施設に おける食育の取り組み状況アンケート結果.....	412
3 主な取組一覧	432
第3次枚方市健康増進計画 主な取組一覧	432
第2次枚方市歯科口腔保健計画 主な事業一覧	438
第4次枚方市食育推進計画 主な事業一覧	440

1 各アンケートと関連計画

アンケート種類	健康 増進 計画	歯科 口腔 保健 計画	食育 推進 計画	該当 ページ
令和4年度 枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート	●	●	●	P 2～P93
令和4年度 小学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート	●	●	●	P94～P115
令和4年度 中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート	●	●	●	P94～P115
令和4年度 高校生の「歯と口の健康」に関するアンケート		●	●	P94～P115
令和4年度 学校歯科保健アンケート（小学校・中学校・高校の養護教諭対象）		●		P116～P124
令和4年度 枚方市内の障害者（児）施設における歯と口腔の健康に関するアンケート		●		P125～P137
令和4年度 枚方市内の介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における歯と口腔の健康に関するアンケート		●		P138～P150
枚方市内企業の「従業員の健康づくり」に関するアンケート及び「ひらかた健康優良企業」令和4年度報告書 兼 令和5年度計画書	●	●	●	P151～P211
令和4年度 枚方市内企業（事業所含む）で働く皆さまの「健康づくりに関するアンケート」	●	●	●	P212～P281
令和4年度 枚方市「食」に関する市民意識調査	●	●	●	P282～P375
令和4年度 枚方市「食」に関するアンケート結果報告書（高校生・大学生・専門学校生）			●	P376～P401
令和4年度 枚方市小中学校での食育の取り組みに関するアンケート			●	P402～P411
令和4年度 保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小規模保育施設における食育の取り組み状況アンケート			●	P412～P430

アンケートの実施時期などは各アンケート結果を参照

2 アンケート結果

令和4年度 枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

次枚方市健康増進計画時期計画及び枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするため、調査を行うことを目的とします。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 枚方市全域
- (2) 調査対象 16歳以上の市民
- (3) 標本数 3,500人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

3. 調査期間

令和4年12月16日（金）から令和5年2月10日（金）

4. 調査方法

郵送による配布・回収
インターネットによるウェブ回答

5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,500通	1,169通	33.4%

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略している場合があります。

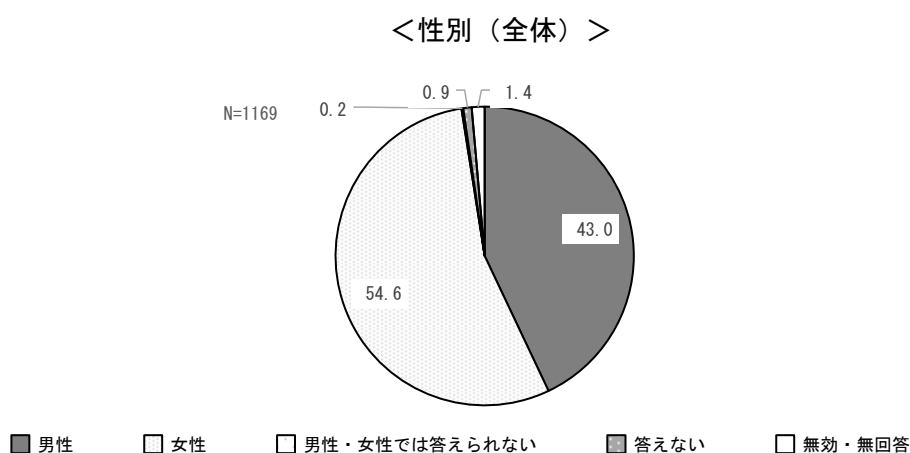
Ⅱ 調査結果の分析

1. 回答者の属性について

あなたの性別、年齢をご記入ください。

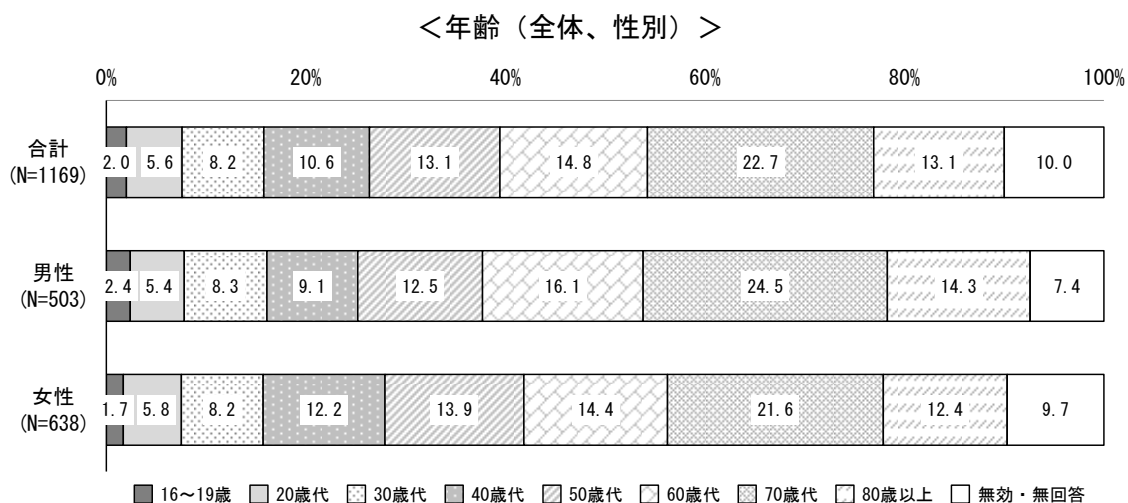
(1) 性別

男性の割合が 43.0%、女性の割合が 54.6%となっており、女性の方が多い構成となっている。



(2) 年齢

「70歳代」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が 14.8%、「50歳代」及び「80歳以上」の割合がそれぞれ 13.1%となっており、回答者の約半数が 60歳以上となっている。性別では、ほとんど差はみられない



あなたの身長と体重をご記入ください。

身長と体重から算出したBMI判定に基づき体格をみていく。

BMI：体重 (kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m) で算出される値で、体格の状況を示す指数のひとつ。
18.5 未満で「やせ」、18.5 以上 25 未満で「標準」、25 以上で「肥満」と判定する。

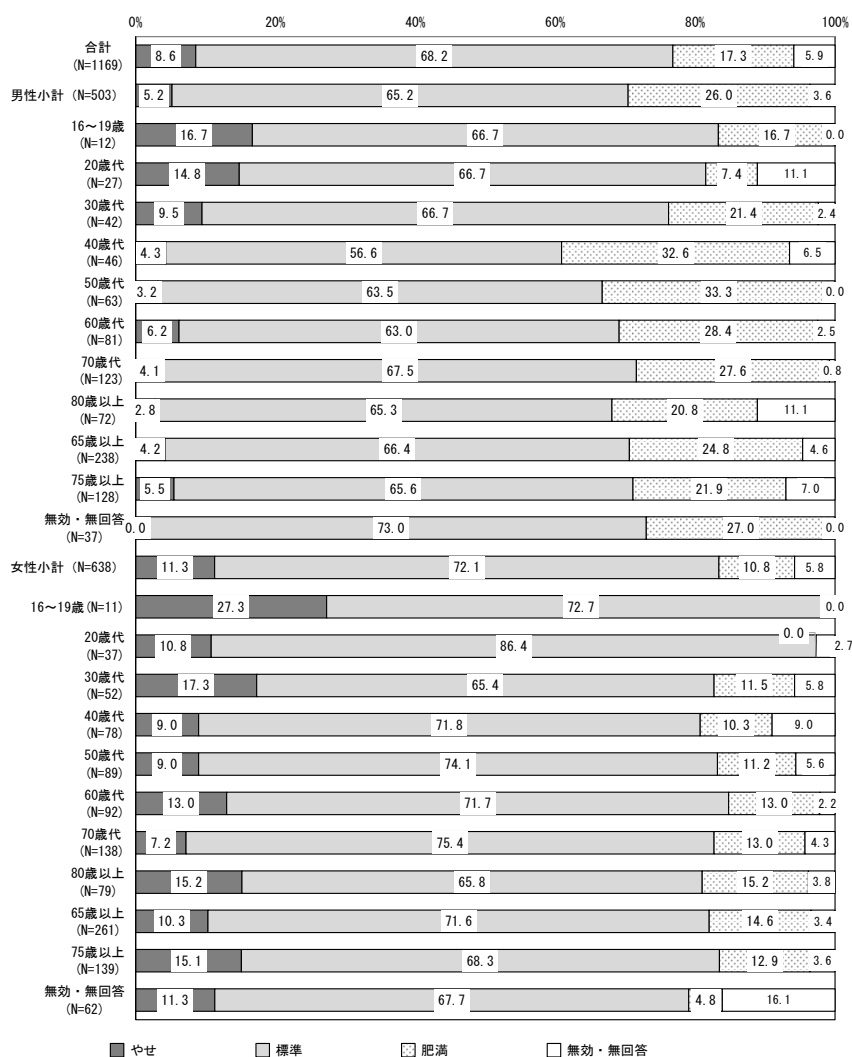
【全体】

「肥満」の割合が17.3%、「やせ」の割合が8.6%となっている。

【性・年齢別】

「肥満」の割合が高いのは、男性の40歳代、50歳代、60歳代で、約3人に1人以上が「肥満」となっている。一方、「やせ」の割合が高いのは男性の16～19歳、女性の16～19歳、30歳代で約5人に1人が「やせ」となっている。男女を比較すると、男性は若い世代から「肥満」がみられ、どの年齢層でも女性よりも「肥満」の割合が高い。

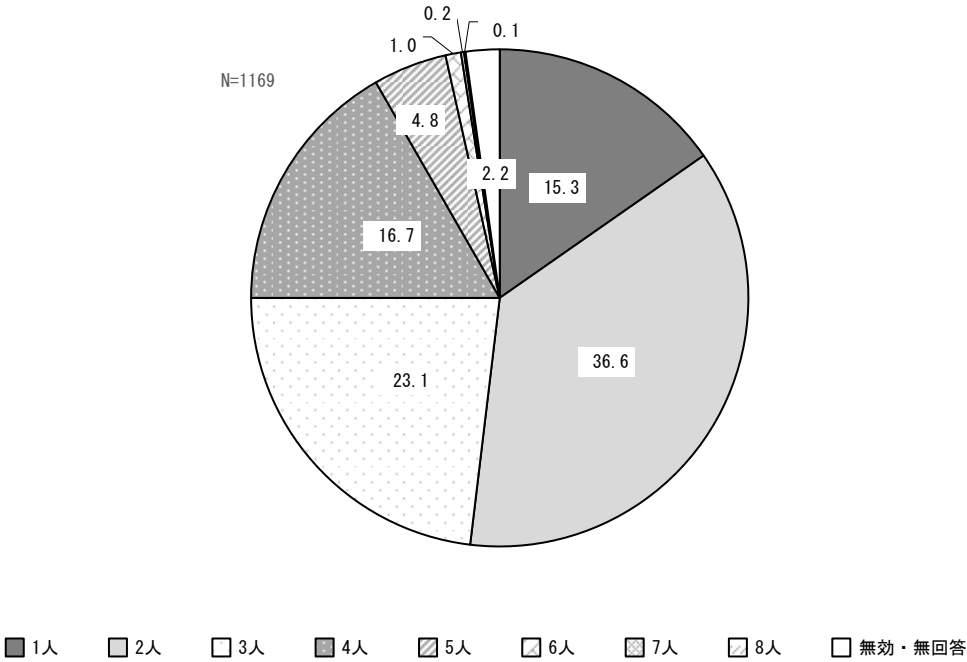
<体格（全体、性・年齢別）>



ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方は、あなたを含めて何人ですか。

同居家族人数（本人を含む）は、「2人」の割合が36.6%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.1%、「4人」の割合が16.7%となっている。

<同居家族（全体）>



あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。

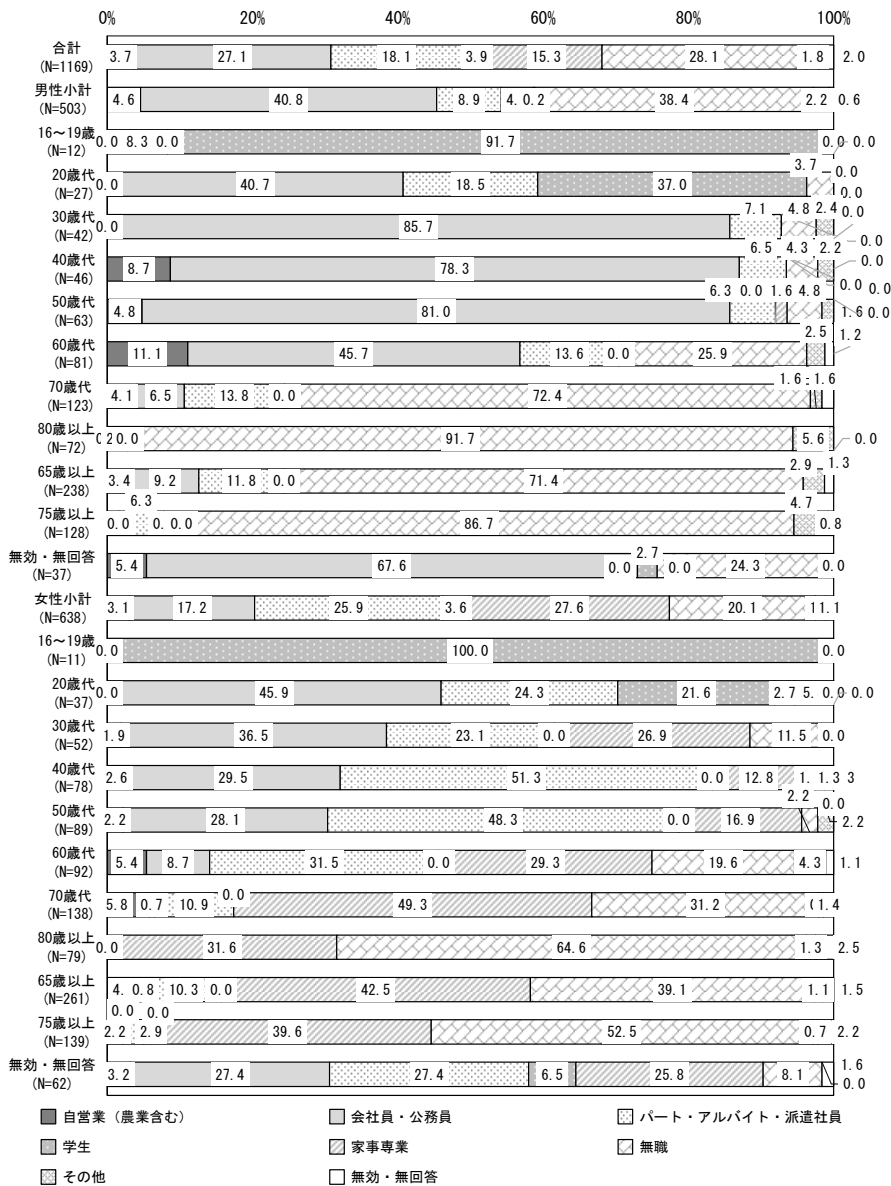
【全体】

職業は、「無職」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「会社員・公務員」の割合が 27.1%、「パート・アルバイト・派遣社員」の割合が 18.1%となっている。

【性・年齢別】

16～19 歳は、男女とも「学生」の割合が最も高く 9 割以上を占めている。男性の 20 歳代～60 歳代、女性の 20 歳代、30 歳代は、「会社員・公務員」の割合が最も高く、女性の 40 歳代～60 歳代は「パート・アルバイト・派遣社員」の割合が最も高い。男性の 70 歳代～80 歳以上、女性の 80 歳以上は「無職」の割合が最も高い。

<職業（全体、性・年齢別）>



問1-1 現在の健康状態はいかがですか。

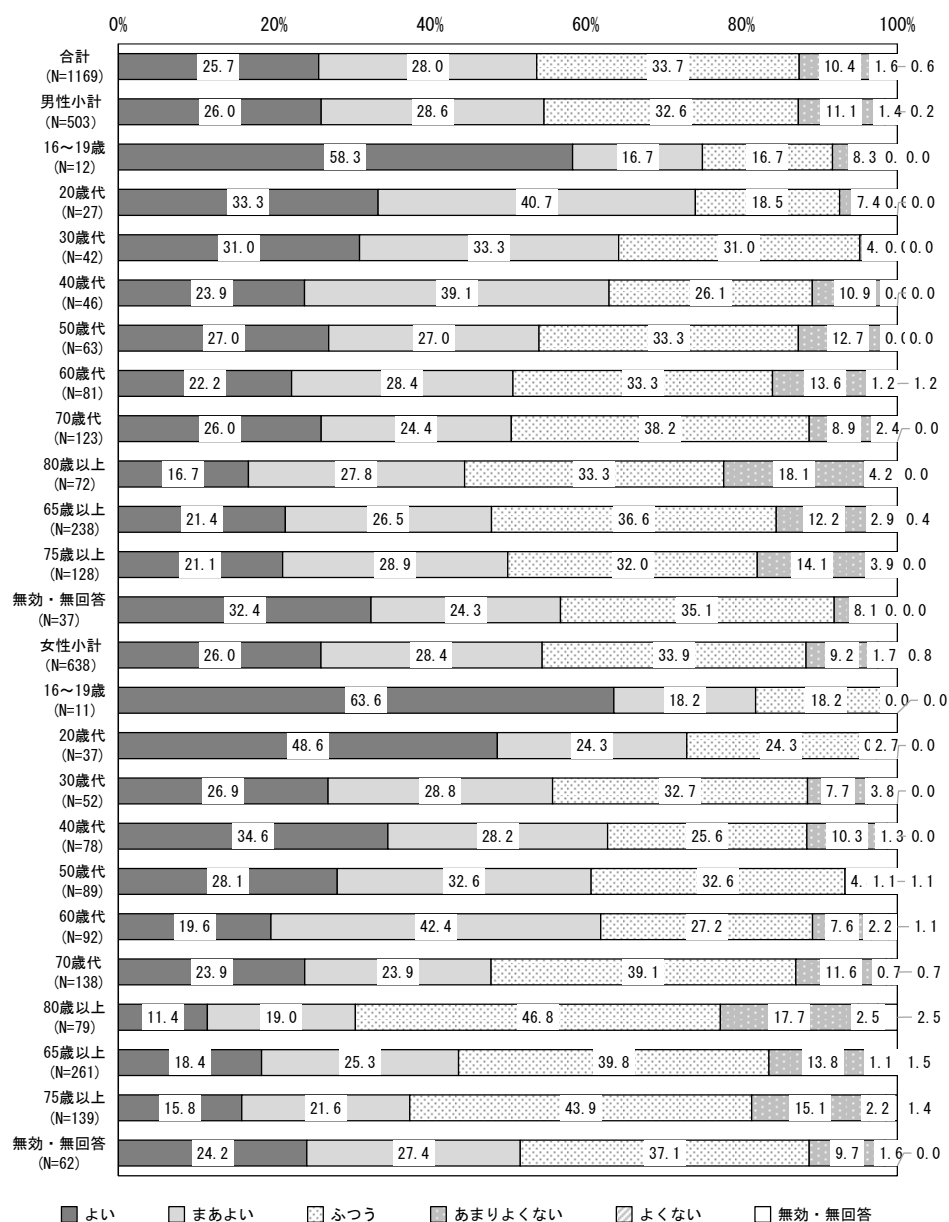
【全体】

「ふつう」の割合が33.7%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が28.0%、「よい」の割合が25.7%となっている。

【性・年齢別】

「よくない」「あまりよくない」の割合が高いのは、男女とも80歳以上で約5人に1人以上が「よくない」「あまりよくない」となっている。男性は、年齢が低いほど「よい」「まあよい」の割合が高いが、女性は30歳代におけるそれらの割合がやや低い。

<健康状態（全体、性・年齢別）>



問1-2 コロナ流行直前（令和2年（2020年）以前）の健康状態はいかがでしたか。

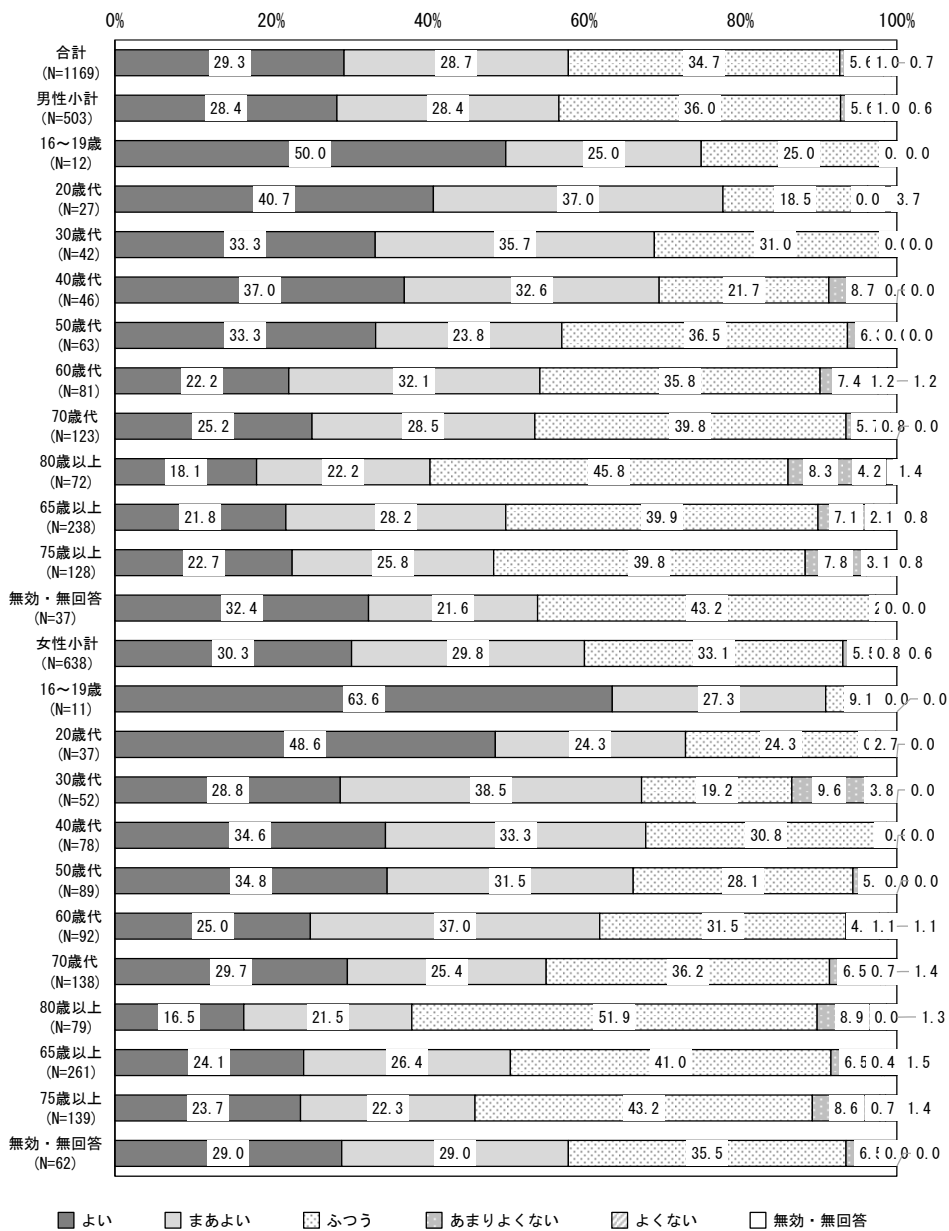
【全体】

「ふつう」の割合が34.7%と最も高く、次いで「よい」の割合が29.3%、「まあよい」の割合が28.7%となっている。

【性・年齢別】

「よくない」「あまりよくない」の割合が高いのは、男女とも80歳以上で約1割が「よくない」「あまりよくない」と回答している。男女とも30歳代の「よい」の割合がやや低い。

<健康状態（全体、性・年齢別）>



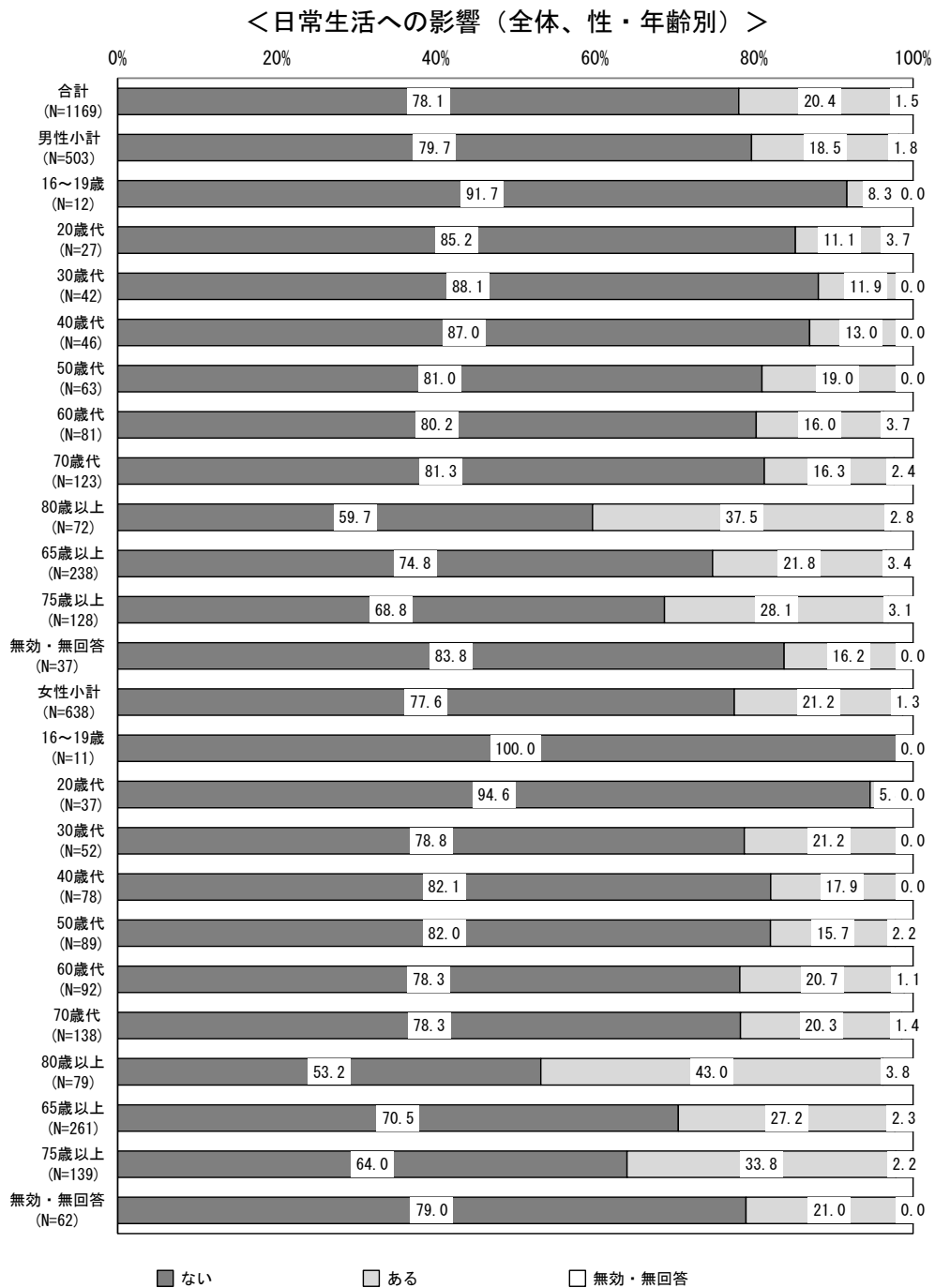
問2 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

【全体】

「ない」の割合が78.1%と最も高く、次いで「ある」の割合が20.4%となっている。

【性・年齢別】

男女とも10歳代から70歳代までは、7割以上が「ない」と回答しているが、80歳以上になると「ない」の割合は約6割になっている。



問3 過去30日間に、身体の病気やけがで、身体の健康がすぐれないことがありましたか。

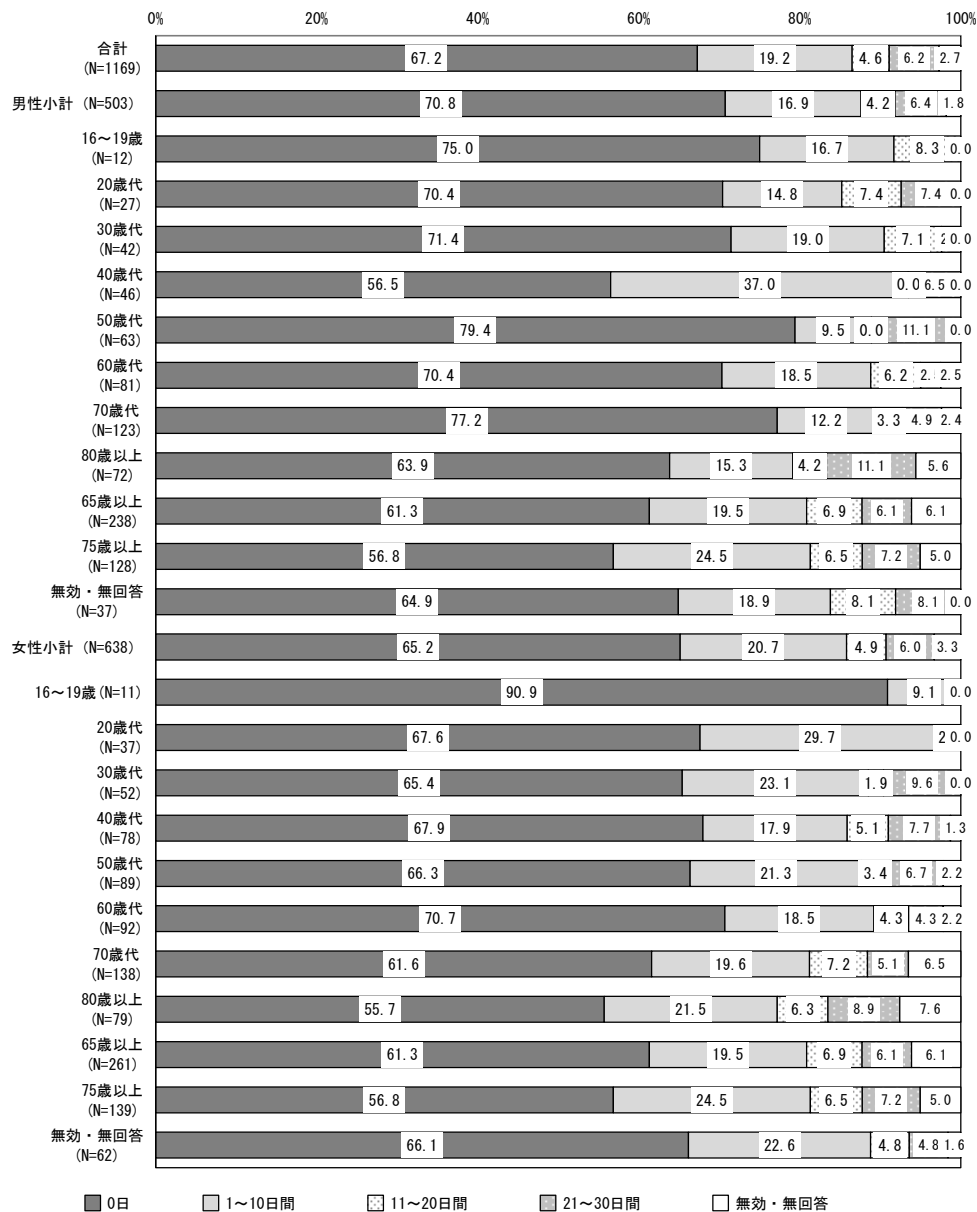
【全体】

「0日」の割合が67.2%と最も高く、ついで「1～10日間」の割合が19.2%、「11～20日間」の割合が4.6%、「21～30日間」の割合が6.2%となっている。

【性・年齢別】

男女ともに概ねどの世代も6割以上が「0日」と回答しているが、男性の40歳代、女性の80歳以上は「0日」と回答した割合が6割を下回っている。

<身体の健康がすぐれない期間（全体、性・年齢別）>



問4 過去30日間に、こころの健康がすぐれないことがありましたか。

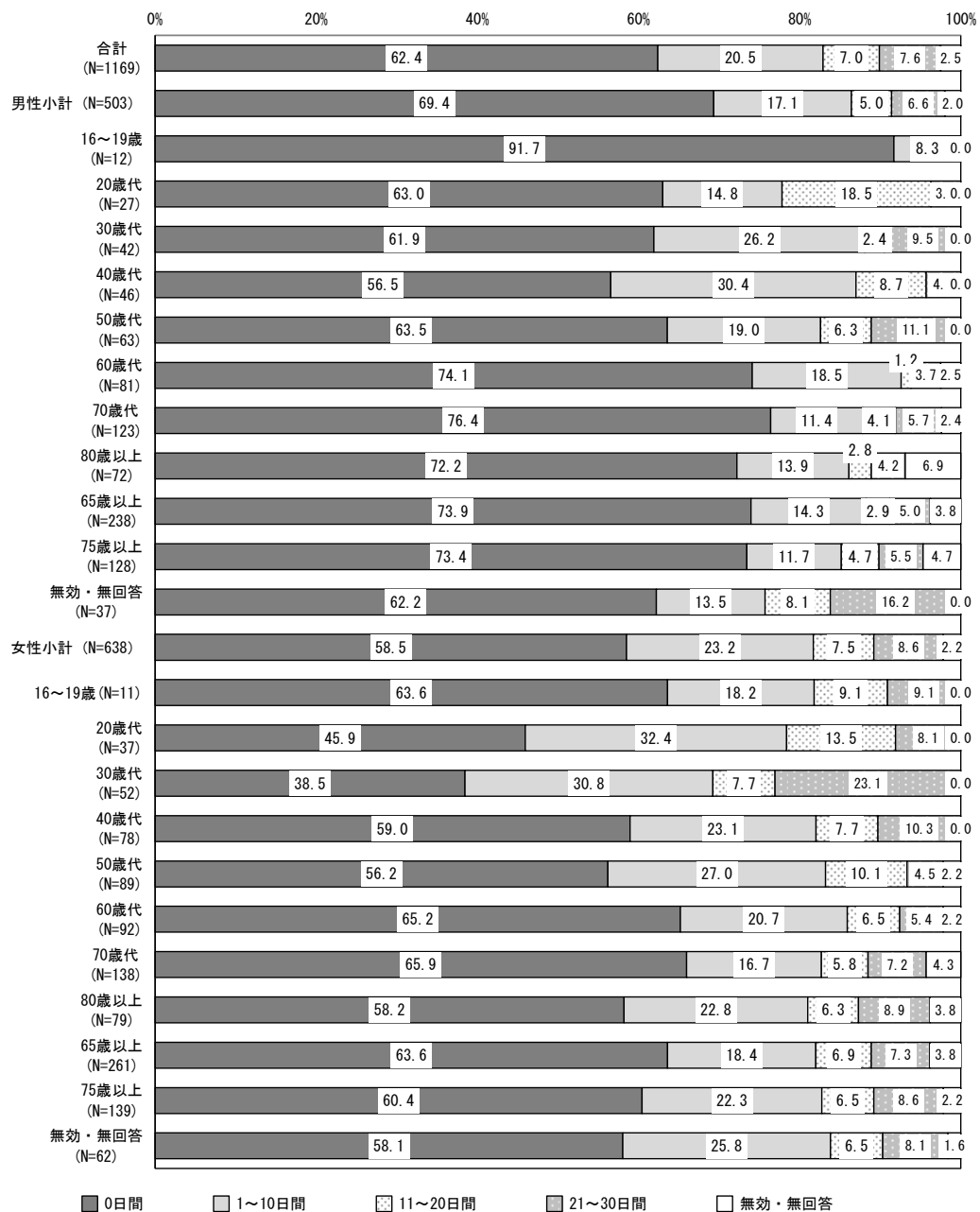
【全体】

「0日」の割合が62.4%と最も高く、「1～10日間」の割合が20.5%、「11～20日間」の割合が7.0%、「21～30日間」の割合が7.6%となっている。

【性・年齢別】

男女ともに概ねどの世代も5割以上が「0日」と回答しているが、女性の20歳代、30歳代は「0日」と回答した割合が5割を下回っている。

<こころの健康がすぐれない期間（全体、性・年齢別）>



問5 過去30日間に、身体やこころの健康がよくないために普段の活動ができなかった日がありましたか。

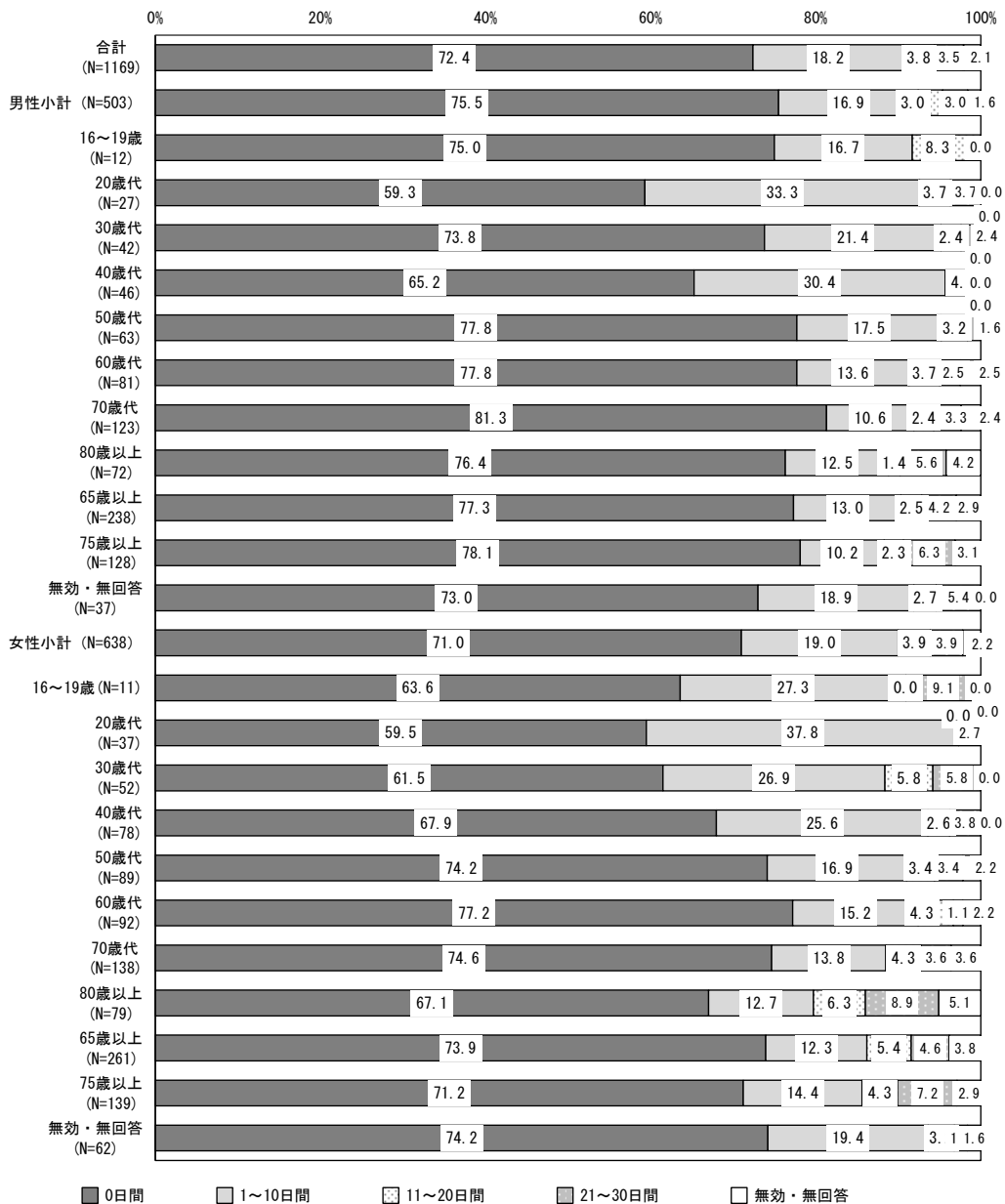
【全体】

「0日」の割合が72.4%と最も高く、次いで「1～10日間」の割合が18.2%、「11～20日間」の割合が3.8%、「21～30日間」の割合が3.5%となっている。

【性・年齢別】

男女ともに概ねどの世代も6割以上が「0日」と回答しているが、男女とも20歳代は「0日」と回答した割合が6割を下回っている。

＜普段の活動ができなかった期間（全体、性・年齢別）＞



2. 生活習慣について

問6 日ごろ、健康のために次のような実践をしていますか。(複数回答可)

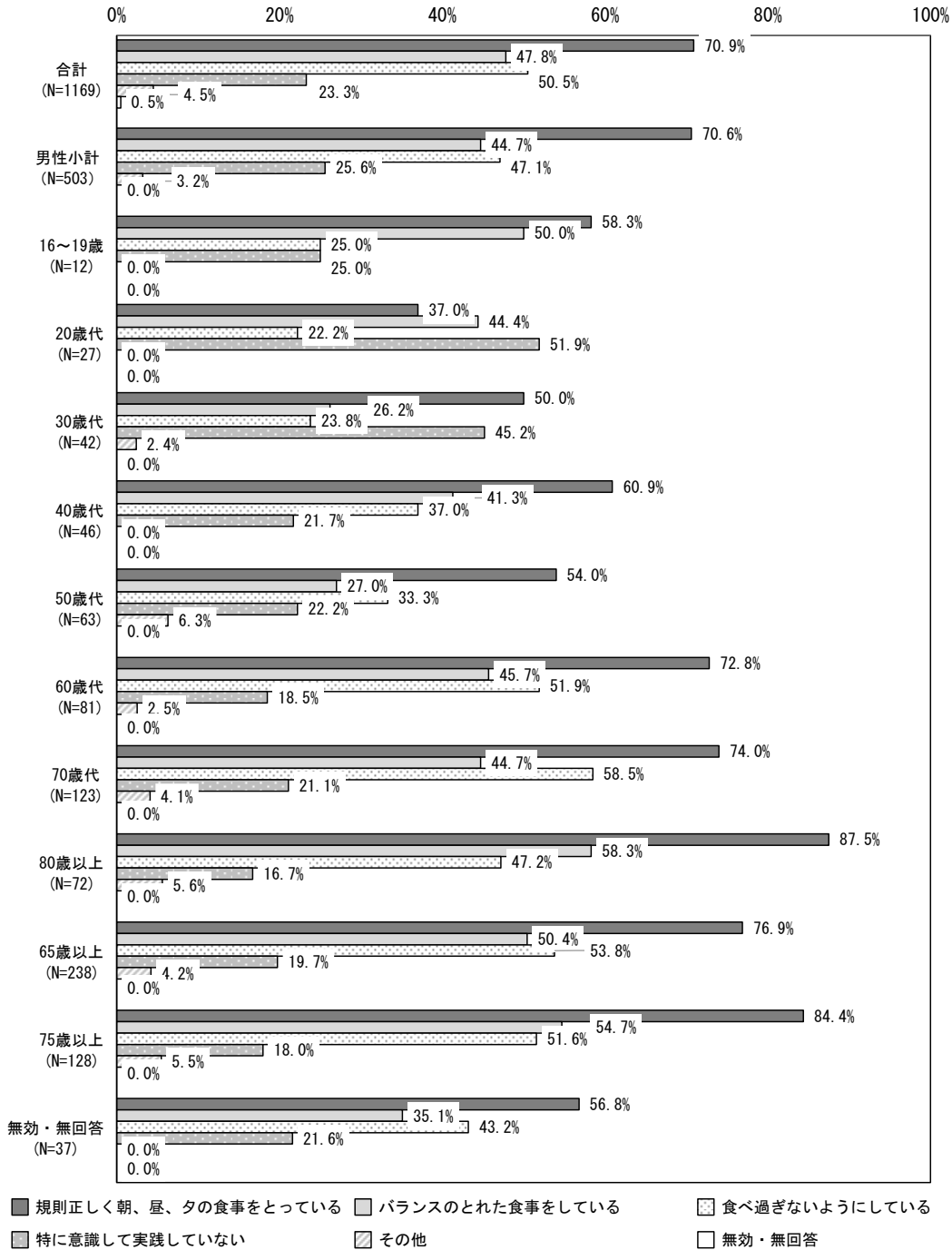
【全体】

「規則正しく朝、昼、夕の食事をとっている」の割合が70.9%と最も高く、次いで「食べ過ぎないようにしている」の割合が50.5%、「バランスのとれた食事をしている」の割合が47.8%となっている。その他の意見では、「食生活に気を付けている」「サプリメントなど栄養補助食品を活用している」「運動など生活習慣に気を付けている」などの意見があげられている。

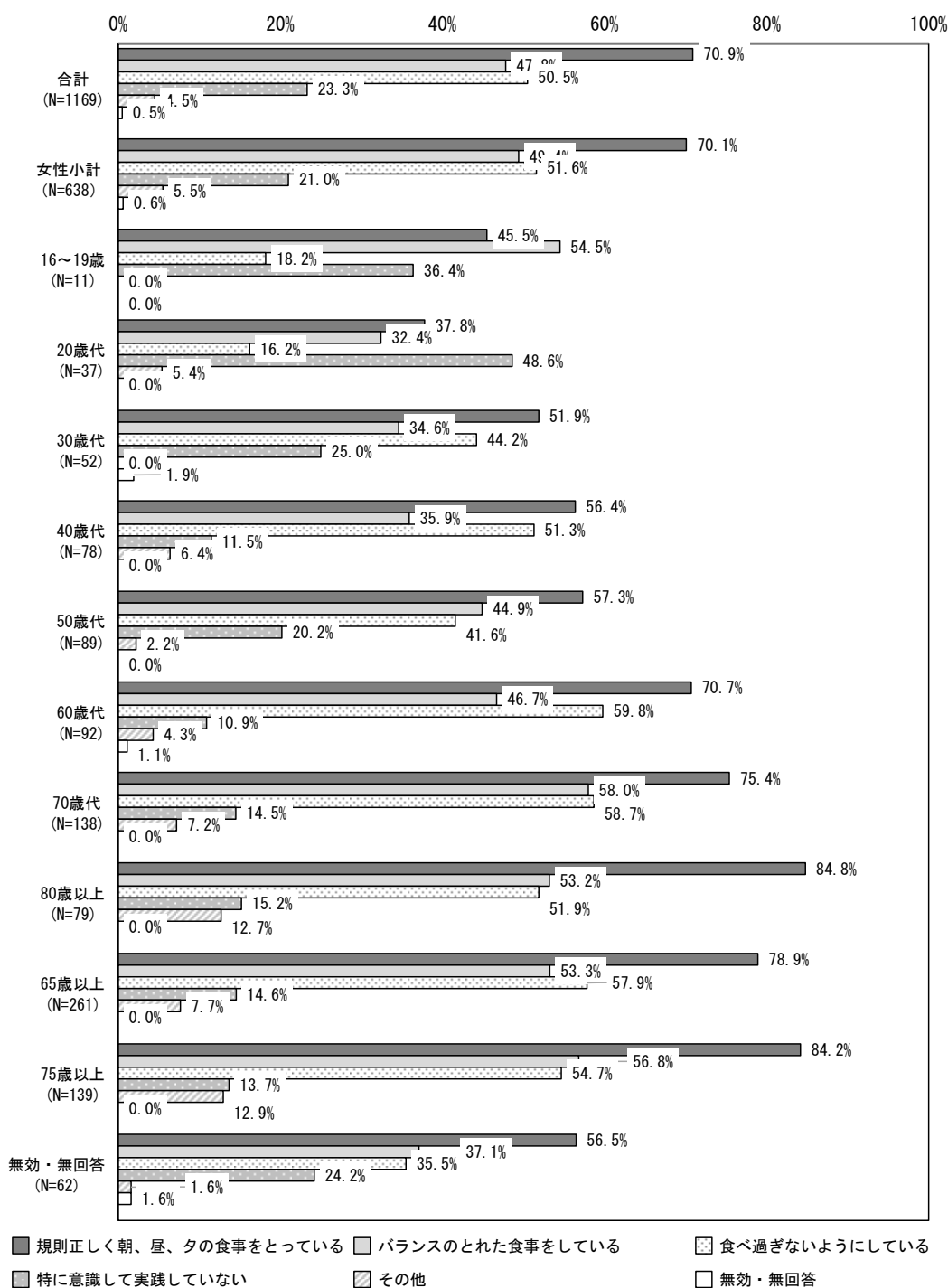
【性・年齢別】

男女とも20歳代以外は、「規則正しく朝、昼、夜の食事をとっている」の割合が最も高いが、20歳代は「特に意識し実践してない」の割合が最も高く約5割を占めている。

＜健康のための実践（全体、男性・年齢別）＞



＜健康のための実践（全体、女性・年齢別）＞



問7 野菜をなるべく多く食べるようにしていますか。

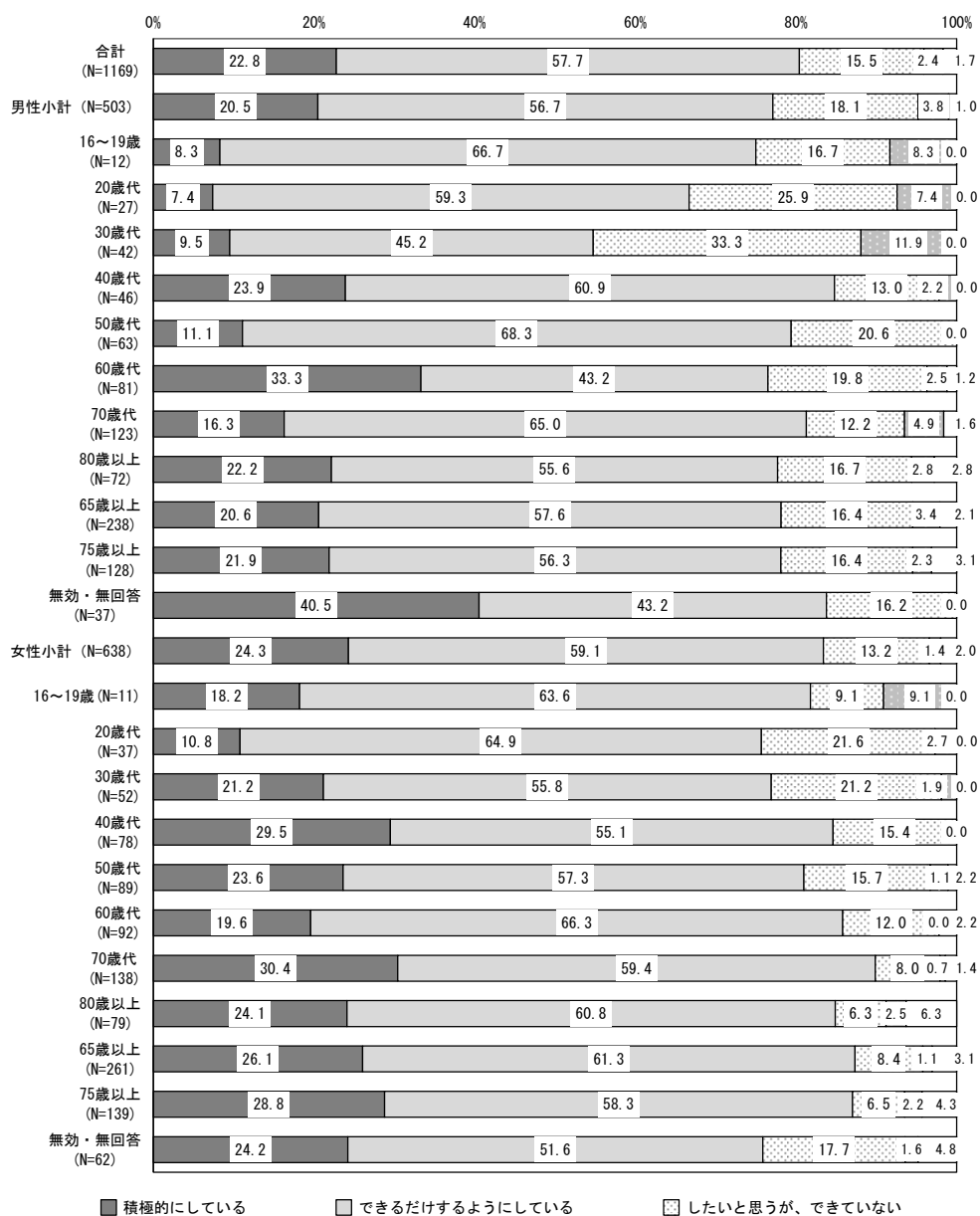
【全体】

「できるだけするようにしている」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「積極的にしている」の割合が 22.8%、「したいと思うが、できていない」の割合が 15.5%となっている。

【性・年齢別】

「積極的にしている」の割合が高いのは、男性の60歳代、女性の70歳代であり、いずれも3割を超えている。

<野菜の摂取（全体、性・年齢別）>



問8 減塩をしていますか。

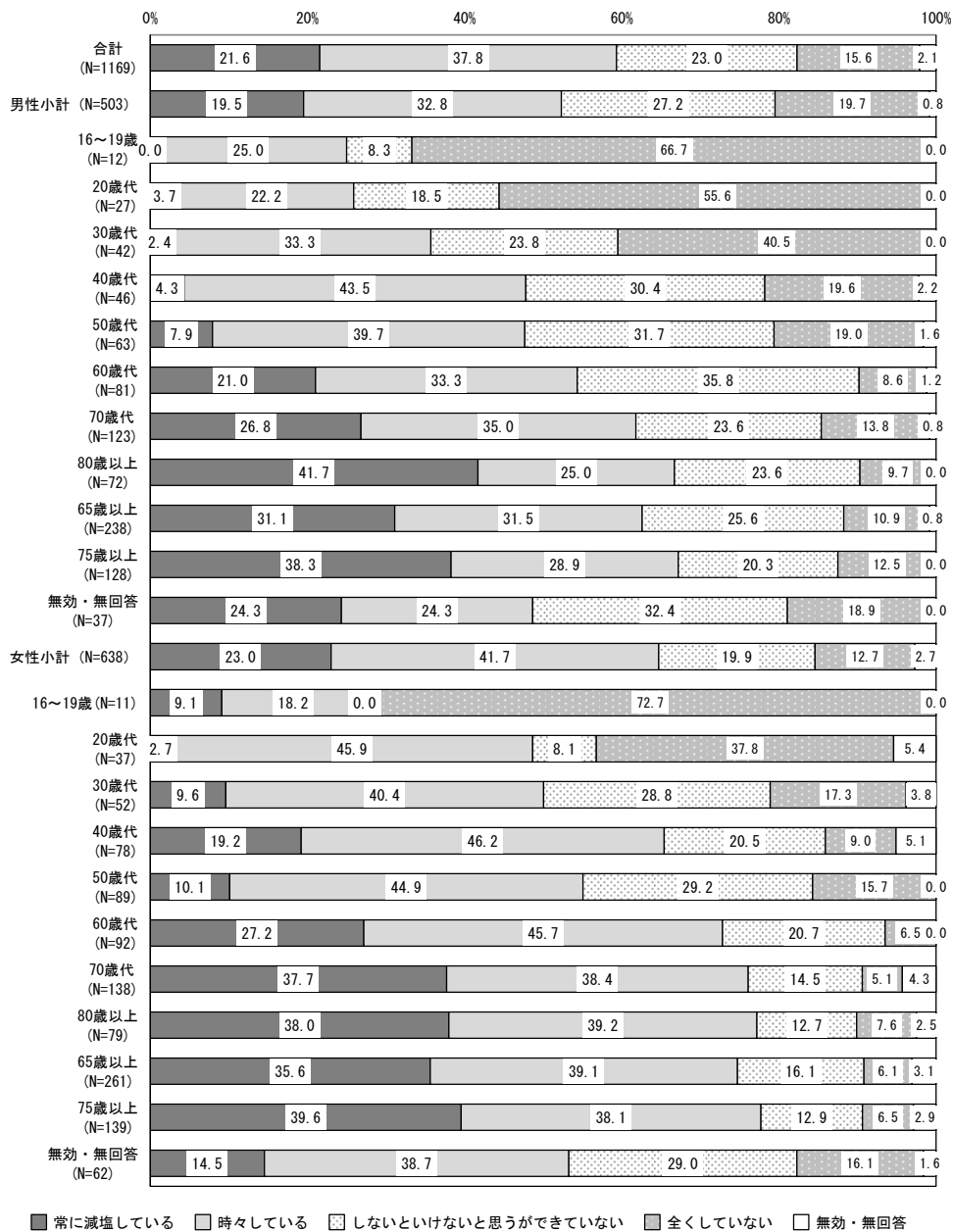
【全体】

「時々している」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「しないといけないと思うができていない」の割合が 23.0%、「常に減塩している」の割合 21.6%となっている。

【性・年齢別】

「常に減塩している」、「時々している」の割合が半数以上となるのは、男性の 60 歳代以上、女性の 30 歳代以上となっている。

<減塩（全体、性・年齢別）>



問9-1 どれくらいの頻度でお酒を飲んでいますか。

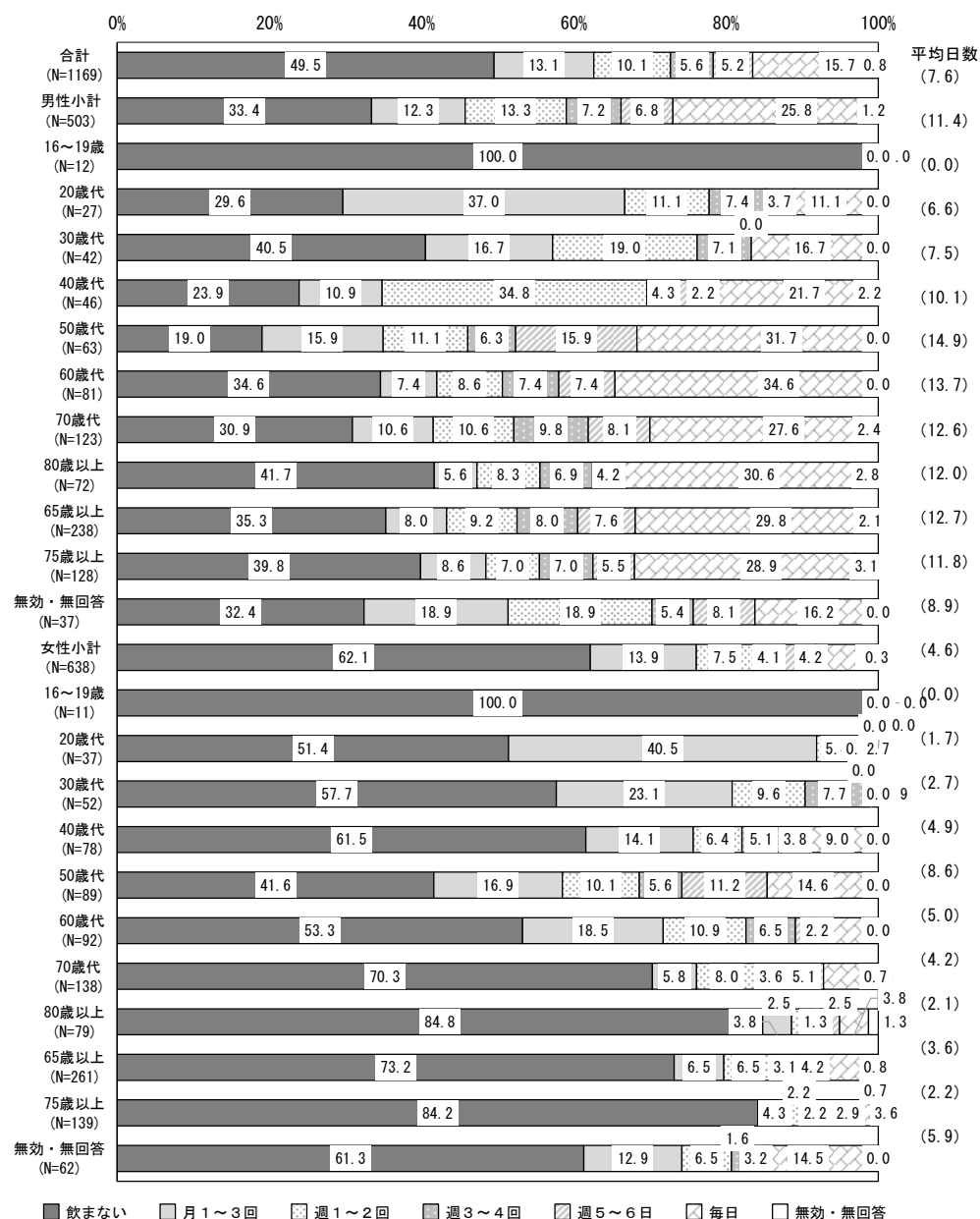
【全体】

「飲まない」の割合が49.5%と最も高く、次いで「毎日」の割合15.7%、「月1~3回」13.1%で平均7.6日/月となっている。

【性・年齢別】

平均飲酒頻度が高いのは、男性が50歳代で約14.9日/月、女性も50歳代で約8.6日/月となっている。

<1か月あたり飲酒頻度（全体、性・年齢別）>



【問9-1で「2・3・4・5・6」と回答された方にお伺いします】

問9-2 お酒を飲む日は1日当たりどれくらい飲んでいますか。

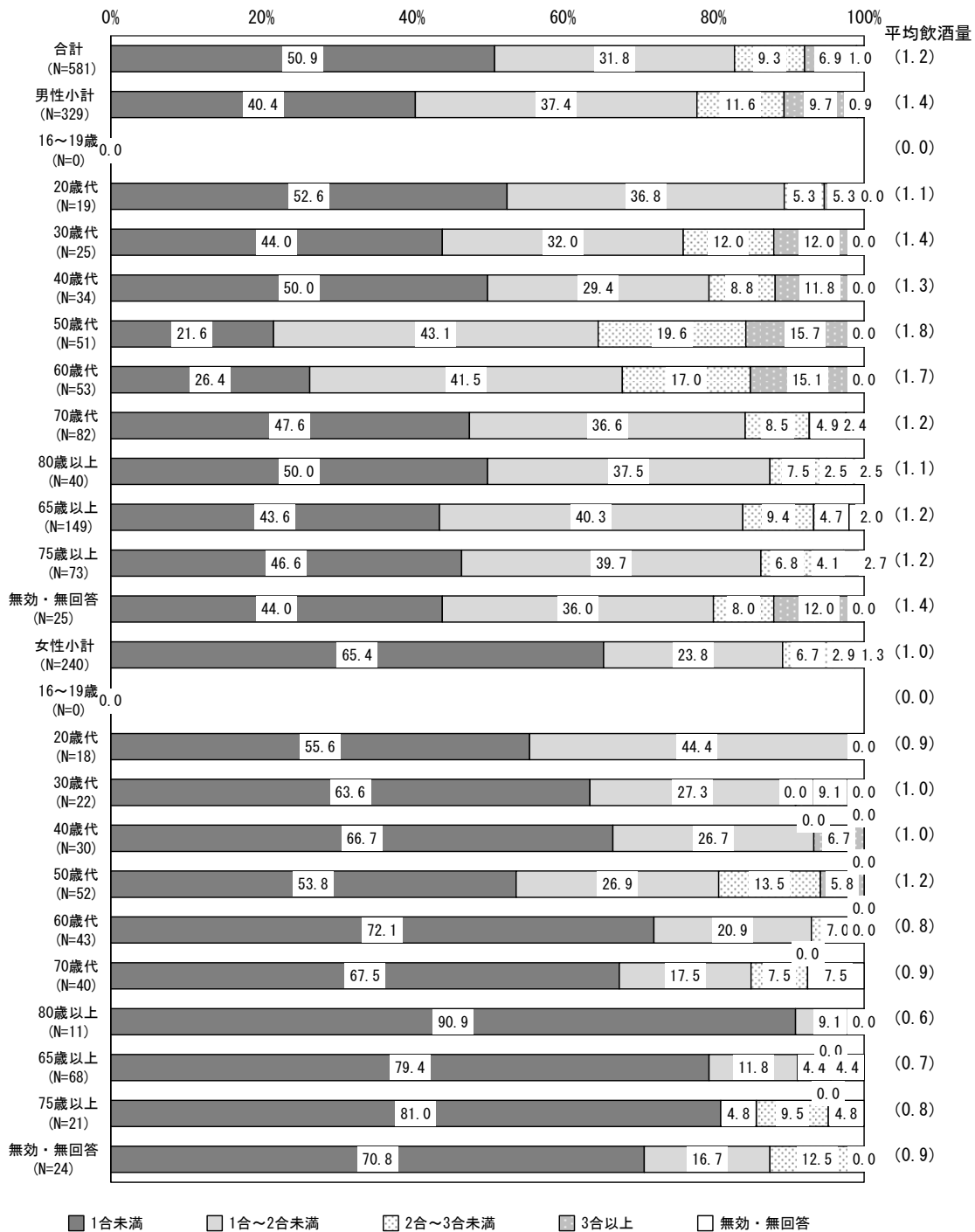
【全体】

1日あたり飲酒量は、「1合未満」の割合が50.9%と最も高く、次いで「1合～2合未満」の割合が31.8%、「2合～3合未満」の割合が9.3%で、平均1.2合/日となっている。

【性・年齢別】

平均飲酒量が多いのは、男性が50歳代で約1.8合/日、女性も50歳代で約1.2合/日となっている。

< 1日あたり飲酒量（全体、性・年齢別） >



【問9-1で「2・3・4・5・6」と回答された方にお伺いします】

問9-3 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、飲酒回数（頻度）に変化はありますか。

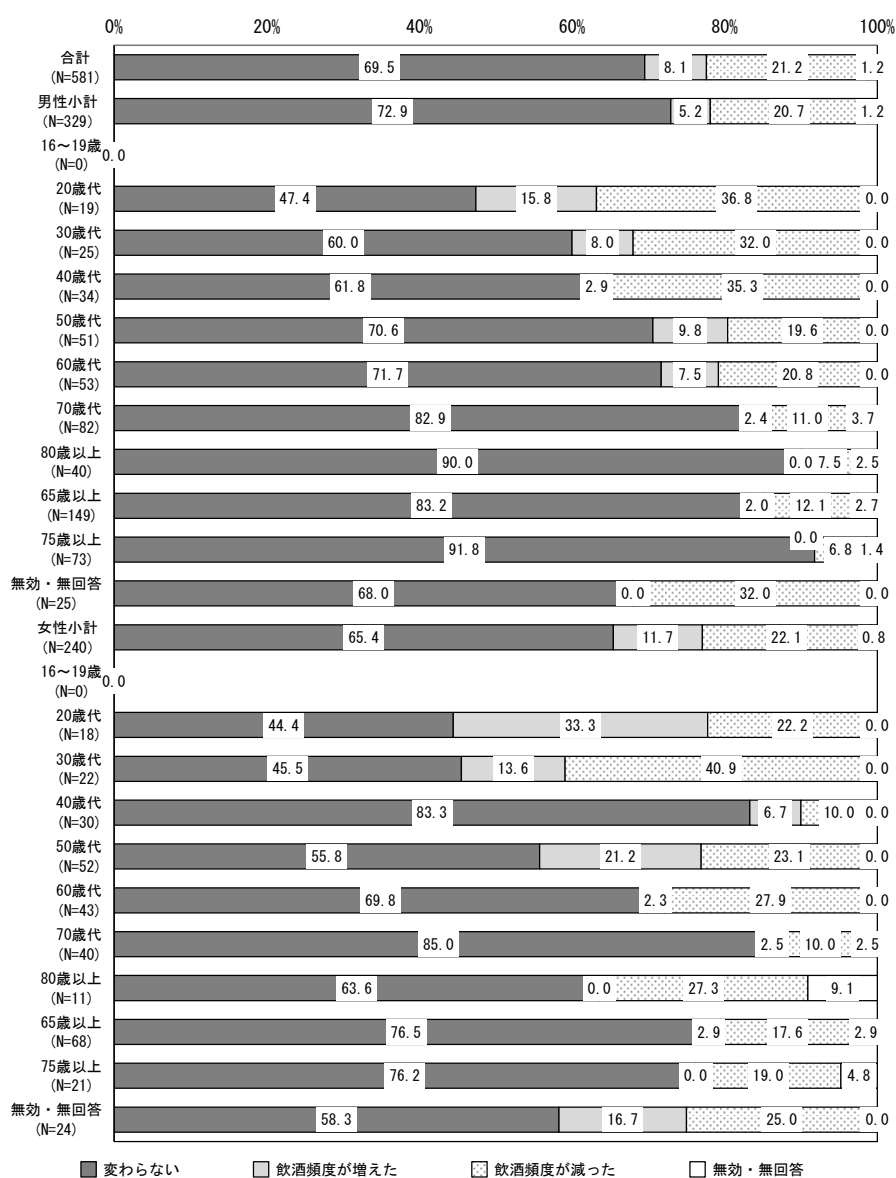
【全体】

「変わらない」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「飲酒頻度が減った」の割合が 21.2%、「飲酒頻度が増えた」の割合が 8.1%となっている。

【性・年齢別】

飲酒頻度が減ったと回答した割合が高いのは、男性の20歳代から40歳代、女性の30歳代であり、いずれも3割を上回っている。

<飲酒頻度の変化（全体、性・年齢別）>



【問9-1で「2・3・4・5・6」と回答された方にお伺いします】

問9-4 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、1日の飲酒量に変化はありますか。

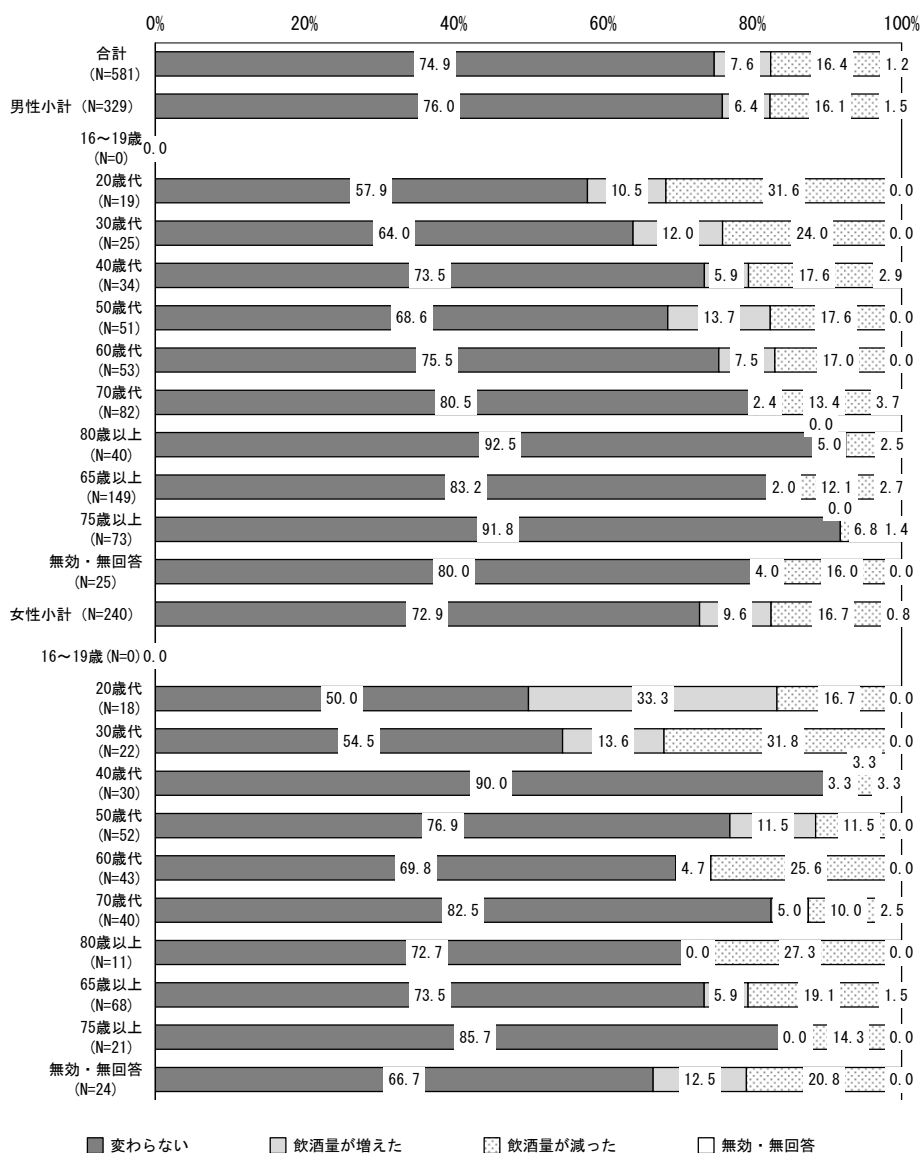
【全体】

「変わらない」の割合が74.9%と最も高く、次いで「飲酒量が減った」の割合が16.4%、「飲酒量が増えた」の割合が7.6%となっている。

【性・年齢別】

飲酒量が減ったと回答した割合が高いのは、男性の20歳代、女性の30歳代であり、いずれも3割を上回っている。

<飲酒量の変化（全体、性・年齢別）>



問10-1 あなたはタバコを吸っていますか。

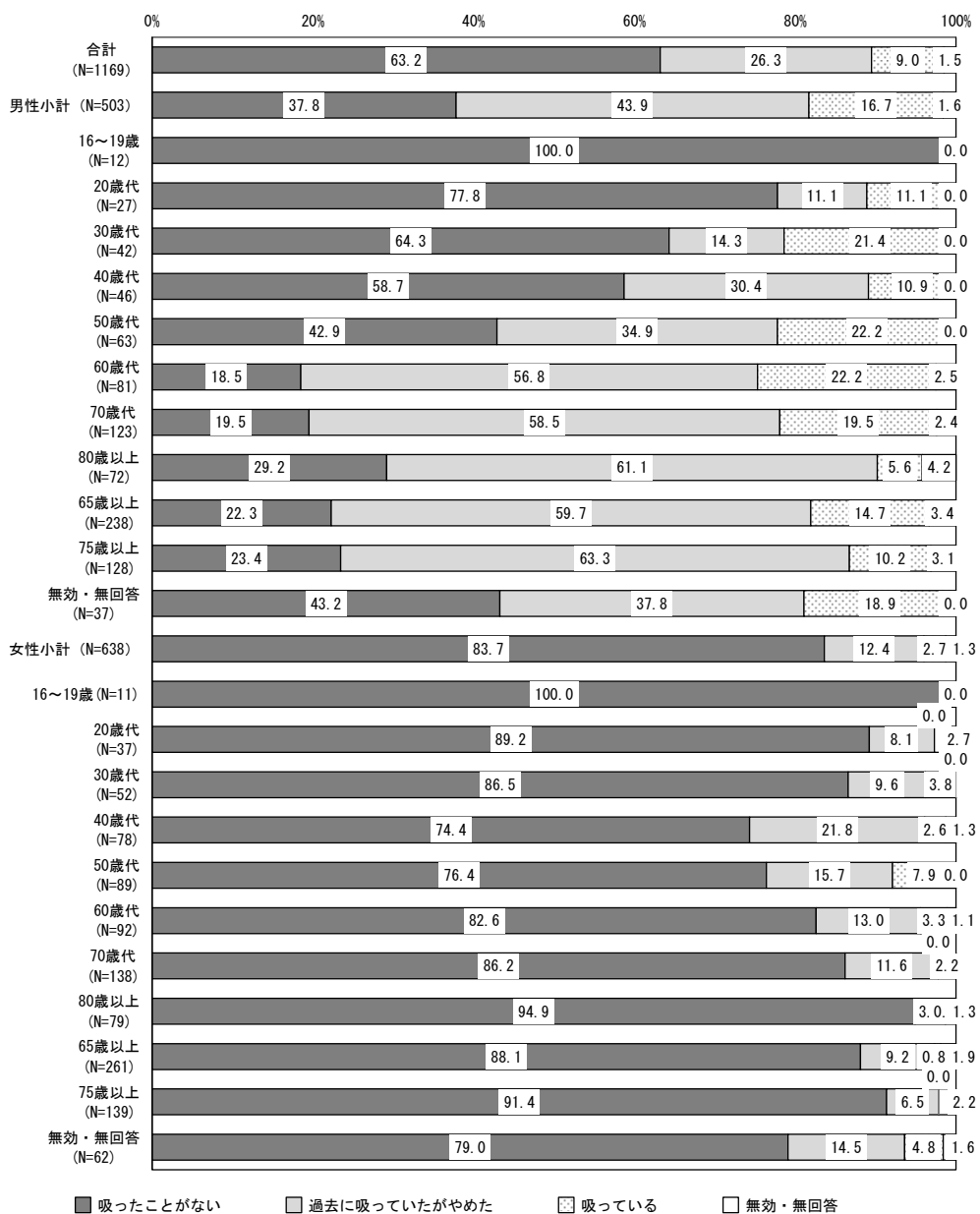
【全体】

「吸ったことがない」の割合が63.2%と最も高く、次いで「過去に吸っていたがやめた」の割合が26.3%、「吸っている」の割合が9.0%で、喫煙者の平均喫煙年数は35.3年となっている。

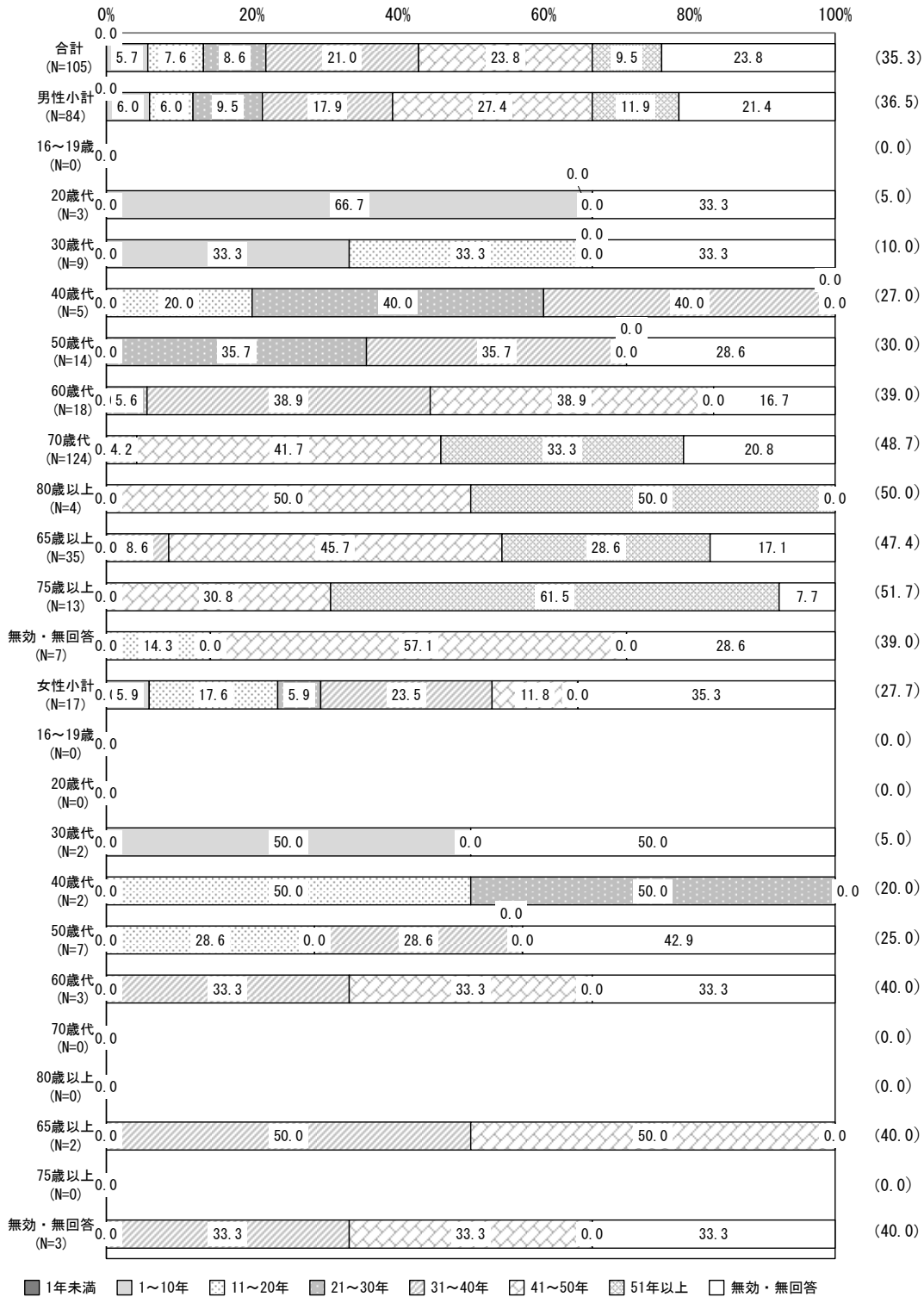
【性・年齢別】

「吸っている」の割合が高いのは、男性の30歳代、50～60歳代で約2割となっている。女性は「吸ったことがない」の割合が全世代で約7割以上となっている。

<喫煙（全体、性・年齢別）>



<喫煙歴（全体、性・年齢別）>



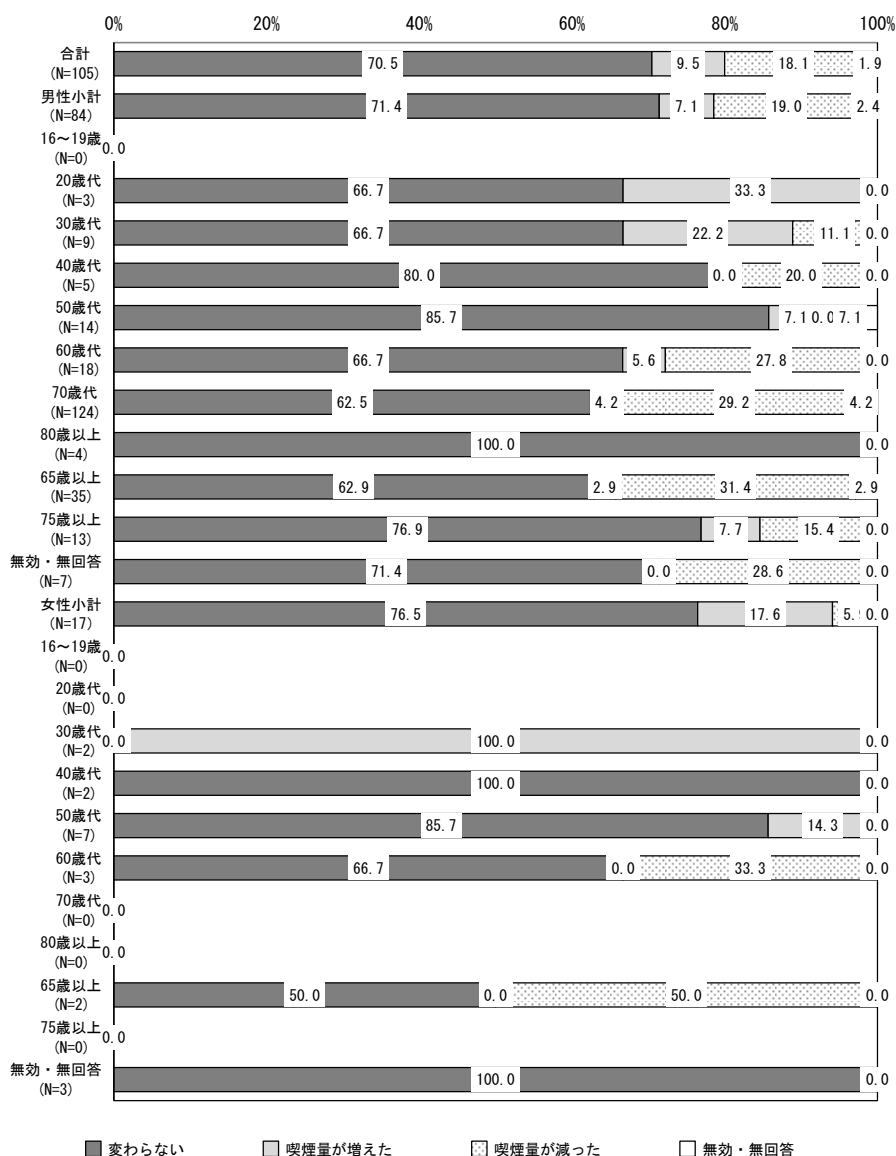
【問10-1で「3」と回答された方にお伺いします】

問10-2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、喫煙量に変化はありますか。

【全体】

「変わらない」の割合が70.5%と最も高く、次いで「喫煙量が減った」の割合が18.1%、「喫煙量が増えた」の割合が9.5%となっている。

<喫煙量の変化（全体、性・年齢別）>

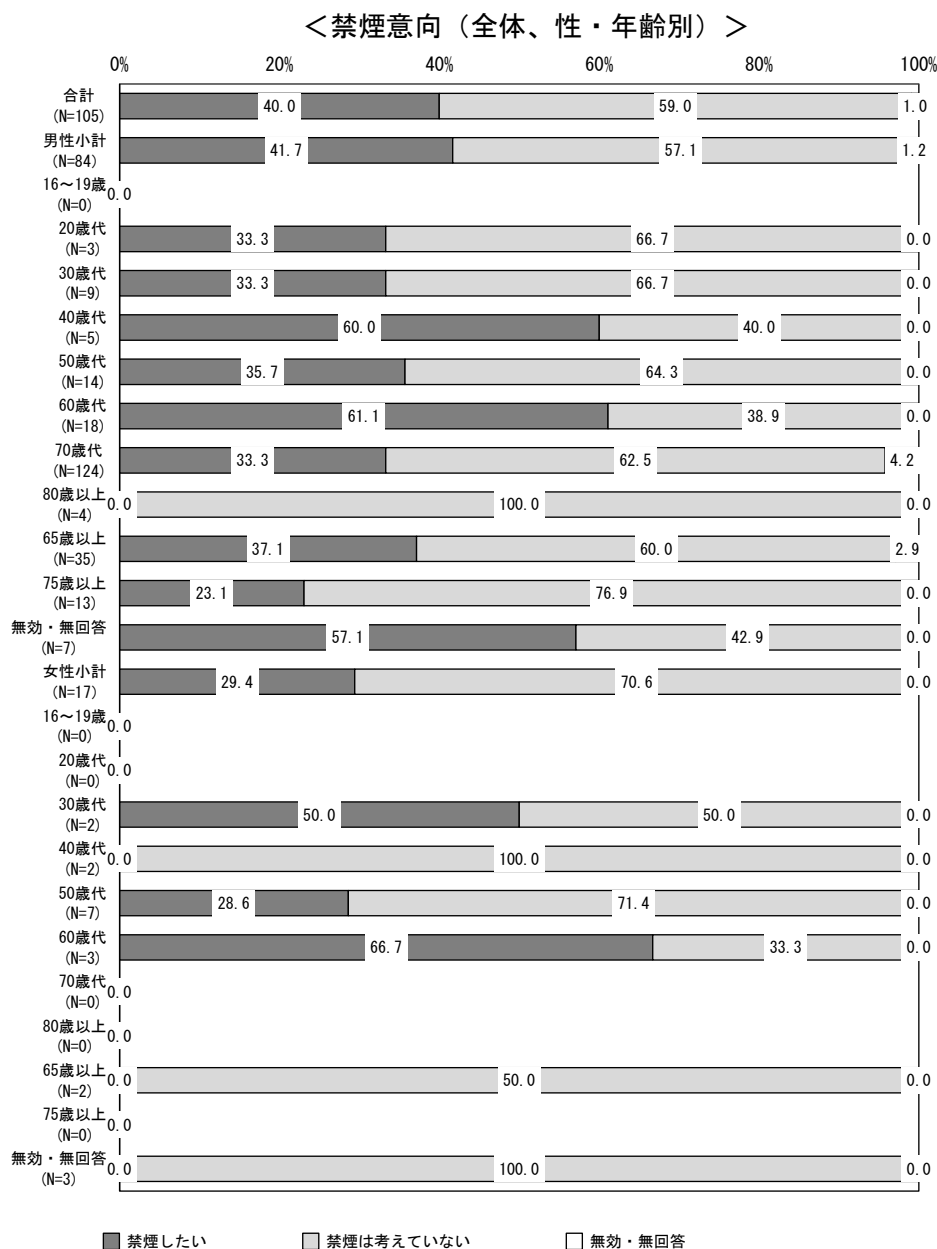


【問10-1で「3」と回答された方にお伺いします】

問10-3 今後の禁煙についてはいかがですか。

【全体】

「禁煙は考えていない」の割合が59.0%と高く、次いで「禁煙したい」の割合が40.0%となっている。



問 1 1 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という病気を知っていますか。

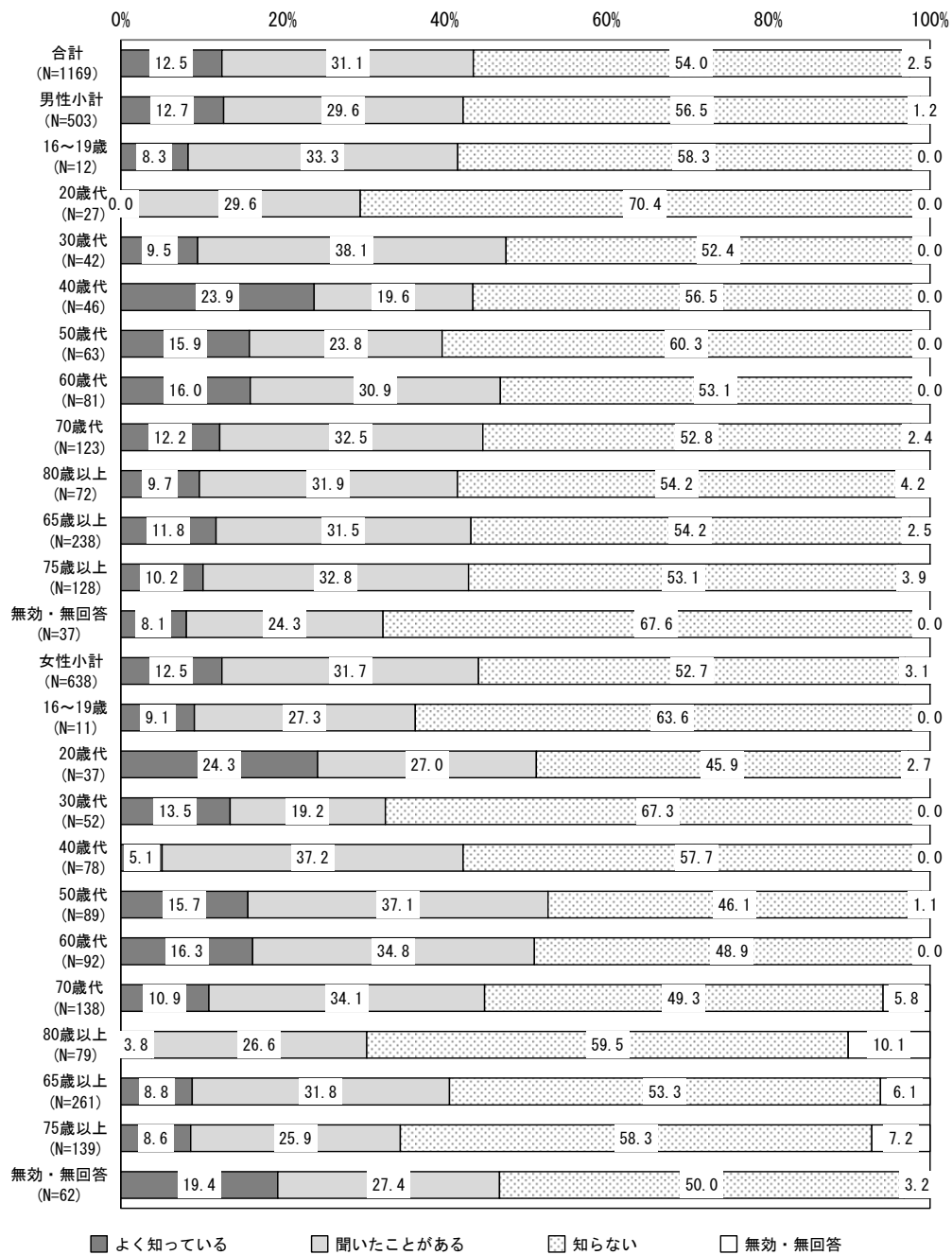
【全体】

「知らない」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 31.1%、「よく知っている」の割合が 12.5%ととなっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」は、男性では 40 歳代、女性で 20 歳代で 2 割以上となっている。

<慢性閉塞性肺疾患に関する認知（全体、性・年齢別）>



問12-1 現在、ウォーキングやテニス、水泳などのスポーツ・運動を定期的に行っていますか。(通勤、通学、仕事中、買い物等は運動に含めません。)

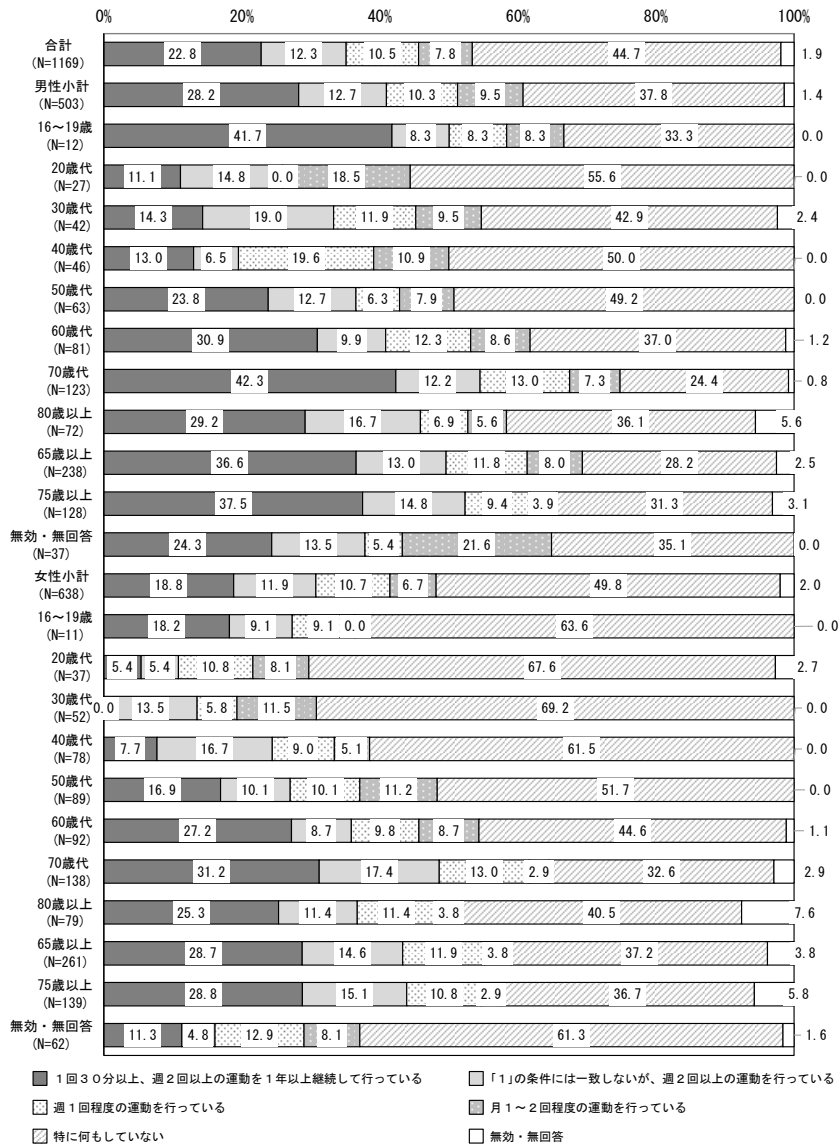
【全体】

「特に何もしていない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「1回30分以上、週2回以上、1年以上運動を行っている」の割合が22.8%、「1回30分以上、週2回以上、1年以上運動を行っている」の条件には一致しないが、週2回以上の運動を行っている」の割合が12.3%となっている。

【性・年齢別】

「特に何もしていない」の割合が高いのは、男性では20歳代、女性では16～19歳から50歳代でいずれも5割を上回っている。

<定期的な運動（全体、性・年齢別）>



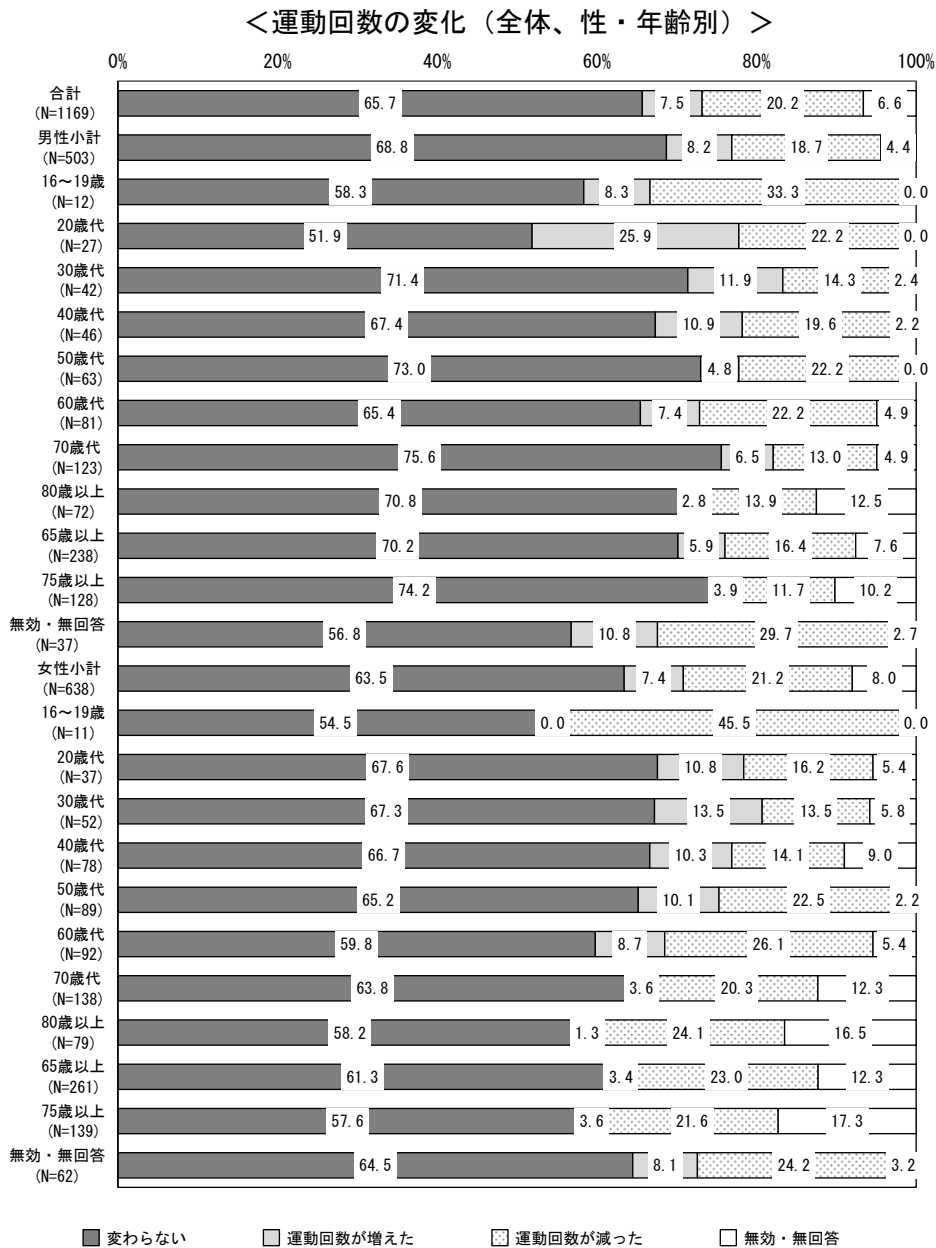
問 1 2 - 2 コロナ流行前（令和 2（2020）年より前）と比べて、運動回数に変化はありますか。

【全体】

「変わらない」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「運動回数が減った」の割合が 20.2%、「運動回数が増えた」の割合が 7.5%となっている。

【性・年齢別】

運動回数が減ったと回答した割合が高いのは、男女ともに 16～19 歳であり、3 割以上が減ったと回答している。



問13-1 日常生活において、意識的に身体を動かすように心がけていますか。

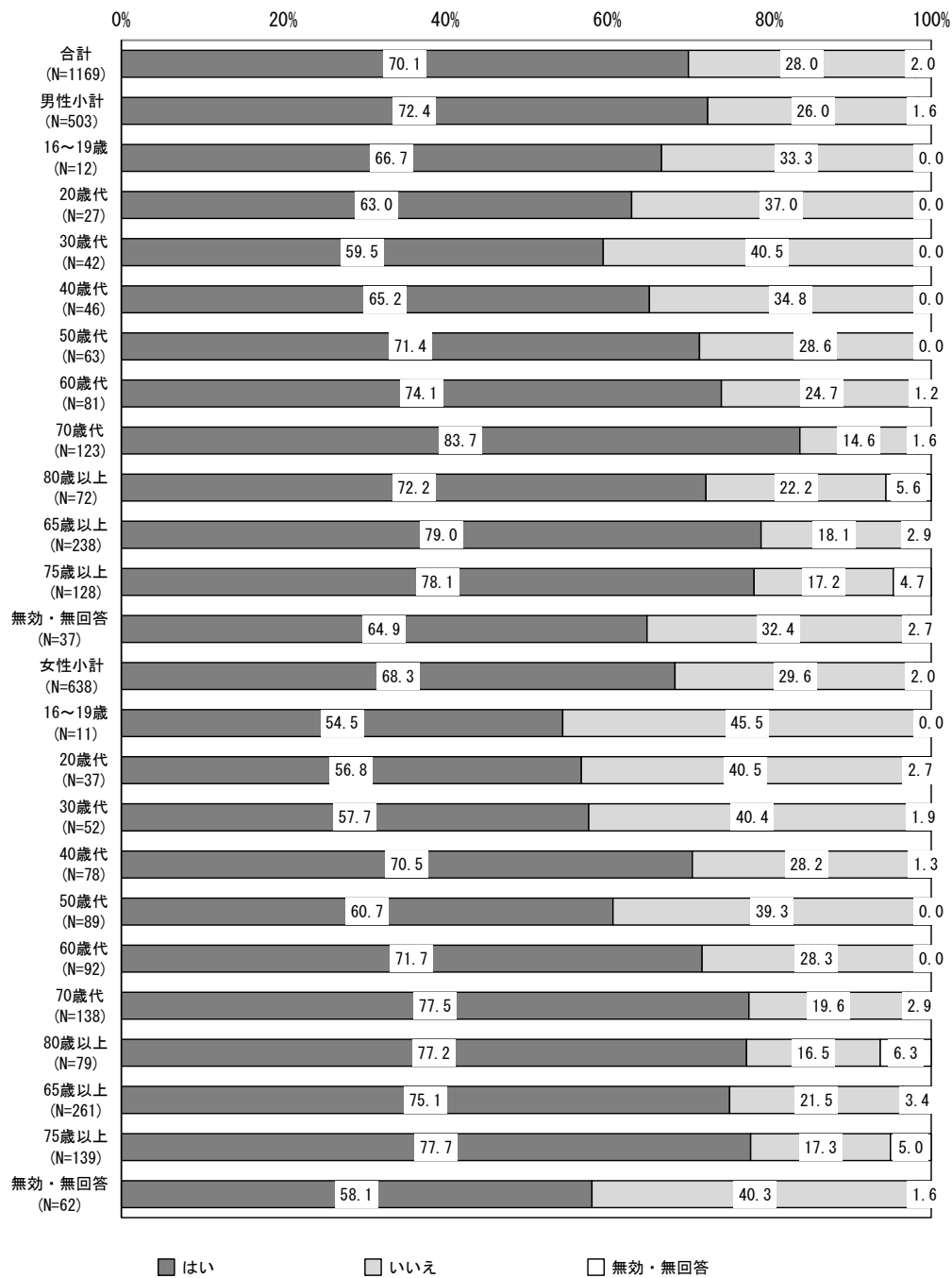
【全体】

「はい」の割合が70.1%となっている。

【性・年齢別】

男女とも全世代で5割以上が意識的に身体を動かすように心がけている。

<身体を動かす意識（全体、性・年齢別）>



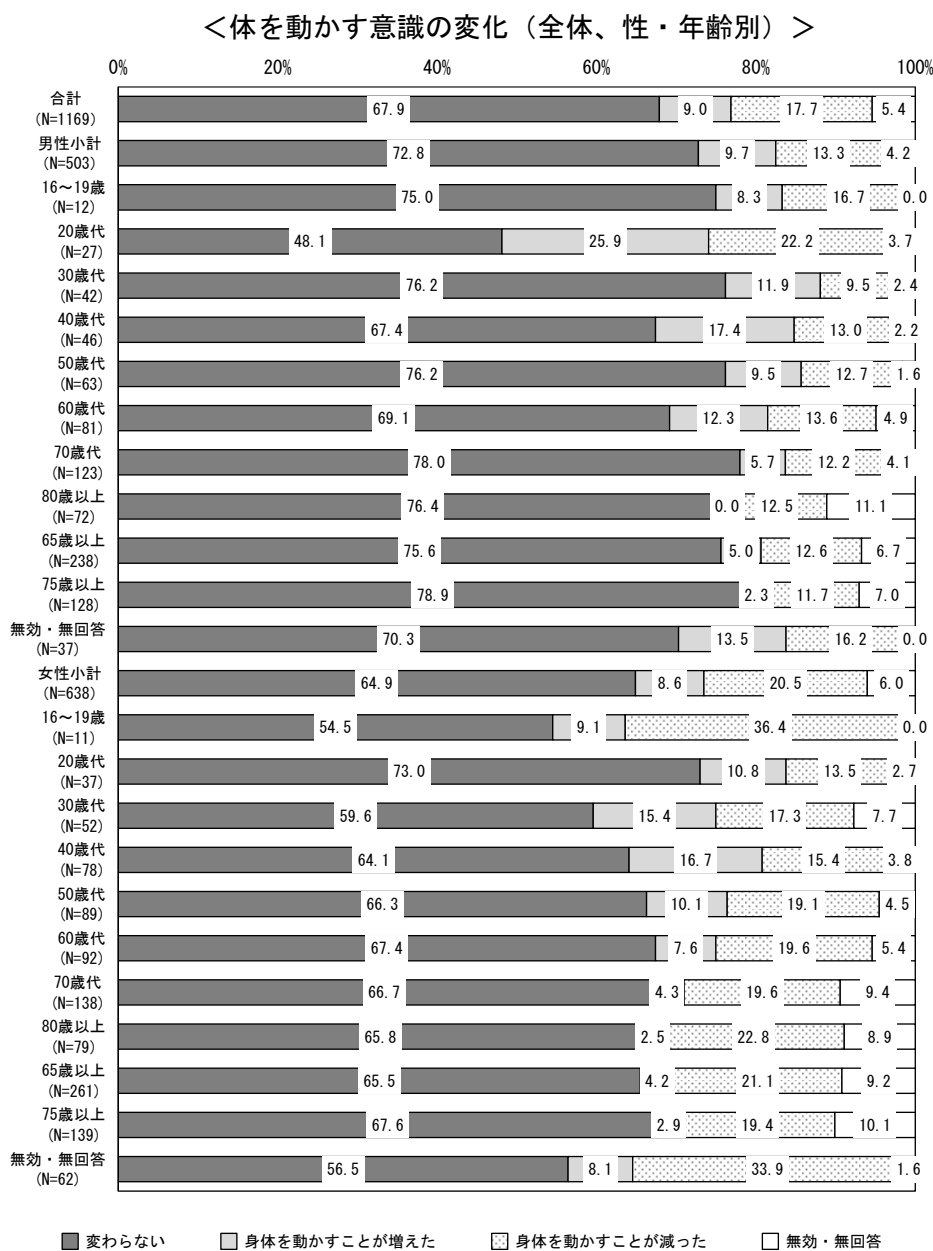
問 1 3 - 2 コロナ流行前（令和 2（2020）年より前）と比べて、意識的に身体を動かすことに変化はありますか。

【全体】

「変わらない」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「身体を動かすことが減った」の割合が 17.7%、「身体を動かすことが増えた」の割合が 9.0%となっている。

【性・年齢別】

運動回数が減ったと回答した割合が高いのは、男性では 20 歳代、女性では 16～19 歳と 80 歳以上であり、2 割以上が減ったと回答している。



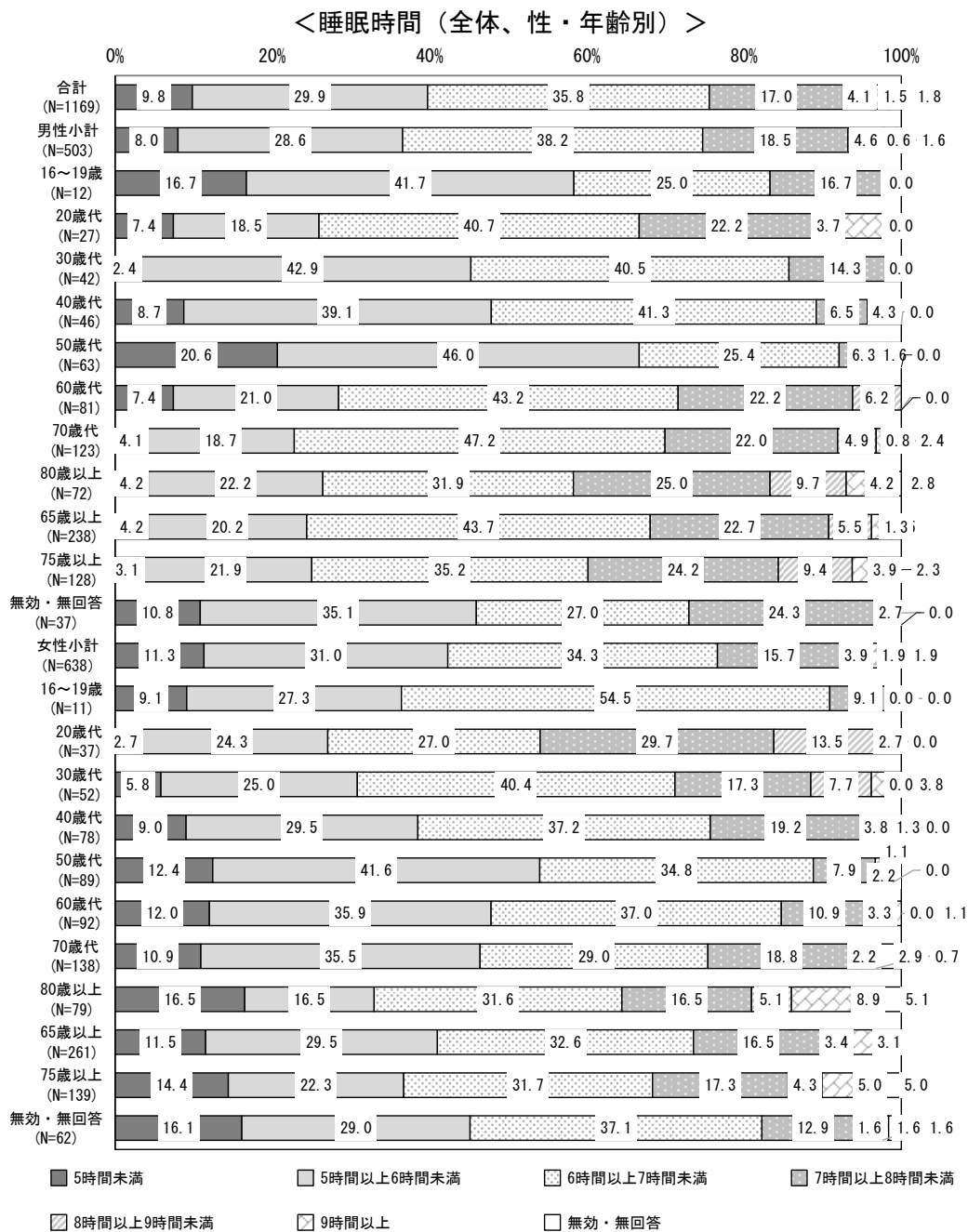
問 1 4 - 1 過去 1 か月の 1 日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。

【全体】

「6 時間以上 7 時間未満」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「5 時間以上 6 時間未満」の割合が 29.9%、「7 時間以上 8 時間未満」の割合が 17.0%となっている。

【性・年齢別】

6 時間未満の割合が高いのは、男性では 16～19 歳と 50 歳代、女性では 50 歳代であり、5 割以上となっている。



問 1 4 - 2 コロナ流行前（令和 2（2020）年より前）と比べて、睡眠時間に変化はありますか。

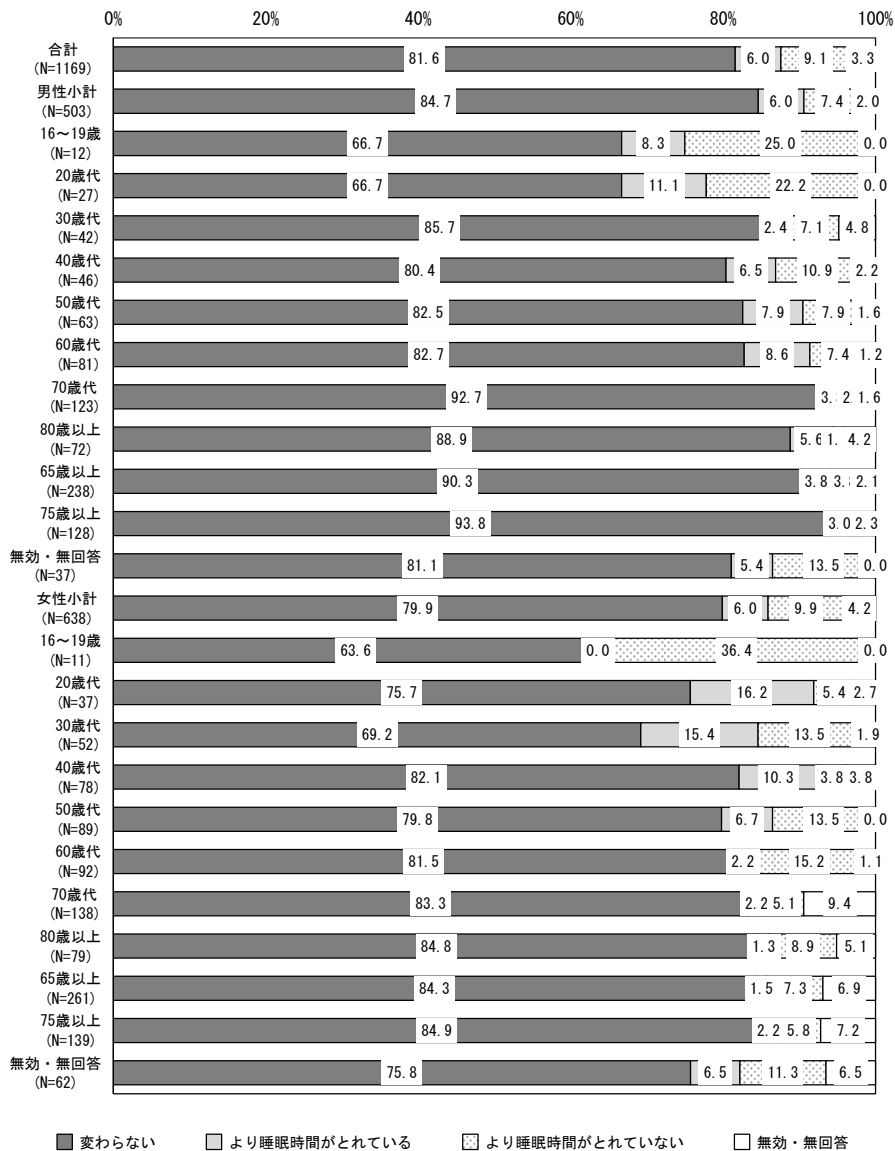
【全体】

「変わらない」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「より睡眠時間がとれていない」の割合が 9.1%、「より睡眠時間がとれている」の割合が 6.0%となっている。

【性・年齢別】

より睡眠時間がとれていないと回答した割合が高いのは、男性では 16～19 歳と 20 歳代、女性では 16～19 歳であり、2 割以上となっている。

＜睡眠時間の変化（全体、性・年齢別）＞



問 1 5 - 1 睡眠による休養が十分とれていますか。

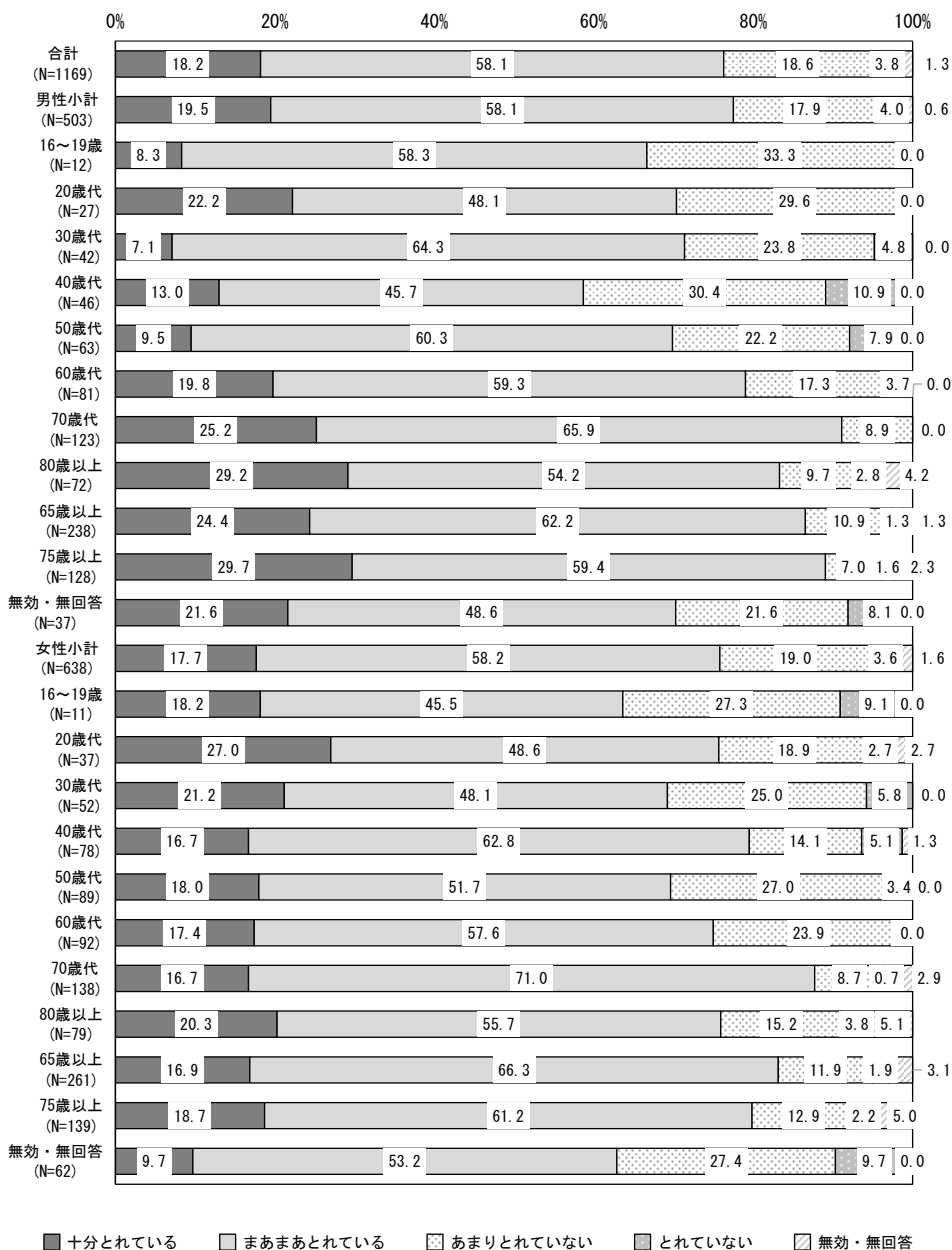
【全体】

「まあまあとれている」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「あまりとれていない」の割合が 18.6%、「十分とれている」の割合が 18.2%となっている。

【性・年齢別】

「あまりとれていない」「とれていない」の割合が高いのは、男性の 16～19 歳、40 歳代、50 歳代、女性の 16～19 歳、30 歳代、50 歳代であり、3 割以上となっている。

<睡眠による休養（全体、性・年齢別）>



問15-2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、睡眠による休養に変化はありますか。

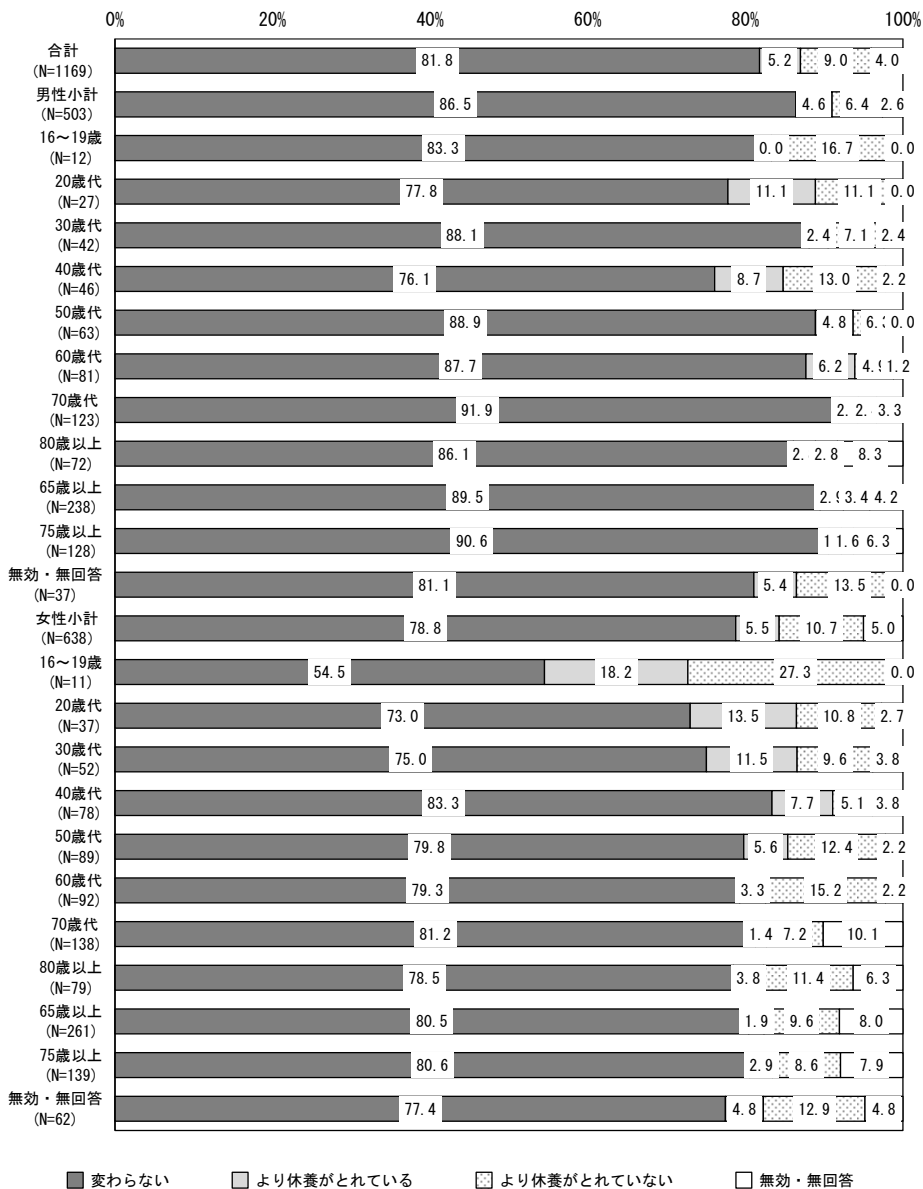
【全体】

「変わらない」の割合が81.8%と最も高く、次いで「より休養がとれていない」の割合が9.0%、「より休養がとれている」の割合が5.2%となっている。

【性・年齢別】

より休養がとれていないと回答した割合が高いのは、女性の16～19歳代であり、2割以上となっている。

<睡眠による休養の変化（全体、性・年齢別）>



問16 コロナ流行前と比べて生活習慣の質問（問9. 飲酒、問10. 喫煙、問12. 運動、問13 身体活動問14. 睡眠、問15. 休養）で変化があったと答えた方にお伺いします。変化した理由であてはまるものすべてに○をしてください。

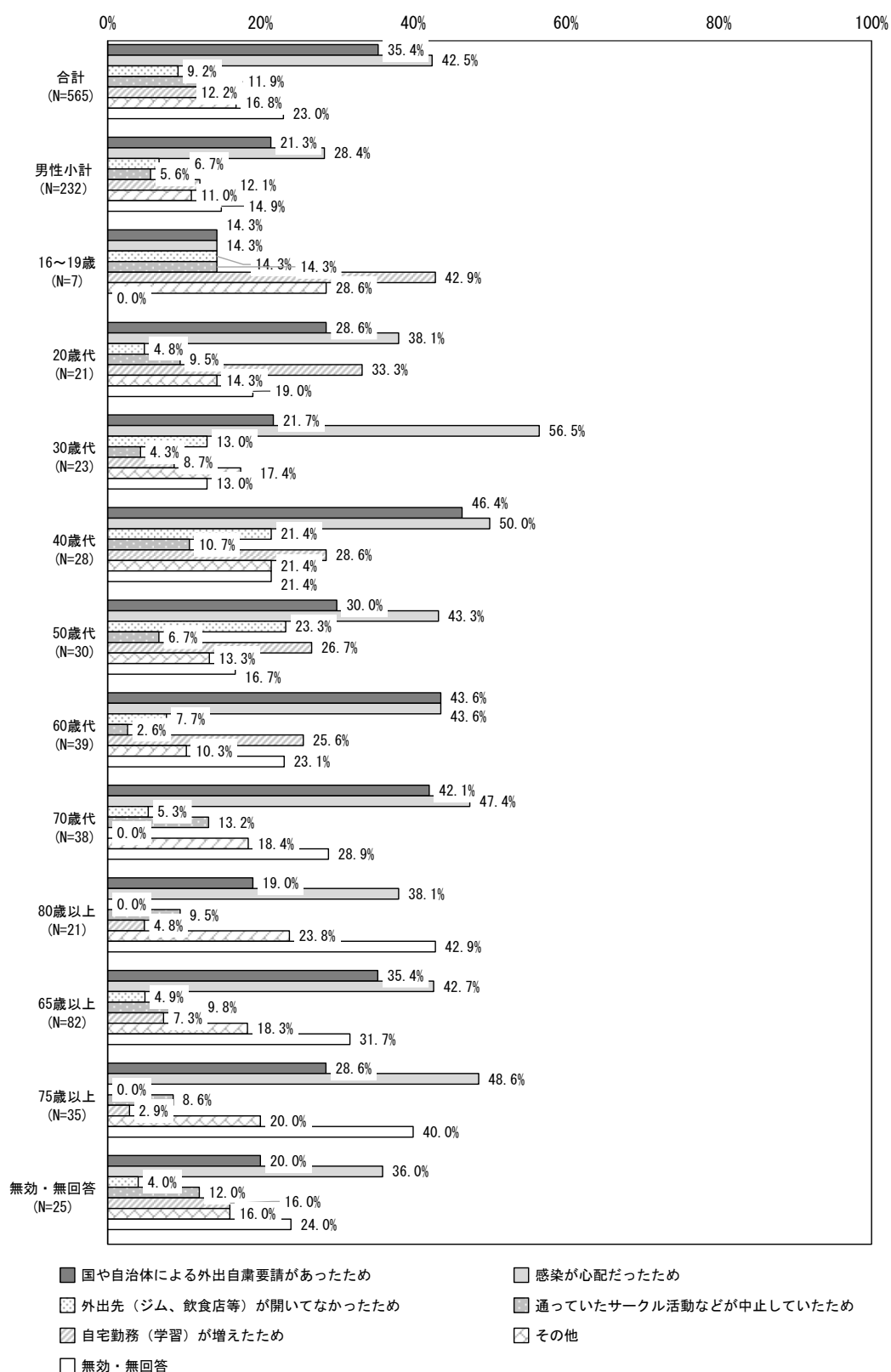
【全体】

「感染が心配だったため」と回答した割合が42.5%と最も高く、次いで「国や自治体による外出自粛要請があったため」の割合が35.4%、「その他」の割合が16.8%となっている。その他の意見では「出産や育児により生活習慣が変わったため」「職場の勤務体系が変わったため」などの意見が挙げられている。

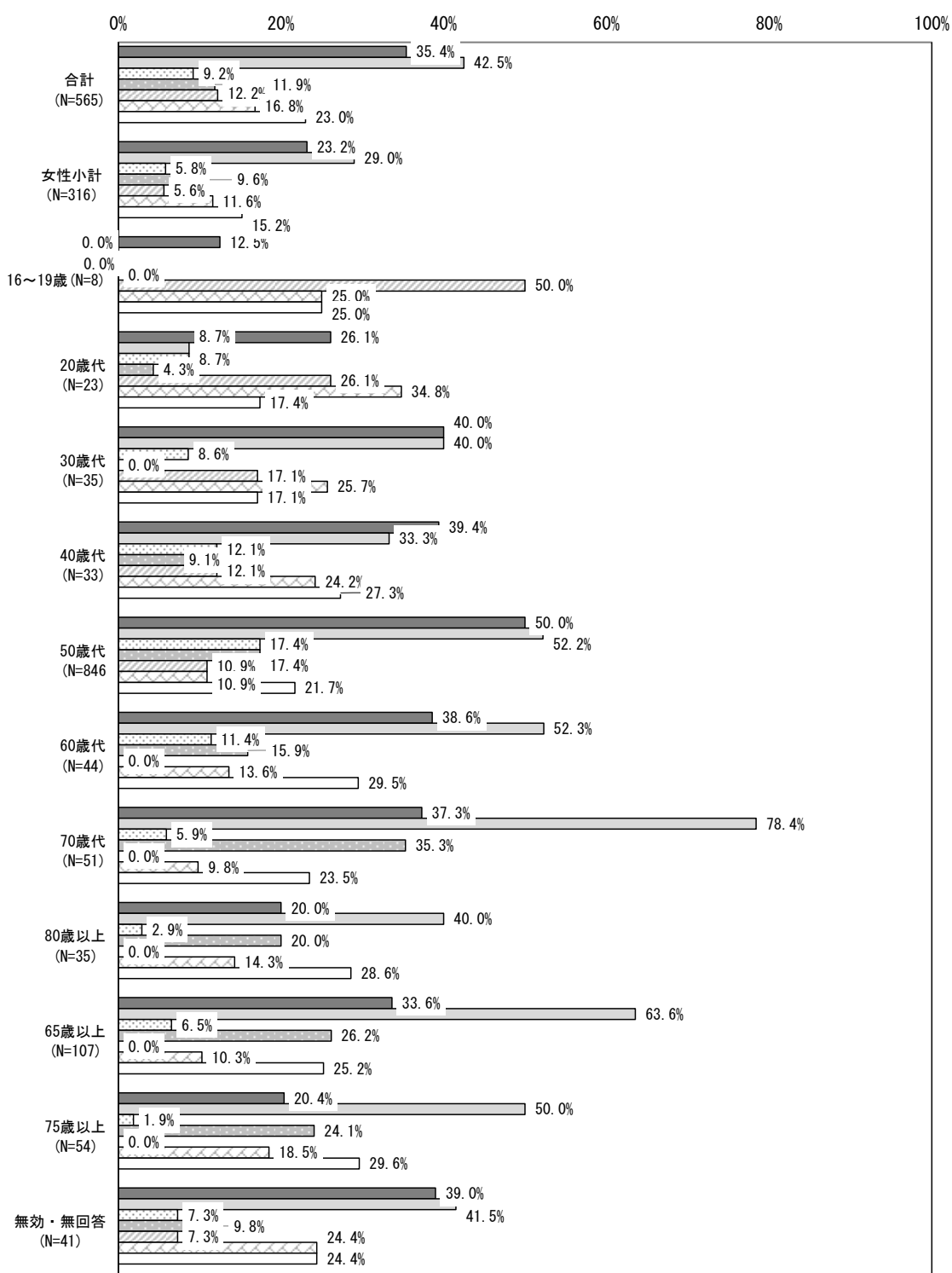
【性・年齢別】

「感染が心配だったため」と回答した割合が高いのは、男性の30歳代、40歳代、女性の50歳代から70歳代であり、5割以上が理由として挙げている。特に女性の70歳代は78.4%となっている。

<生活習慣が変化した理由（全体、男性・年齢別）>



＜生活習慣が変化した理由（女性・年齢別）＞



- 国や自治体による外出自粛要請があったため
- 感染が心配だったため
- ▨ 外出先（ジム、飲食店等）が開いてなかったため
- 通っていたサークル活動などが中止していたため
- ▨ 自宅勤務（学習）が増えたため
- ▨ その他
- 無効・無回答

問17 あなたは、悩み、ストレスなどのために身体や心の不調がありますか。

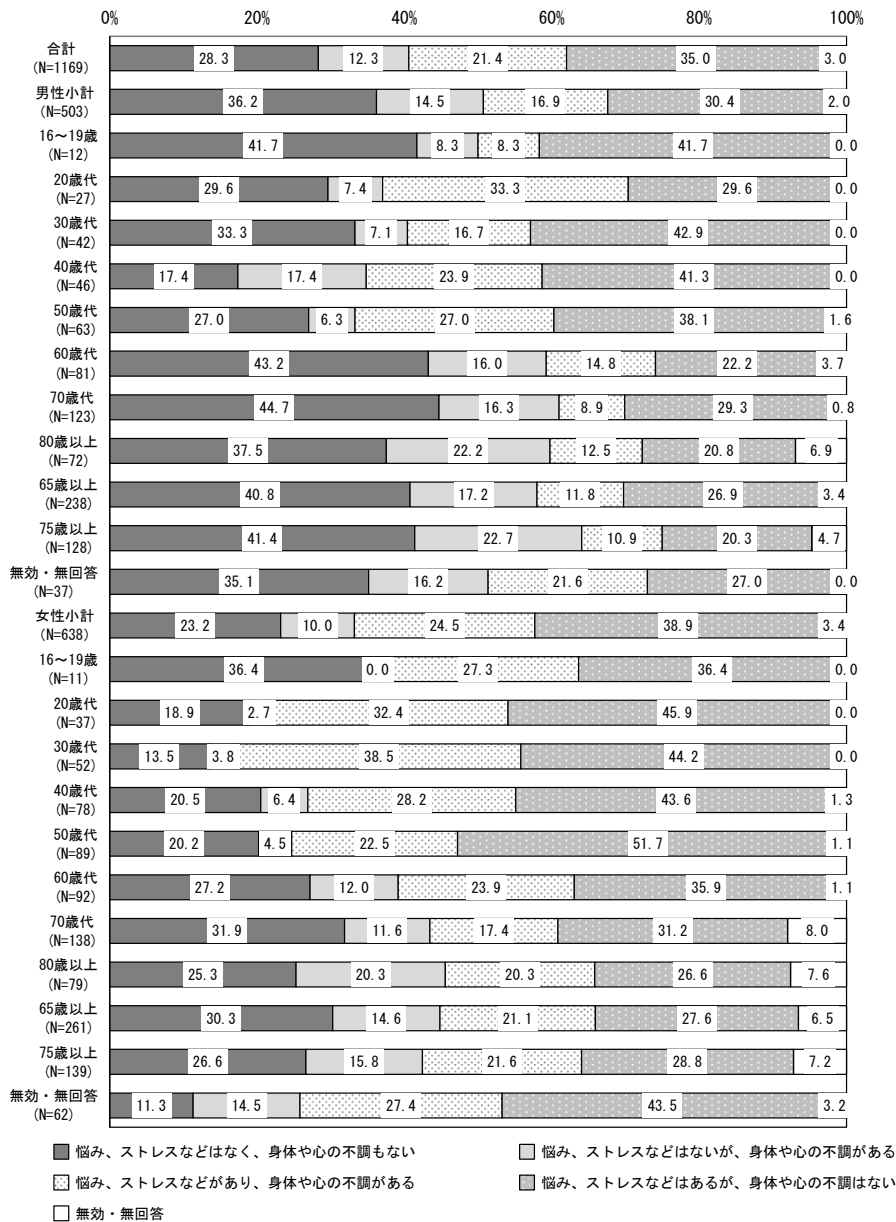
【全体】

「悩み、ストレスなどはあるが、身体や心の不調はない」の割合が35.0%と最も高く、次いで「悩み、ストレスなどはなく、身体や心の不調もない」の割合が28.3%、「悩み、ストレスなどがあり、身体や心の不調がある」の割合が21.4%となっている。

【性・年齢別】

「悩み、ストレスなどがあり、身体や心の不調がある」の割合が高いのは、男性の20歳代、女性の20歳代、30歳代であり、3割以上となっている。

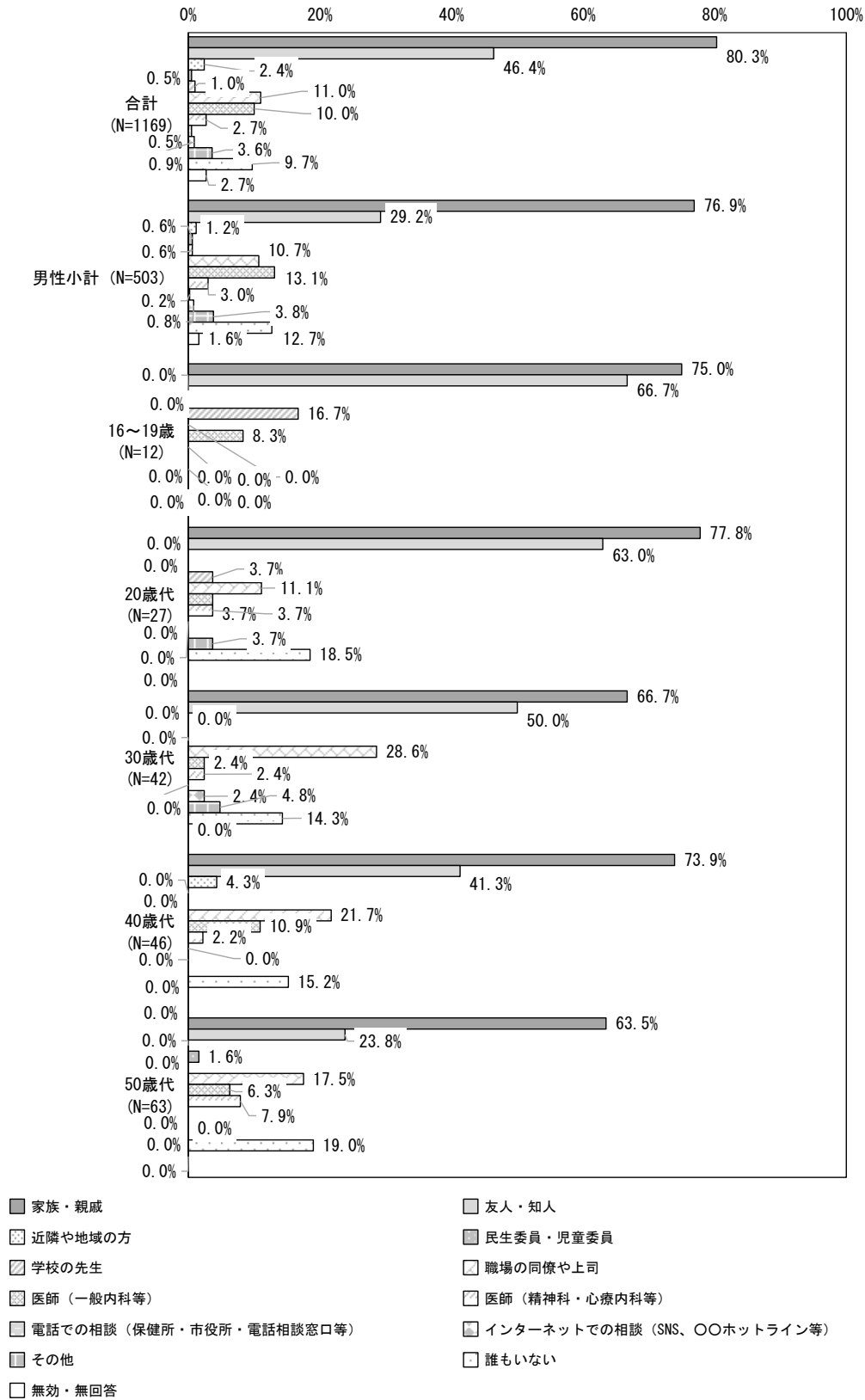
<悩み、ストレスによる不調（全体、性・年齢別）>

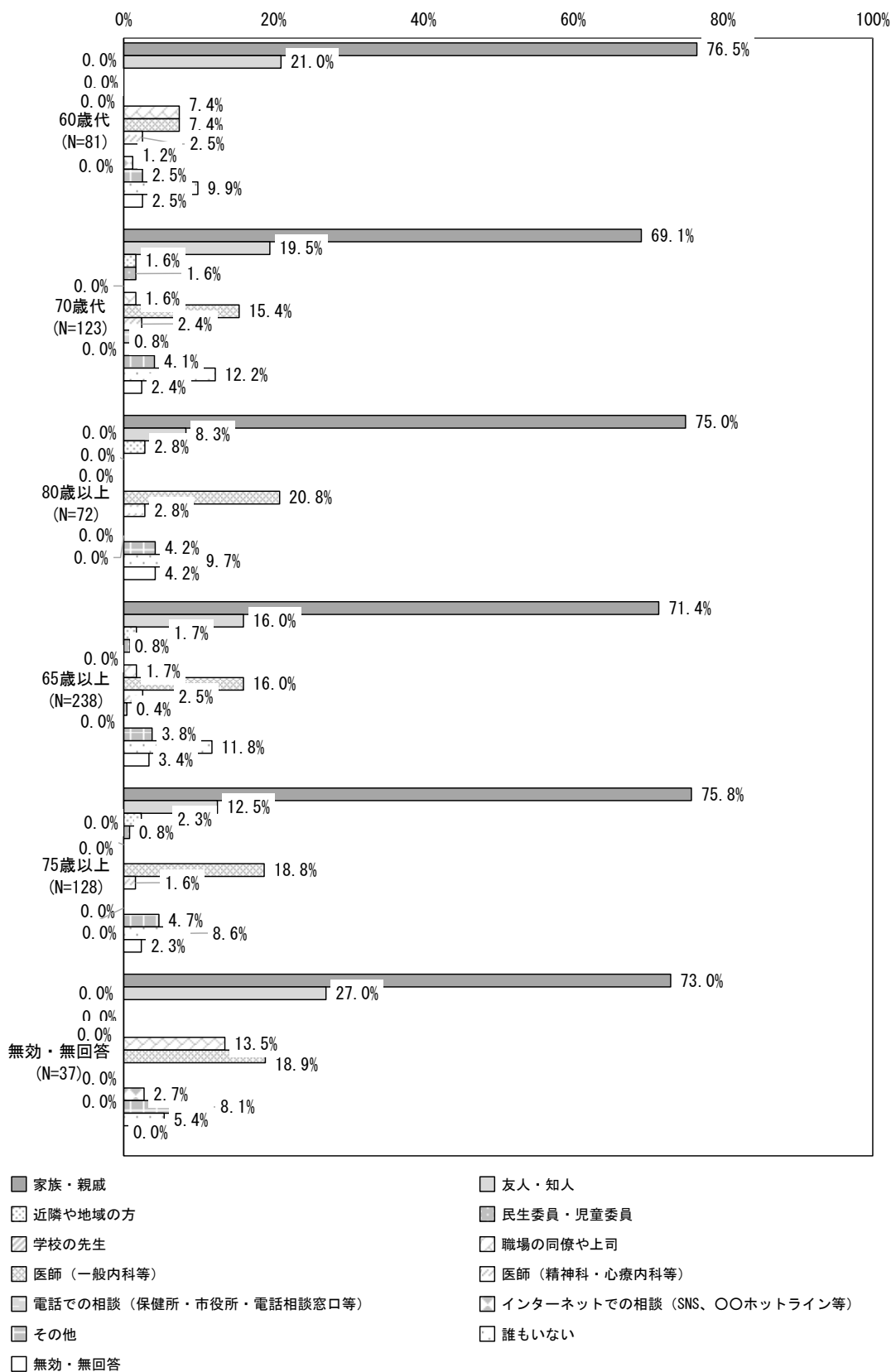


問18 あなたは、心配ごとや悩みを誰に相談しますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

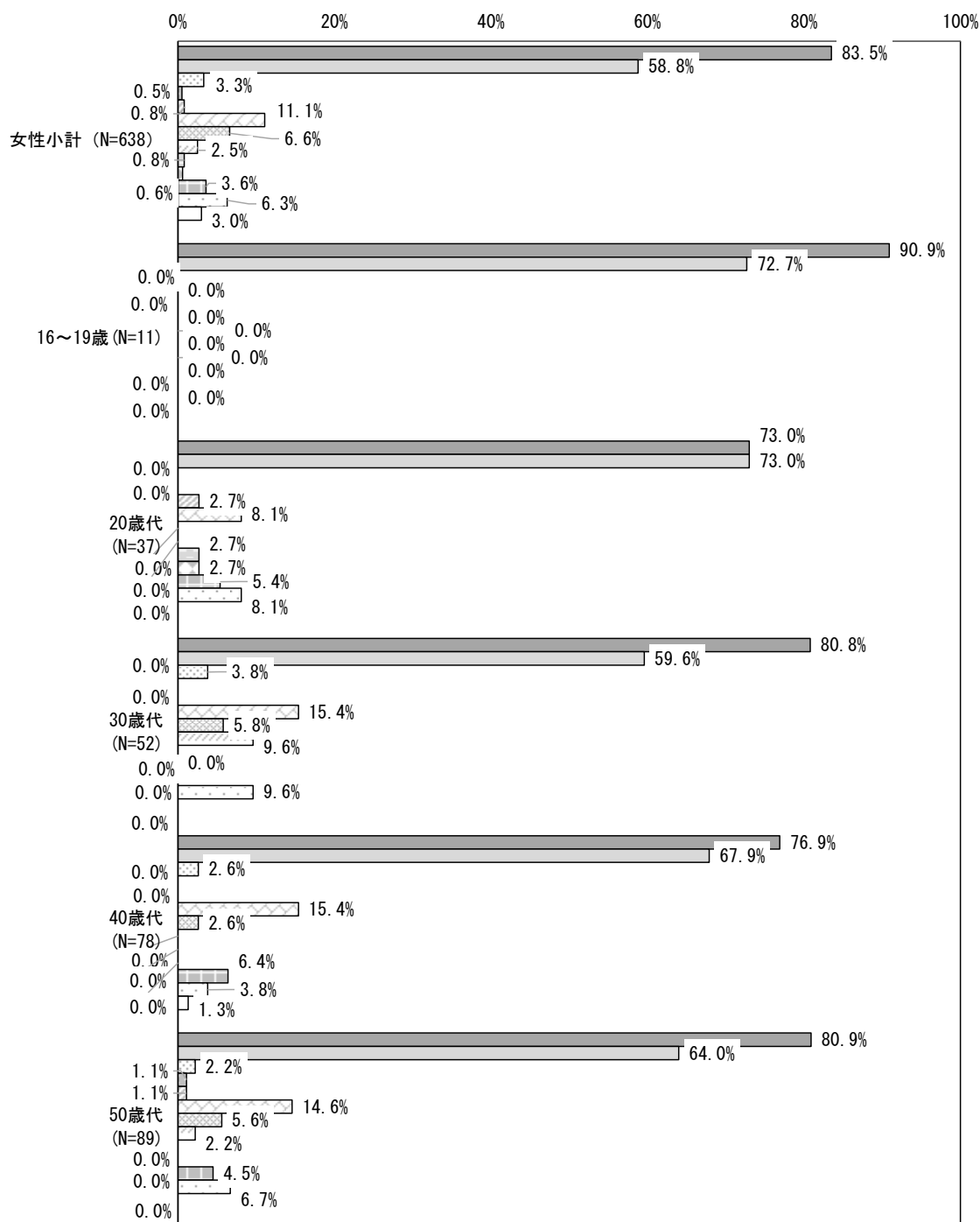
「家族・親戚」の割合が80.3%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が46.4%、「職場の同僚や上司」の割合が11.0%となっている。その他の意見では「資格をもったカウンセラー」「普段利用している職員」などの意見と、「誰にもしない」「人に話さないようにしている」などの意見も挙げられている。

<相談先（全体、男性・年齢別）>

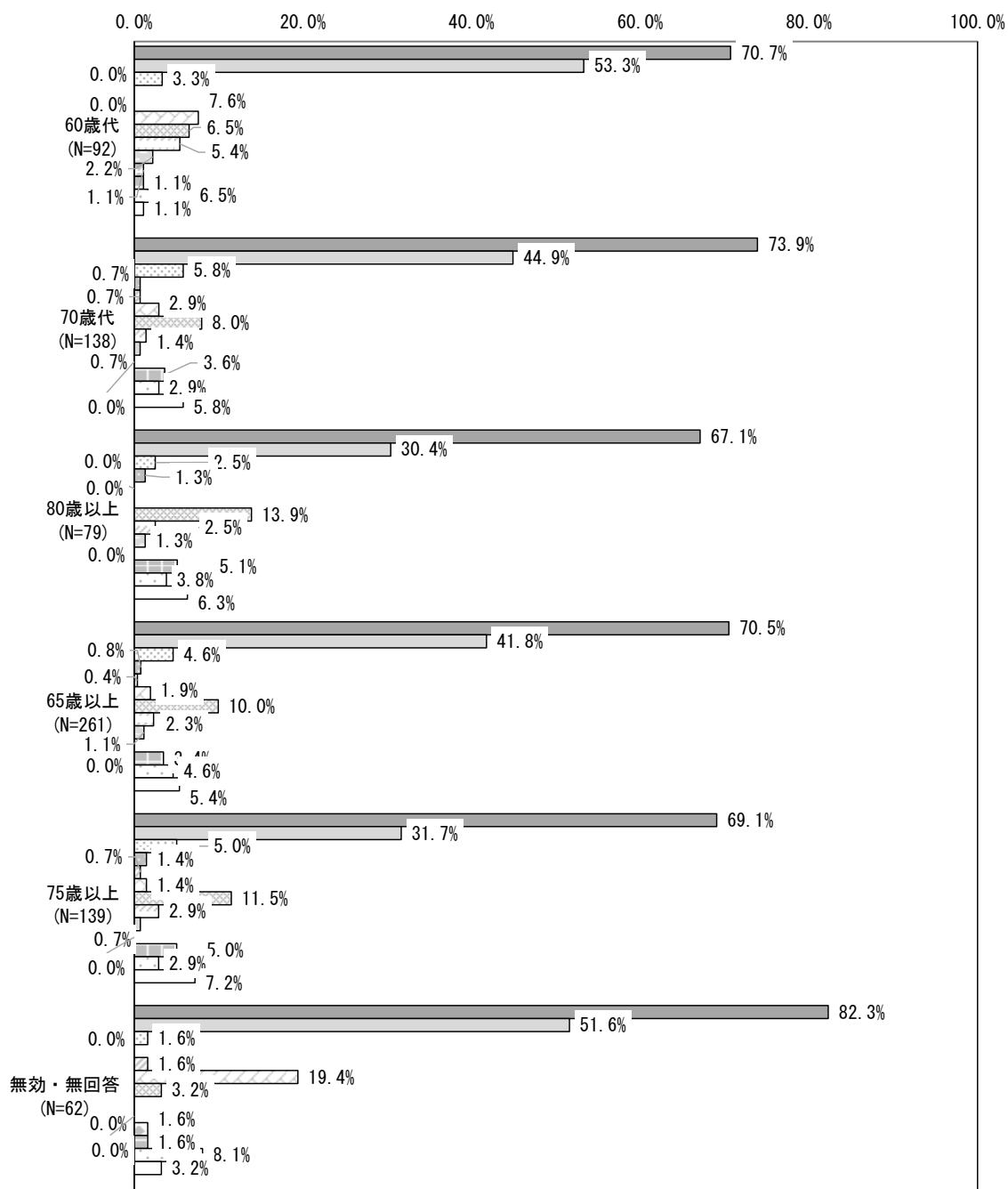




<相談先（女性・年齢別）>



- 家族・親戚
- 友人・知人
- 近隣や地域の方
- 民生委員・児童委員
- 学校の先生
- 職場の同僚や上司
- 医師（一般内科等）
- 医師（精神科・心療内科等）
- 電話での相談（保健所・市役所・電話相談窓口等）
- インターネットでの相談（SNS、〇〇ホットライン等）
- その他
- 誰もいない
- 無効・無回答



問19 あなたは、かかりつけ医（又はかかりつけ医療機関）がいますか（ありますか）。

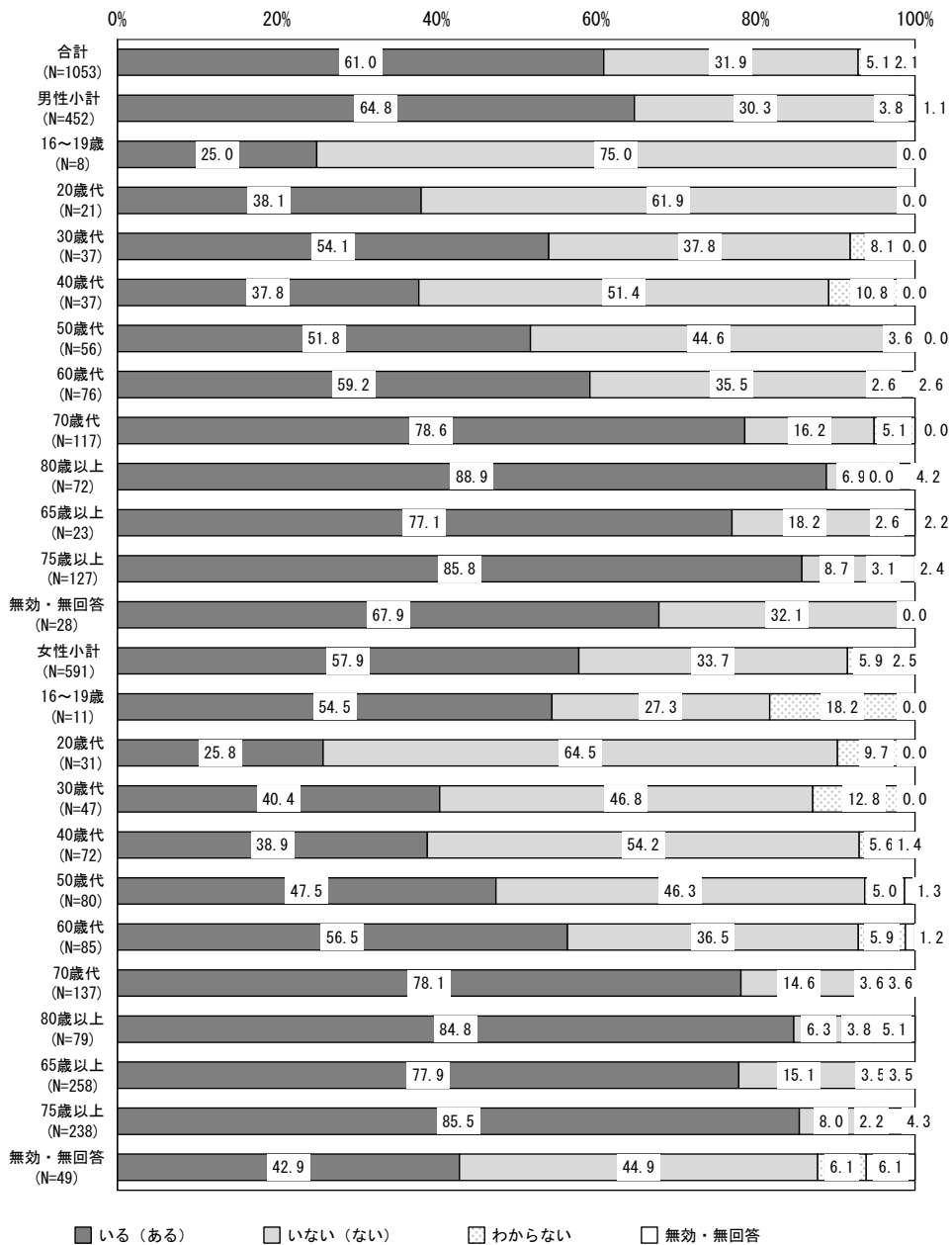
【全体】

「いる（ある）」の割合が61.0%となっている。

【性・年齢別】

「いない（ない）」の割合が高いのは、男性は16～19歳、20歳代、女性は20歳代で概ね6割以上となっている。男女ともに年齢が上がると「いる（ある）」の割合が増えている。

<かかりつけ医（全体、性・年齢別）>



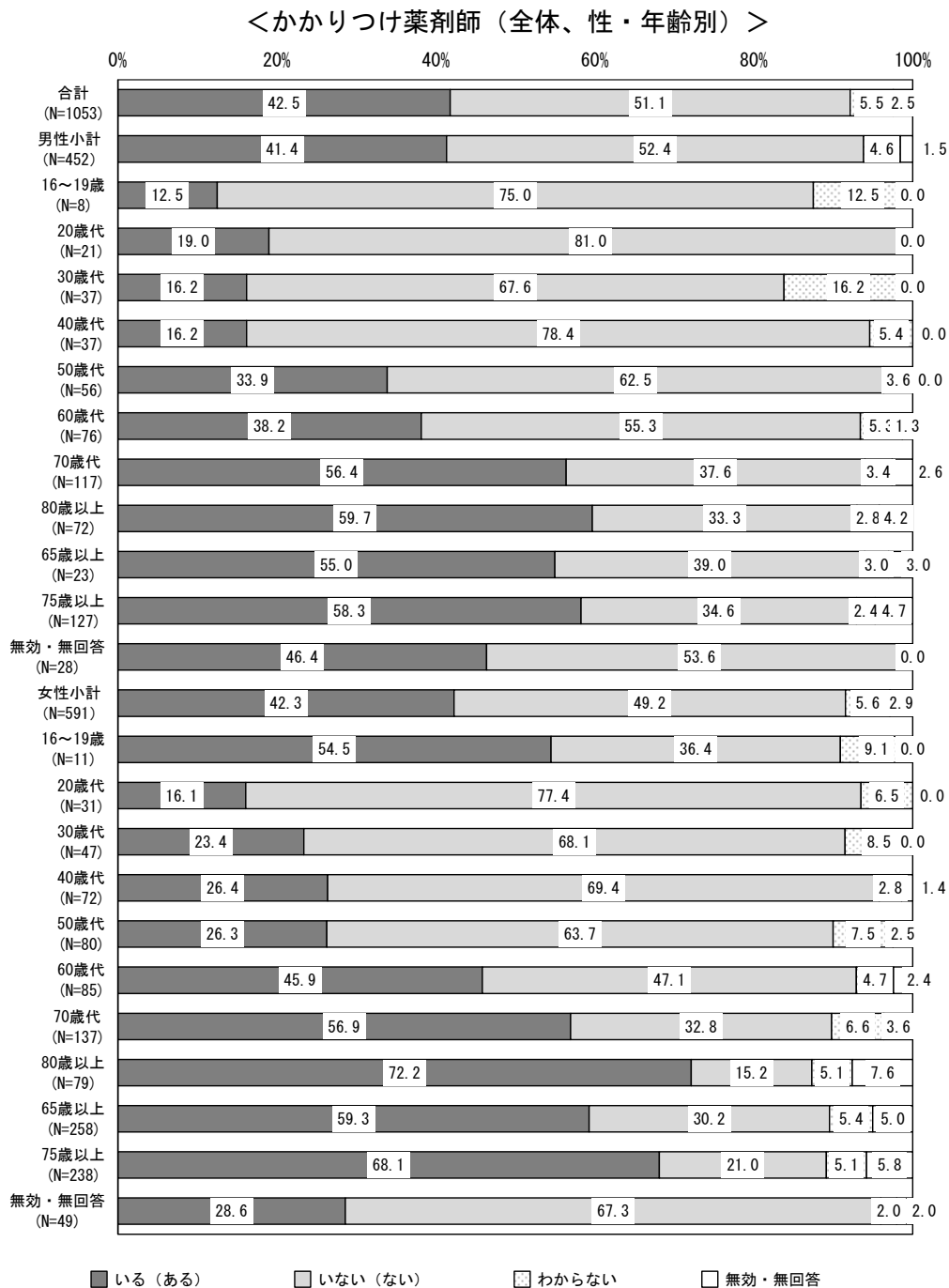
問20 あなたは、かかりつけ薬剤師（又はかかりつけ薬局）がいますか（ありますか）。

【全体】

「いる（ある）」の割合が42.5%となっている。

【性・年齢別】

「いない（ない）」の割合が高いのは、男性は20歳代以下、40歳代、女性は20歳代で7割以上となっている。男性は70歳代、女性は60歳代から「いる（ある）」の割合が増えている。



問 2 1 あなたのお住まいの地域は、お互いに助け合っていると思いますか。

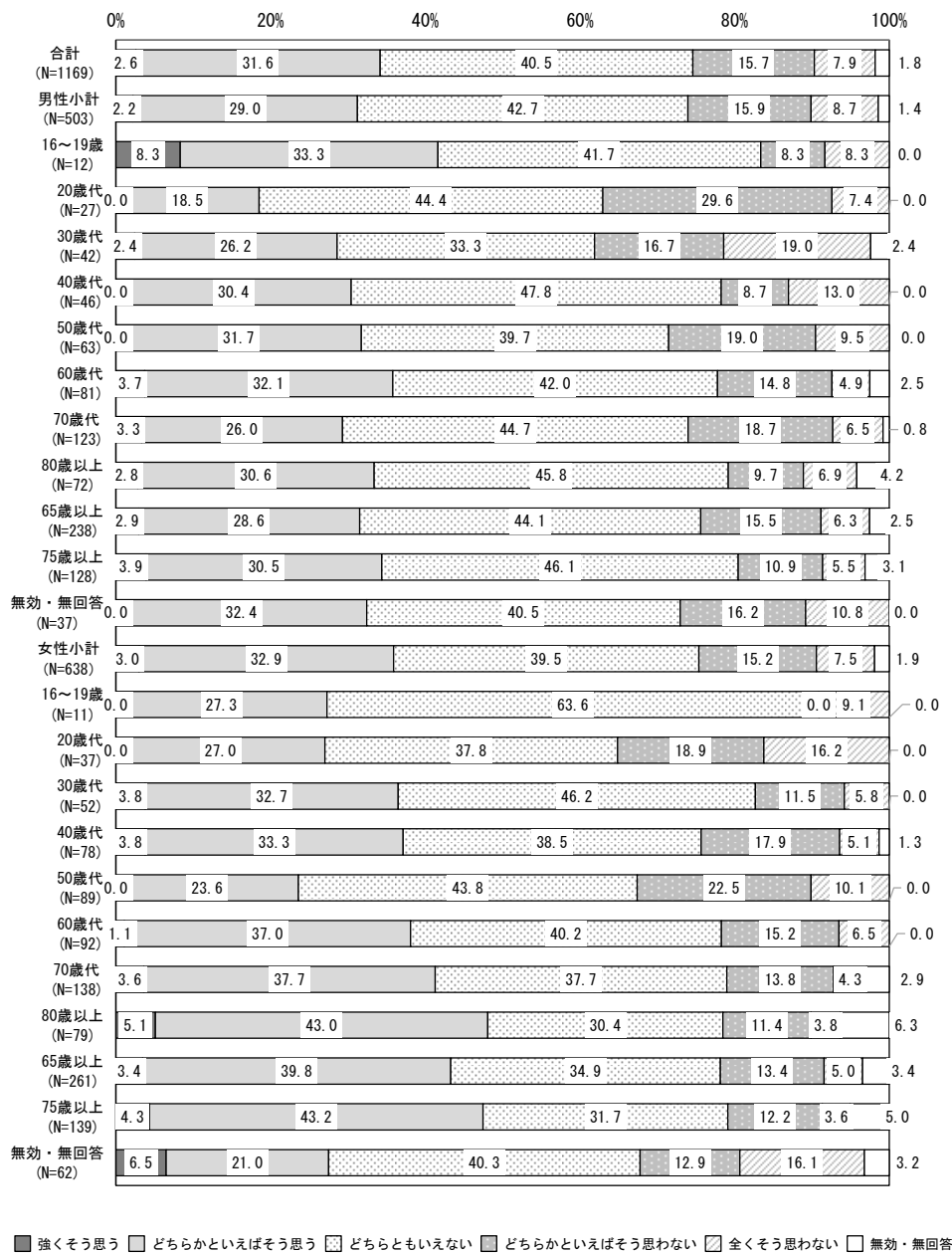
【全体】

「どちらともいえない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 31.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 15.7%となっている。

【性・年齢別】

「強くそう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が高いのは、男性は 16～19 歳、女性は 70 歳代以上で 4 割以上となっている。

<助け合い（全体、性・年齢別）>

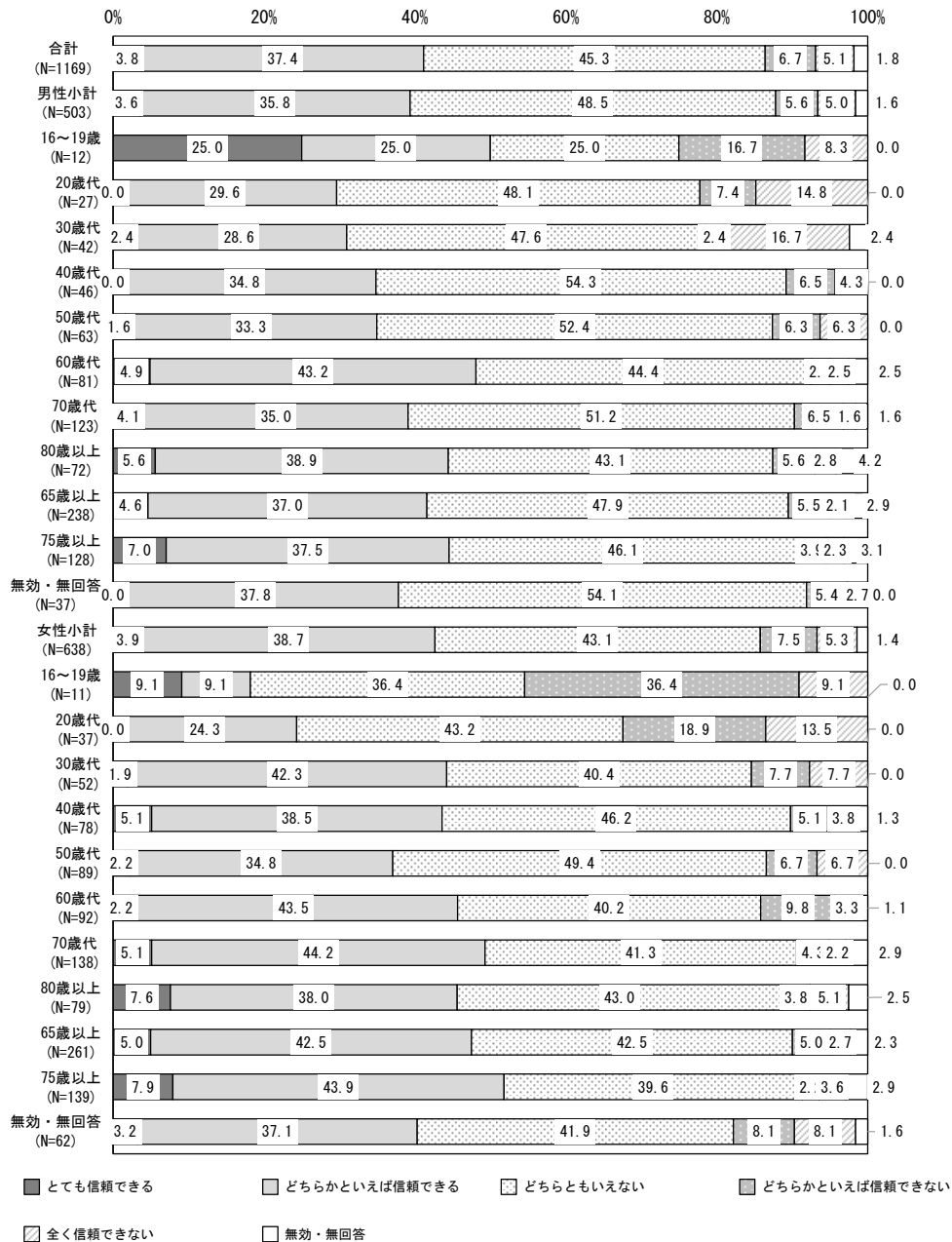


問 2 2 あなたは、近隣の人を一般的に信頼できますか。

【全体】

「どちらともいえない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば信頼できる」の割合が 37.4%、「どちらかといえば信頼できない」の割合が 6.7%となっている。

＜近隣の人への信頼（全体、性・年齢別）＞



問23 あなたは、この1年間で、以下の項目について1つでもボランティア活動をしましたか。

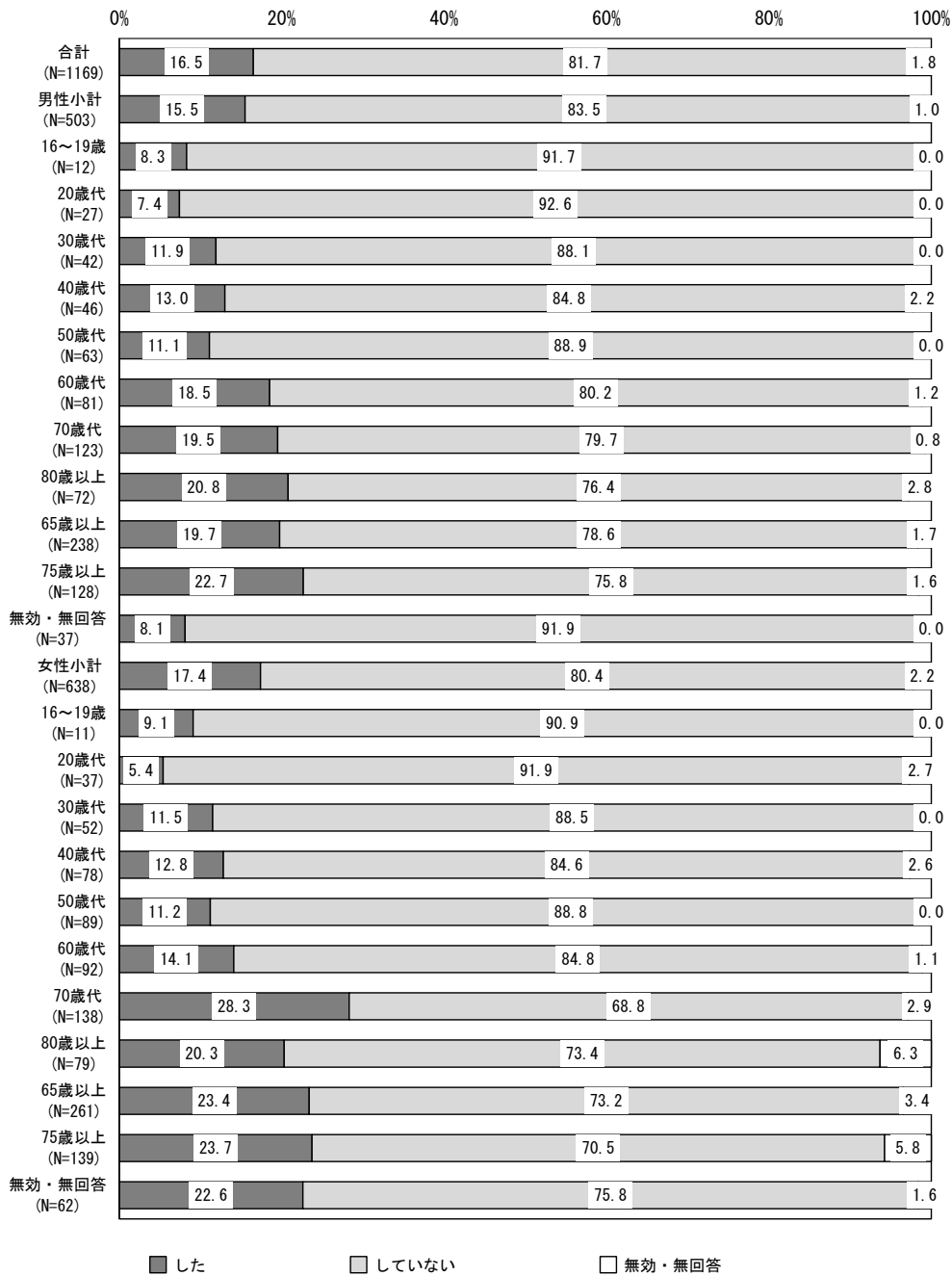
【全体】

「した」の割合が16.5%となっている。

【性・年齢別】

「した」の割合が高いのは、男性は60歳以上、女性は70歳以上となっている。

<ボランティア（全体、性・年齢別）>



問 2 4 あなたは、生活の中で夢中になれることがありますか。

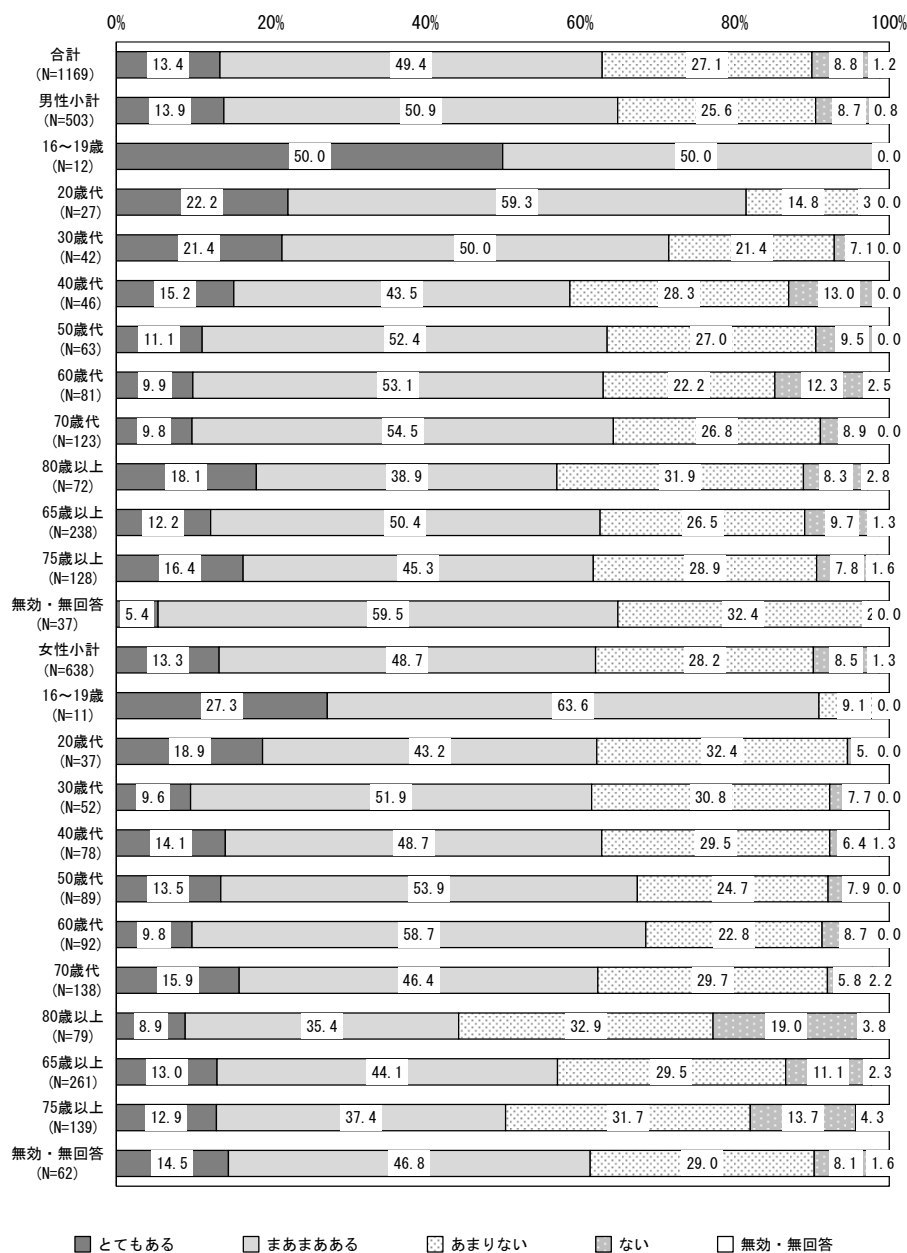
【全体】

「まあまあある」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 27.1%、「とてもある」の割合が 13.4%となっている。

【性・年齢別】

「とてもある」、「まあまあある」の割合が高いのは、男性で 16～19 歳、20 歳代、女性は 16～19 歳であり、8 割を上回っている。

<夢中になれること（全体、性・年齢別）>



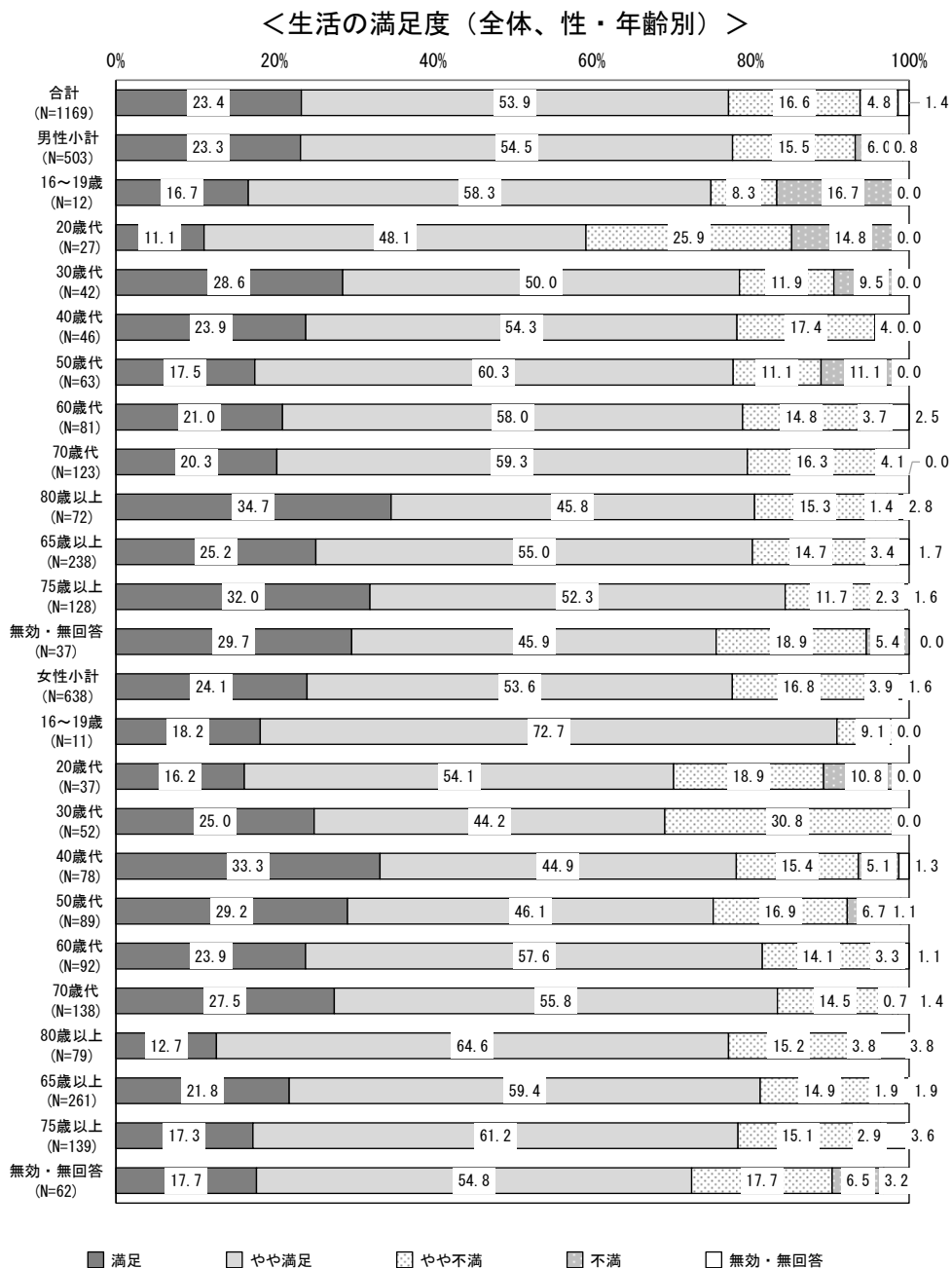
問 2 5 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

【全体】

「やや満足」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「満足」の割合が 23.4%、「やや不満」の割合が 16.6%となっている。

【性・年齢別】

「満足」、「やや満足」の割合が高いのは、男性は 80 歳以上、女性は 16～19 歳、60 歳代、70 歳代であり、8 割を上回っている。



3. 健康づくりについて

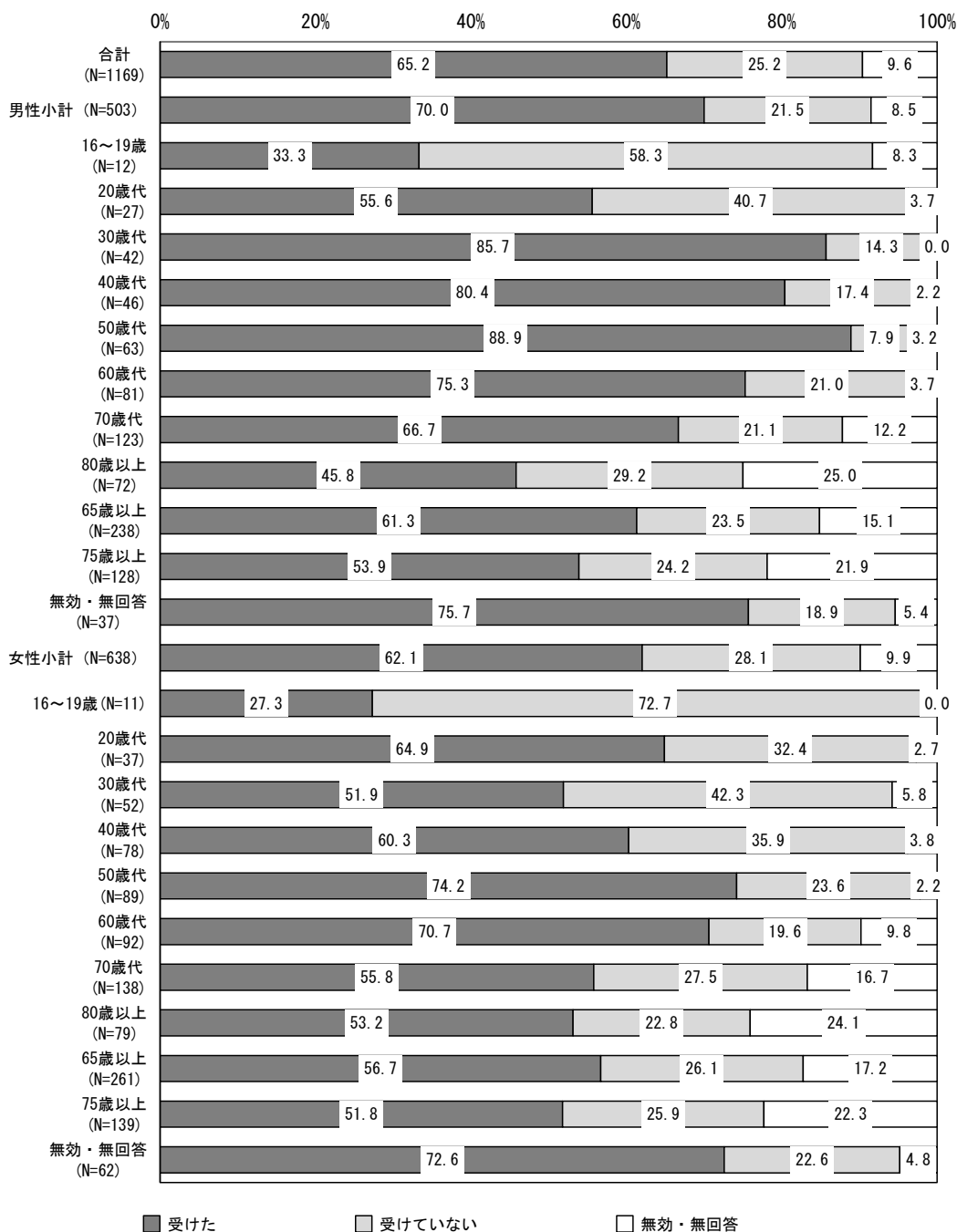
問26 あなたは、この1年間に次の検診（健診）を受けましたか。受診の有無や検診種別（どのような機会に受けたか）について、あてはまるものに○をしてください。

※がん検診については、健康診断、健康診査及び人間ドックの中で受診したものを含みます。

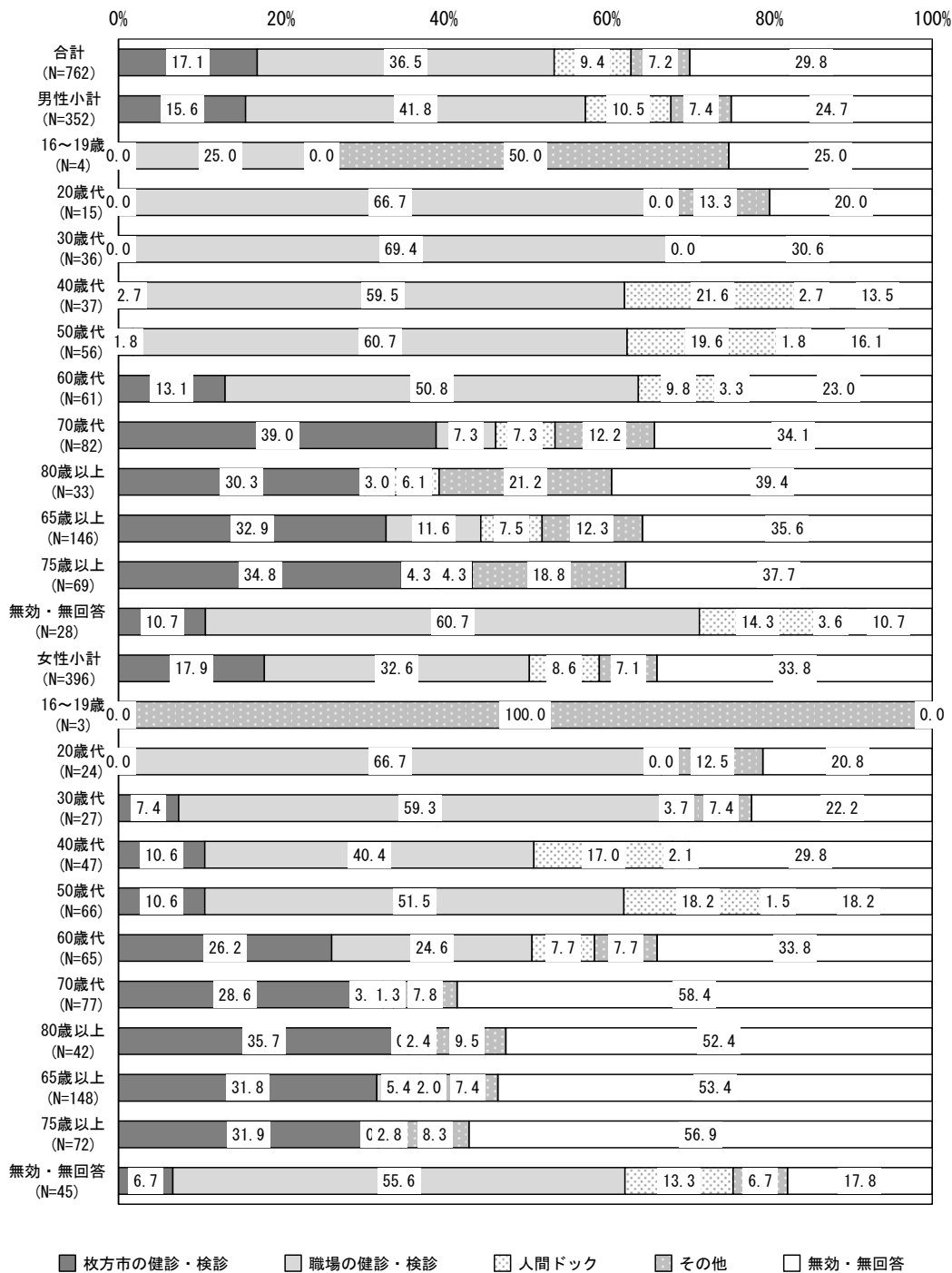
- (1) 住民健診、職場健診、特定健康診査、人間ドック、後期高齢者医療健康診査等
※身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査など

「受けた」の割合 65.2%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「枚方市の健診・検診」の割合が 17.1% となっている。

< 受診の有無（全体、性・年齢別） >



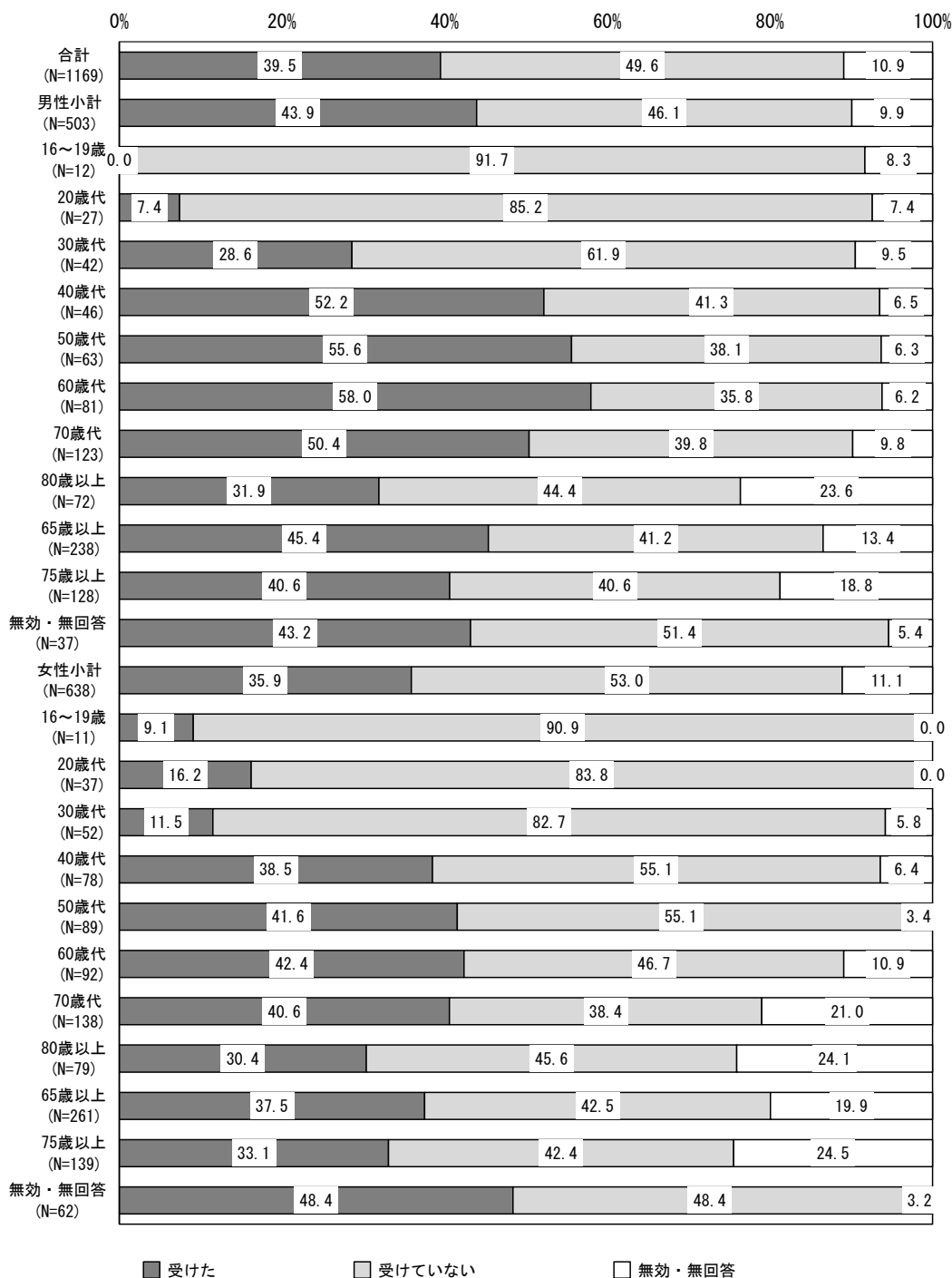
< 検診種別（全体、性・年齢別） >



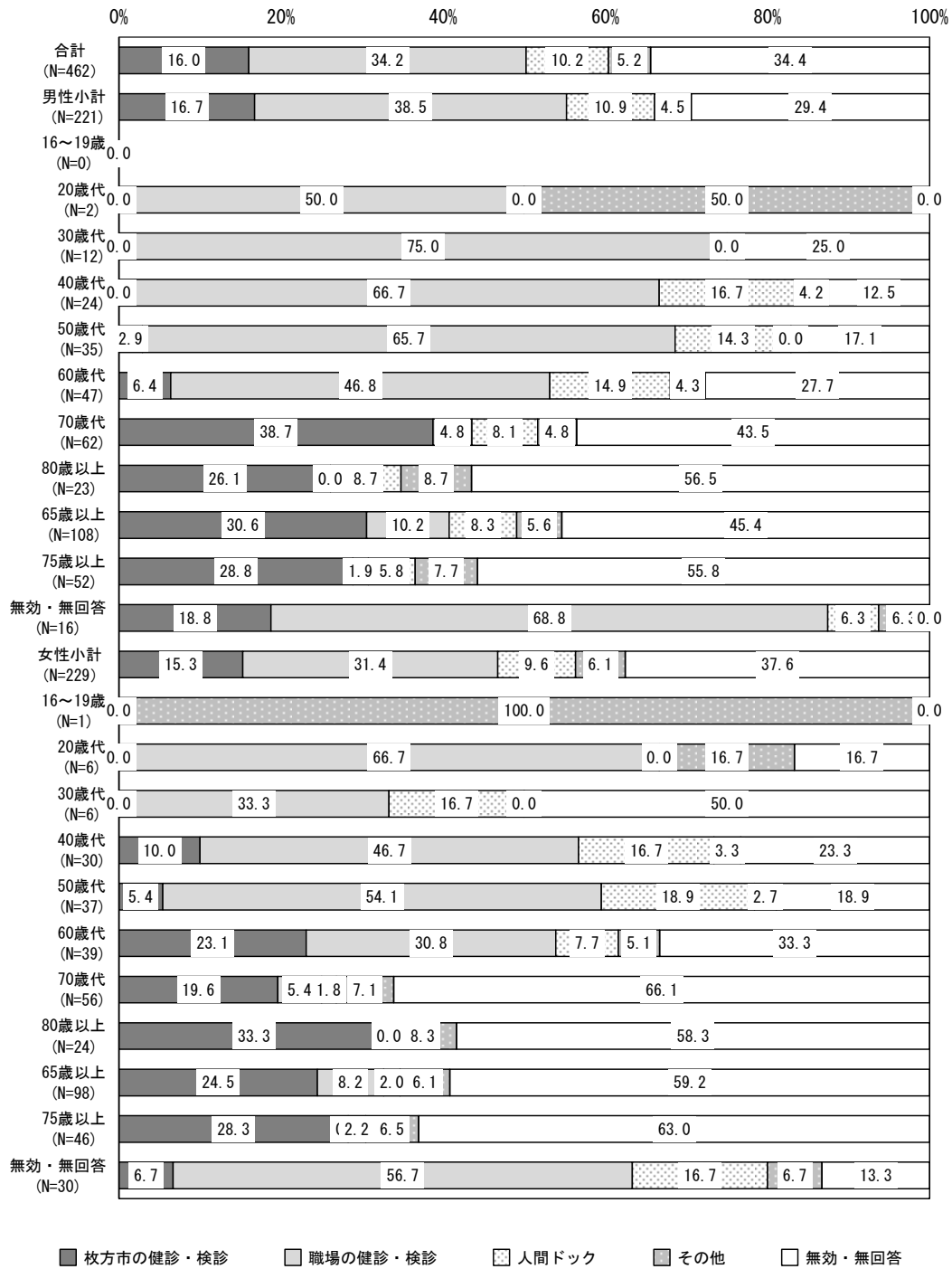
(2) 肺がん検診

「受けた」の割合が39.5%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が34.2%と最も高く、次いで「枚方市の健診・検診」の割合が16.0%となっている。

＜受診の有無（全体、性・年齢別）＞



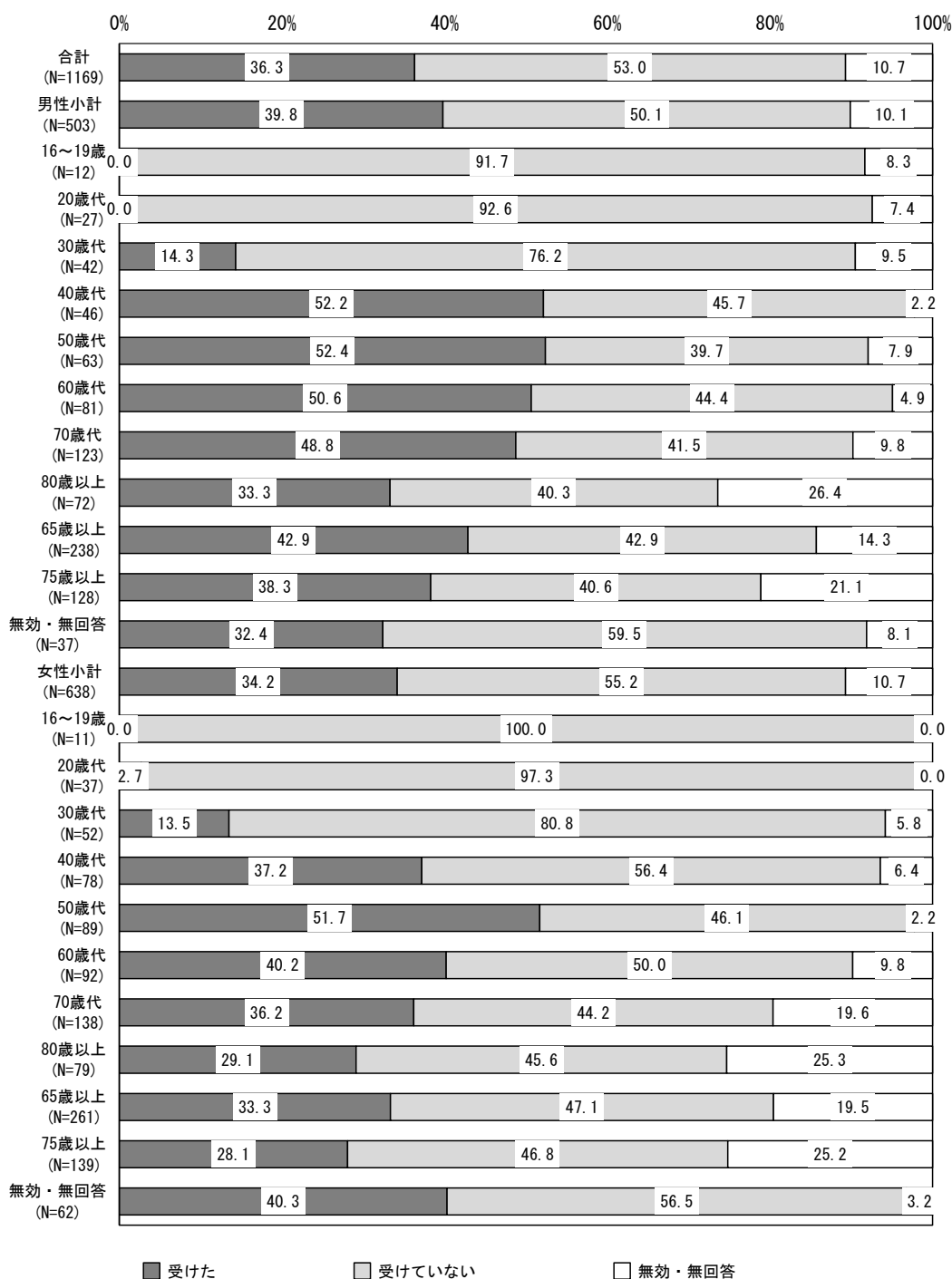
< 検診種別（全体、性・年齢別） >



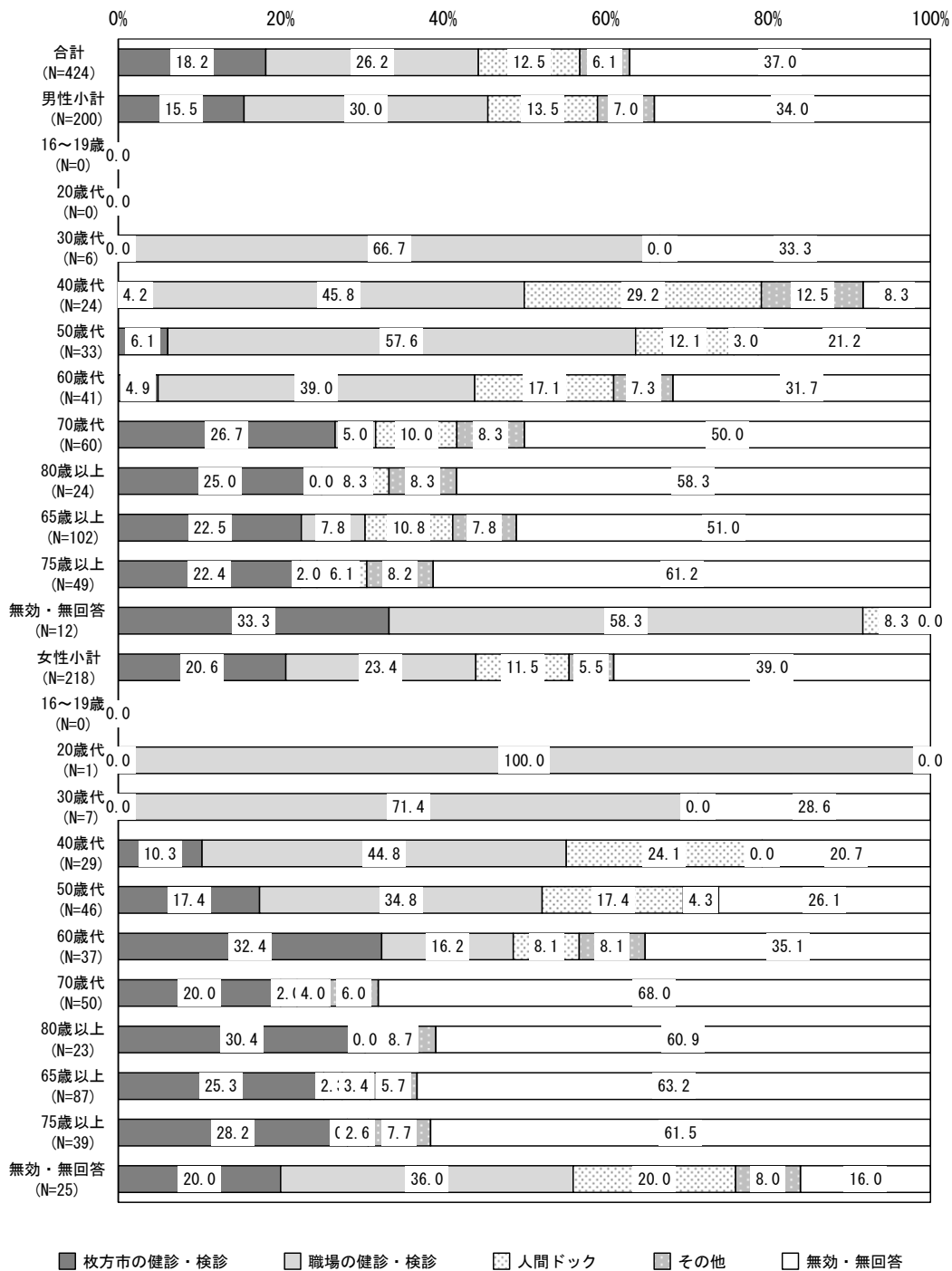
(3) 大腸がん検診

「受けた」の割合が 36.3%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「枚方市の健診・検診」の割合が 18.2%となっている。

< 受診の有無（全体、性・年齢別） >



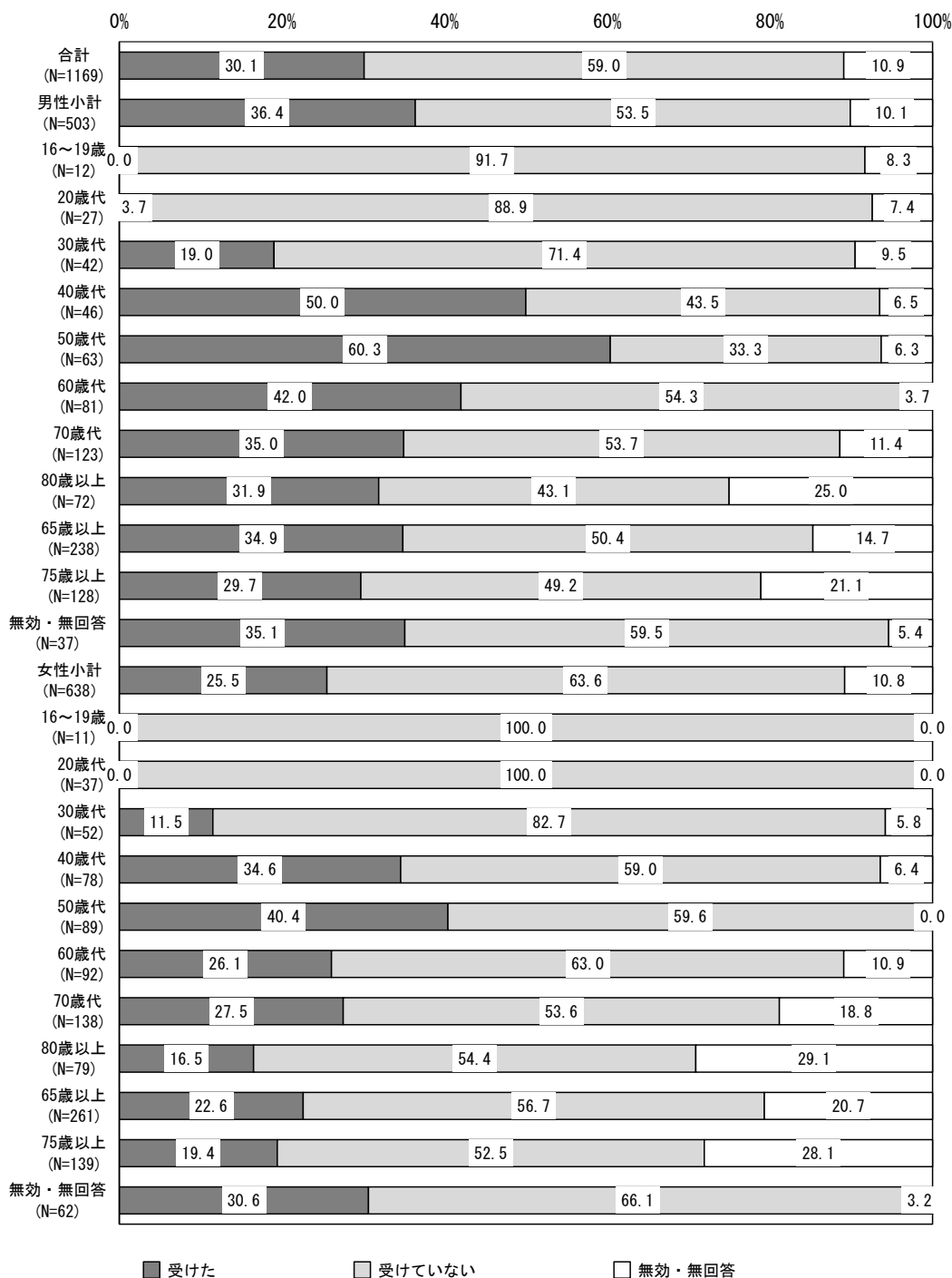
< 検診種別（全体、性・年齢別） >



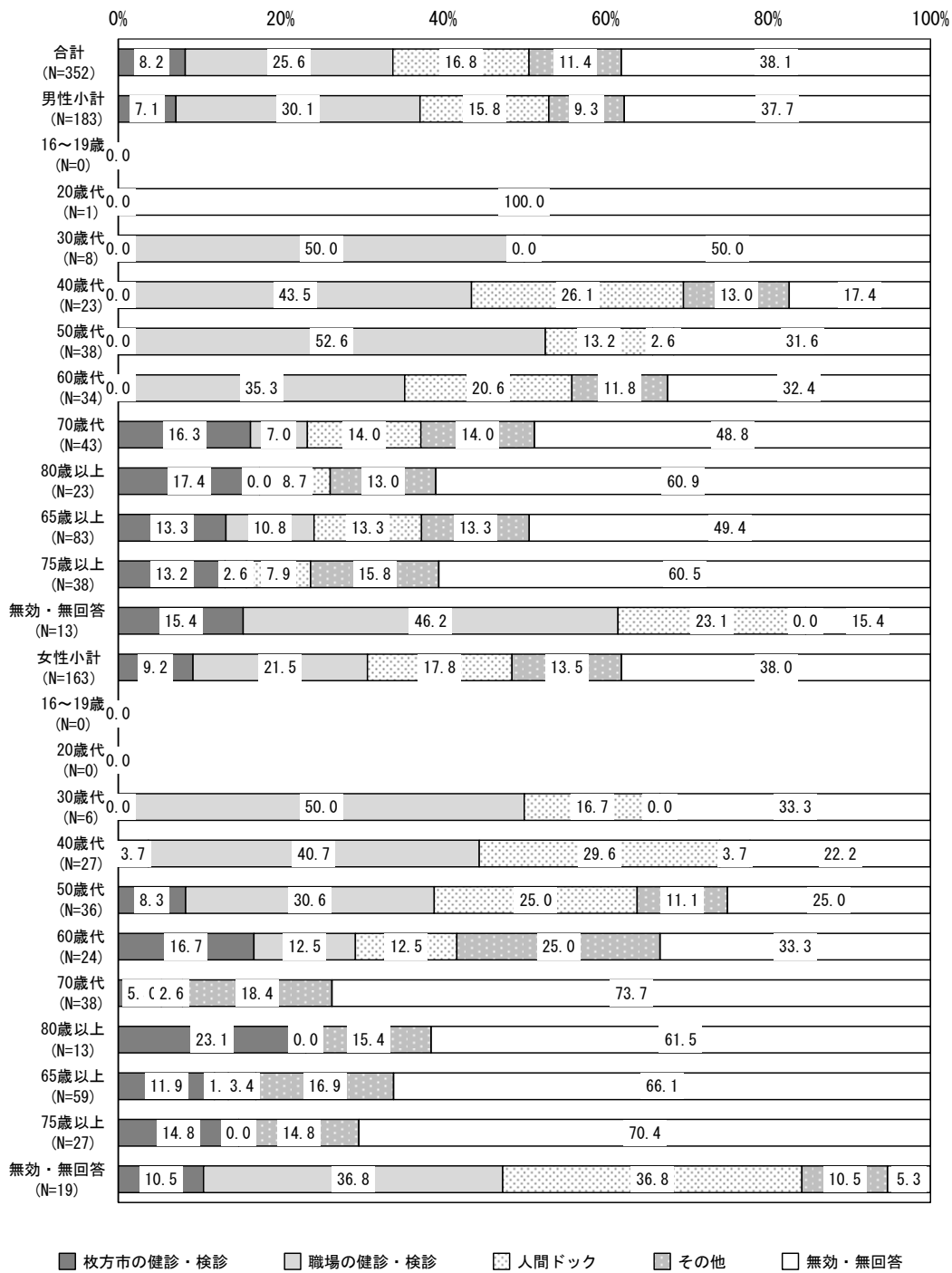
(4) 胃がん健診

「受けた」の割合が 30.1%となっている。検診種別は、「職場の健診・検診」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「人間ドック」の割合が 16.8%となっている。

<受診の有無（全体、性・年齢別）>

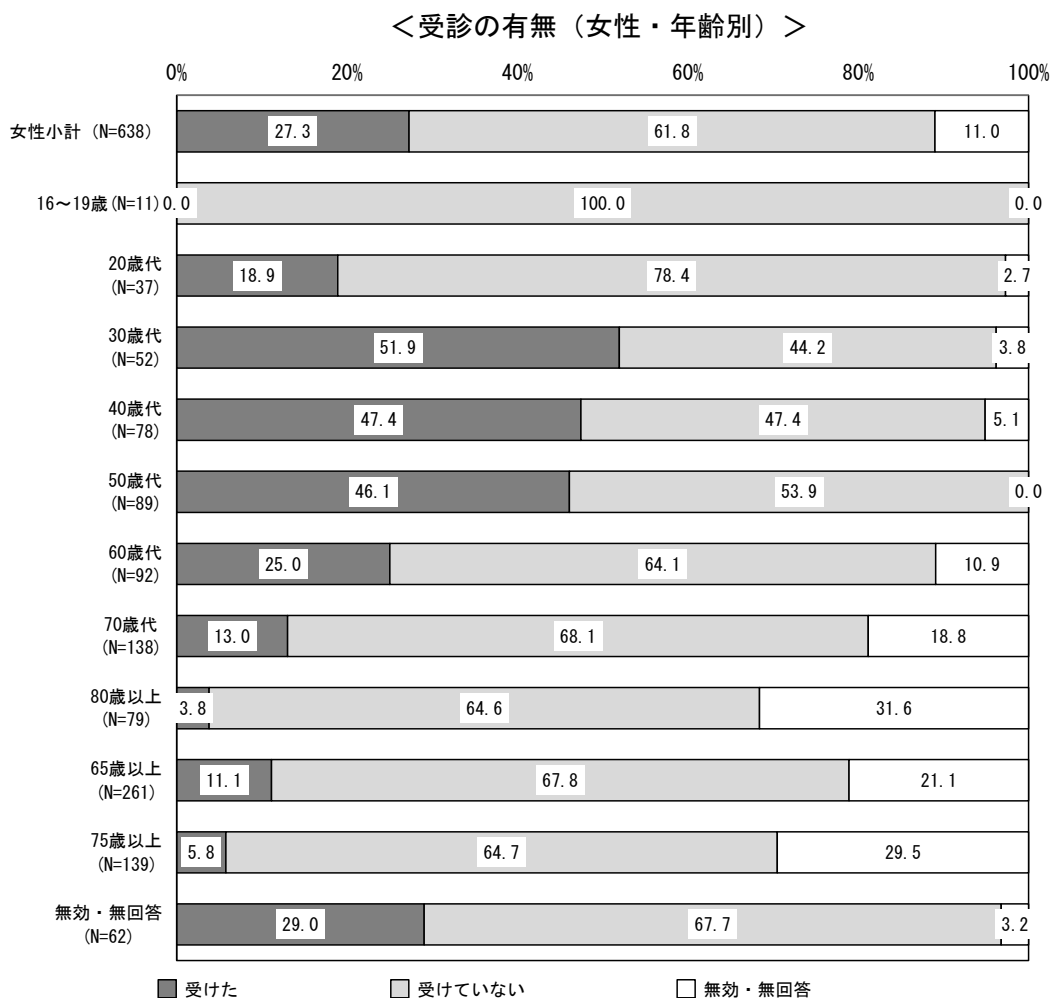


< 検診種別（全体、性・年齢別） >

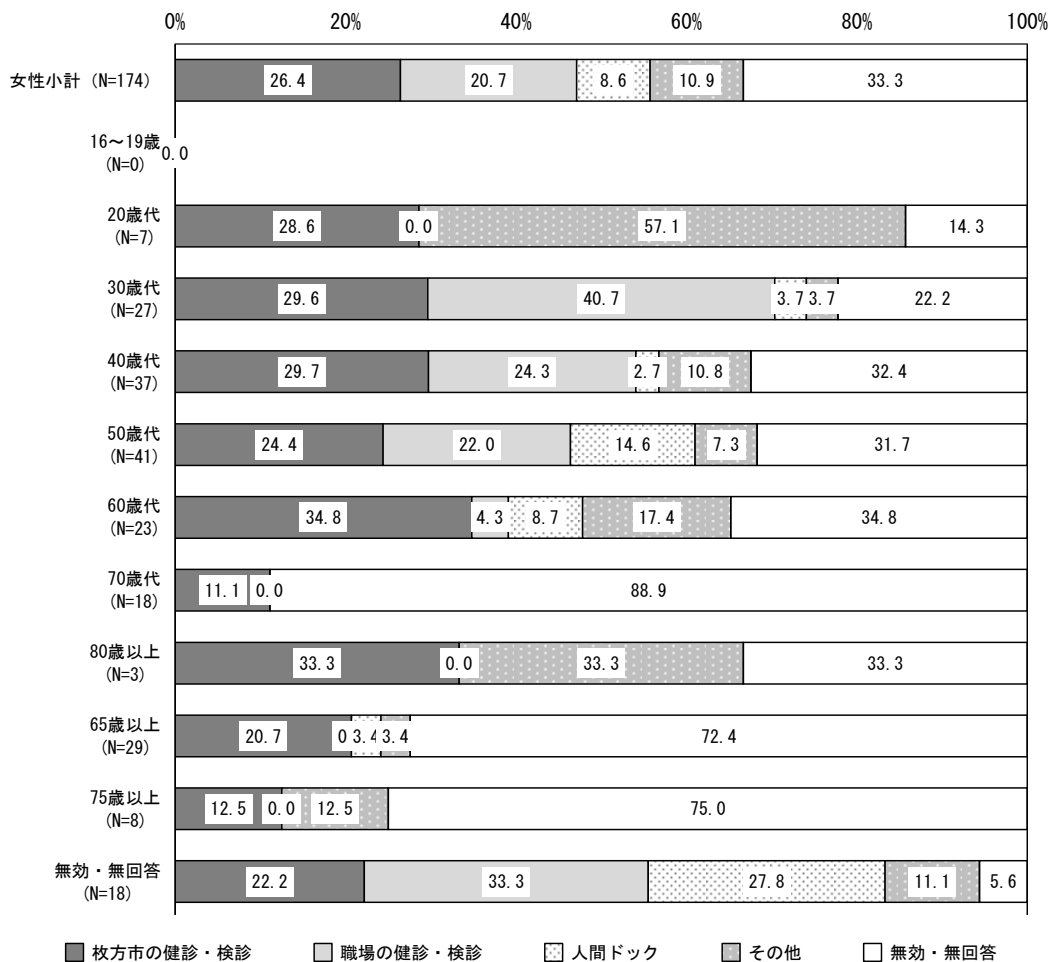


(5) 子宮頸がん検診

「受けた」の割合が 27.3%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「職場の健診・検診」の割合が 20.7%となっている。

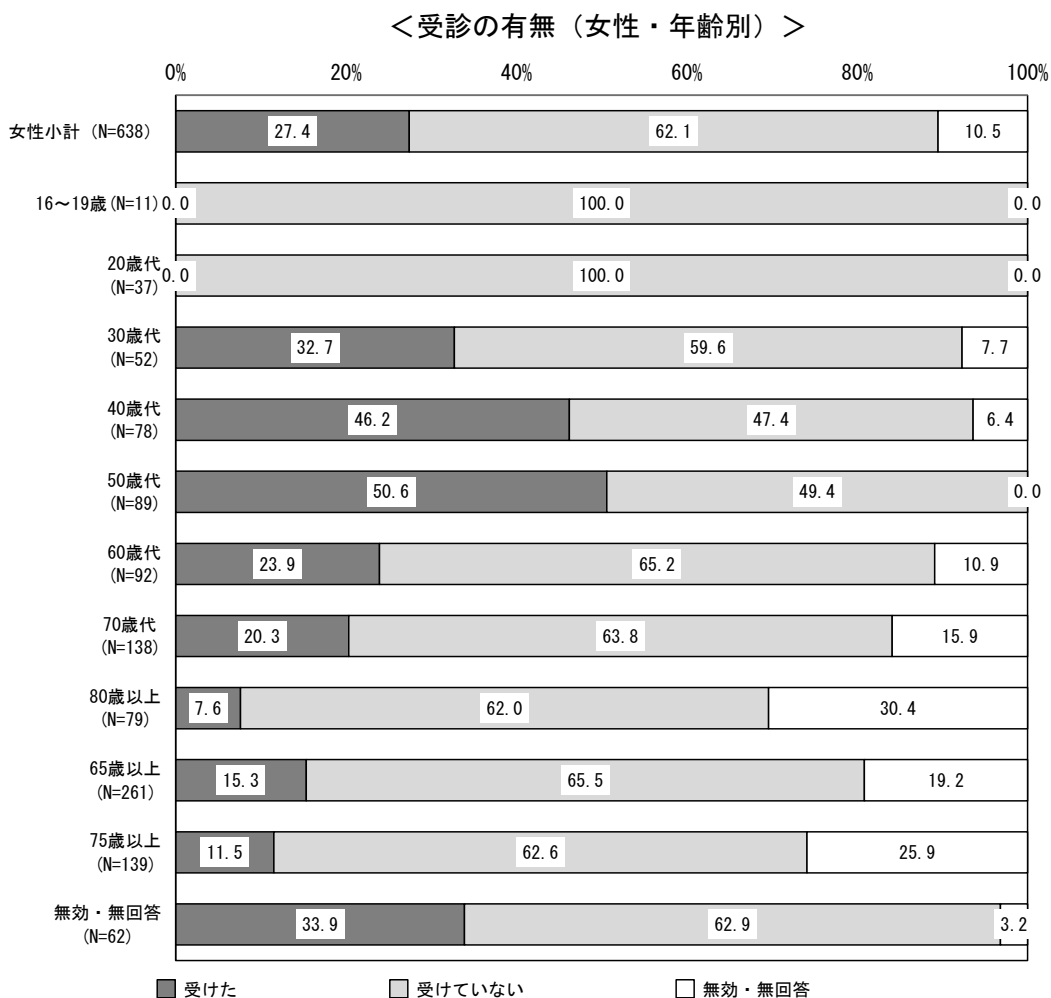


＜検診種別（女性・年齢別）＞

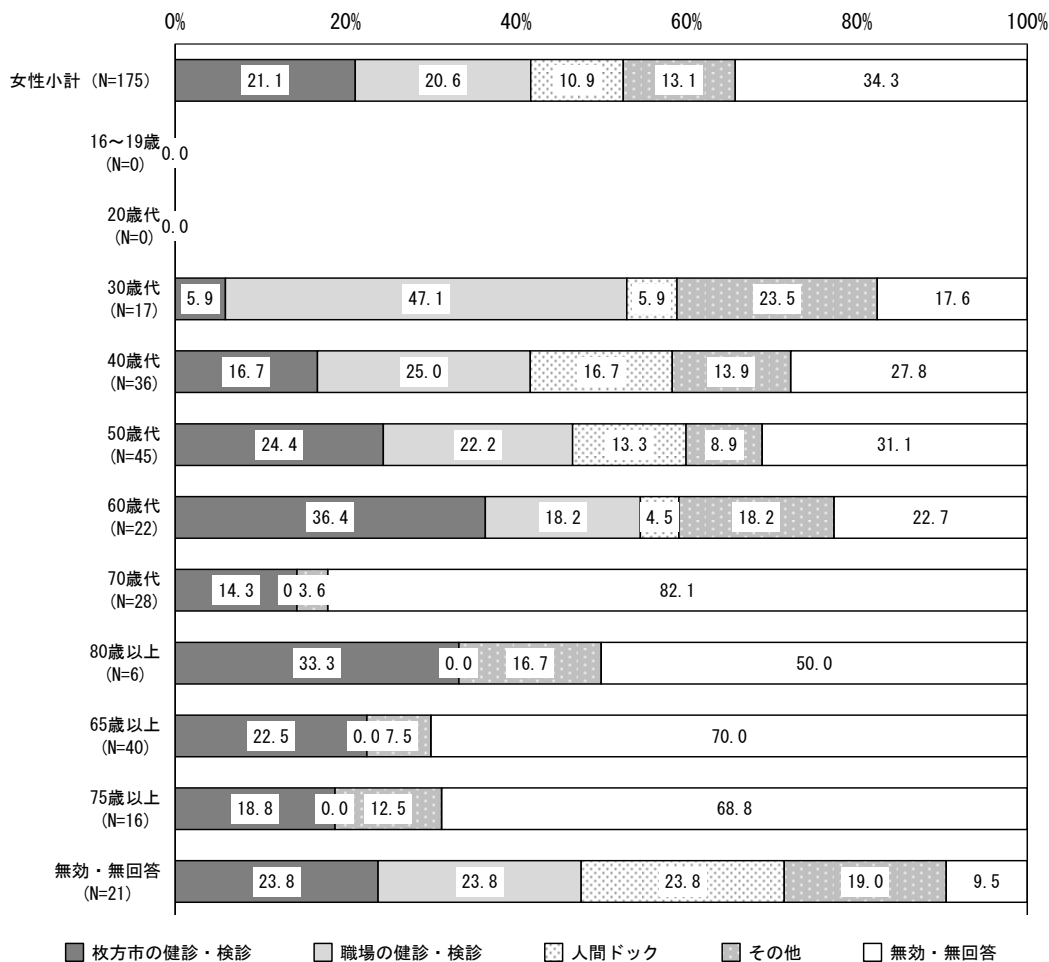


(6) 乳がん検診

「受けた」の割合が 27.1%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「職場の健診・検診」の割合が 20.6% となっている。

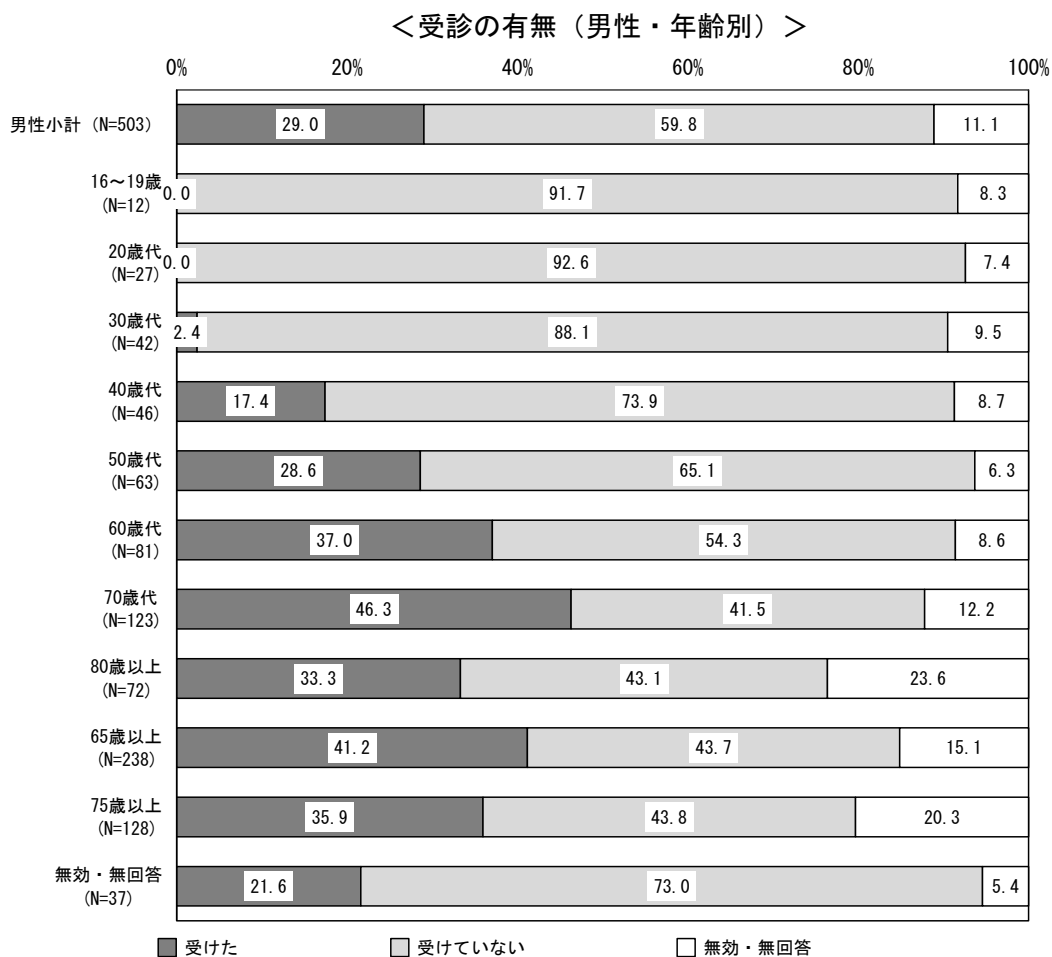


＜検診種別（女性・年齢別）＞

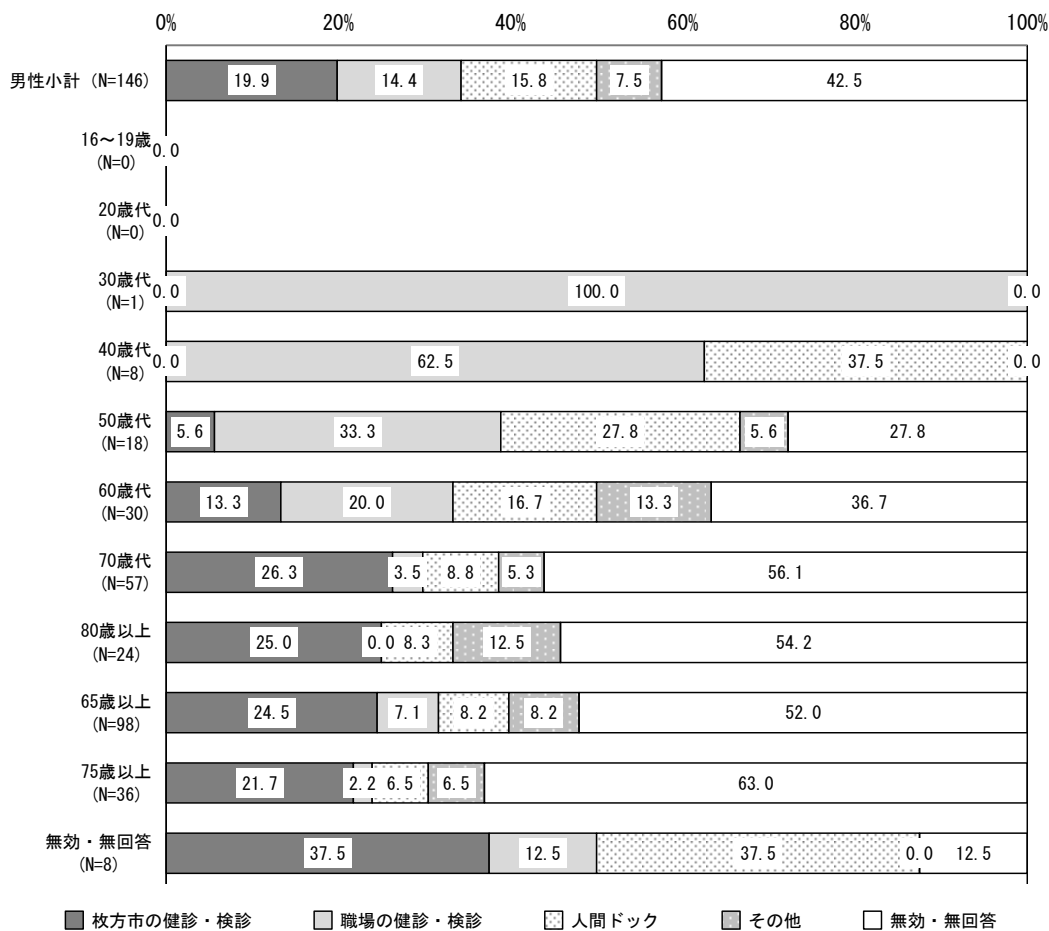


(7) 前立腺がん検診

「受けた」の割合が 29.0%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が 19.9%と最も高く、次いで「人間ドック」の割合が 15.8% となっている。



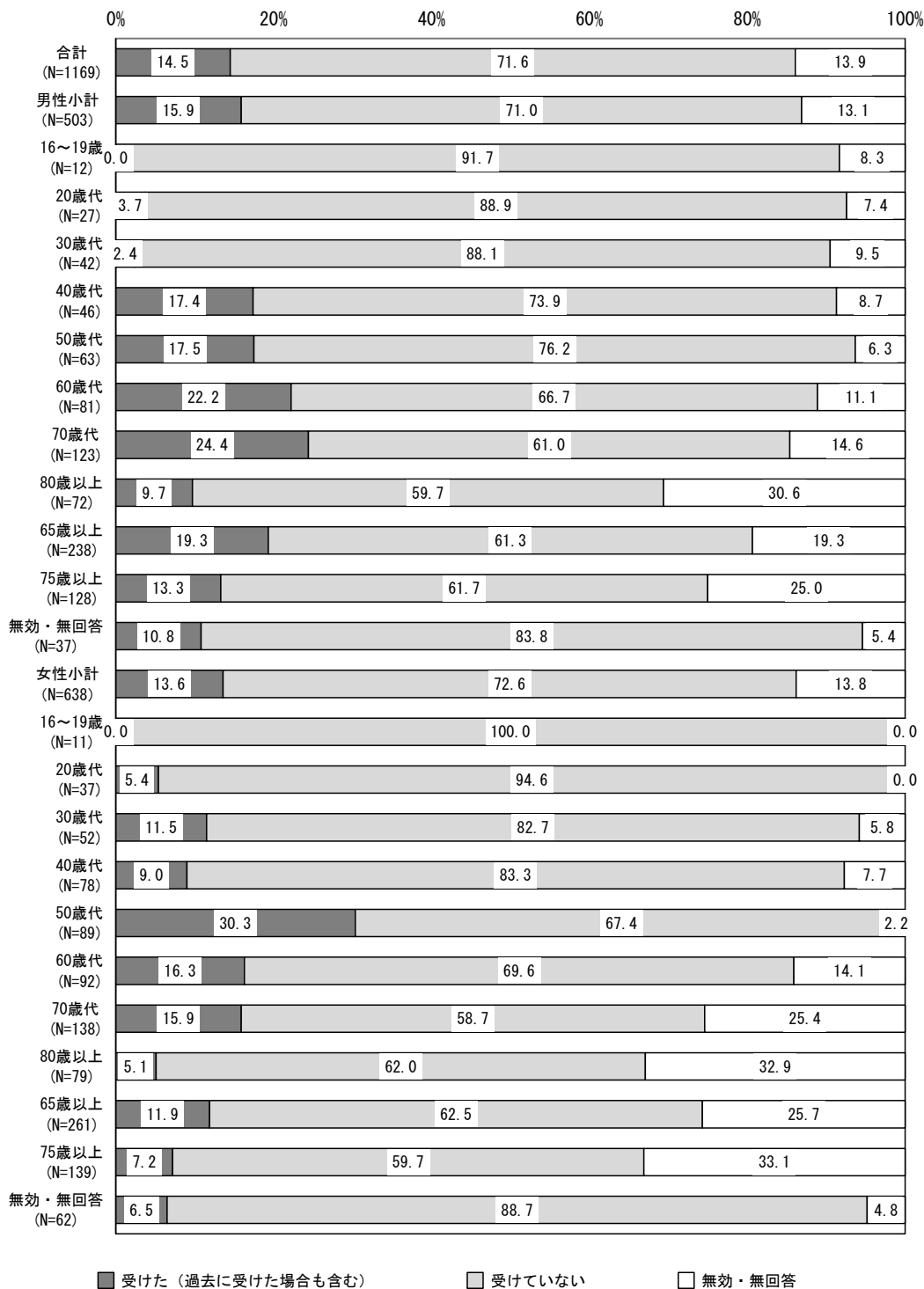
<検診種別（男性・年齢別）>



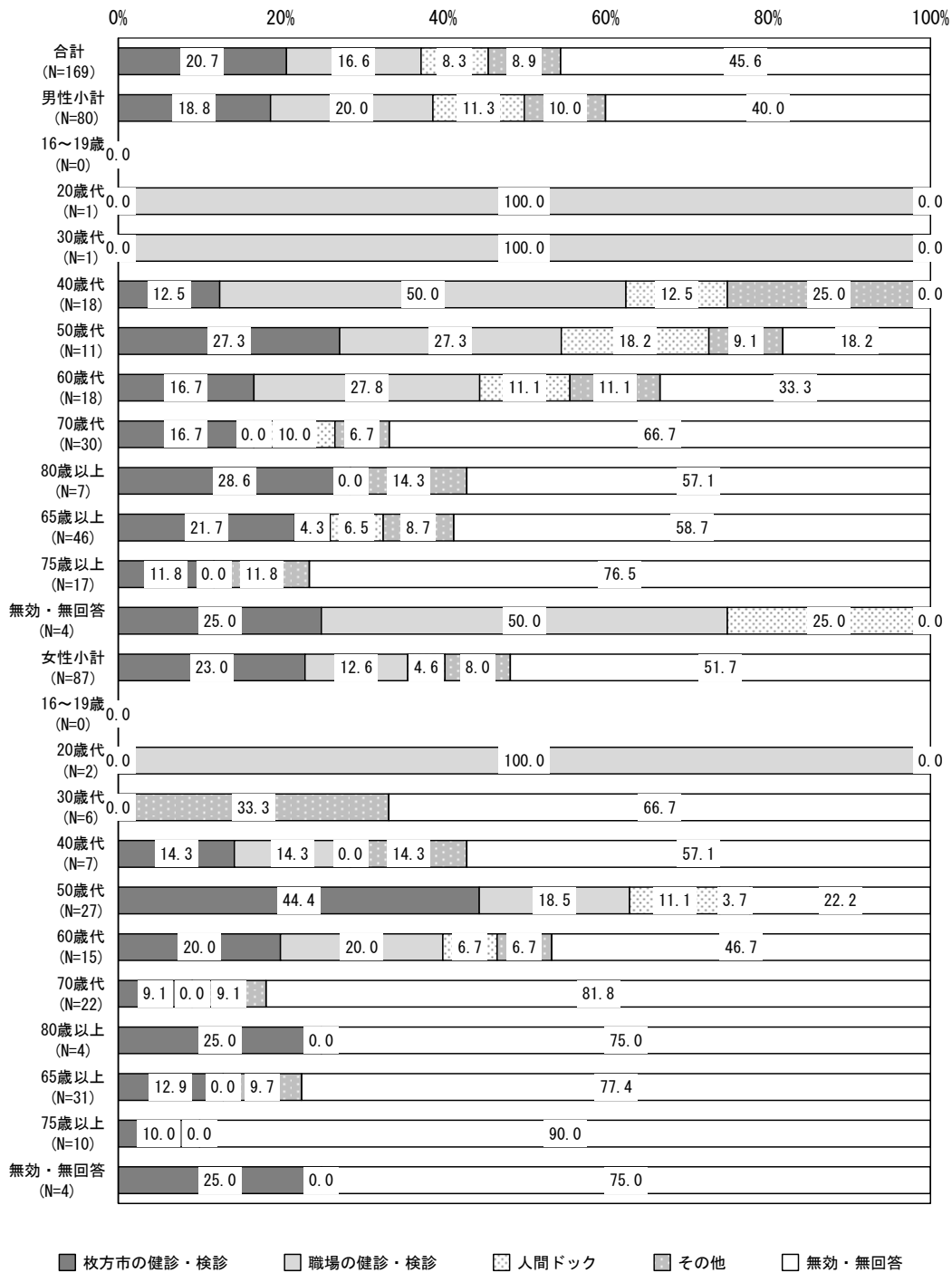
(8) 肝炎ウイルス健診

「受けた」の割合が14.5%となっている。検診種別は、「枚方市の健診・検診」の割合が20.7%と最も高く、次いで「職場の健診・検診」の割合が16.6%となっている。

<受診の有無（全体、性・年齢別）>



< 検診種別（全体、性・年齢別） >



4. 歯と口腔の健康について

問27 食べる時の状態についてお答えください。

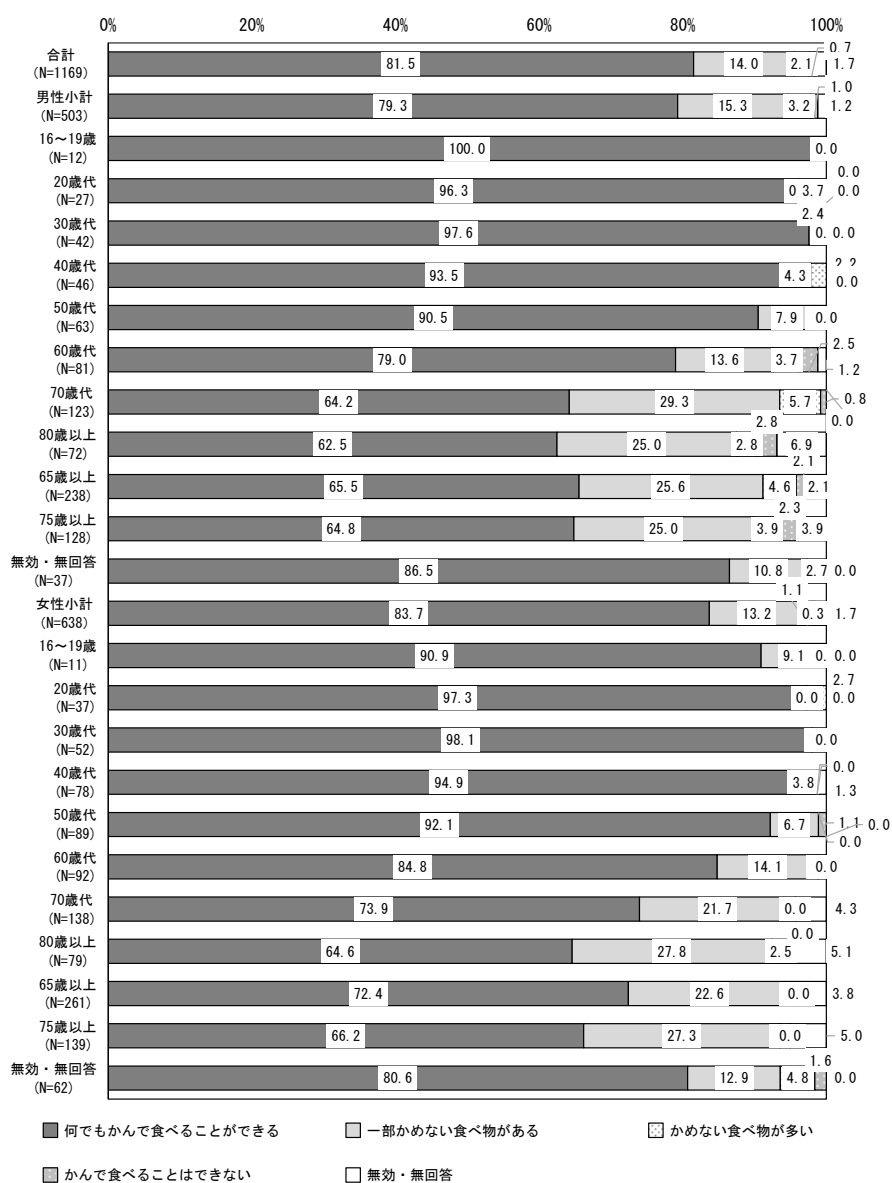
【全体】

「何でもかんで食べることができる」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」の割合が 14.0%、「かめない食べ物が多い」の割合が 2.1%となっている。

【性・年齢別】

「一部かめない食べ物がある」の割合が高いのは、男女ともに 70 歳以上であり、2 割を上回っている。

<食べる時の状態（全体、性・年齢別）>



問 2 8 食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、食事中にむせたりすることがありますか。

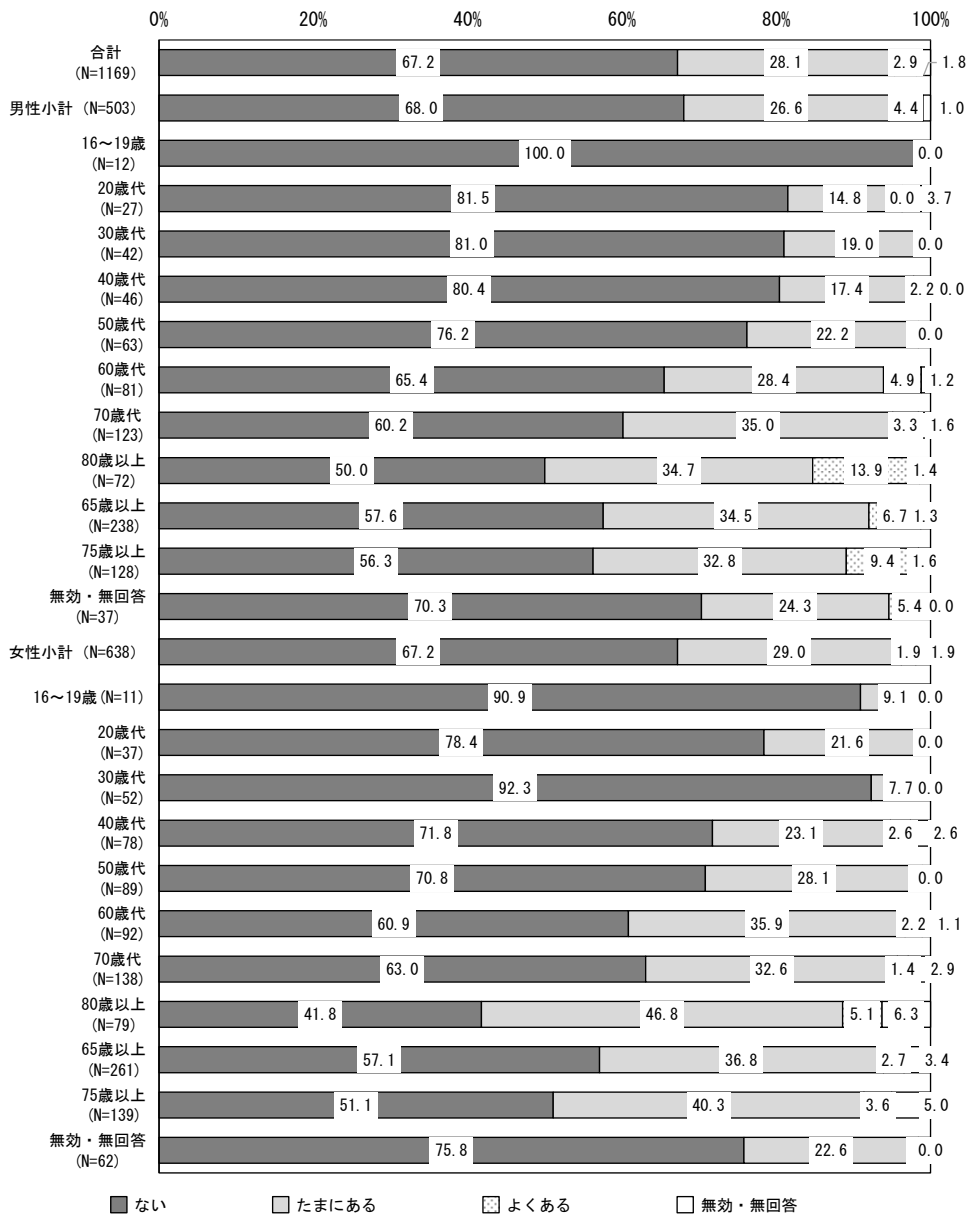
【全体】

「ない」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が 28.1%、「よくある」の割合が 2.9%となっている。

【性・年齢別】

「たまにある」、「よくある」の割合が高いのは、男女ともに 60 歳以上であり、3 割を上回っている。

< 飲食のしにくさ・食事中にむせる (全体、性・年齢別) >



問 2 9 現在のご自身の歯の本数について教えてください。

(さし歯はあなたの歯の本数に含みます。親知らず、入れ歯、インプラントは含みません。歯の総数は、上下14本ずつ合計28本が一般的ですが、28本より多かたり、少なかたりすることもあります。)

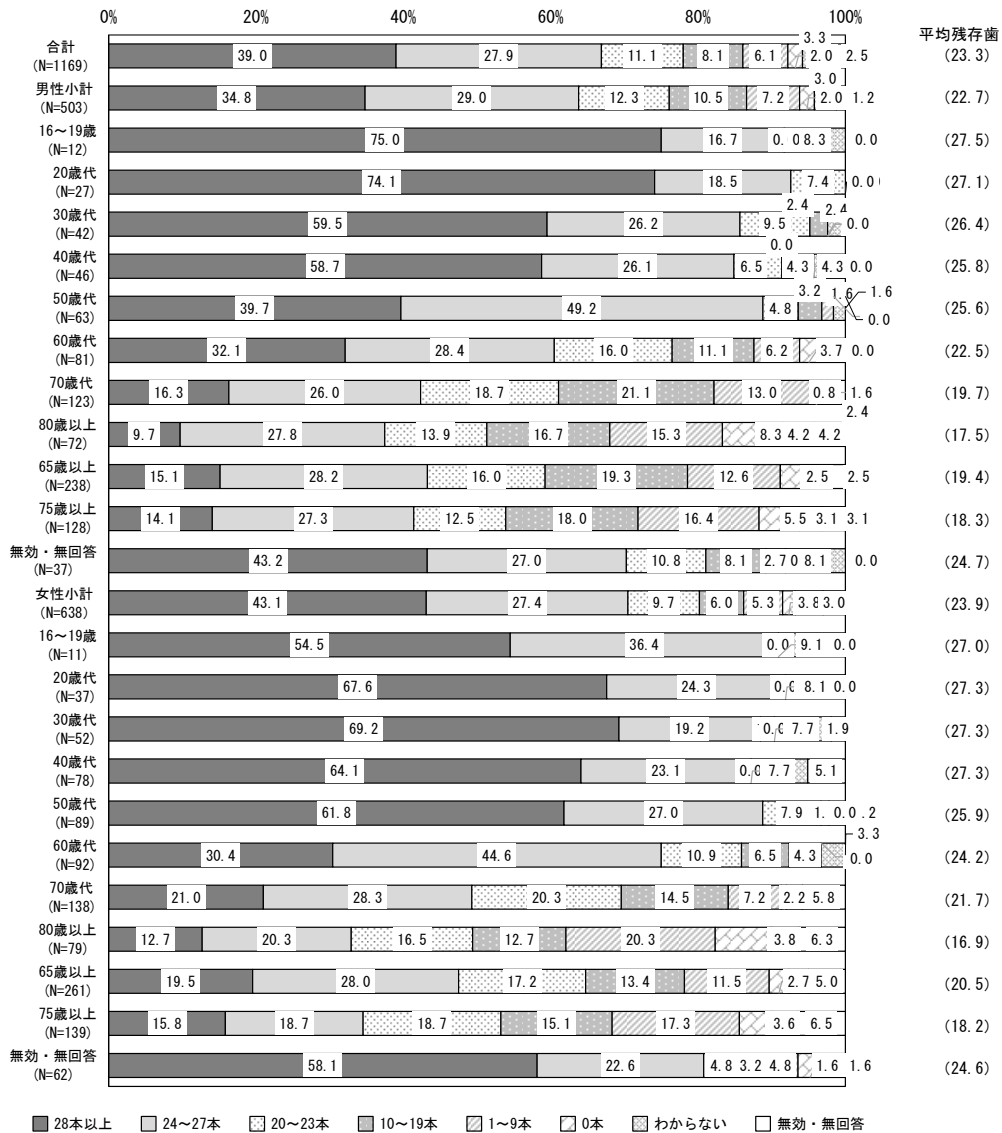
【全体】

「28本以上」の割合が39.0%と最も高く、次いで「24~27本」の割合が27.9%、「20~23本」の割合が11.1%となっている。

【性・年齢別】

全体の平均より歯の本数が少ないのは、男性は60歳代以上、女性は70歳代以上となっている。

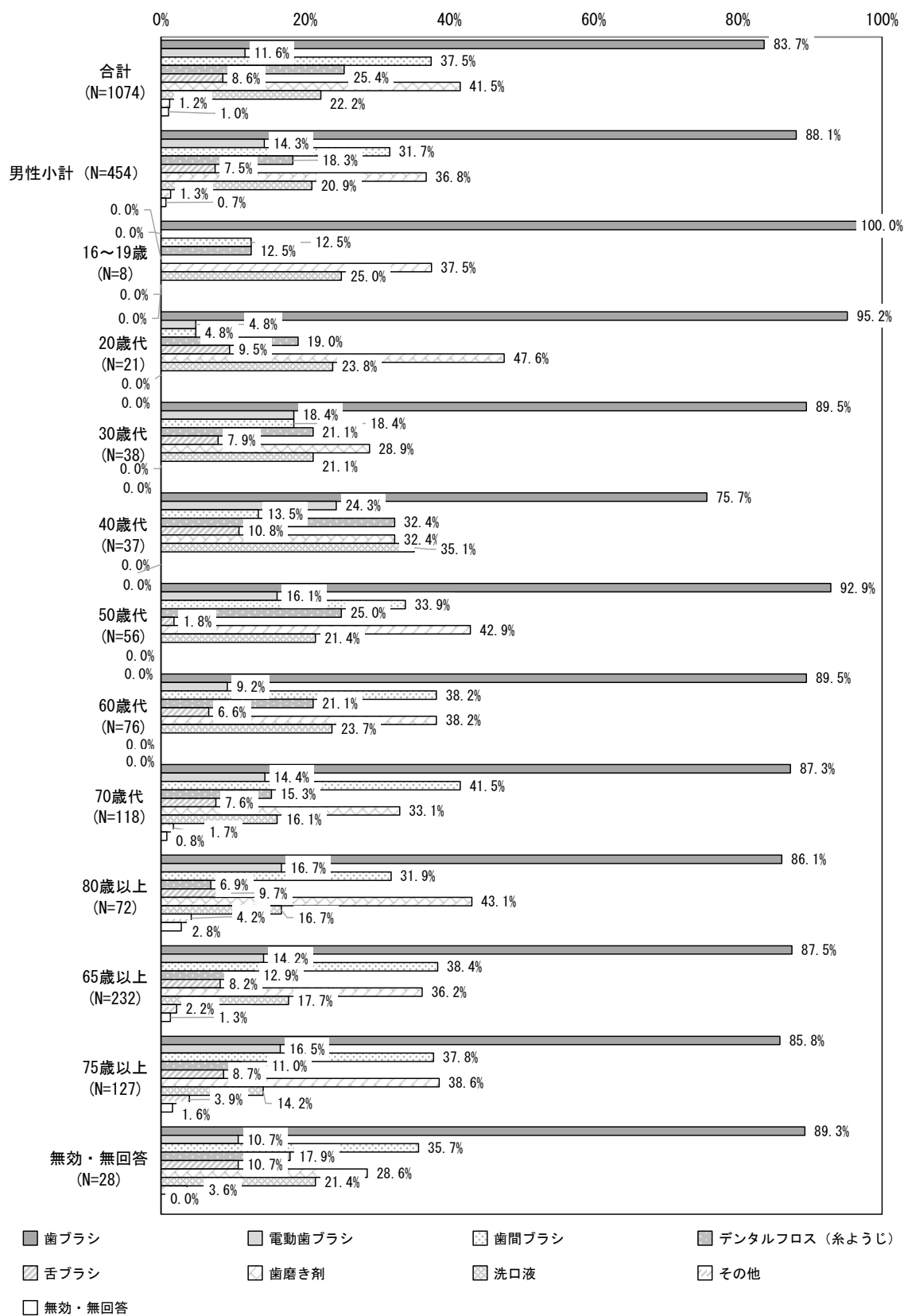
< 歯の本数 (全体、性・年齢別) >



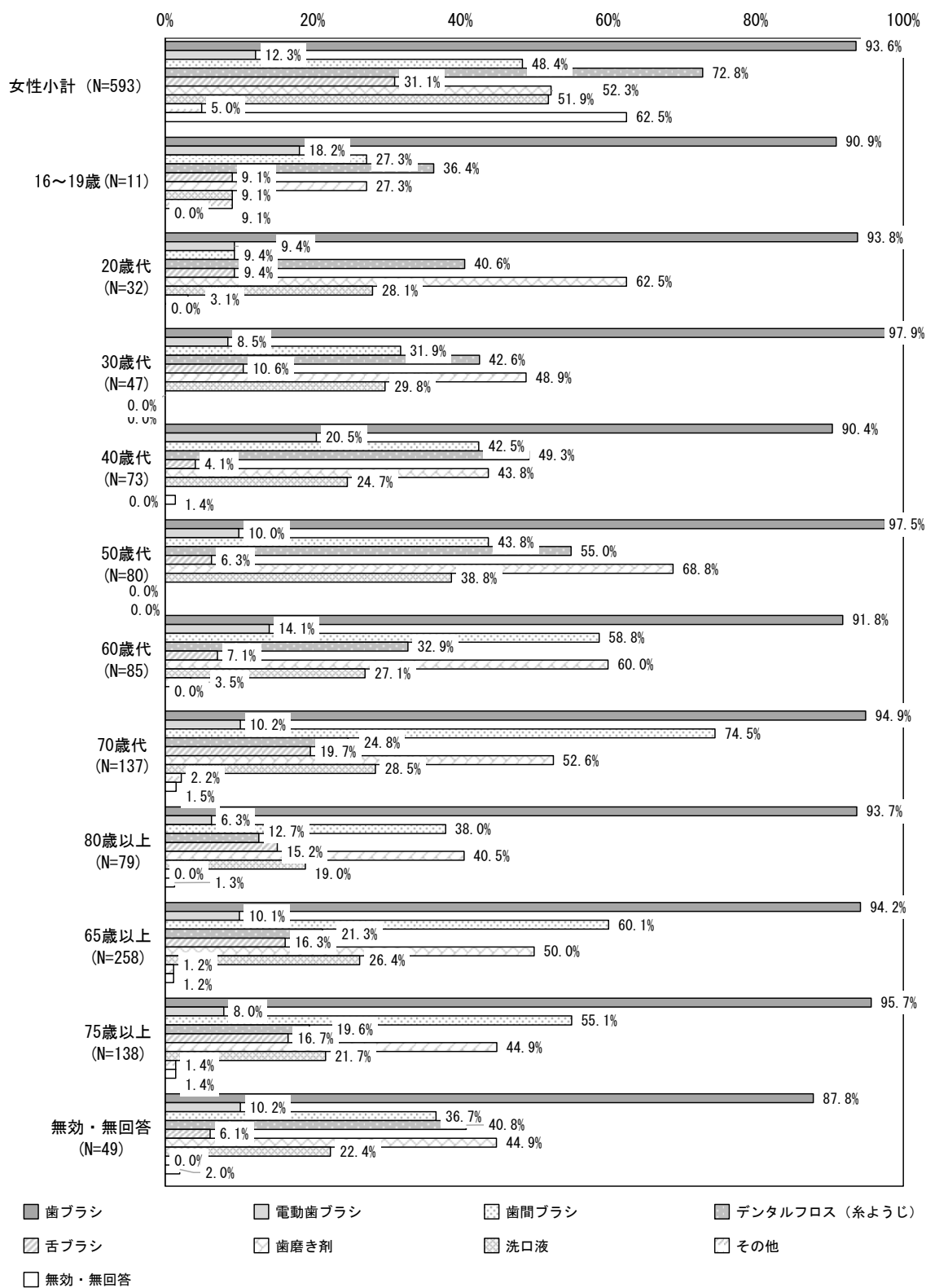
問30 何を使って口腔清掃をしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「歯ブラシ」と回答した割合が83.7%と最も高く、次いで「歯磨き剤」の割合が41.5%、「歯間ブラシ」の割合が37.5%となっている。その他の意見では「口腔洗浄機」「うがい薬」「仕上げ用歯ブラシ」などの意見も挙げられている。

< 口腔清掃方法（全体、男性・年齢別） >



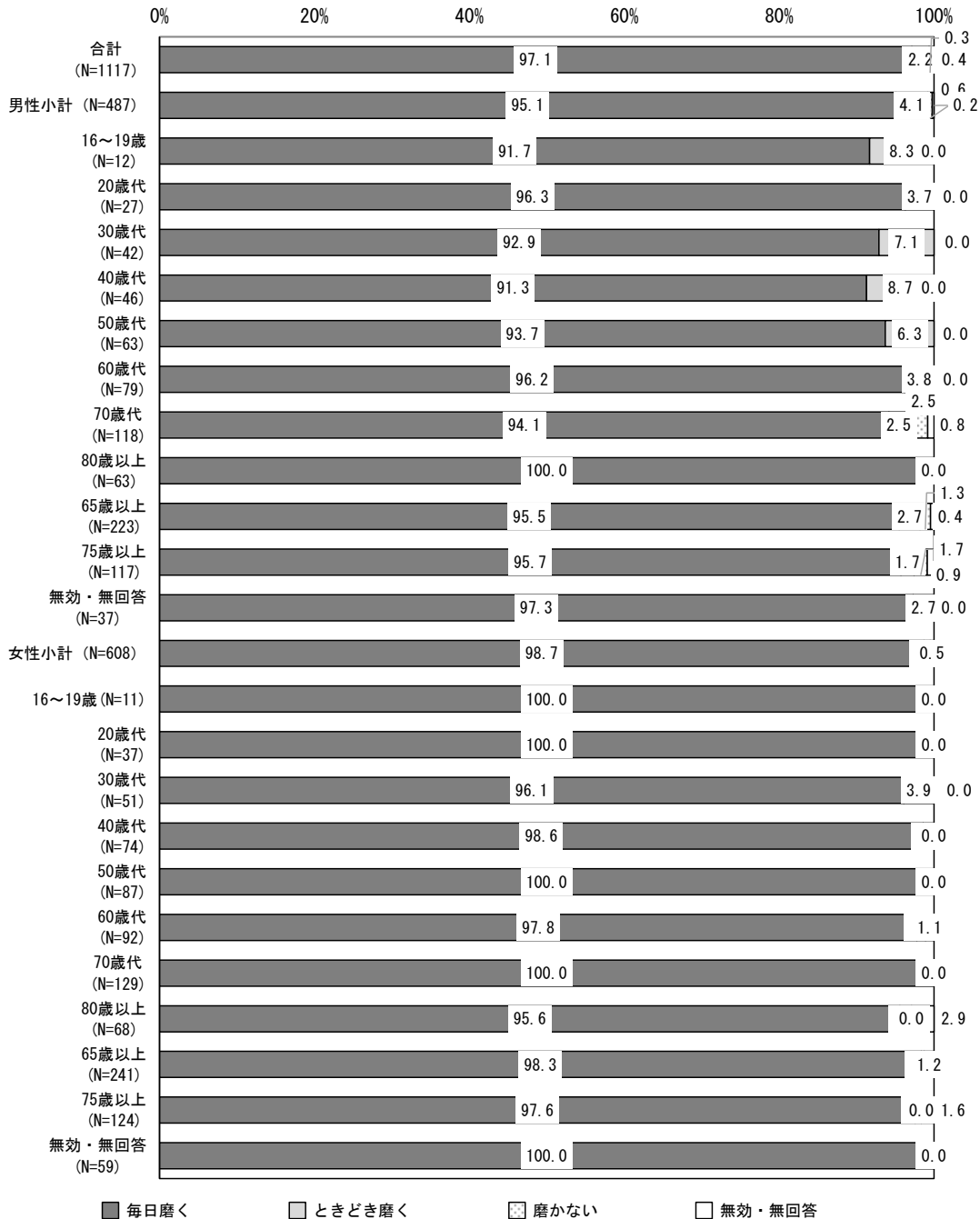
< 口腔清掃方法（女性・年齢別） >



問3 1-1 歯を磨く頻度はどのくらいですか。(歯が全くない人は回答不要です)

「毎日磨く」の割合が97.1%となっている。

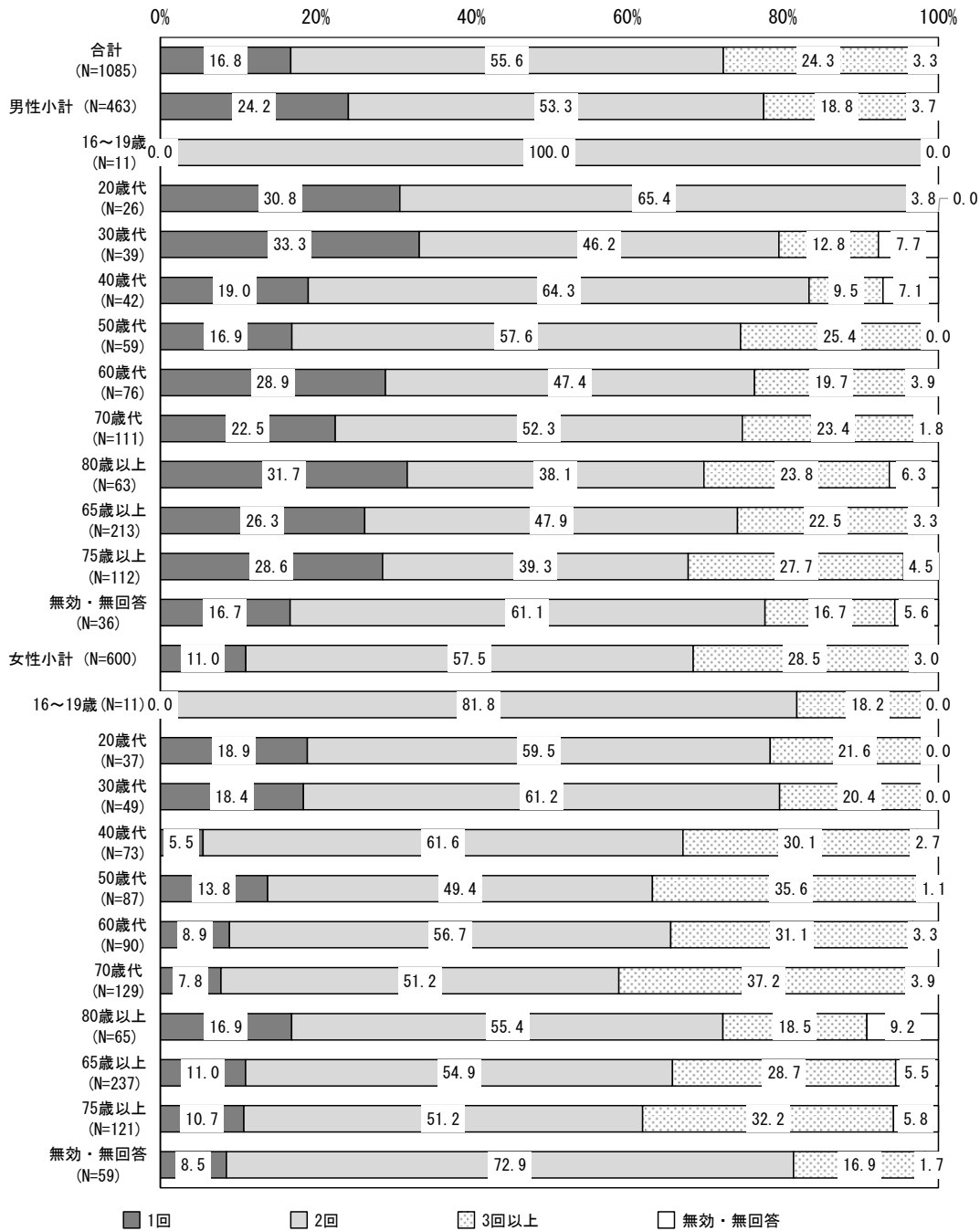
<歯を磨く頻度(全体、性・年齢別)>



問3 1-2 1日何回磨きますか。

「2回」の割合が55.6%と最も高く、次いで「3回以上」の割合が24.3%、「1回」の割合が16.8%となっている。

<歯を磨く回数（全体、性・年齢別）>



問3 2 歯を磨くときに歯磨き剤を使っていますか。

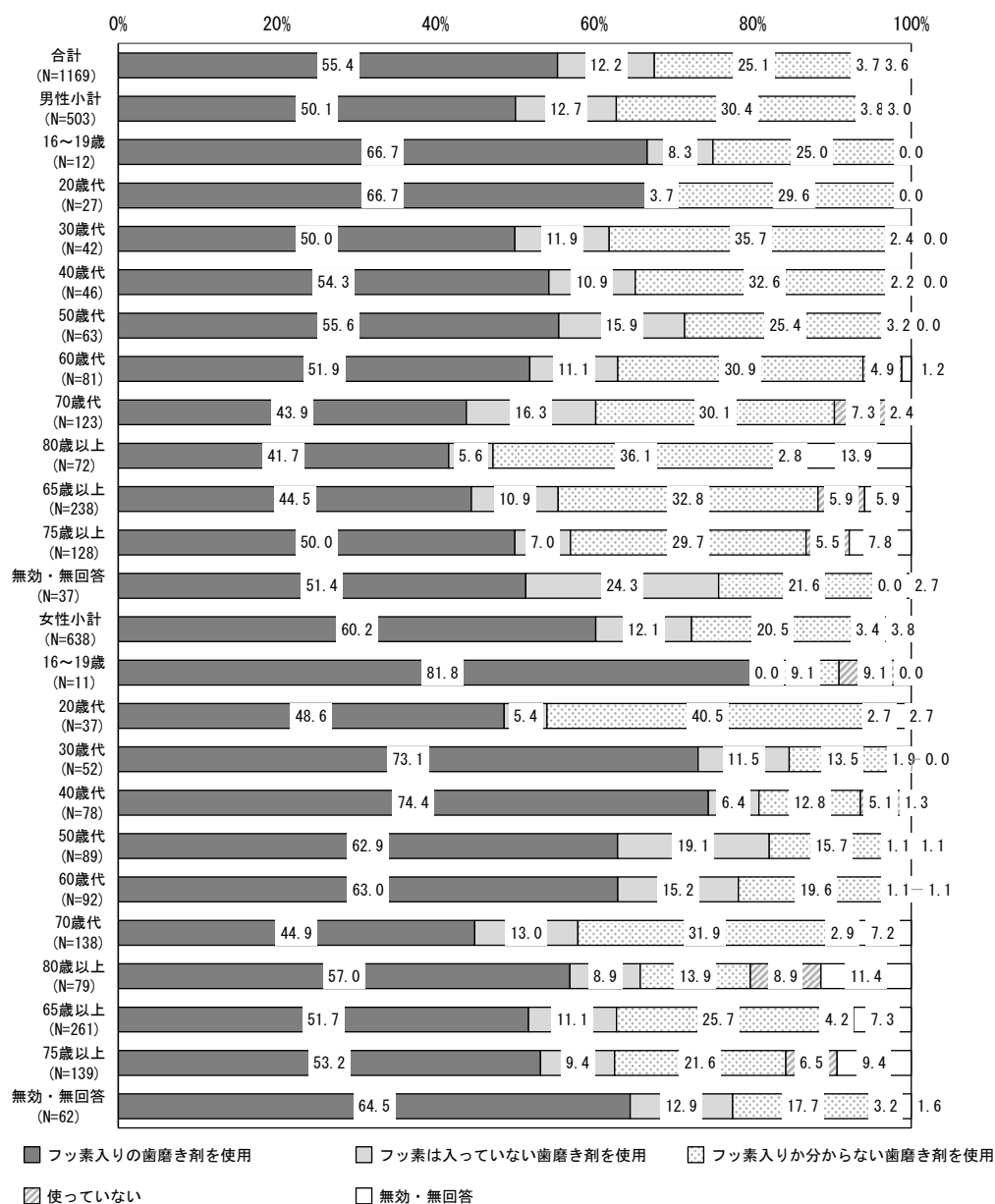
【全体】

「フッ素入りの歯磨き剤を使用」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「フッ素入りか分からない歯磨き剤を使用」の割合が 25.1%、「フッ素は入っていない歯磨き剤を使用」の割合が 12.2%となっている。

【性・年齢別】

「フッ素は入っていない歯磨き剤を使用」の割合は女性の方が高くなっている。

<歯磨き剤の使用（全体、性・年齢別）>



問33 この1年間に、歯科医院で歯ブラシを使って具体的に口腔の効果的な清掃について個別に指導を受けましたか。

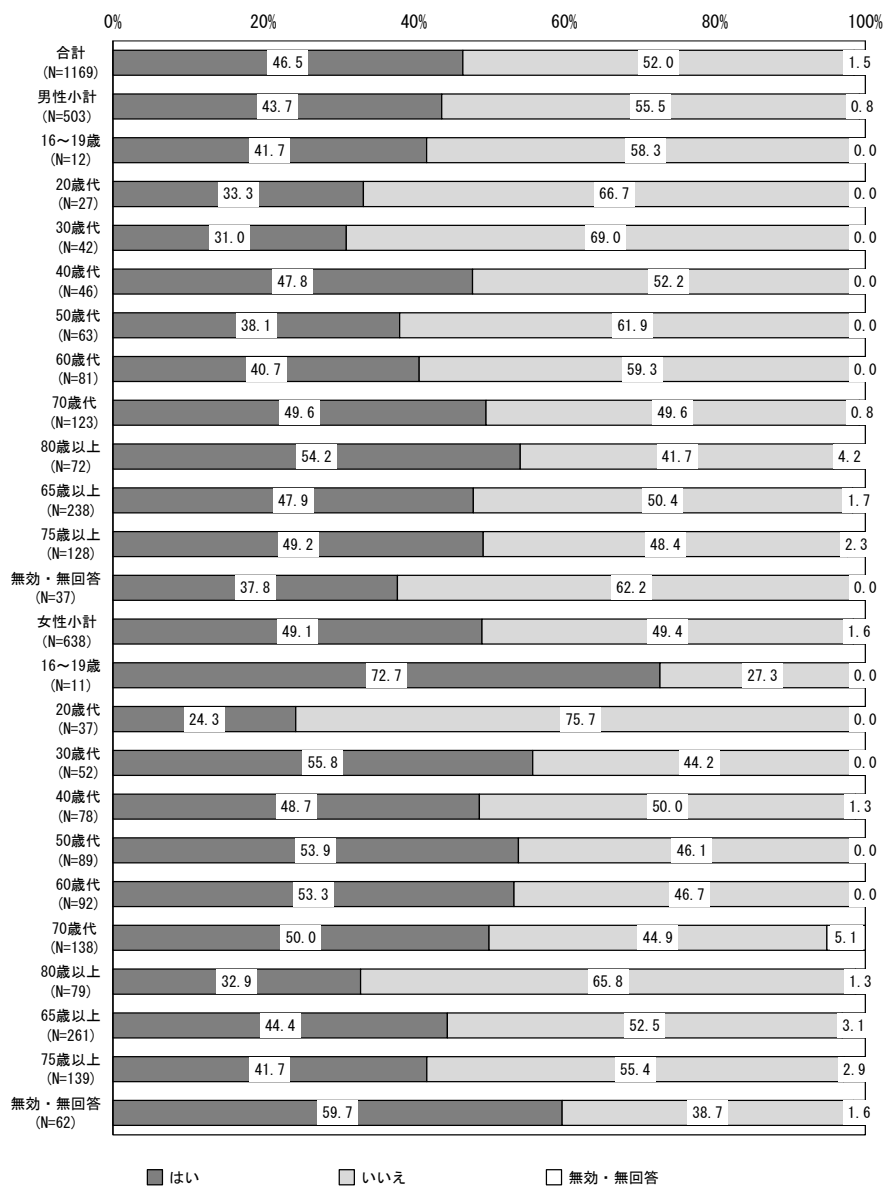
【全体】

「はい」の割合が46.5%となっている。

【性・年齢別】

「はい（指導を受けた）」の割合が高いのは、男性の80歳以上、女性の16～19歳、30歳代、50歳代から70歳代で5割を上回っている。

<口腔清掃に関する指導（全体、性・年齢別）>



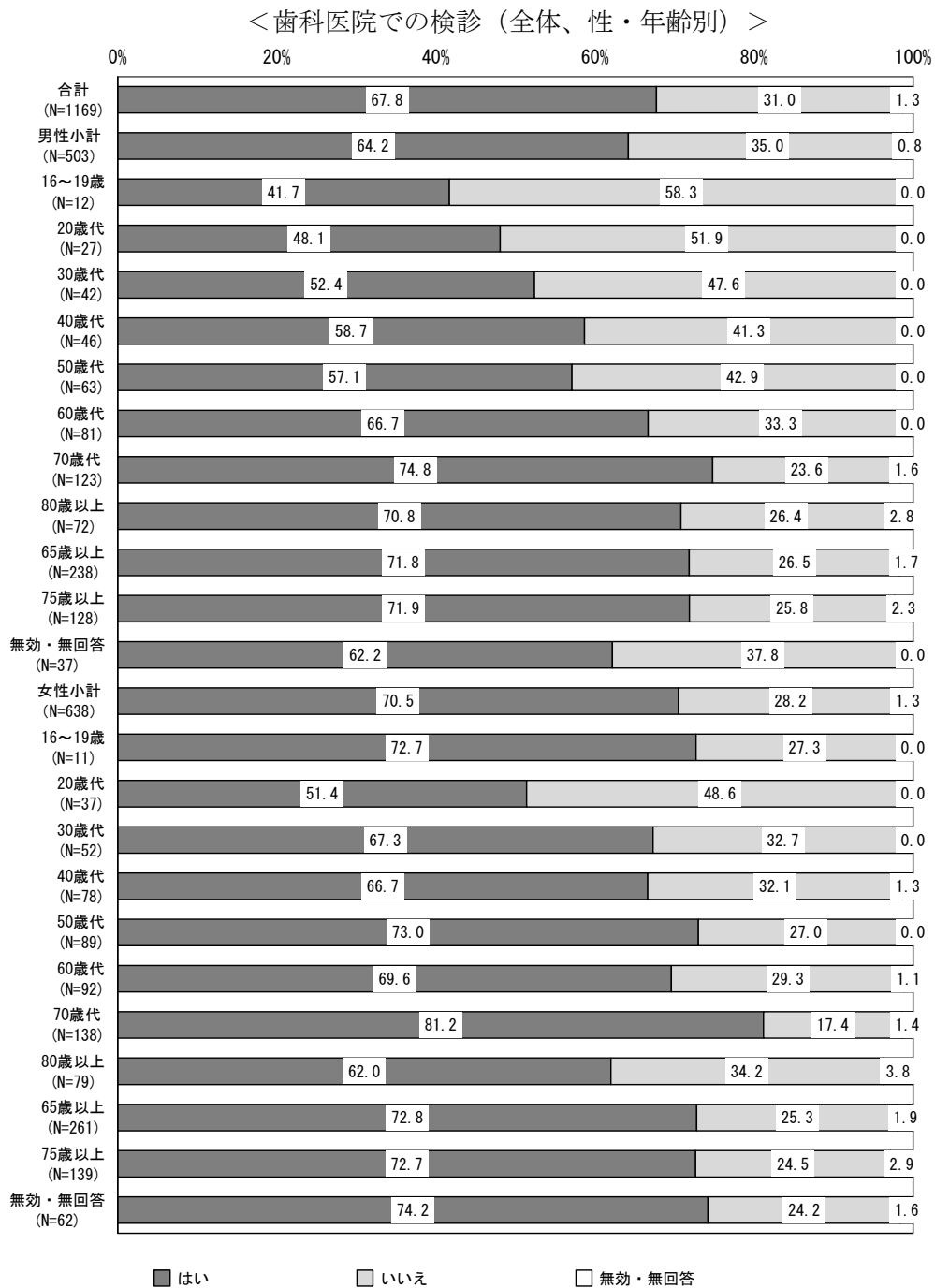
問 3 4 過去 1 年間に、歯科医院で歯科検診を受けましたか。

【全体】

「はい」の割合が 67.8%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の 70 歳以上、女性の 16～19 歳、50 歳代、70 歳以上で 7 割を超えている。



問35-1 かかりつけの歯科医院※はありますか。

※かかりつけの歯科医院とは、痛いなどの症状があって不都合な時にだけ通う歯科医院ではなく、定期的に受診して、健診、ブラッシング指導、歯石除去等の口腔管理を受けている歯科医院をさします。

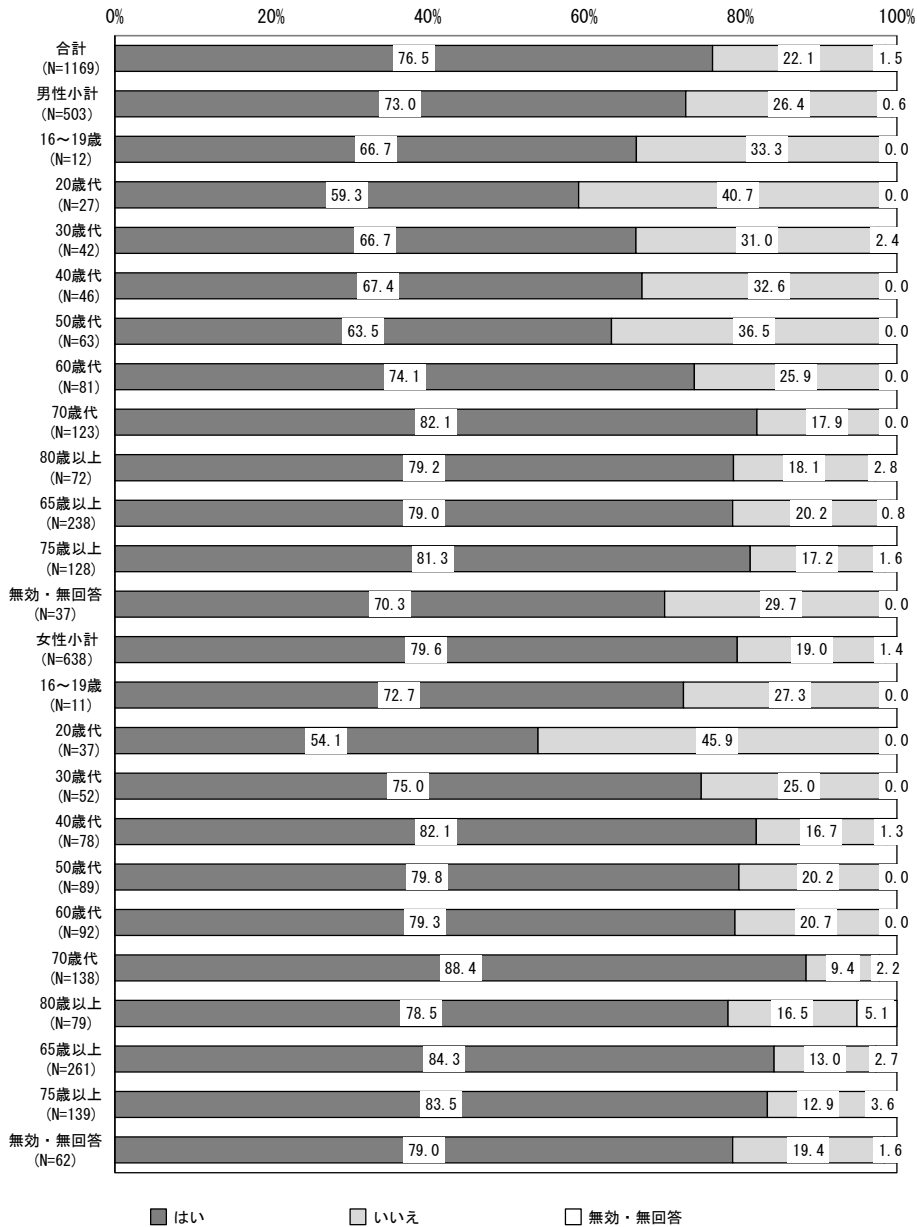
【全体】

「はい」の割合が76.5%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の70歳以上、女性の40歳代、70歳代で8割を上回っている。

＜かかりつけの歯科医院（全体、性・年齢別）＞



問35-2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、かかりつけ歯科受診への頻度に変化はありますか。

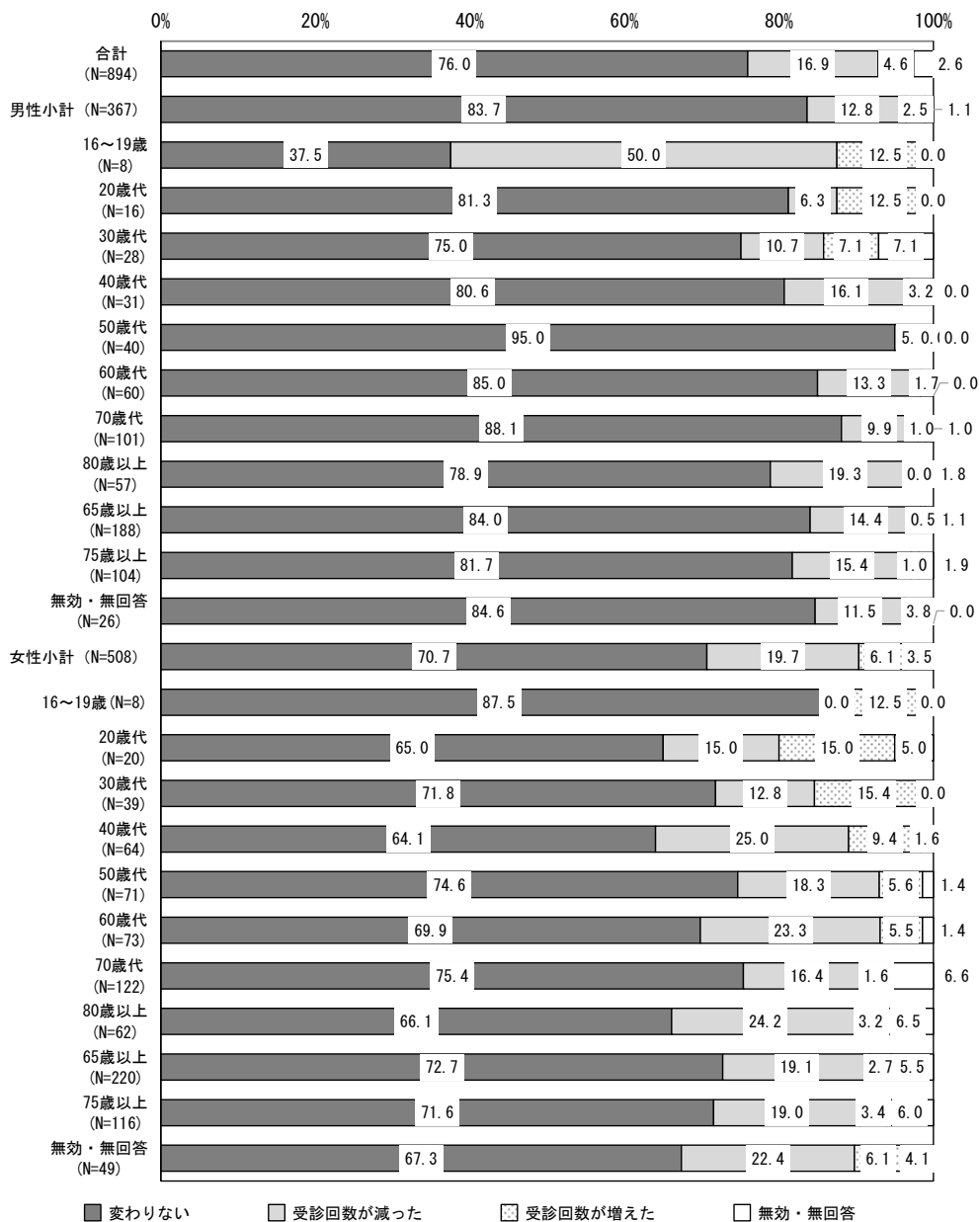
【全体】

「変わらない」の割合が76.0%と最も高く、次いで「受診回数が減った」の割合が16.9%、「受診回数が増えた」の割合が4.6%となっている。

【性・年齢別】

「受診回数が減った」の割合が高いのは、男性の16～19歳、女性の40歳代、60歳代、80歳以上で2割を上回っている。

＜かかりつけの歯科医院受診頻度の変化（全体、性・年齢別）＞

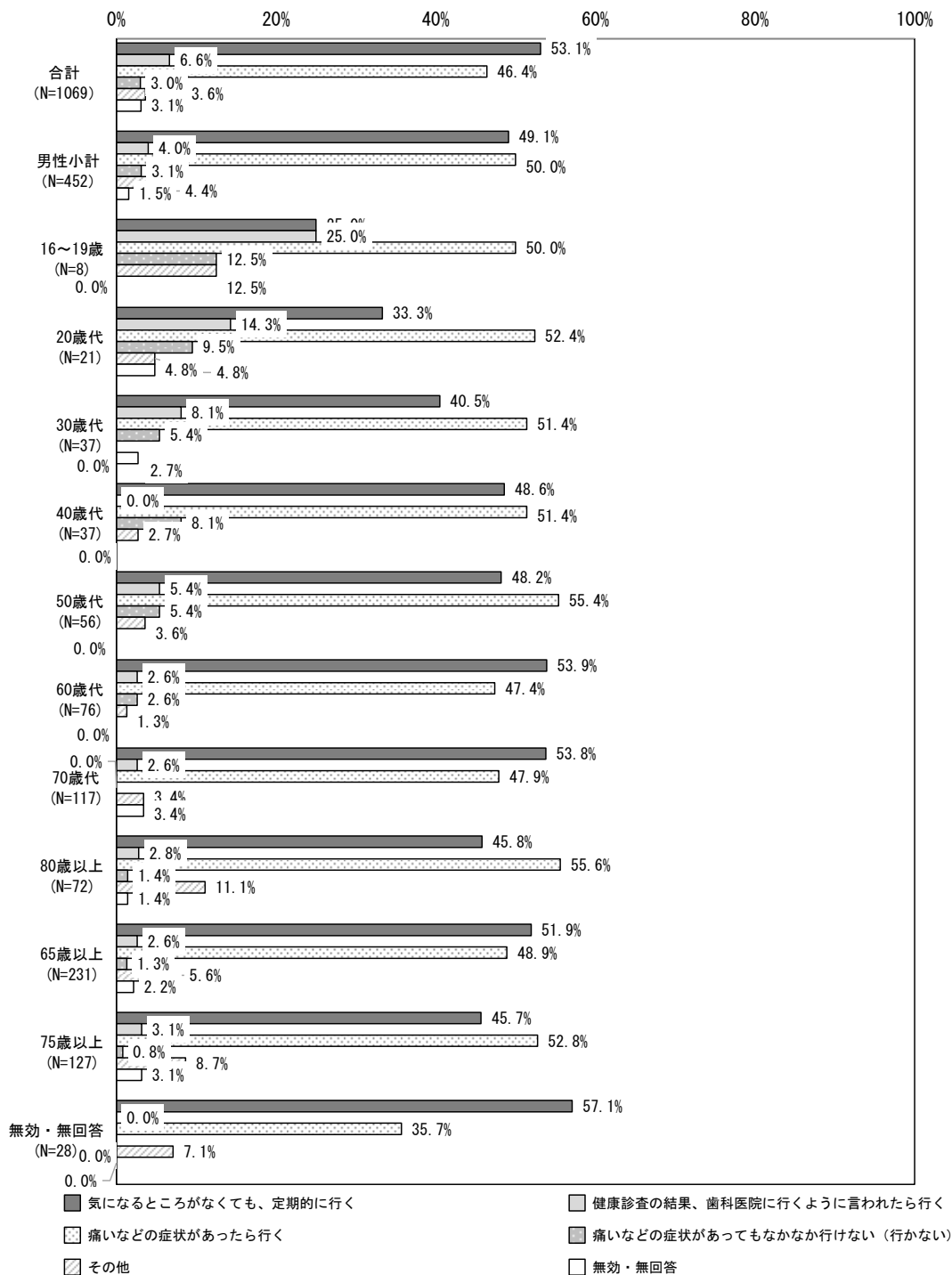


問36 歯科医院へはどのような場合に行きますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

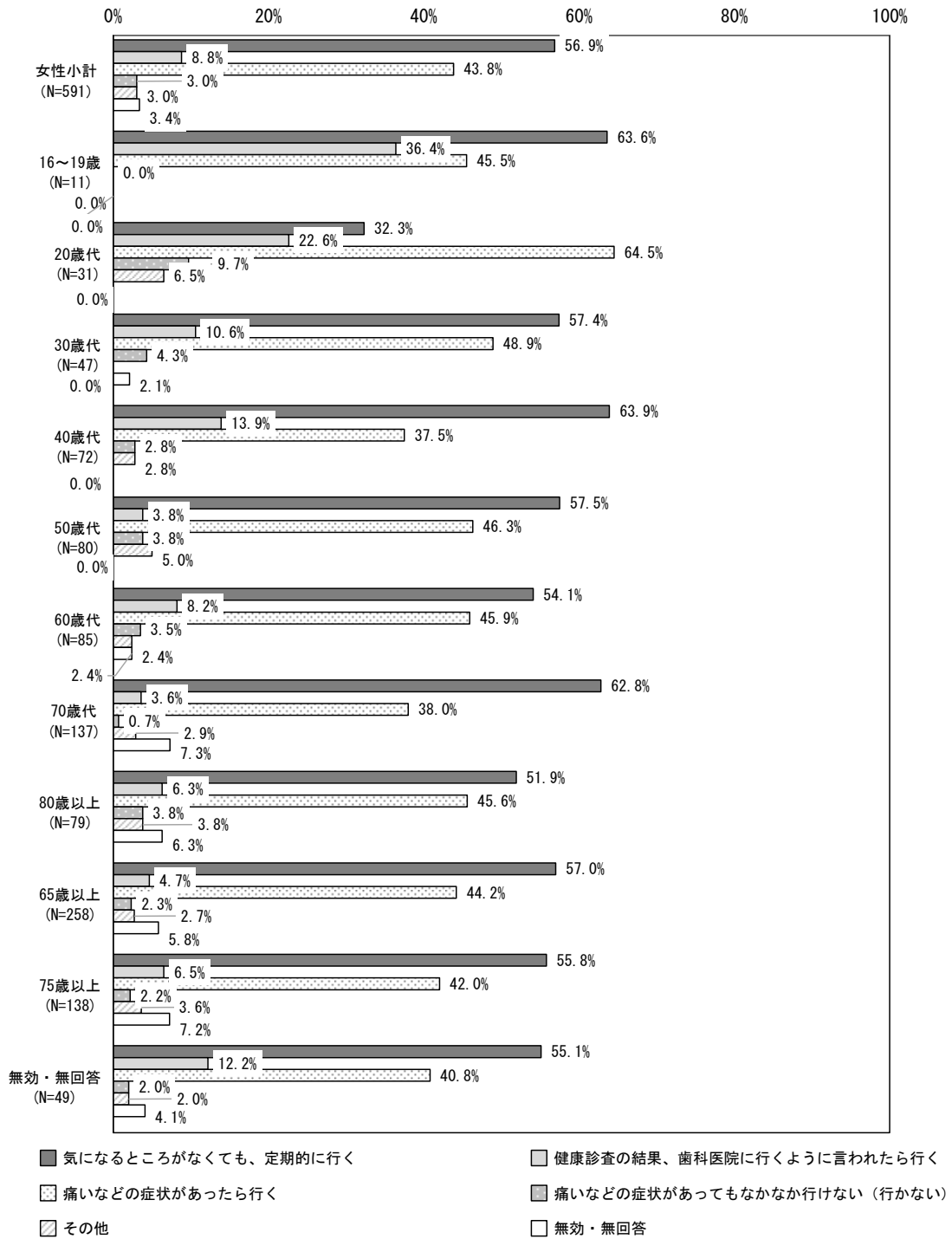
【全体】

「気になるところがなくとも、定期的に行く（健診、フッ素塗布、歯石除去、歯のクリーニング等のため）」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「痛いなどの症状があったら行く」の割合が 46.4%、「健康診査の結果、歯科医院に行くように言われたら行く」の割合が 6.6%となっている。その他の意見では「市のサービスをもらったとき」「詰め物が取れるなどトラブルがあったとき」などの意見が挙げられている。

＜歯科医院への通院理由（全体、男性・年齢別）＞



< 歯科医院への通院理由（全体、女性・年齢別） >



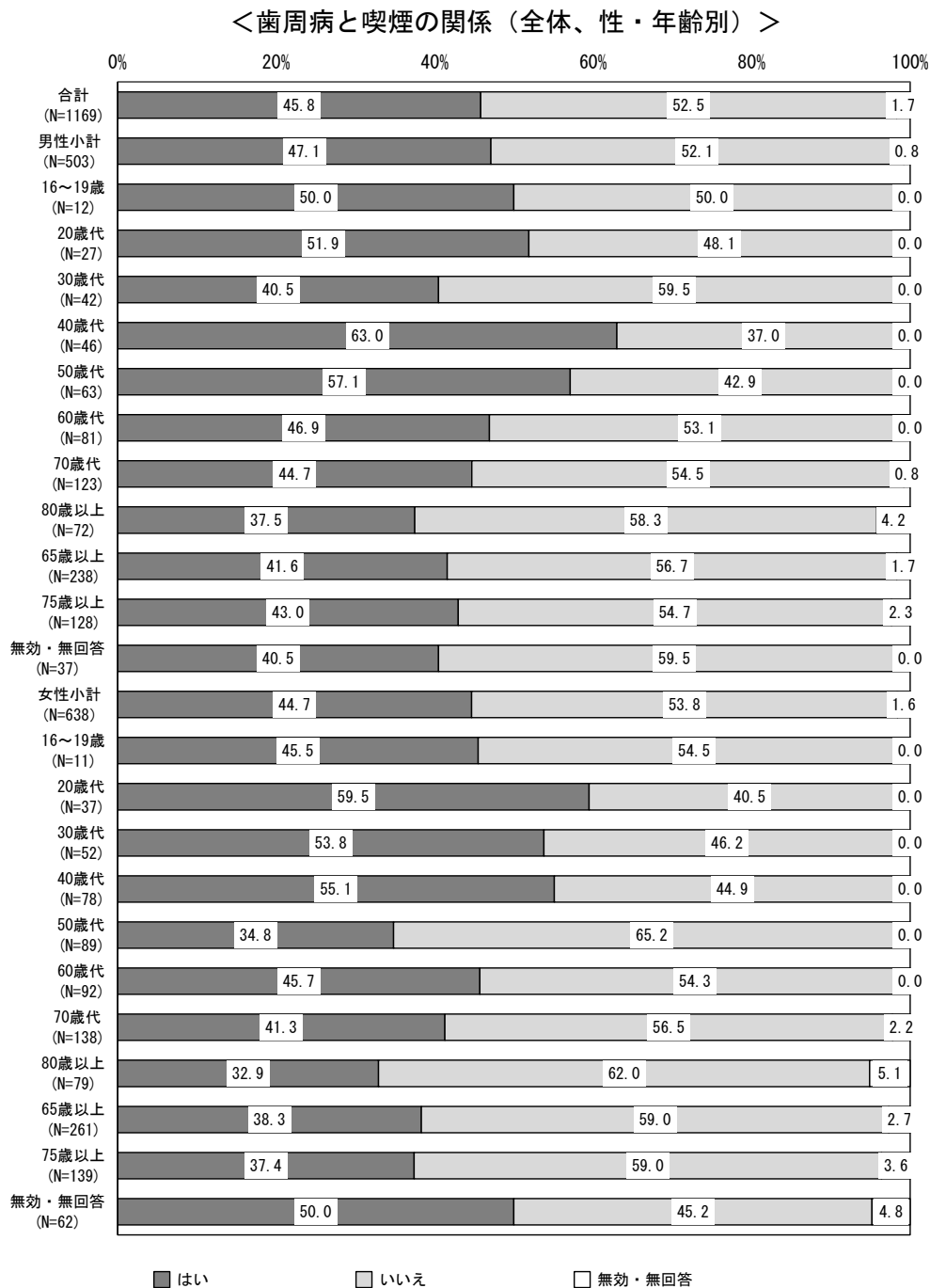
問37 歯周病を進行させる要因として喫煙がありますが、知っていましたか。

【全体】

「はい」の割合が45.8%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の20歳代以下、40歳代、50歳代、女性の20歳代から40歳代で5割を上回っている。



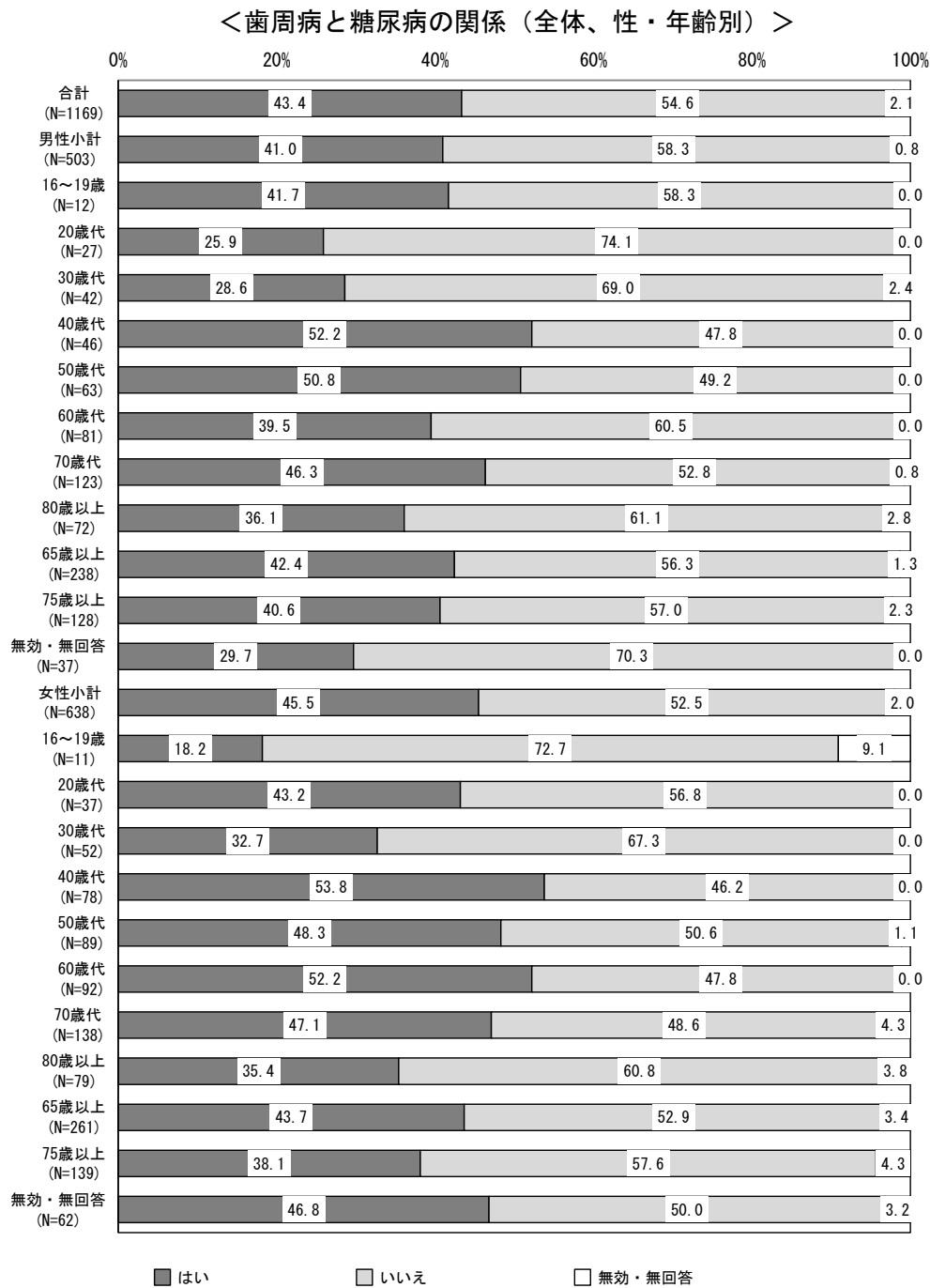
問38 歯周病を進行させる要因として糖尿病がありますが、知っていましたか。

【全体】

「はい」の割合が43.4%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは、男性の40歳代、50歳代、女性の40歳代、60歳代で5割を上回っている。

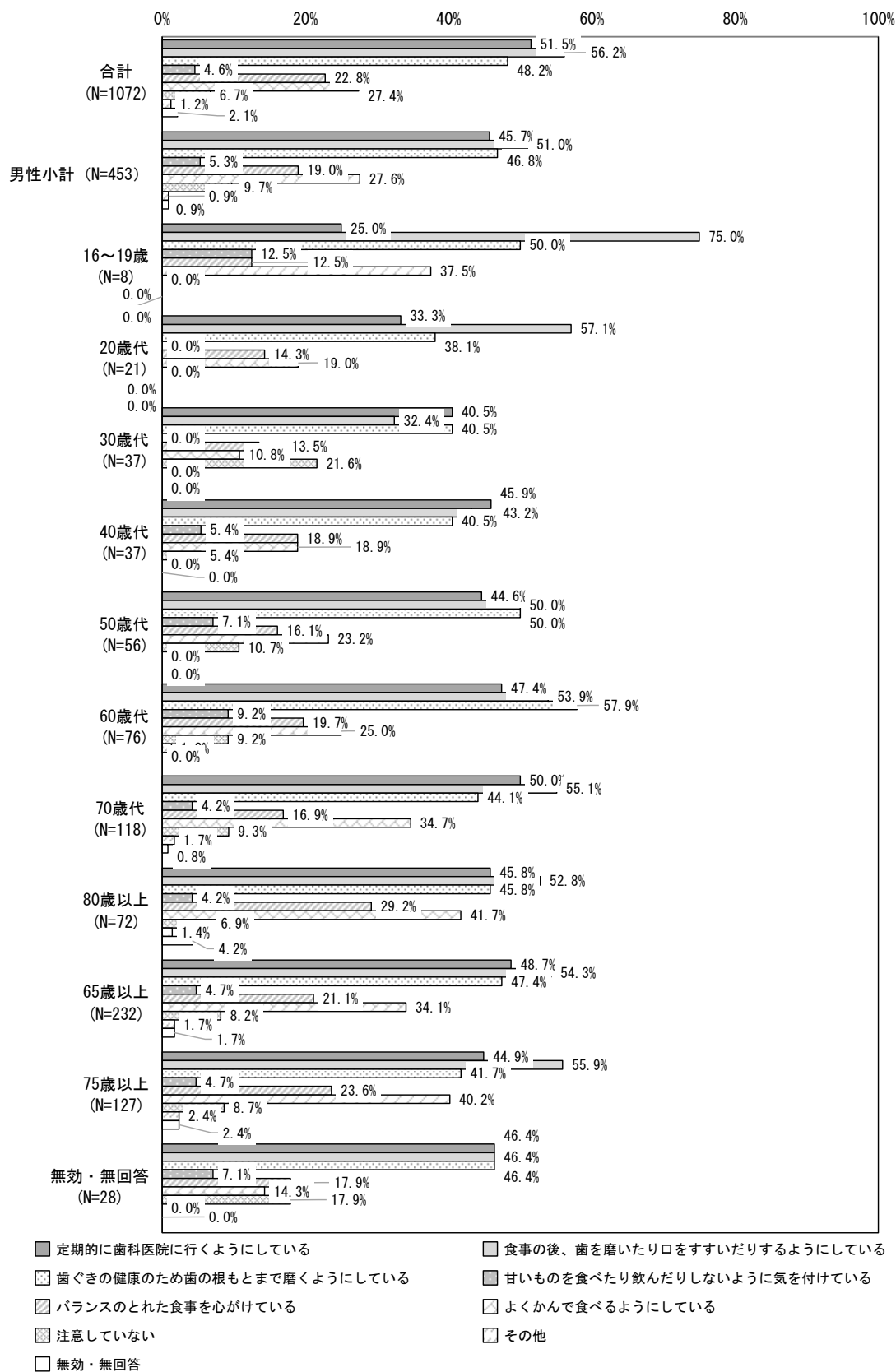


問39 歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

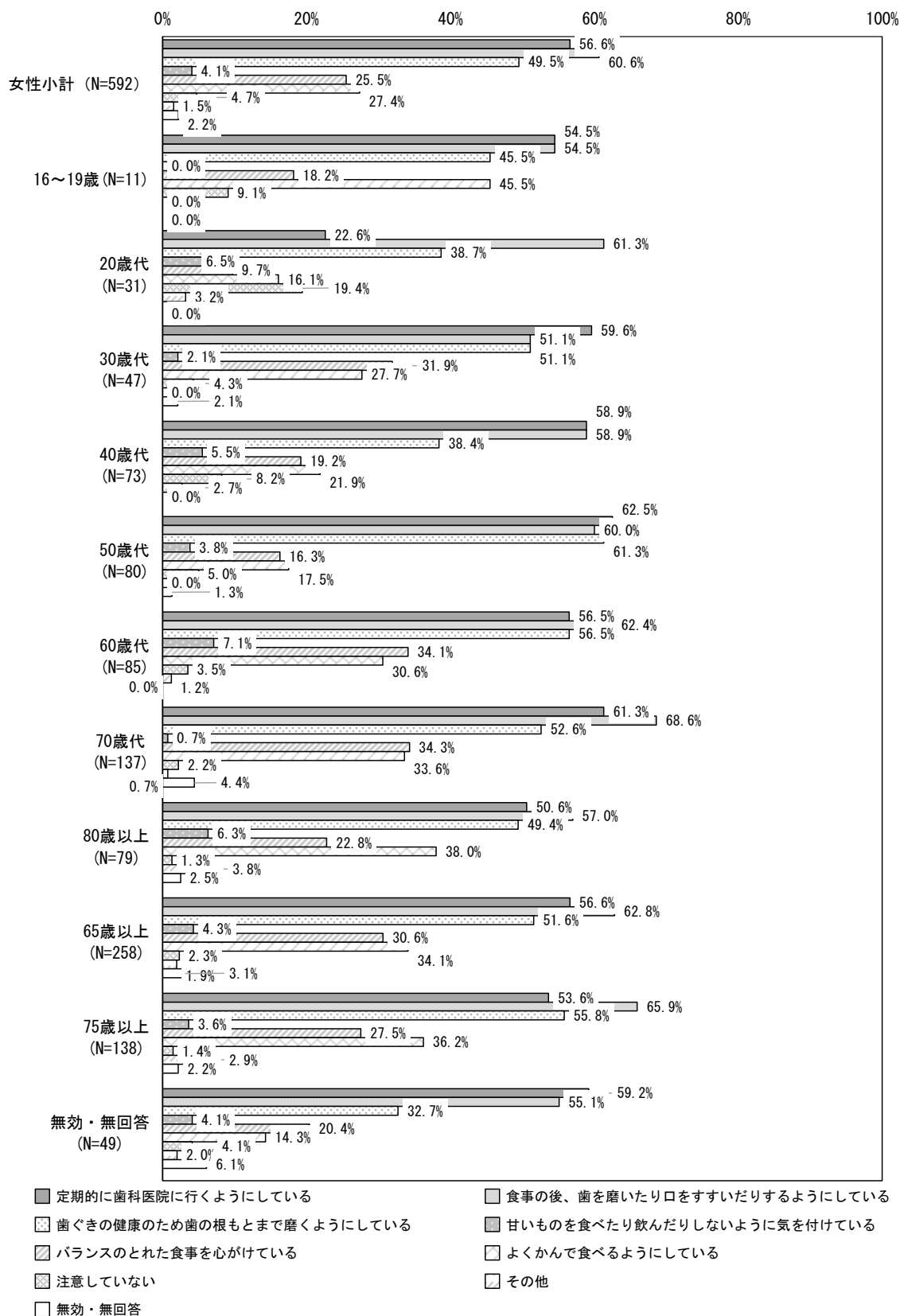
「食事の後、歯を磨いたり口をすすいだりするようにしている」の割合が56.2%と最も高く、次いで「定期的に歯科医院に行くようにしている」の割合が51.5%、「歯ぐきの健康のため歯の根もとまで磨くようにしている」の割合が48.2%となっている。

その他の意見では「フロスを毎日利用する」「歯磨きの際に丁寧に磨くよう心掛けている」などの意見が挙げられている。

＜歯や歯ぐきの健康で注意していること（全体、男性・年齢別）＞



＜歯や歯ぐきの健康で注意していること（女性・年齢別）＞



問40 口腔ケアが、「誤嚥性肺炎※」の予防につながることを知っていますか。

※「誤嚥性肺炎」とは、加齢などにより、のみこむ能力が低下することが原因となり、口腔内の細菌が、誤って食べ物や唾液などと一緒に肺に入ることによって肺炎になってしまうことです。日頃の歯磨きや入れ歯の手入れ等の口腔内清掃や定期的に専門的な「口腔ケア」を行うことで、この「誤嚥性肺炎」を減少させることができると言われています。

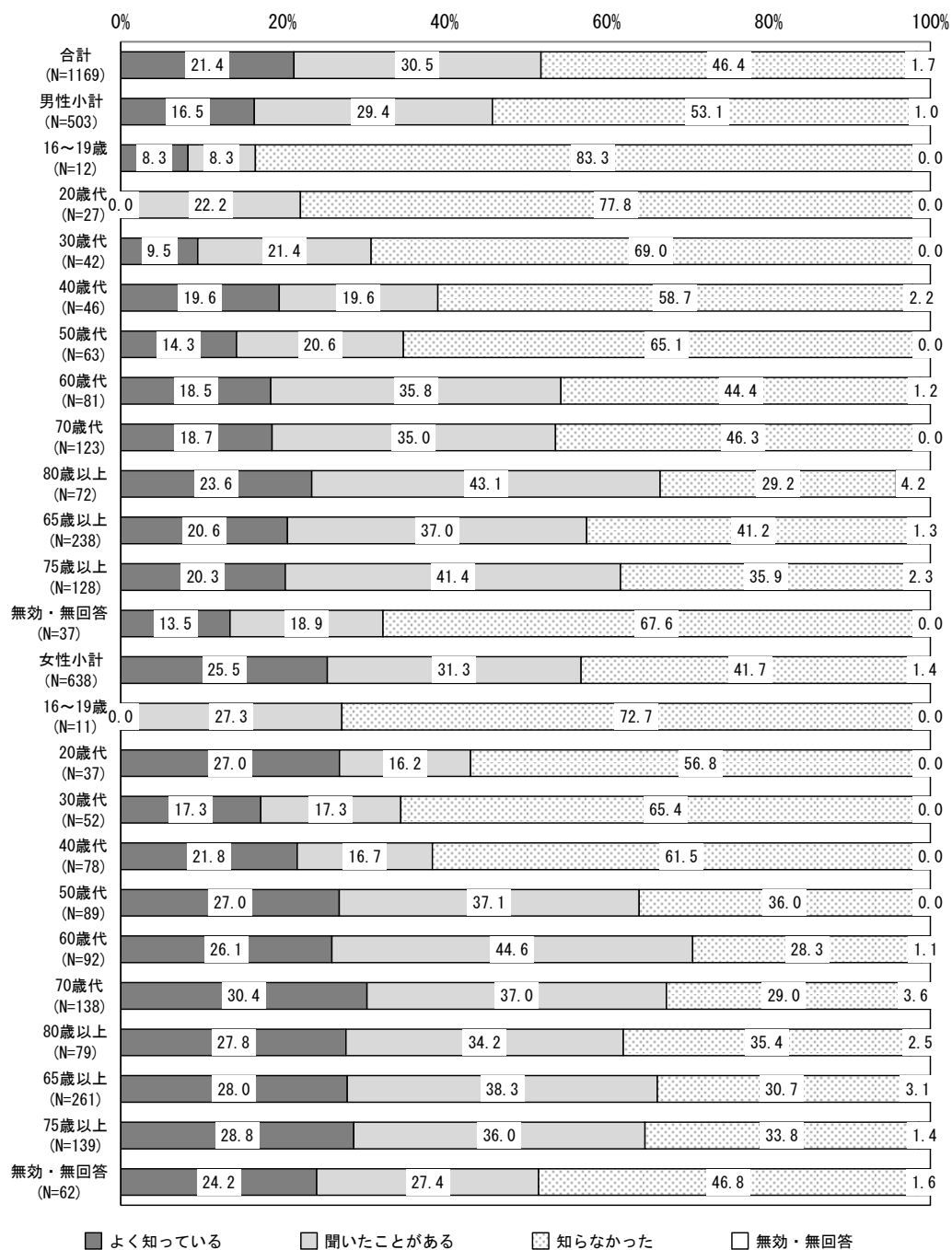
【全体】

「知らなかった」の割合が46.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が30.5%、「よく知っている」の割合が21.4%となっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」の割合が高いのは、男性の80歳以上、女性の20歳代、40歳代から80歳以上で2割を上回っている。

< 口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防（全体、性・年齢別） >



問 4 1 「嚙ミング 30※」という言葉を知っていますか。

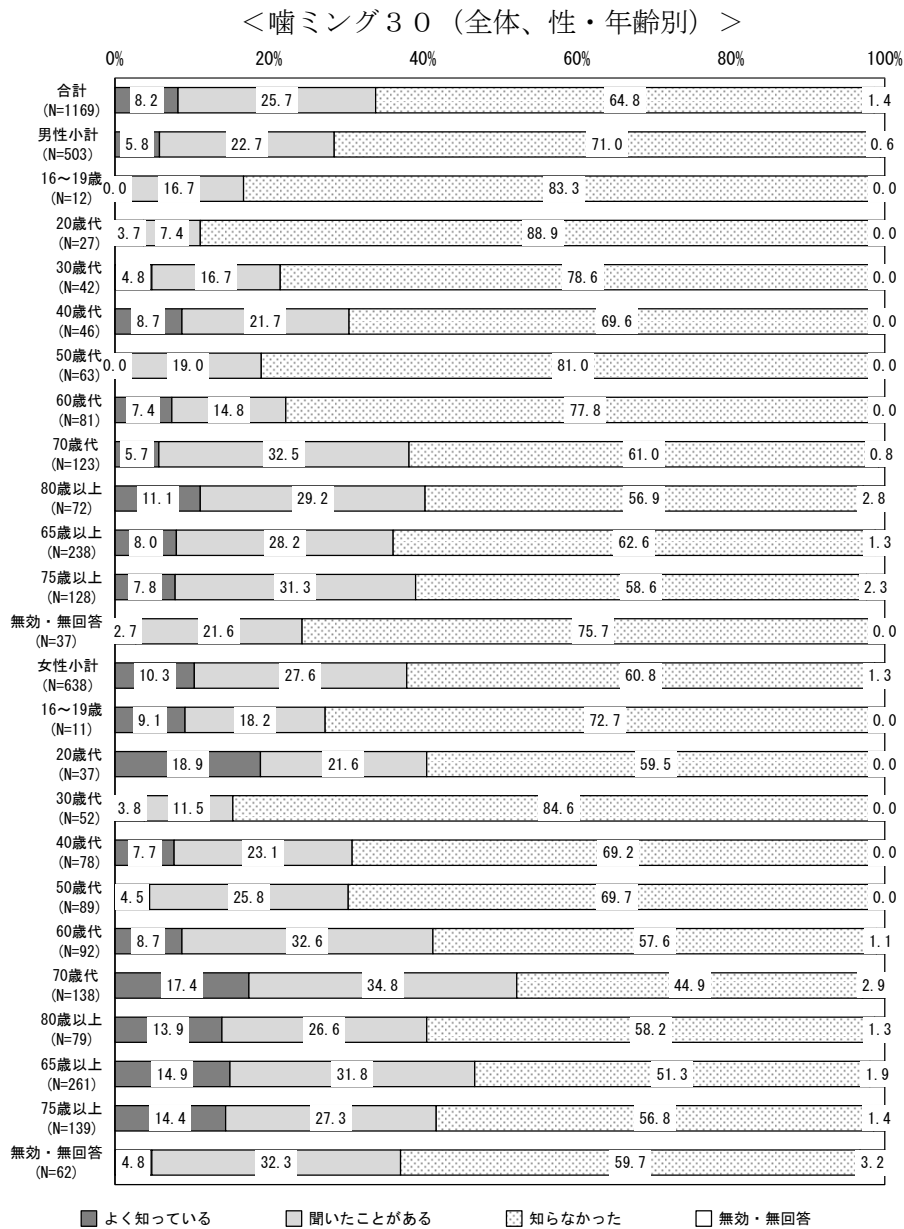
※厚生労働省では、ひと口 30 回以上かんで食べることを目標とする「嚙ミング 30 (カミングサンマル)」を提唱しています。

【全体】

「知らなかった」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 25.7%、「よく知っている」の割合が 8.2%となっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」又は「聞いたことがある」の割合が高いのは、男性では 40 歳代、70 歳代、80 歳以上、女性では 20 歳代、40 歳代以上で 3 割を上回っている。



問42 「8020運動※」という言葉を知っていますか。

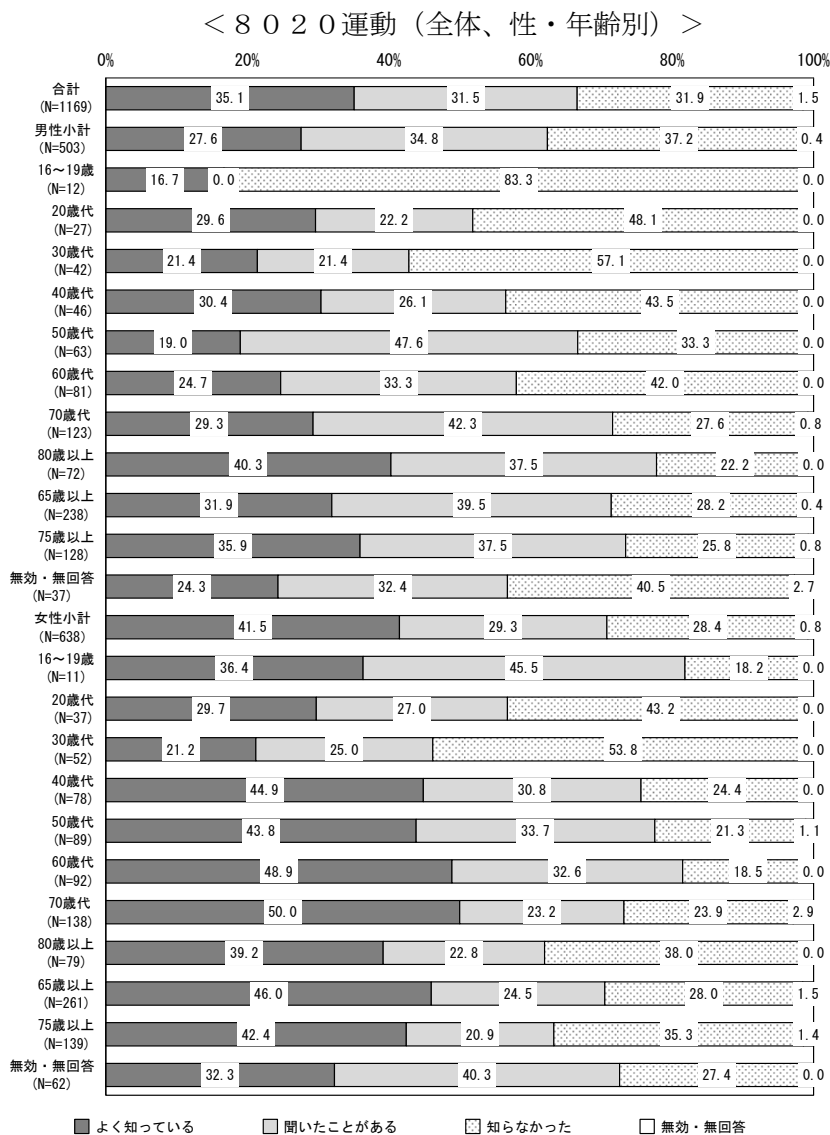
※「8020（ハチ・マル・ニイ・マル）運動」は、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動で、生涯にわたり自分の歯で食べ、味わい、元気に話すことを目指して、歯と口腔の健康づくりを進めることを意味します。

【全体】

「よく知っている」の割合が35.1%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が31.9%、「聞いたことがある」の割合が31.5%となっている。

【性・年齢別】

「よく知っている」又は「聞いたことがある」の割合が高いのは、男性では50歳代、70歳代以上、女性では16～19歳と40歳代以上で6割を上回っている。



令和4年度 小学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果

令和4年度 中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果

令和4年度 高校生の「歯と口の健康」に関するアンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

小学生・中学生の生活習慣や歯と口の健康および高校生の歯と口の健康に関して把握することを目的とします。

2. 調査対象

枚方市内の小学生6年生（8校）・中学生2年生（4校）・高校生1～3年生（10校）

3. 調査期間

小中学生：令和4年12月5日（月）から令和5年2月28日（火）

高校生：令和4年12月5日（月）から令和5年1月23日（月）

4. 調査方法

学校を通じて回答フォームをメール等で周知し、インターネットによるウェブ回答（高校生については、一部紙アンケートで配付回収）

5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
(小学生) 742 通	(小学生) 572 通	(小学生) 77.1%
(中学生) 815 通	(中学生) 501 通	(中学生) 61.5%
(高校生) —	(高校生) 890 通	(高校生) — (任意回答のため)

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります

Ⅱ 調査結果の分析

1. 健康状態や生活習慣について

問1 現在の健康状態はいかがですか。

【全体】

「よい」の割合が54.3%で最も多く、次いで「まあよい」の割合が23.7%、「ふつう」の割合が16.7%となっている。

【小学生】

「よい」の割合が56.5%で最も多く、次いで「まあよい」の割合が21.7%、「ふつう」の割合が18.0%となっている。

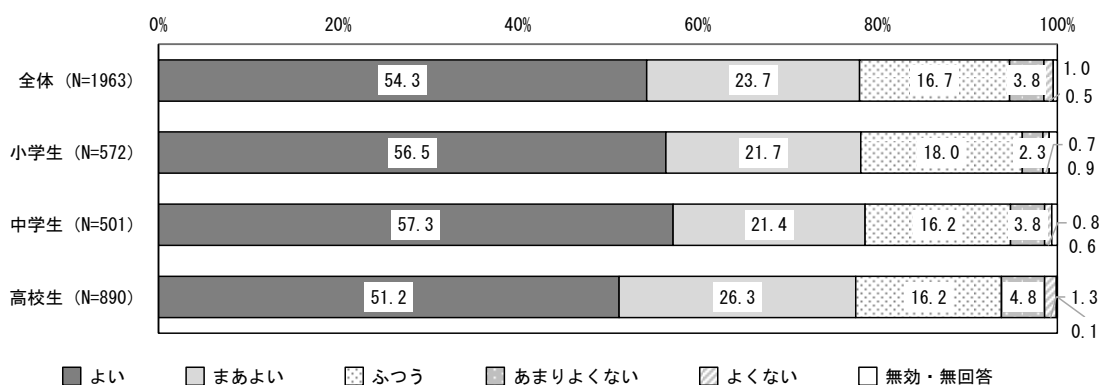
【中学生】

「よい」の割合が57.3%で最も多く、次いで「まあよい」の割合が21.4%、「ふつう」の割合が16.2%となっている。

【高校生】

「よい」の割合が51.2%で最も多く、次いで「まあよい」の割合が26.3%、「ふつう」の割合が16.2%となっている。

<健康状態（全体、学生別）>



問2 ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに寝ますか。当てはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

【全体】

「午後10時以降、午後11時より前」の割合が31.1%で最も多く、次いで「午後11時以降、午前0時より前」の割合が27.4%、「午後9時以降、午後10時より前」の割合が19.2%となっており、回答者の約6割が午後10時から午前0時の間に寝ている。

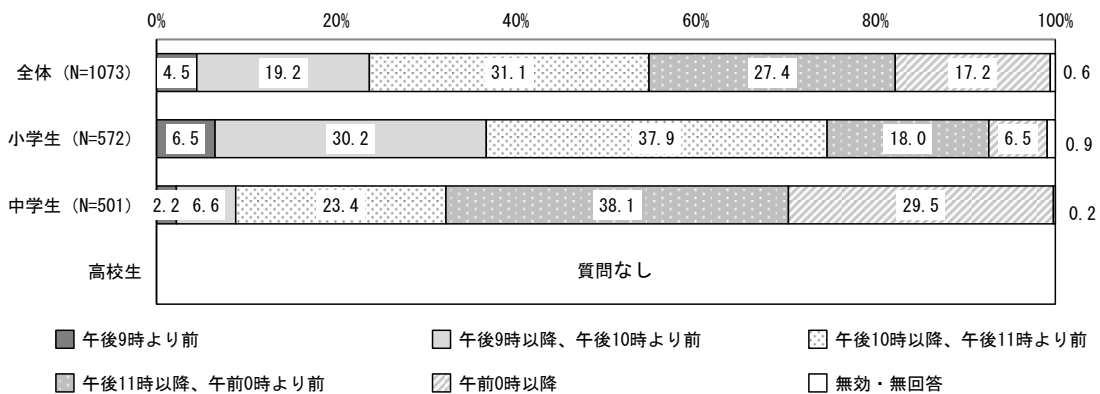
【小学生】

「午後10時以降、午後11時より前」の割合が37.9%で最も多く、次いで「午後9時以降、午後10時より前」の割合が30.2%、「午後11時以降、午前0時より前」の割合が18.0%となっており、回答者の約7割が午後9時から午後11時の間に寝ている。

【中学生】

「午後11時以降、午前0時より前」の割合が38.1%で最も多く、次いで「午前0時以降」の割合が29.5%、「午後10時以降、午後11時より前」の割合が23.4%となっており、回答者の約7割が午後11時以降に寝ている。

＜就寝時間（全体、学生別）＞



問3 ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。当てはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

【全体】

「午前7時以降、午前7時30分より前」の割合が38.4%で最も多く、次いで「午前6時30分以降、午前7時より前」の割合が28.9%、「午前6時以降、午前6時30分より前」の割合が14.2%となっており、回答者の約7割が午前6時30分から午前7時30分の間に起床している。

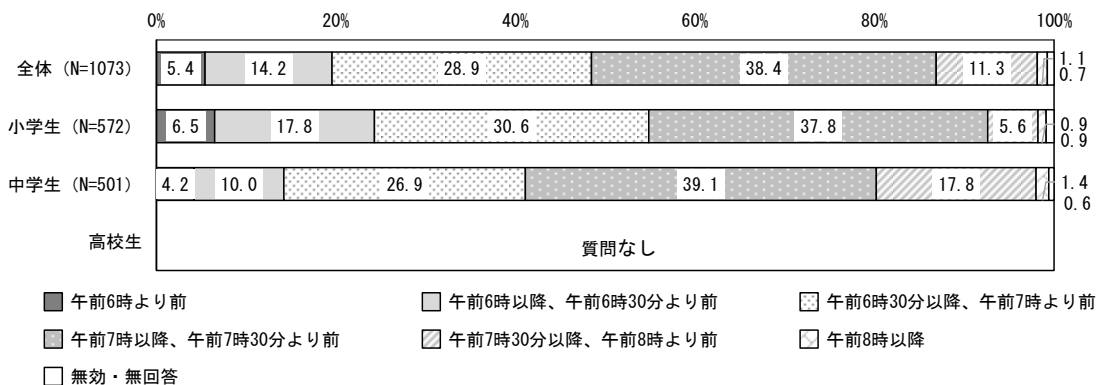
【小学生】

「午前7時以降、午前7時30分より前」の割合が37.8%で最も多く、次いで「午前6時30分以降、午前7時より前」の割合が30.6%、「午前6時以降、午前6時30分より前」の割合が17.8%となっており、回答者の約7割が午前6時30分から午前7時30分の間に起床している。

【中学生】

「午前7時以降、午前7時30分より前」の割合が39.1%で最も多く、次いで「午前6時30分以降、午前7時より前」の割合が26.9%、「午前7時30分以降、午前8時より前」の割合が17.8%となっており、回答者の約7割が午前6時30分から午前7時30分の間に起床している。

<起床時間（全体、学生別）>



問4 ふだん（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間睡眠をとることが最も多いですか。当てはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

【全体】

「7時間以上、8時間より少ない」の割合が26.0%で最も多く、次いで「8時間以上、9時間より少ない」の割合が24.5%、「9時間以上、10時間より少ない」及び「6時間以上、7時間より少ない」の割合がそれぞれ18.5%となっており、回答者の約5割が7時間から9時間の睡眠時間となっている。

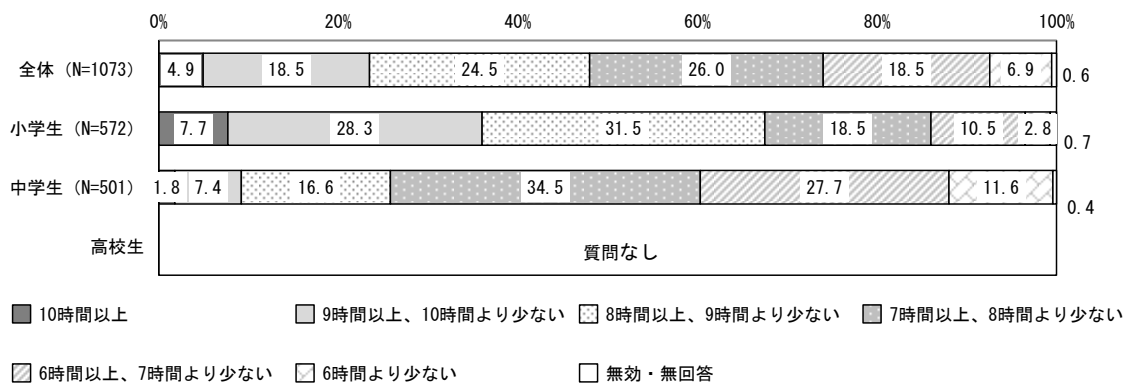
【小学生】

「8時間以上、9時間より少ない」の割合が31.5%で最も多く、次いで「9時間以上、10時間より少ない」の割合が28.3%、「7時間以上、8時間より少ない」の割合が18.5%となっており、回答者の約6割が8時間から10時間の睡眠時間となっている。

【中学生】

「7時間以上、8時間より少ない」の割合が34.5%で最も多く、次いで「6時間以上、7時間より少ない」の割合が27.7%、「8時間以上、9時間より少ない」の割合が16.6%となっており、回答者の約6割が6時間から8時間の睡眠時間となっている。

<睡眠時間（全体、学生別）>



問5 ふだん（月曜日から金曜日）、ゲーム・SNS（ライン、ツイッター等）をする時間や動画を見る時間はどれくらいですか。当てはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）（高校生 問20）

【全体】

「2時間以上、3時間より少ない」の割合が21.8%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」の割合が21.4%、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が16.8%となっており、回答者の約4割が1時間以上、3時間より少ない結果となっている。

【小学生】

「1時間以上、2時間より少ない」の割合が30.1%で最も多く、次いで「1時間より少ない」の割合が22.7%、「2時間以上、3時間より少ない」の割合が18.9%となっており、回答者の約5割が2時間より少ない結果となっている。

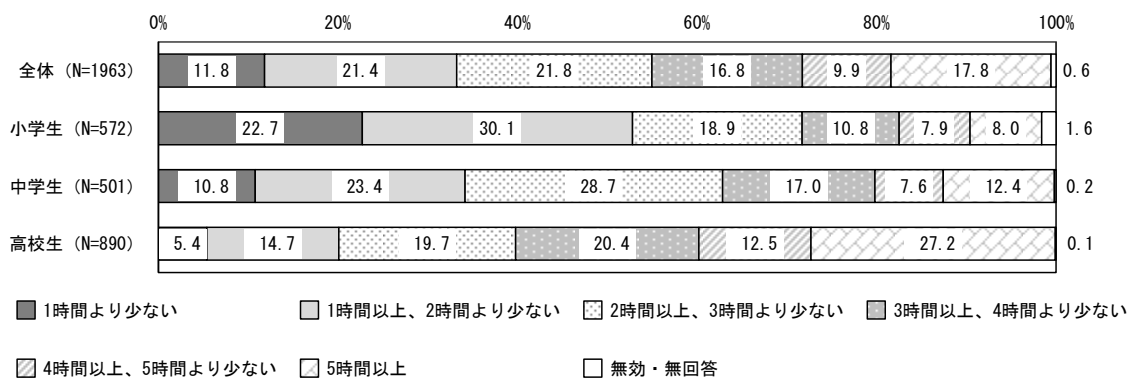
【中学生】

「2時間以上、3時間より少ない」の割合が28.7%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」の割合が23.4%、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が17.0%となっており、回答者の約5割が1時間以上、3時間より少ない結果となっている。

【高校生】

「5時間以上」の割合が27.2%で最も多く、次いで「3時間以上、4時間より少ない」の割合が20.4%、「2時間以上、3時間より少ない」の割合が19.7%となっており、回答者の約6割が3時間以上となっている。

<ゲームなどをする時間（平日、全体、学生別）>



問6 学校が休み（土曜日、日曜日、祝日）の時は、ゲーム・SNS（ライン、ツイッター等）をする時間や動画を見る時間はどれくらいですか。当てはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

【全体】

「5時間以上」の割合が23.8%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」の割合が18.8%、「2時間以上、3時間より少ない」の割合が18.3%となっており、回答者の約5割が3時間以上となっている。

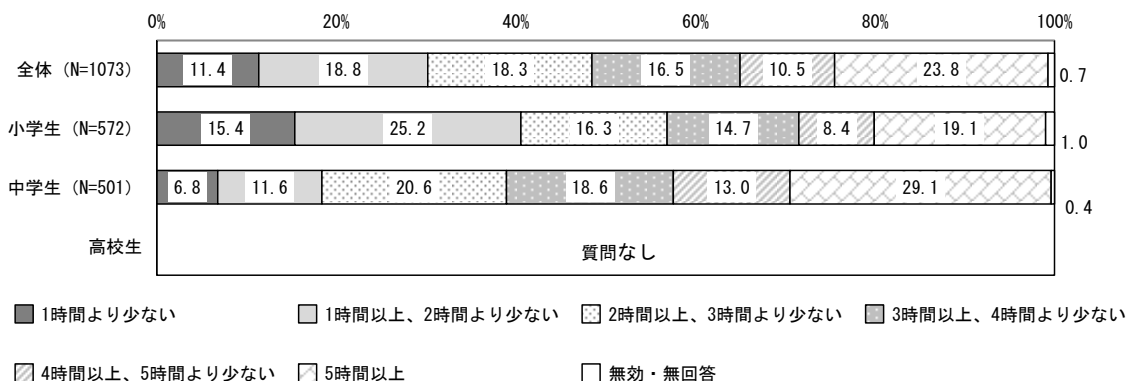
【小学生】

「1時間以上、2時間より少ない」の割合が25.2%で最も多く、次いで「5時間以上」の割合が19.1%、「2時間以上、3時間より少ない」の割合が16.3%となっており、回答者の約6割が1時間以上、4時間より少ない結果となっている。

【中学生】

「5時間以上」の割合が29.1%で最も多く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」の割合が20.6%、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が18.6%となっており、回答者の約6割が3時間以上となっている。

＜ゲームなどをする時間（休日、全体、学生別）＞



問7 次の食生活に関することでああなたが当てはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【全体】

「1日に朝昼夕に食事をしている」の割合が87.8%と最も多く、次いで「毎食、野菜を食べるようにしている」の割合が55.7%、「よくかんで食事をするようにしている」の割合が48.6%となっている。

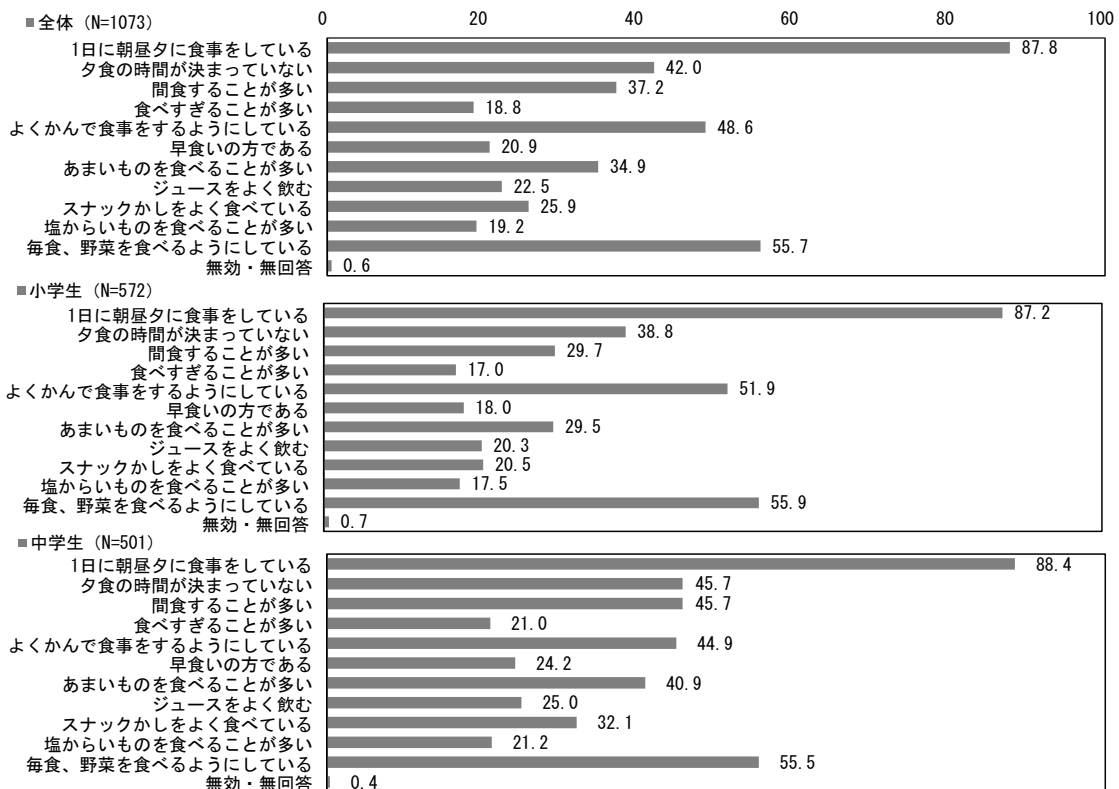
【小学生】

「1日に朝昼夕に食事をしている」の割合が87.2%と最も多く、次いで「毎食、野菜を食べるようにしている」の割合が55.9%、「よくかんで食事をするようにしている」の割合が51.9%となっている。

【中学生】

「1日に朝昼夕に食事をしている」の割合が88.4%と最も多く、次いで「毎食、野菜を食べるようにしている」の割合が55.5%、「夕食の時間が決まっていない」及び「間食することが多い」の割合がそれぞれ45.7%となっている。

<食生活に関すること（全体、学生別）>



2. たばこ・お酒について

問8 20歳未満の人の喫煙は健康に大きな害を与えるため法律で禁止されていますが、たばこを吸うとなりやすいと思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【全体】

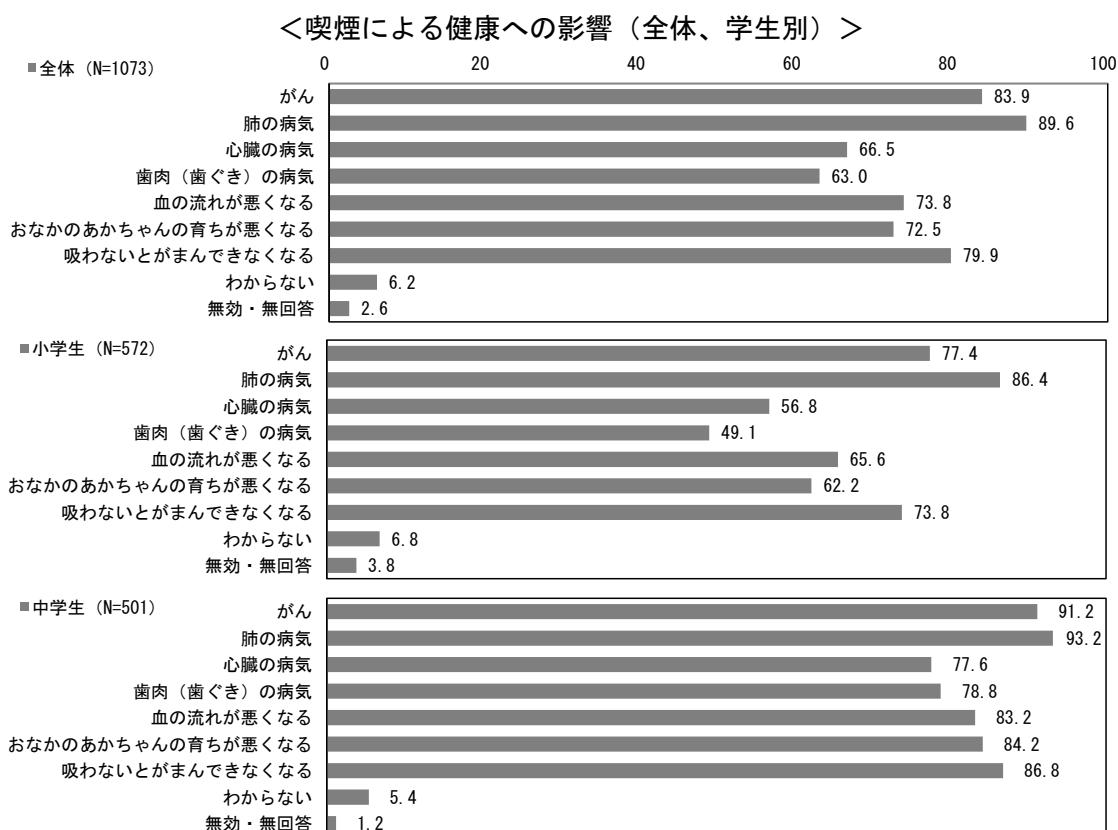
「肺の病気」の割合が89.6%と最も多く、次いで「がん」の割合が83.9%、「吸わないとがまんできなくなる」の割合が79.9%となっている。

【小学生】

「肺の病気」の割合が86.4%と最も多く、次いで「がん」の割合が77.4%、「吸わないとがまんできなくなる」の割合が73.8%となっている。

【中学生】

「肺の病気」の割合が93.2%と最も多く、次いで「がん」の割合が91.2%、「吸わないとがまんできなくなる」の割合が86.8%となっている。



問9 あなたが（20歳未満の人）お酒を飲むと、体や心にどのような害があると思いますか。（○はいくつでも）

【全体】

「脳の障害」の割合が72.9%と最も多く、次いで「肝臓の病気」の割合が69.7%、「飲まないのがまんできなくなる」の割合が63.3%となっている。

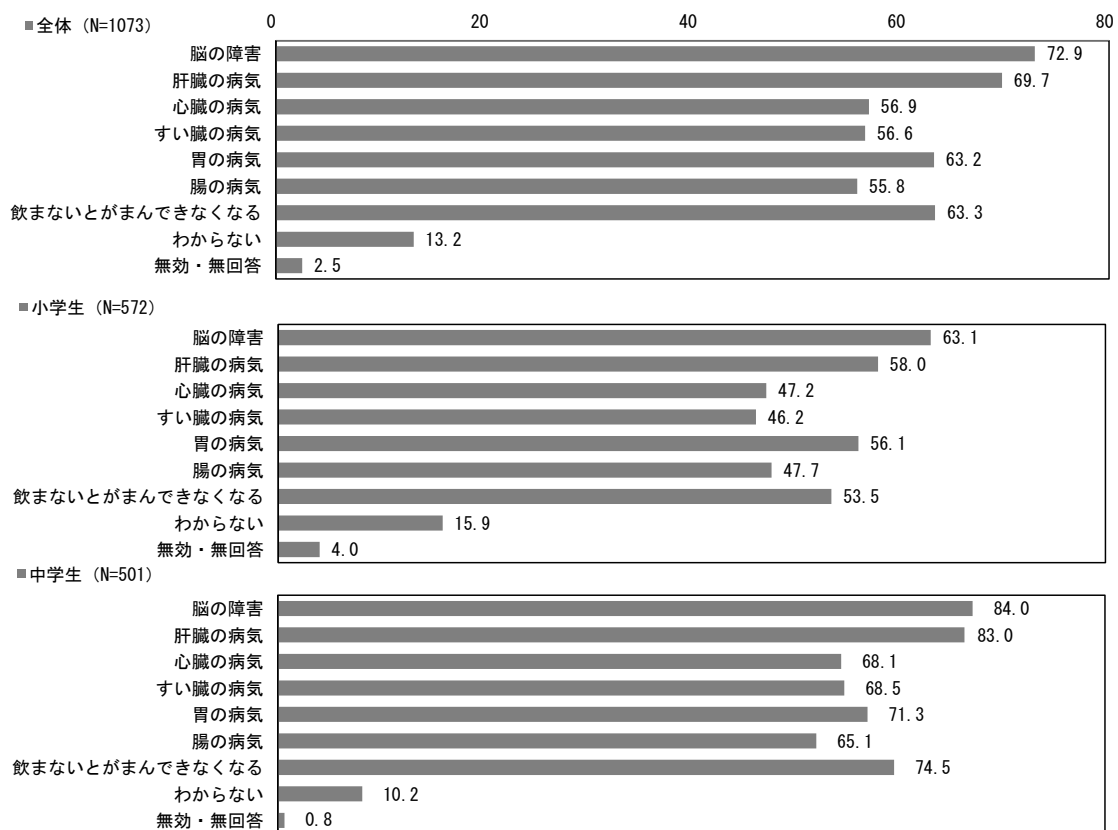
【小学生】

「脳の障害」の割合が63.1%と最も多く、次いで「肝臓の病気」の割合が58.0%、「胃の病気」の割合が56.1%となっている。

【中学生】

「脳の障害」の割合が84.0%と最も多く、次いで「肝臓の病気」の割合が83.0%、「飲まないのがまんできなくなる」の割合が74.5%となっている。

＜飲酒による健康への影響（全体、学生別）＞

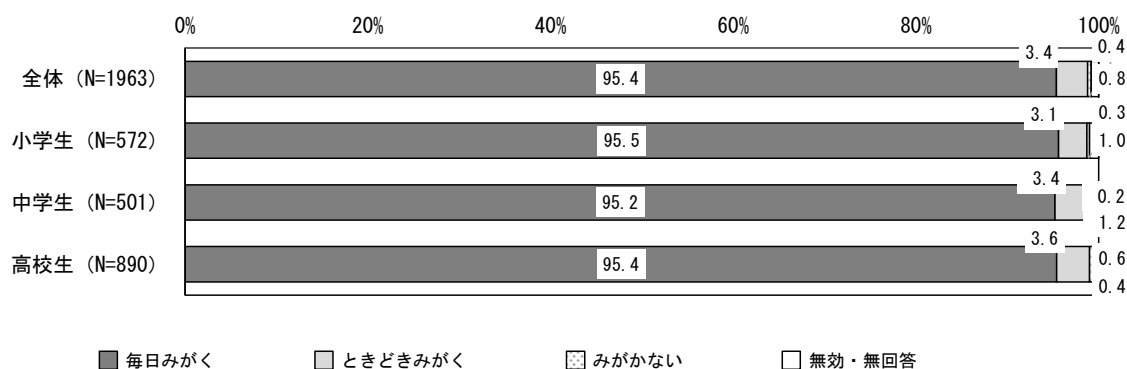


3. 歯と口の健康について

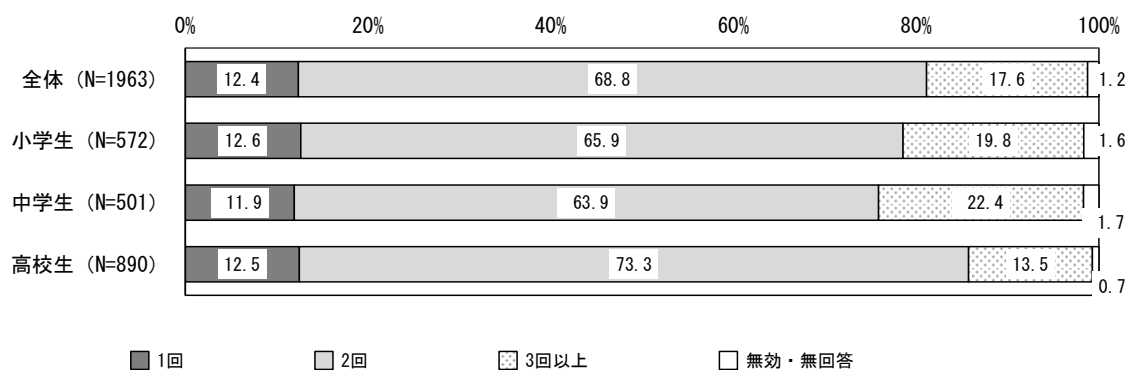
問10 歯をみがく頻度はどのくらいですか。(〇はひとつ) (高校生 問2)

どの世代も9割以上が「毎日みがく」と回答し、8割以上が1日に2回以上、歯をみがいている。

<歯をみがく頻度(全体、学生別)>



<1日の歯みがき回数(全体、学生別)>



問 1 1 一日のうち、いつ歯を磨いて磨いていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。(○はいくつでも)

【全体】

「就寝前」の割合が70.5%と最も多く、次いで「朝食後」の割合が70.0%、「夕食後」の割合が34.7%となっている。

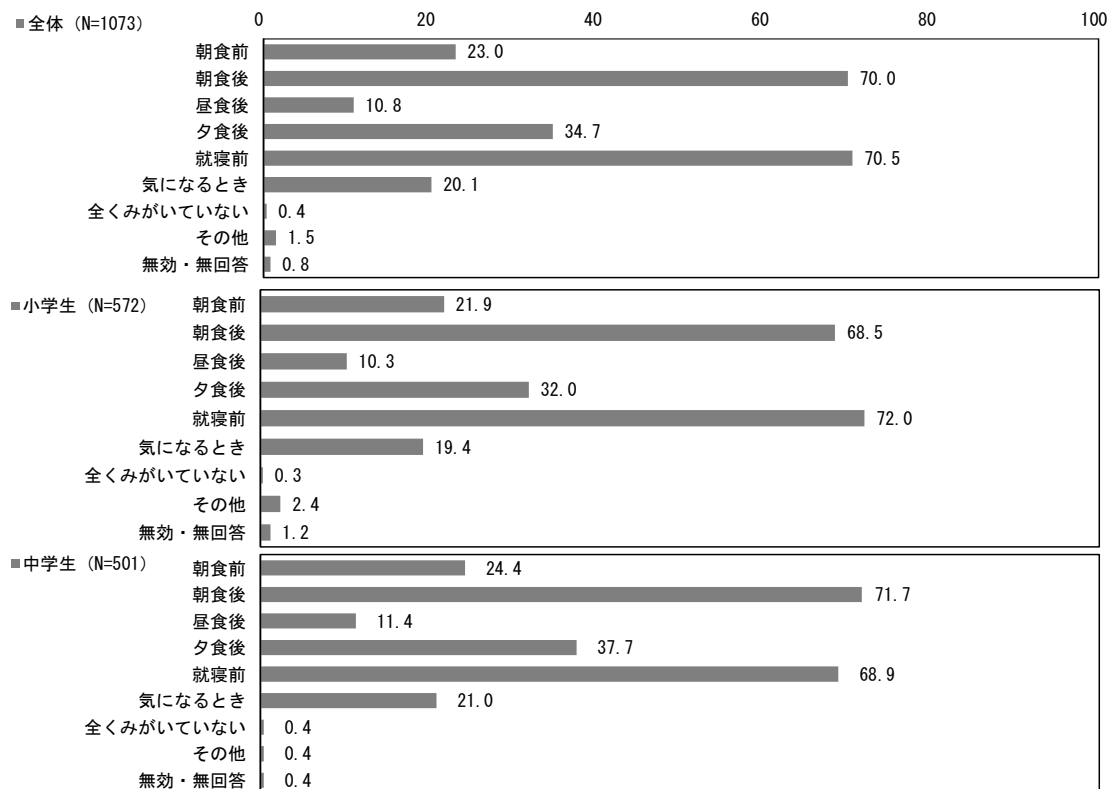
【小学生】

「就寝前」の割合が72.0%と最も多く、次いで「朝食後」の割合が68.5%、「夕食後」の割合が32.0%となっている。その他の意見では「間食後」「お風呂上がり」などの意見が挙げられている。

【中学生】

「朝食後」の割合が71.7%と最も多く、次いで「就寝前」の割合が68.9%、「夕食後」の割合が37.7%となっている。

＜歯をみがくタイミング（全体、学生別）＞



問12 歯をみがくときには、歯みがき粉を使っていますか。(〇はひとつ)
(高校生 問3)

【全体】

「フッ素が入っているかはわからないが、歯みがき粉を使っている」の割合が46.3%と最も多く、次いで「フッ素入りの歯みがき粉を使っている」の割合が45.5%、「歯みがき粉は使っていない」の割合が3.7%となっており、9割以上が歯みがき粉を使っている。

【小学生】

「フッ素が入っているかはわからないが、歯みがき粉を使っている」の割合が45.3%と最も多く、次いで「フッ素入りの歯みがき粉を使っている」の割合が43.2%、「歯みがき粉は使っていない」の割合が4.2%となっており、9割以上が歯みがき粉を使っている。

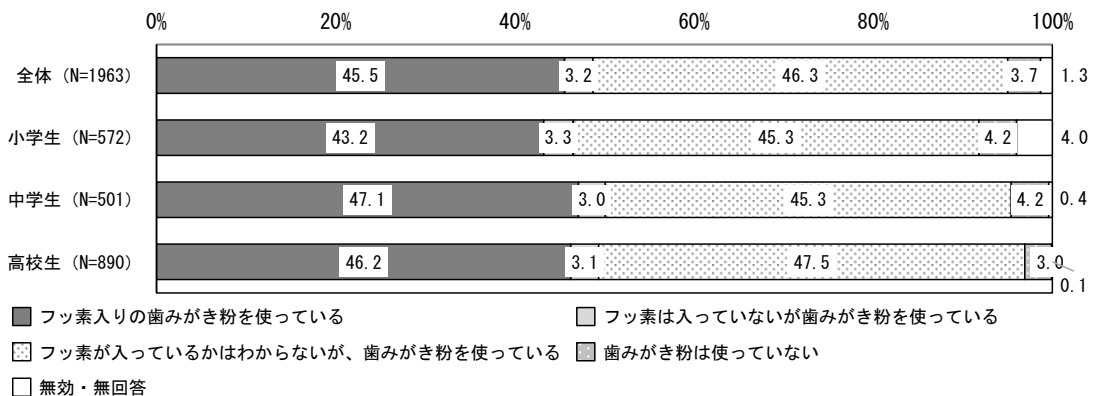
【中学生】

「フッ素入りの歯みがき粉を使っている」の割合が47.1%と最も多く、次いで「フッ素が入っているかはわからないが、歯みがき粉を使っている」の割合が45.3%、「歯みがき粉は使っていない」の割合が4.2%となっており、9割以上が歯みがき粉を使っている。

【高校生】

「フッ素が入っているかはわからないが、歯みがき粉を使っている」の割合が47.5%と最も多く、次いで「フッ素入りの歯みがき粉を使っている」の割合が46.2%、「フッ素は入っていないが歯みがき粉を使っている」の割合が3.1%となっており、9割以上が歯みがき粉を使っている。

<歯みがき粉の使用（全体、学生別）>



問 1 3 学校で受けた歯科健康診断の結果はどうか。(〇はいくつでも)
(高校生 問 4)

【全体】

「異常はありません」の割合が 54.3%と最も多く、次いで「わからない・覚えていない」の割合が 19.4%、「その他」の割合が 8.9%となっており、5 割以上が異常なしである。

【小学生】

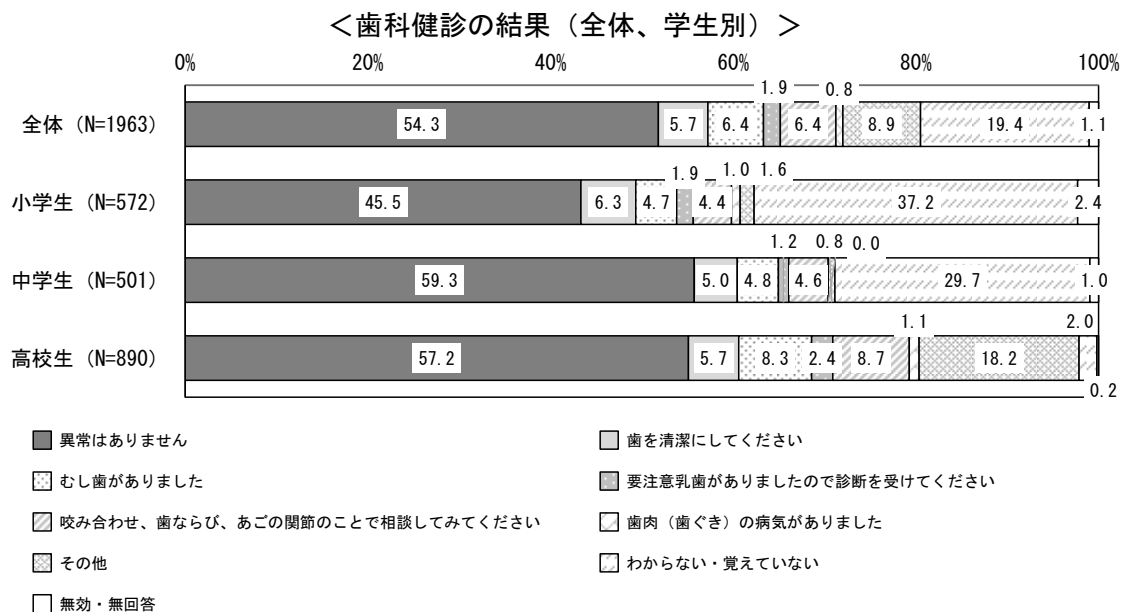
「異常はありません」の割合が 45.5%と最も多く、次いで「わからない・覚えていない」の割合が 37.2%、「歯を清潔にしてください」の割合が 6.3%となっており、4 割以上が異常なしである。

【中学生】

「異常はありません」の割合が 59.3%と最も多く、次いで「わからない・覚えていない」の割合が 29.7%、「歯を清潔にしてください」の割合が 5.0%となっており、5 割以上が異常なしである。

【高校生】

「異常はありません」の割合が 57.2%と最も多く、次いで「その他」の割合が 18.2%、「咬み合わせ、歯ならび、あごの関節のことで相談してみてください」の割合が 8.7%となっており、5 割以上が異常なしである。



問13(1) 問13で3~7を選んだ人に質問します。健診の後、歯医者で歯科治療や相談を受けましたか。(〇はひとつ)
(高校生 問4-2)

【全体】

「はい」の割合が31.4%となっている。

【小学生】

「はい」の割合が59.7%となっている。

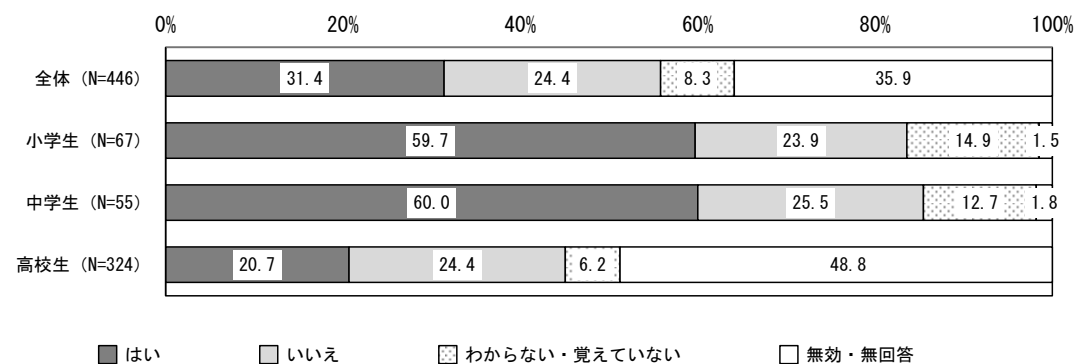
【中学生】

「はい」の割合が60.0%となっている。

【高校生】

「はい」の割合が20.7%となっている。

<健診後の歯科受診（全体、学生別）>



問14 症状がなくても定期的に歯医者でお口のチェックを受けていますか。(〇はひとつ) (高校生 問5)

【全体】

「はい」の割合が49.4%となっている。

【小学生】

「はい」の割合が61.5%となっている。

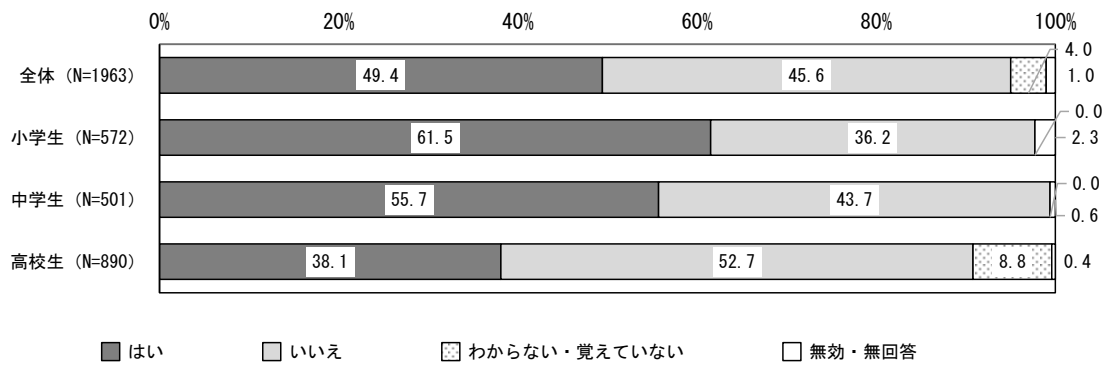
【中学生】

「はい」の割合が55.7%となっている。

【高校生】

「はい」の割合が38.1%となっている。

< 歯科定期受診 (全体、学生別) >



問15 この1年間に、歯医者で歯科検診を受けましたか。(〇はひとつ)
 (高校生 問6)

【全体】

「はい」の割合が64.7%となっている。

【小学生】

「はい」の割合が74.8%となっている。

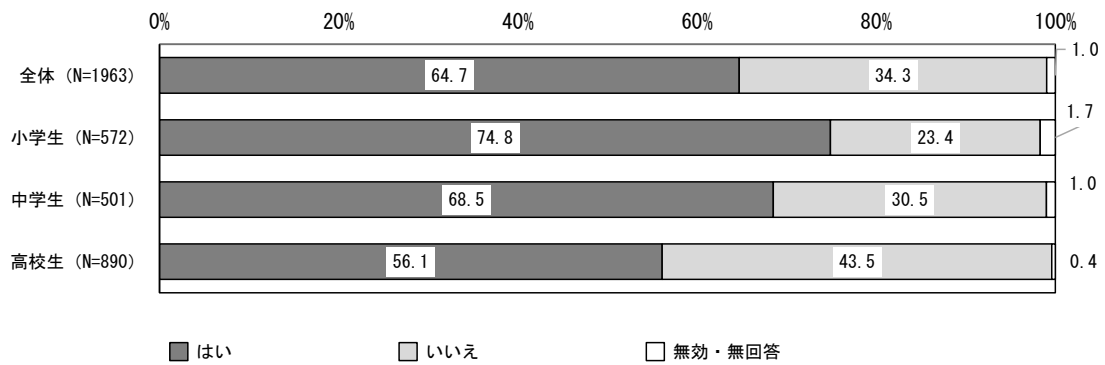
【中学生】

「はい」の割合が68.5%となっている。

【高校生】

「はい」の割合が56.1%となっている。

< 歯科受診 (全体、学生別) >



問16 この1年間に、歯医者で歯の正しいみがき方について個別に指導を受けましたか。(○はひとつ) (高校生 問7)

【全体】

「はい」の割合が34.6%となっている。

【小学生】

「はい」の割合が45.6%となっている。

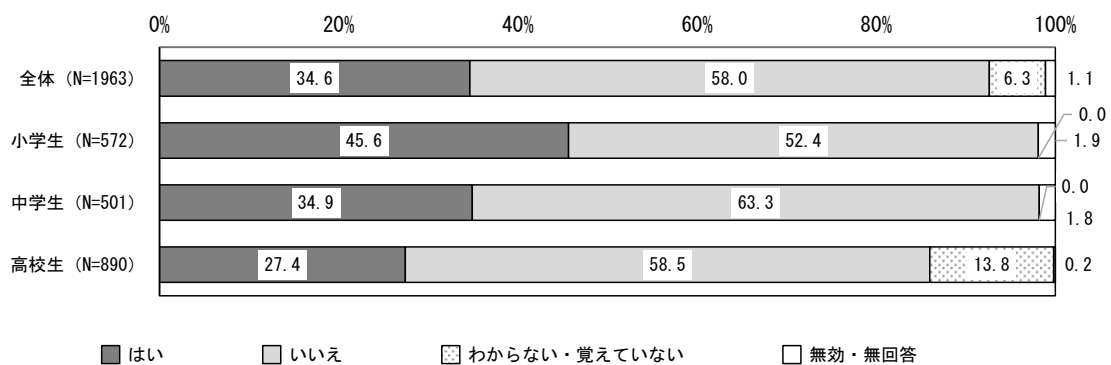
【中学生】

「はい」の割合が34.9%となっている。

【高校生】

「はい」の割合が27.4%となっている。

<歯のみがき方個別指導(全体、学生別)>



問17 「嘸ミング30」という言葉を知っていますか。(〇はひとつ)
 (高校生 問11)

【全体】

「知らなかった」の割合が70.5%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が20.2%、「よく知っている」の割合が8.2%となっている。

【小学生】

「知らなかった」の割合が60.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が25.7%、「よく知っている」の割合が10.7%となっている。

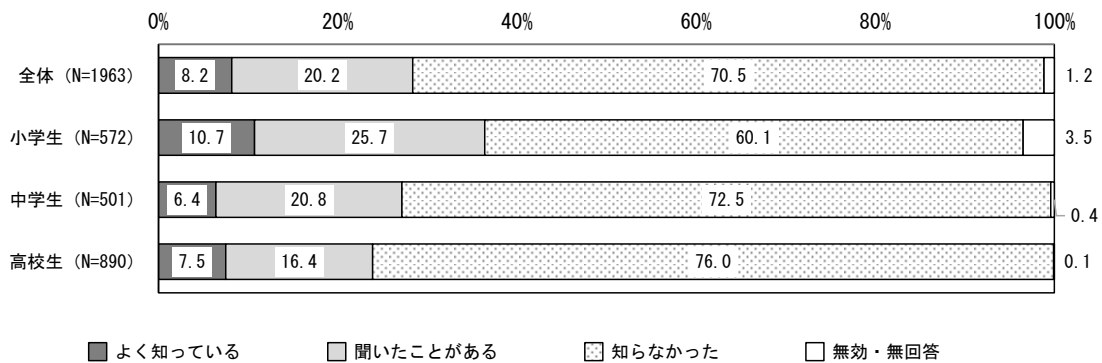
【中学生】

「知らなかった」の割合が72.5%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が20.8%、「よく知っている」の割合が6.4%となっている。

【高校生】

「知らなかった」の割合が76.0%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が16.4%、「よく知っている」の割合が7.5%となっている。

＜「嘸ミング30」の認知（全体、学生別）＞



問18 「8020運動」という言葉を知っていますか。(〇はひとつ)
 (高校生 問12)

【全体】

「知らなかった」の割合が61.9%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が19.9%、「よく知っている」の割合が16.5%となっている。

【小学生】

「知らなかった」の割合が71.7%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が15.0%、「よく知っている」の割合が8.9%となっている。

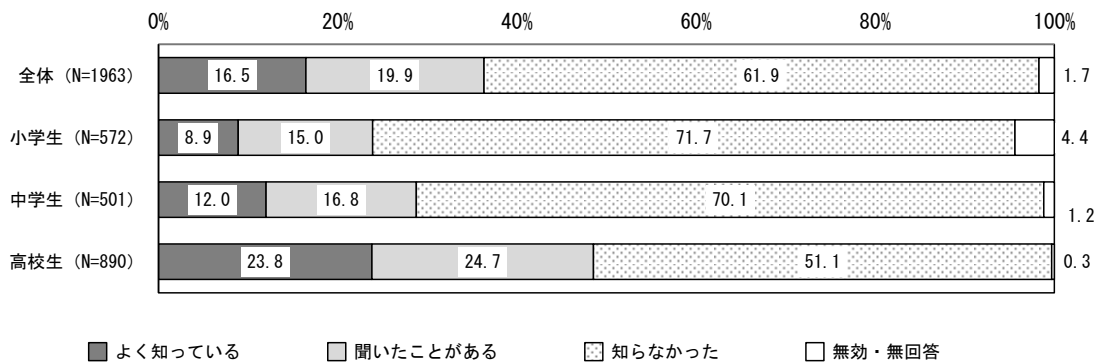
【中学生】

「知らなかった」の割合が70.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が16.8%、「よく知っている」の割合が12.0%となっている。

【高校生】

「知らなかった」の割合が51.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」の割合が24.7%、「よく知っている」の割合が23.8%となっている。

＜「8020運動」の認知（全体、学生別）＞

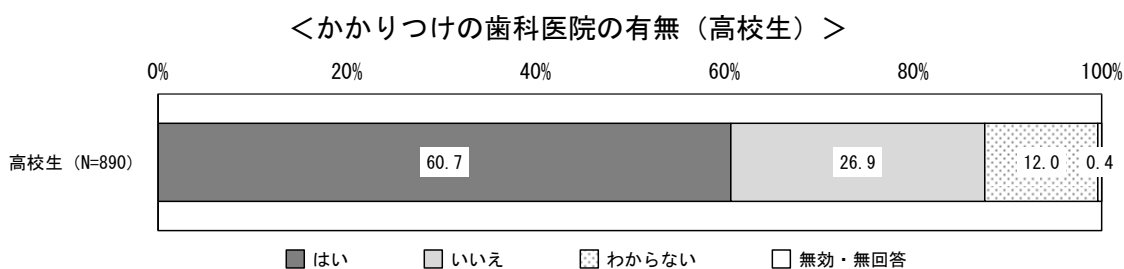


高校生のみの質問

問8 かかりつけの歯科医院はありますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

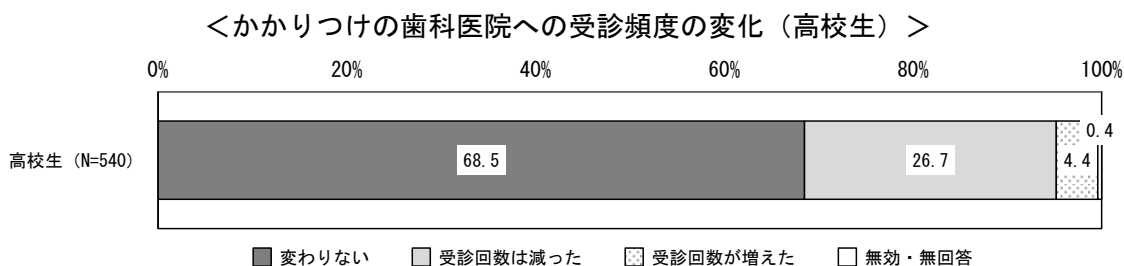
※かかりつけの歯科医院とは、痛いなどの症状があって不都合な時にだけ通う歯科医院ではなく、定期的に受診して、健診、ブラッシング指導、歯石除去等の口腔管理を受けている歯科医院をさします。

「はい」の割合が60.7%となっている。



問8—2 コロナ流行前（令和2（2020）年より前）と比べて、かかりつけ歯科医院受診への頻度に変化はありますか。

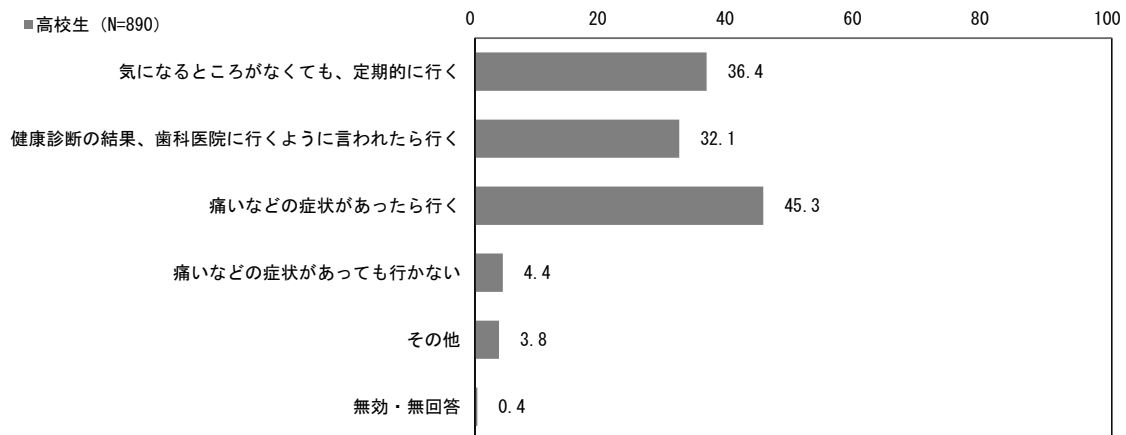
「変わらない」の割合が68.5%、「受診回数は減った」の割合が26.7%となっている。



問9 歯科医院へはどのような場合に行きますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

「痛いなどの症状があったら行く」の割合が 45.3%で最も多く、次いで「気になるところがなくても、定期的に行く（健診、フッ素塗布、歯石除去、歯のクリーニング等のため）」の割合が 36.4%、「健康診断の結果、歯科医院に行くように言われたら行く」の割合が 32.1%となっている。その他の意見では「歯列矯正」の意見が多く挙げられている。

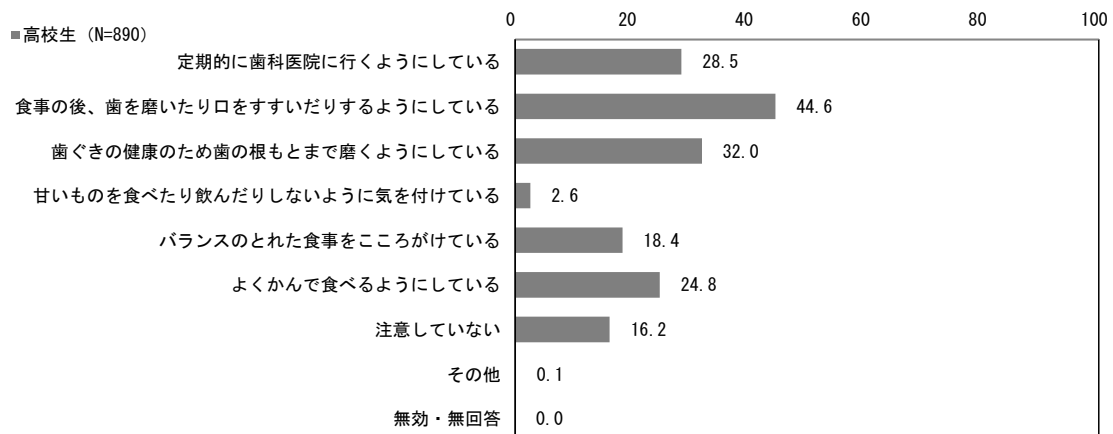
＜歯科医院受診理由（高校生）＞



問10 歯や歯ぐきの健康についてどのようなことについて注意していますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

「食事の後、歯を磨いたり口をすすいだりするようにしている」の割合が 44.6%で最も多く、次いで「歯ぐきの健康のため歯の根もとまで磨くようにしている」の割合が 32.0%、「定期的に歯科医院に行くようにしている」の割合が 28.5%となっている。

＜歯や歯ぐきの健康（高校生）＞



令和4年度 学校歯科保健アンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするため、調査を行うことを目的とします。

2. 調査設計

枚方市の小学校・中学校・高等学校の養護教諭

3. 調査期間

令和4年12月2日（金）から令和5年2月20日（月）

4. 調査方法

郵送による配布・回収、FAX 回答
インターネットによるウェブ回答

5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
74 通	70 通	94.6%

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

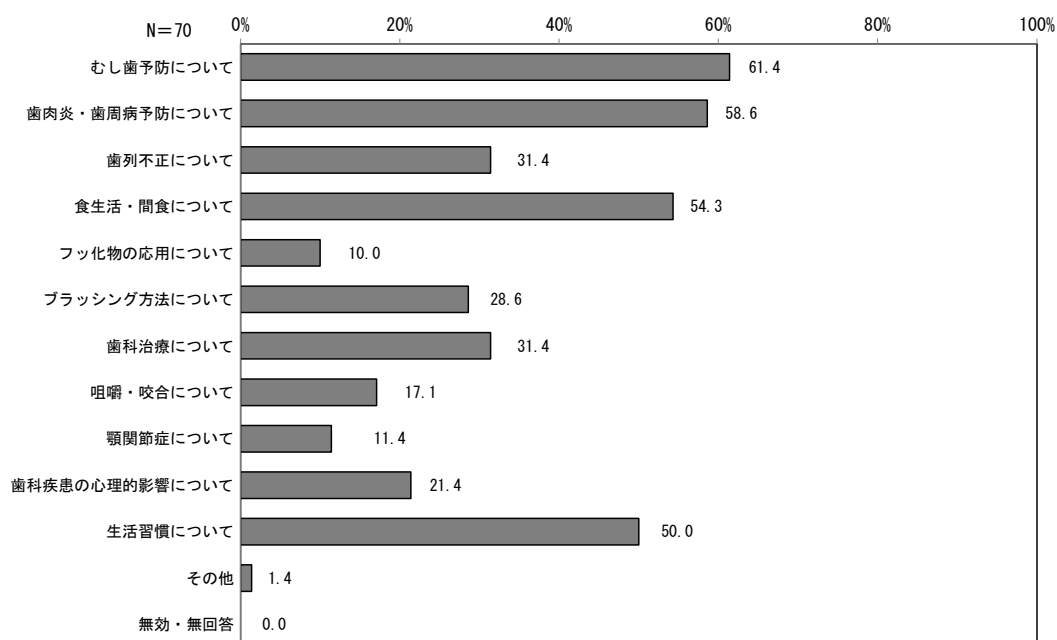
1. 学校保健委員会での歯科保健活動について

問1 保健教育における歯の取り組みについてご記入ください（特に取り組まれていること）。

「歯科衛生士によるブラッシング指導と講話」、「保健だよりや掲示物での歯の健康についての啓発活動」、「歯科健診後の受診勧告」などの意見があげられている。

問2 学校保健委員会で取り上げるべきと思われる歯科のテーマに○をつけてください。（複数回答可）

「むし歯予防について」の割合が最も高く 61.4%、次いで「歯肉炎・歯周病予防について」の割合が 58.6%、「食生活・間食について」の割合が 54.3%となっている。



2. 歯科保健全般について

問3 歯科保健に関して、家庭との連携をどのようにしていますか。その方法をご記入ください。

「保健だよりでの啓発」、「健診後の結果通知書や受診勧奨」、「う歯の多い児童、未治療の児童に対して個別でのアプローチ」などの意見があげられている。

問4 歯科保健に関して、地域や関係機関との連携をどのようにしていますか。その方法をご記入ください。

「学校歯科医と学校保健委員会などを利用して情報交換を実施している」、「学校歯科医への連絡・相談」、「口腔の外傷への対応」などの意見があげられている。

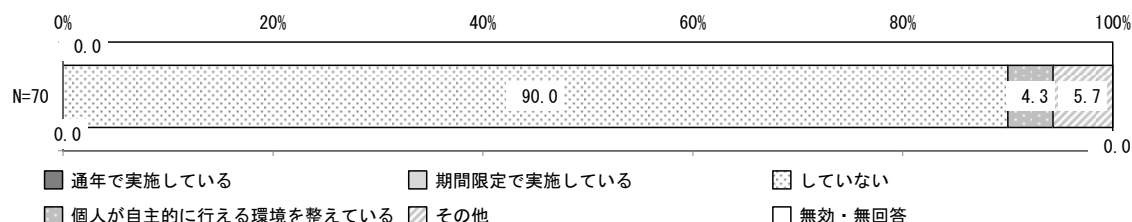
問5 コロナ流行により学校歯科健診や歯科保健に関して苦労されたことや、工夫されたことはありますか。

「健診会場の入場制限・換気などの感染症対策」、「健診時はダブルミラー（歯鏡2本を用いる）で実施して、口腔内には直接触れないが、児童1人1人に対して手袋の交換を実施した」、「感染症対策の影響で健診に時間がかかった」などの意見があげられている。

問6（1）給食（昼食）後の歯みがきを実施していますか。

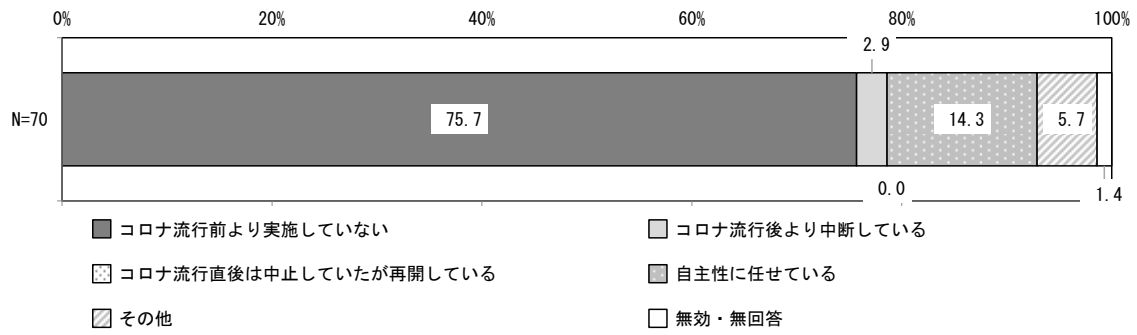
【コロナ流行前（令和2年（2020年）以前）までの状況】

「していない」の割合が最も高く90%、次いで「その他」の割合が5.7%、「個人が自主的に行える環境を整えている」の割合が4.3%となっている。その他の意見では「手洗い場の確保ができず基本的には実施していないが、保護者の意向で実施している児童もいた」「学校としての取り組みはできていない」などの意見があげられている。



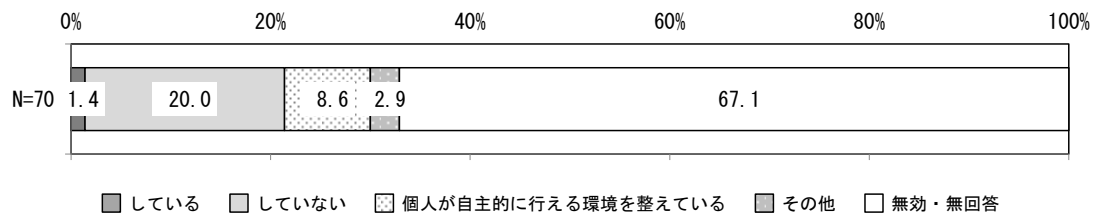
【コロナ流行後（令和2年（2020年）以降）からの状況】

「コロナ流行前より実施していない」の割合が最も高く75.7%、次いで「自主性に任せている」の割合が14.3%、「その他」の割合が5.7%となっている。その他の意見では「学校としての取り組みはできていない」などの意見があげられている。



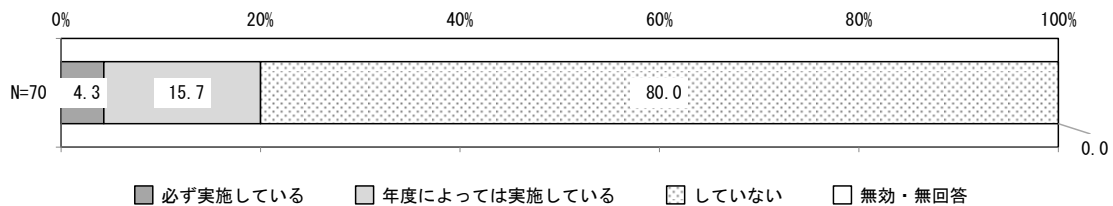
問6（2）給食（昼食）後の歯磨きを実施している場合、歯磨き剤を使用するよう指導していますか。

「していない」の割合が最も高く 20.0%、次いで「個人が自主的に行える環境を整えている」の割合が 8.6%、「その他」の割合が 2.9%となっている。



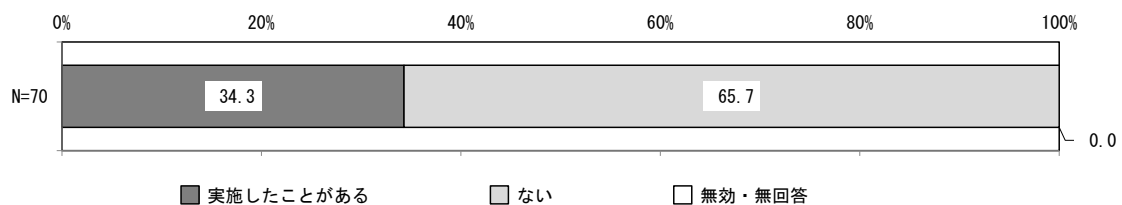
問6（3）「歯と口の健康週間」には、特別に歯に関する行事を計画実施していますか。

「していない」の割合が最も高く 80%、次いで「年度によっては実施している」の割合が 15.7%、「必ず実施している」の割合が 4.3%となっている。具体的な内容では「歯科衛生士による講話」「掲示物で歯に関する指導を行う」などの意見があげられている。



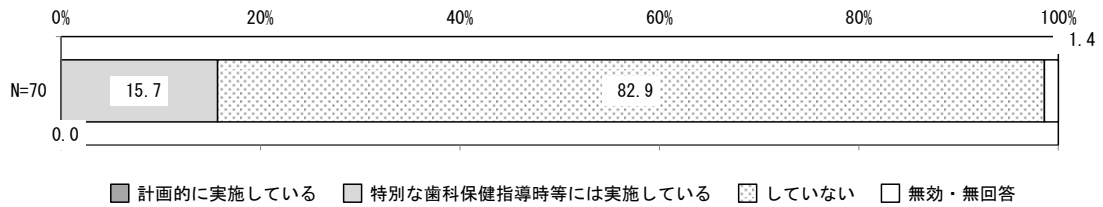
問6（4）特別に時間を設けるなどして、歯磨き指導を実施したことがありますか。

「実施したことがある」の割合が 34.3%となっている。具体的な内容では「歯科衛生士によるブラッシング指導」「保健指導」などの意見があげられている。



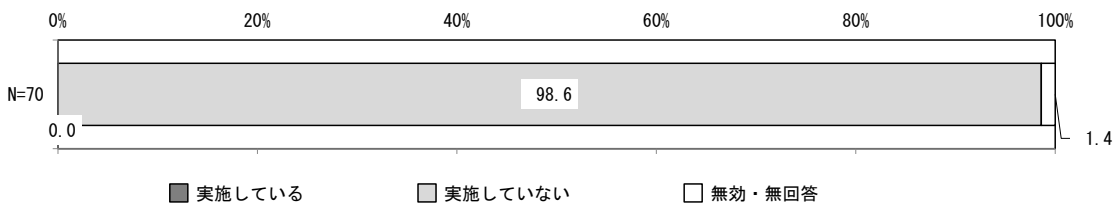
問6（5）プラークチェック（歯垢染め出しテスト）の実施をしていますか。

「していない」の割合が82.9%、「特別な歯科保健指導時等には実施している」の割合が15.7%となっている。



問6（6）フッ素洗口を実施していますか。

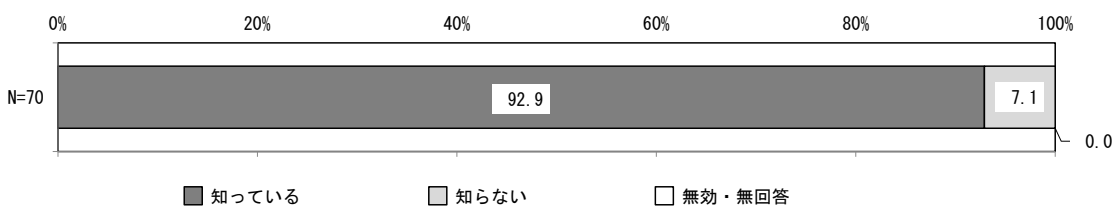
「実施していない」の割合が98.6%となっている。



問6（7）フッ化物の利用について

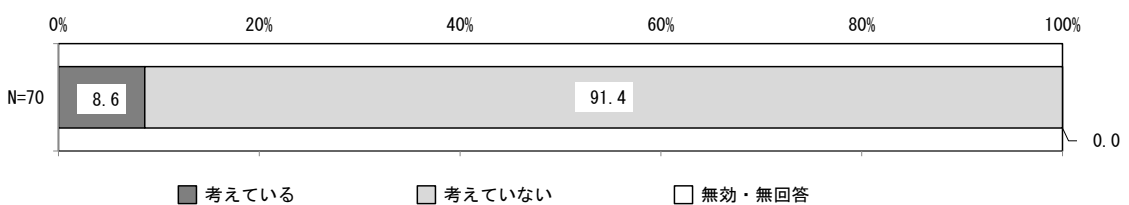
① フッ素がむし歯予防に効果的であることを知っていますか。

「知っている」の割合が92.9%となっている。



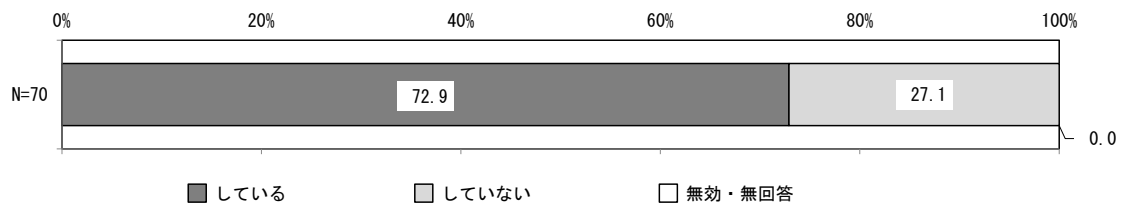
② 今後、フッ化物の利用を考えていますか。

「考えている」の割合が8.6%となっている。



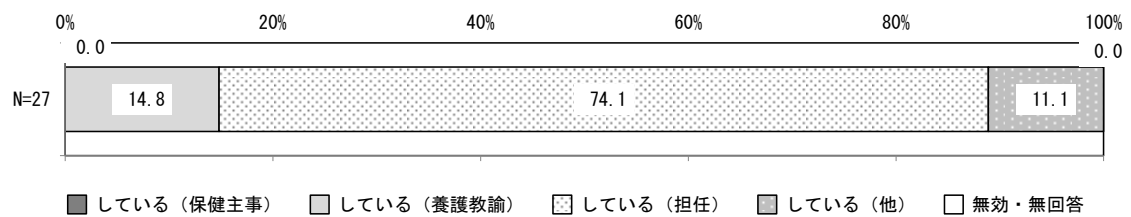
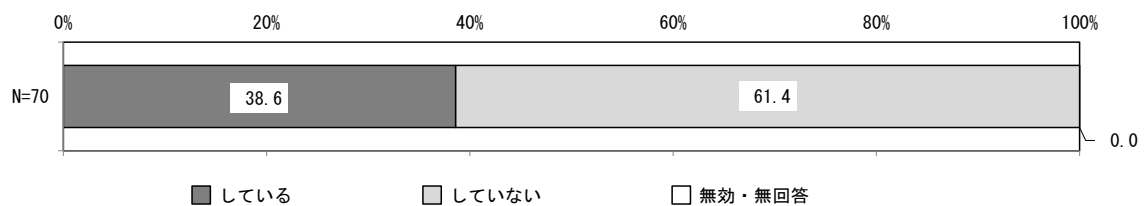
問6(8) 歯科健康診断問診票を健康診断前に活用し、学校歯科医に情報提供していますか。

「している」の割合が72.9%となっている。情報提供の方法として「問診票に書かれている気になる項目を伝える」「検診票を事前に見てもらおう」などの意見があげられている。



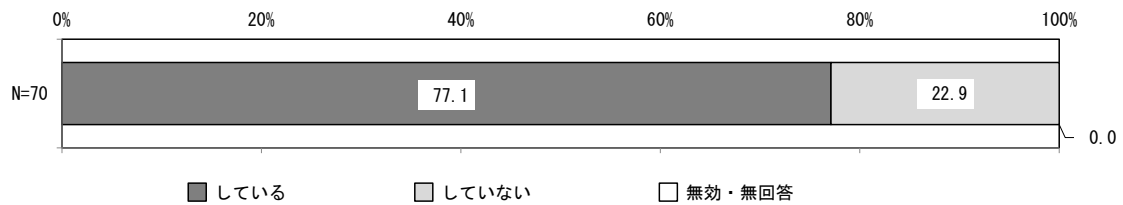
問6(9) 健康診断前に、事前指導(学級活動)の時間を設けていますか。

「している」の割合が38.6% (27校)、内訳は「養護教諭」の割合が14.8% (4校)、「担任」の割合が74.1% (20校)、「他」の割合が11.1% (3校)となっている。具体的な事前指導の内容では「検診の待ち時間に、検診の意義、受診の仕方、歯の健康に関する項目の視聴」「終礼の時間に歯科検診の説明を行う」などの意見があげられている。



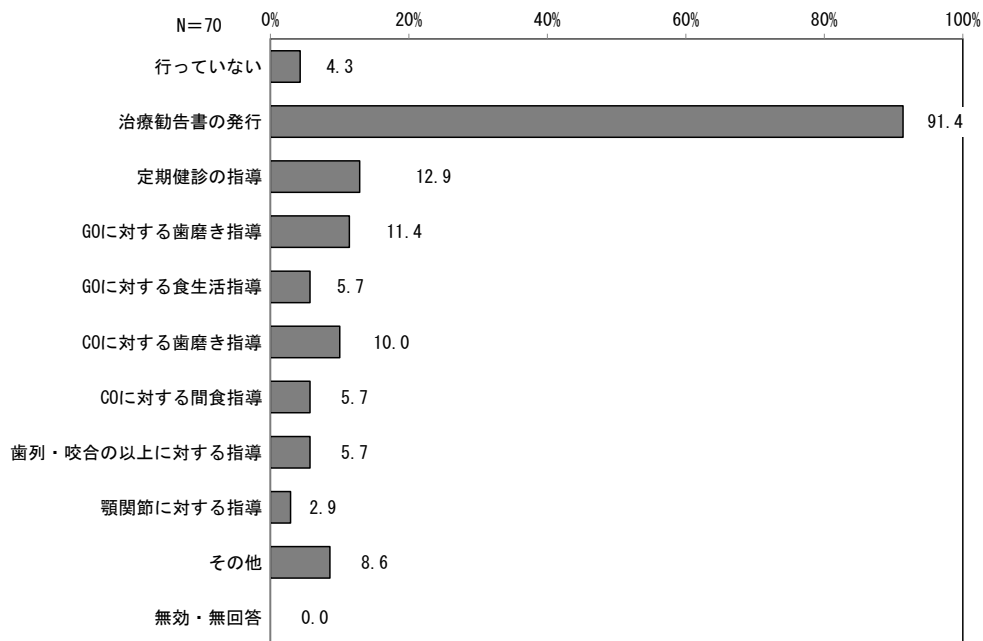
問6（10） 歯科健康診断後に、歯科医院受診確認を集計していますか。

「している」の割合が77.1%となっている。具体的な確認方法として「受診報告書の回収」などの意見があげられている。



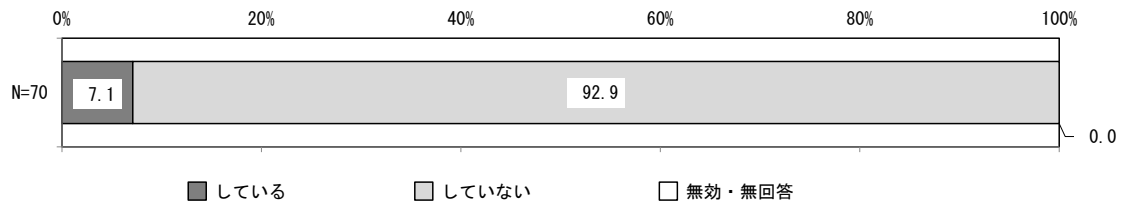
問6（11） 歯科健康診断後の指導について行っているものに○をつけてください。（複数回答可）

「治療勧告書の発行」の割合が最も高く91.4%、次いで「定期健診の指導」の割合が12.9%、「GOに対する歯磨き指導」の割合が11.4%となっている。その他の意見では「保健だよりに掲載する」「ブラッシング指導」などの意見があげられている。



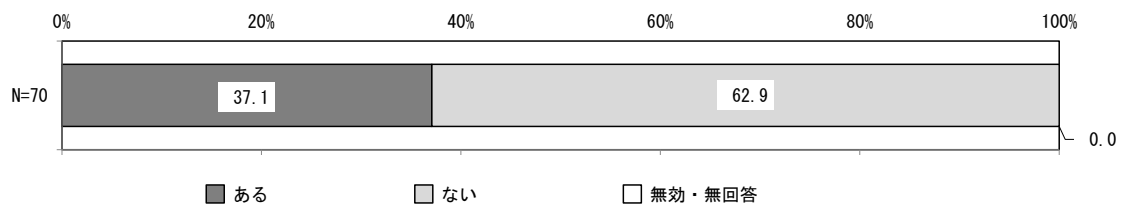
問6（12）歯・口の臨時健康診断を実施していますか。

「している」の割合が7.1%となっている。



問6（13）教育委員会等との協力で事業（歯科の取り組み）をしたことがありますか。

「ある」の割合が37.1%となっている。具体的な協力内容は「歯科衛生士によるブラッシング指導」「歯科衛生士による授業」などの意見があげられている。



令和4年度 障害者（児）施設における歯と口腔の健康に関するアンケート 結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするため、調査を行うことを目的とします。

2. 調査対象

枚方市の障害者（児）施設 192 か所

3. 調査期間

令和4年12月1日（木）から令和4年12月23日（金）

4. 調査方法

郵送による配布・回収
インターネットによるウェブ回答

5. 回答状況

配布数	有効回収数	有効回収率
192 通	121 通 (郵送 111 通、ウェブ 10 通)	63.0%

6. 調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

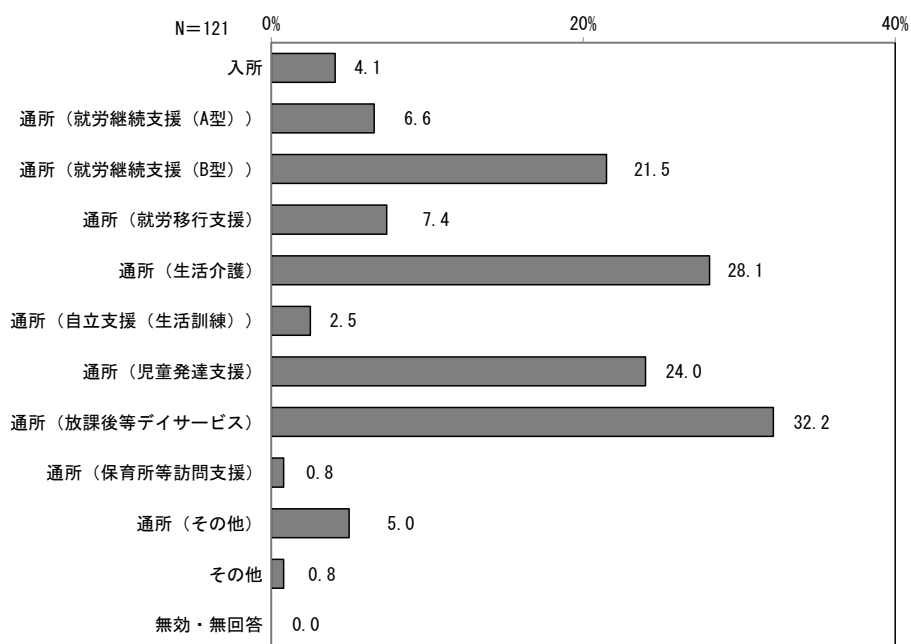
・複数回答が可能な設問の場合、各選択肢への回答が各設問の回答者数に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

1. 施設のことについて

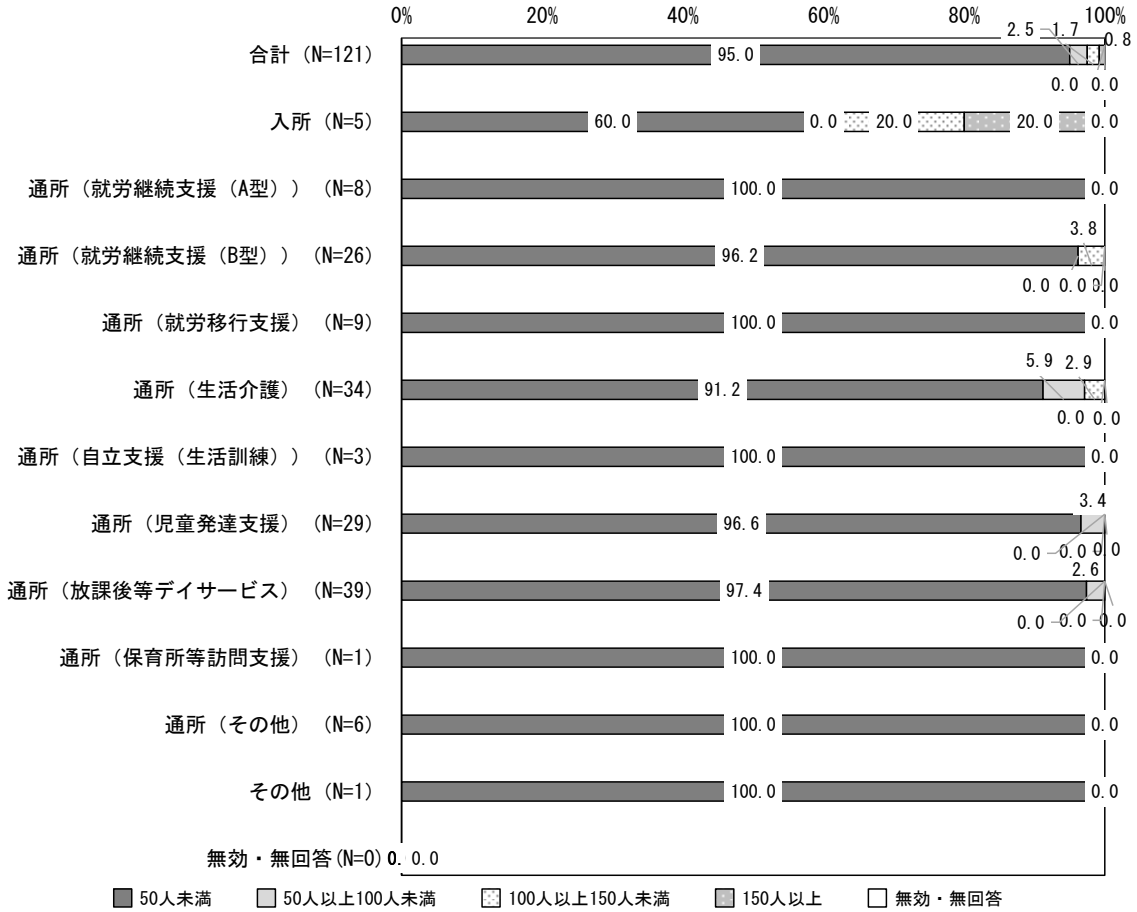
問1 施設で実施されているサービスの形態をお選びください。【複数回答可】

「放課後等デイサービス」の割合が32.2%で最も高く、次いで「生活介護」の割合が28.1%、「児童発達支援」の割合が24.0%となっています。またその他として「ショートステイ」などの意見も挙げられています。



問2 施設の収容定員はどれくらいですか。

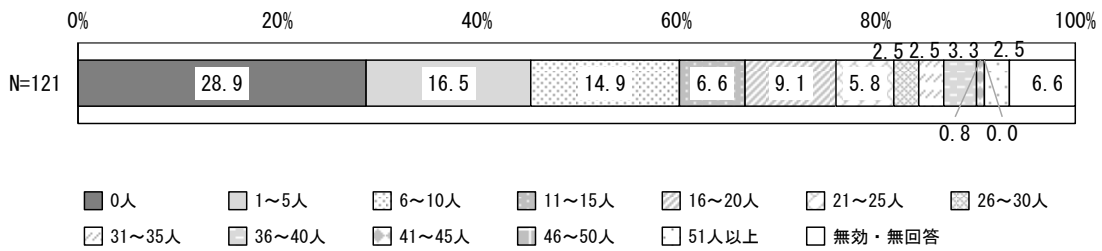
「50人未満」の割合が95.0%、次いで「50人以上100人未満」の割合が2.5%、「100人以上150人未満」の割合が1.7%となっています。



問3 現在の入所者の構成について人数をお答えください。

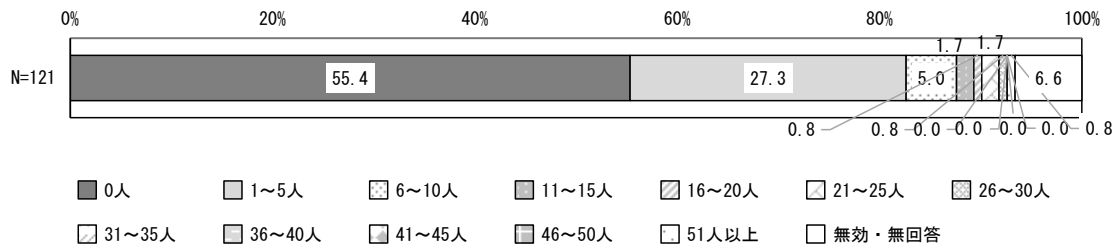
(1) 知的障害

「0人」の割合が28.9%、「1～5人」の割合が16.5%、「6～10人」の割合が14.9%、「11～15人」の割合が6.6%、「16～20人」の割合が9.1%、「21～25人」の割合が5.8%、「26～30人」の割合が2.5%、「31～35人」の割合が2.5%、「36～40人」の割合が3.3%、「41～45人」の割合が0.8%、「46～50人」の割合が0.0%、「51人以上」の割合が2.5%となっています。



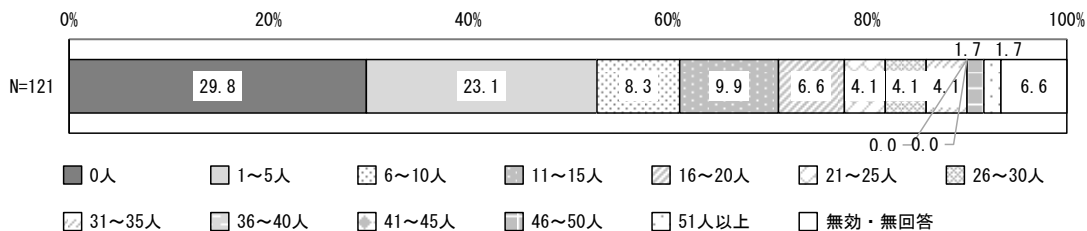
(2) 身体障害

「0人」の割合が55.4%、「1～5人」の割合が27.3%、「6～10人」の割合が5.0%、「11～15人」の割合が1.7%となっています。



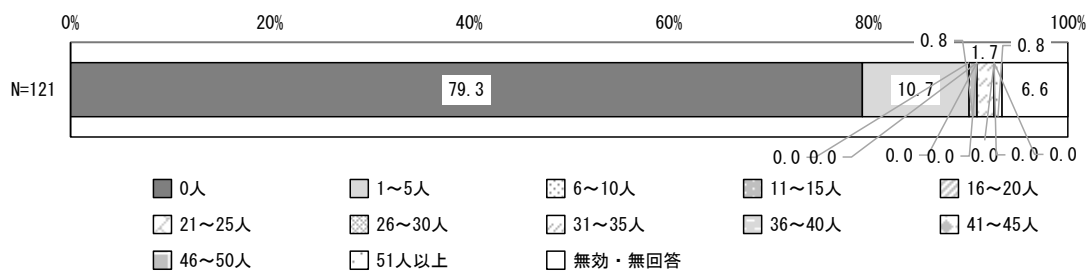
(3) 精神障害（発達障害含む）

「0人」の割合が29.8%、「1～5人」の割合が23.1%、「6～10人」の割合が8.3%、「11～15人」の割合が9.9%、「16～20人」の割合が6.6%、「21～25人」の割合が4.1%、「26～30人」の割合が4.1%、「31～35人」の割合が4.1%となっています。



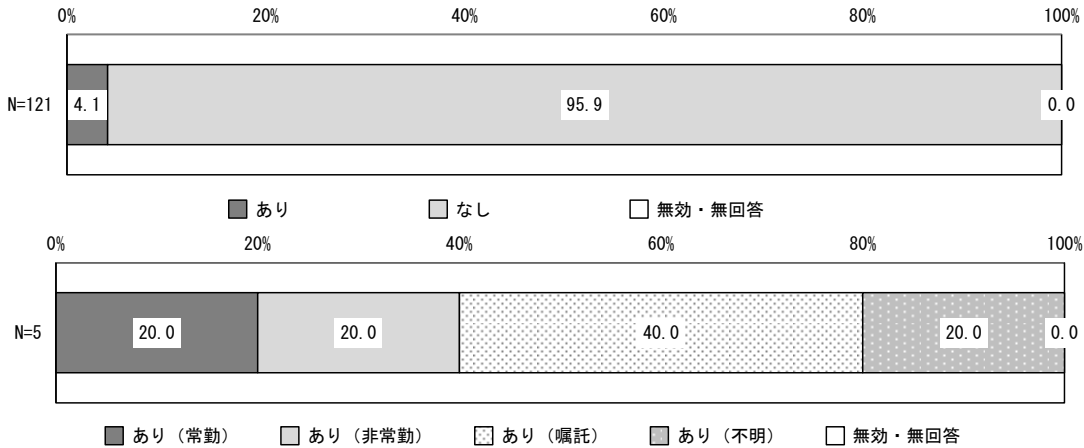
(4) その他

「0人」の割合が79.3%、「1～5人」の割合が10.7%となっています。



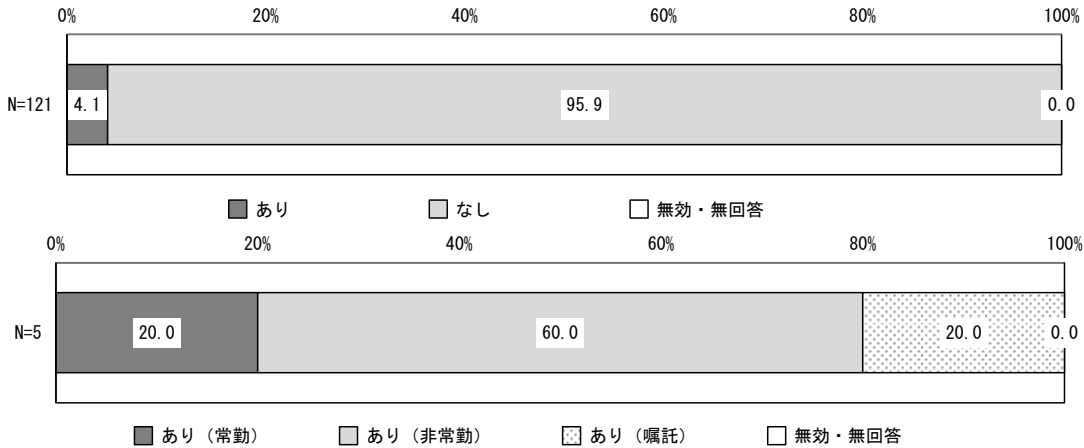
問4 歯科医師の配置はありますか。ありの場合には雇用形態もお答えください。

「あり」の割合が4.1%（5施設）、内訳は常勤が20.0%（1施設）、非常勤が20.0%（1施設）、嘱託が40.0%（2施設）、不明が20.0%（1施設）となっています。



問5 歯科衛生士の配置はありますか。ありの場合には雇用形態もお答えください。

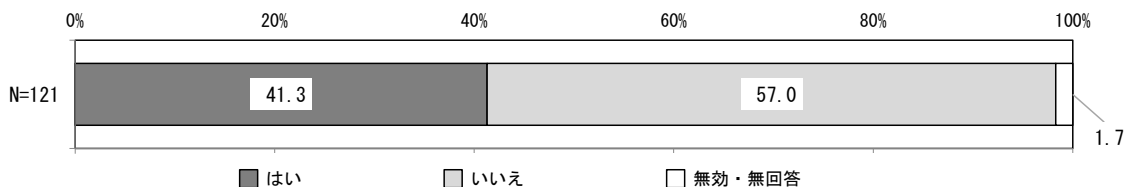
「あり」の割合が4.1%（5施設）、内訳は常勤が20.0%（1施設）、非常勤が60.0%（3施設）、嘱託が20.0%（1施設）、となつています。



2. 歯と口腔の健康について

問6-1 施設内で利用者の方の歯と口腔の健康のために時間をとっていますか。

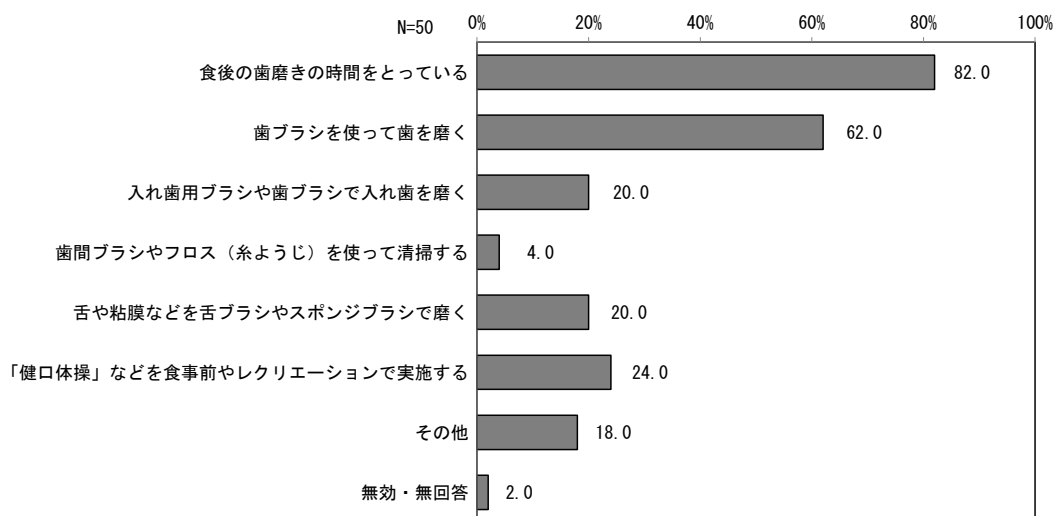
「はい」の割合が41.3%、「いいえ」の割合が57.0%となっています。



問6-2 問6-1で「はい」を選択した方のみお答えください。

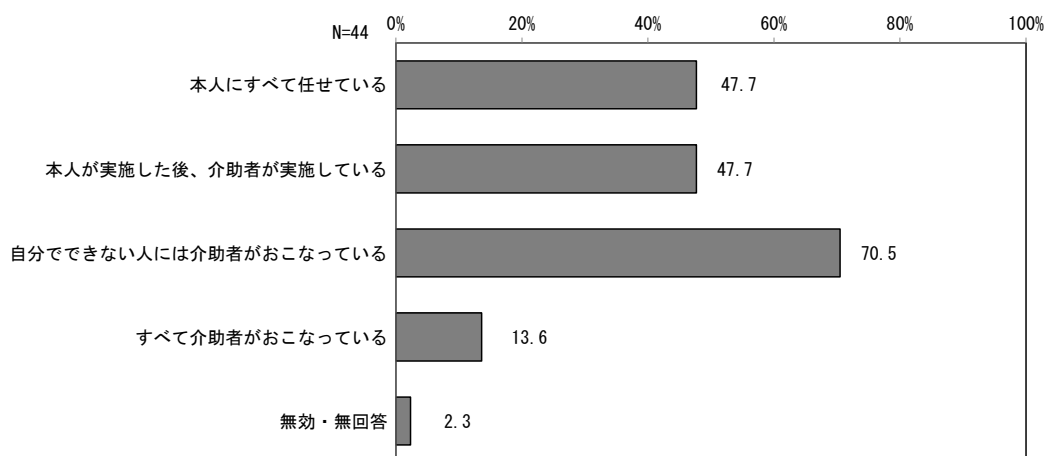
どのようなことを実施されていますか。【複数回答可】

「食後の歯磨きの時間をとっている」の割合が82.0%と最も高く、次いで「歯ブラシを使って歯を磨く」の割合が62.0%、「健口体操などを食事前やレクリエーションで実施する」の割合が24.0%となっています。その他の意見では「枚方市の活動で歯科医が施設に来てくれる」「歯の衛生面の知識普及」「歯科衛生士からのブラッシング指導」などの意見が挙げられています。



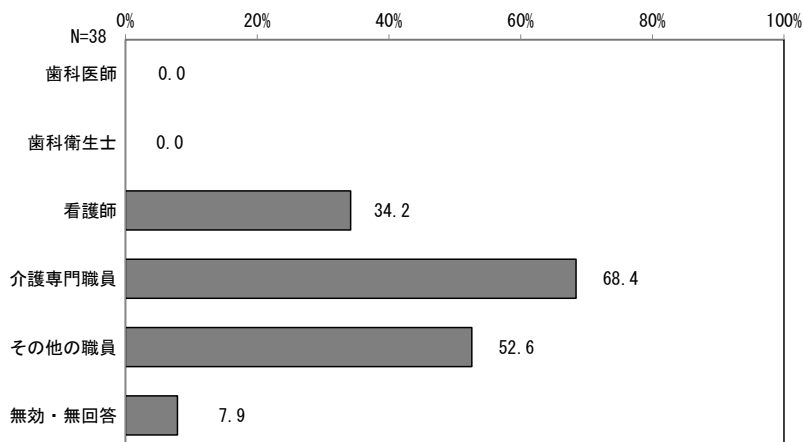
問6-3 問6-2で「食後の歯磨きの時間をとっている」、「歯ブラシを使って歯を磨く」、「歯間ブラシやフロス（糸ようじ）を使って清掃する」、「舌や粘膜などを舌ブラシやスポンジブラシで磨く」を選択した方のみお答えください。利用者の方の歯磨き等口の中の手入れは誰が実施していますか。【複数回答可】

「自分でできない人には介助者がおこなっている」の割合が70.5%で最も高く、次いで「本人にすべて任せている」、「本人が実施した後、介助者が実施している」の割合が47.7%となっています。



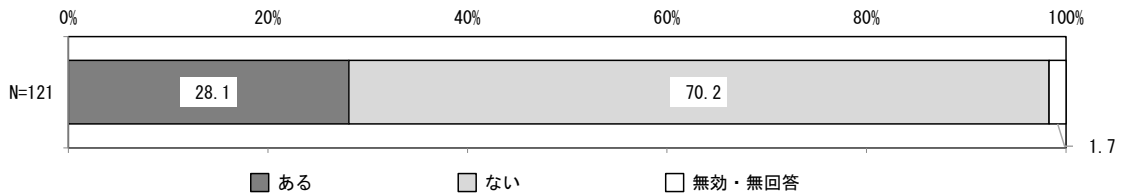
問6-4 問6-3で「本人が実施した後、介助者が実施している」、「自分でできない人には介助者がおこなっている」、「すべて介助者がおこなっている」を選択した方のみお答えください。歯磨き等口の中の手入れをされる介助者の職種は何ですか。【複数回答可】

「介護専門職員」の割合が68.4%と最も高く、次いで「その他の職員」の割合が52.6%、「看護師」の割合が34.2%となっています。



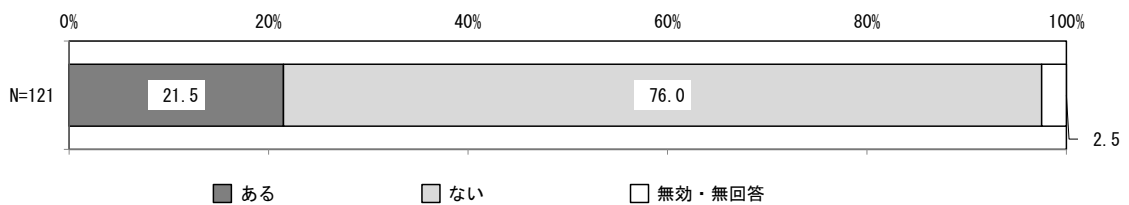
問7 利用者の方に対して施設として歯磨き指導を実施されたことがありますか。

「ある」の割合が28.1%、「ない」の割合が70.2%となっています。



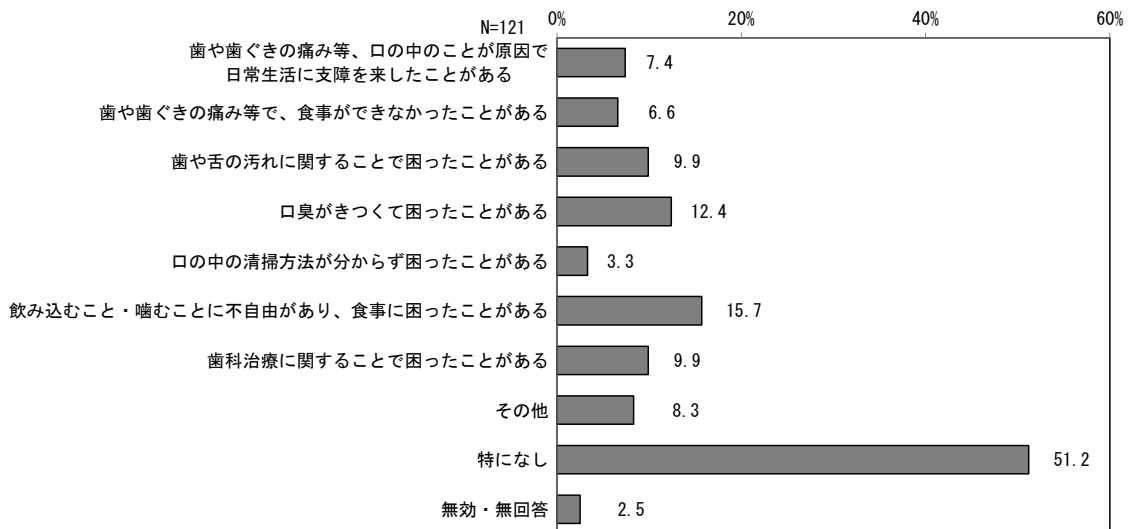
問8 利用者の方の口の中の手入れについて職員が指導・研修をうけられたことがありますか。

「ある」の割合が21.5%、「ない」の割合が76.0%となっています。



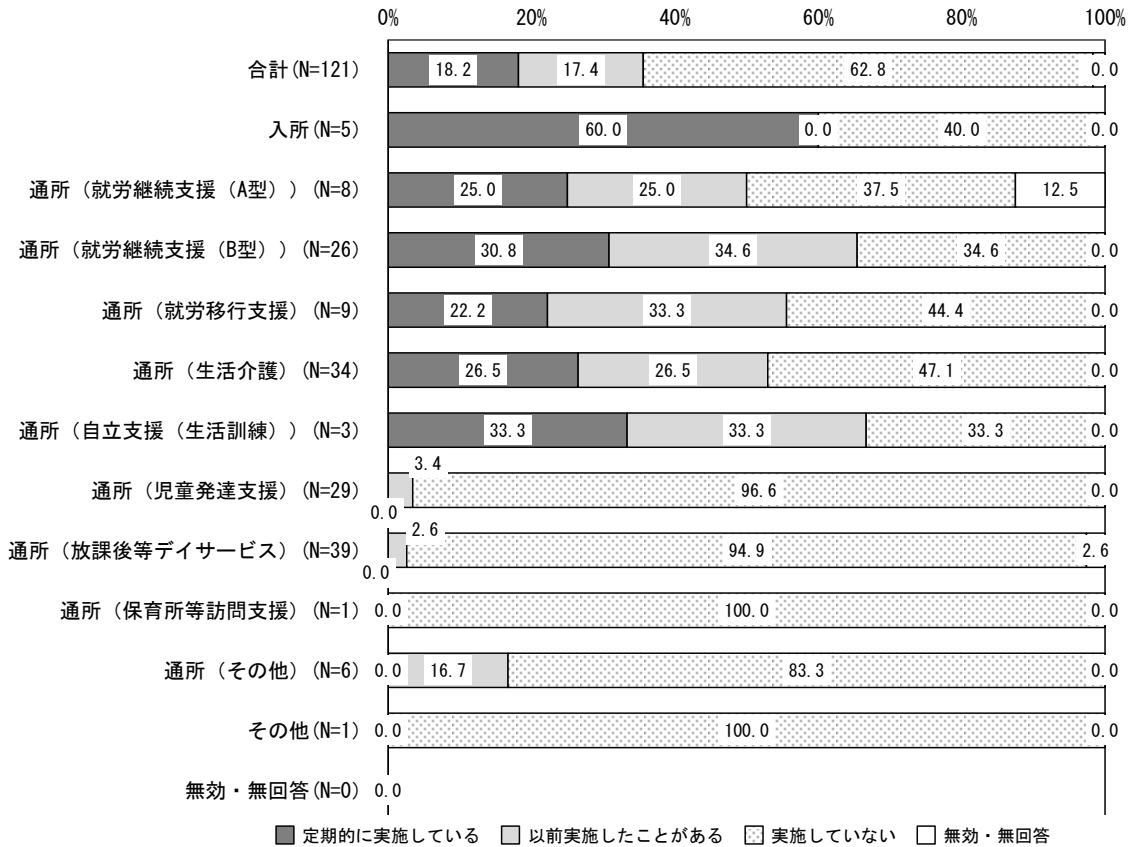
問9 この1年間に、利用者の方の歯・口のことで困ったことがありますか。【複数回答可】

「特になし」の割合が51.2%と最も高く、次いで「飲み込むこと・嚙むことに不自由があり、食事に困ったことがある」の割合が15.7%、「口臭がきつくて困ったことがある」の割合が12.4%となっています。その他の意見では「知的障害により歯ブラシの認識が難しく口腔内に歯ブラシを入れると嚙んでしまう」「利用者の口腔ケアについて家族の理解がない」「食事中にむせることがある」などの意見が挙げられています。



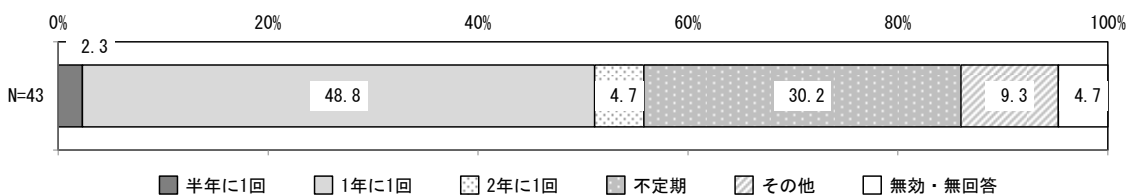
問10-1 利用者の方に対して歯科健診を実施されていますか。(健診とは歯や口の中が健康であるか調べることであり、歯の治療等は含みません。)

「定期的実施している」の割合が18.2%、「以前実施したことがある」の割合が17.4%、「実施していない」の割合が62.8%となっています。



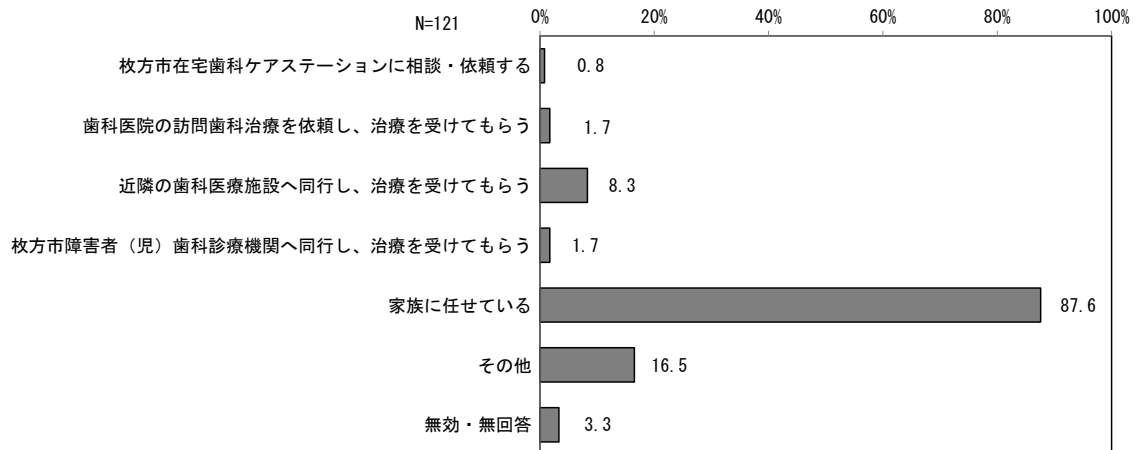
問10-2 問10-1で「定期的実施している」、「以前実施したことがある」を選択した方のみお答えください。歯科健診はどのぐらいの頻度で実施されていますか。

「半年に1回」の割合が2.3%、「1年に1回」の割合が48.8%、「2年に1回」の割合が4.7%、「不定期」の割合が30.2%、「その他」の割合が9.3%となっています。



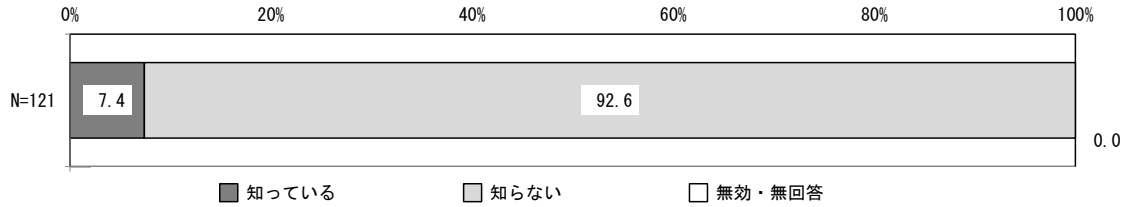
問 1 1 - 1 利用者の方の歯科治療が必要なときはどのように対処されていますか。【複数回答可】

「家族に任せている」の割合が 87.6%で最も高く、次いで「近隣の歯科医療施設へ同行し、治療を受けてもらう」の割合が 8.3%、「歯科医院の訪問歯科治療を依頼し、治療を受けてもらう」の割合が 1.7%となっている。その他の意見では「家族に様子を伝える」「利用者が入居している施設職員と情報共有する」などの意見が挙げられています。



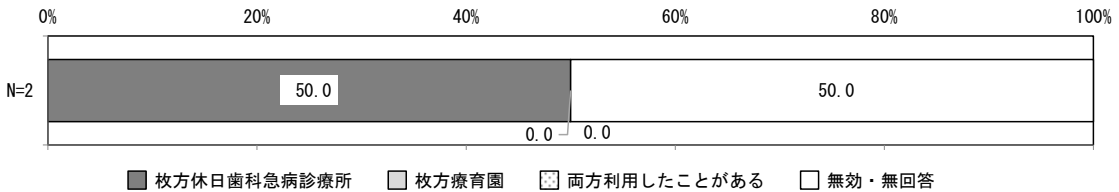
問 1 1 - 2 枚方市在宅歯科ケアステーションを知っていますか。

「知っている」の割合が 7.4%、「知らない」の割合が 92.6%となっている。



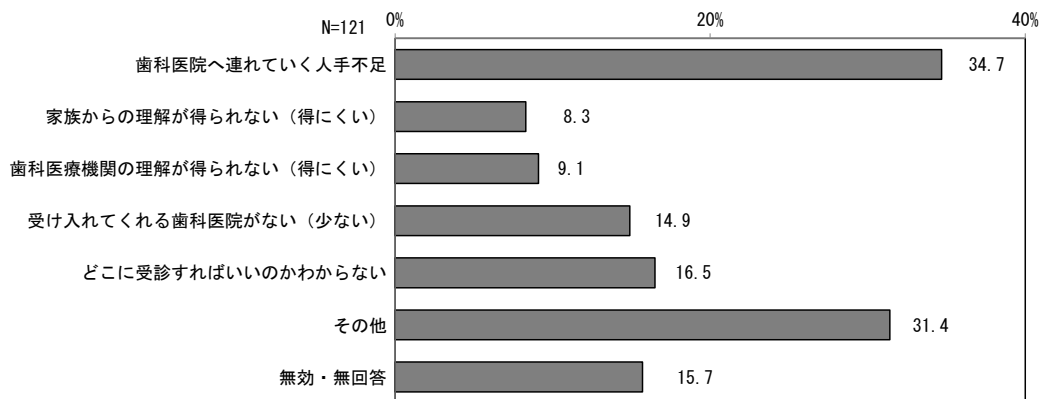
問 1 1 - 3 問 1 1 - 1 で「枚方市障害者（児）歯科診療機関へ同行し、治療を受けてもらう」を選択した方のみお答えください。枚方市障害者（児）歯科診療機関はどちらの施設を利用しましたか。

「枚方休日歯科急病診療所」の割合が 50.0%となっている。



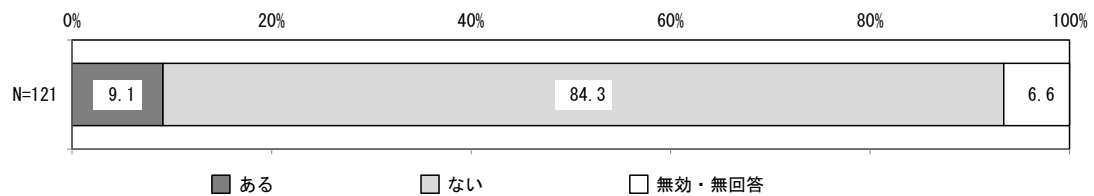
問 1 2 利用者の方が歯科治療を受ける際に支障となるものは何ですか。【複数回答可】

「歯科医院へ連れていく人手不足」の割合が 34.7%で最も高く、次いで「どこに受診すればいいのかわからない」の割合が 16.5%、「受け入れてくれる歯科医院がない（少ない）」の割合が 14.9%となっている。その他の意見では「治療やケアの拒否」「受診を促すことはするがあとは本人・家族の判断としている」などの意見が挙げられています。



問 1 3 コロナ流行により歯科保健に関して苦労されたことや、工夫されたことはありますか。

「ある」の割合が9.1%、「ない」の割合が84.3%となっている。また苦労されたこと
の例として「定期的に口腔ケアをたのんでいた歯科から断られた」「感染予防の消毒などに時
間を取られている」などの意見が挙げられています。



令和4年度 枚方市内の介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における 歯と口腔の健康に関するアンケート結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするため、調査を行うことを目的とします。

2. 調査対象

枚方市の介護老人福祉施設 17 か所及び介護老人保健施設 9 か所

3. 調査期間

令和4年12月2日（金）から令和4年12月23日（金）

4. 調査方法

郵送による配布・回収
インターネットによるウェブ回答

5. 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
26 通	20 通 (郵送 20 通、ウェブなし)	76.9%

6. 調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

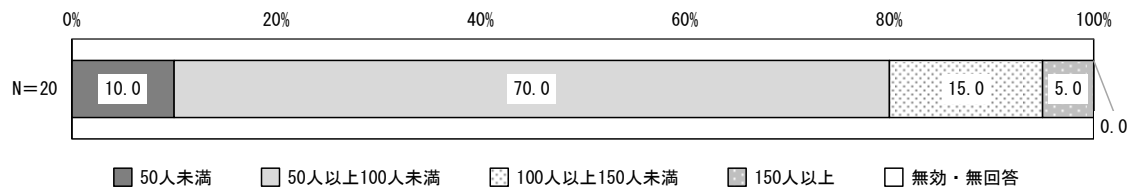
・複数回答が可能な設問の場合、各選択肢への回答数が各設問の回答者数に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

1. 施設のことについて

問1 施設の収容定員はどれくらいですか。

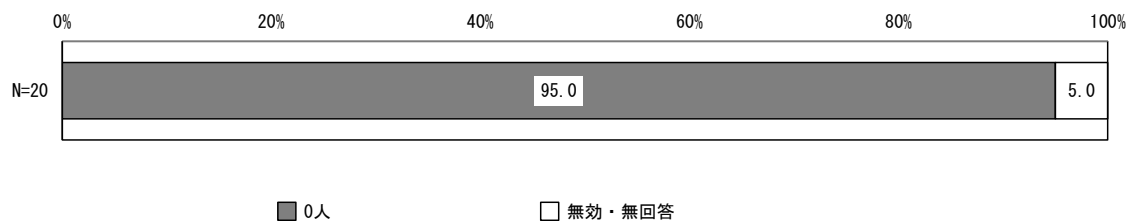
「50人未満」の割合が10.0%、「50人以上100人未満」の割合が70.0%、「100人以上150人未満」の割合が15.0%、「150人以上」の割合が5.0%となっています。



問2 現在の入所者の構成について人数をお答えください。

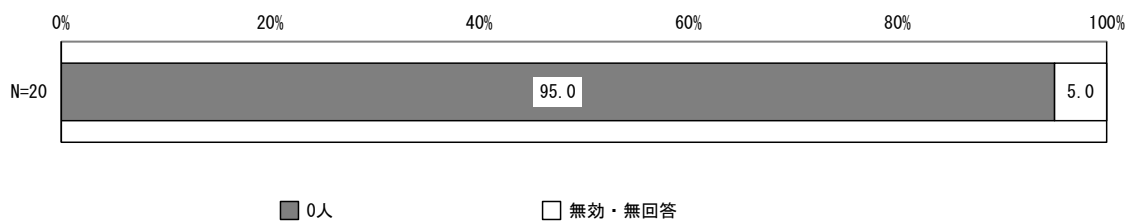
(1) 要支援1

「0人」の割合が95.0%となっている。



(2) 要支援2

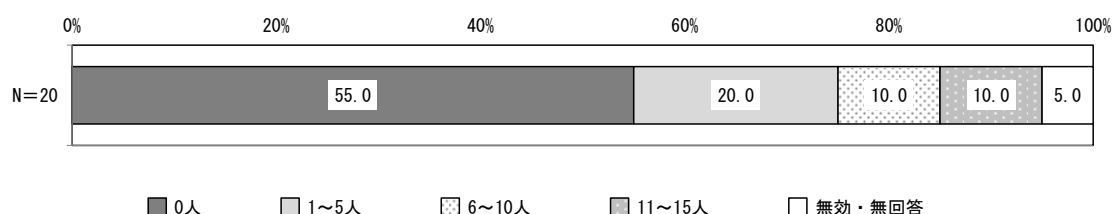
「0人」の割合が95.0%となっている。



(3) 要介護1

「0人」の割合が55.0%、「1～5人」の割合が20.0%、「6～10人」の割合が10.0%、「11～15人」の割合が10.0%となっています。

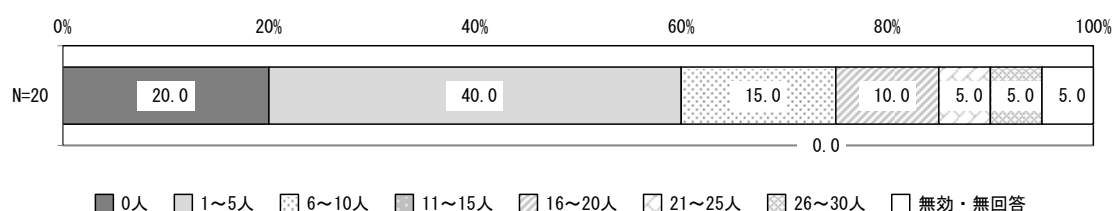
なお、本設問は自由記述で人数の回答を求めています。答における最大値は15人でした。



(4) 要介護2

「0人」の割合が20.0%、「1～5人」の割合が40.0%、「6～10人」の割合が15.0%、「11～15人」の割合が0.0%、「16～20人」の割合が10.0%、「21～25人」の割合が5.0%、「26～30人」の割合が5.0%となっています。

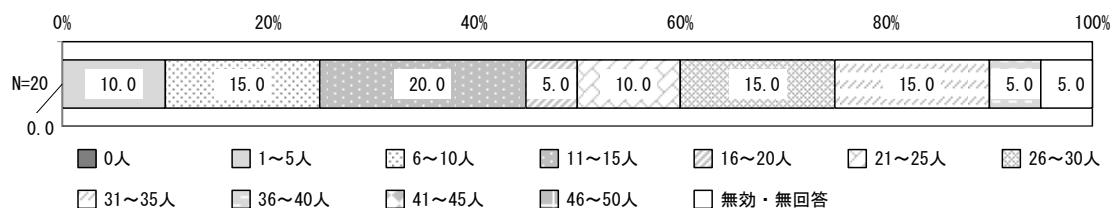
なお、本設問は自由記述で人数の回答を求めています。回答における最大値は30人でした。



(5) 要介護3

「1～5人」の割合が10.0%、「6～10人」の割合が15.0%、「11～15人」の割合が20.0%、「16～20人」の割合が5.0%、「21～25人」の割合が10.0%、「26～30人」の割合が15.0%、「31～35人」の割合が15.0%、「36～40人」の割合が5.0%となっています。

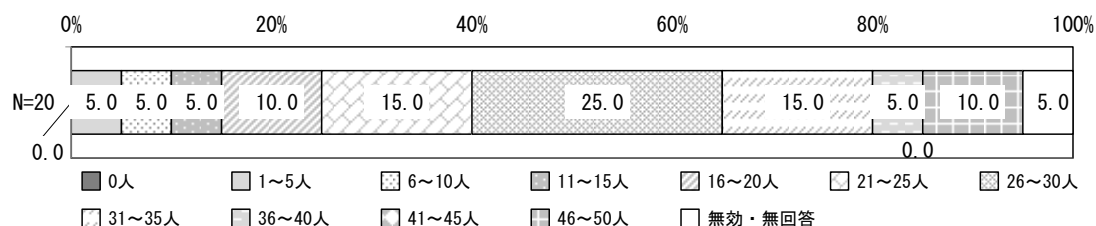
なお、本設問は自由記述で人数の回答を求めています。回答における最大値は36人でした。



(6) 要介護4

「1～5人」の割合が5.0%、「6～10人」の割合が5.0%、「11～15人」の割合が5.0%、「16～20人」の割合が10.0%、「21～25人」の割合が15.0%、「26～30人」の割合が25.0%、「31～35人」の割合が15.0%、「36～40人」の割合が5.0%、「41～45人」の割合が0.0%、「46～50人」の割合が10.0%となっています。

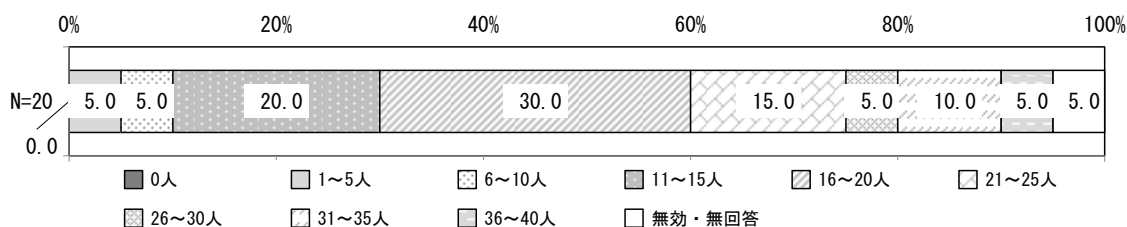
なお、本設問は自由記述で人数の回答を求めています。回答における最大値は49人でした。



(7) 要介護5

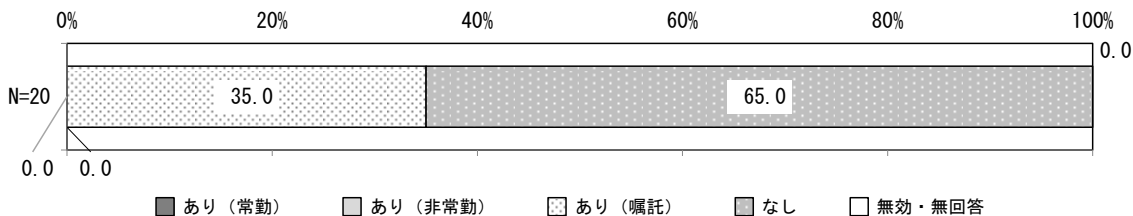
「1～5人」の割合が5.0%、「6～10人」の割合が5.0%、「11～15人」の割合が20.0%、「16～20人」の割合が30.0%、「21～25人」の割合が15.0%、「26～30人」の割合が5.0%、「31～35人」の割合が10.0%、「36～40人」の割合が5.0%となっています。

なお、本設問は自由記述で人数の回答を求めています。回答における最大値は37人でした。



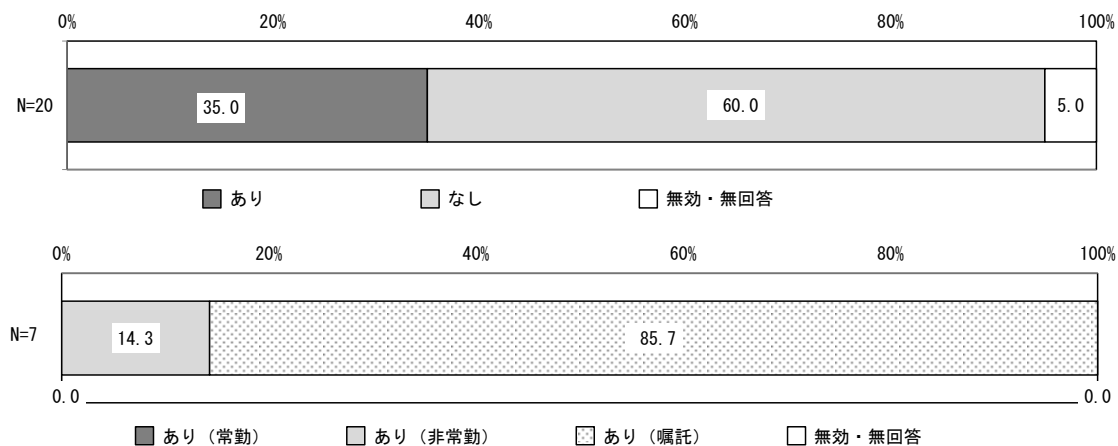
問3 歯科医師の配置はありますか。「あり」の場合には雇用形態もお答えください。

「あり」の割合が 35.0% (7 施設)、内訳は嘱託のみとなっています。



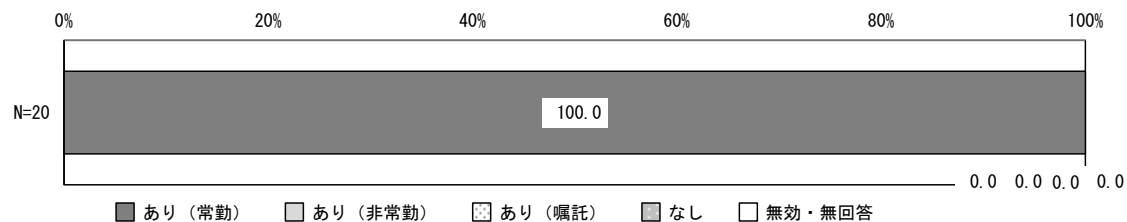
問4 歯科衛生士の配置はありますか。「あり」の場合には雇用形態もお答えください。

「あり」の割合が 35.0% (7 施設)、内訳は非常勤が 14.3% (1 施設)、嘱託が 85.7% (6 施設) となっています。



問5 管理栄養士の配置はありますか。「あり」の場合には雇用形態もお答えください。

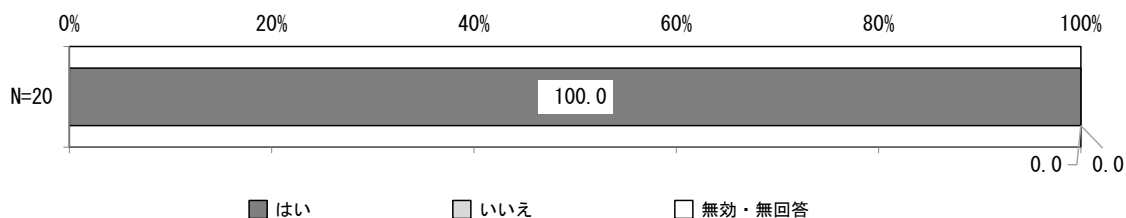
「あり」の割合が 100.0% (20 施設)、内訳は常勤のみとなっています。



2. 歯と口腔の健康について

問6-1 施設内で利用者の方の歯と口腔の健康のために時間をとっていますか。

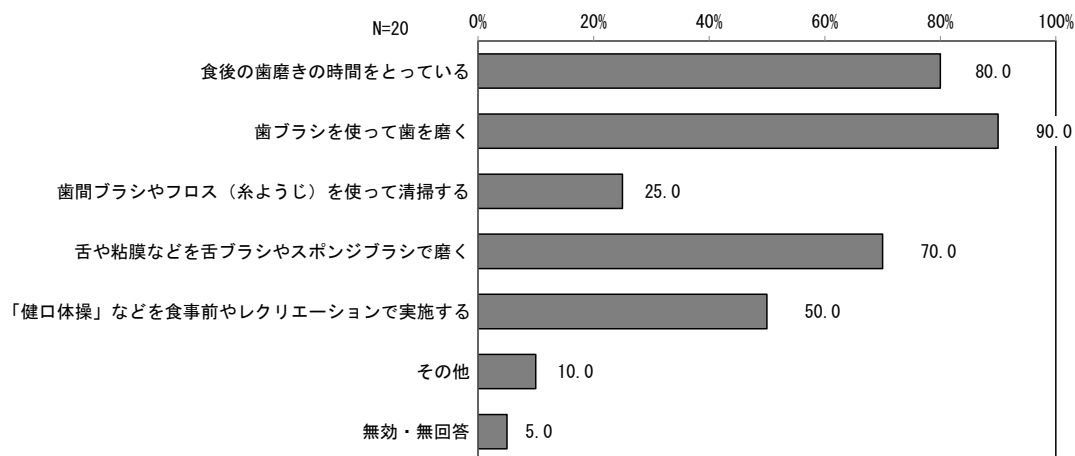
「はい」の割合が100.0%となっています。



問6-2 問6-1で「はい」を選択した方のみお答えください。

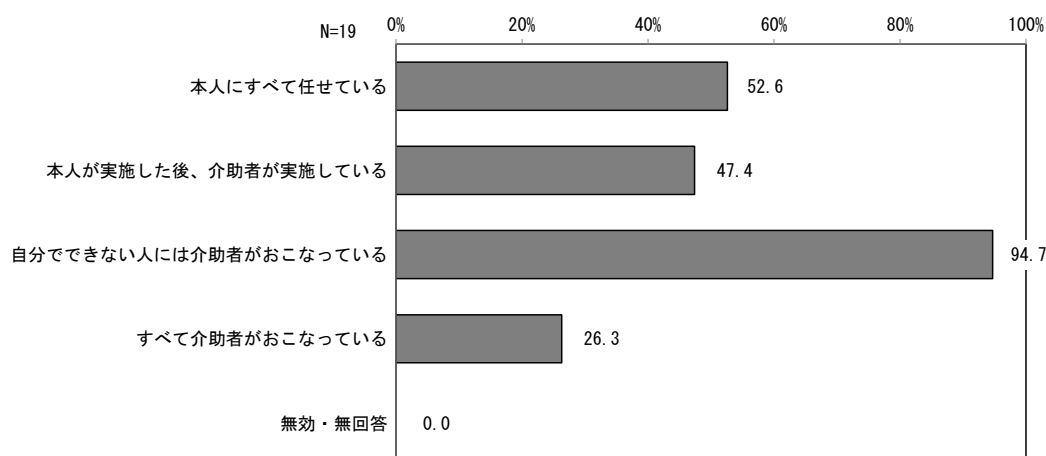
どのようなことを実施されていますか。【複数回答可】

「歯ブラシを使って歯を磨く」の割合が90.0%と最も高く、次いで「食後の歯磨きの時間をとっている」の割合が80.0%、「舌や粘膜などを舌ブラシやスポンジブラシで磨く」の割合が70.0%となっています。その他の意見では、「多職種での情報共有をはかっている」などの意見があげられている。



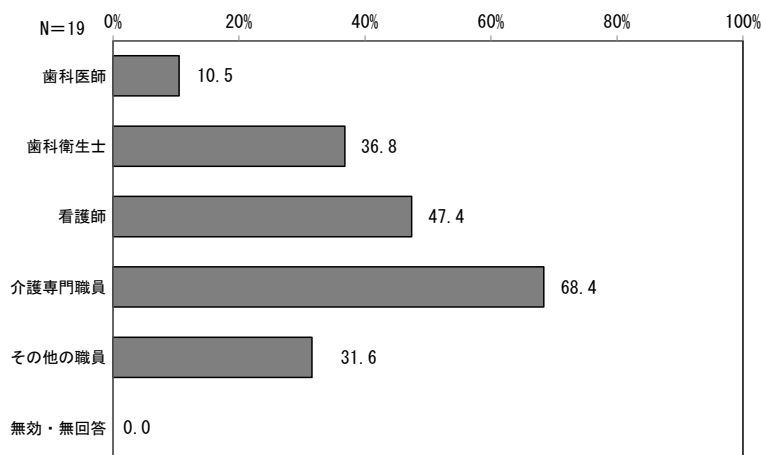
問6-3 問6-2で「食後の歯磨きの時間をとっている」、「歯ブラシを使って歯を磨く」、「入れ歯用ブラシや歯ブラシで入れ歯を磨く」、「歯間ブラシやフロス（糸ようじ）を使って清掃する」を選択した方のみお答えください。利用者の方の歯磨き等口の中の手入れは誰が実施していますか。【複数回答可】

「自分でできない人には介助者がおこなっている」の割合が94.7%と最も高く、次いで「本人にすべて任せている」の割合が52.6%、「本人が実施した後、介助者が実施している」の割合が47.4%となっています。



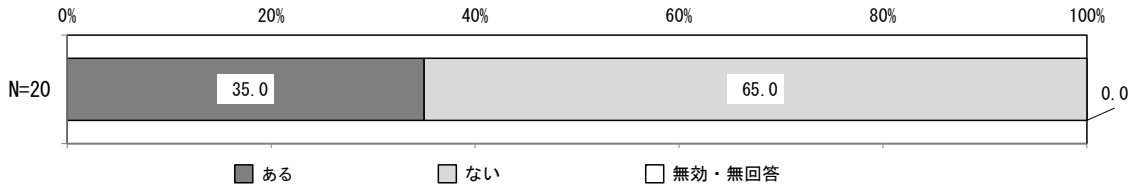
問6-4 問6-3で「本人が実施した後、介助者が実施している」、「自分でできない人には介助者がおこなっている」、「すべて介助者がおこなっている」を選択した方のみお答えください。歯磨き等口の中の手入れをされる介助者の職種は何ですか。【複数回答可】

「介護専門職員」の割合が68.4%と最も高く、次いで「看護師」の割合が47.4%、「歯科衛生士」の割合が36.8%となっています。



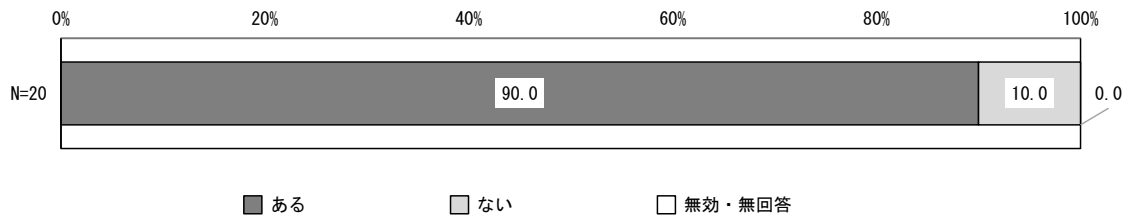
問7 利用者の方に対して施設として歯磨き指導を実施されたことがありますか。

「ある」の割合が35.0%、「ない」の割合が65.0%となっています。



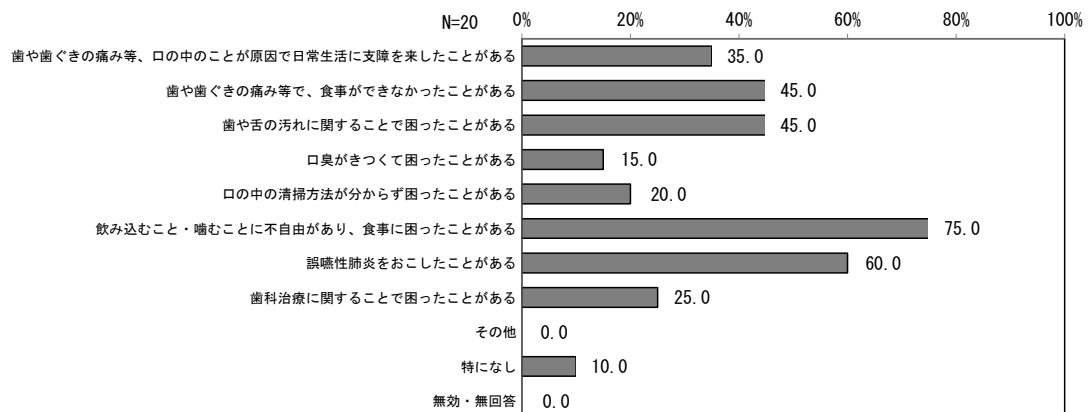
問8 利用者の方の口の中の手入れについて職員が指導・研修をうけられたことがありますか。

「ある」の割合が90.0%、「ない」の割合が10.0%となっています。



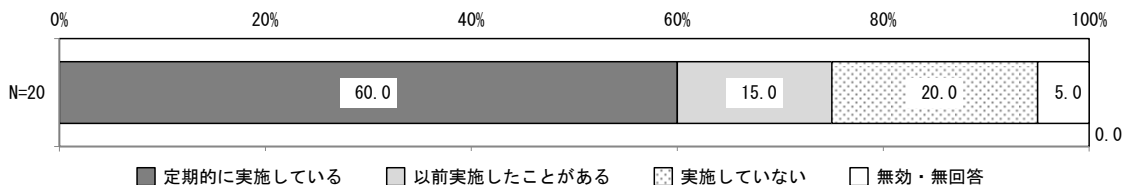
問9 この1年間に、利用者の方の歯・口腔のことで困ったことがありますか。【複数回答可】

「飲み込むこと・嘔むことに不自由があり、食事に困ったことがある」の割合が75.0%で最も高く、次いで「誤嚥性肺炎をおこしたことがある」の割合が60.0%、「歯や歯ぐきの痛み等で、食事ができなかったことがある」、「歯や舌の汚れに関する事で困ったことがある」の割合がそれぞれ45.0%となっています。



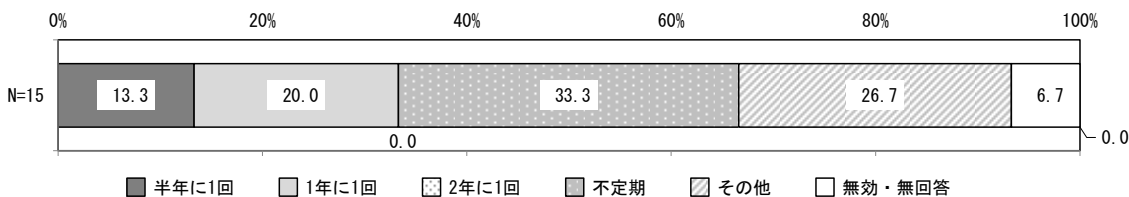
問 1 0 - 1 利用者の方に対して歯科健診を実施されていますか。(健診とは歯や口の中が健康であるか調べることであり、歯の治療等は含みません。)

「定期的実施している」の割合が 60.0%、「以前実施したことがある」の割合が 15.0%、「実施していない」の割合が 20.0%となっています。



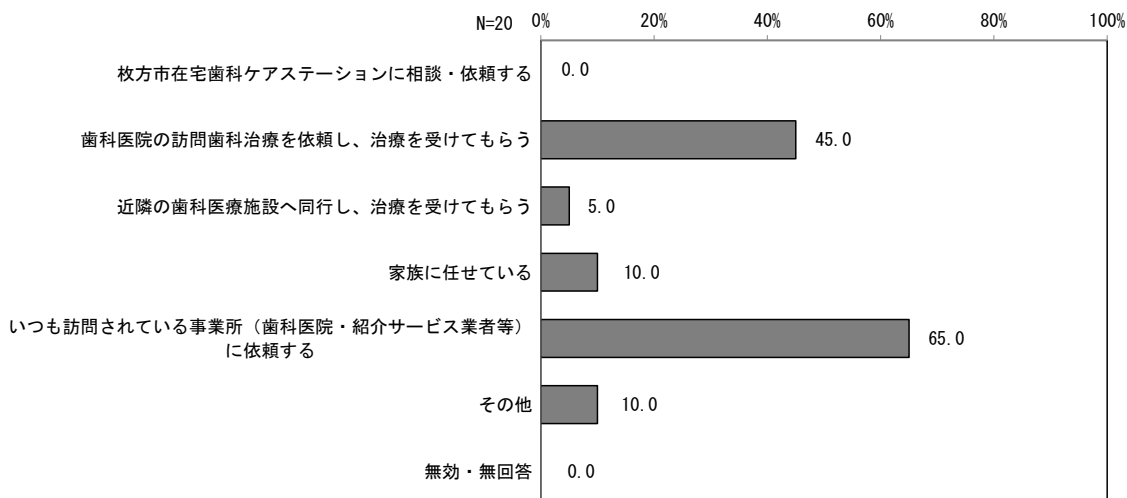
問 1 0 - 2 問 1 0 - 1 で「定期的実施している」、「以前実施したことがある」を選択した方のみお答えください。歯科健診はどのぐらいの頻度で実施されていますか。

「不定期」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「その他」の割合が 26.7%、「1年に1回」の割合が 20.0%、「半年に1回」の割合が 13.3%となっています。



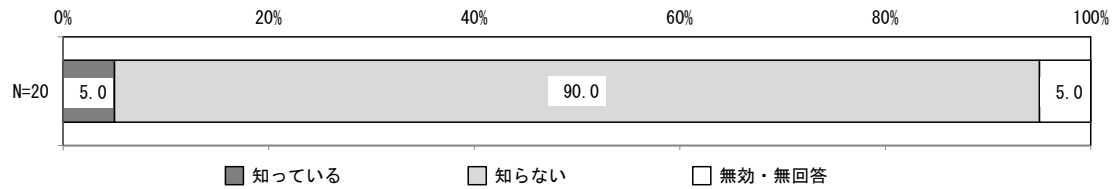
問 1 1 - 1 利用者の方の歯科治療が必要なときはどのように対処されていますか。【複数回答可】

「いつも訪問されている事業所（歯科医院・紹介サービス業者等）に依頼する」の割合が 65.0%で最も高く、次いで「歯科医院の訪問歯科治療を依頼し、治療を受けてもらう」の割合が 45.0%、「家族に任せている」、「その他」の割合がそれぞれ 10.0%となっています。



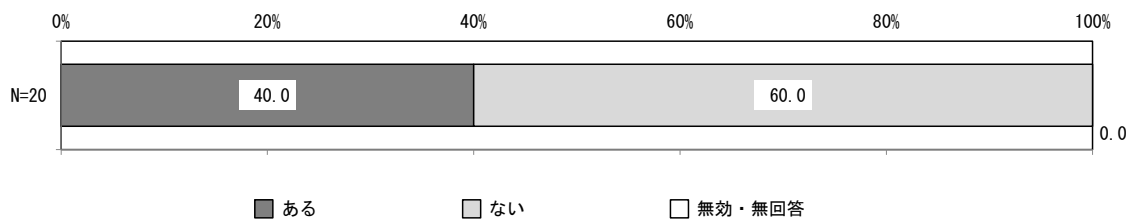
問 1 1 - 2 枚方市在宅歯科ケアステーションを知っていますか。

「知っている」の割合が5.0%、「知らない」の割合が90.0%となっています。



問 1 2 コロナ流行により歯科保健に関して苦勞されたことや、工夫されたことはありますか。

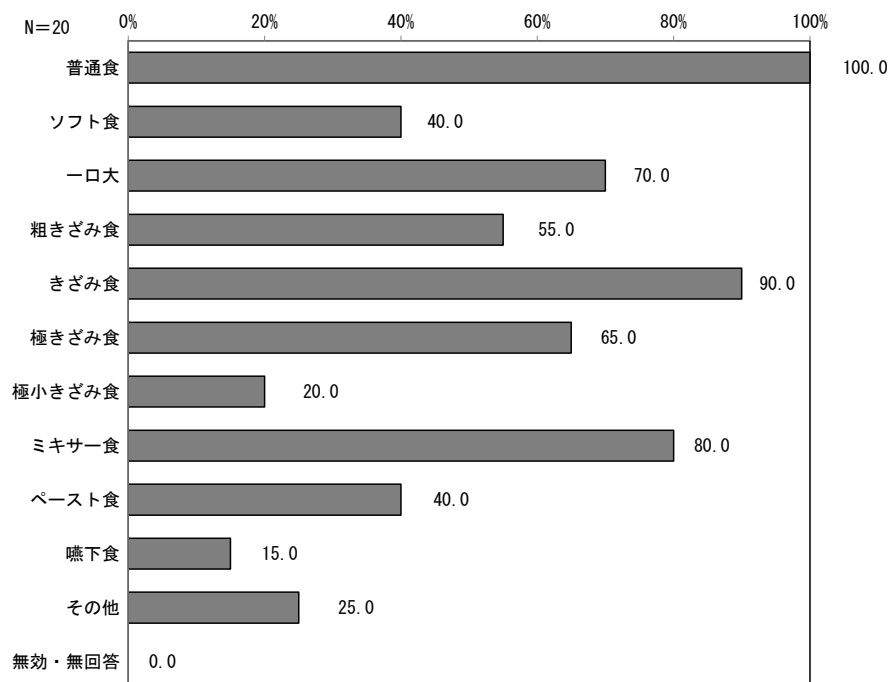
「ある」の割合が40.0%、「ない」の割合が60.0%となっています。その他の意見では、「訪問歯科の診療回数が減った」、「クラスター時の口腔ケア」、「歯みがき時の感染対策」などの意見があげられている。



3. 入居者へ提供している食事について

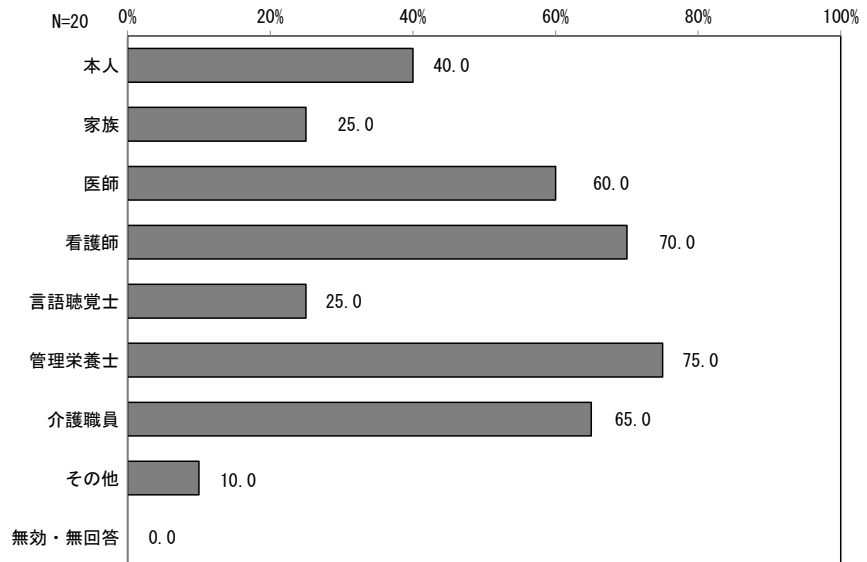
問13 施設で提供している食形態の名称は何ですか。全ての食形態についてご記入お願いします。【複数回答可】

「普通食」の割合が100.0%で最も高く、次いで「きざみ食」の割合が90.0%、「ミキサー食」の割合が80.0%となっています。



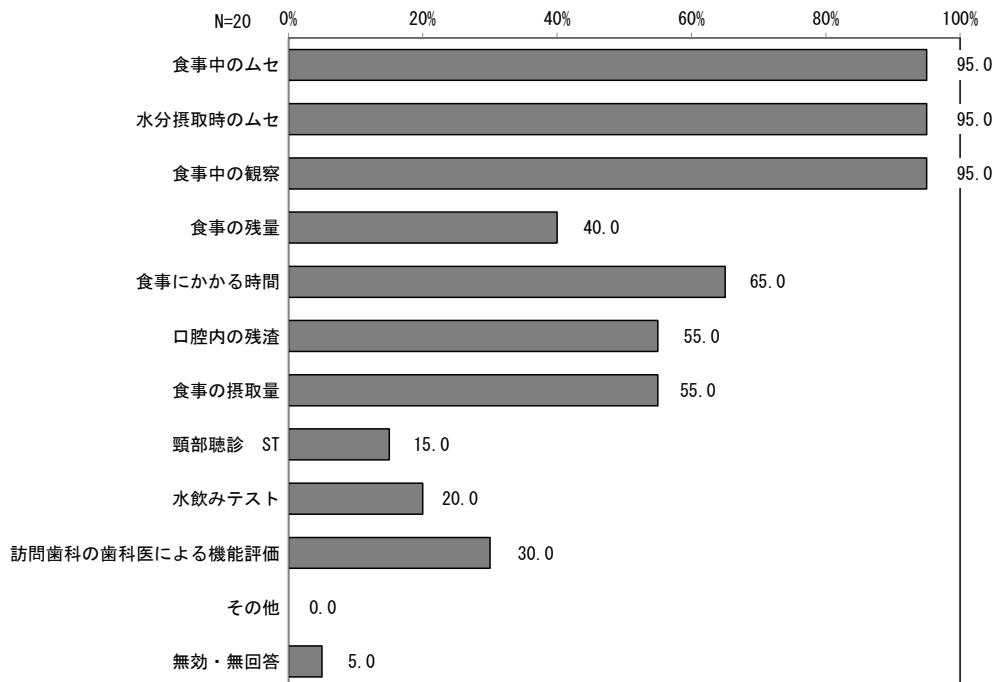
問 1 4 利用者の方の食形態は誰が決定していますか。【複数回答可】

「管理栄養士」の割合が 75.0%で最も高く、次いで「看護師」の割合が 70.0%、「介護職員」の割合が 65.0%となっています。



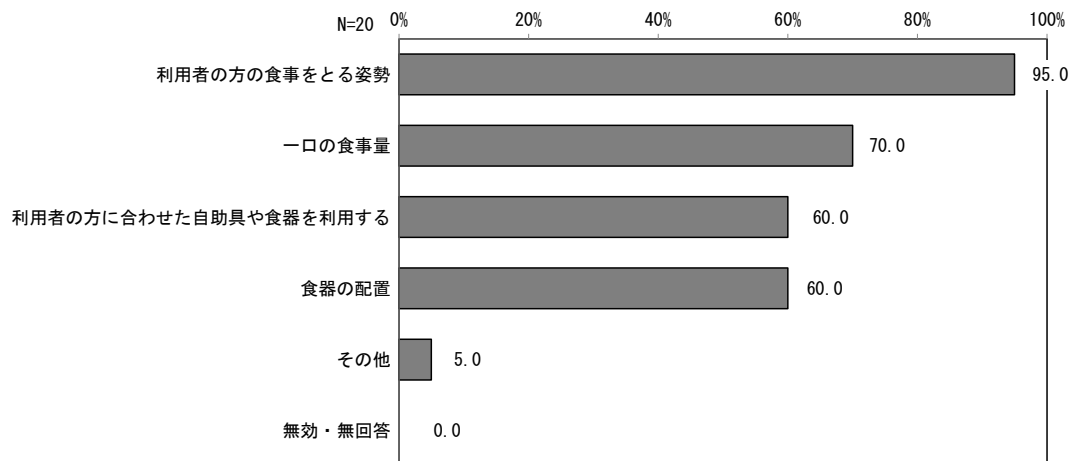
問 1 5 嚥下機能評価をどのように実施されていますか。【複数回答可】

「食事中のムセ」、「水分摂取時のムセ」、「食事中の観察」の割合がそれぞれ 95.0%で最も高く、次いで「食事にかかる時間」の割合が 65.0%、「口腔内の残渣」、「食事の摂取量」の割合がそれぞれ 55.0%となっています。



問 1 6 利用者の方の食事の際、食形態以外にどのようなことに気をつけておられますか。

「利用者の方の食事をとる姿勢」の割合 95.0%で最も高く、次いで「一口の食事量」の割合が 70.0%、「利用者の方に合わせた自助具や食器を利用する」、「食器の配置」の割合がそれぞれ 60.0%となっています。



枚方市内企業の「従業員の健康づくり」に関するアンケート及び「ひらかた健康優良企業」令和4年度報告書 兼 令和5年度計画書

I 調査の概要

1. 調査の目的

次期枚方市健康増進計画時期計画及び枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするとともに、枚方市における地域・職域連携推進を図ることを目的とします。

2. 調査設計

- ①枚方市内企業の「従業員の健康づくり」に関するアンケート（以下、「企業アンケート」という）：枚方市の企業（事業所含む）478か所^{※1}
- ②「ひらかた健康優良企業」令和4年度報告書兼令和5年度計画書（以下、「登録企業アンケート」という）：ひらかた健康優良企業登録企業88か所^{※2}

※1：500か所中、宛先不明、廃業等で返送や連絡の合った企業を除外した

※2：令和5年1月15日時点で登録していた企業

3. 調査期間

- ①企業アンケート：令和5年1月30日（月）から令和5年2月10日（金）
- ②登録企業アンケート：令和5年1月30日（月）から令和5年2月28日（火）

4. 調査方法

メールによる回収
インターネットによるウェブ回答

5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
(企業) 478 通※ (登録企業) 88 通	(企業) 132 通 (登録企業) 66 通	(企業) 27.6% (登録企業) 75.0%

※500通から宛先不明・廃業等で返送や連絡のあった企業を除いたもの

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

1. 施設のことについて

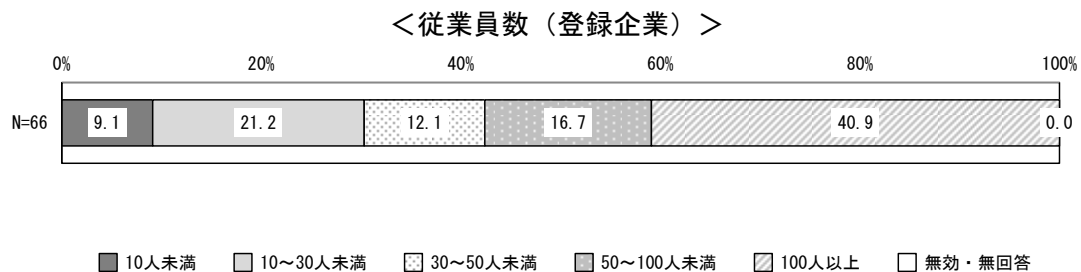
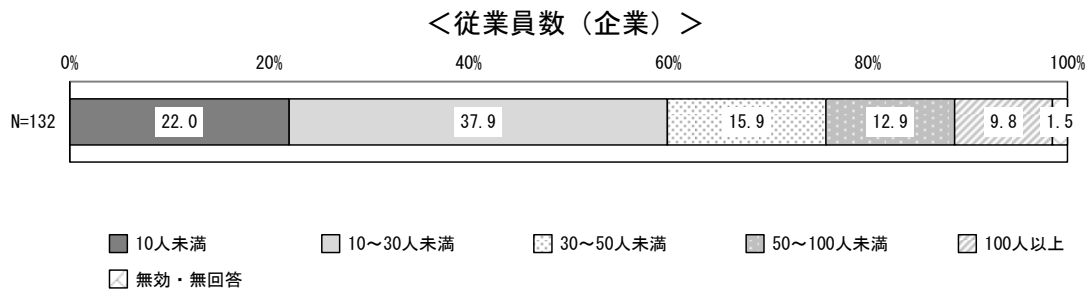
問1 従業員数は次のどれにあてはまりますか

【企業】

「10～30人未満」の割合が37.9%と最も高く、次いで「10人未満」の割合が22.0%、「30～50人未満」の割合が15.9%となっている。

【登録企業】

「100人以上」の割合が40.9%と最も高く、次いで「10～30人未満」の割合が21.2%、「50～100人未満」の割合が16.7%となっている。



問2 業種を教えてください

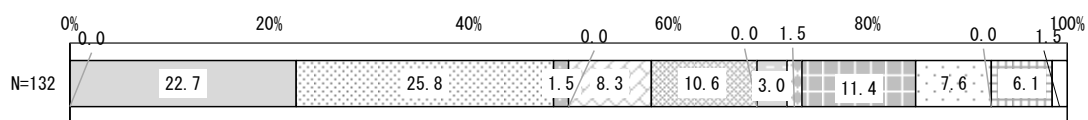
【企業】

「製造業」の割合が25.8%と最も高く、次いで「建設業」の割合が22.7%、「医療・福祉関係」の割合が11.4%となっている。その他の業種として「派遣業」「コンサル業」「金属加工業」などの意見が挙げられている。

【登録企業】

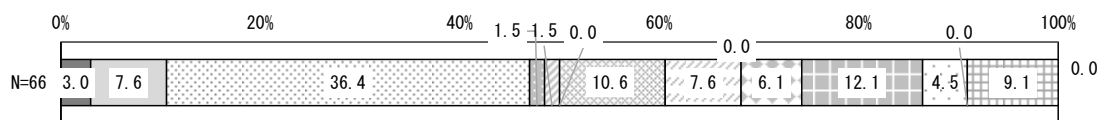
「製造業」の割合が36.4%と最も高く、次いで「医療・福祉関係」の割合が12.1%、「卸売業・小売業」の割合が10.6%となっている。その他の業種として「教育関係」「リサイクル業」「土業」などの意見が挙げられている。

<業種（企業）>



- 農業・林業・漁業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売業・小売業
- 金融業・保険業
- 不動産業
- 飲食業
- 医療・福祉関係
- サービス業
- 公務
- その他
- 無効・無回答

<業種（登録企業）>



- 農業・林業・漁業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売業・小売業
- 金融業・保険業
- 不動産業
- 飲食業
- 医療・福祉関係
- サービス業
- 公務
- その他
- 無効・無回答

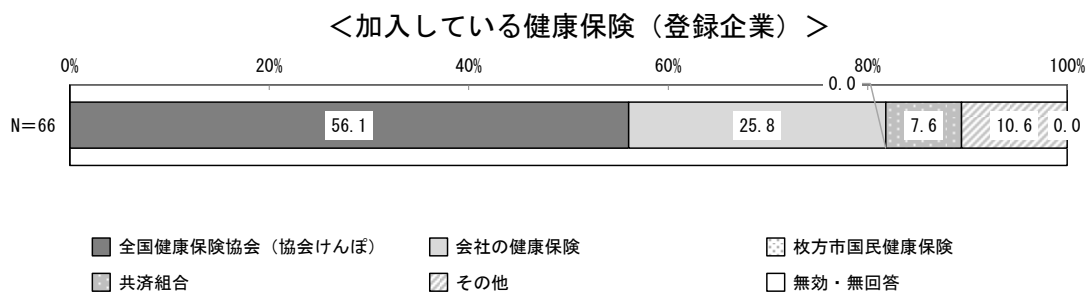
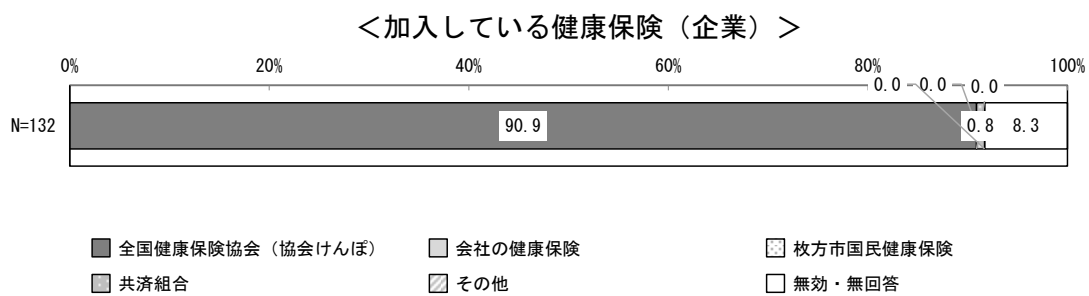
問3 従業員が主として加入している健康保険（健康保険証に記載の保険者名称）はどれですか

【企業】

「全国健康保険協会（協会けんぽ）」の割合が90.9%と最も高く、次いで「共済組合」の割合が0.8%となっている。

【登録企業】

「全国健康保険協会（協会けんぽ）」の割合が56.1%と最も高く、次いで「会社の健康保険」の割合が25.8%、「その他」の割合が10.6%となっている。



問4 産業医・保健師等の配置について教えてください

(1) 保健師または看護師の配置

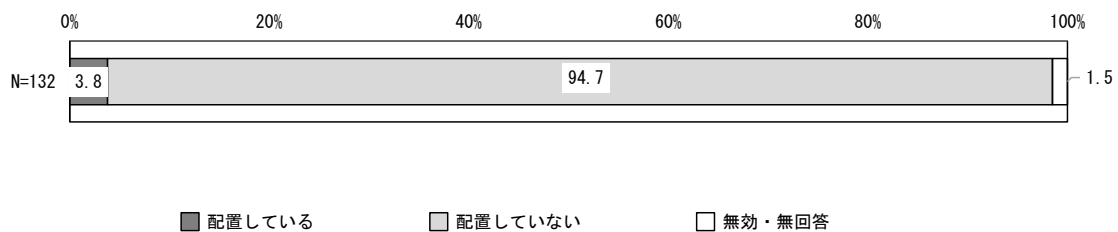
【企業】

「配置していない」の割合が94.7%となっている。

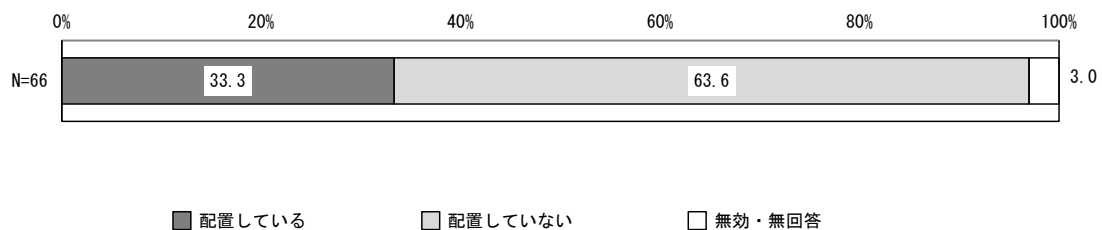
【登録企業】

「配置していない」の割合が63.6%となっている。

<保健師または看護師の配置（企業）>



<保健師または看護師の配置（登録企業）>



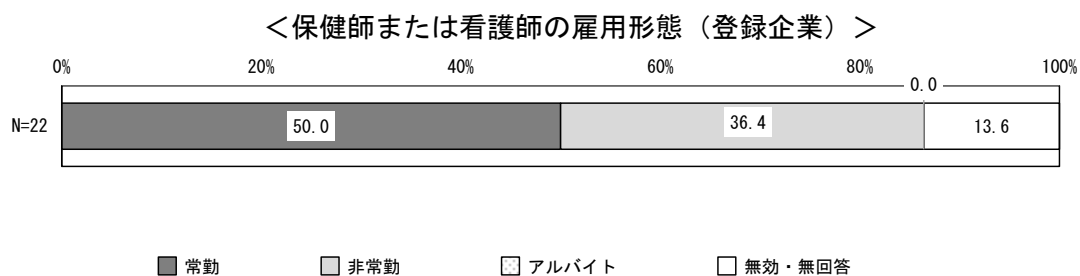
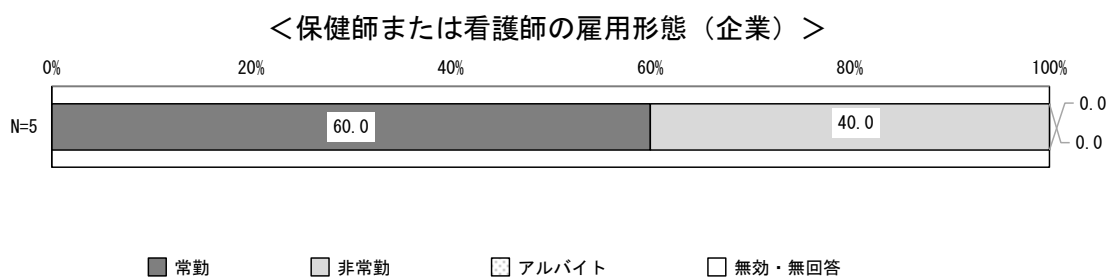
(2) 保健師または看護師の雇用形態

【企業】

「常勤」の割合が60%と最も高く、次いで「非常勤」の割合が40.0%となっている。

【登録企業】

「常勤」の割合が50.0%と最も高く、次いで「非常勤」の割合が36.4%となっている。



(3) 産業医の選任について

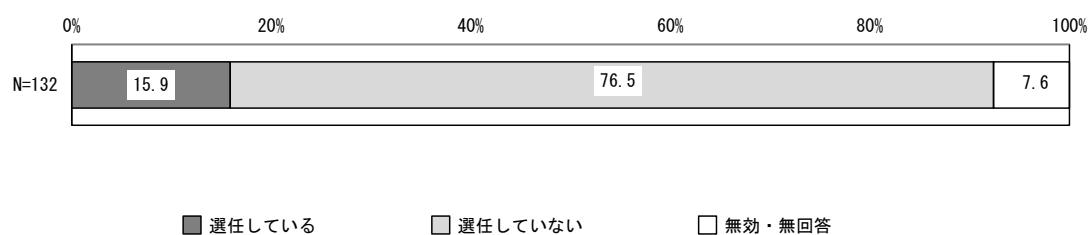
【企業】

「選任していない」の割合が76.5%と最も高く、次いで「選任している」の割合が15.9%となっている。

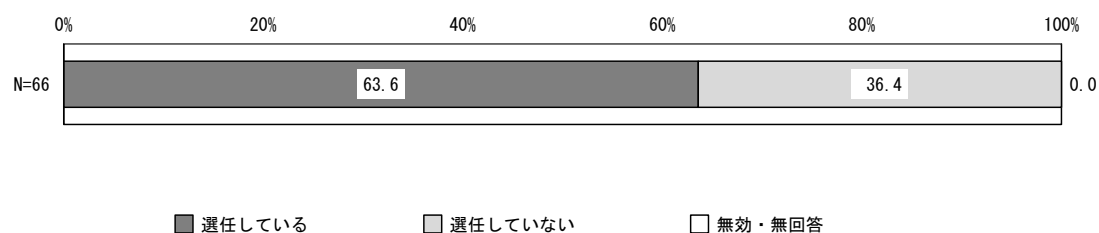
【登録企業】

「選任している」の割合が63.6%と最も高く、次いで「選任していない」の割合が36.4%となっている。

<産業医の選任（企業）>



<産業医の選任（登録企業）>



(4) 産業医の出務頻度

【企業】

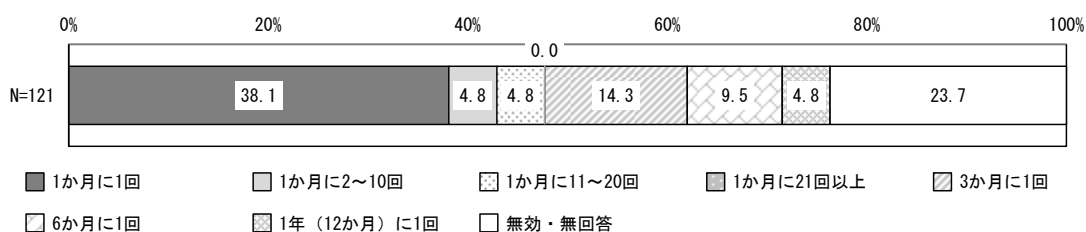
「1か月に1回」の割合が38.1%と最も高く、次いで「3か月に1回」の割合が14.3%、「6か月に1回」の割合が9.5%となっている。

【登録企業】

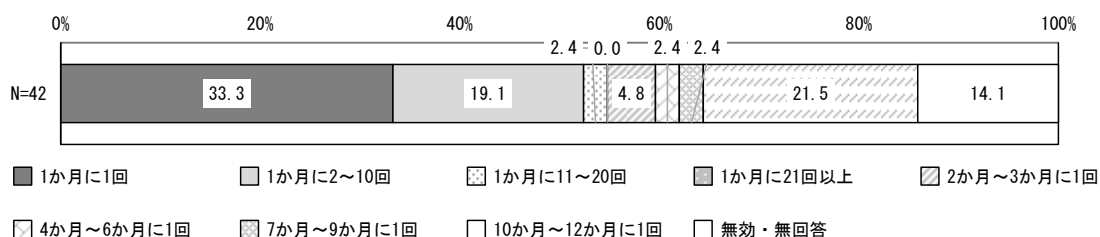
「0回」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1か月に1回」の割合が33.3%、「1か月に4回」の割合が2.4%となっている。

「0か月」の割合が71.4%と最も高く、次いで「2か月」の割合が2.4%、「12か月」の割合が16.7%となっている。

<産業医の出務頻度（企業）>



<産業医の出務頻度（登録企業）>



問5 令和3年度の定期健康診断（労働安全衛生法第66条に基づく健康診断）の実施状況を教えてください

(1) 対象者数

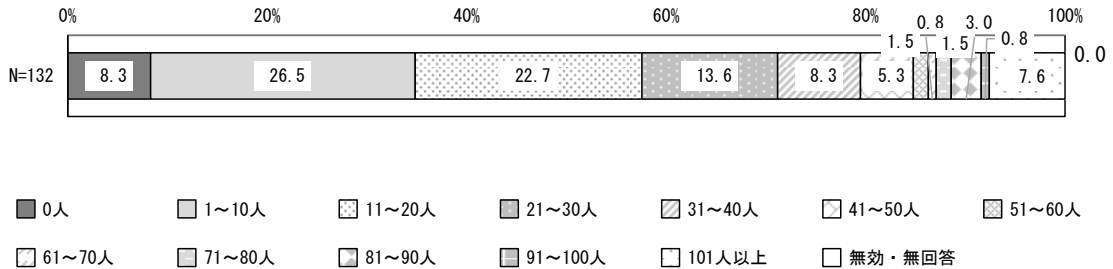
【企業】

「1～10人」の割合が26.5%と最も高く、次いで「11～20人」の割合が22.7%、「21～30人」の割合が13.6%となっている。

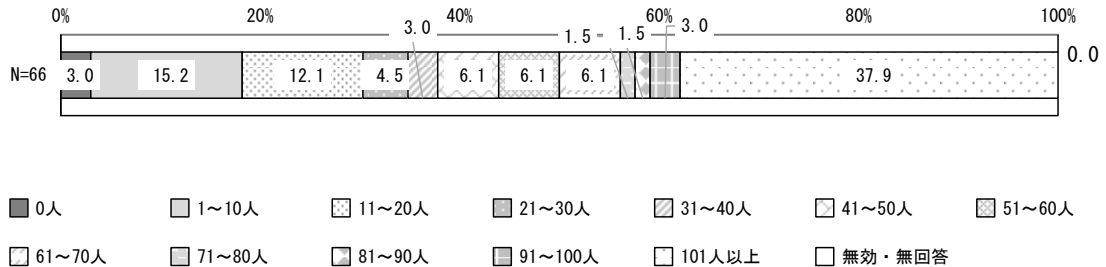
【登録企業】

「101人以上」の割合が37.9%と最も高く、次いで「1～10人」の割合が15.2%、「11～20人」の割合が12.1%となっている。

<定期健康診断の実施状況（企業）>



<定期健康診断の実施状況（登録企業）>



(2) 受診者数

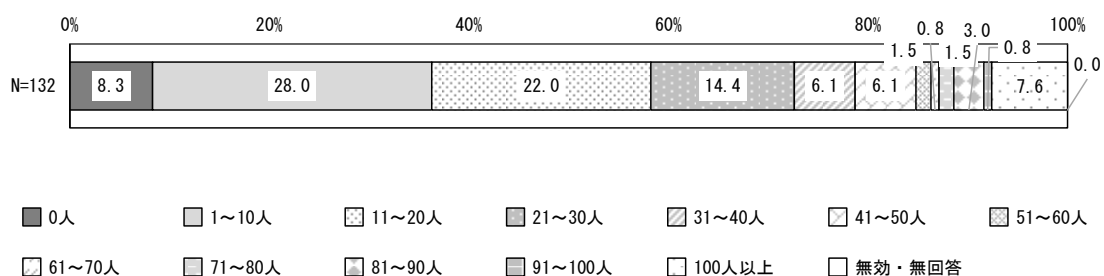
【企業】

「1～10人」の割合が28.0%と最も高く、次いで「11～20人」の割合が22.0%、「21～30人」の割合が14.4%となっている。

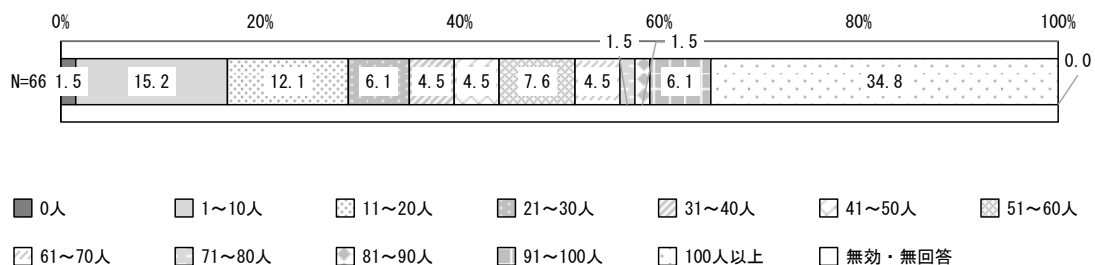
【登録企業】

「100人以上」の割合が34.8%と最も高く、次いで「1～10人」の割合が15.2%、「11～20人」の割合が12.1%となっている。

< 定期健康診断の受診者数（企業） >



< 定期健康診断の受診者数（登録企業） >



(3) 受診率

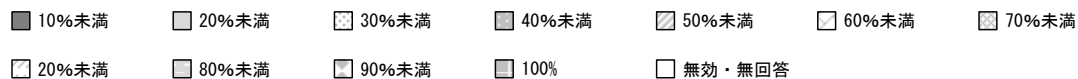
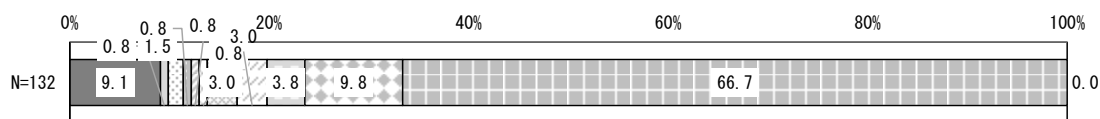
【企業】

「100%」の割合が66.7%と最も高く、次いで「90%以上」の割合が9.8%、「10%未満」の割合が9.1%となっている。

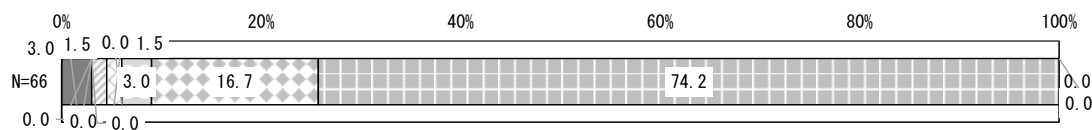
【登録企業】

「100%」の割合が74.2%と最も高く、次いで「90%以上」の割合が16.7%、「10%未満」の割合が3.0%となっている。

<定期健康診断の受診率（企業）>



<定期健康診断の受診率（登録企業）>



(4) 実施方法（複数回答可）

【企業】

「個別に健診受診」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「職場で集団検診（健診者等が企業にくる等）」の割合が 33.3%、「人間ドックで受診（費用補助含む）」の割合が 9.1%となっている。

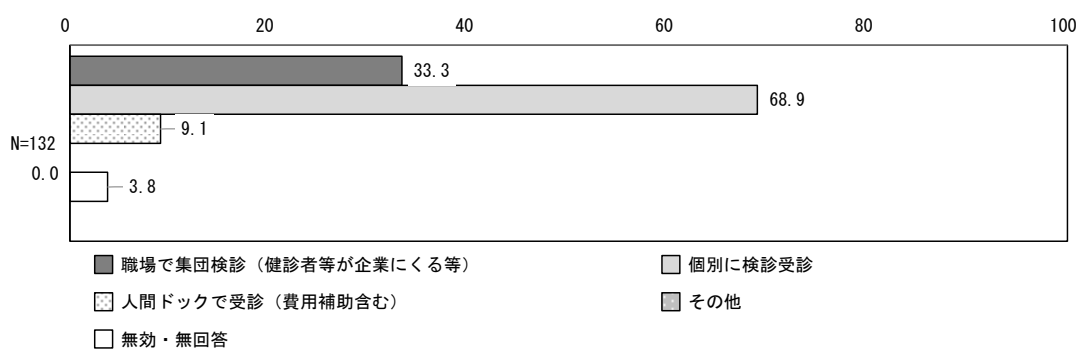
また、「個別に健診受診」の場合、「会社が予約」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「個人が予約」の割合が 19.8%となっており、「人間ドックで受診（費用補助含む）」の場合、「会社が予約」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「個人で予約」の割合が 16.7%となっている。

【登録企業】

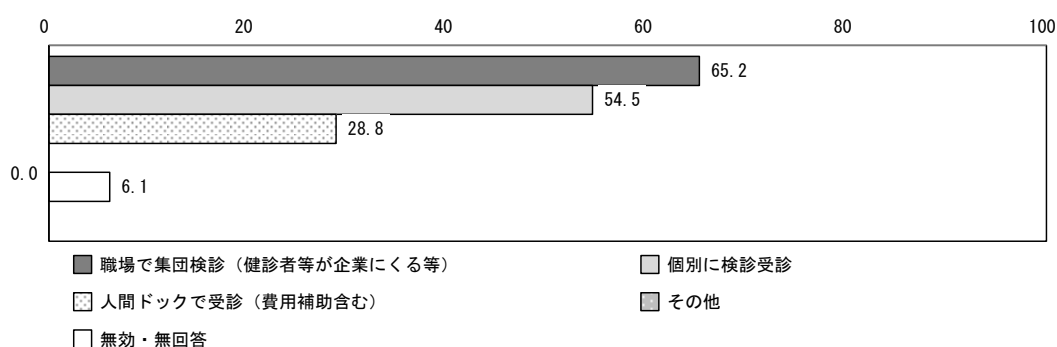
「職場で集団検診（健診者等が企業にくる等）」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「個別に健診受診」の割合が 54.5%、「人間ドックで受診（費用補助含む）」の割合が 28.8%となっている。

また、「個別に検診受診」の場合、「会社が予約」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「個人が予約」の割合が 22.2%、「無効・無回答」の割合が 19.4%となっており、「人間ドックで受診（費用補助含む）」の場合、「個人で予約」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「会社が予約」の割合が 36.8%、「無効・無回答」の割合が 5.3%となっている。

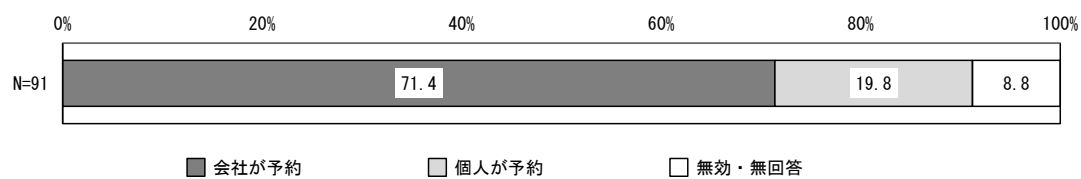
< 定期健康診断の実施方法（企業） >



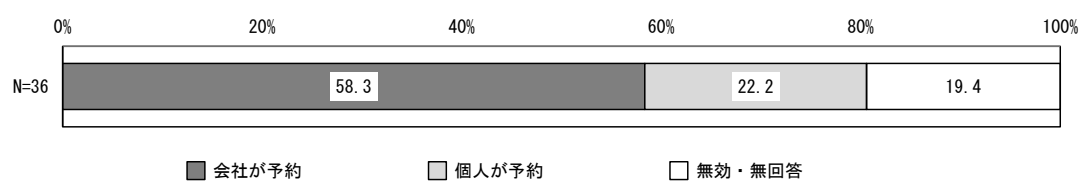
< 定期健康診断の実施方法（登録企業） >



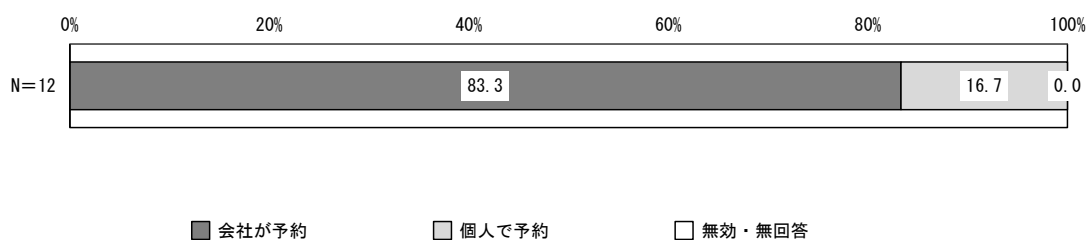
<予約方法（個別に検診受診・企業）>



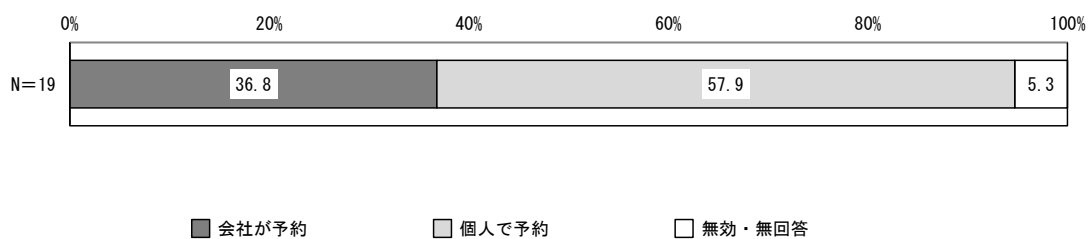
<予約方法（個別に検診受診・登録企業）>



<予約方法（人間ドックで受診・企業）>



<予約方法（人間ドックで受診・登録企業）>



(5) 取り組み内容（複数回答可）

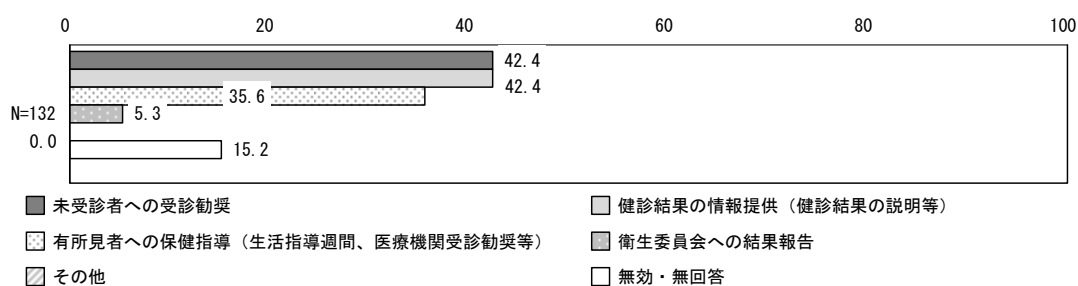
【企業】

「未受診者への受診勧奨」、「健診結果の情報提供（健診結果の説明等）」の割合がそれぞれ 42.4%と最も高く、次いで、「有所見者への保健指導（生活指導週間、医療機関受診勧奨等）」の割合が 35.6%となっている。

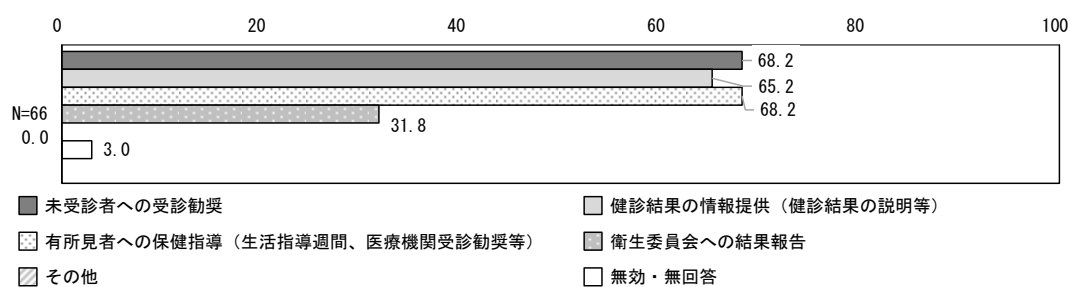
【登録企業】

「未受診者への受診勧奨」、「有所見者への保健指導（生活指導週間、医療機関受診勧奨等）」の割合がそれぞれ 68.2%と最も高く、次いで「健診結果の情報提供（健診結果の説明等）」の割合が 65.2%となっている。

<取り組み内容（企業）>



<取り組み内容（登録企業）>



問6 がん検診（健康診断および人間ドックの中で受診したものを含む）の実施状況を教えてください

【企業】

「実施していない」の割合が49.2%と最も高く、次いで「実施している（費用助成含む）」の割合が33.3%、「実施していないが、市のがん検診を案内している」の割合が14.4%となっている。

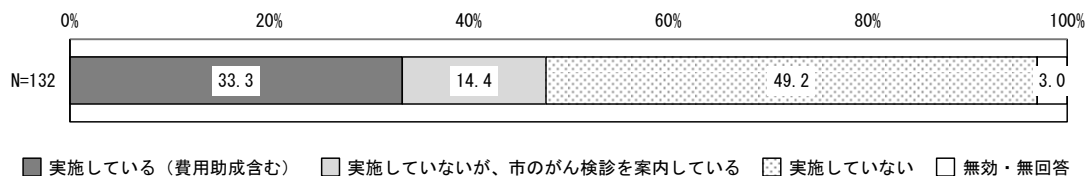
また、「実施している」「実施していないが、市のがん検診を案内している」と回答した場合、実施している（または案内している）がん検診は、「胃がん（バリウム、胃カメラ）」の割合が73.0%と最も高く、次いで「大腸がん（検便による便潜血検査）」の割合が68.3%、「肺がん（肺のレントゲン）」の割合が60.3%となっている。その他の意見では「食道、すい臓、肝臓」「腫瘍マーカー」などの意見が挙げられている。

【登録企業】

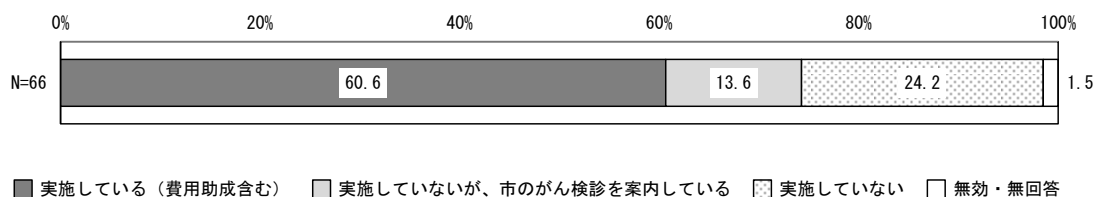
「実施している（費用助成含む）」の割合が60.6%と最も高く、次いで「実施していない」の割合が24.2%、「実施していないが、市のがん検診を案内している」の割合が13.6%となっている。

また、「実施している」「実施していないが、市のがん検診を案内している」と回答した場合、実施している（または案内している）がん検診は、「大腸がん（検便による便潜血検査）」の割合が83.7%と最も高く、次いで「胃がん（バリウム、胃カメラ）」の割合が81.6%、「肺がん（肺のレントゲン）」の割合が73.5%となっている。その他の意見では「腫瘍マーカー検査」の実施の他、「検体郵送方式」での検査にも対応している意見が挙げられている。

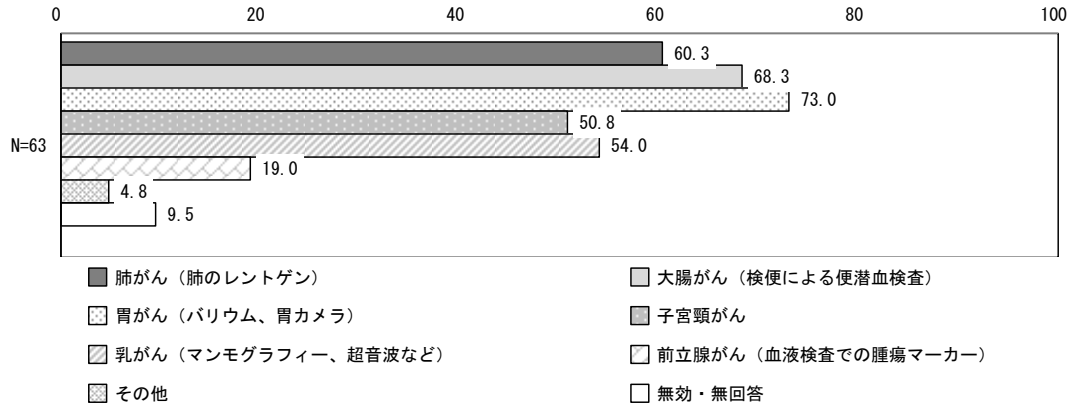
<がん検診の実施状況（企業）>



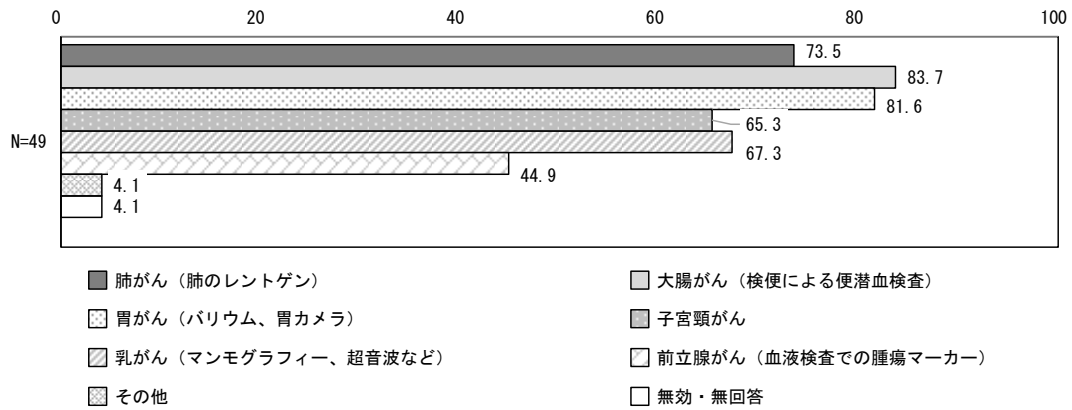
<がん検診の実施状況（登録企業）>



<がん検診の実施状況（詳細・企業）>



<がん検診の実施状況（詳細・登録企業）>



問7 貴社の健康課題と感じているものを教えてください（複数回答可）

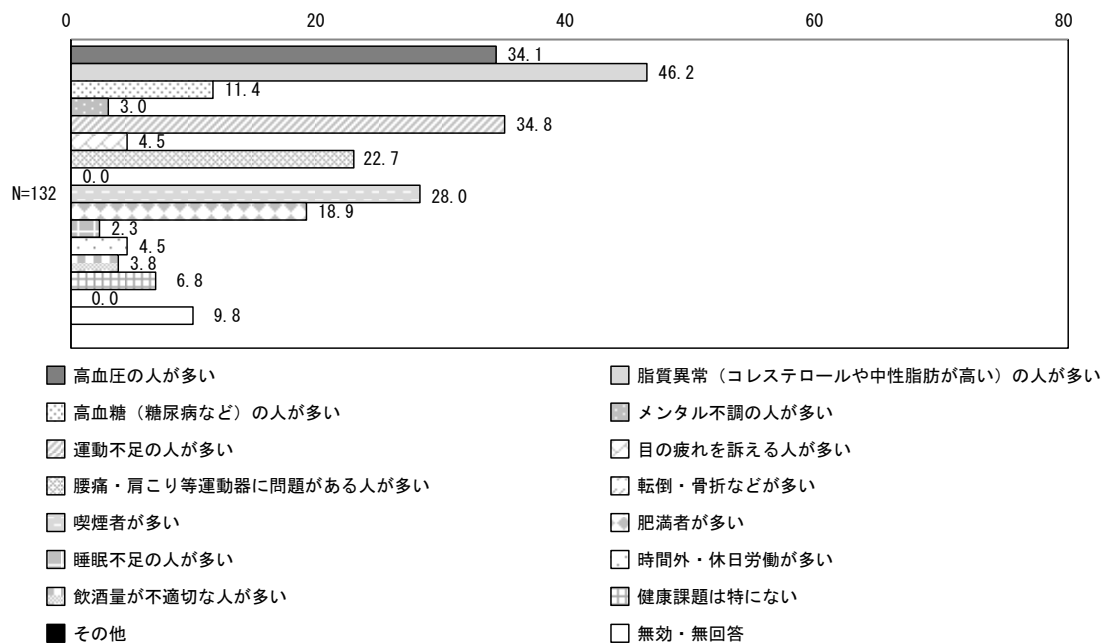
【企業】

「脂質異常（コレステロールや中性脂肪が高い）の人が多い」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「運動不足の人が多い」の割合が 34.8%、「高血圧の人が多い」の割合が 34.1%となっている。

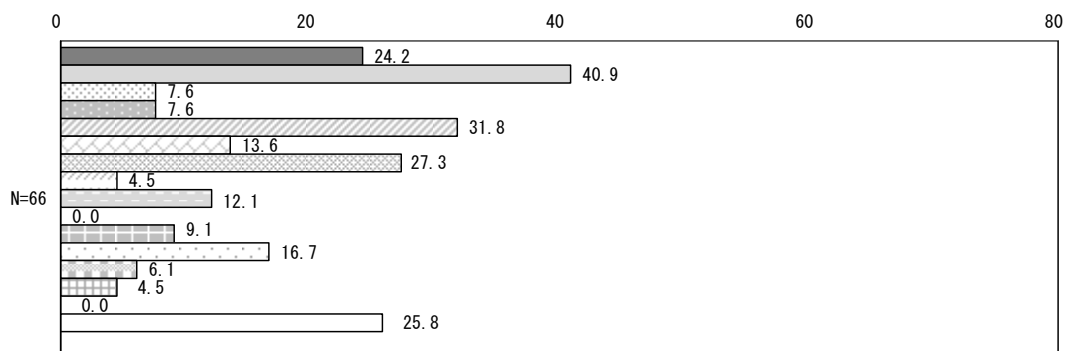
【登録企業】

「脂質異常（コレステロールや中性脂肪が高い）の人が多い」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「運動不足の人が多い」の割合が 31.8%、「腰痛・肩こり等運動器に問題がある人が多い」の割合が 27.3%となっている。

<健康課題（企業）>



<健康課題（登録企業）>



- 高血圧の人が多い
- 高血糖（糖尿病など）の人が多い
- 運動不足の人が多い
- 腰痛・肩こり等運動器に問題がある人が多い
- 喫煙者が多い
- 睡眠不足の人が多い
- 飲酒量が不適切な人が多い
- その他
- 脂質異常（コレステロールや中性脂肪が高い）の人が多い
- メンタル不調の人が多い
- 目の疲れを訴える人が多い
- 転倒・骨折などが多い
- 肥満者が多い
- 時間外・休日労働が多い
- 健康課題は特にならない
- 無効・無回答

問8 従業員の健康づくりの取り組み状況について、当てはまる欄に○をご記入ください。

(1) 健康宣言（健康宣言と社内外への発信）

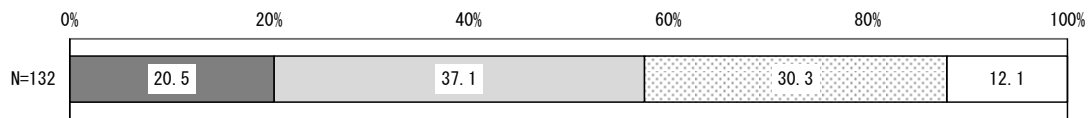
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が37.1%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が30.3%、「取り組んでいる」の割合が20.5%となっている。

【登録企業】

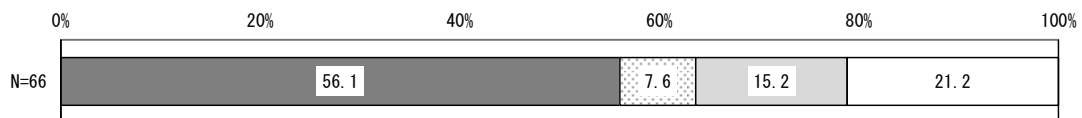
「既に取り組んでいる」の割合が56.1%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が15.2%、「令和5年度取組予定」の割合が7.6%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

(2) 生活習慣病予防

ア 健診有所見者への精密検査費用の助成

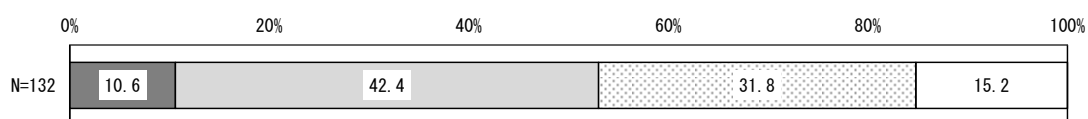
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が42.4%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が31.8%、「取り組んでいる」の割合が10.6%となっている。

【登録企業】

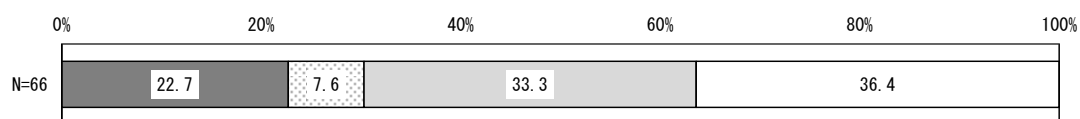
「興味がある」の割合が33.3%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が22.7%、「令和5年度取組予定」の割合が7.6%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

イ 健診有所見者の精密検査受診における有給の特別休暇制度

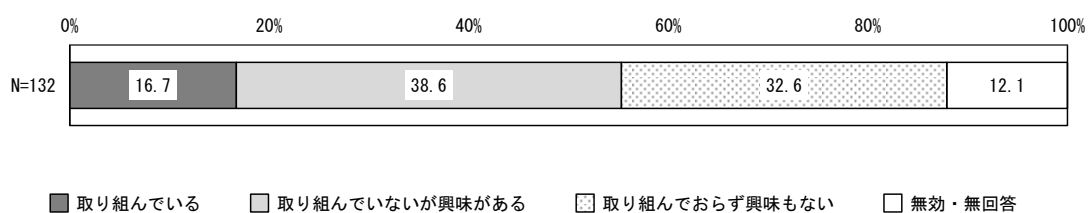
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が38.6%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が32.6%、「取り組んでいる」の割合が16.7%となっている。

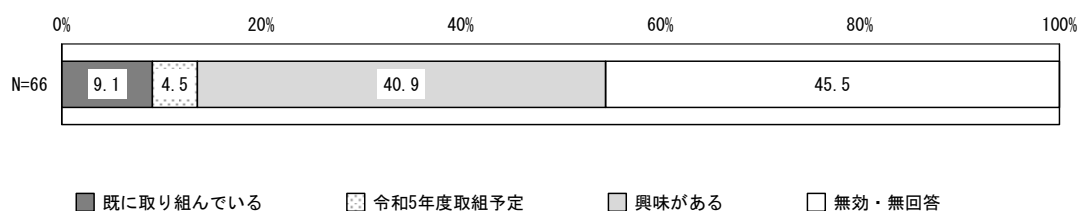
【登録企業】

「興味がある」の割合が40.9%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が9.1%、「令和5年度取組予定」の割合が4.5%となっている。

<実施状況（企業）>



<実施状況（登録企業）>



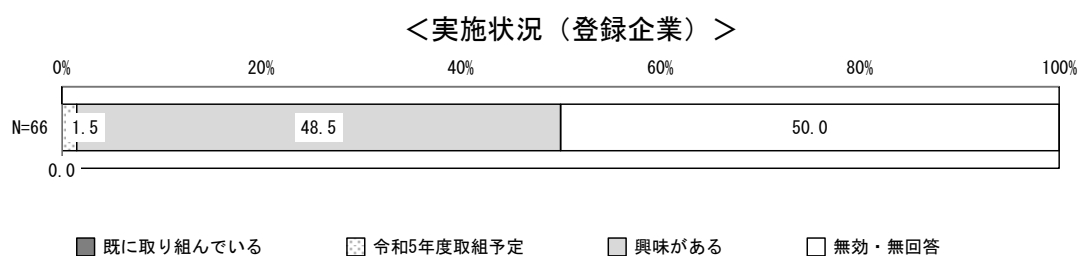
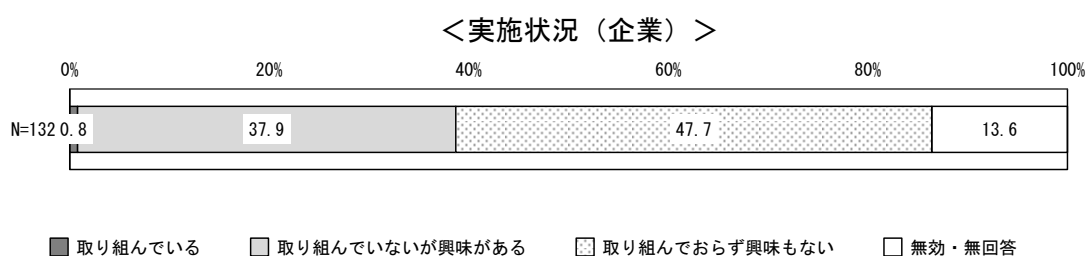
ウ 健診結果異常なし、または改善した者へのインセンティブ（成果報酬等）の付与

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が37.9%、「取り組んでいる」の割合が0.8%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が48.5%と最も高く、次いで「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。



エ その他

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には、「日本全国に従業員が散らばっている為、なかなか難しいのが現状」という意見がある。

【登録企業】

「令和5年度取組予定」と回答した企業の中には「講習会を実施する」という意見が挙げられている。

(3) 労働時間の適正化

ア 長時間労働をしている部署の管理職や、部署に対するペナルティ設置

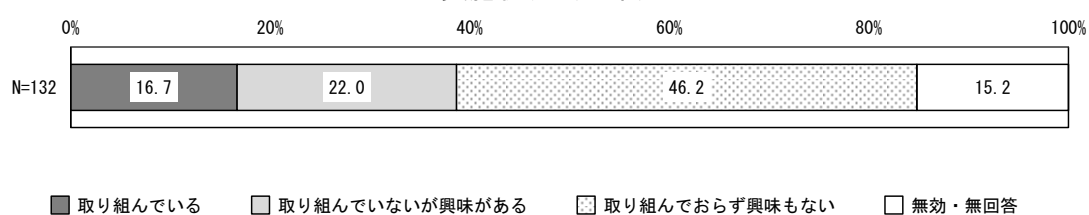
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が22.0%、「取り組んでいる」の割合が16.7%となっている。

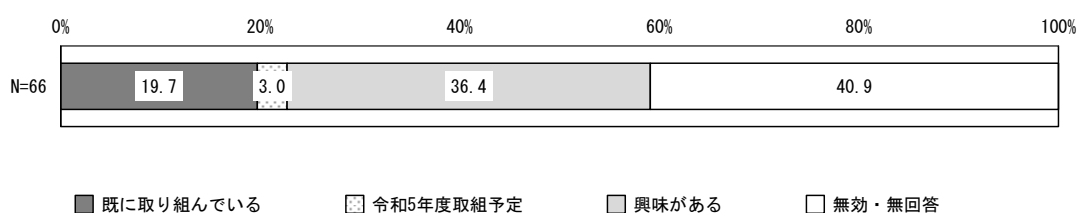
【登録企業】

「興味がある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が19.7%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。

<実施状況（企業）>



<実施状況（登録企業）>



イ 残業の事前申告制度

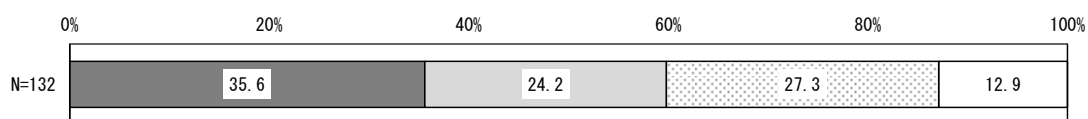
【企業】

「取り組んでいる」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が 27.3%、「取り組んでいないが興味がある」の割合が 24.2%となっている。

【登録企業】

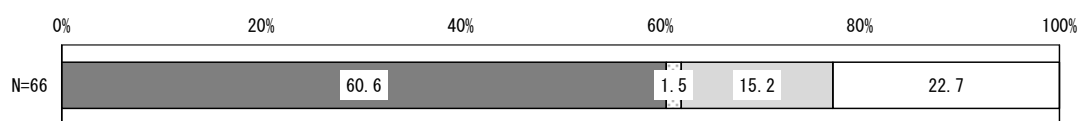
「既に取り組んでいる」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が 15.2%、「令和5年度取組予定」の割合が 1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

ウ 1時間単位での年次有給休暇の取得

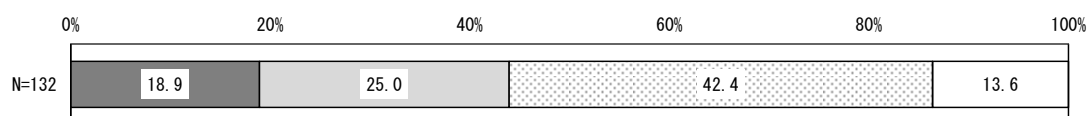
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が25.0%、「取り組んでいる」の割合が18.9%となっている。

【登録企業】

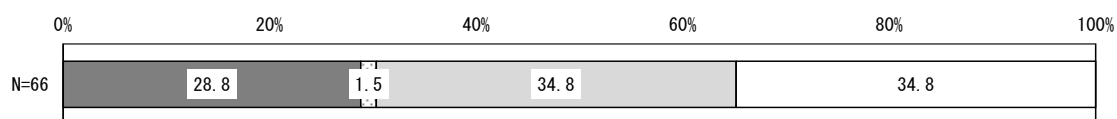
「興味がある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が28.8%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる □ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

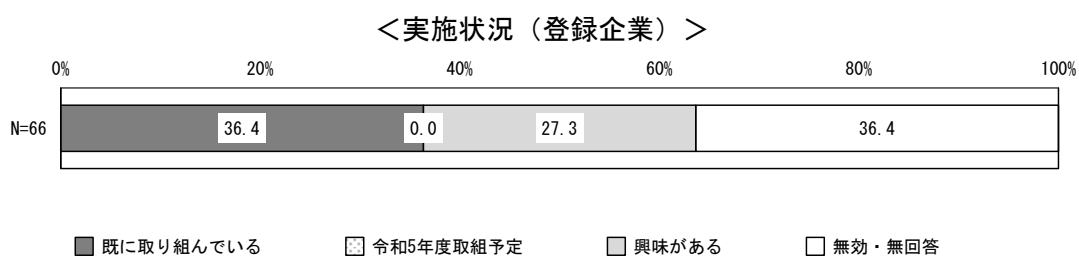
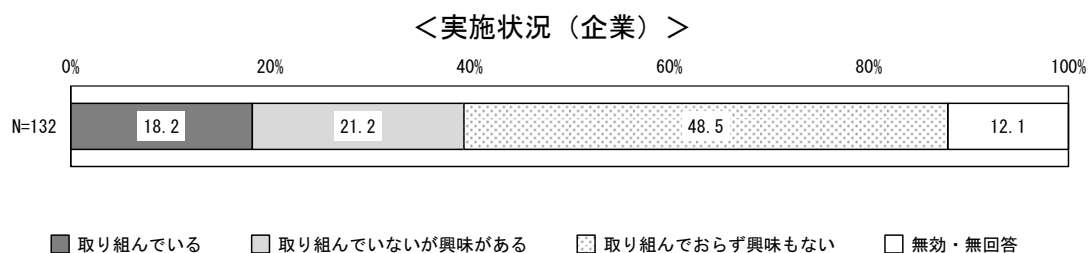
エ フレックスタイム制度、または時差出勤制度を設けている

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が21.2%、「取り組んでいる」の割合が18.2%となっている。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が36.4%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が27.3%となっている。



オ 定時消灯日、定時退勤日（ノ一残業デー）の設定

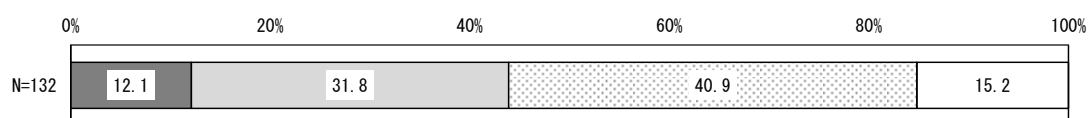
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が31.8%、「取り組んでいる」の割合が12.1%となっている。

【登録企業】

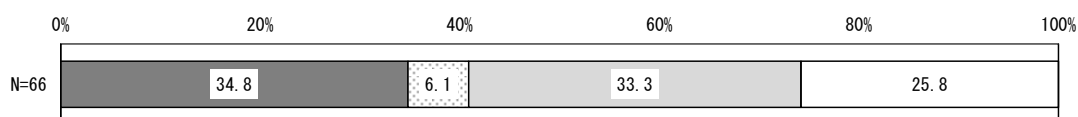
「既に取り組んでいる」の割合が34.8%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が33.3%、「令和5年度取組予定」の割合が6.1%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる □ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

カ その他

【企業】

「取り組んでいる」と回答した企業の中には「給与体系の見直し」、「取り組んでおらず興味もない」と回答した人の中には「原則残業禁止としている」という意見がある。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」と回答した企業の中には「繁忙期でも20時には退社するよう声かけをしている」という意見が挙げられている。

(4) コミュニケーション

ア 従業員同士の交流を増やすための企画（意見交換会、サンクスカード 等）

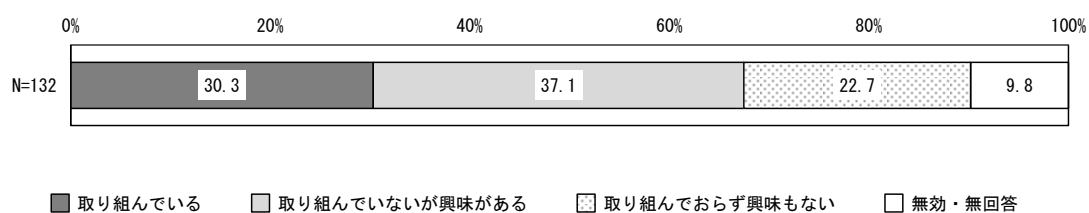
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が37.1%と最も高く、次いで「取り組んでいる」の割合が30.3%、「取り組んでおらず興味もない」の割合が22.7%となっている。

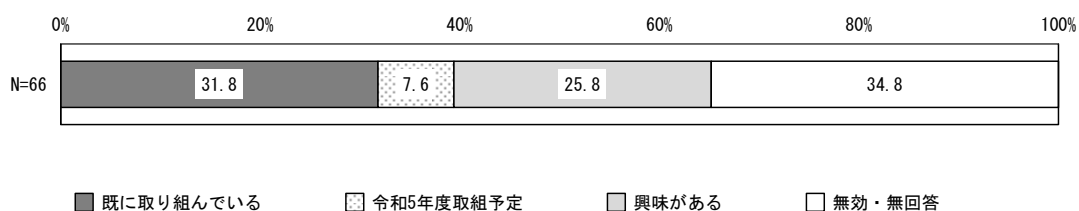
【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が31.8%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が25.8%、「令和5年度取組予定」の割合が7.6%となっている。

<実施状況（企業）>



<実施状況（登録企業）>



イ 同好会・サークル等の設置（費用補助や場所の提供）

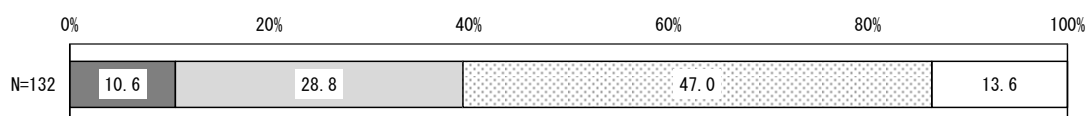
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が28.8%、「取り組んでいる」の割合が10.6%となっている。

【登録企業】

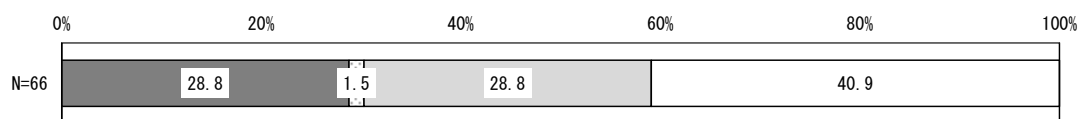
「既に取り組んでいる」の割合と「興味がある」の割合がいずれも28.8%と最も高く、次いで「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

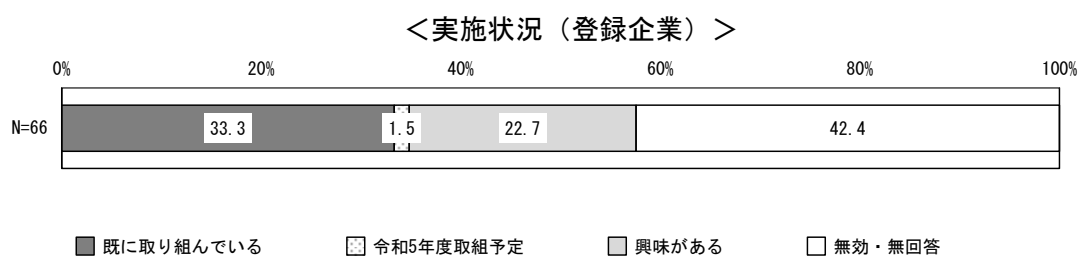
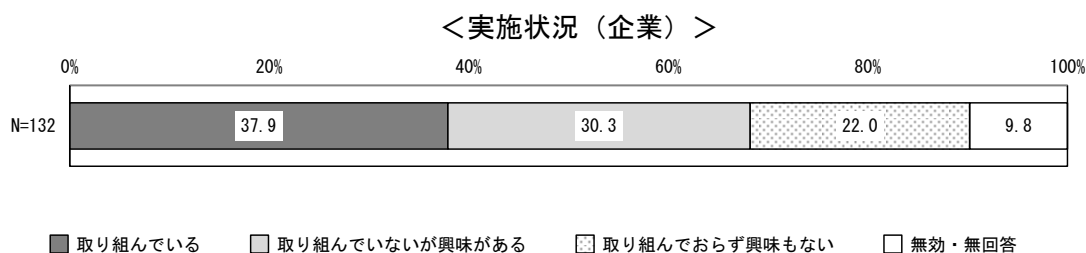
ウ 社員旅行や家族交流会等のイベントの開催（費用補助や場所の提供）

【企業】

「取り組んでいる」の割合が37.9%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が30.3%、「取り組んでおらず興味もない」の割合が22.0%となっている。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が33.3%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が22.7%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。



エ その他

【企業】

「取り組んでいる」と回答した企業の中には「コロナ前は親睦会を開催」、「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には「社員全員が集まることは、ほぼない」という意見がある。

【登録企業】

「令和5年度取組予定」と回答した企業の中には「新入職者歓迎会」、「既に取り組んでいる」と回答した企業の中には「釣り大会を行っている」「忘年会や食事会を行っている」という意見が挙げられている。

(5) 食生活改善

ア 社員食堂・仕出弁当の費用補助等による、健康に配慮したメニュー提供

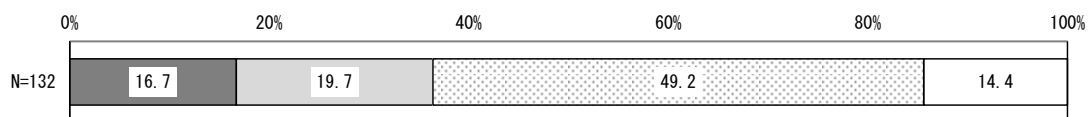
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が49.2%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が19.7%、「取り組んでいる」の割合が16.7%となっている。

【登録企業】

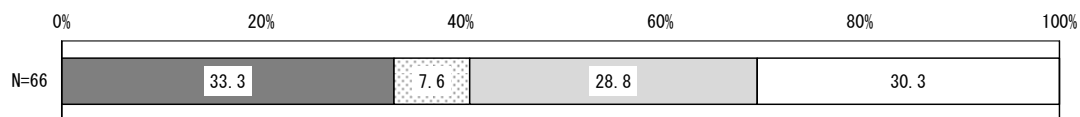
「既に取り組んでいる」の割合が33.3%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が28.8%、「令和5年度取組予定」の割合が7.6%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

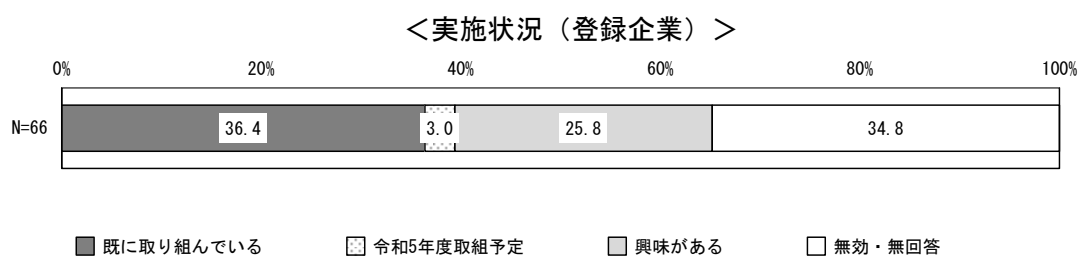
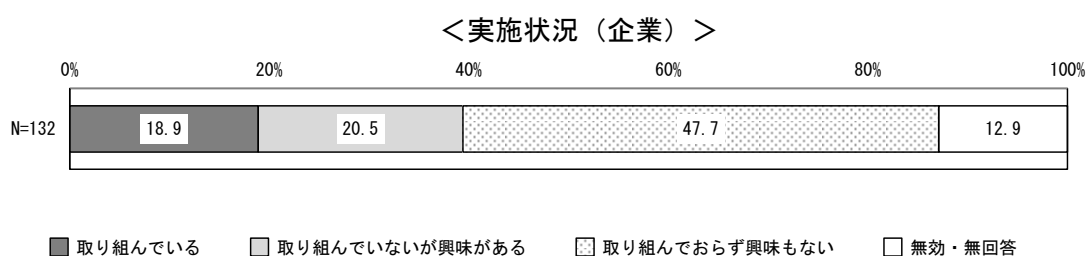
イ 自動販売機や訪問販売での健康飲料・栄養補助食品の提供

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が20.5%、「取り組んでいる」の割合が18.9%となっている。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が36.4%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が25.8%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。



ウ 食生活改善のためのアプリの提供やカロリー記録等のサポートを実施

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が62.9%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が22.7%、「取り組んでいる」の割合が0.8%となっている。

【登録企業】

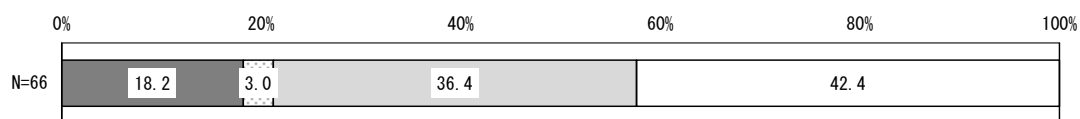
「興味がある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が18.2%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

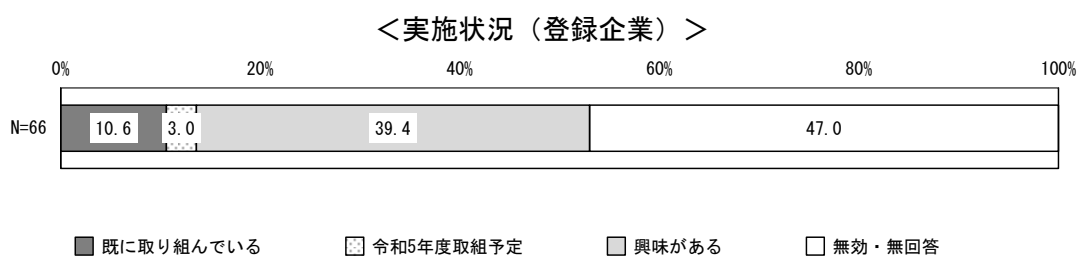
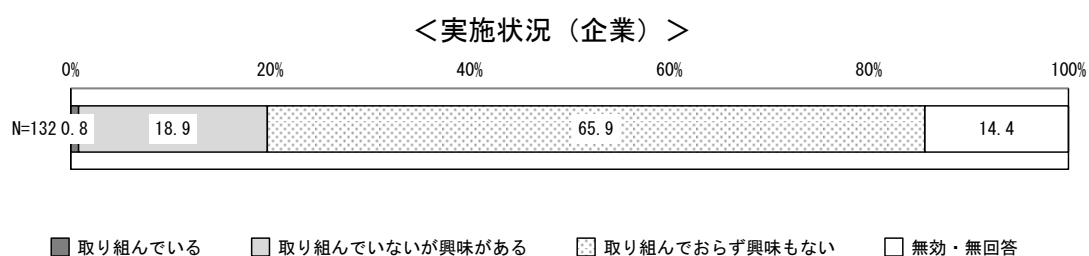
エ 管理栄養士等による栄養指導・相談窓口を設置

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が65.9%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が18.9%、「取り組んでいる」の割合が0.8%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が39.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が10.6%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。



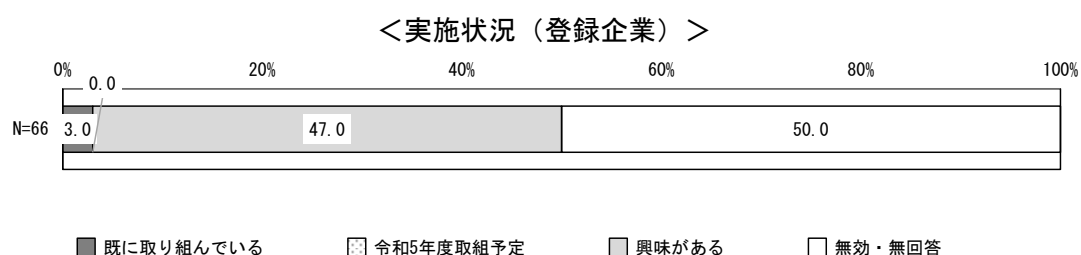
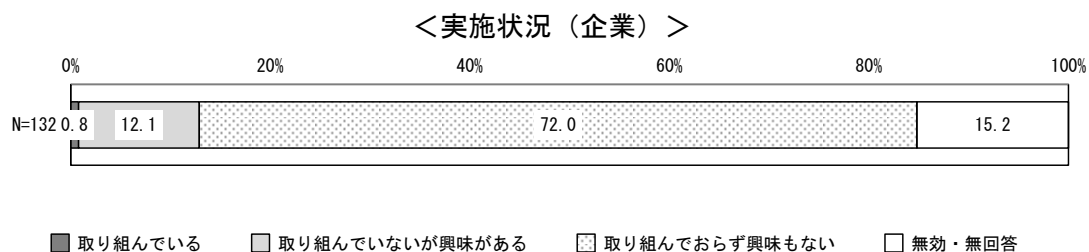
オ 社食での朝食提供による朝食欠食対策

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が72.0%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が12.1%、「取り組んでいる」の割合が0.8%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が47.0%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が3.0%となっている。



カ その他

【企業】

「取り組んでいる」と回答した企業の中には「希望者にはご入居者様と同じ食事をする事が可能」、「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には「昼勤・夜勤に分かれている為、統一が難しい」という意見がある。

【登録企業】

「興味がある」と回答した企業の中には「食生活についての講習会の実施」という意見が挙げられている。

(6) 喫煙

ア たばこの健康影響についての教育・研修の実施

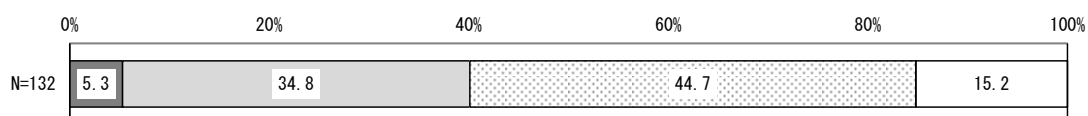
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が34.8%、「取り組んでいる」の割合が5.3%となっている。

【登録企業】

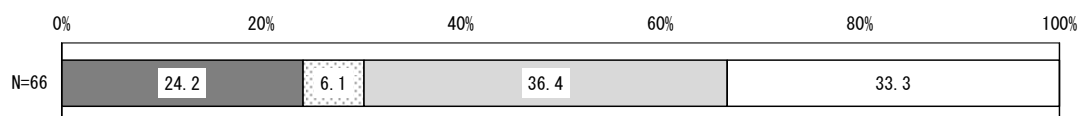
「興味がある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が24.2%、「令和5年度取組予定」の割合が6.1%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

イ 喫煙に関する就業ルール（敷地内全面禁煙、就業時間内禁煙 等）

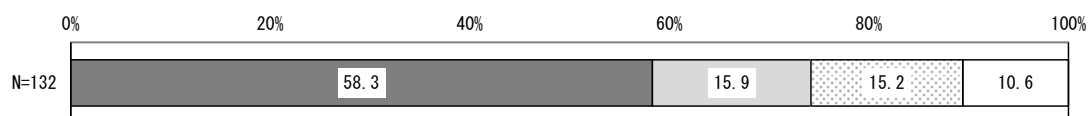
【企業】

「取り組んでいる」の割合が58.3%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が15.9%、「取り組んでおらず興味もない」の割合が15.2%となっている。

【登録企業】

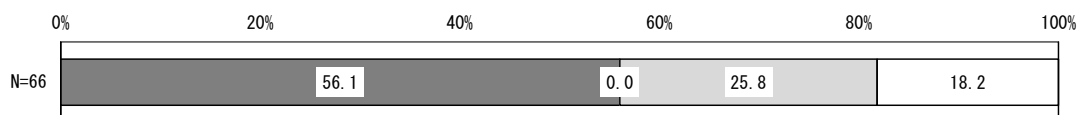
「既に取り組んでいる」の割合が56.1%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が25.8%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる □ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

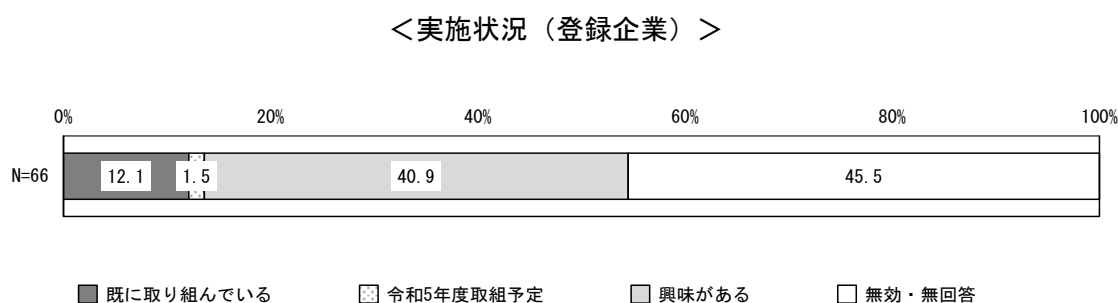
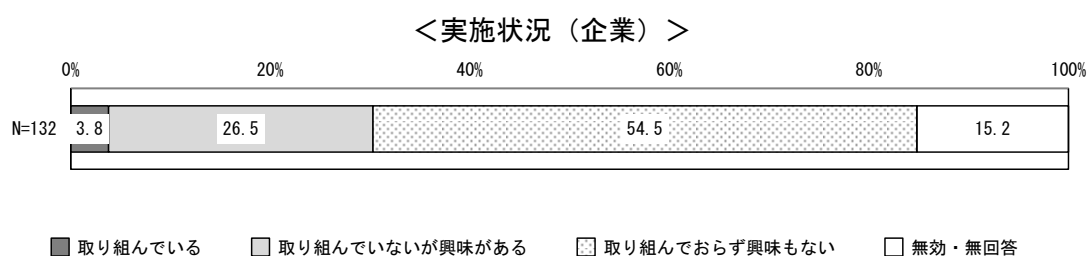
ウ 禁煙外来治療の補助、または禁煙補助剤の無償支給や購入費支給

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が26.5%、「取り組んでいる」の割合が3.8%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が40.9%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が12.1%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。



エ 禁煙を促す社内イベントの実施（禁煙月間、禁煙デー 等）

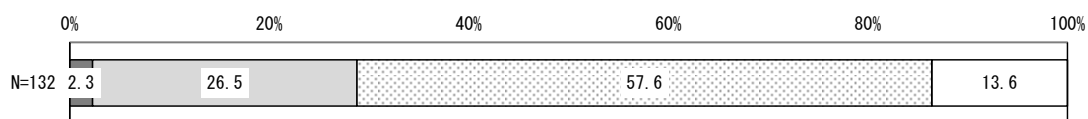
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が57.6%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が26.5%、「取り組んでいる」の割合が2.3%となっている。

【登録企業】

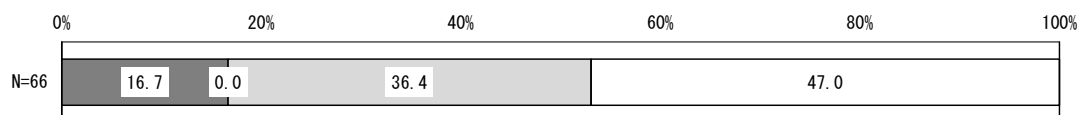
「興味がある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が16.7%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

オ 非喫煙者に対する継続的なインセンティブ（成果報酬等）の付与

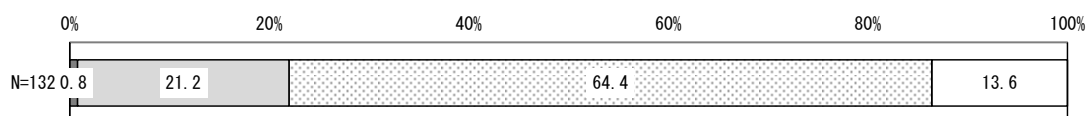
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が64.4%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が21.2%、「取り組んでいる」の割合が0.8%となっている。

【登録企業】

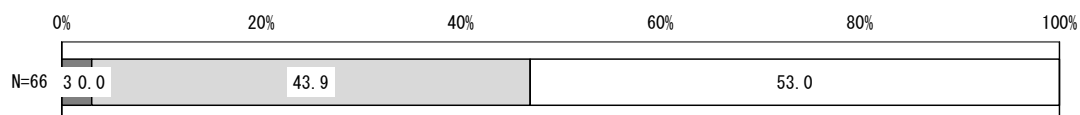
「興味がある」の割合が43.9%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が3.0%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

カ 禁煙達成者に対する表彰やインセンティブ（成果報酬等）の付与

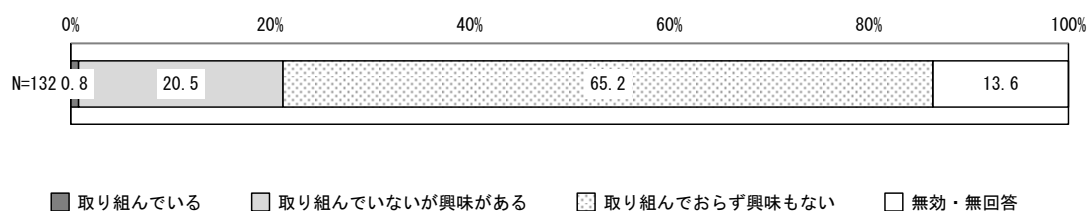
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が65.2%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が20.5%、「取り組んでいる」の割合が0.8%となっている。

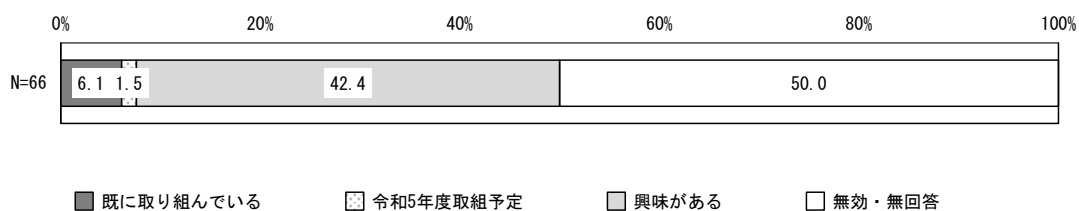
【登録企業】

「興味がある」の割合が42.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が6.1%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



<実施状況（登録企業）>



キ その他

【企業】

「取り組んでいる」と回答した企業の中には「大手ゼネコンが取り組みを強化しているので、一緒に行っている。」、「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には「喫煙者はいません」という意見がある。

【登録企業】

「興味がある」と回答した企業の中には「喫煙と周囲への影響について講習会」という意見が挙げられている。

(7) 歯と口の健康

ア 食後の歯磨きの推奨

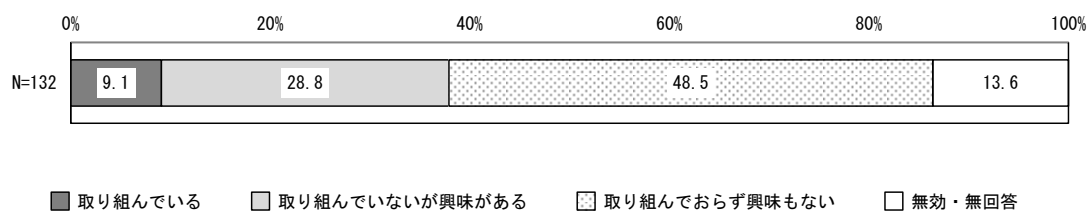
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が28.8%、「取り組んでいる」の割合が9.1%となっている。

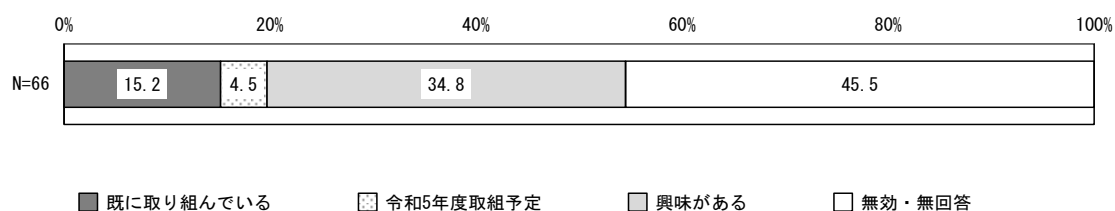
【登録企業】

「興味がある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が15.2%、「令和5年度取組予定」の割合が4.5%となっている。

<実施状況（企業）>



<実施状況（登録企業）>



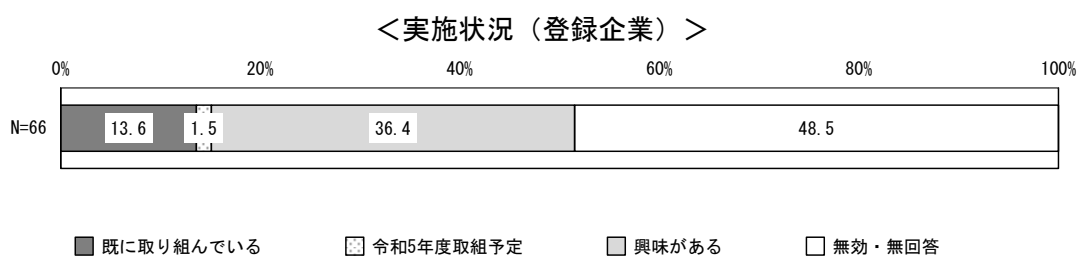
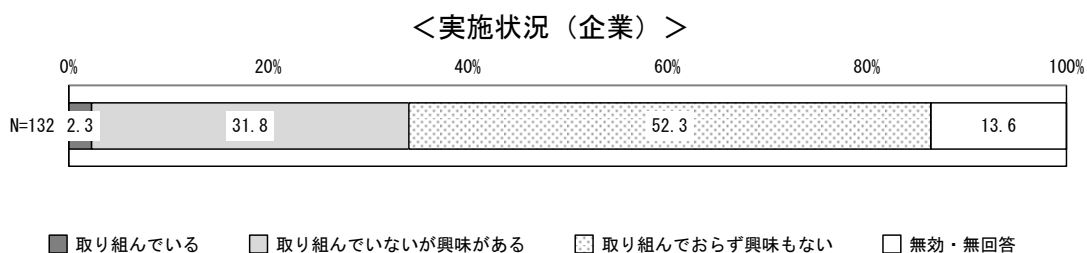
イ 歯科検診の実施、歯科検診費用の補助

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が52.3%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が31.8%、「取り組んでいる」の割合が2.3%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が13.6%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。



ウ その他

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には「個人の感覚に任せている」という意見がある。

【登録企業】

「興味がある」と回答した企業の中には「歯に関しては取り組みがないので今後の課題として検討したい」という意見が挙げられている。

(8) 運動機会の促進

ア スポーツイベントの開催または企業としての集団参加

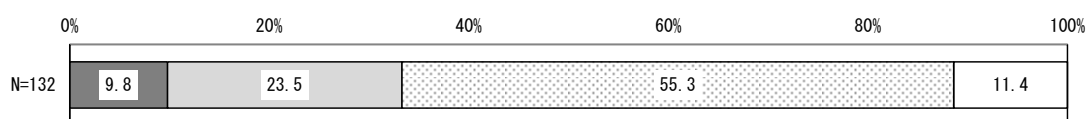
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が55.3%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が23.5%、「取り組んでいる」の割合が9.8%となっている。

【登録企業】

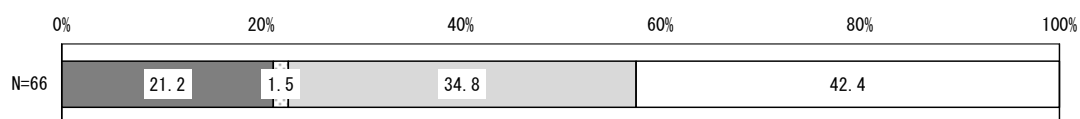
「興味がある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が21.2%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

イ 運動のクラブ活動やサークル活動への費用補助

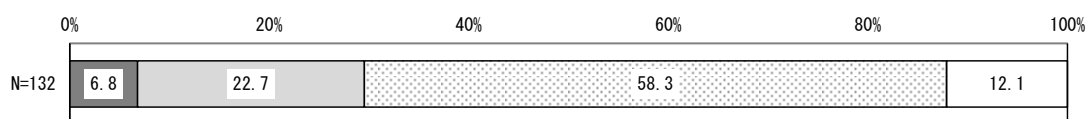
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が58.3%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が22.7%、「取り組んでいる」の割合が6.8%となっている。

【登録企業】

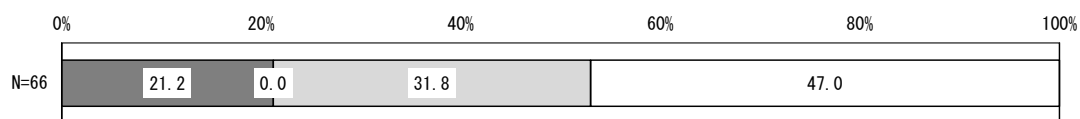
「興味がある」の割合が31.8%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が21.2%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

ウ 運動機能のチェック（体力測定・フレイルチェック等）の実施

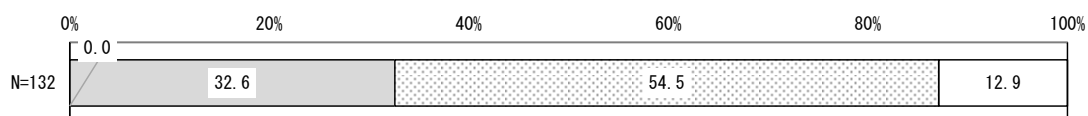
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が32.6%となっている。

【登録企業】

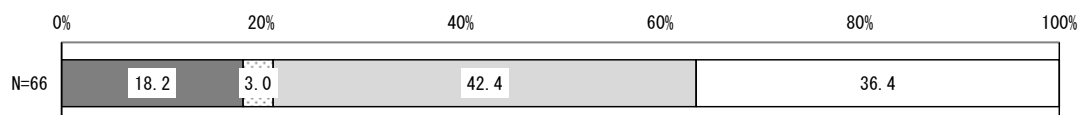
「興味がある」の割合が42.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が18.2%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 既に取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

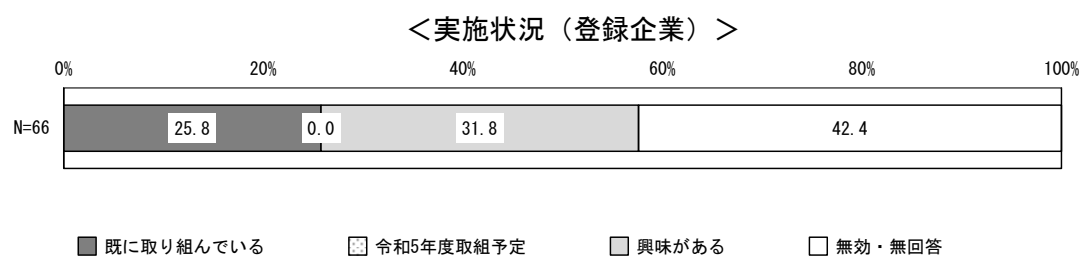
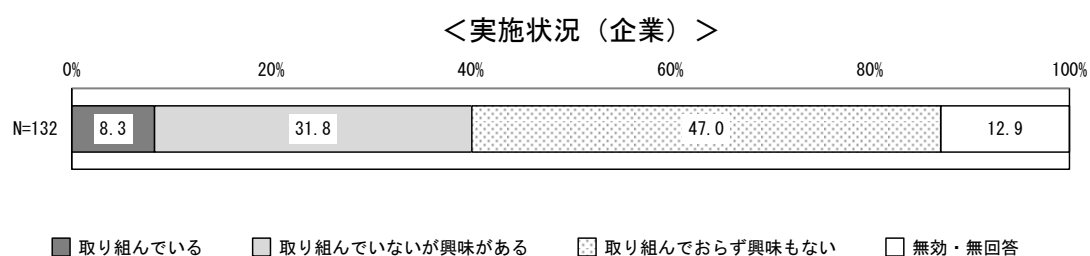
エ 運動器具や運動室の設置、またはスポーツジムとの提携や費用補助

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が31.8%、「取り組んでいる」の割合が8.3%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が31.8%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が25.8%となっている。



オ 立ち会議スペースや昇降式デスク等、運動量向上するオフィス設備

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が59.8%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が24.2%、「取り組んでいる」の割合が3.0%となっている。

【登録企業】

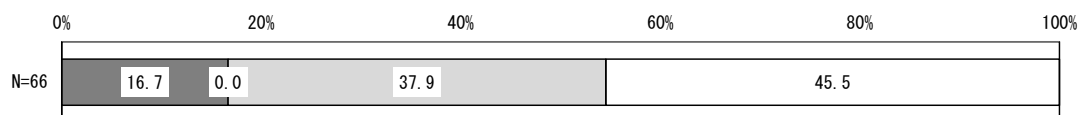
「興味がある」の割合が37.9%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が16.7%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

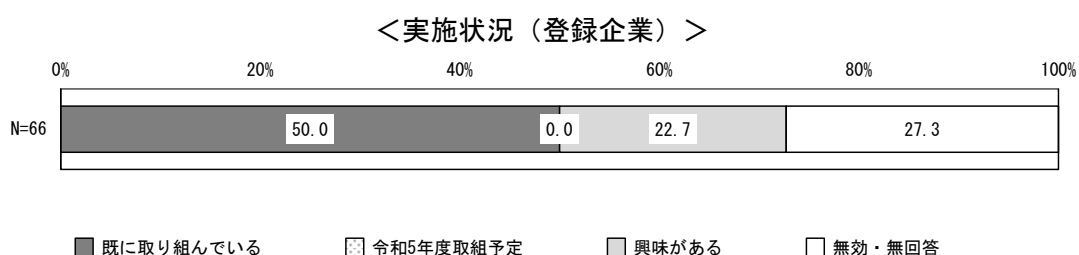
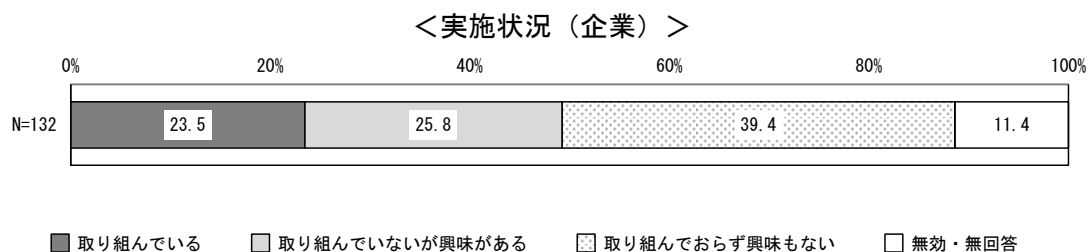
カ 職場において集団で運動を行う時間がある（ラジオ体操、ストレッチ等）

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が39.4%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が25.8%、「取り組んでいる」の割合が23.5%となっている。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が50.0%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が22.7%となっている。



キ その他

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には「個人の感覚に任せている」という意見がある。

【登録企業】

「令和5年度取組予定」と回答した企業の中には「健康アプリの導入」、「興味がある」と回答した企業の中には「定期的に何か運動機会の場を実施していきたい」という意見が挙げられている。

(9) 女性の健康保持・促進

ア 婦人科検診（乳がん・子宮頸がん検診を含む）の費用補助

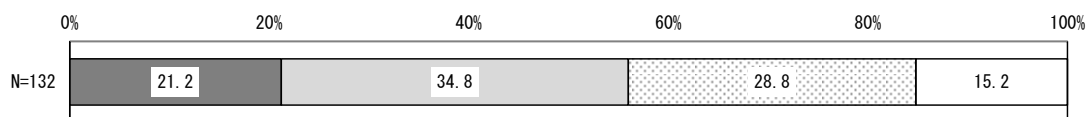
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が28.8%、「取り組んでいる」の割合が21.2%となっている。

【登録企業】

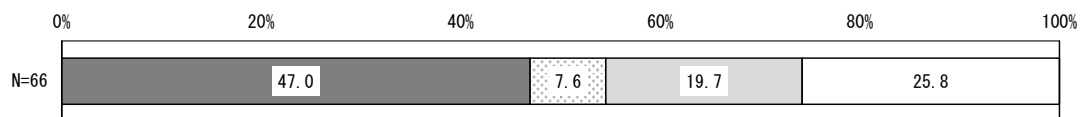
「既に取り組んでいる」の割合が47.0%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が19.7%、「令和5年度取組予定」の割合が7.6%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

イ 女性の健康専門の相談窓口の設置（メール・電話相談含む）

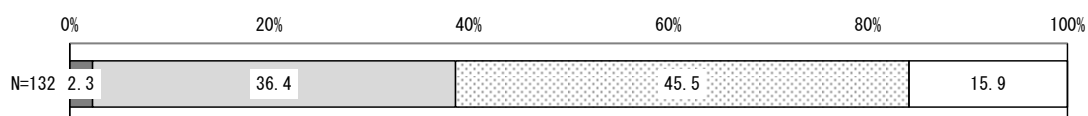
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が45.5%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が36.4%、「取り組んでいる」の割合が2.3%となっている。

【登録企業】

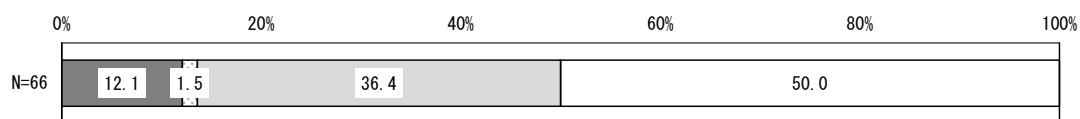
「興味がある」の割合が36.4%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が12.1%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

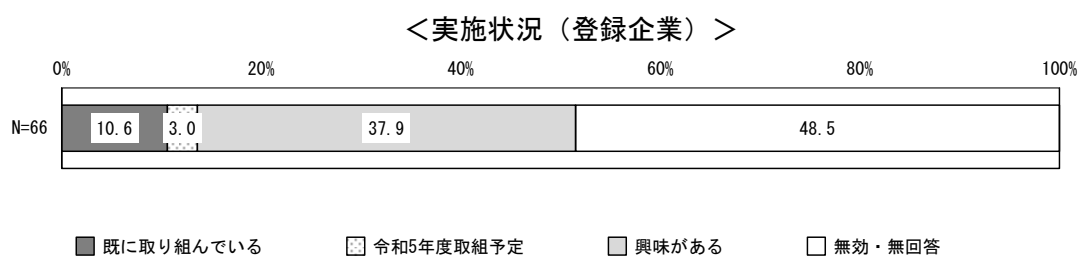
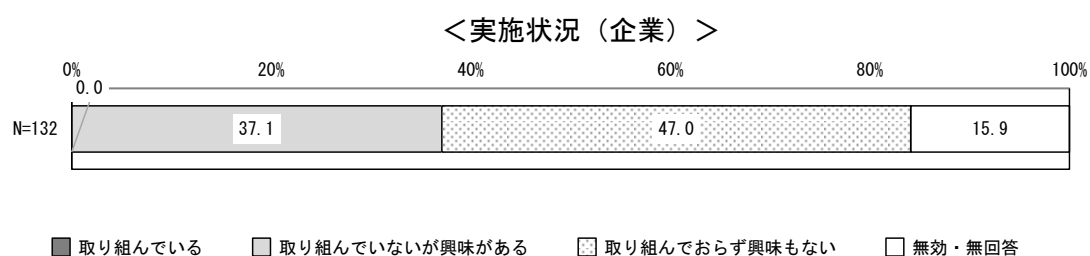
ウ 女性の健康関連課題等に関する理解促進のための研修・セミナー実施

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が37.1%となっている。

【登録企業】

「興味がある」の割合が37.9%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が10.6%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。



エ その他

【企業】

「取り組んでおらず興味もない」と回答した企業の中には「女性は一人」という意見がある。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」と回答した企業の中には「乳がん検診の募集の際に教育動画を掲示板にアップ」、「興味がある」と回答した企業の中には「がん検診等受診時の有給取り扱い」という意見が挙げられている。

(10) メンタルヘルス

ア メンタルヘルスについての相談窓口の設置と周知

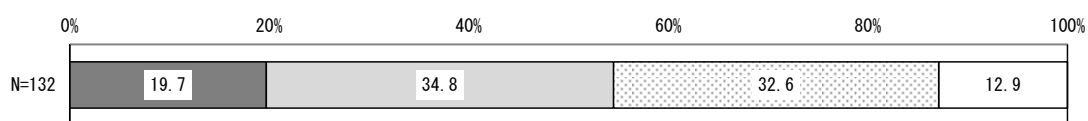
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が32.6%、「取り組んでいる」の割合が19.7%となっている。

【登録企業】

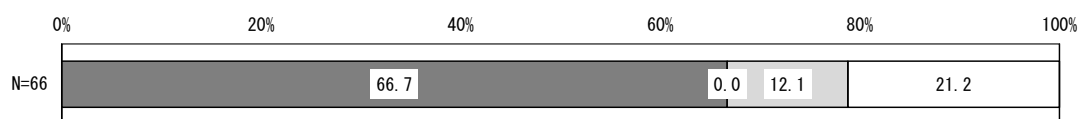
「既に取り組んでいる」の割合が66.7%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が12.1%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる □ 令和5年度取組予定 ▨ 興味がある □ 無効・無回答

イ 従業員自身のセルフチェック等を支援

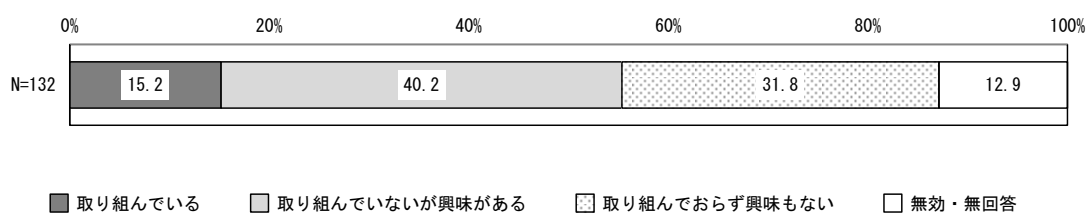
【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が40.2%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が31.8%、「取り組んでいる」の割合が15.2%となっている。

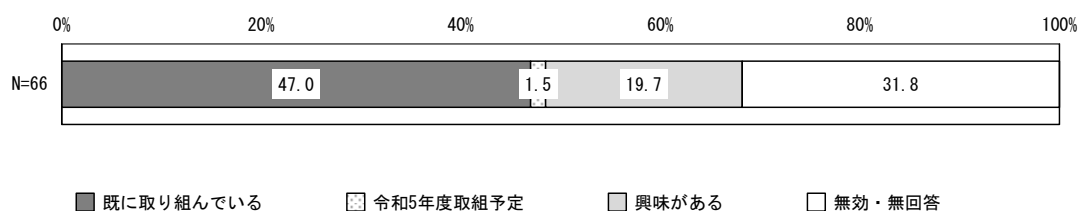
【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が47.0%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が19.7%、「令和5年度取組予定」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



<実施状況（登録企業）>



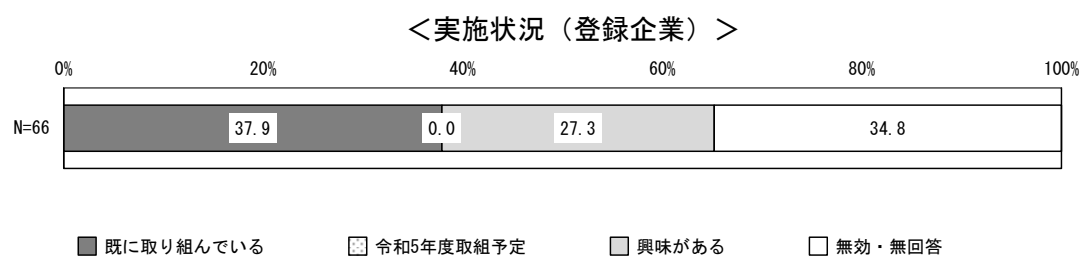
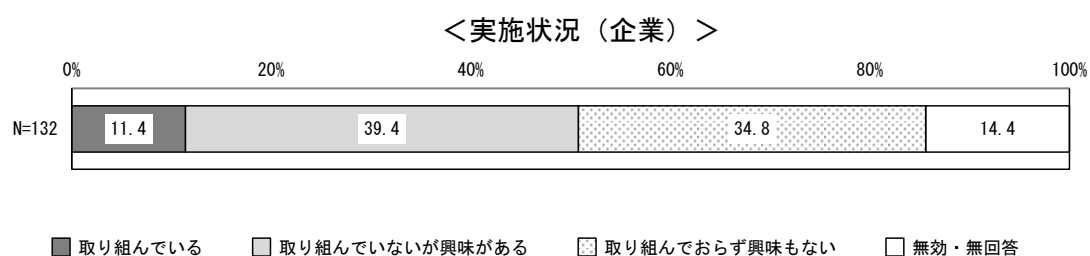
ウ メンタル不調者への復職サポート体制の構築

【企業】

「取り組んでいないが興味がある」の割合が39.4%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が34.8%、「取り組んでいる」の割合が11.4%となっている。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」の割合が37.9%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が27.3%となっている。



エ その他

【企業】

「取り組んでいる」と回答した企業の中には「ストレスチェックの実施」という意見がある。

【登録企業】

「既に取り組んでいる」と回答した企業の中には「産業医による年1回のストレスチェックの実施」、「興味がある」と回答した企業の中には「メンタルヘルスに関する講習会の実施」という意見が挙げられている。

(11) 感染症予防対策

ア 手指消毒液、アクリル板の設置、マスクの支給、換気設備の設置

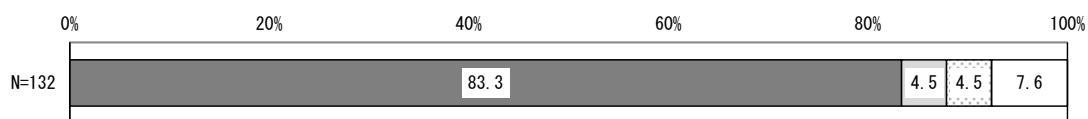
【企業】

「取り組んでいる」の割合が83.3%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が4.5%、「取り組んでおらず興味もない」の割合が4.5%となっている。

【登録企業】

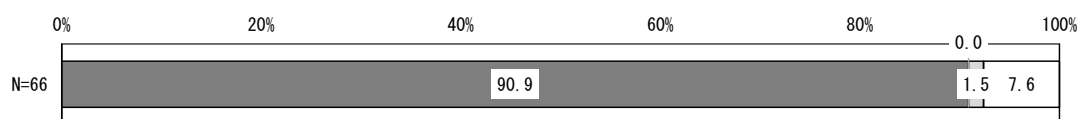
「既に取り組んでいる」の割合が90.9%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が1.5%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる □ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

イ 予防接種の費用補助や職域接種

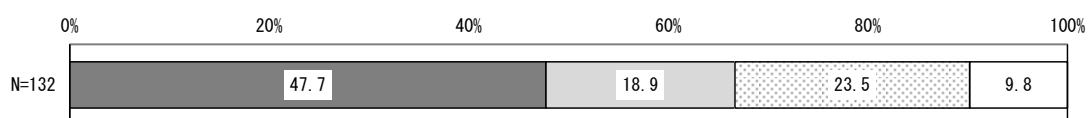
【企業】

「取り組んでいる」の割合が47.7%と最も高く、次いで「取り組んでおらず興味もない」の割合が23.5%、「取り組んでいないが興味がある」の割合が18.9%となっている。

【登録企業】

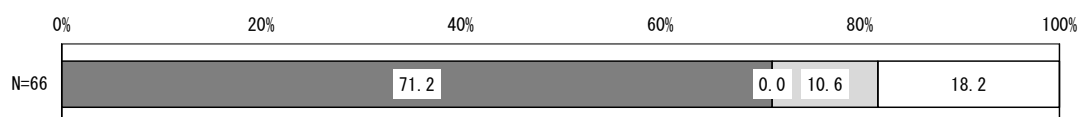
「既に取り組んでいる」の割合が71.2%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が10.6%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

ウ 感染症発症者への有給の特別休暇付与による感染拡大予防

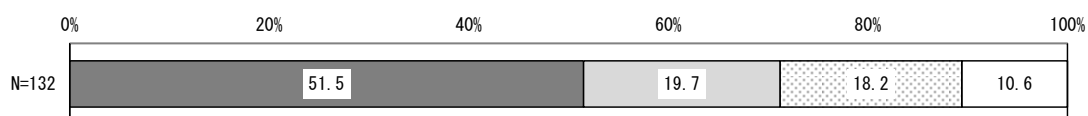
【企業】

「取り組んでいる」の割合が51.5%と最も高く、次いで「取り組んでいないが興味がある」の割合が19.7%、「取り組んでおらず興味もない」の割合が18.2%となっている。

【登録企業】

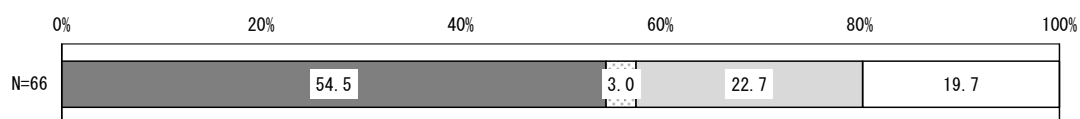
「既に取り組んでいる」の割合が54.5%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が22.7%、「令和5年度取組予定」の割合が3.0%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

エ 感染症やワクチンに関する教育・研修

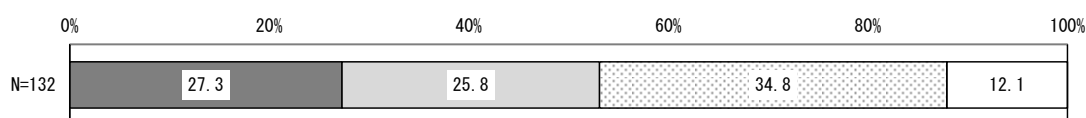
【企業】

「取り組んでおらず興味もない」の割合が34.8%と最も高く、次いで「取り組んでいる」の割合が27.3%、「取り組んでいないが興味がある」の割合が25.8%となっている。

【登録企業】

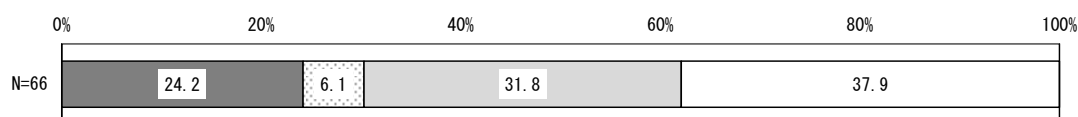
「興味がある」の割合が31.8%と最も高く、次いで「既に取り組んでいる」の割合が24.2%、「令和5年度取組予定」の割合が6.1%となっている。

<実施状況（企業）>



■ 取り組んでいる □ 取り組んでいないが興味がある ▨ 取り組んでおらず興味もない □ 無効・無回答

<実施状況（登録企業）>



■ 既に取り組んでいる ▨ 令和5年度取組予定 □ 興味がある □ 無効・無回答

オ その他

【企業】

自由記述なし

【登録企業】

「既に取り組んでいる」と回答した企業の中には「感染症に関する情報提供」という意見が挙げられている。

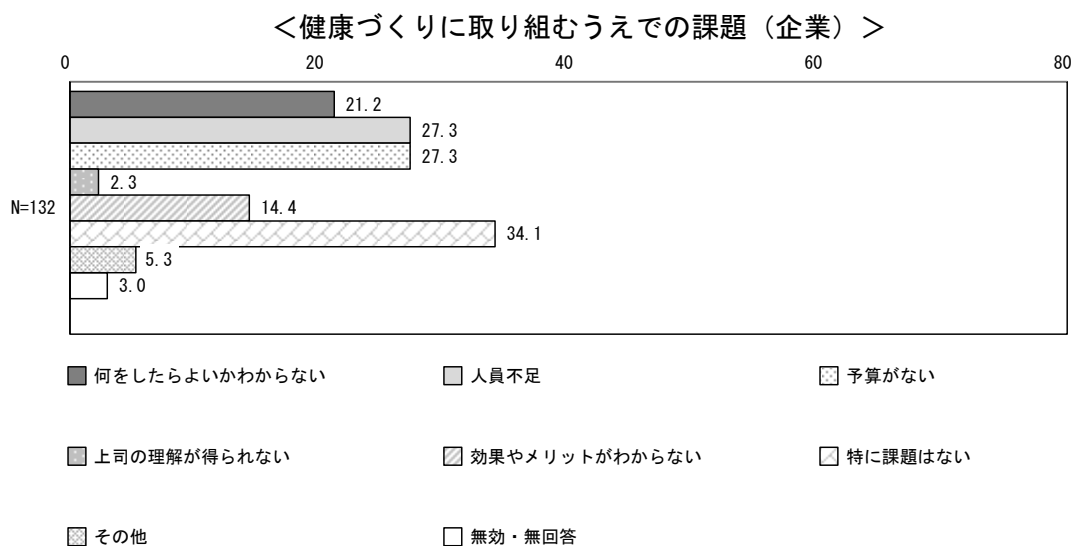
問9 従業員の健康づくりに取り組むにあたり、どのような課題がありますか（複数回答可）

【企業】

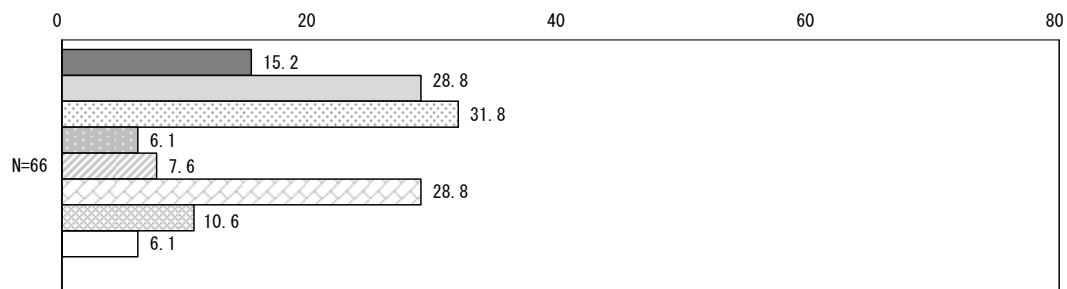
「特に課題はない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「人員不足」の割合が27.3%、「予算がない」の割合が27.3%となっている。その他の意見では「本人の自覚が重要である」「個人のプライバシーにどこまで踏み込めるかが課題である」「健康に関する取り組みを実践される方が少ない」などの意見が挙げられている。

【登録企業】

「予算がない」の割合が31.8%と最も高く、次いで「人員不足」の割合が28.8%、「特に課題はない」の割合が28.8%となっている。その他の意見では「仕事優先意識が強く健康管理が重要視されない」「開催しても人が集まらない」「プライバシーのこともありどのように対応するべきか、他社はどのように行っているかが分からない」との意見が挙げられている。



<健康づくりに取り組むうえでの課題（登録企業）>



- 何をしたらよいかわからない
- 人員不足
- ▨ 予算がない
- ▨ 上司の理解が得られない
- ▨ 効果をメリットがわからない
- 特に課題はない
- ▨ その他
- 無効・無回答

令和4年度 枚方市内企業（事業所含む）で働く皆さまの 「健康づくりに関するアンケート」結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

次期枚方市健康増進計画時期計画及び枚方市歯科口腔保健計画の策定の基礎資料とするため、調査を行うことを目的とします。

2. 調査設計

ひらかた健康優良企業に登録している企業に働く従業員（任意回答）

3. 調査期間

令和5年3月20日（月）から令和5年3月31日（金）

4. 調査方法

インターネットによるウェブ回答

5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
—	413通	—

※企業内での配布数が不明のため、配布数を「—」としている。

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

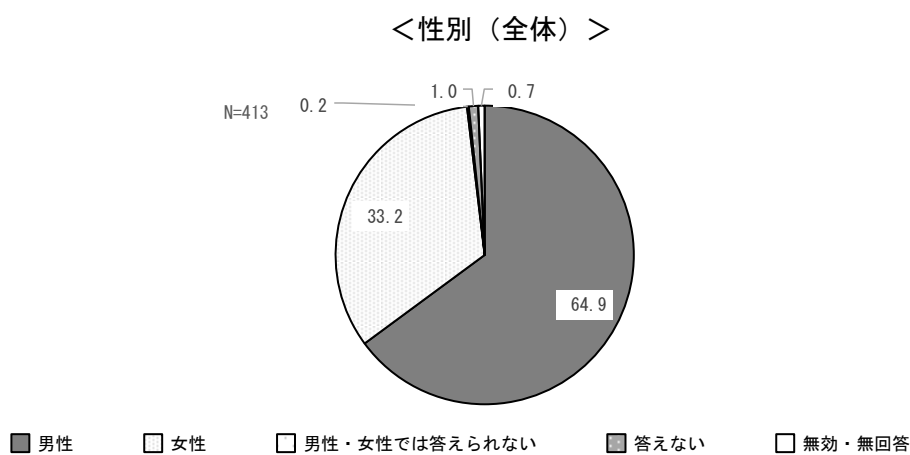
Ⅱ 調査結果の分析

1. 回答者の属性について

あなたの性別、年齢を教えてください。

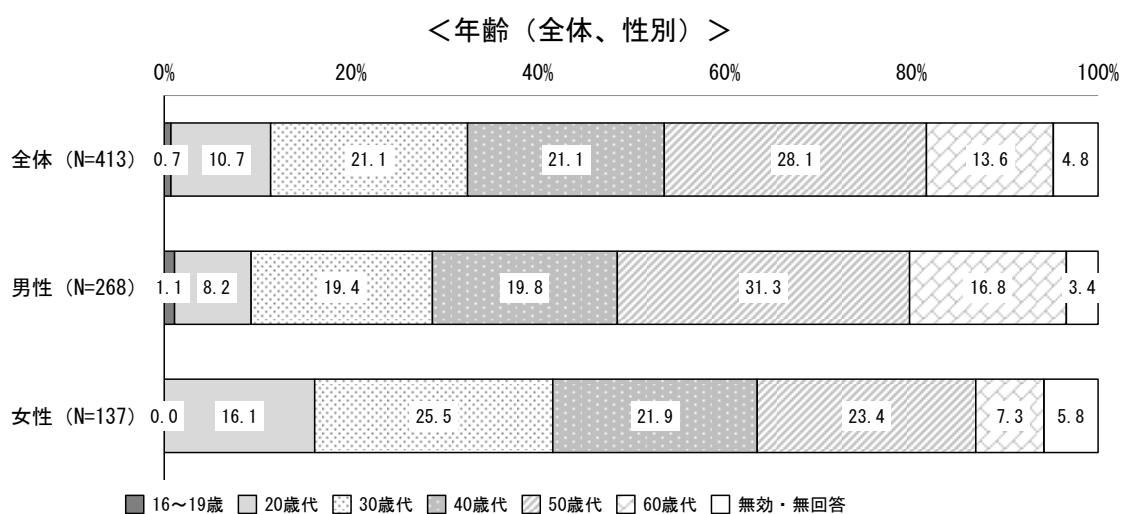
(1) 性別

男性の割合が 64.9%、女性の割合が 33.2%となっており、男性の方が多い構成となっている。



(2) 年齢

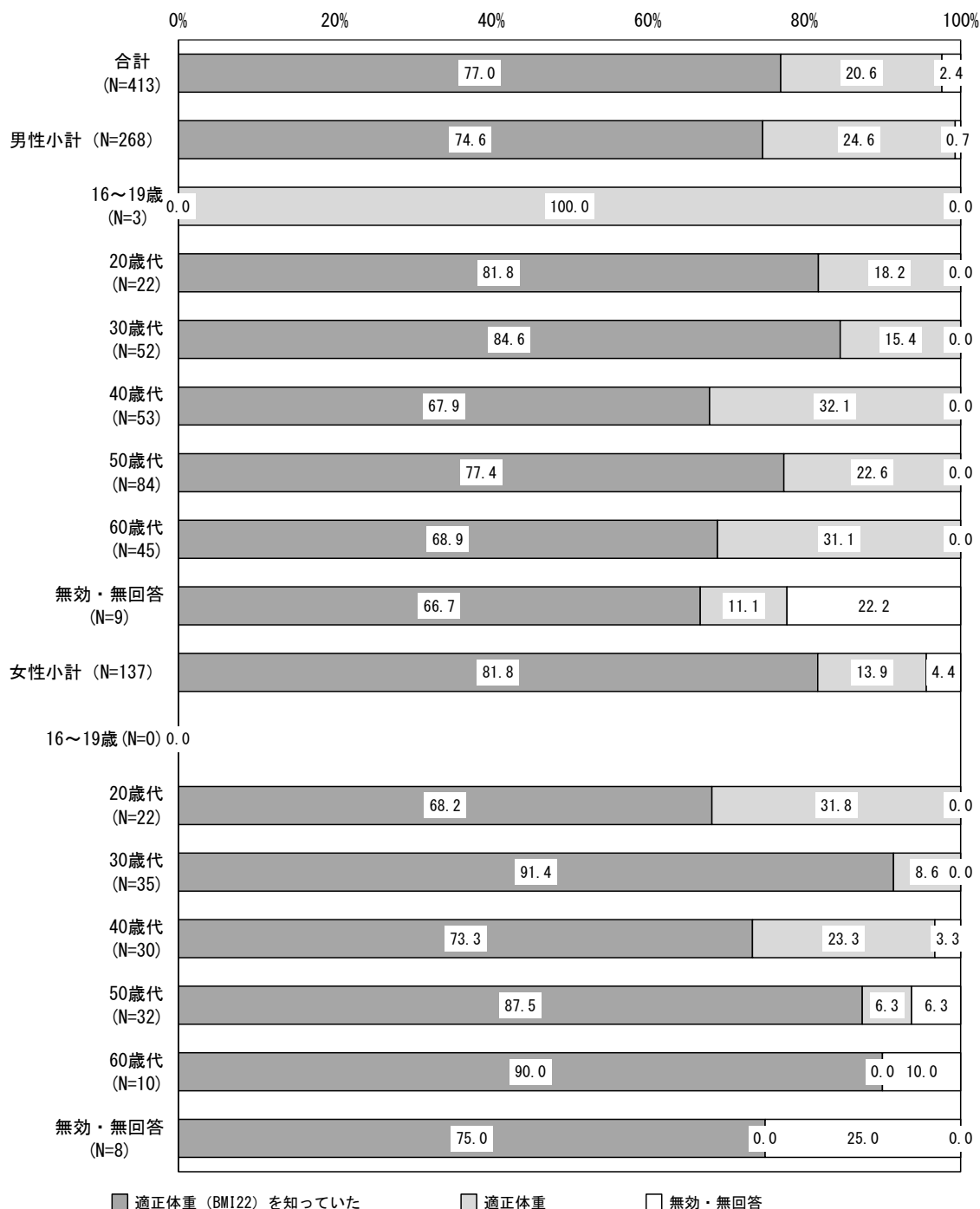
「50 歳代」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「30 歳代」、「40 歳代」の割合が 22.1%、「60 歳代」の割合がそれぞれ 14.2%となっている。



適正体重（BMI22）を知っていましたか。

「適正体重（BMI22）を知っていた」の割合が77.0%となっている。

<適正体重の認知度（全体、性・年齢別）>



身長、体重を教えてください

身長と体重から算出したBMI判定に基づき体格をみていく。

BMI：体重 (kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m) で算出される値で、体格の状況を示す指数のひとつ。
18.5 未満で「やせ」、18.5 以上 25 未満で「標準」、25 以上で「肥満」と判定する。

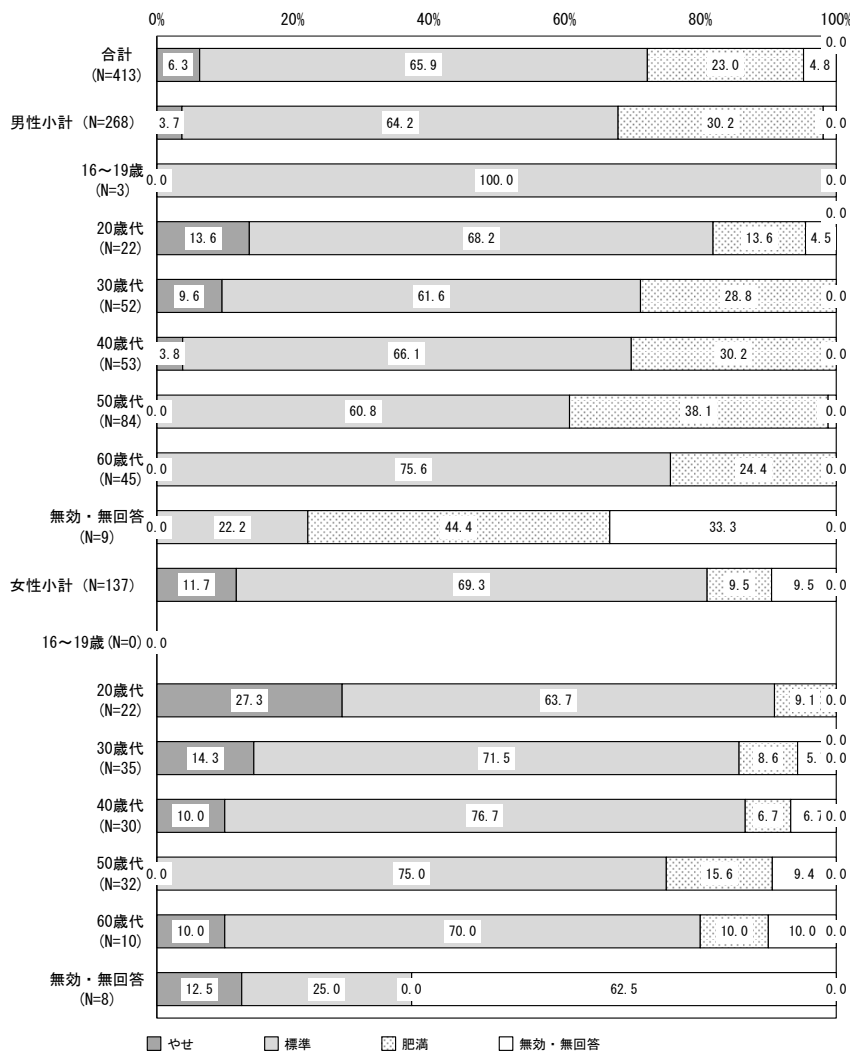
【全体】

「肥満」の割合が23.0%、「やせ」の割合が6.3%となっている。

【性・年齢別】

「肥満」の割合が高いのは、男性の40～50歳代で、いずれの年代も約3人に1人が「肥満」となっている。一方、「やせ」の割合が高いのは女性の16～19歳で4人に1人以上が「やせ」となっている。男女を比較すると、男性は若い年代から「肥満」がみられ、どの年齢層でも女性よりも「肥満」の割合が高い。

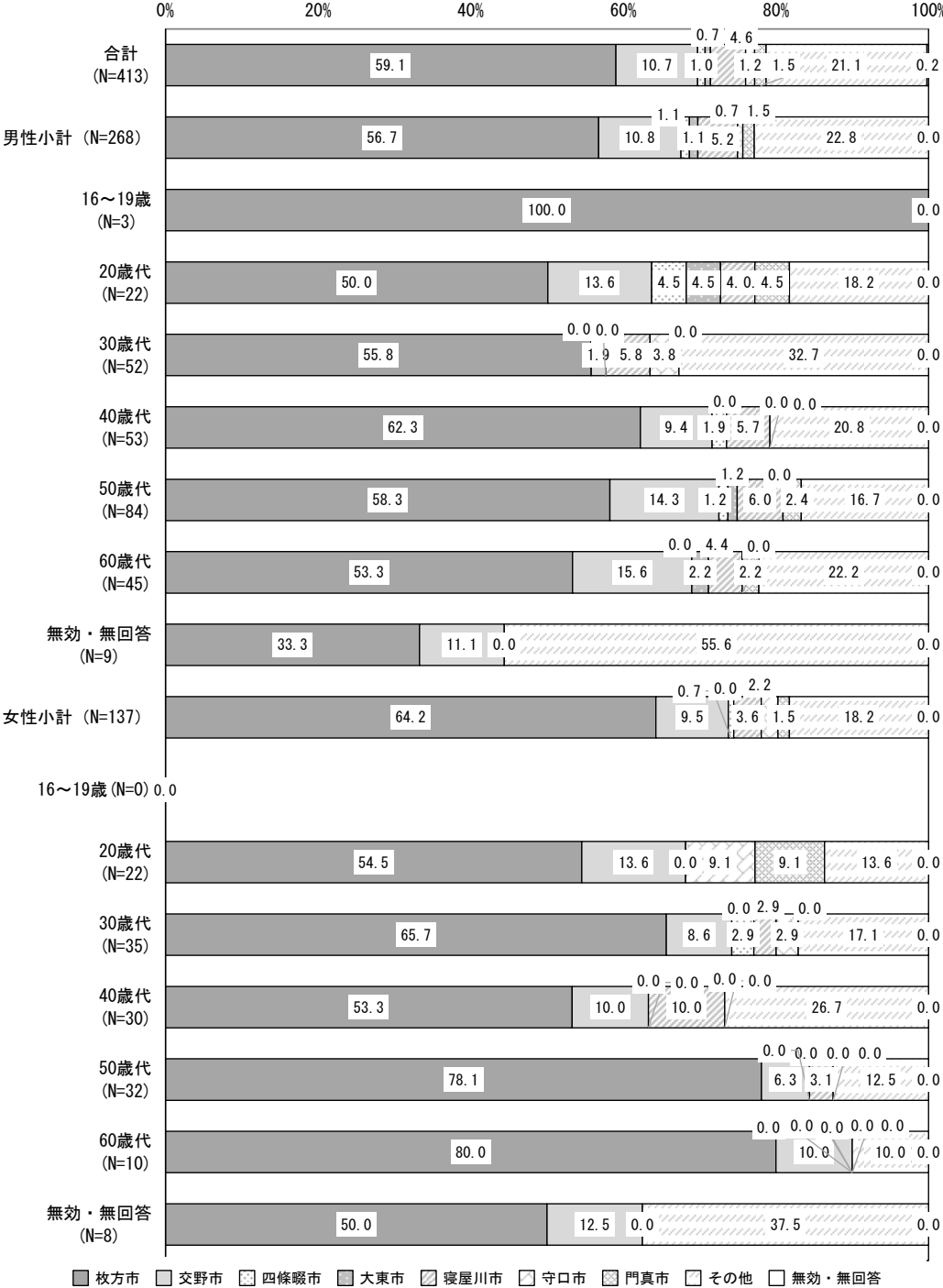
<体格（全体、性・年齢別）>



お住いの市町村を教えてください。

「枚方市」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「交野市」の割合が 10.7%、「その他」の割合が 21.1%となっている。その他の市町村として近隣の都道府県の自治体が挙げられている。

<居住地（全体、性・年齢別）>

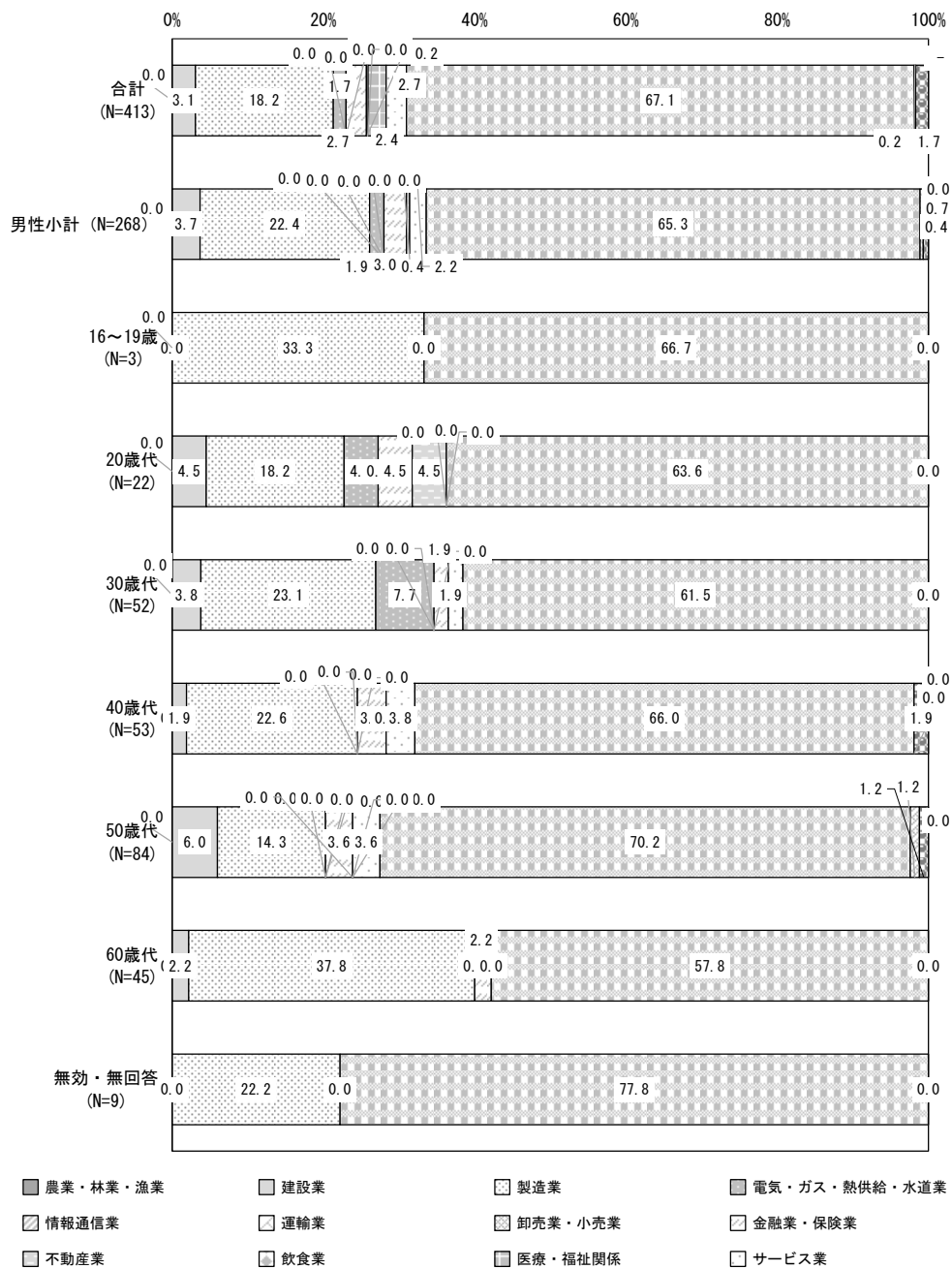


2. あなたの職場についてお伺いします

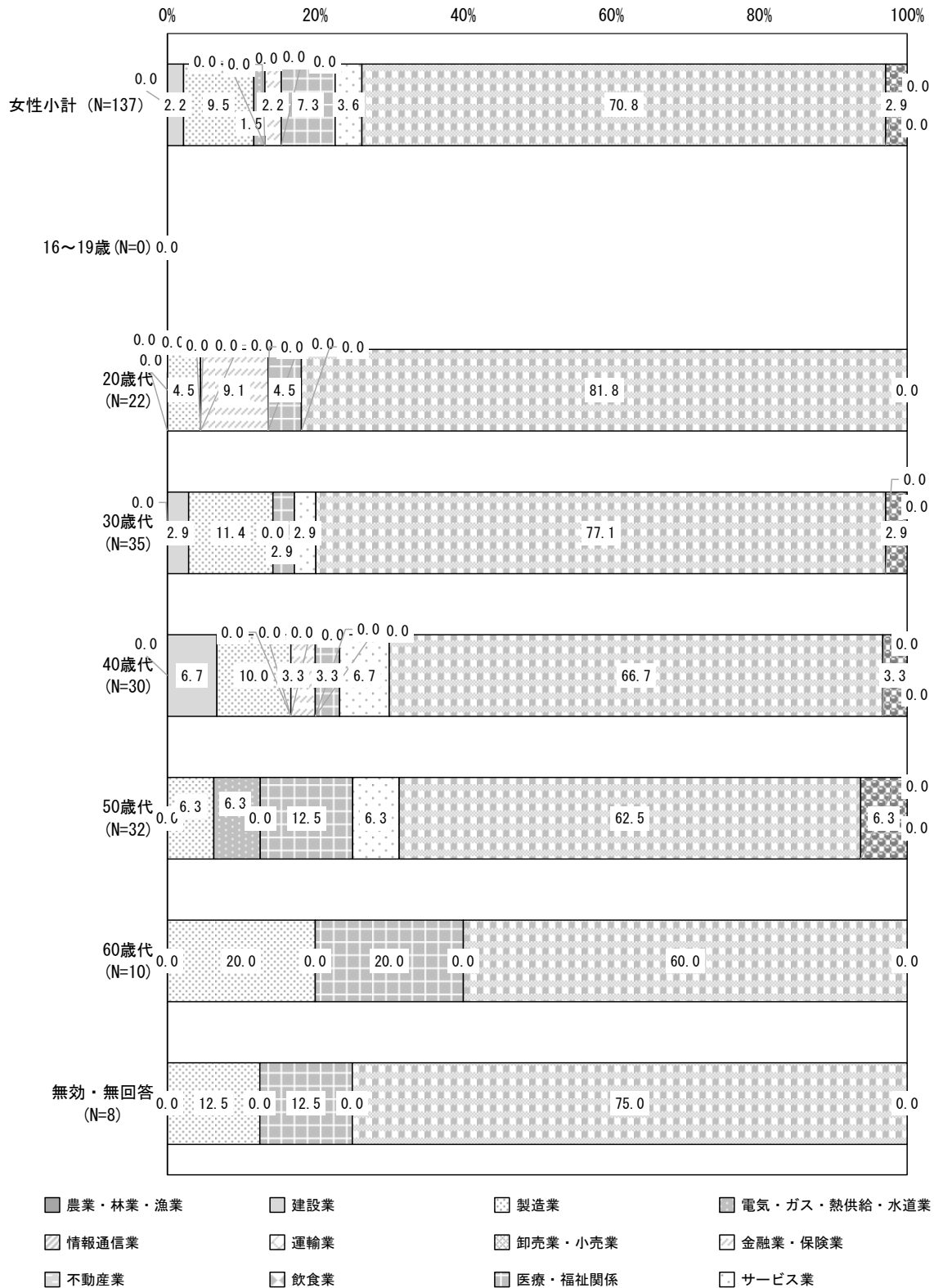
問1 業種を教えてください。

「公務」の割合が67.1%と最も高く、次いで「製造業」の割合が18.2%、「建設業」の割合が3.1%となっている。その他の業種として「販売業」「清掃業」などの意見が挙げられている。

<業種（全体、男性・年齢別）>



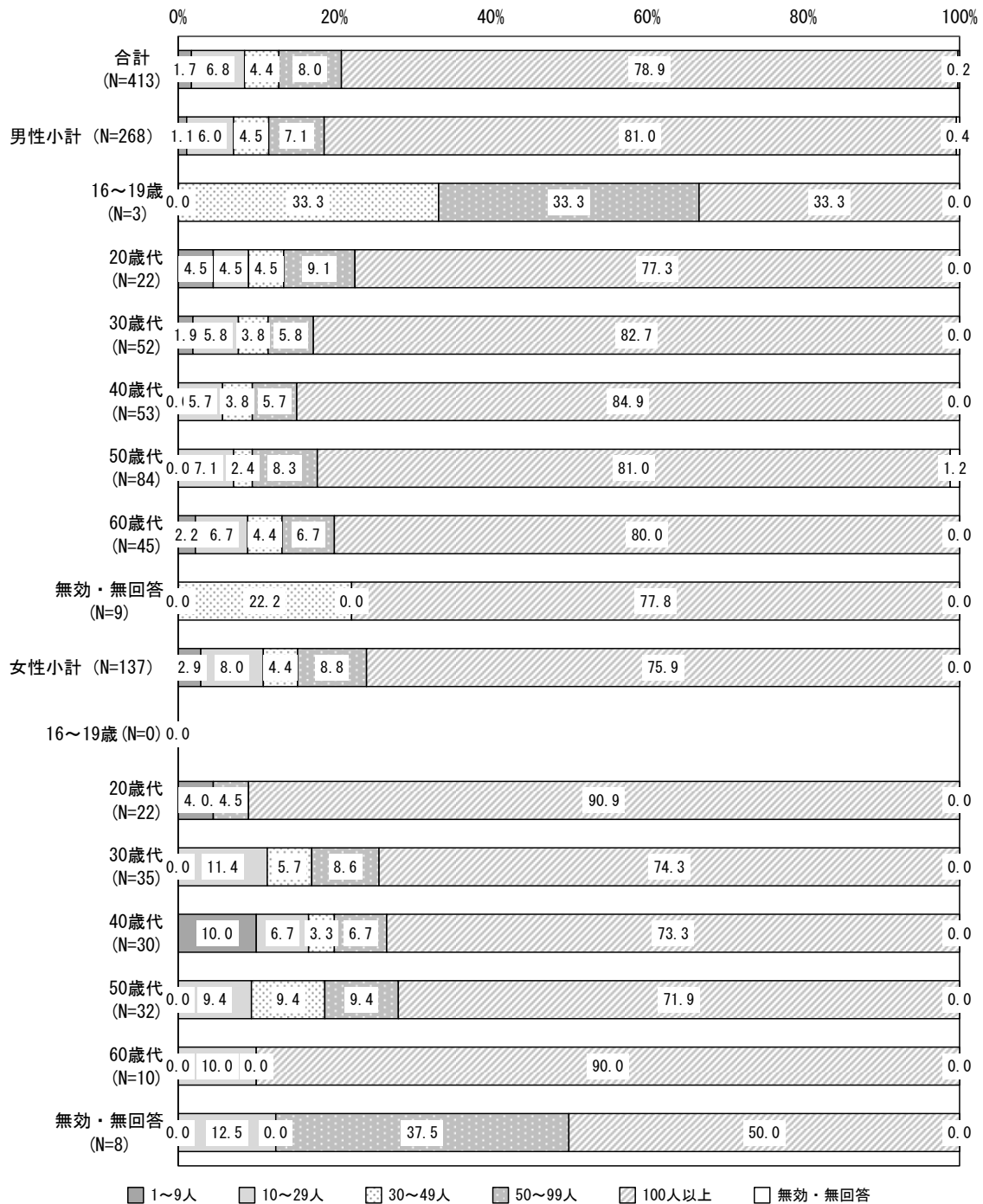
<業種（女性・年齢別）>



問2 事業所全体の人数を教えてください（別部署の人数を含む）

「100人以上」の割合が78.9%と最も高く、次いで「50～99人」の割合が8.0%、「10～29人」の割合が6.8%となっている。

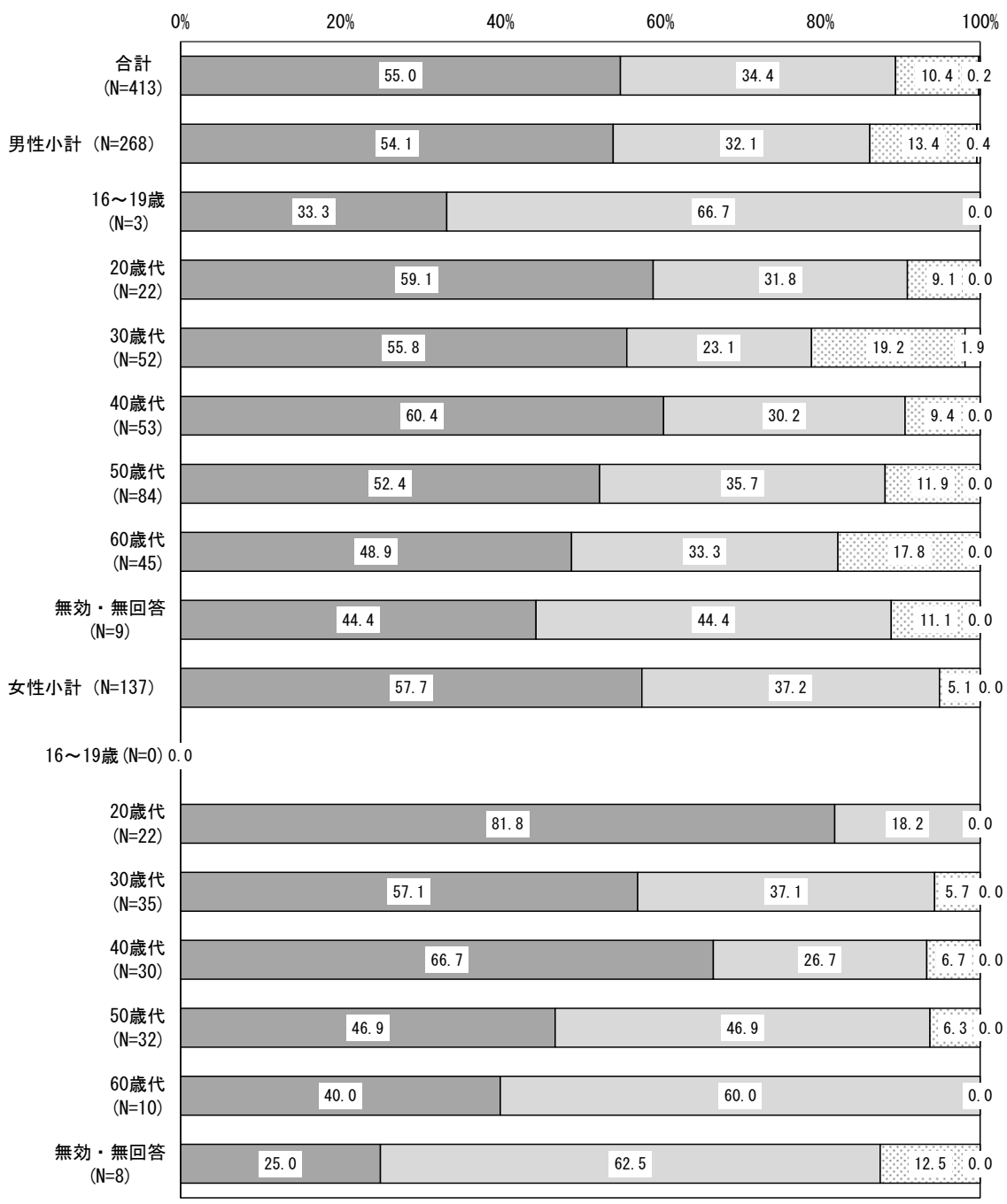
<業種（全体、性・年齢別）>



問3 主に働いている職場について、あてはまるものを選択ください

「本社」の割合が55.0%と最も高く、次いで「本社は枚方市内に所在するが、本社とは別の建物（事業場）」の割合が34.4%、「本社が枚方市内に所在しない」の割合が10.4%となっている。

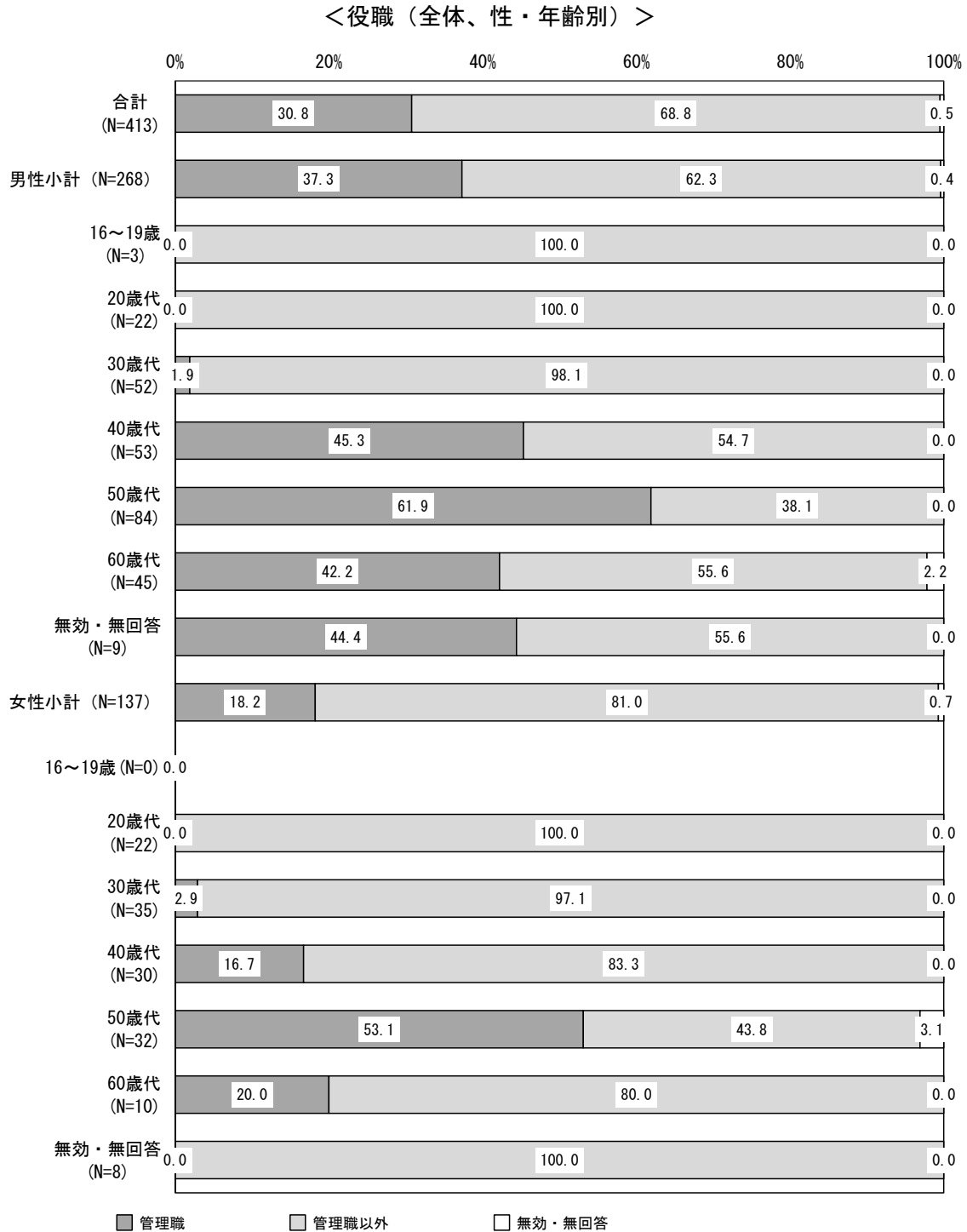
＜働いている職場（全体、性・年齢別）＞



■ 本社 □ 本社は枚方市内に所在するが、本社とは別の建物（事業場） ▨ 本社が枚方市内に所在しない □ 無効・無回答

問4 役職を教えてください。

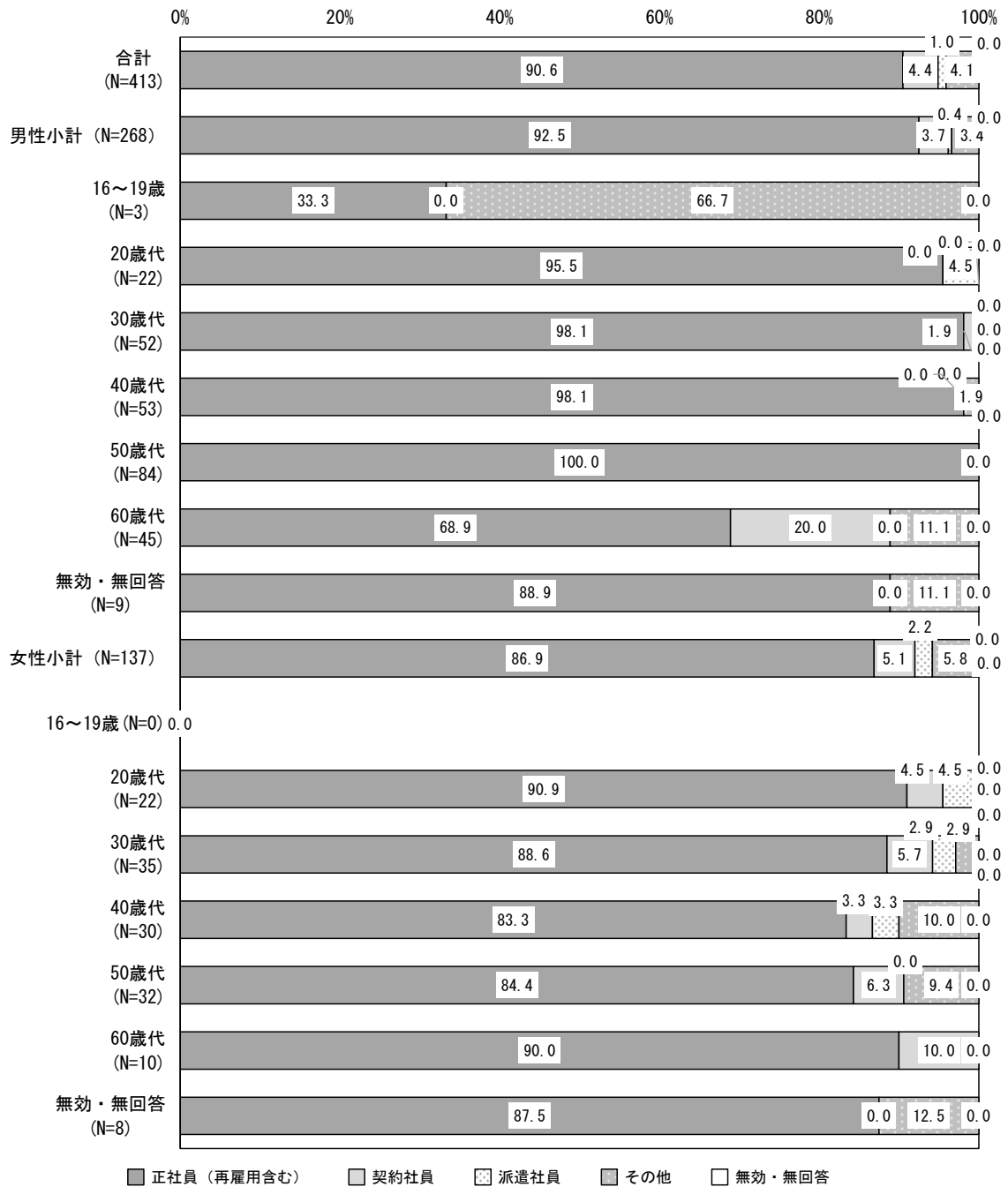
「管理職以外」の割合が68.8%となっている。



問5 雇用形態を教えてください

「正社員」の割合が90.6%と最も高く、次いで「契約社員」の割合が4.4%、「その他」の割合が4.1%となっている。その他の雇用形態として「会計年度任用職員」「パート」などの意見が挙げられている。

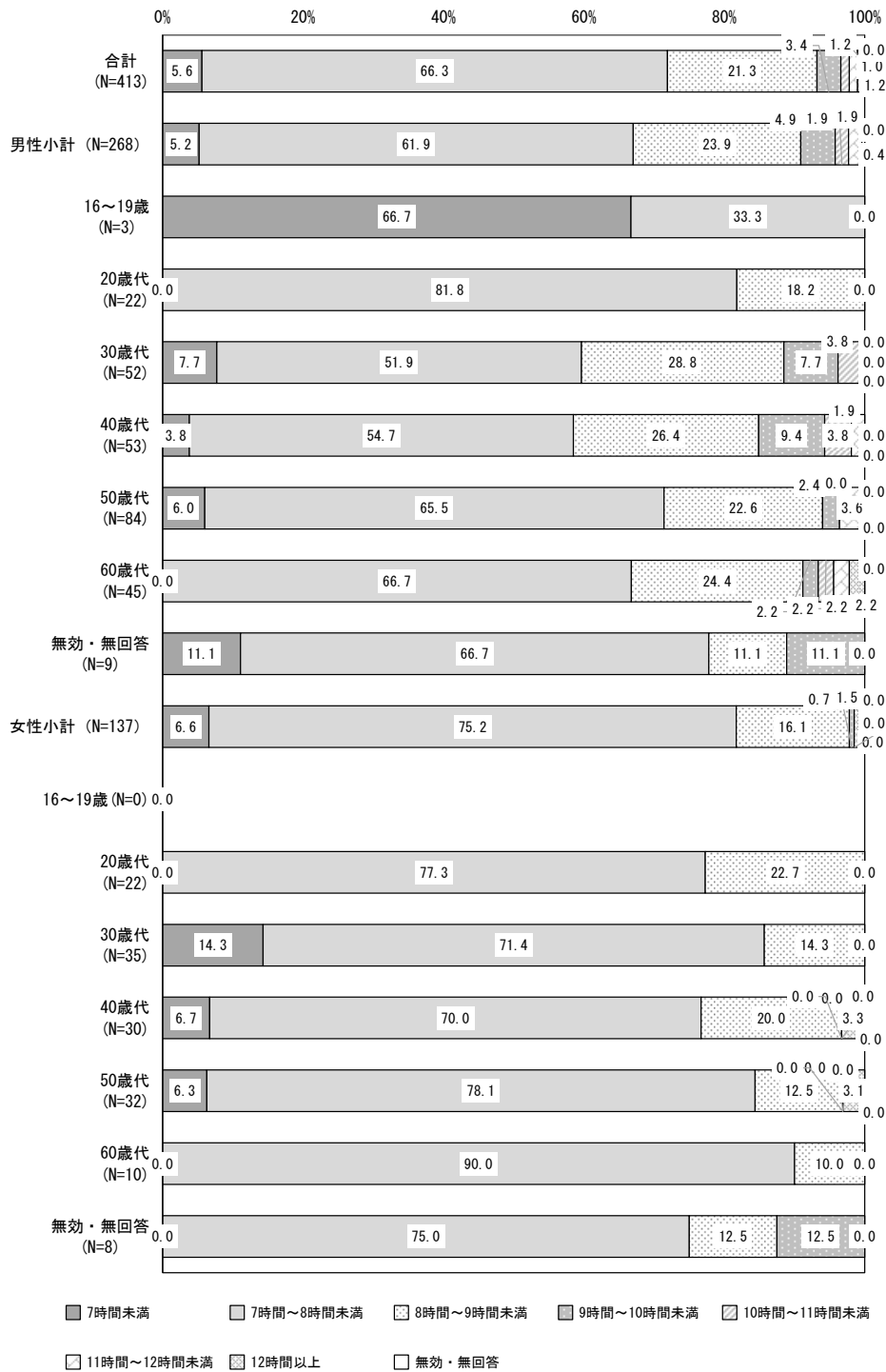
<雇用形態（全体、性・年齢別）>



問6 あなた自身の労働時間（残業を除く）を教えてください。

「7時間～8時間未満」の割合が66.3%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が21.3%、「7時間未満」の割合が5.6%となっている。

<労働時間（全体、性・年齢別）>



3. 健康状態について伺います

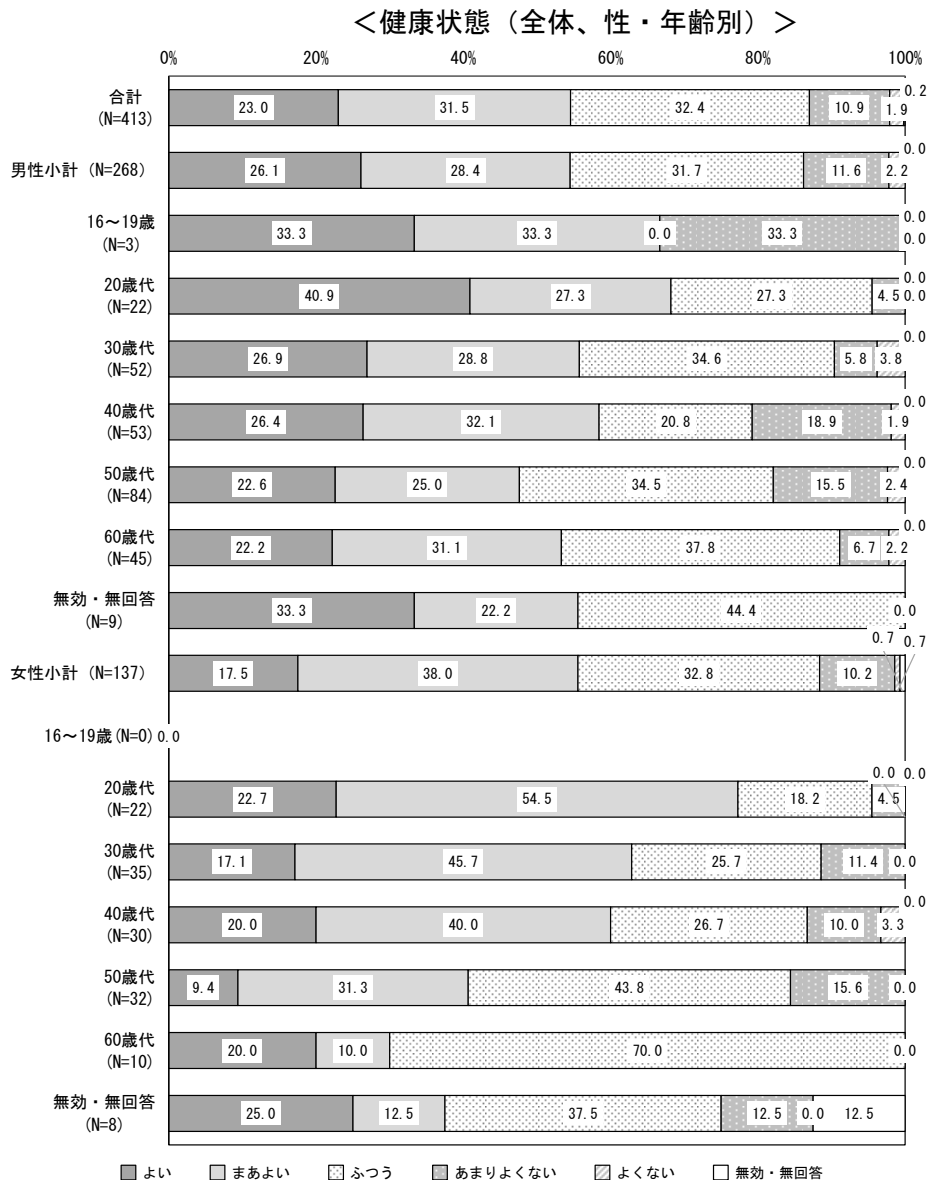
問7 現在の健康状態はいかがですか

【全体】

「ふつう」の割合が32.4%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が31.5%、「よい」の割合が23.0%となっている。

【性・年齢別】

「よくない」「あまりよくない」の割合が高いのは、男性が40歳代、女性が50歳代となっている。男女とも20歳代は「よくない」「あまりよくない」の割合は低く1割を下回っている。



問8 仕事中に感じる身体的な不調について、当てはまるものを選択ください（複数回答可）。

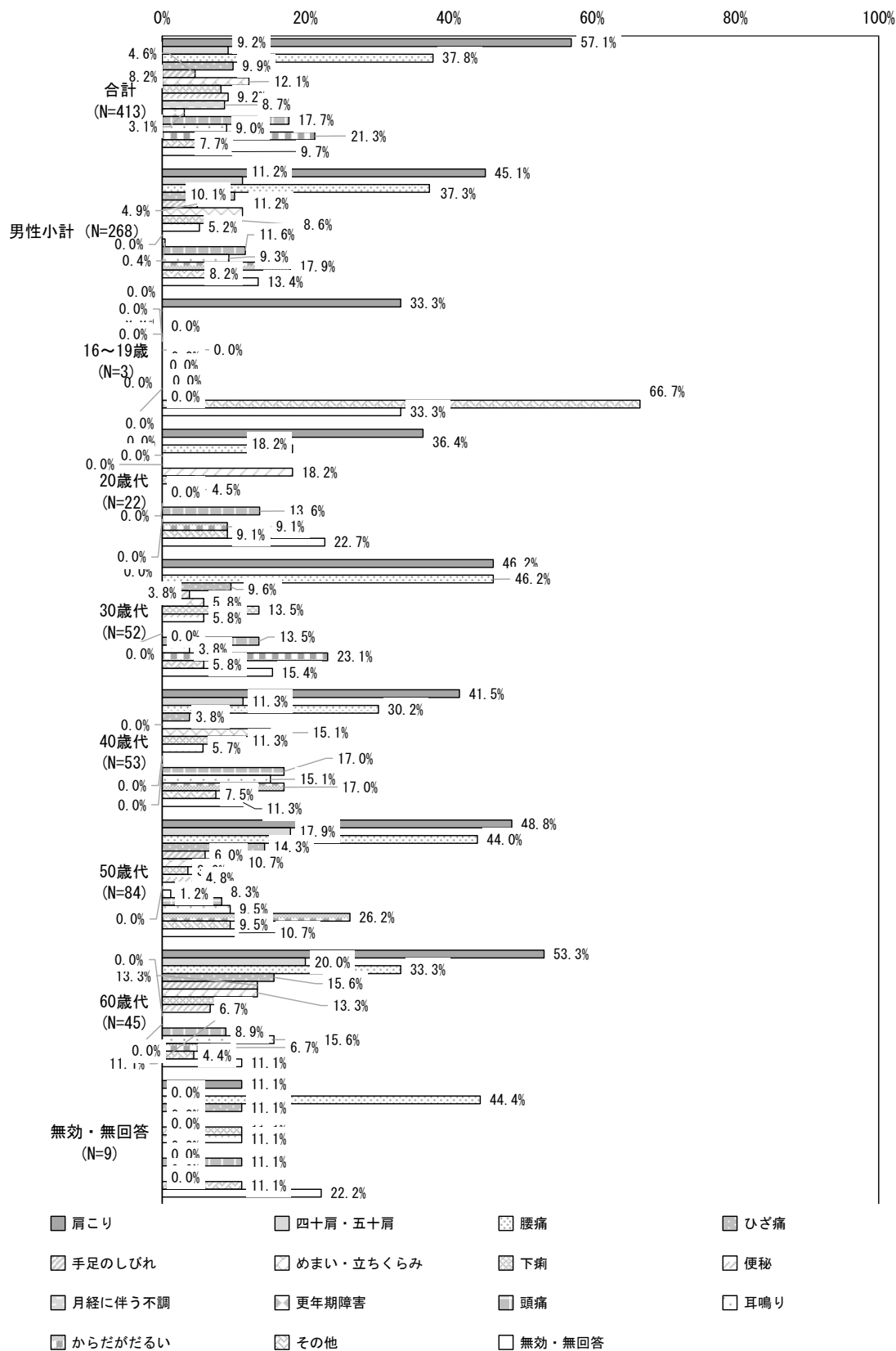
【全体】

「肩こり」の割合が57.1%と最も高く、次いで「腰痛」の割合が37.8%、「からだがだるい」の割合が21.3%となっている。その他の意見では「精神的なストレス」「眼精疲労」「首の疲れ」などの意見が挙げられている。

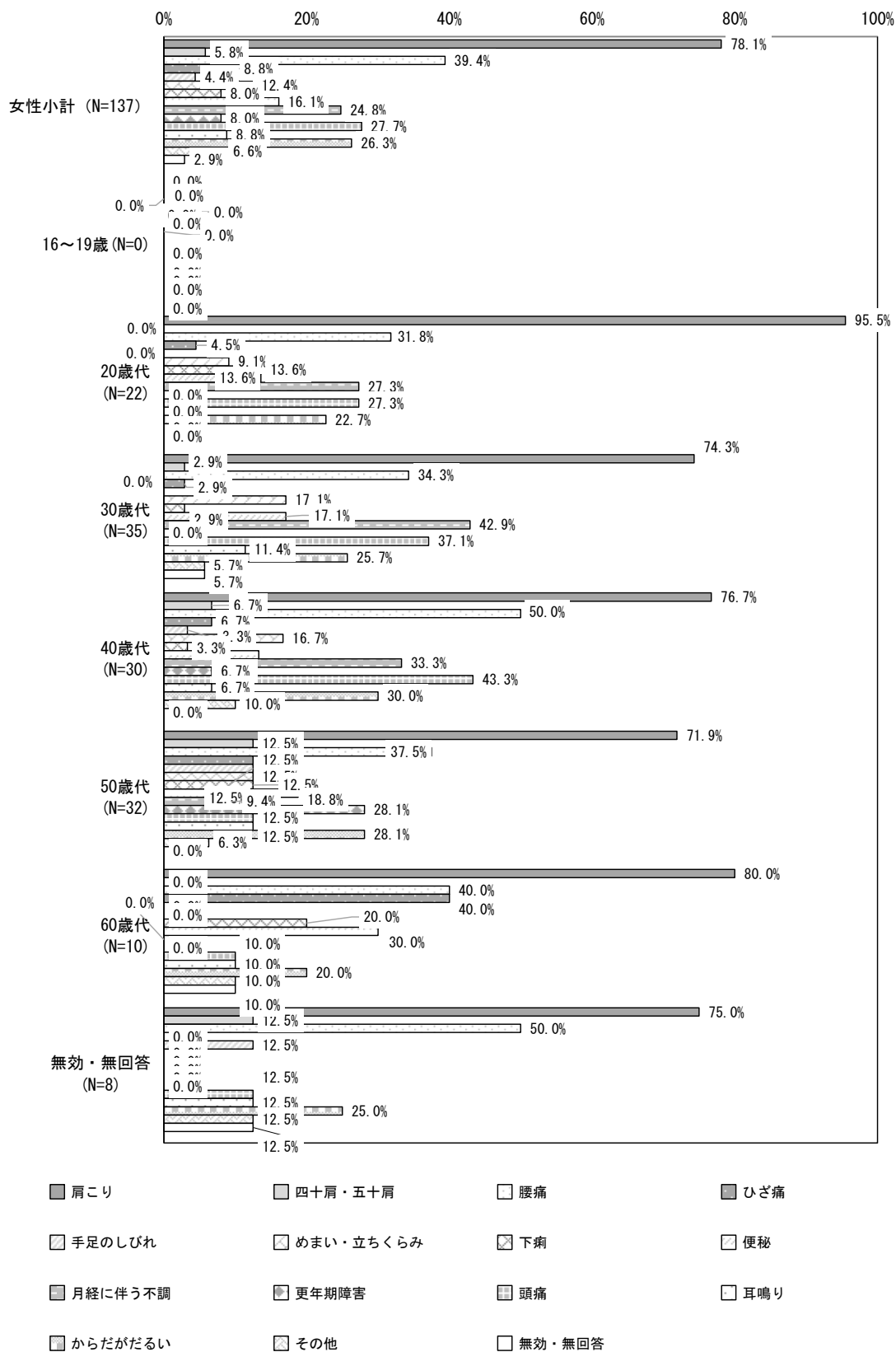
【性・年齢別】

「肩こり」の割合が高いのは、特に女性であり、どの年代でも7割を上回っている。

<身体的な不調（全体、男性・年齢別）>



<身体的な不調（女性・年齢別）>



問9 スポーツ中や飲酒による転倒を除いて、過去1年間に転倒したことがありますか。

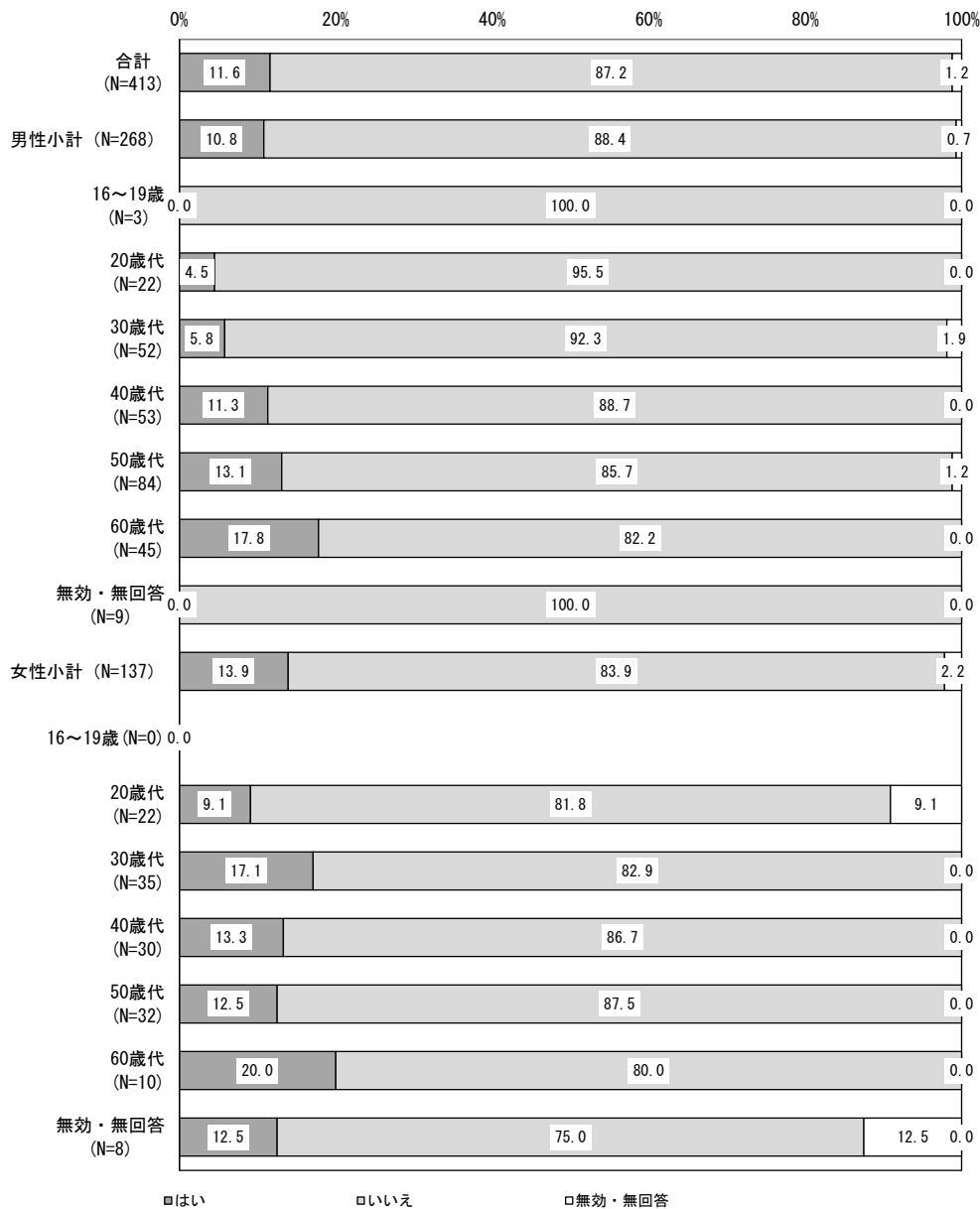
【全体】

「いいえ」の割合が87.2%となっている。

【性・年齢別】

「はい」の割合が高いのは男性の60歳代、女性の30歳代、60歳代でどの年代も15%を上回っている。また、50歳代を除きどの年代でも男性よりも女性の方が「はい」の割合が高くなっている。

<過去1年間の転倒の有無（全体、性・年齢別）>



問10 病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として、過去4週間の自身の仕事を1～100%で評価してください。

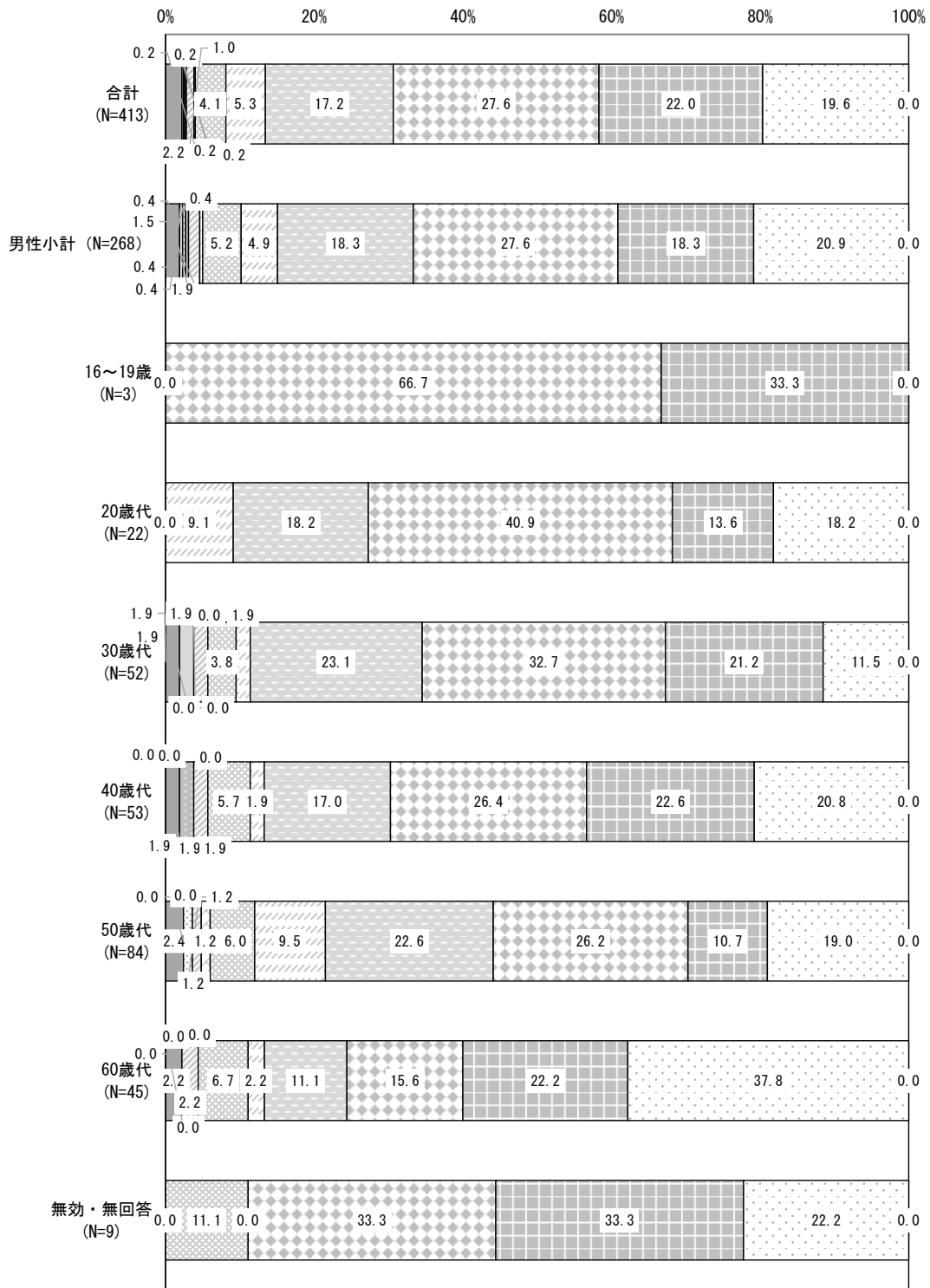
【全体】

「80～90%未満」の割合が27.6%と最も高く、次いで「90～100%未満」の割合が22.0%、「100%」の割合が19.6%となっている。

【性・年齢別】

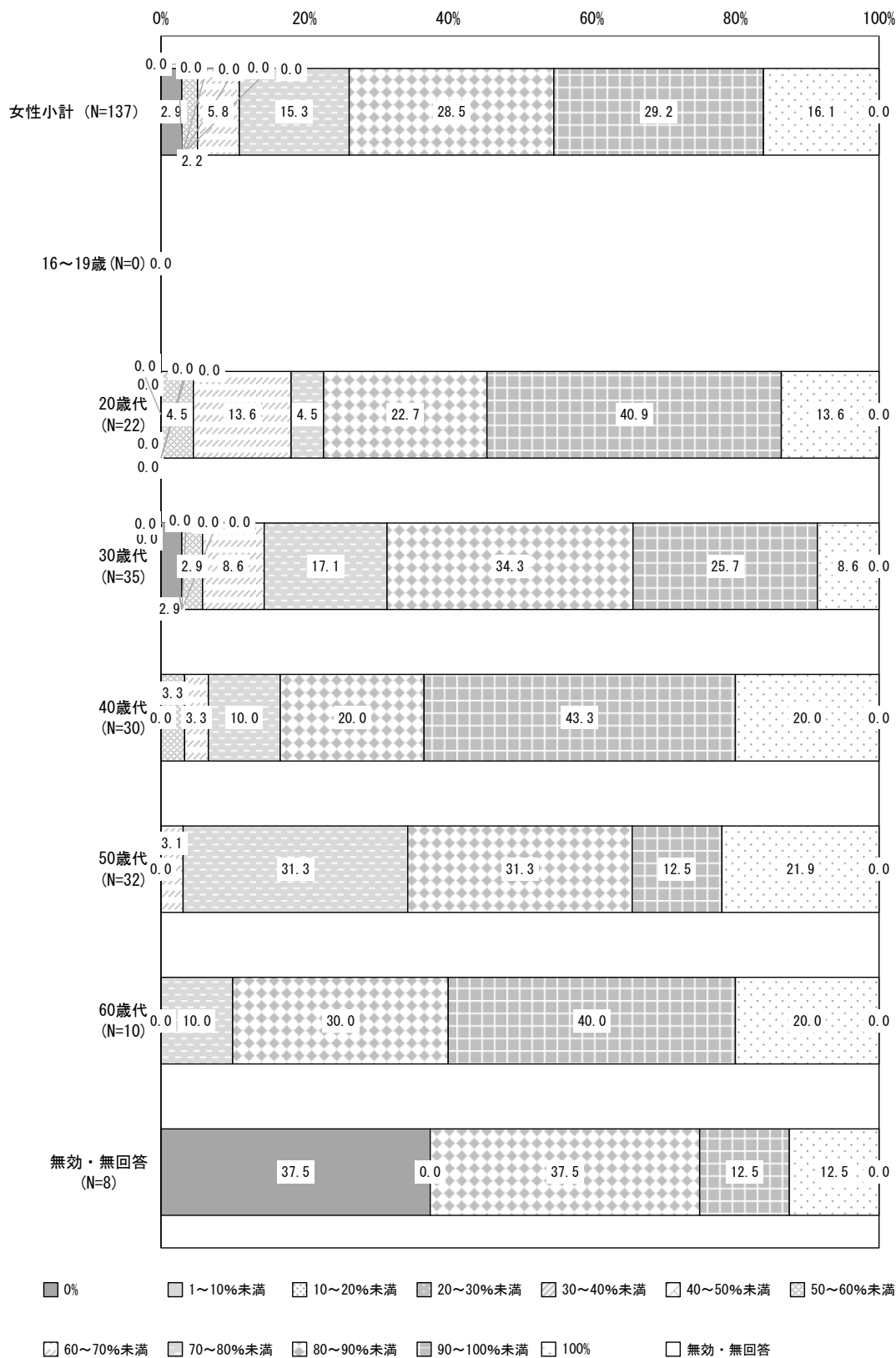
男性の50歳代を除き、男女のどの年代も80%以上の割合が6割以上となっている。

<過去4週間の仕事の出来（全体、男性・年齢別）>



0%
 1~10%未満
 10~20%未満
 20~30%未満
 30~40%未満
 40~50%未満
 50~60%未満
 60~70%未満
 70~80%未満
 80~90%未満
 90~100%未満
 100%
 無効・無回答

＜過去4週間の仕事の出来（女性・年齢別）＞



4. 身体活動について

問 1 1 現在、ウォーキングやテニス、水泳などのスポーツ・運動を定期的に行っていますか。（通勤、通学、工作中、買い物等は運動に含めません。）

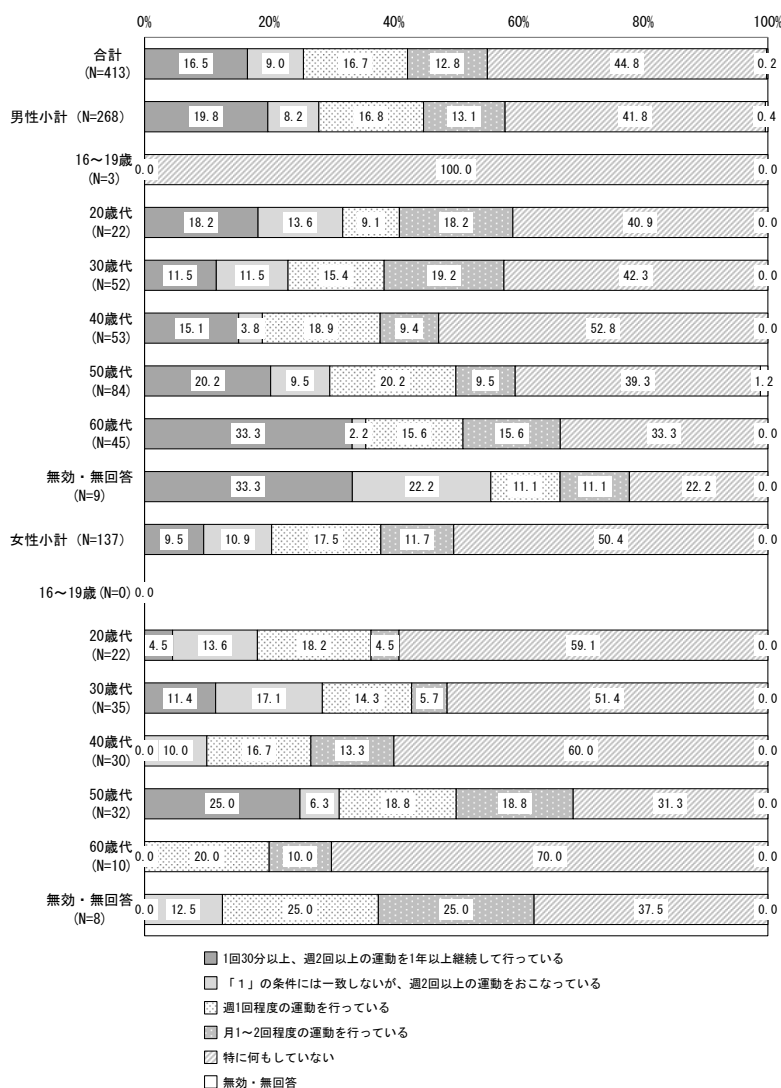
【全体】

「特に何もしていない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「週 1 回程度の運動を行っている」の割合が 16.7%、「1 回 30 分以上、週 2 回以上の運動を 1 年以上継続して行っている」の割合が 16.5%となっている。

【性・年齢別】

「1 回 30 分以上、週 2 回以上の運動を 1 年以上継続して行っている」の割合が高いのは、男性では 50～60 歳代、女性では 50 歳代となっており、2 割を上回っている。

<定期的な運動（全体、性・年齢別）>



問 1 2 日常生活において、意識的に身体を動かすように心がけていますか。(例：階段を利用する、できるだけ徒歩や自転車を利用するなど)

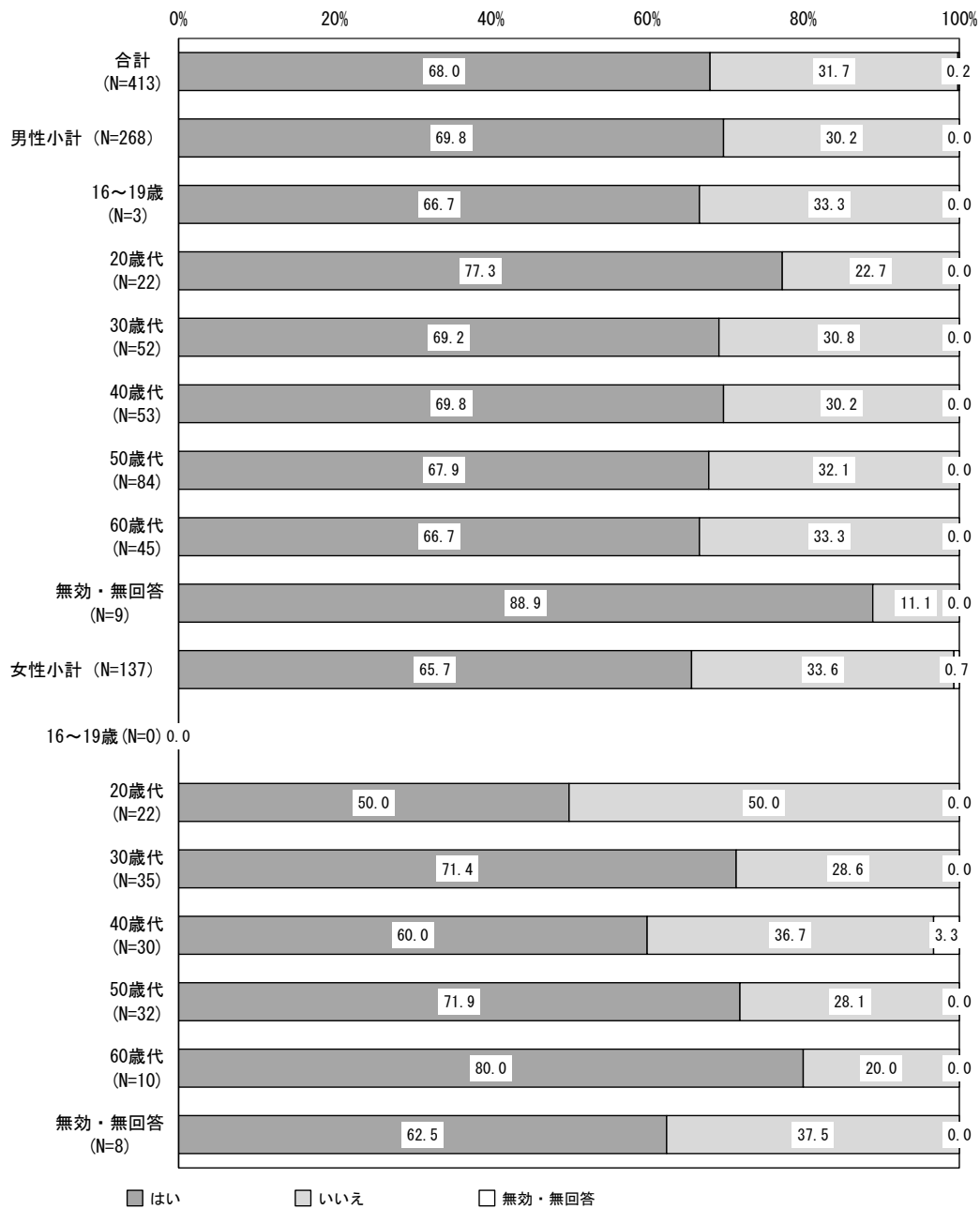
【全体】

「はい」の割合が 68.0%となっている。

【性・年齢別】

女性の 20 歳代を除き、男女のどの年代も「はい」の割合が 6 割以上となっている。

<身体を動かす意識（全体、性・年齢別）>



問 1 3 1日の平均歩数を教えてください。

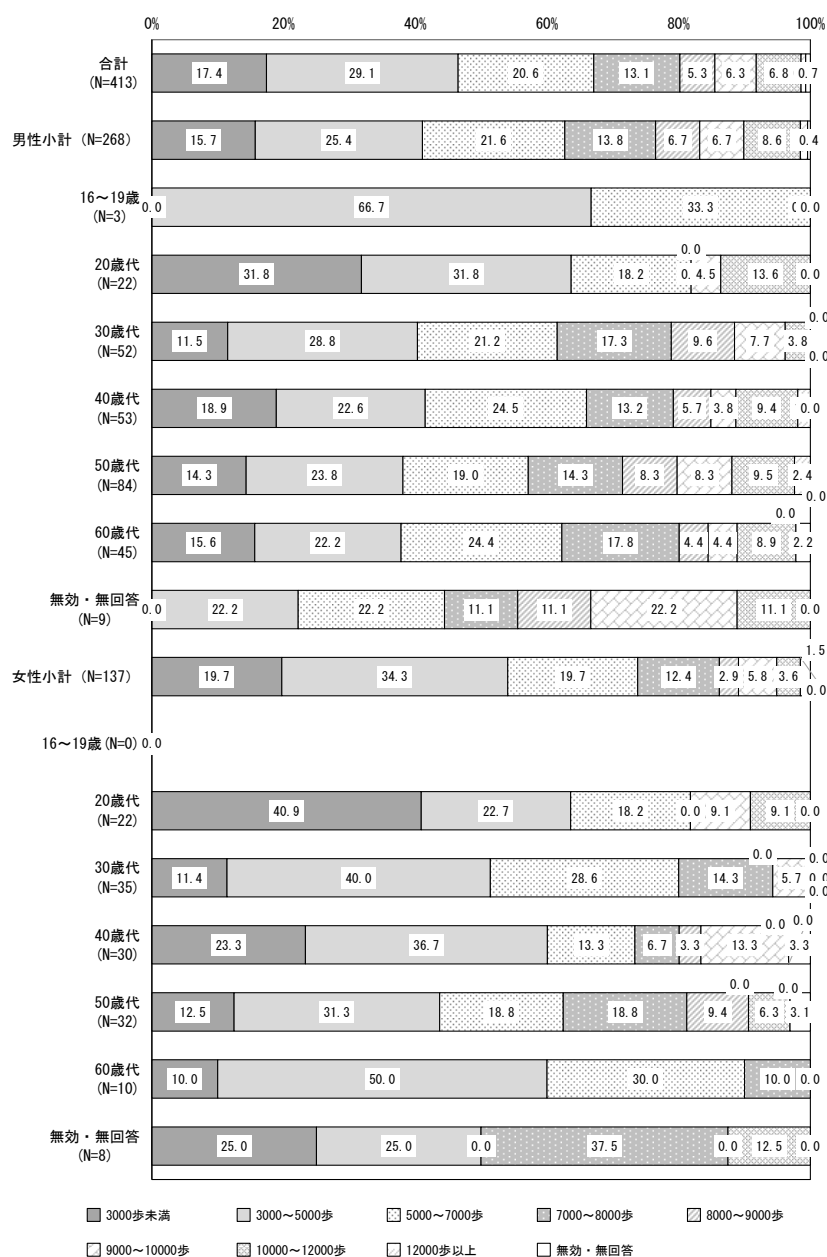
【全体】

「3000～5000歩」の割合が29.1%と最も高く、次いで「5000～7000歩」の割合が20.6%、「3000歩未満」の割合が17.4%となっている。

【性・年齢別】

歩数が少ないのは、男性では20歳代、女性では20歳代、40歳代、60歳代であり、6割以上が5000歩以下となっている。

<平均歩数（全体、性・年齢別）>



問14 平均的な1日の勤務時間中（通勤時間は除く）、座っている時間と立ったり歩いたりしている時間の割合はどの程度だと思いますか。全勤務時間を100%とし、2つの合計が100%になるように入力ください。

【全体】

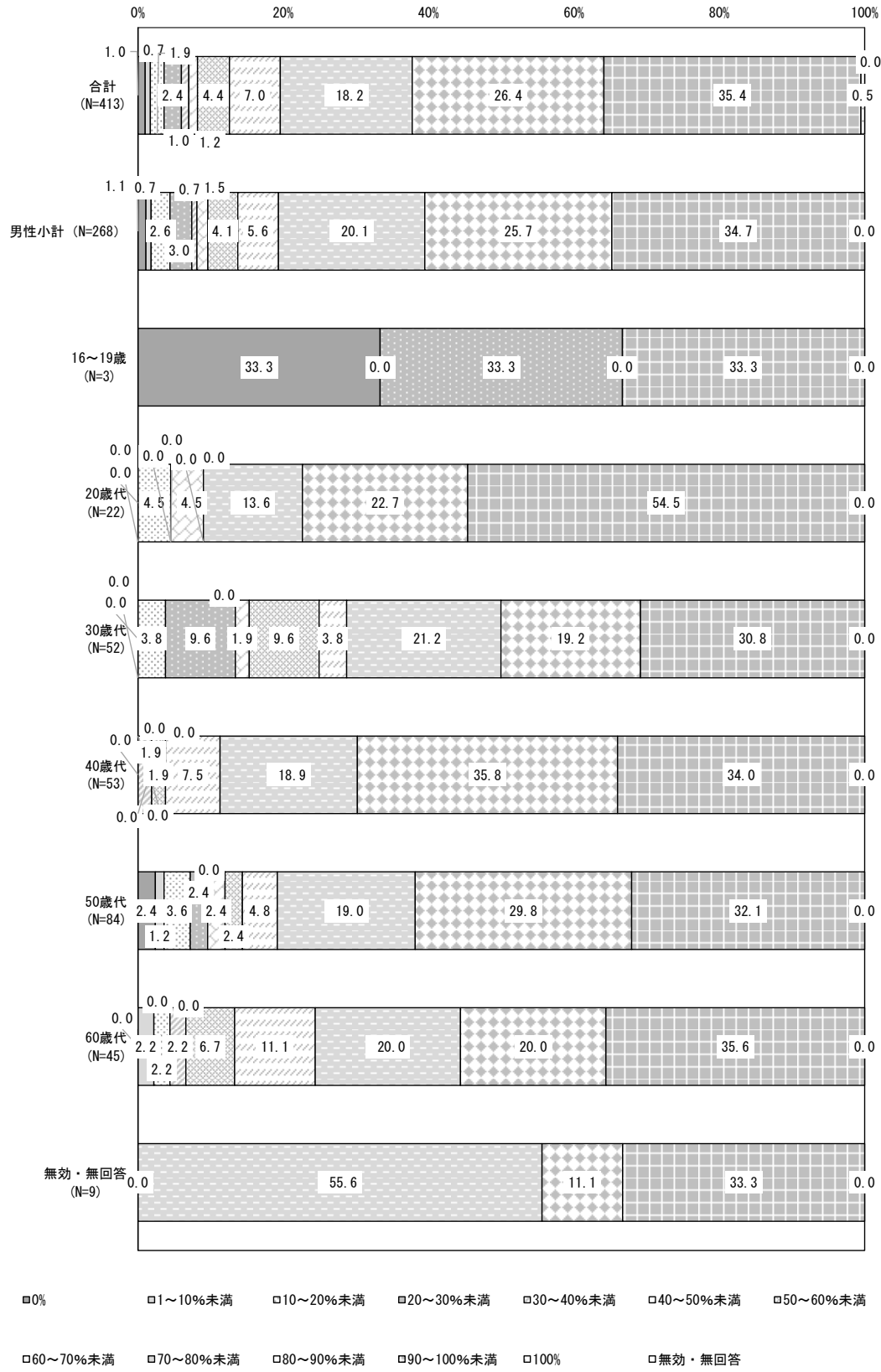
座っている時間は、「90～100%未満」の割合が35.4%と最も高く、次いで「80～90%未満」の割合が26.4%、「70～80%未満」の割合が18.2%となっている。

立ったり歩いたりしている時間は、「10～20%未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで「20～30%未満」の割合が26.9%、「30～40%未満」の割合が15.0%となっている。

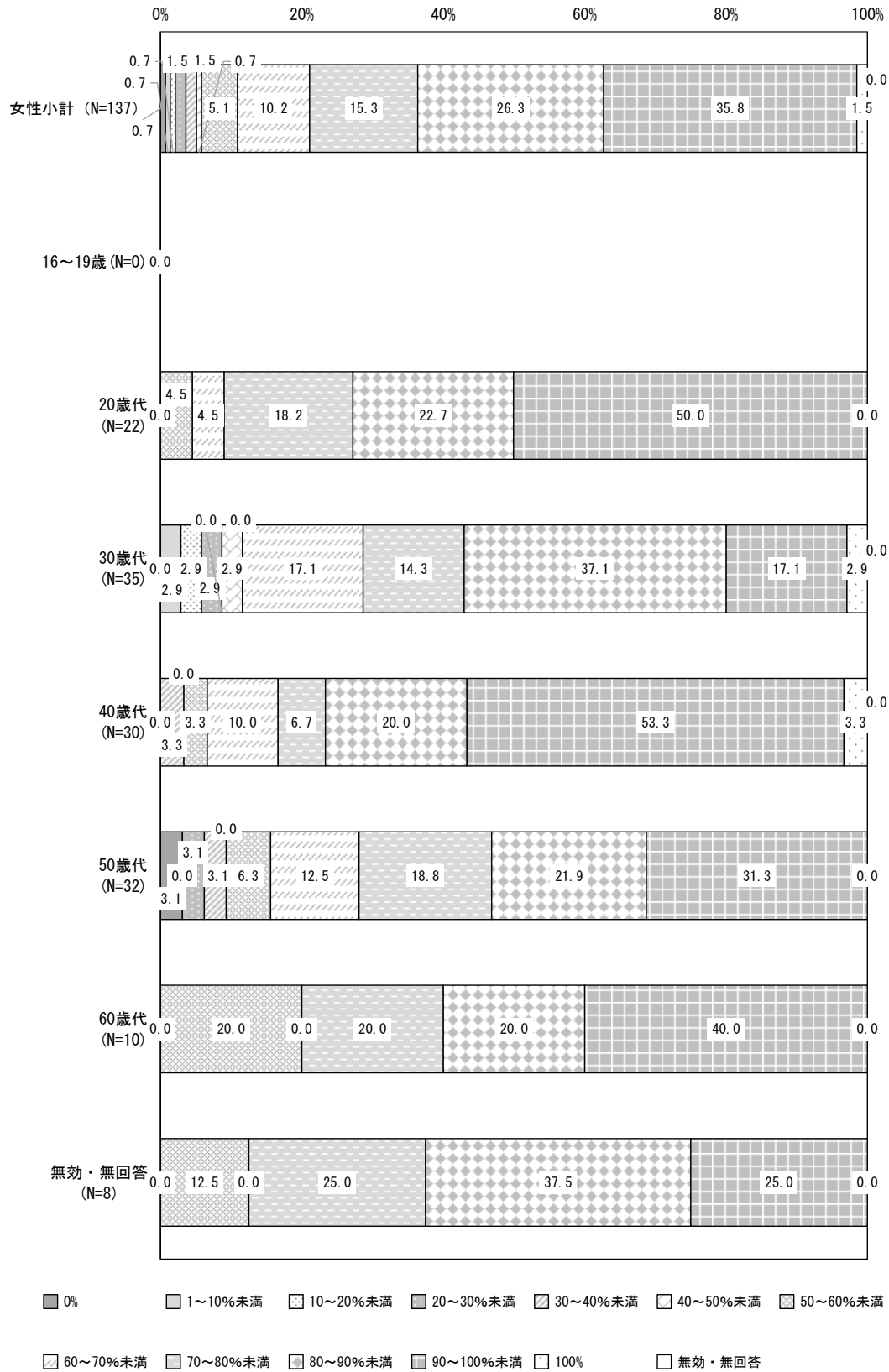
【性・年齢別】

座っている時間が長いのは、男性では20歳代、女性では20歳代、40歳代であり、7割以上が80%以上となっている。

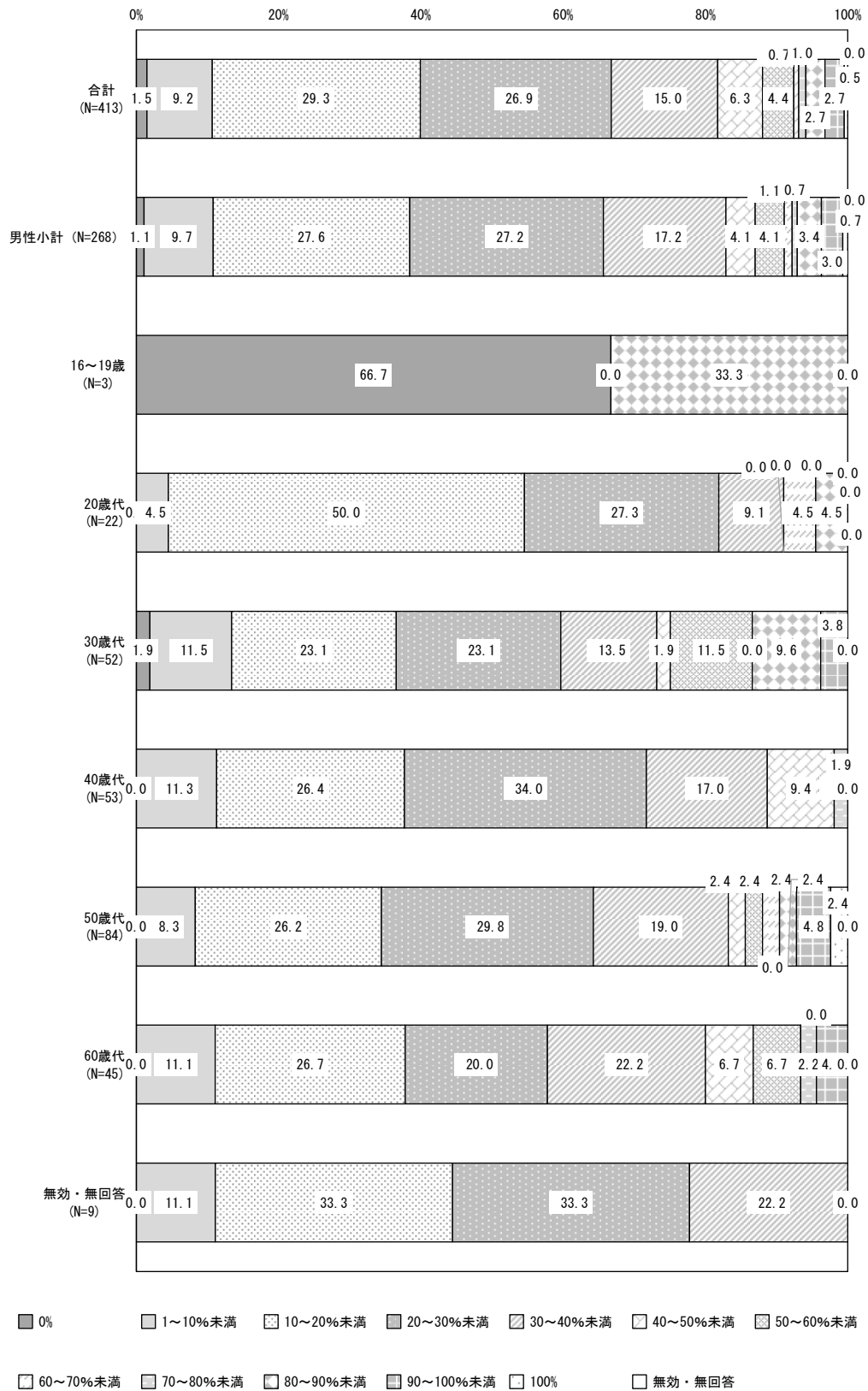
<座っている時間（全体、男性・年齢別）>



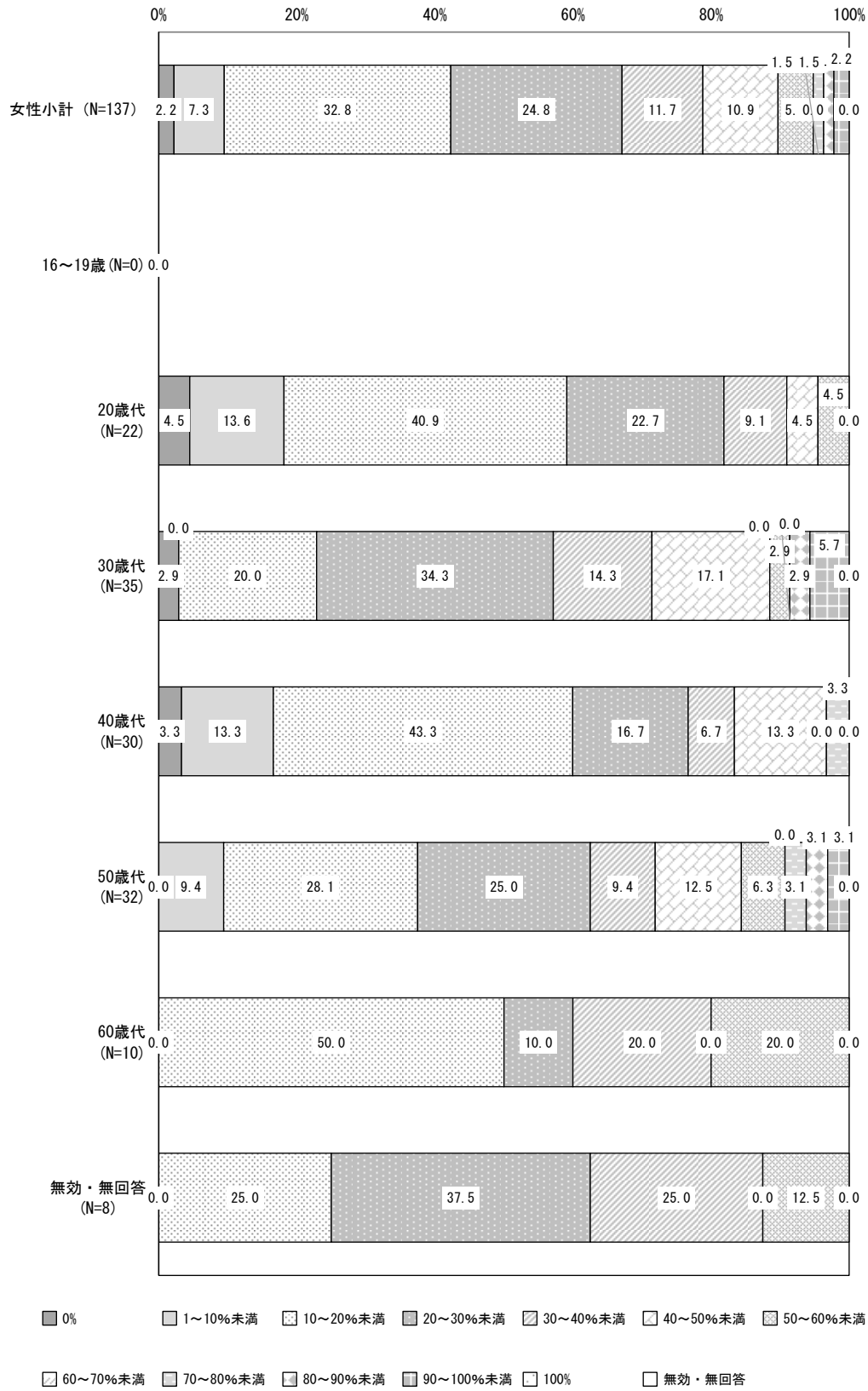
<座っている時間（女性・年齢別）>



<立っている時間（全体、男性・年齢別）>



＜立っている時間（女性・年齢別）＞



5. 栄養・食事について

問15 日ごろ、健康のために次のような実践をしていますか。(複数回答可)

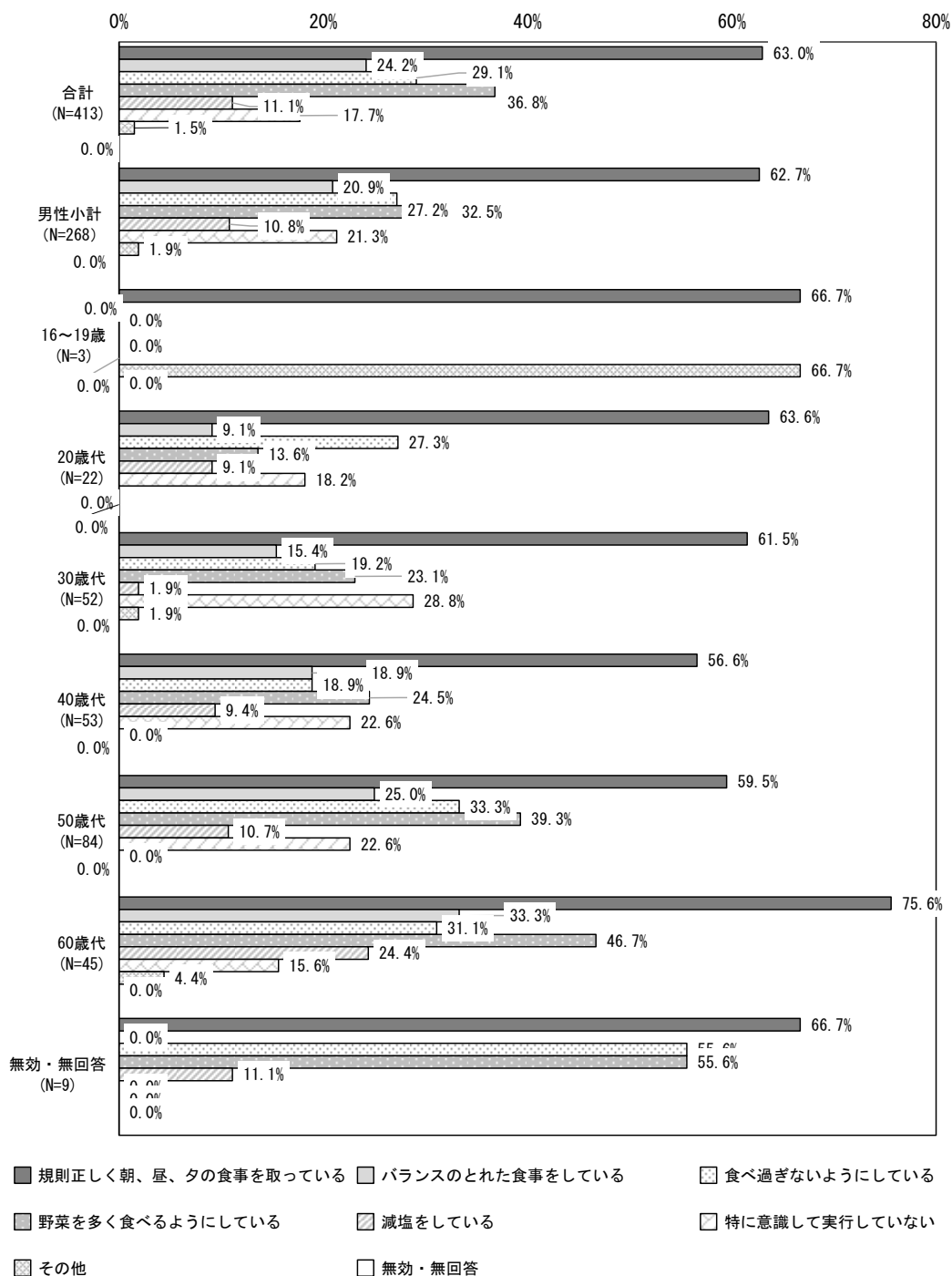
【全体】

「規則正しく朝、昼、夕の食事を取っている」の割合が63.0%と最も高く、次いで「野菜を多く食べるようにしている」の割合が36.8%、「食べ過ぎないようにしている」の割合が29.1%となっている。その他の意見では「タンパク質を意識して摂取し、糖質を少なくしている」「オートファジーを取り入れている」などの意見が挙げられている。

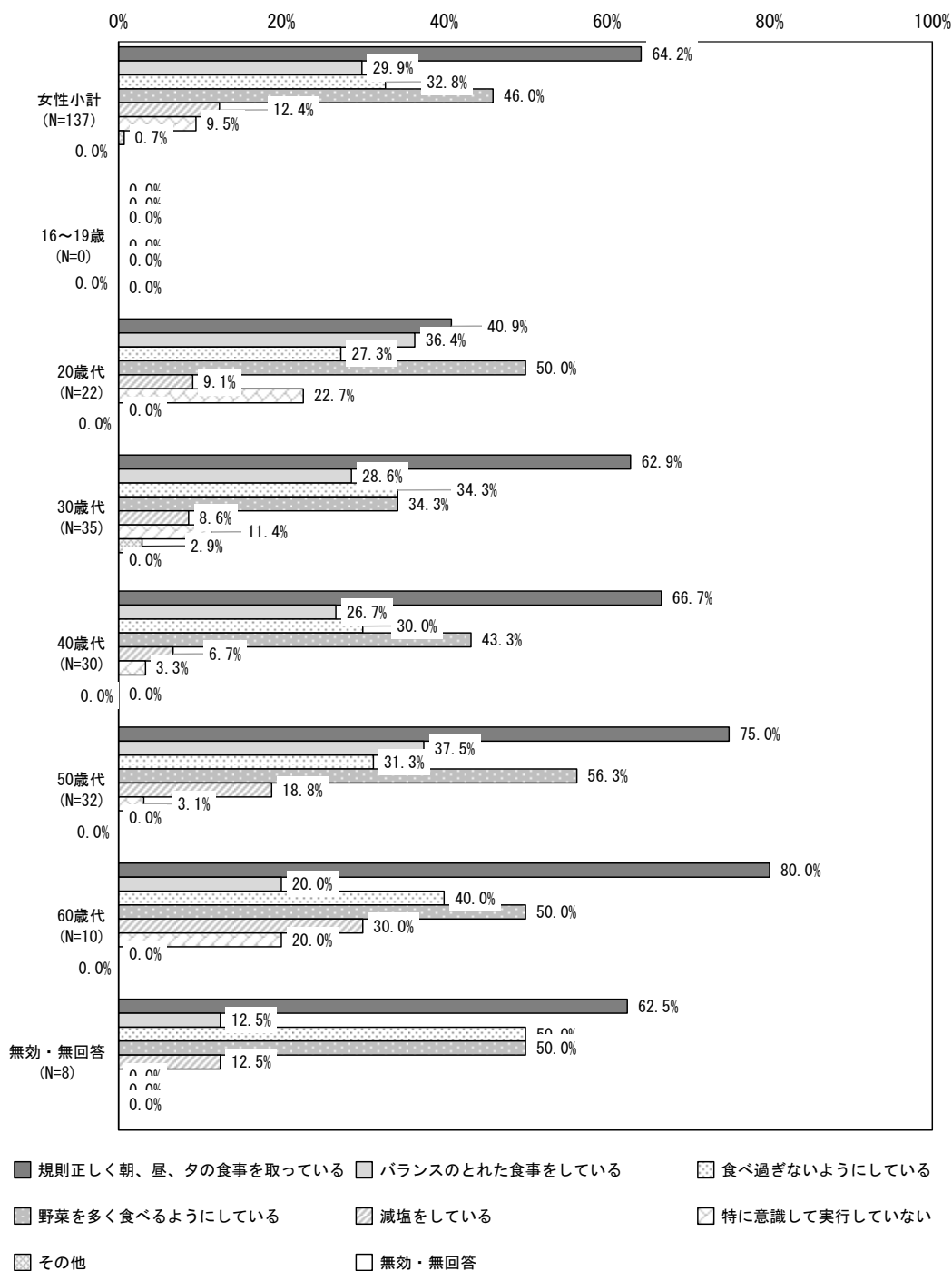
【性・年齢別】

男性の40～50歳代、女性の20歳代を除き、男女のどの年代も「規則正しく朝、昼、夕の食事を取っている」の割合が6割以上となっている。

＜健康のための実践（全体、男性・年齢別）＞



＜健康のための実践（女性・年齢別）＞



問16 日ごろの食生活で課題に感じているものを選択してください。(複数回答可)

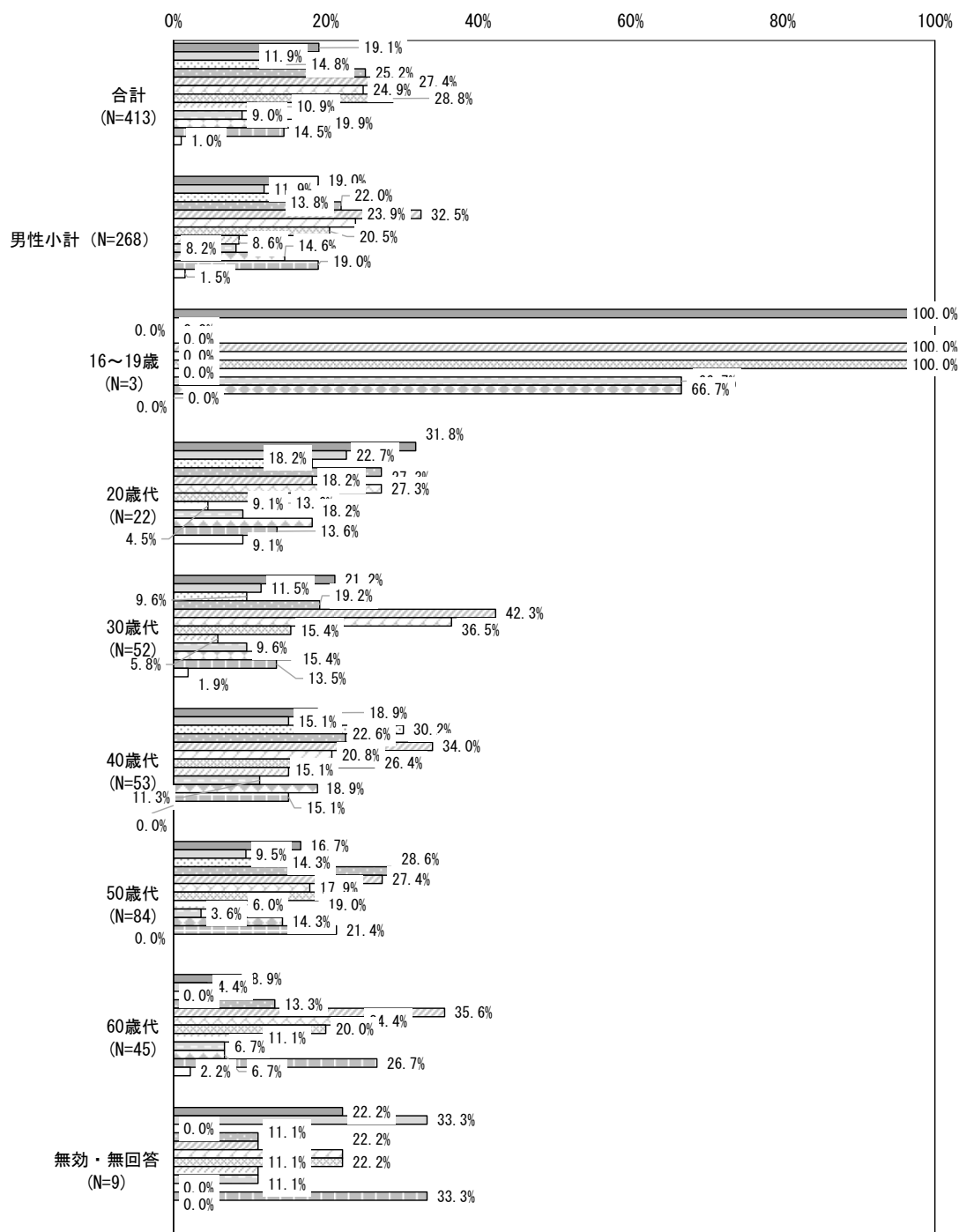
【全体】

「間食が多い」の割合が28.8%と最も高く、次いで「揚げ物など脂っこいものをよく食べる」の割合が27.4%、「夕食の時間が遅い」の割合が25.2%となっている。

【性・年齢別】

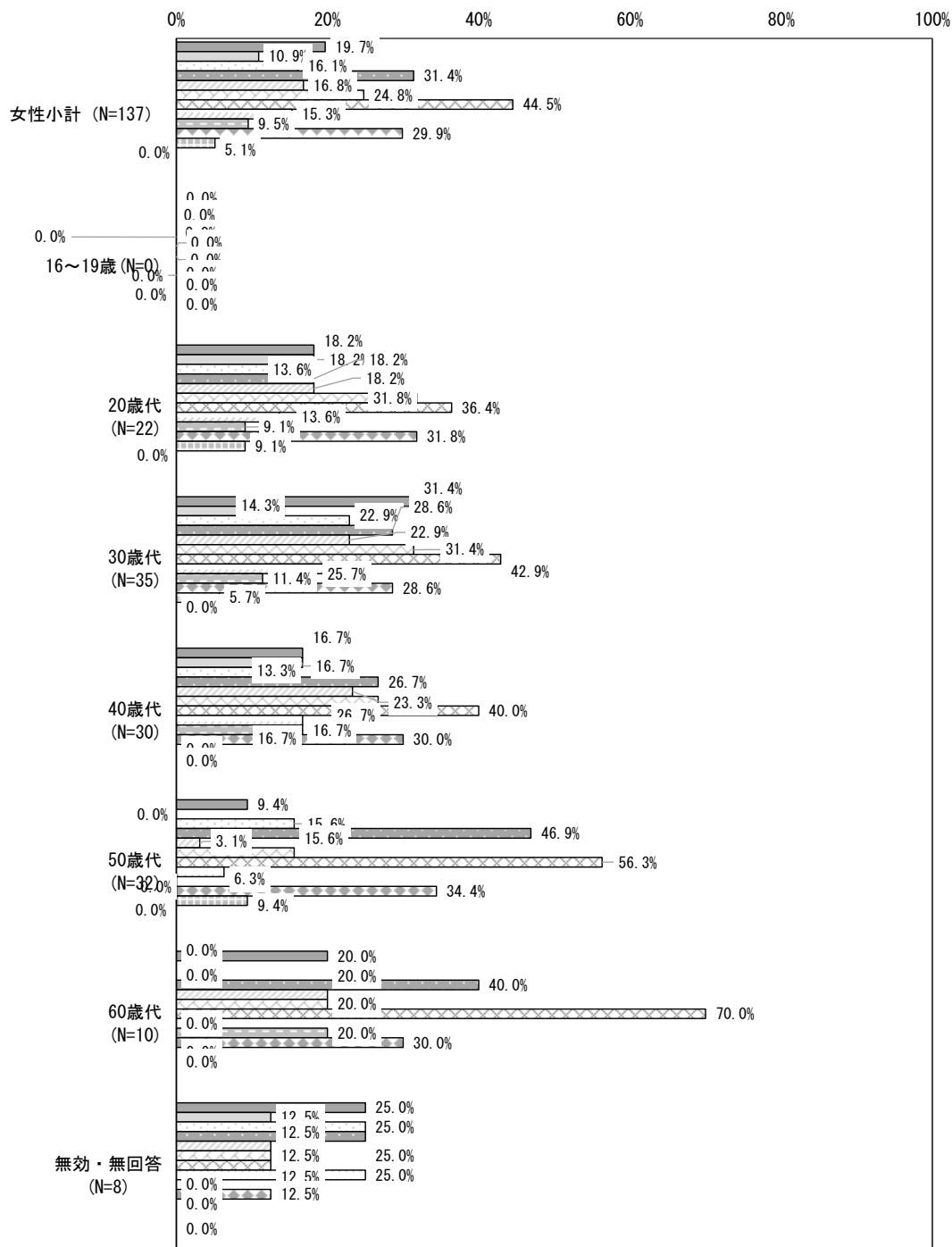
男性は「揚げ物など脂っこいものをよく食べる」の割合が最も高く32.5%となっており、女性は「間食が多い」の割合が44.5%以上となっている。

＜食生活の課題（全体、男性・年齢別）＞



- 野菜をあまり食べない
- 朝食を食べない
- 食事の時間が不規則
- 夕食の時間が遅い
- 揚げ物など脂っこいものをよく食べる
- 塩分の多いものをよく食べる
- 間食が多い
- 外食・デリバリーが多い
- 甘い飲料をよく飲む
- 魚をあまり食べない
- 特になし
- 無効・無回答

<食生活の課題（女性・年齢別）>



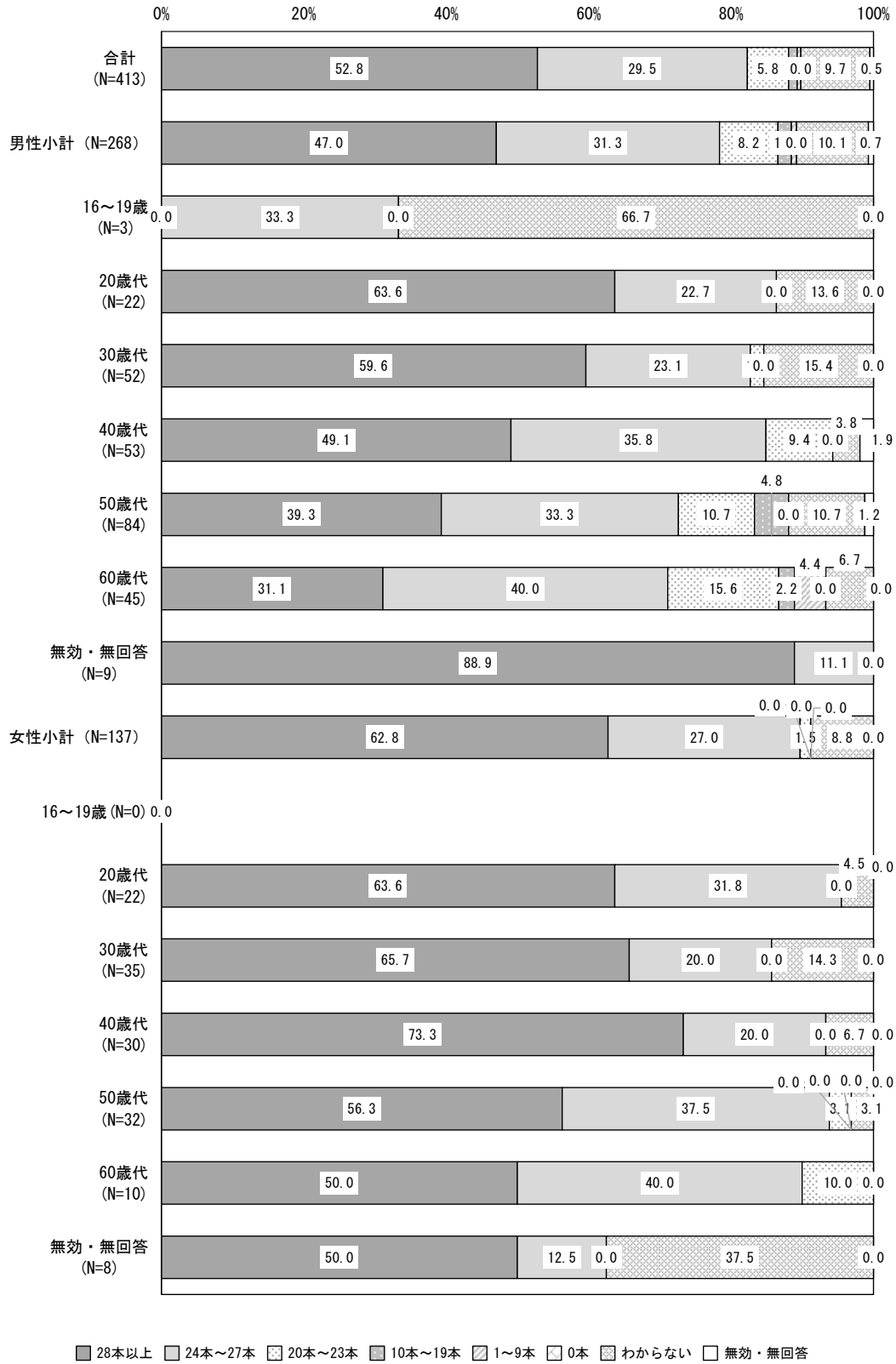
- 野菜をあまり食べない
- 夕食の時間が遅い
- ☒ 間食が多い
- 魚をあまり食べない
- 朝食を食べない
- ☒ 揚げ物など脂っこいものをよく食べる
- ☒ 外食・デリバリーが多い
- 特になし
- ☒ 食事の時間が不規則
- ☒ 塩分の多いものをよく食べる
- 甘い飲料をよく飲む
- ☒ 無効・無回答

6. 歯と口について

問17 現在のご自分の歯の本数について教えてください。(さし歯は本数に含みません。親知らず、入れ歯、インプラントは含みません。歯の総数は、上下14本ずつ合計28本が一般的ですが、28本より多かったり、少なかったりすることもあります。)

「28本以上」の割合が52.8%と最も高く、次いで「24本～27本」の割合が29.5%、「わからない」の割合が9.7%となっている。

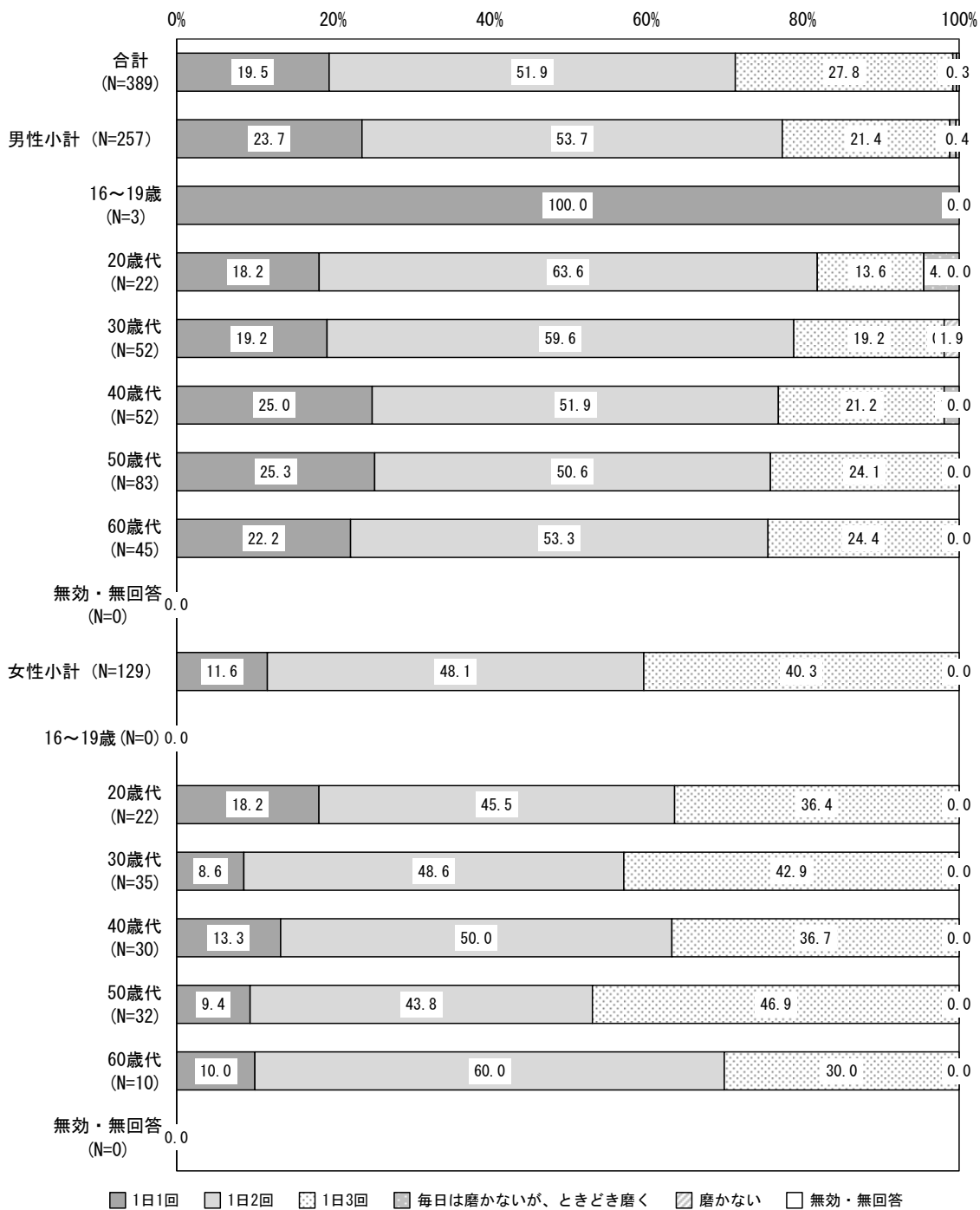
< 歯の本数（全体、性・年齢別） >



問 1 8 歯を磨く頻度はどのくらいですか。(歯が全くない人は回答不要です)

「1日2回」の割合が51.9%と最も高く、次いで「1日3回」の割合が27.8%、「1日1回」の割合が19.5%となっている。

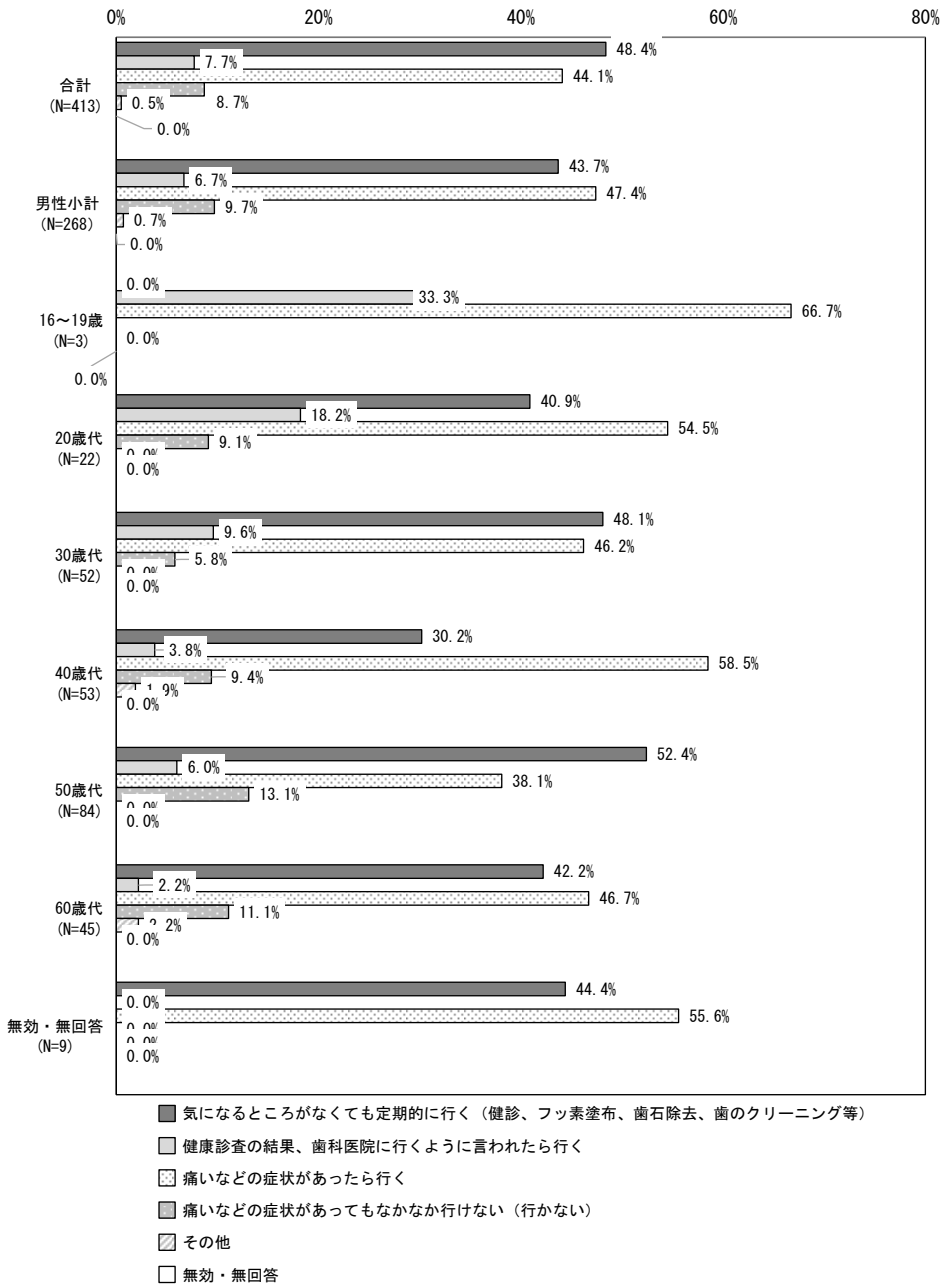
＜歯を磨く頻度（全体、性・年齢別）＞



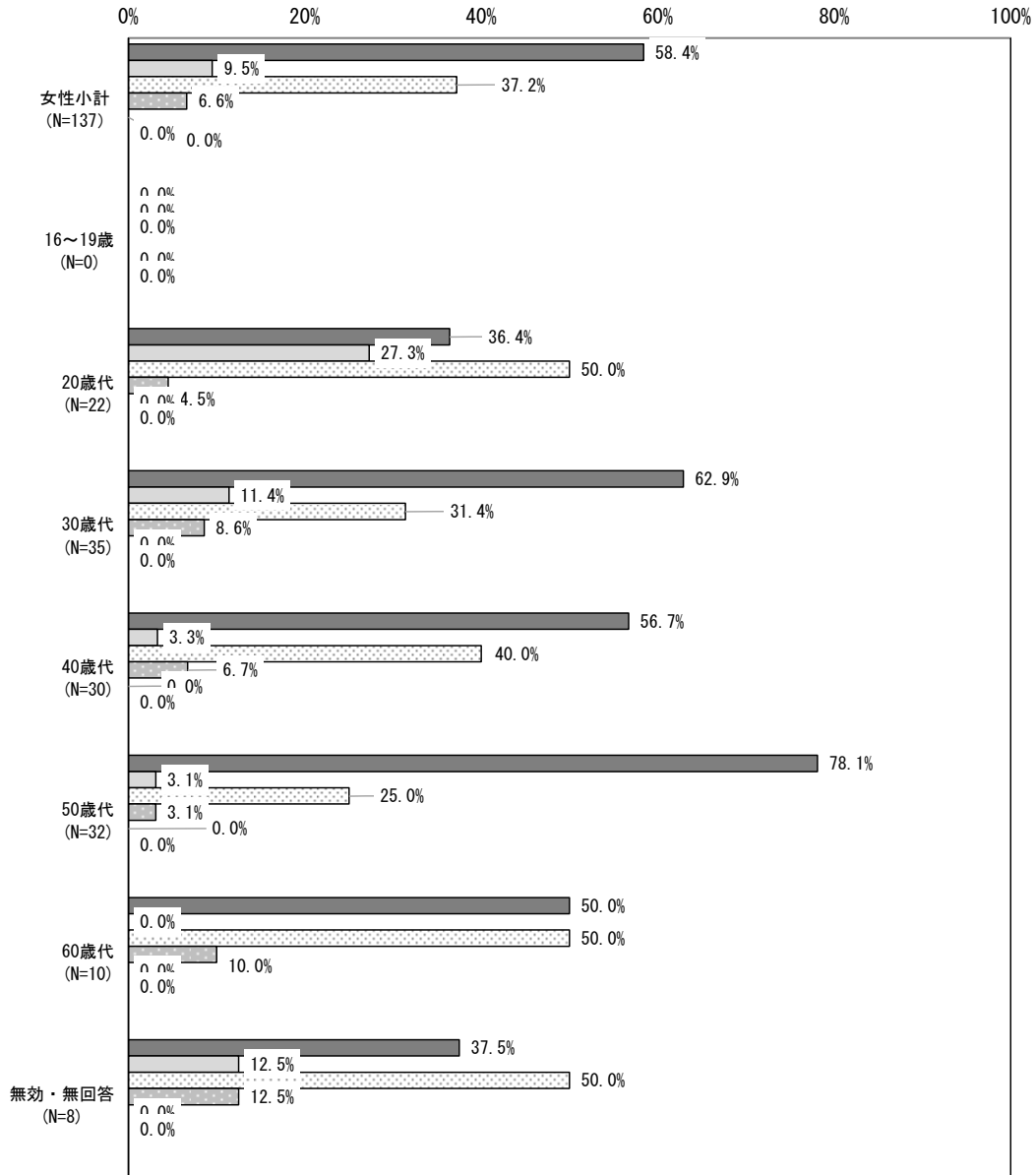
問 1 9 歯科医院へはどのような場合に行きますか。

「気になるところがなくても定期的に行く（健診、フッ素塗布、歯石除去、歯のクリーニング等）」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「痛いなどの症状があったら行く」の割合が 47.4%、「痛いなどの症状があってもなかなか行けない（行かない）」の割合が 8.7%となっている。その他の意見では「職場で年 1 回受診するように決められているため、その機会に行く」などの意見が挙げられている。

< 歯科医院への通院理由（全体、男性・年齢別） >



＜歯科医院への通院理由（女性・年齢別）＞



- 気になるところがなくても定期的に行く（健診、フッ素塗布、歯石除去、歯のクリーニング等）
- 健康診査の結果、歯科医院に行くように言われたら行く
- 痛いなどの症状があったら行く
- 痛いなどの症状があってもなかなか行けない（行かない）
- その他
- 無効・無回答

7. こころの健康について

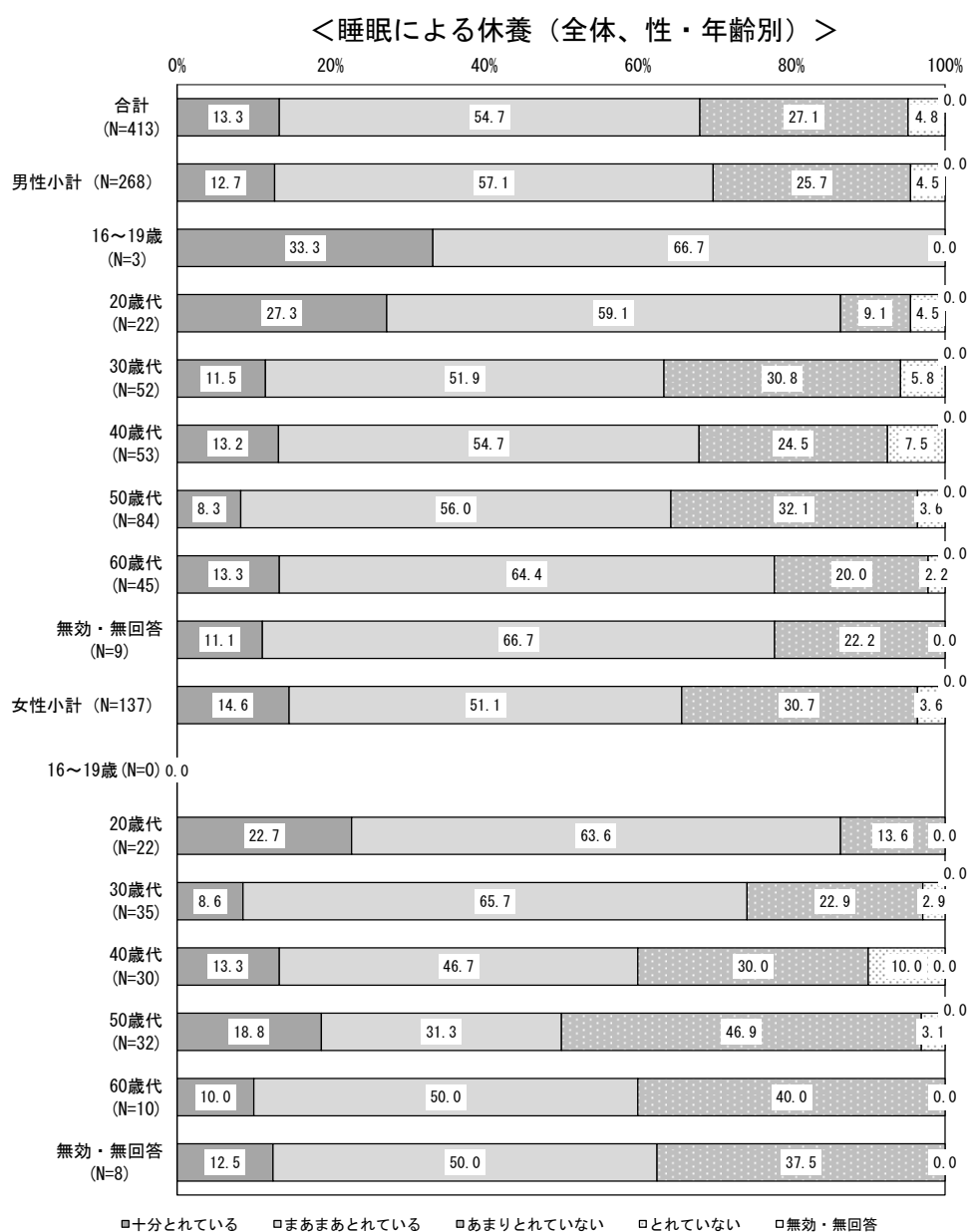
問20 睡眠による休養が十分とれていますか。

【全体】

「まあまあとれている」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「あまりとれていない」の割合が 27.1%、「十分とれている」の割合が 13.3%となっている。

【性・年齢別】

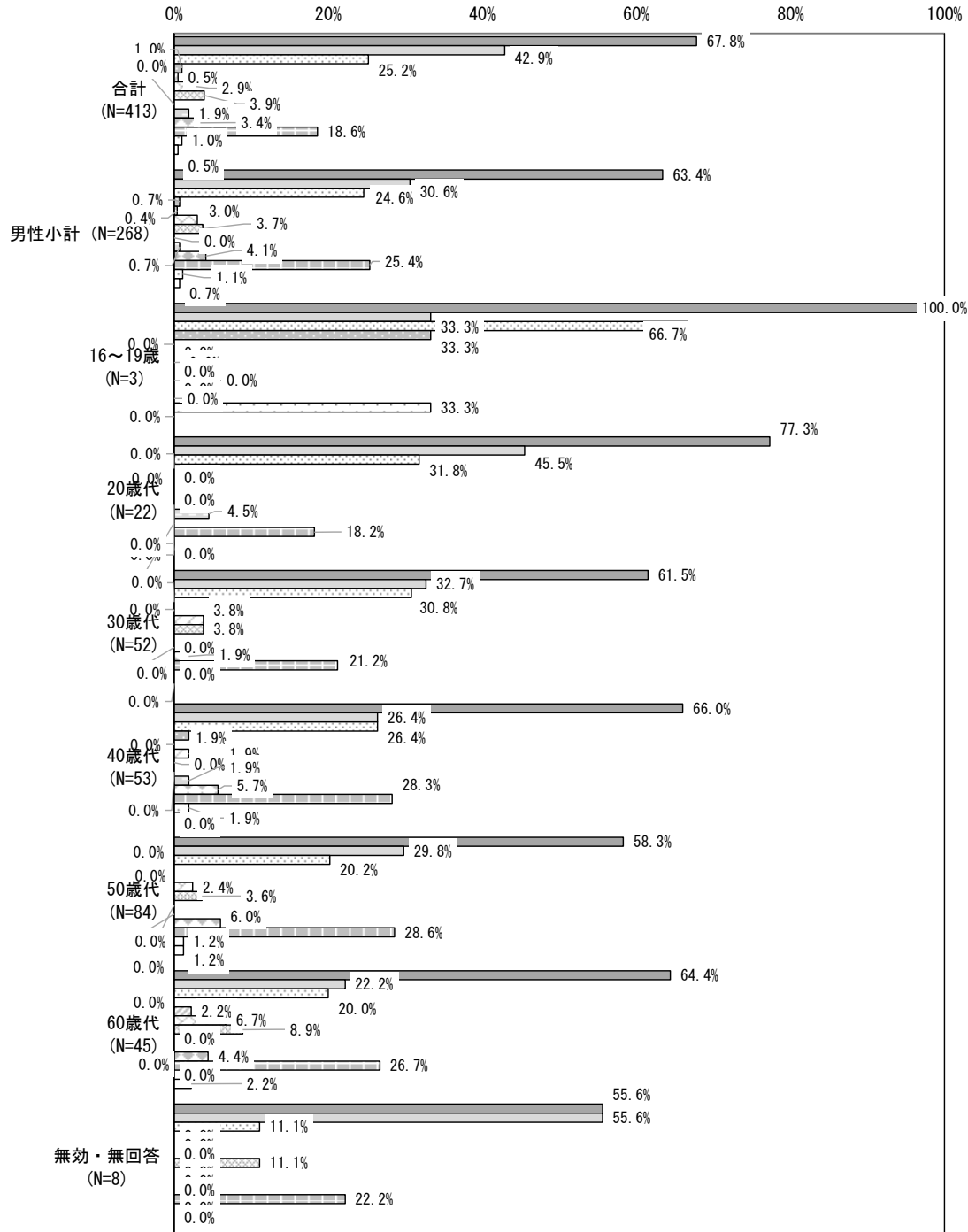
「あまりとれていない」「とれていない」の割合が高いのは、男性の 30～50 歳代、女性の 40～60 歳代であり、3 割以上となっている。



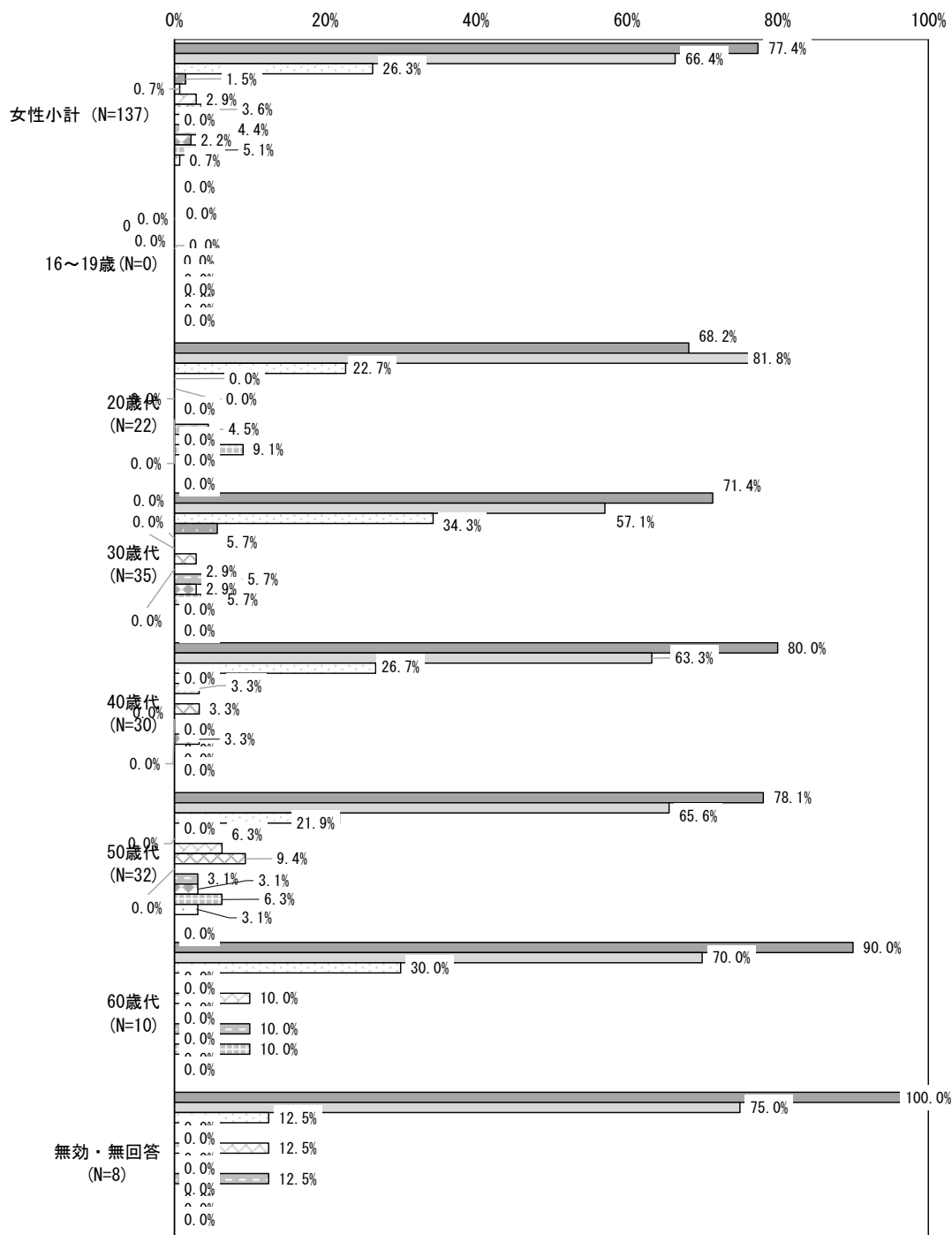
問 2 1 あなたは、心配ごとや悩みを誰に相談しますか（複数回答可）

「家族・親戚」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 42.9%、「職場の同僚や上司」の割合が 25.2%となっている。その他の意見では「有料のカウンセリング」「SNS」「内容によって相談する人を変える」などの意見が挙げられている。

<相談先（全体、男性・年齢別）>



<相談先（女性・年齢別）>



- 家族・親戚
- 友人・知人
- 職場の同僚や上司
- 職場の人・労務担当窓口
- 職場が設置している外部の相談窓口
- 医師（一般内科等）
- 医師（精神科・心療内科等）
- 電話での相談（保健所・電話相談窓口等）
- インターネットでの相談（SNS・ホットライン等）
- 誰もいない
- 相談しない、相談しようと思わない
- その他
- 無効・無回答

8. アルコールについて

問22 どれくらいの頻度でお酒を飲んでいますか。

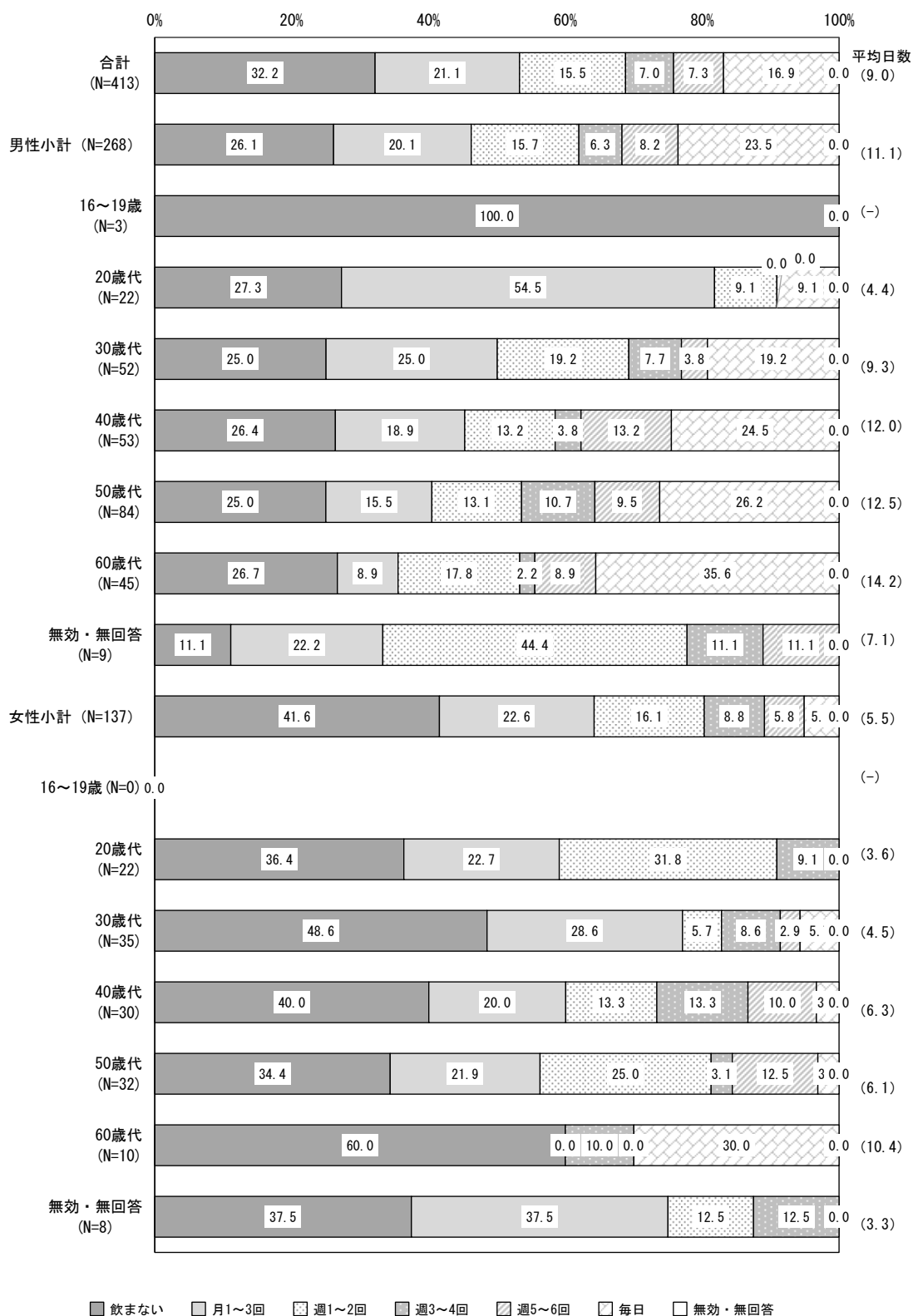
【全体】

「飲まない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合21.1%、「毎日」16.9%で平均9.0日/月となっている。

【性・年齢別】

平均飲酒頻度が高いのは、男女とも60歳代で男性が約14.2日/月、女性が10.4日/月となっている。

< 飲酒頻度 (全体、性・年齢別) >



問23 お酒を飲む日は1日当たりどれくらい飲んでいますか。

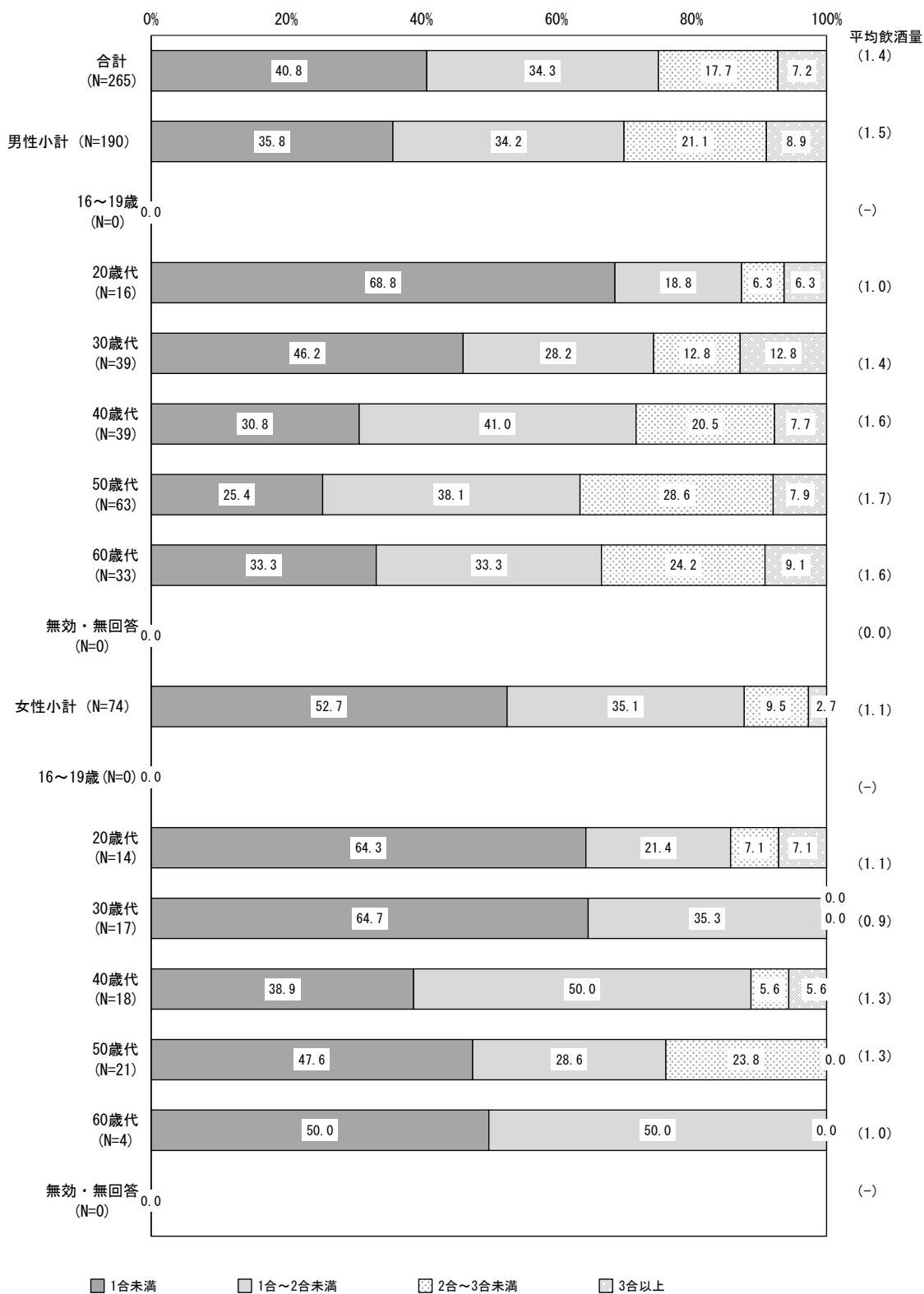
【全体】

「1合未満」の割合が40.8%と最も高く、次いで「1合～2合未満」の割合が34.3%、「2合～3合未満」の割合が17.7%で、平均1.4合/日となっている。

【性・年齢別】

平均飲酒量が多いのは、男性が50歳代で約1.7合/日、女性も40～50歳代で約1.3合/日となっている。

<飲酒量（全体、性・年齢別）>



9. 喫煙状況について

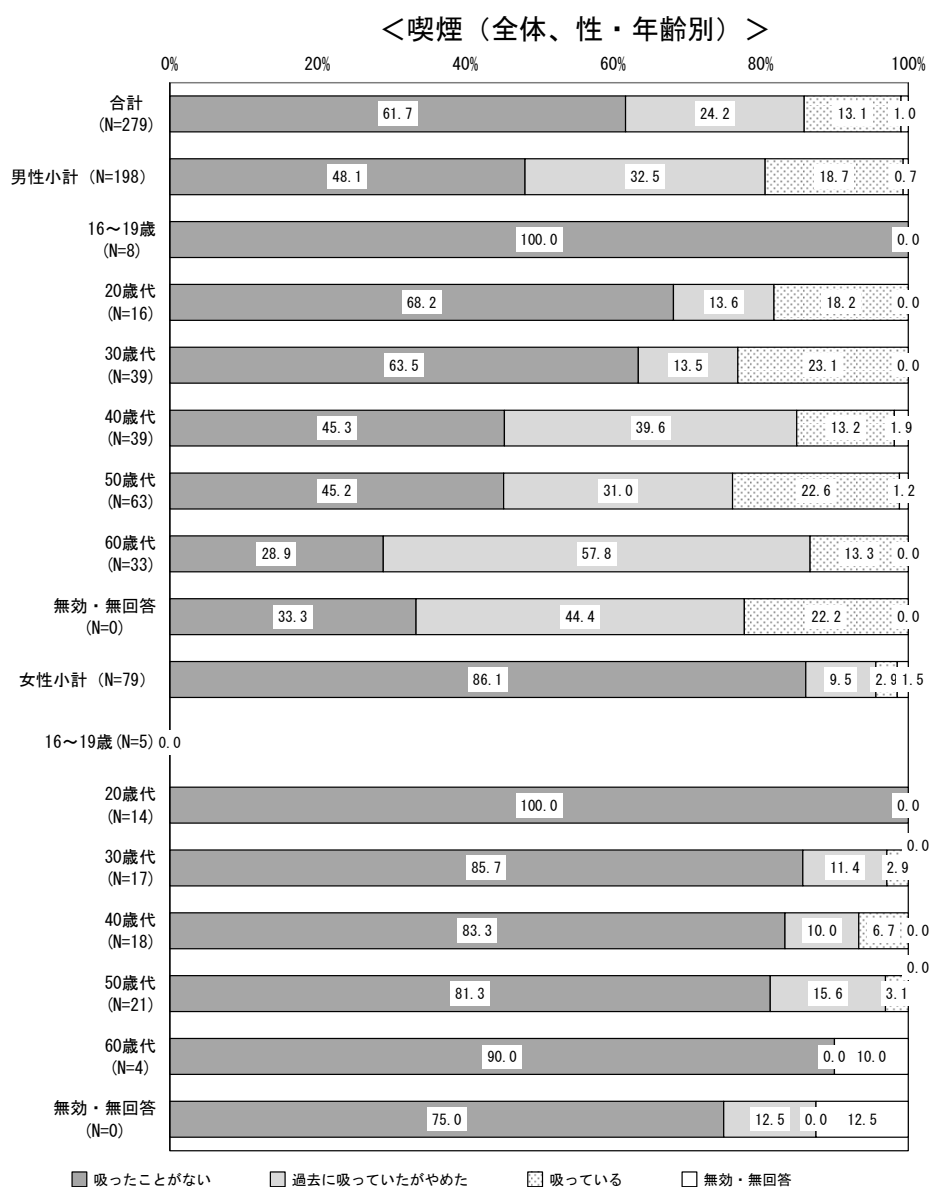
問24-1 あなたは、たばこ（紙巻たばこ、電子たばこ、加熱式たばこを含む）を吸っていますか。

【全体】

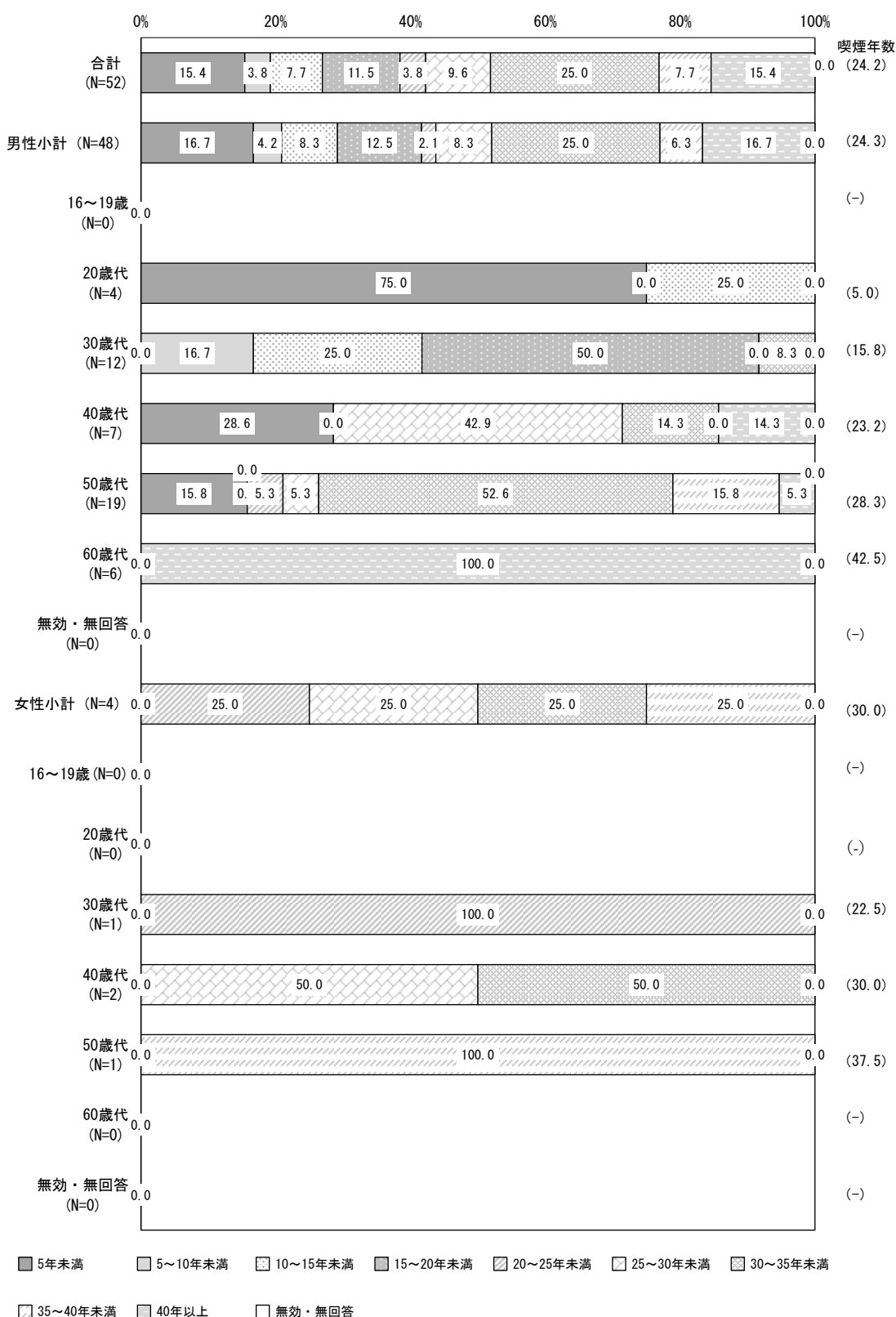
「吸ったことがない」の割合が61.7%と最も高く、次いで「過去に吸っていたがやめた」の割合が24.2%、「吸っている」の割合が13.1%で、平均喫煙年数は24.2年となっている。

【性・年齢別】

「吸っている」の割合が高いのは、男性の30歳代、50歳代で約2割となっている。女性は「吸ったことがない」の割合が全年代で7割以上となっている。



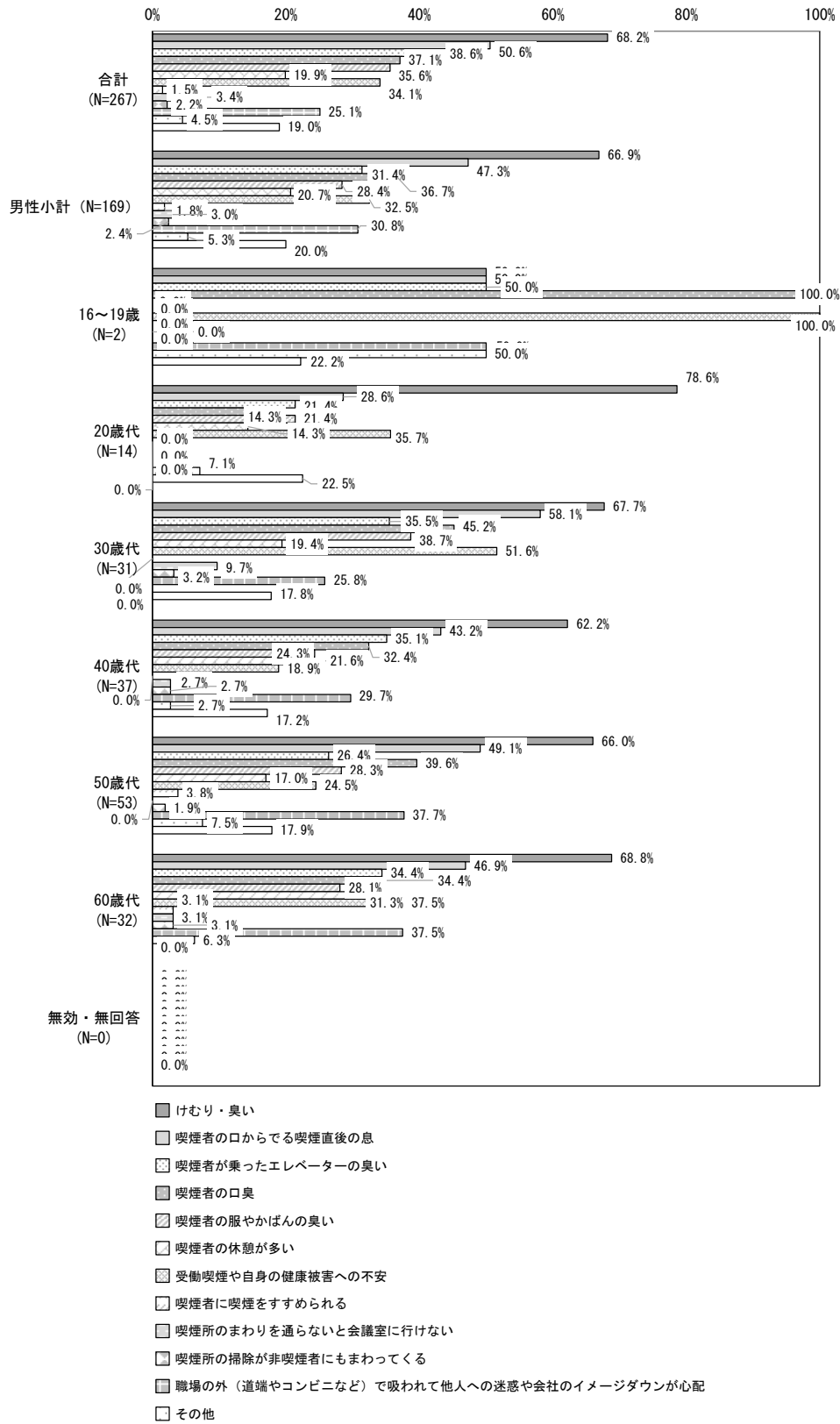
<喫煙年数（全体、性・年齢別）>



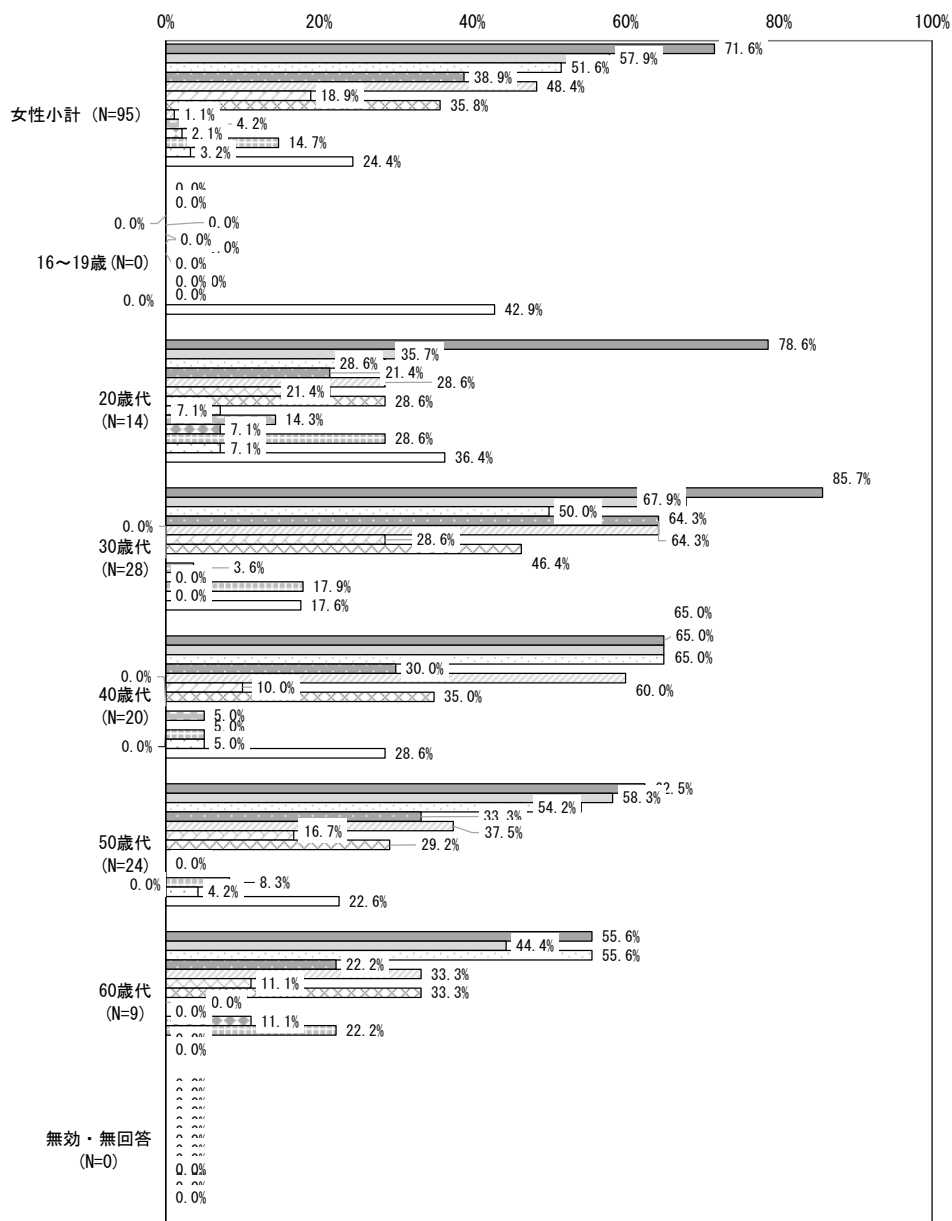
問24-2 【1. 吸ったことがない、2. 過去に吸っていたがやめた 場合】
職場の喫煙者に困っていることを教えてください。(複数回答可)

「けむり・臭い」の割合が68.7%と最も高く、次いで「喫煙者の口から出る喫煙直後の息」の割合が50.7%、「喫煙者が乗ったエレベーターの臭い」の割合が38.5%となっている。その他の意見では「喫煙所の近くを通らないと門外に出ることができない」「吸い殻のポイ捨て」「人の多いところでの喫煙」などの意見が挙げられている。

<喫煙者に困っていること（全体、男性・年齢別）>



＜喫煙者に困っていること（女性・年齢別）＞



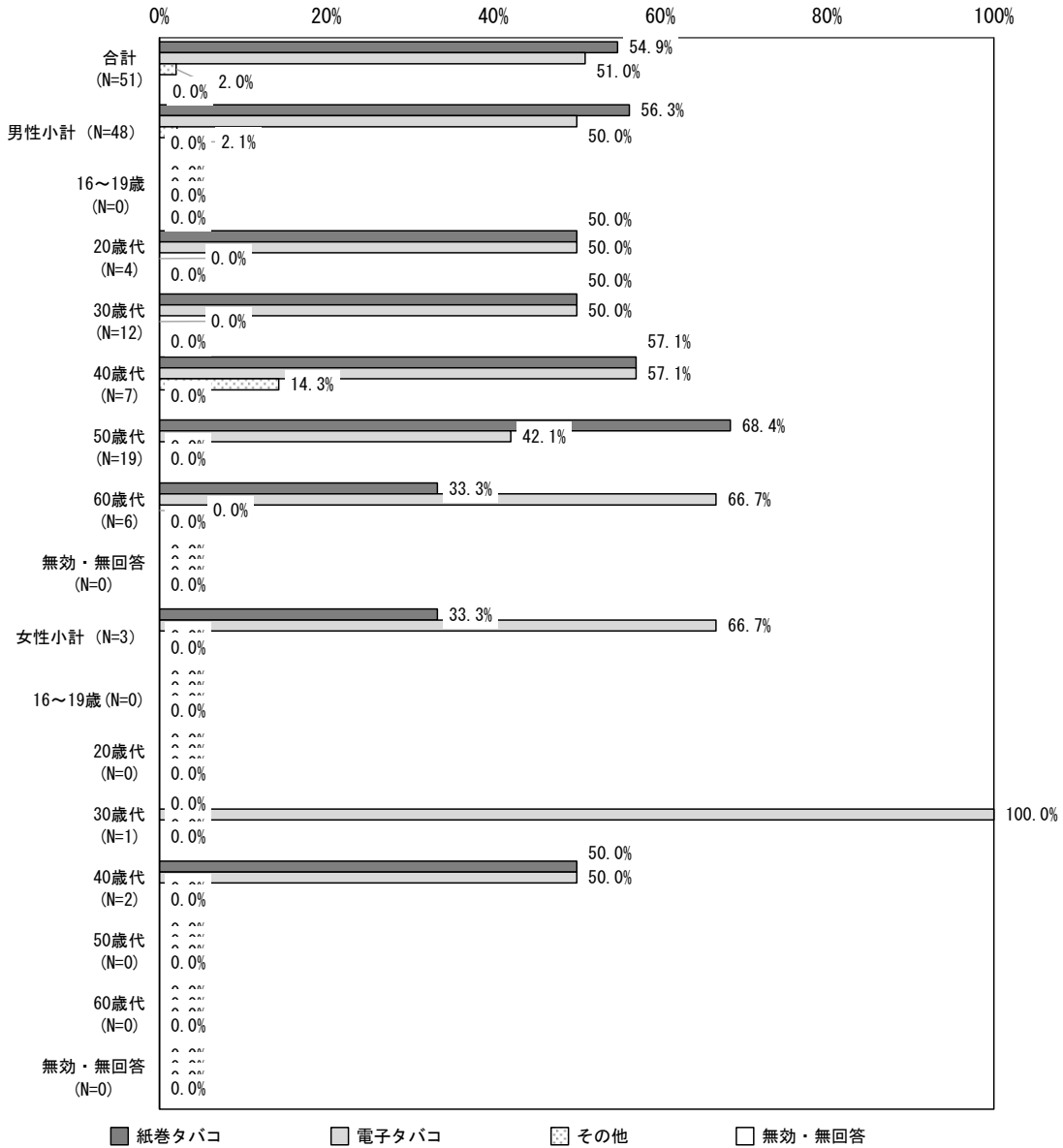
- けむり・臭い
- 喫煙者の口からでる喫煙直後の息
- 喫煙者が乗ったエレベーターの臭い
- 喫煙者の口臭
- 喫煙者の服やかばんの臭い
- 喫煙者の休憩が多い
- 受働喫煙や自身の健康被害への不安
- 喫煙者に喫煙をすすめられる
- 喫煙所のまわりを通らないと会議室に行けない
- 喫煙所の掃除が非喫煙者にもまわってくる
- 職場の外（道端やコンビニなど）で吸われて他人への迷惑や会社のイメージダウンが心配
- その他
- 無効・無回答

問24-3 【3. 吸っている 場合】

どの種類のたばこを吸っていますか（複数回答可）

「紙巻タバコ」の割合が54.7%と最も高く、次いで「電子タバコ」の割合が52.8%、「その他」の割合が1.9%となっている。

<吸っているたばこの種類（全体、性・年齢別）>

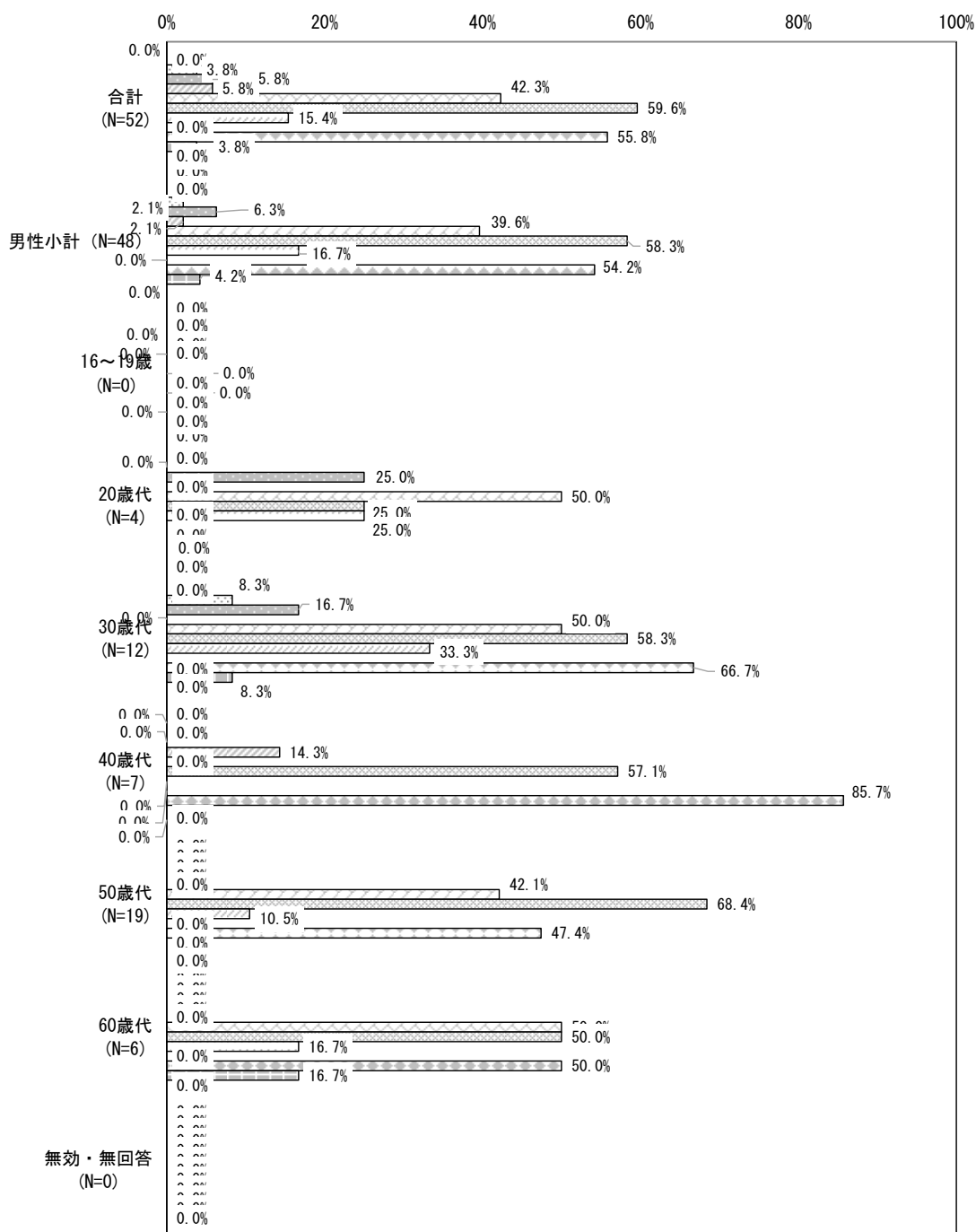


問24-4 【3. 吸っている 場合】

喫煙を続ける理由を教えてください。(複数回答可)

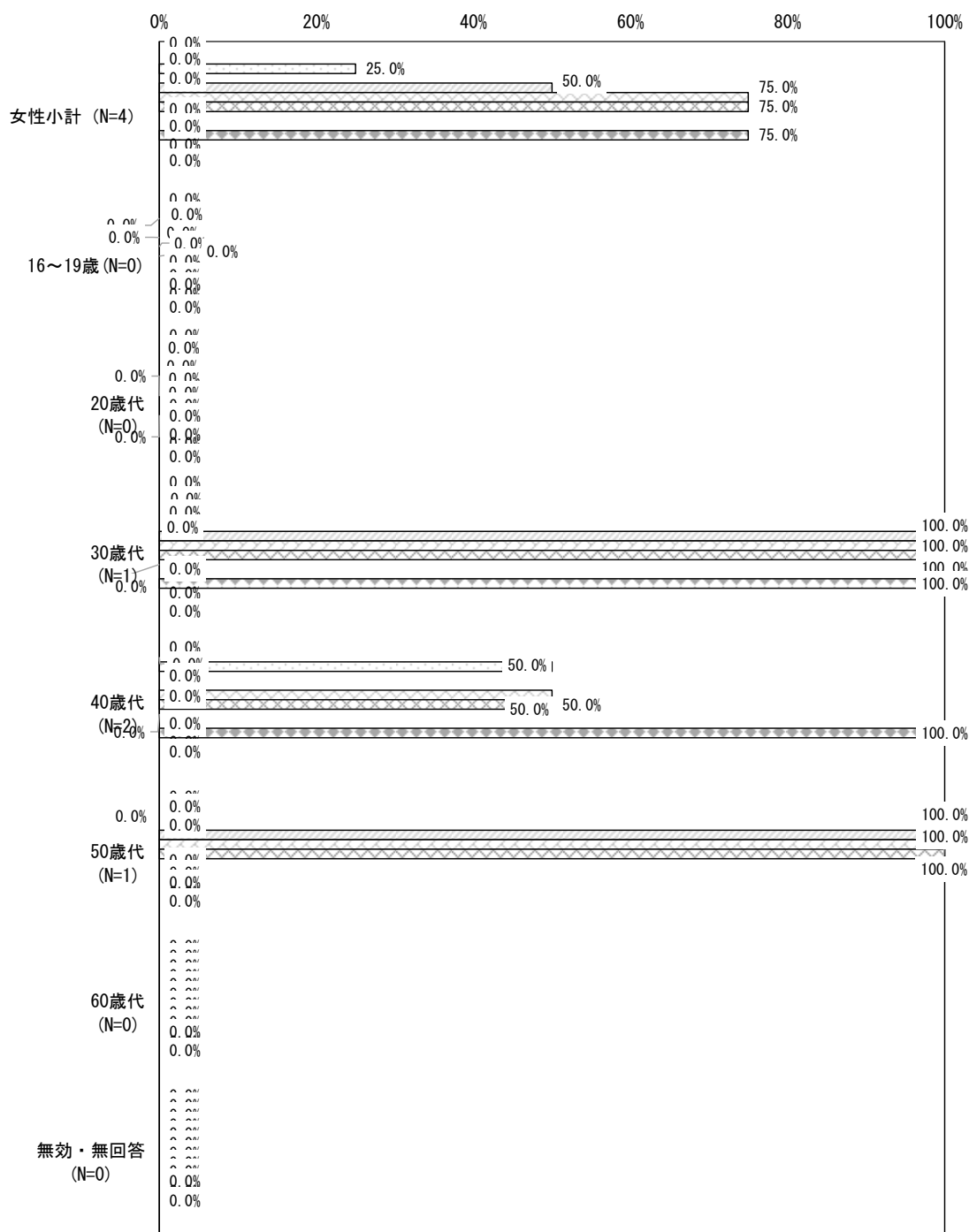
「ストレス解消になっている」の割合が59.6%と最も高く、次いで「禁煙する気がない」の割合が55.8%、「生活の一部になっている」の割合が42.3%となっている。その他の意見では「一息つけるため」「味がおいしいから」などの意見が挙げられている。

<喫煙を続ける理由（全体、男性・年齢別）>



- 一緒に禁煙に取り組む人がいない
- 禁煙をはげましてくれる人がいない
- 喫煙所にいかないと仕事の話についていけない
- 仲のいい同僚・上司・後輩が吸っている
- 家族が吸っている
- 生活の一部になっている
- ストレス解消になっている
- なんとなく
- 禁煙グッズの購入に関して金銭的なサポートがない
- 禁煙する気がない
- その他
- 無効・無回答

<喫煙を続ける理由（女性・年齢別）>



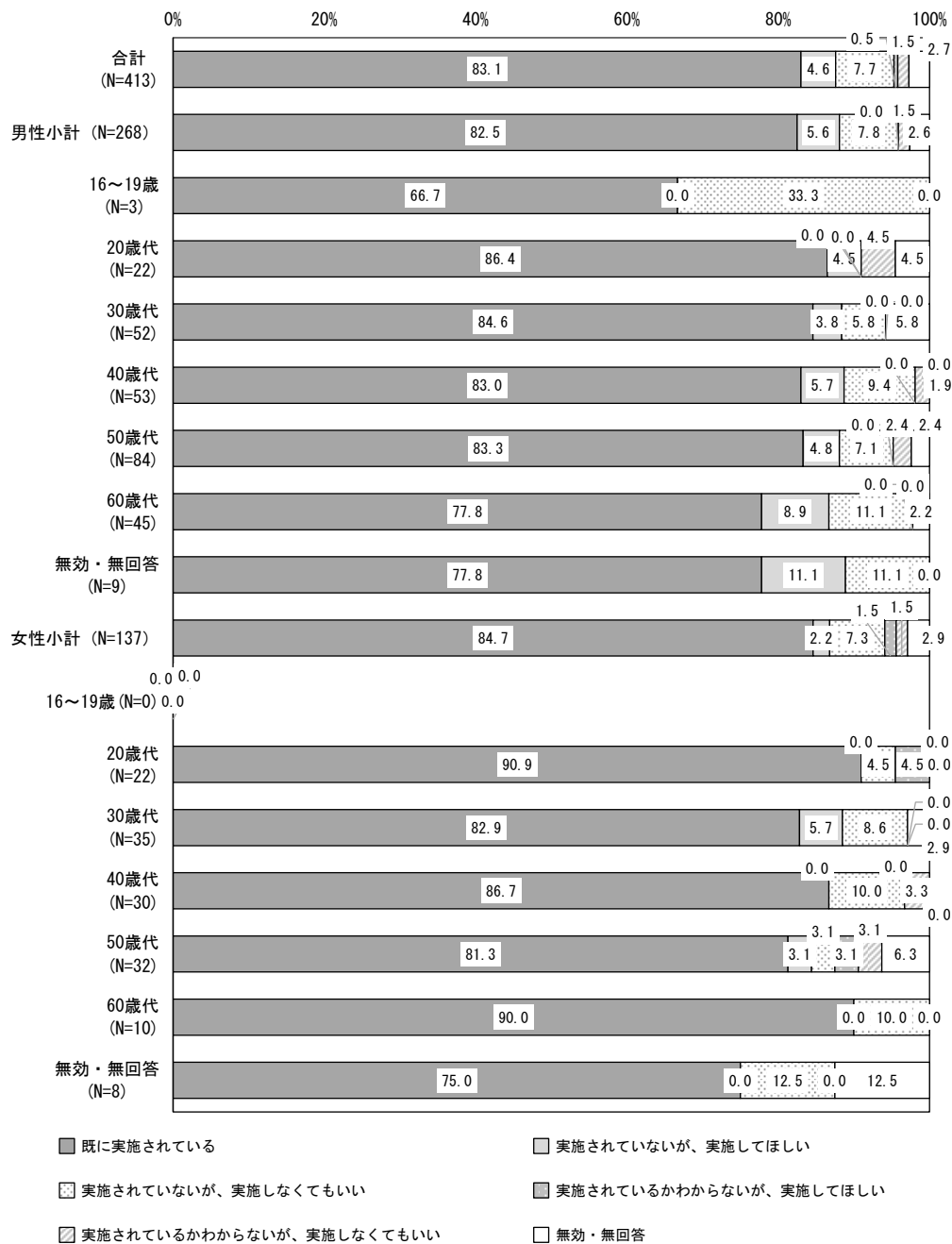
- 一緒に禁煙に取り組む人がいない
- 禁煙をはげましてくれる人がいない
- 喫煙所にいかないと仕事の話についていけない
- 仲のいい同僚・上司・先輩が吸っている
- 家族が吸っている
- 生活の一部になっている
- ストレス解消になっている
- なんとなく
- 禁煙グッズの購入に関して金銭的なサポートがない
- 禁煙する気がない
- その他
- 無効・無回答

問 2 5 職場における禁煙対策について当てはまるものを選択ください

(1) 敷地内全面禁煙

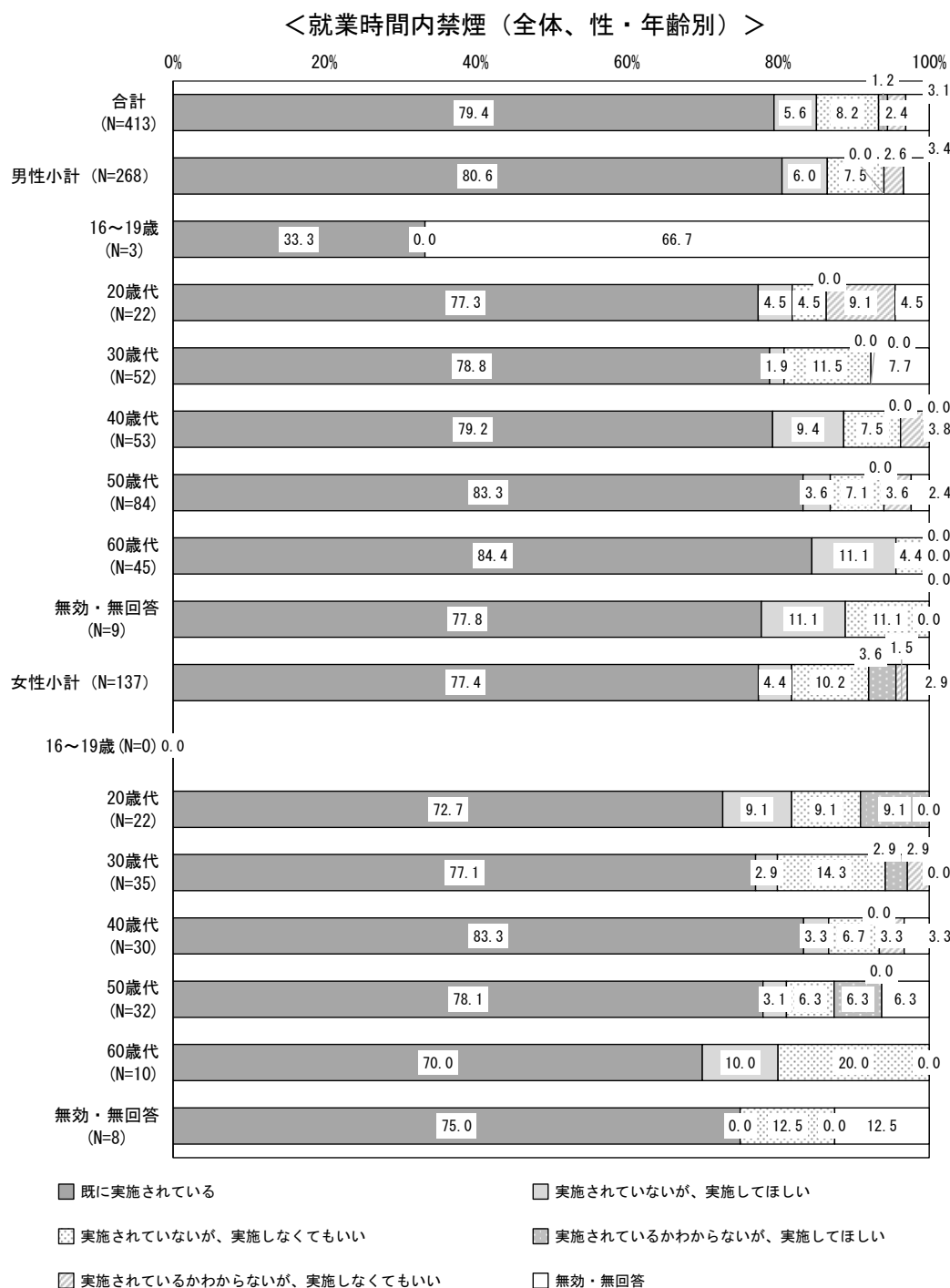
「既に実施されている」の割合が83.1%と最も高く、次いで「実施されていないが、実施してほしい」の割合が7.7%、「実施されていないが、実施してほしくない」の割合が4.6%となっている。

<敷地内全面禁煙（全体、性・年齢別）>



(2) 就業時間内禁煙

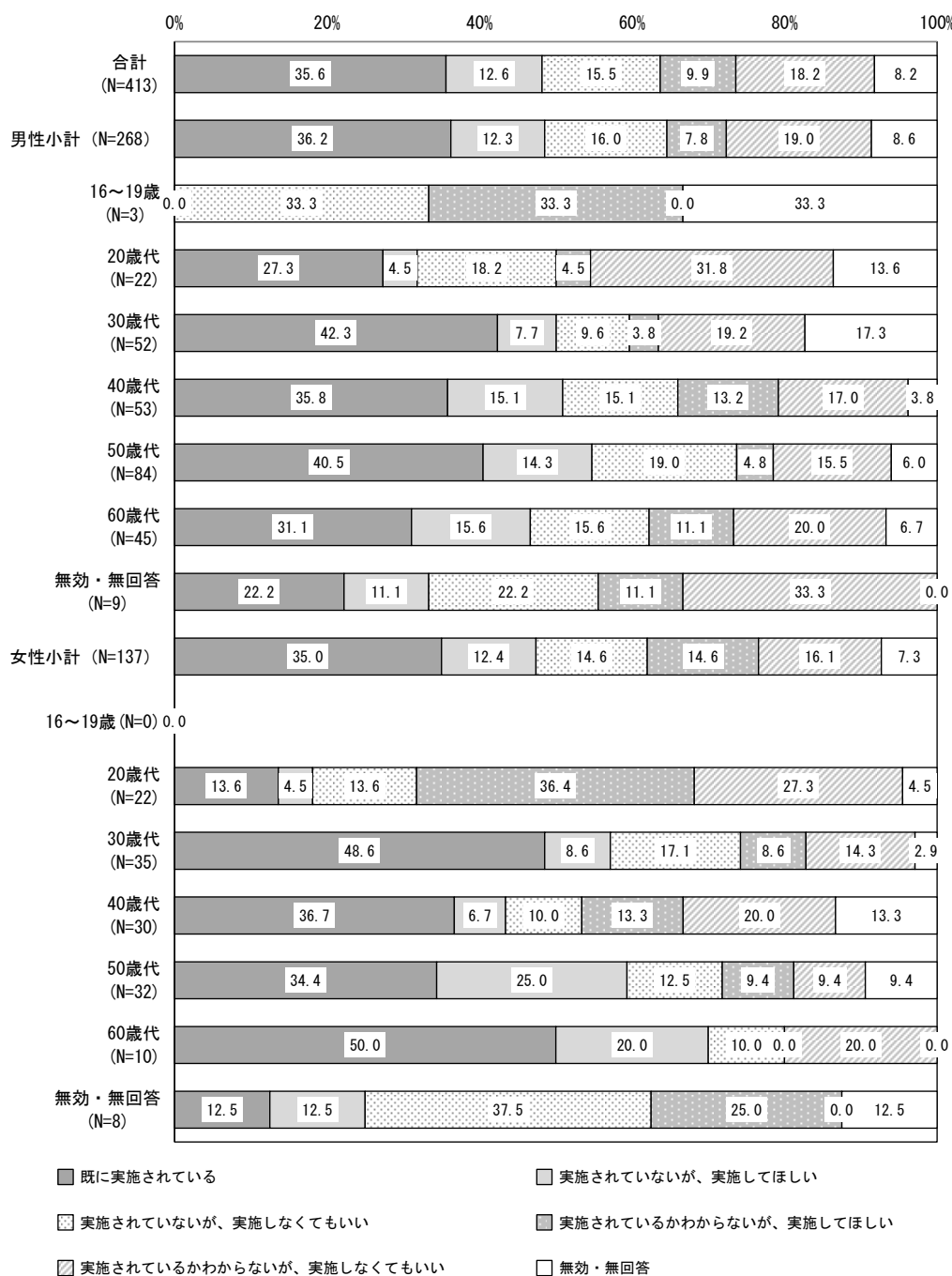
「既に実施されている」の割合が79.4%と最も高く、次いで「実施されていないが、実施してほしい」の割合が8.2%、「実施されていないが、実施してもいい」の割合が5.6%となっている。



(3) 禁煙を促す社内イベント（禁煙月間、禁煙デー等）

「既に実施されている」の割合が35.6%と最も高く、次いで「実施されているかわからないが、実施してほしい」の割合が18.2%、「実施されていないが、実施しなくてもいい」の割合が15.5%、「実施されていないが、実施してほしい」の割合が9.9%となっている。

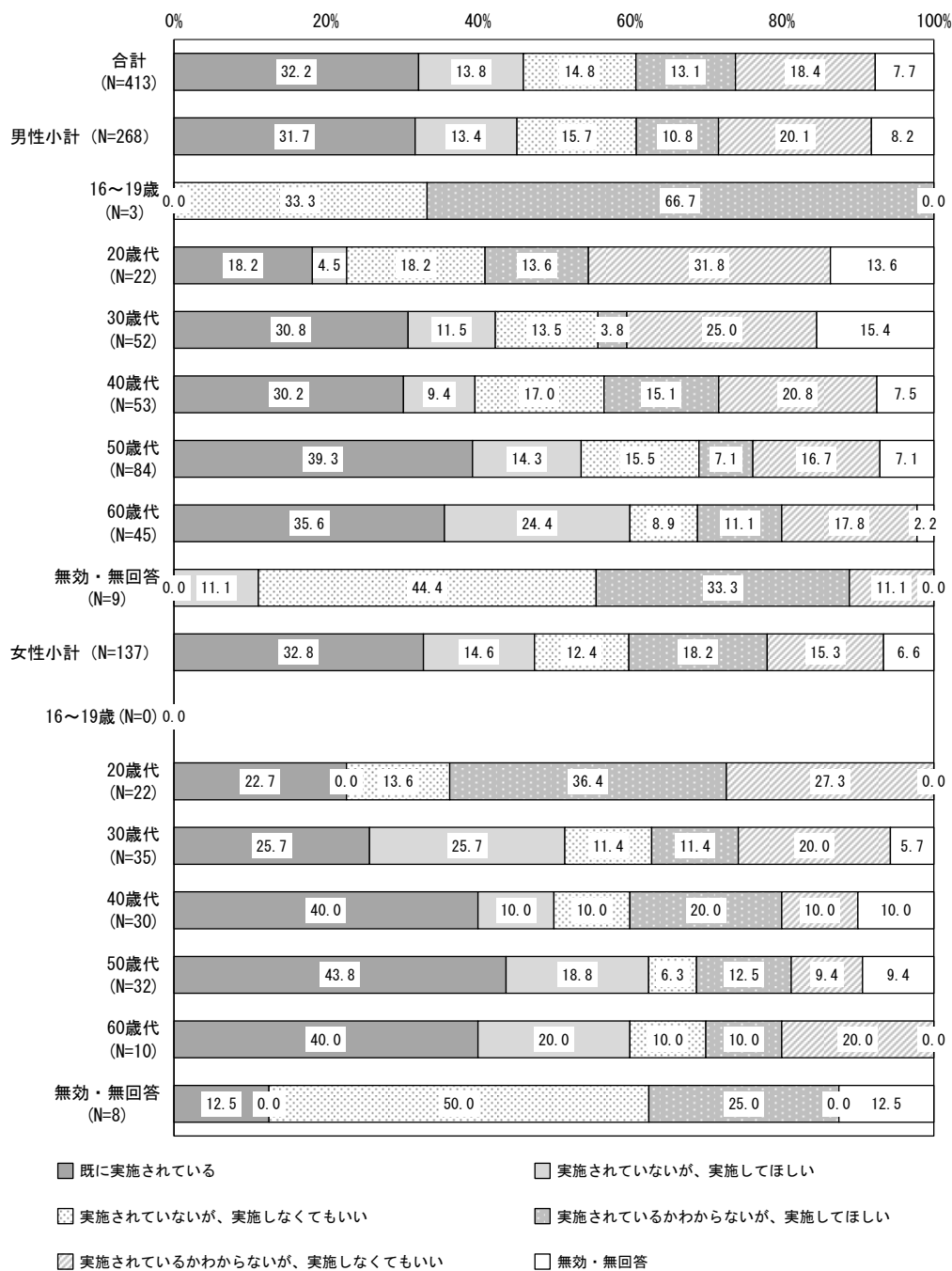
<喫煙を促す社内イベント（全体、性・年齢別）>



(4) たばこの健康影響についての教育・研修

「既に実施されている」の割合が32.2%と最も高く、次いで「実施されいてるかわからないが、実施しなくてもいい」の割合が18.4%、「実施されていないが、実施しなくてもいい」の割合が14.8%となっている。

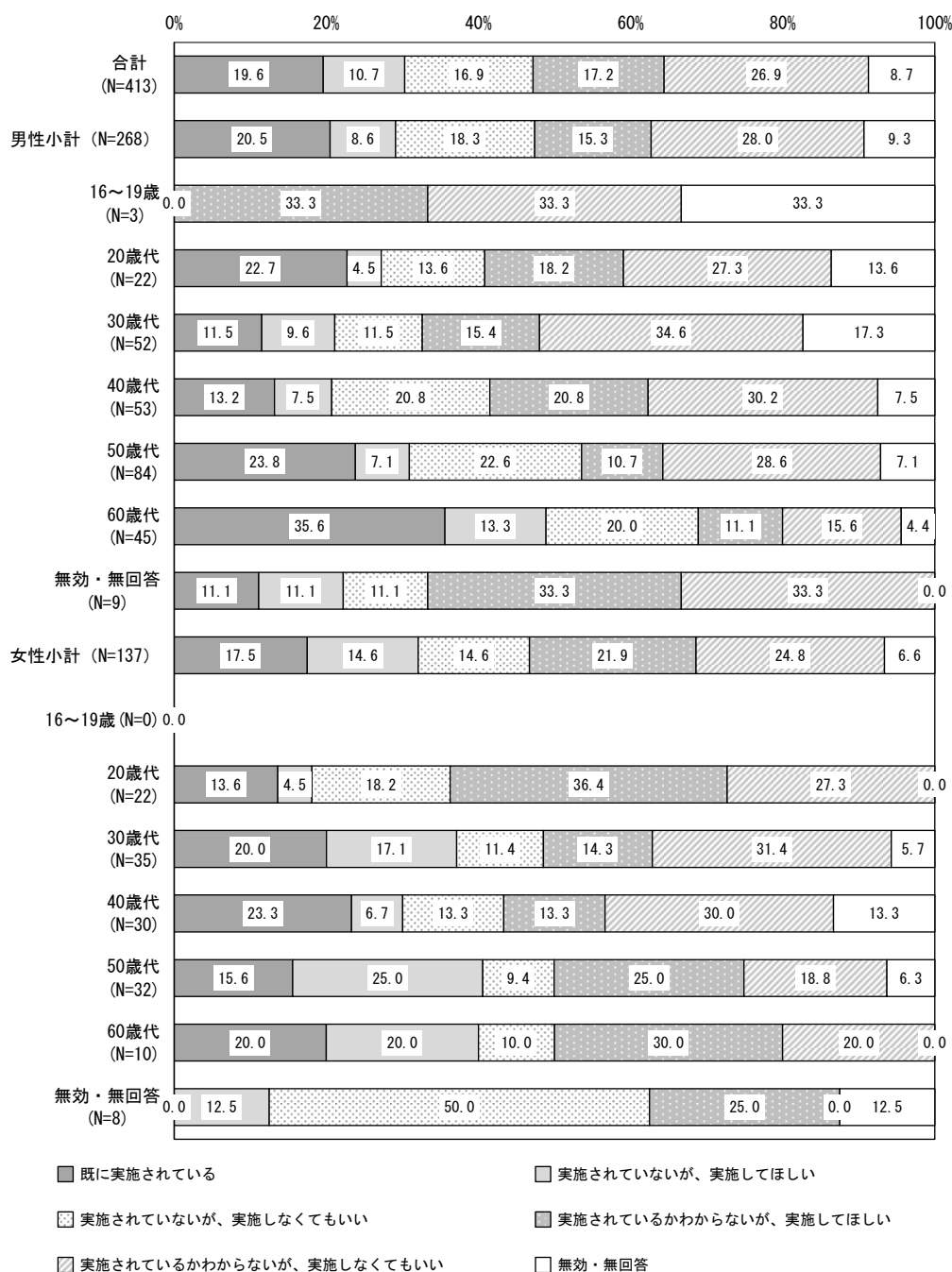
＜たばこの健康影響についての教育・研修（全体、性・年齢別）＞



(5) 禁煙外来治療の補助、または禁煙補助剤の無償支給や購入費支給

「実施されいてるかわからないが、実施しなくてもいい」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「既に実施されている」の割合が 19.6%、「実施されているかわからないが、実施してほしい」の割合が 17.2%となっている。

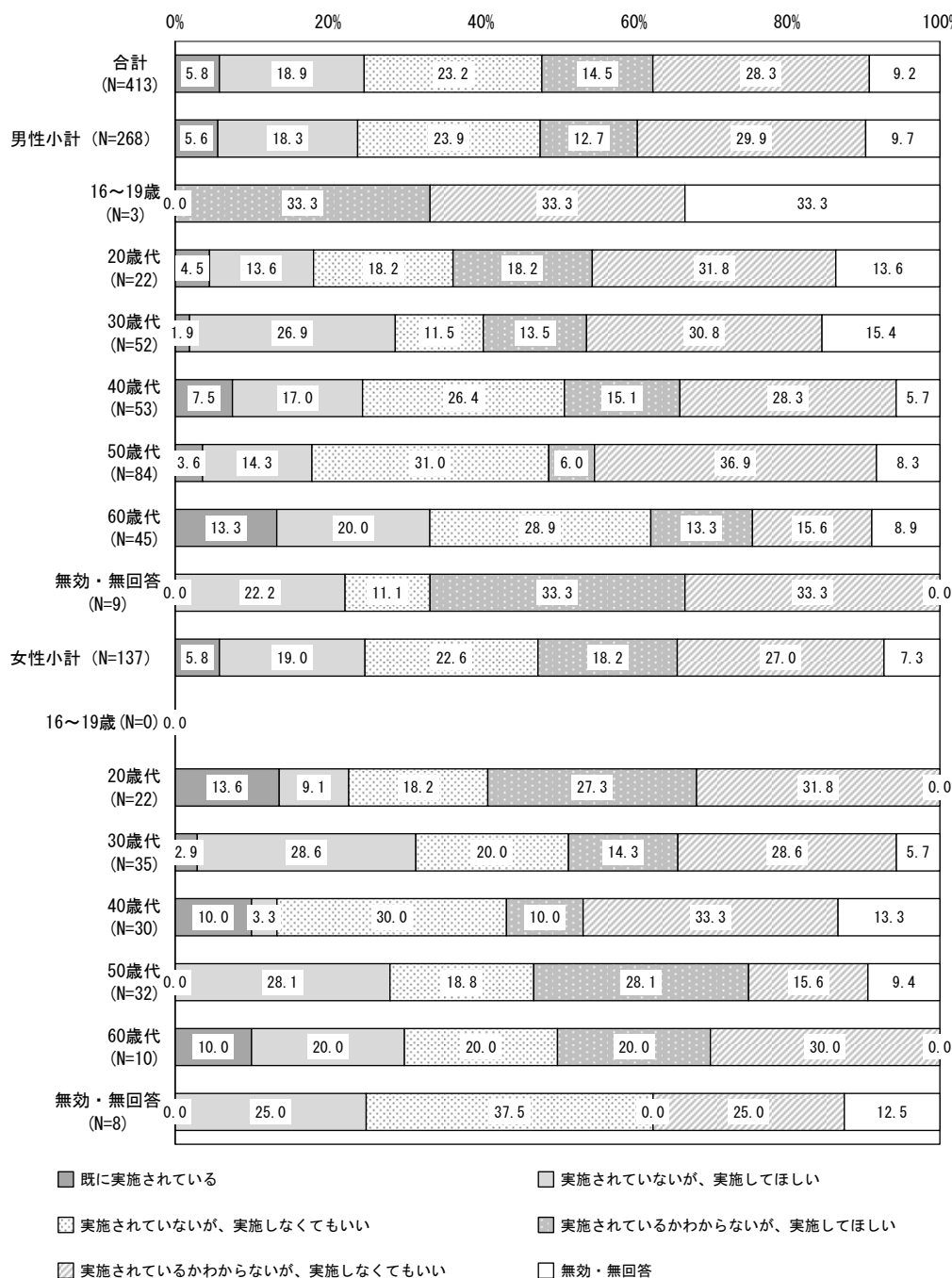
<禁煙外来治療の補助、または禁煙補助剤の無償支給や購入費支給（全体、性・年齢別）>



(6) 非喫煙者に対する継続的なインセンティブ（成果報酬等）の付与

「実施されいてるかわからないが、実施しなくてもいい」の割合が28.3%と最も高く、次いで「実施されていないが、実施しなくてもいい」の割合が23.2%、「実施されていないが、実施してほしい」の割合が18.9%となっている。

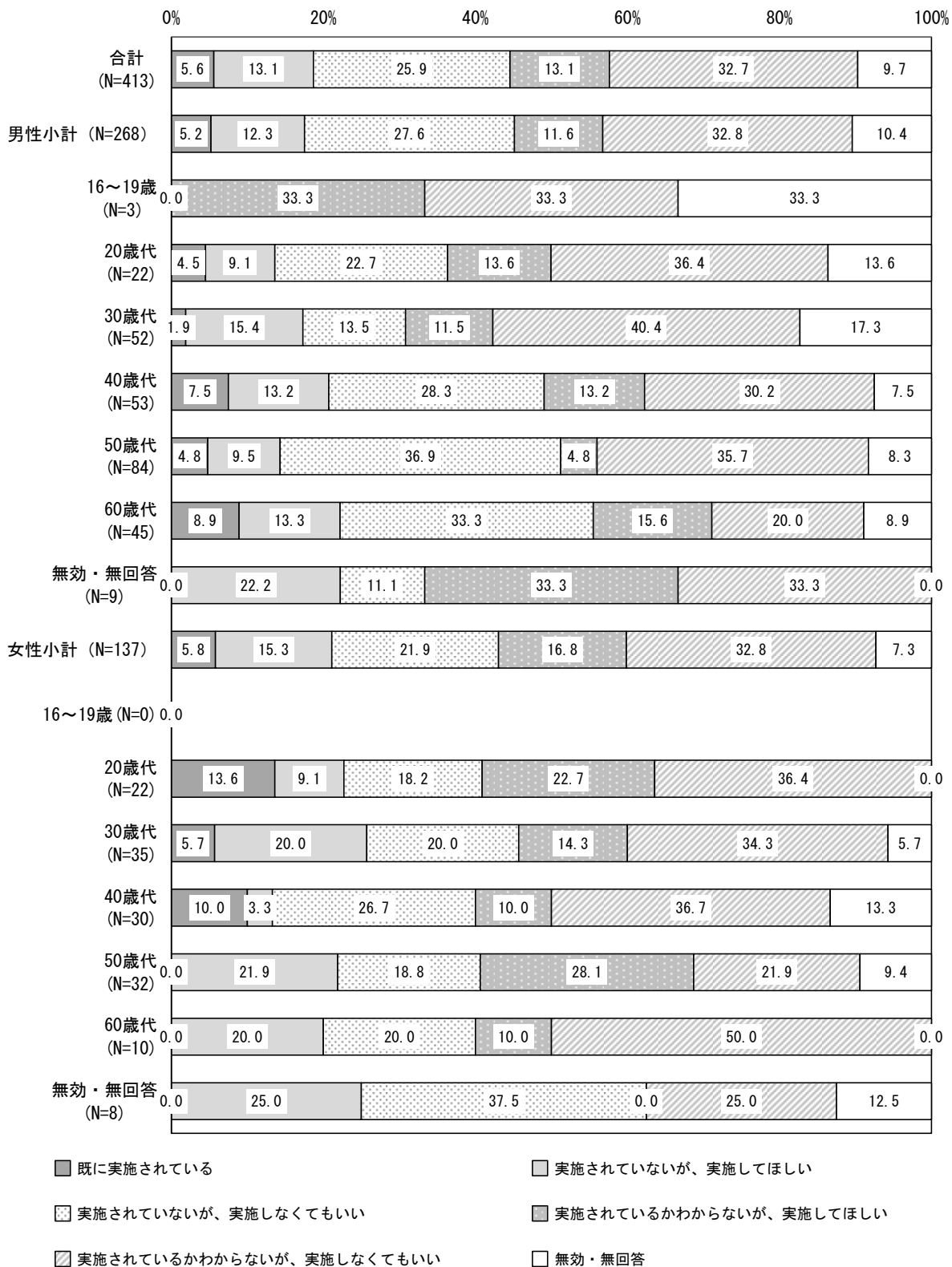
<非喫煙者に対する継続的なインセンティブ（成果報酬等）の付与（全体、性・年齢別）>



(7) 禁煙達成者に対する表彰やインセンティブ（成果報酬等）の付与

「実施されているかわからないが、実施しなくてもいい」の割合が32.7%と最も高く、次いで「実施されていないが、実施しなくてもいい」の割合が25.9%、「実施されていないが、実施してほしい」、「実施されているかわからないが、実施してほしい」の割合がそれぞれ13.1%となっている。

＜禁煙達成者に対する表彰やインセンティブ（成果報酬等）の付与（全体、性・年齢別）＞

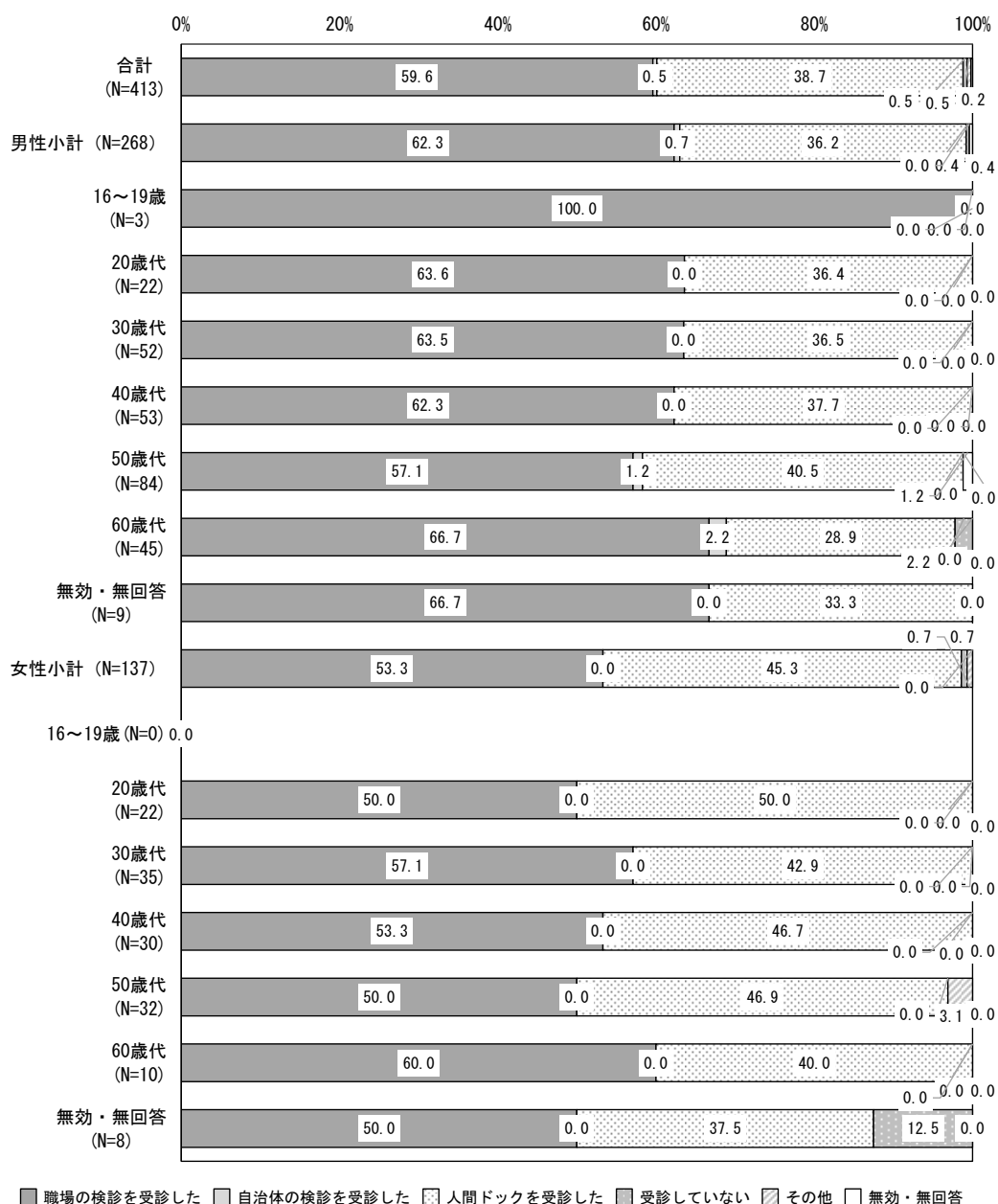


10. 健（検）診について

問26 この1年間の「健診」の受診状況を教えてください。

「職場の検診を受診した」の割合が59.6%と最も高く、次いで「人間ドックを受診した」の割合が38.7%、「自治体の検診を受診した」、「受診していない」、「その他」の割合がそれぞれ0.5%となっている。その他の意見では「基礎疾患があるため受診している病院で検査を受けている」などの意見が挙げられている。

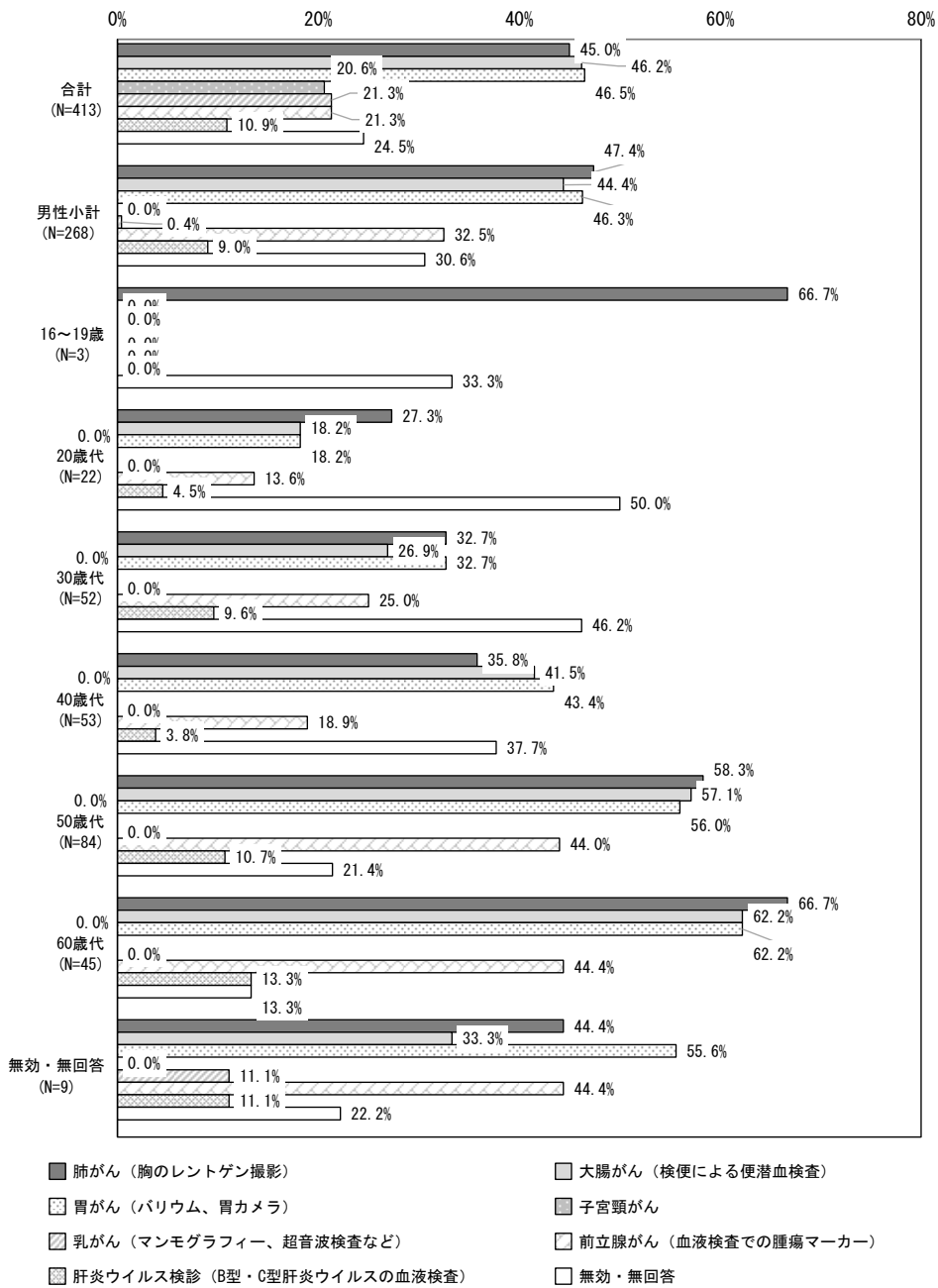
＜健診の受診状況（全体、性・年齢別）＞



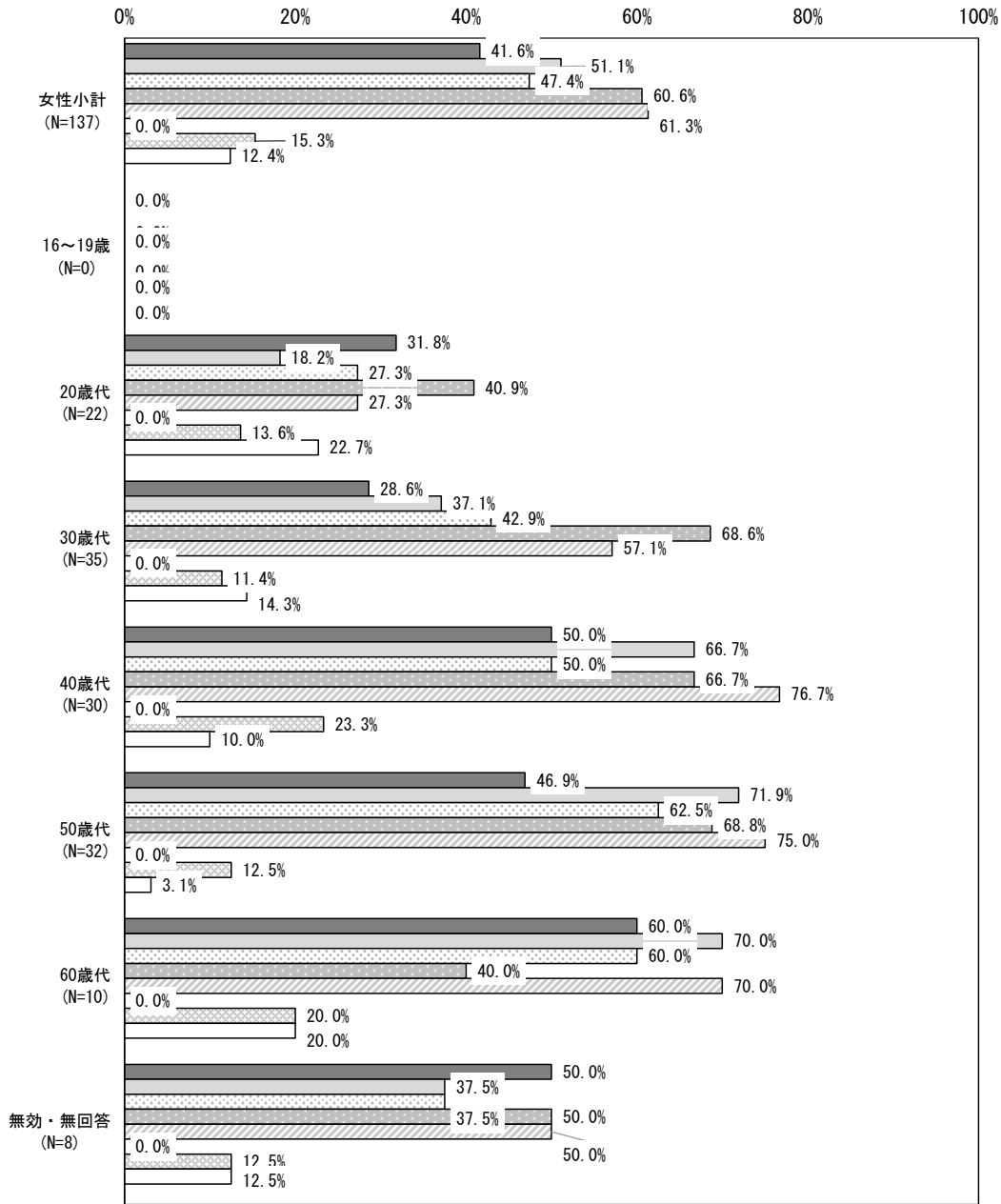
問27 この1年間で受診した「がん検診」を教えてください（複数回答可）
 ※がん検診については、健康診断、健康診査及び人間ドックの中で受診したものを含みます

「胃がん（バリウム、胃カメラ）」の割合が46.5%と最も高く、次いで「大腸がん（検便による便潜血検査）」の割合が46.2%、「肺がん（胸のレントゲン撮影）」の割合がそれぞれ45.0%となっている。

＜受診したがん検診（全体、男性・年齢別）＞



<受診したがん検診（女性・年齢別）>

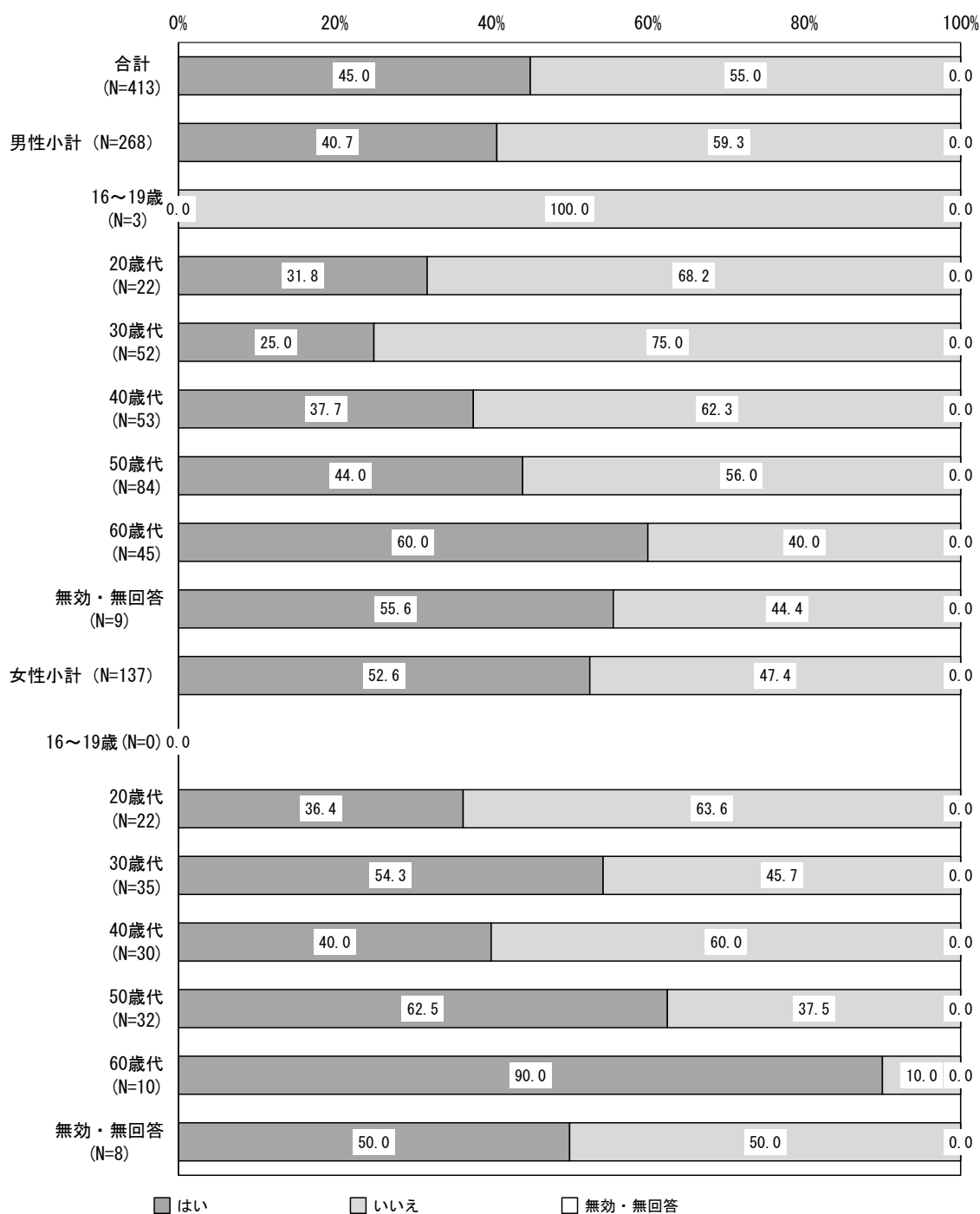


- 肺がん (胸のレントゲン撮影)
- ▨ 胃がん (バリウム、胃カメラ)
- ▩ 乳がん (マンモグラフィ、超音波検査など)
- ▧ 肝炎ウイルス検診 (B型・C型肝炎ウイルスの血液検査)
- 大腸がん (検便による便潜血検査)
- ▤ 子宮頸がん
- ▥ 前立腺がん (血液検査での腫瘍マーカー)
- 無効・無回答

問28 定年退職後も、加入している健康保険者（健康保険証に記載されている保険者）が実施する「特定健診」を受けられることをご存知ですか？

「いいえ」の割合が55.0%となっている。

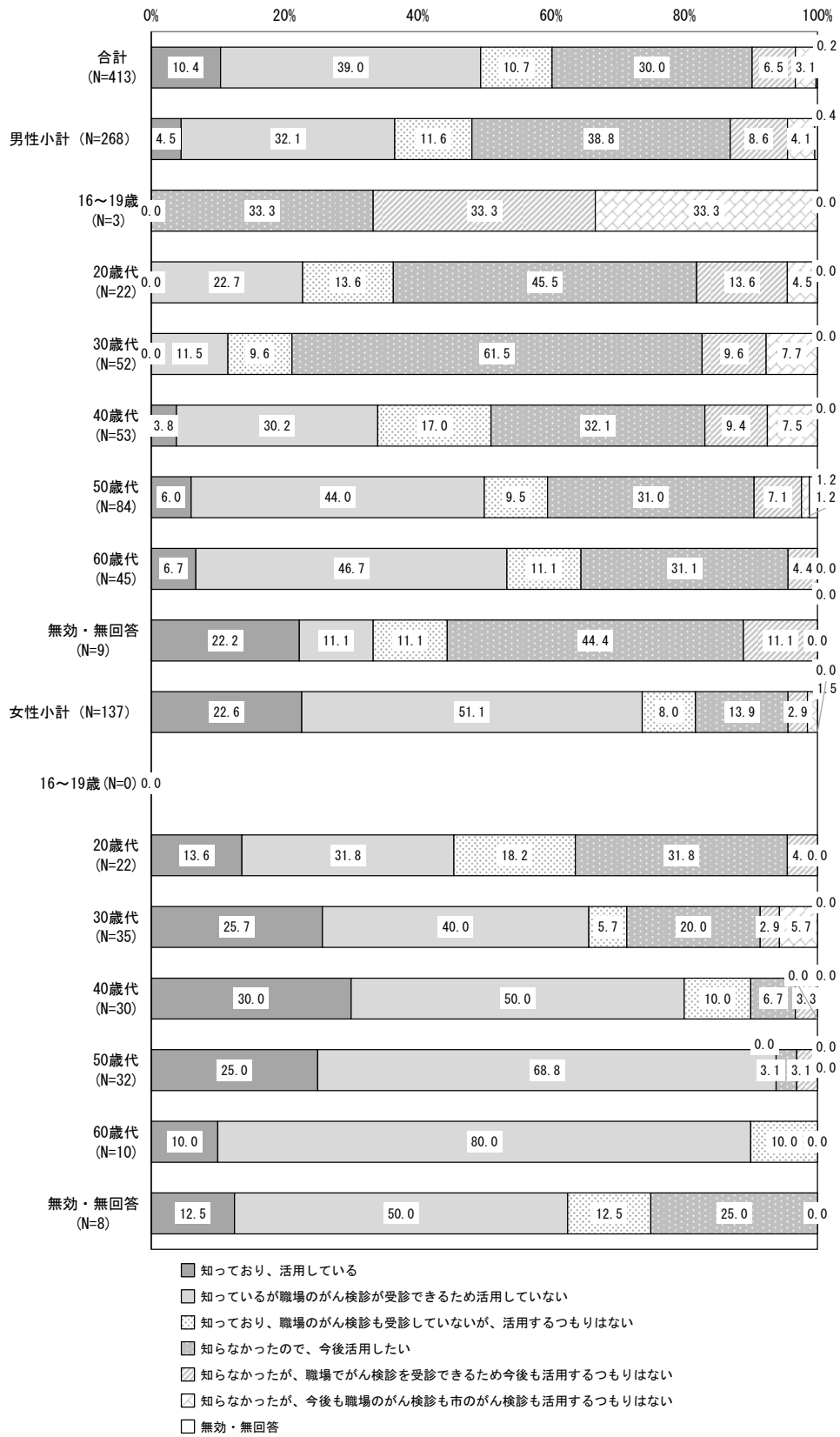
<定年退職後も受けられる「特定健診」の認知度（全体、性・年齢別）>



問 27 お住いの市町村で、「がん検診」を受けられることをご存知ですか？

「知っているが職場のがん検診が受診できるため活用していない」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「知らなかったので、今後活用したい」の割合が 30.0%、「知っており、職場のがん検診も受診していないが、活用するつもりはない」の割合がそれぞれ 10.7%となっている。

＜お住まいの市町村で受けられる「がん検診」の認知度（全体、性・年齢別）＞



令和4年度 枚方市「食」に関する市民意識調査結果

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、平成30年3月に策定した第3次枚方市食育推進計画策定の最終評価に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
枚方市 在住の 20歳以上 の市民	3,000人 (住民基本 台帳より無 作為抽出)	1,273件 (郵送：1,013 件 インターネット ：260件)	42.4% (郵送： 79.6% インターネット ：20.4%)	令和4年 12月2 日～12月 23日	郵送配布・ 郵送回収 または インターネット 回答

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

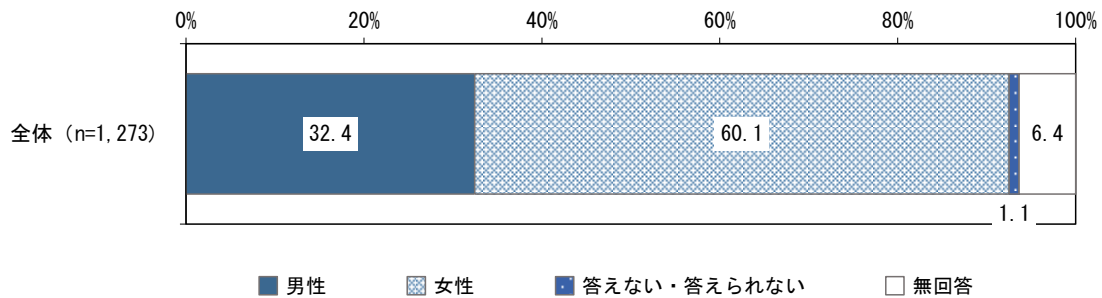
Ⅱ 調査結果の分析

(1) 回答者属性 性別・年代

あなたの性別、年代に○をつけてください。	○は1つ
----------------------	------

【性別】

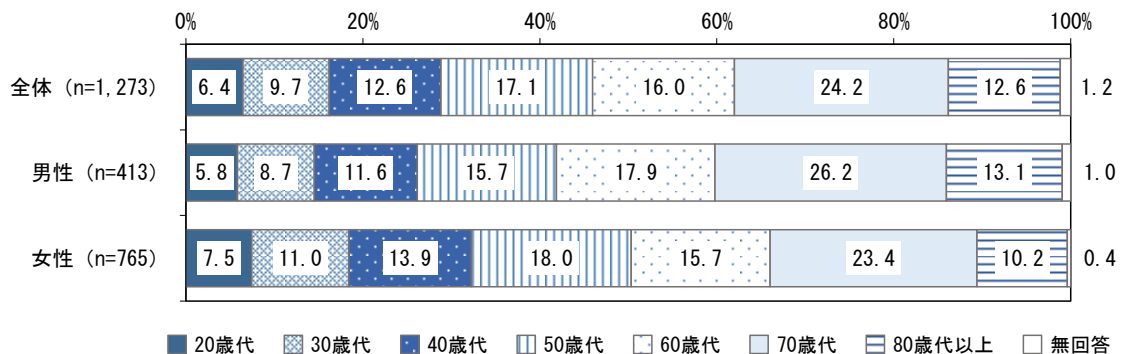
「男性」が32.4%、「女性」が60.1%となっています。



【年代】

「70歳代」が24.2%で最も高く、次いで「50歳代」が17.1%、「60歳代」が16.0%と続いています。

20～30歳代の年齢層（16.1%）は、市人口の構成比（23.8%）より7.7ポイント低く、40～50歳代の年齢層（29.7%）は、市人口の構成比（34.9%）は5.2ポイント低く、60歳代以上の年齢層（52.8%）は、市人口の構成比（41.3%）より11.5ポイント高くなっています。



枚方市 人口構成 (令和4年12月)

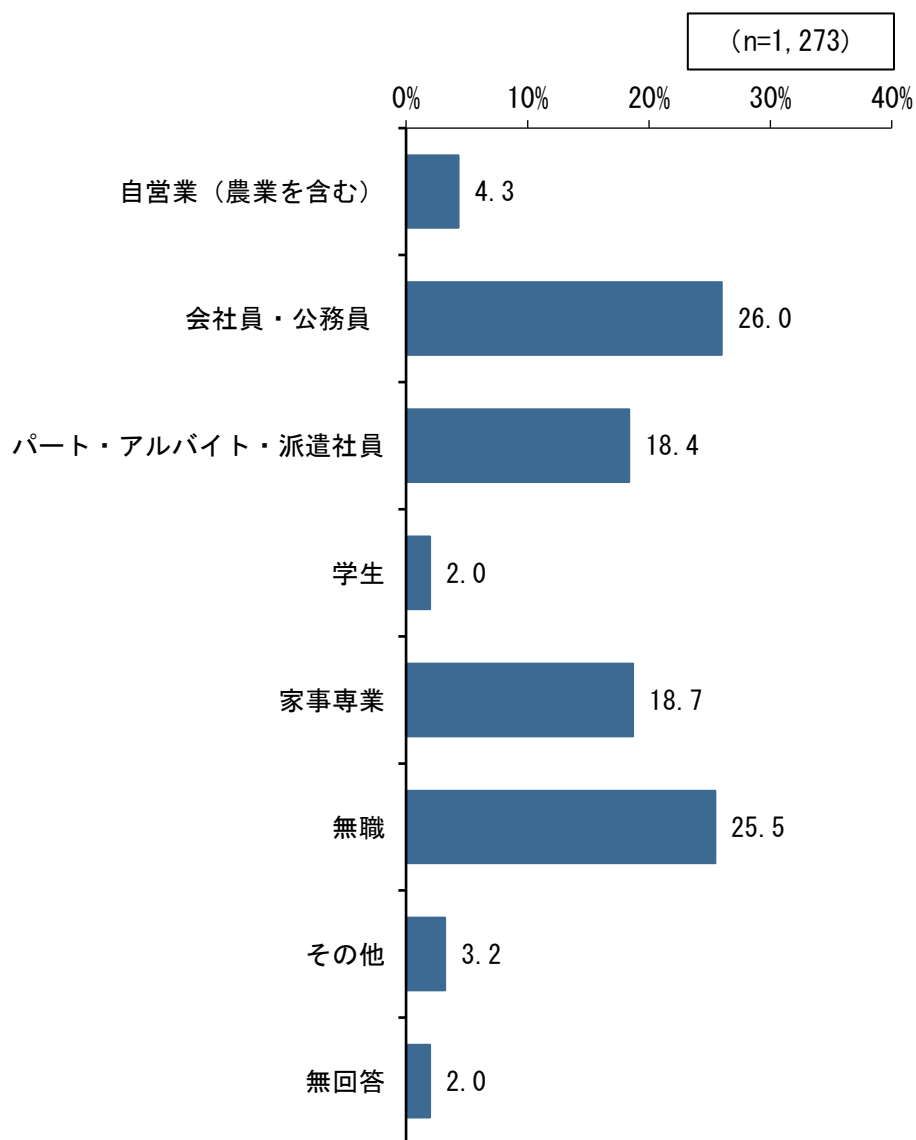
	枚方市		市民アンケート
	人口 (人)	構成比 (%)	構成比 (%)
20～30歳代	78,369	23.8	16.1
40～50歳代	114,937	34.9	29.7
60歳代以上	136,262	41.3	52.8
無回答	-	-	1.2
合計	329,568	100.0	100.0

(枚方市性別年齢別人口表 令和4年12月1日現在)

(2) 回答者属性 職業

	職業について、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
--	----------------------------------	------

「会社員・公務員」が26.0%で最も高く、次いで「無職」が25.5%、「家事専業」が18.7%と続いています。



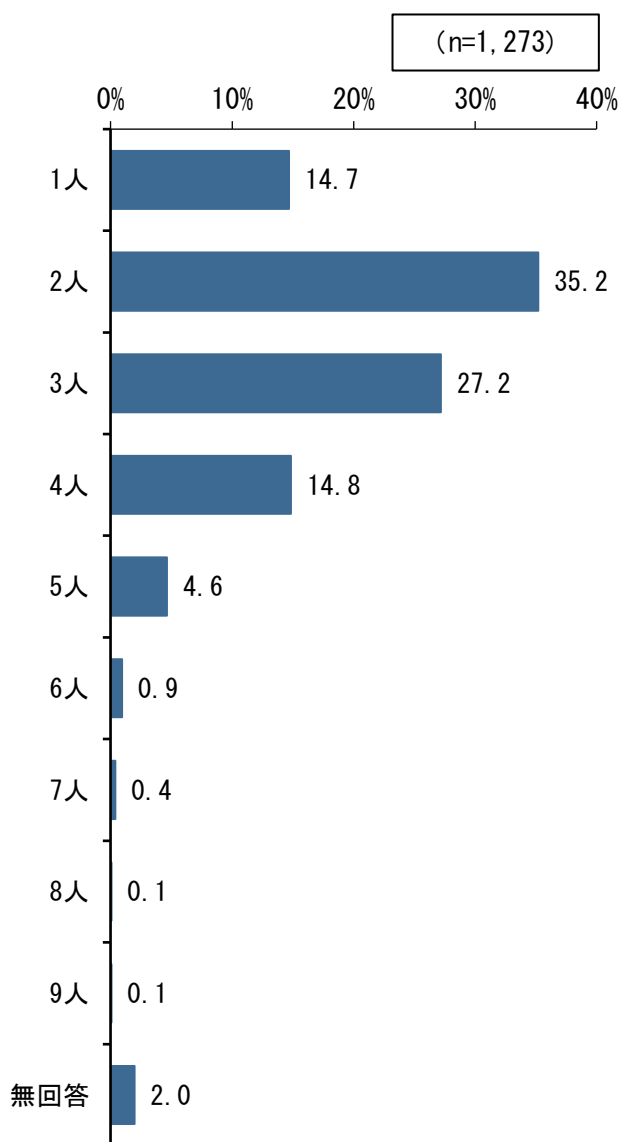
【回答者属性 職業 その他の内容】※一部抜粋

- ・年金生活者（5件）
- ・大学職員、教員、非常勤職員、他市の臨時職員（4件）
- ・サービス業、飲食業（3件）

(3) 回答者属性 世帯員の人数

	ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか（一時的に不在の方は含み、単身赴任、施設入所の方は除きます）。	数値記入
--	--	------

「2人」が35.2%で最も高く、次いで「3人」が27.2%、「4人」が14.8%と続いています。



(4) 食育への関心の有無

問 1	あなたは、「食育」に関心がありますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	--	------

【全体】

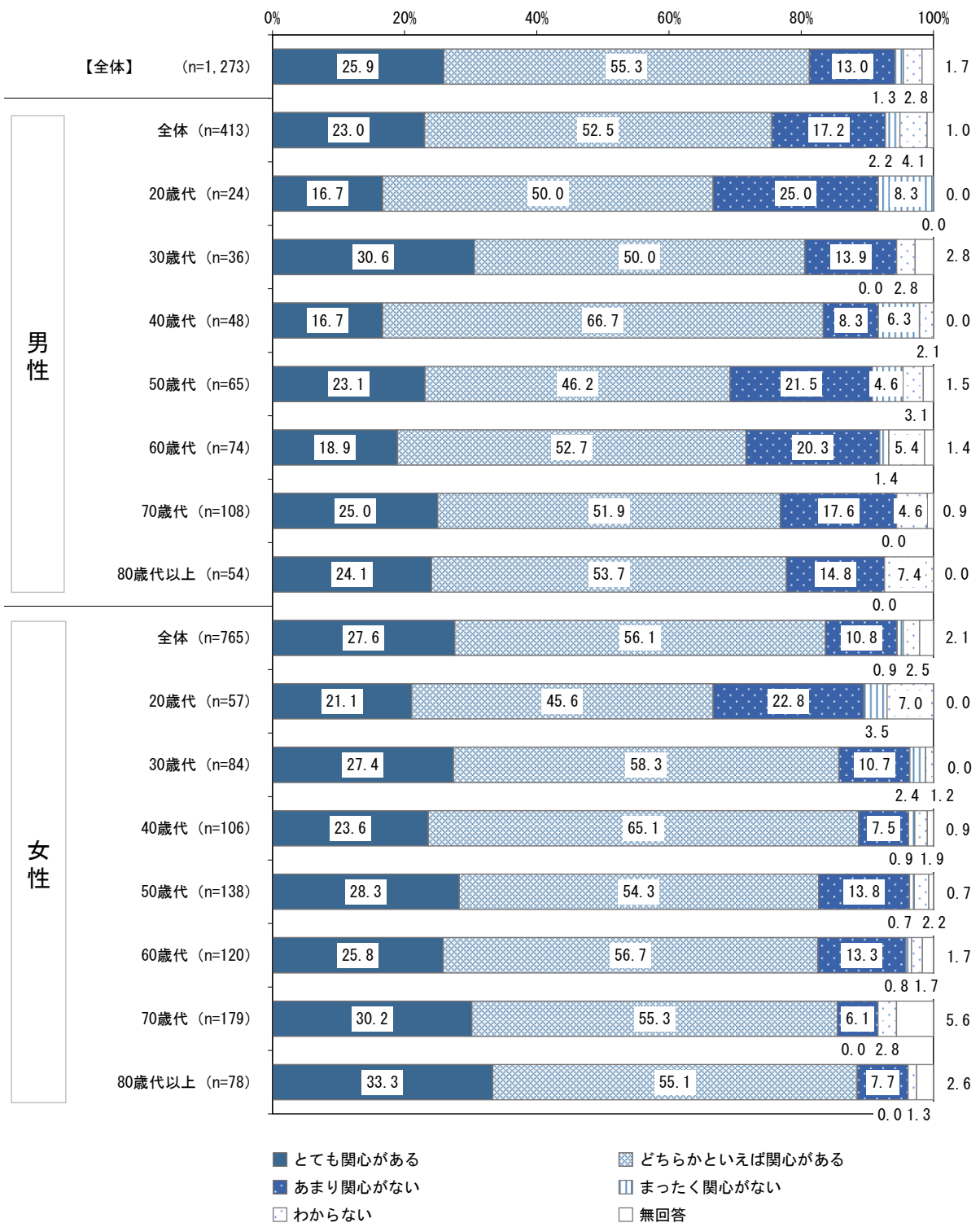
「どちらかといえば関心がある」が55.3%で最も高く、次いで「とても関心がある」が25.9%、「あまり関心がない」が13.0%と続いています。

また、『関心がある（「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）』は81.2%となっています。

【性別・年齢別】

●性別で見ると、『関心がある（「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）』については、女性（83.7%）が男性（75.5%）より8.2ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、『関心がある（「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）』については、男性では40歳代が83.3%で最も高く、女性では40歳代が88.7%で最も高くなっています。



(5) 「食」や「食育」に関して、気にしていること

問2	「食」や「食育」に関して、気にしていることは何ですか。 あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
----	---	---------

【全体】

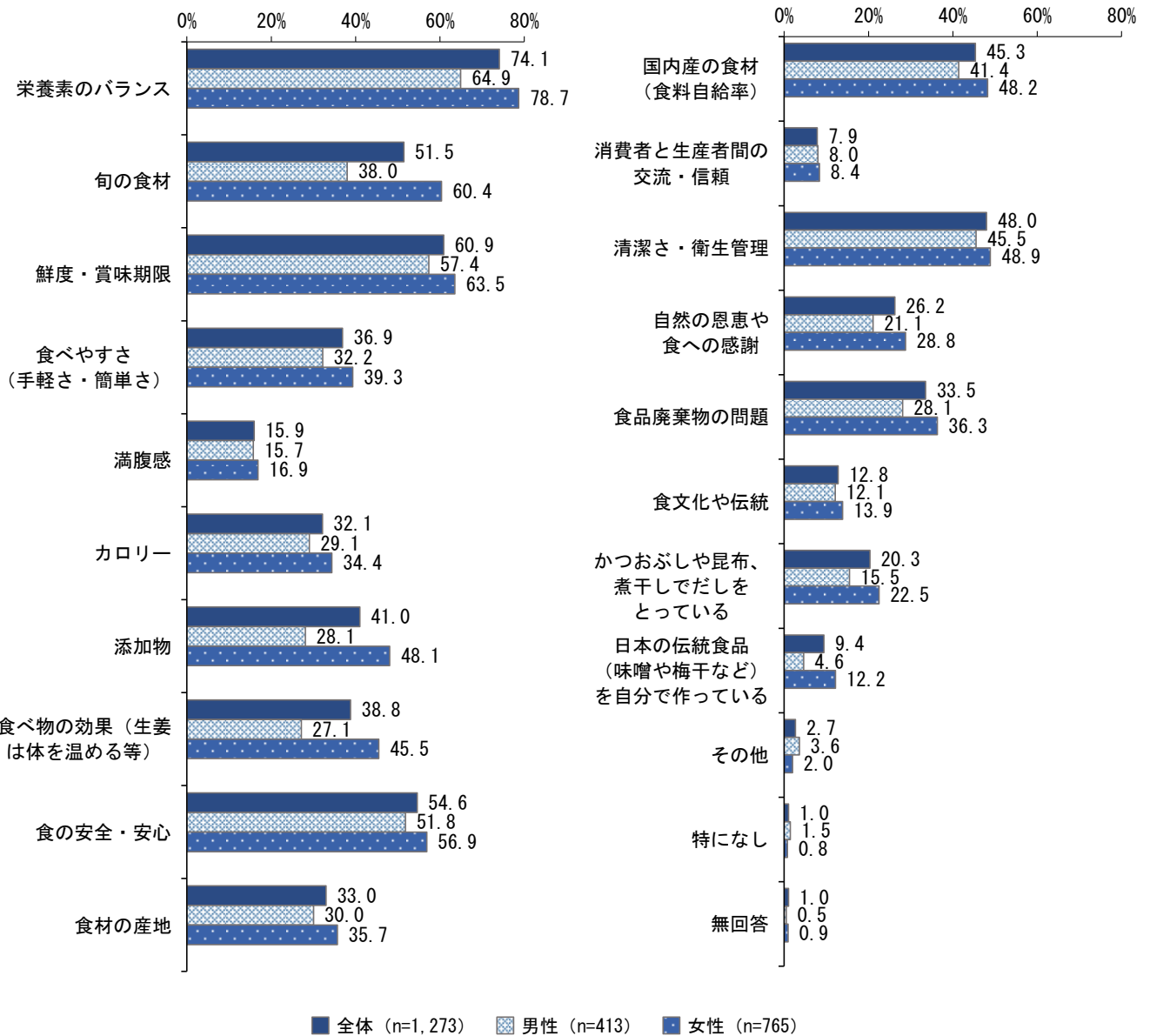
「栄養素のバランス」が74.1%で最も高く、次いで「鮮度・賞味期限」が60.9%、「食の安全・安心」が54.6%と続いています。」

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「旬の食材」では女性（60.4%）が男性（38.0）%より、22.4ポイント高くなっています。
 - 性別・年齢別で見ると、「添加物」について、男性では「40歳代」と「80歳代」が35%以上で他の年齢層より高く、女性では「70歳代」が65.4%で他の年齢層より高くなっています。
- また、「食べやすさ（手軽さ・簡単さ）」について、「30歳代」の女性が70.2%でほかの年齢層より高くなっています。

【問2「その他」の内容】※一部抜粋

- ・発酵食品・漬物（7件）
- ・美味しさ（7件）
- ・自家栽培（4件）



単位：%

	合計	栄養素のバランス	旬の食材	鮮度・賞味期限	食べやすさ(手軽さ・簡単さ)	満腹感	カロリー	添加物	食べ物の効果(生姜は体を温める等)	食の安全・安心	食材の産地	国内産の食材(食料自給率)	消費者と生産者間の交流・信頼	清潔さ・衛生管理	自然の恩恵や食への感謝	食品廃棄物の問題	食文化や伝統	かつおぶしや昆布、煮干しでだしをとっている	日本の伝統食品(味噌や梅干など)を自分で作っている	その他	特になし	無回答
全体	1,273	74.1	51.5	60.9	36.9	15.9	32.1	41.0	38.8	54.6	33.0	45.3	7.9	48.0	26.2	33.5	12.8	20.3	9.4	2.7	1.0	1.0
男性全体	413	64.9	38.0	57.4	32.2	15.7	29.1	28.1	27.1	51.8	30.0	41.4	8.0	45.5	21.1	28.1	12.1	15.5	4.6	3.6	1.5	0.5
20歳代	24	54.2	12.5	37.5	41.7	8.3	12.5	12.5	33.3	20.8	20.8	4.2	45.8	4.2	20.8	12.5	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	0.0
30歳代	36	63.9	36.1	63.9	33.3	13.9	30.6	19.4	22.2	52.8	41.7	36.1	13.9	50.0	25.0	22.2	19.4	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0
40歳代	48	66.7	43.8	54.2	33.3	29.2	41.7	35.4	31.3	54.2	39.6	50.0	6.3	50.0	14.6	22.9	16.7	10.4	8.3	4.2	0.0	0.0
50歳代	65	58.5	41.5	55.4	21.5	21.5	27.7	24.6	20.0	49.2	23.1	33.8	12.3	47.7	20.0	32.3	9.2	13.8	3.1	3.1	6.2	0.0
60歳代	74	67.6	37.8	59.5	33.8	9.5	24.3	28.4	35.1	55.4	20.3	40.5	6.8	45.9	20.3	20.3	10.8	13.5	4.1	4.1	1.4	0.0
70歳代	108	71.3	34.3	60.2	33.3	7.4	30.6	27.8	30.6	51.9	30.6	47.2	5.6	43.5	24.1	32.4	11.1	14.8	2.8	3.7	0.9	0.0
80歳代以上	54	59.3	48.1	59.3	35.2	11.1	29.6	37.0	24.1	53.7	35.2	44.4	9.3	40.7	29.6	37.0	11.1	31.5	9.3	3.7	0.0	1.9
女性全体	765	78.7	60.4	63.5	39.3	16.9	34.4	48.1	45.5	56.9	35.7	48.2	8.4	48.9	28.8	36.3	13.9	22.5	12.2	2.0	0.8	0.9
20歳代	57	56.1	31.6	54.4	52.6	35.1	28.1	21.1	26.3	33.3	17.5	15.8	1.8	38.6	21.1	28.1	3.5	5.3	1.8	0.0	3.5	0.0
30歳代	84	79.8	70.2	61.9	70.2	34.5	21.4	40.5	46.4	53.6	33.3	35.7	6.0	57.1	25.0	26.2	17.9	14.3	7.1	3.6	1.2	0.0
40歳代	106	84.0	60.4	54.7	45.3	22.6	26.4	39.6	38.7	57.5	33.0	43.4	10.4	38.7	26.4	32.1	20.8	15.1	13.2	1.9	0.0	0.0
50歳代	138	84.1	64.5	58.7	35.5	18.8	42.0	51.4	53.6	62.3	44.9	48.6	10.9	50.0	23.2	38.4	18.1	21.0	10.1	0.0	0.0	0.0
60歳代	120	79.2	59.2	62.5	32.5	5.8	35.8	50.0	48.3	59.2	34.2	52.5	4.2	45.8	29.2	40.8	10.0	20.0	14.2	0.0	0.8	0.0
70歳代	179	79.9	66.5	75.4	27.9	8.4	41.9	65.4	48.0	60.8	39.1	64.2	11.7	56.4	34.6	41.9	14.0	31.8	15.1	3.9	0.0	1.1
80歳代以上	78	73.1	52.6	66.7	30.8	7.7	30.8	38.5	42.3	55.1	33.3	48.7	7.7	46.2	37.2	35.9	5.1	37.2	17.9	3.8	2.6	6.4

※網掛けは上位3項目

(6)「食育」に関する活動や行動

問3	日ごろから、下記（枠内）のような活動や行動をしていますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
----	--	------

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ■ 食事の栄養バランスに気をつけている | ■ 食文化やマナーを他者に伝えている |
| ■ 安全な食品を購入するようにしている | ■ 食に関して、環境への配慮をしている |
| ■ 農業生産・加工活動への参加や体験をしている | ■ 食に関する活動に参加している |

【全体】

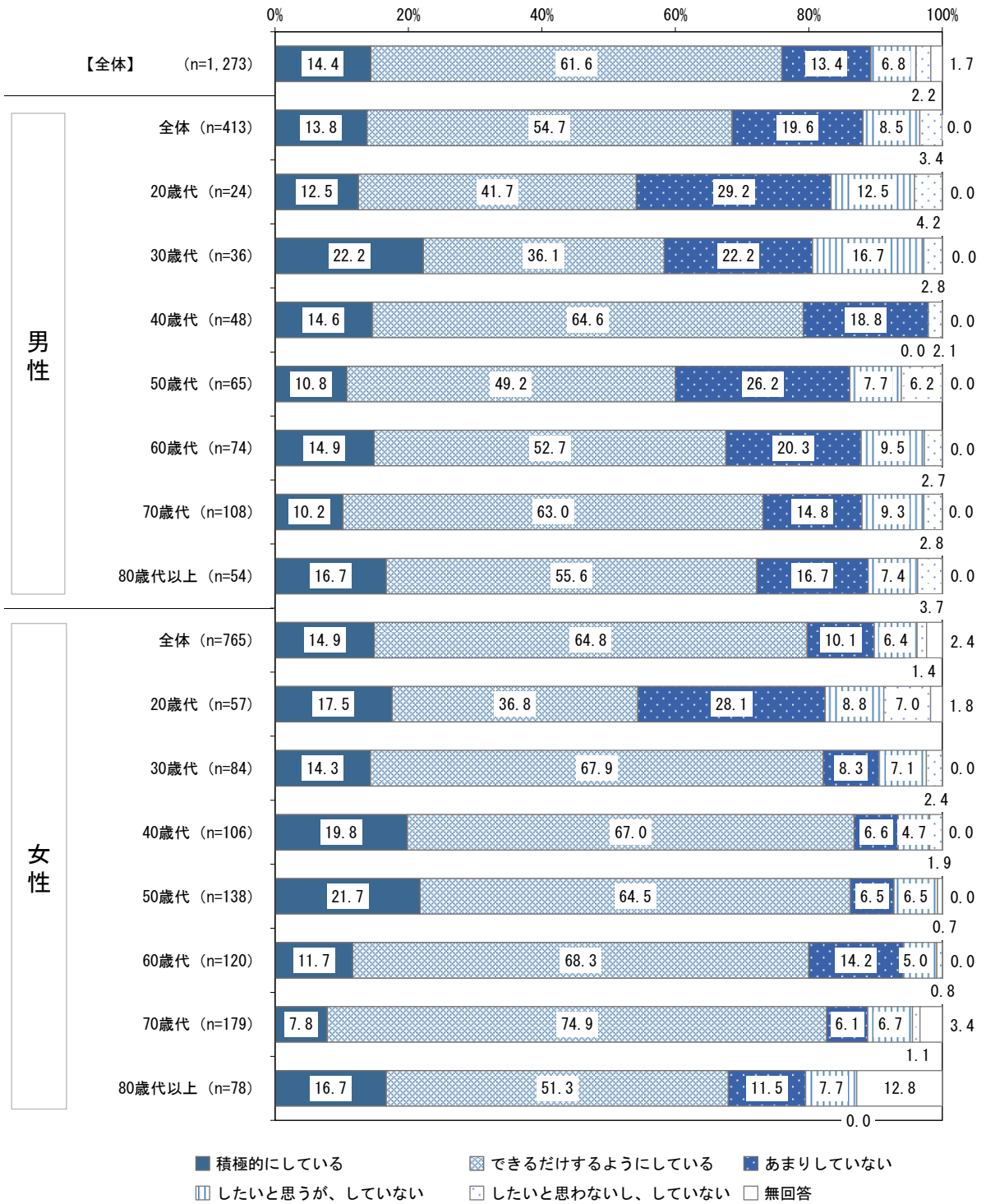
上記（枠内）のような「食育」に関する活動や行動をしているかについては、「できるだけするようにしている」が61.6%で最も高く、次いで「積極的にしている」が14.4%、「あまりしていない」が13.4%と続いています。

また、『している（「積極的にしている」と「できるだけするようにしている」の合計）』は、76.0%となっています。

【性別・年齢別】

●性別で見ると、『している（「積極的にしている」と「できるだけするようにしている」の合計）』では、女性（79.7%）が男性（68.5%）で11.2ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、『している（「積極的にしている」と「できるだけするようにしている」の合計）』では、男性では40歳代が79.2%で最も高く、女性では40歳代が86.8%で最も高くなっています。



(7) 毎日朝食を食べているか

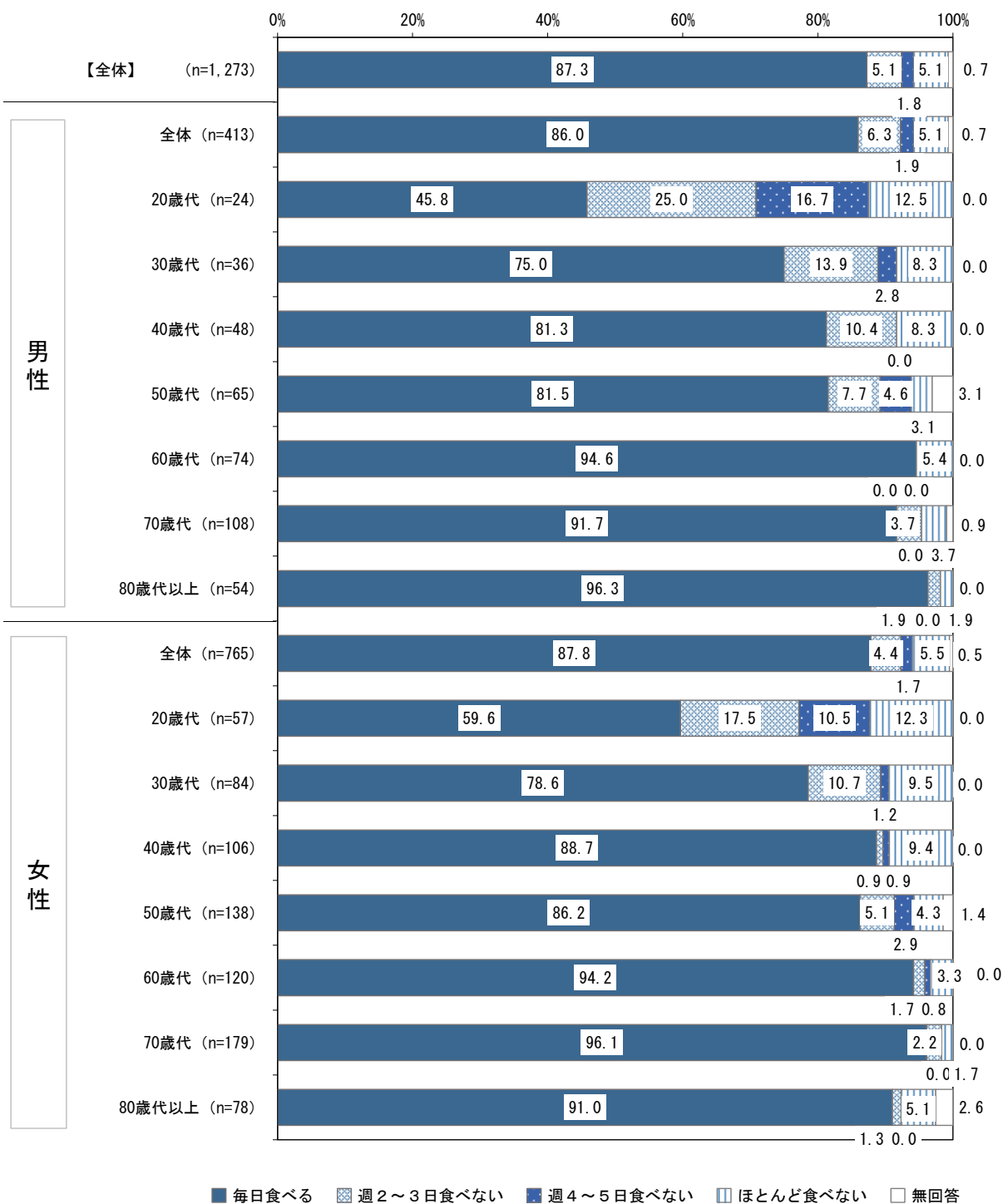
問 4-1	毎日朝食を食べていますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-------	--	------

【全体】

「毎日食べる」が87.3%で最も高く、次いで「週2～3日食べない」「ほとんど食べない」が5.1%、「週4～5日食べない」が1.8%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「毎日食べる」が最も高く、女性(87.8%)が男性(86.0%)より1.8ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「毎日食べる」について、男性では80歳代以上が96.3%で最も高く、女性では70歳代が96.1%で最も高くなっています。



(8) 朝食を食べない時の理由

問 4-2	<p>問 4-1 で、「2. 週 2～3 日 食べない」「3. 週 4～5 日 食べない」「4. ほとんど 食べない」に○をつけた方にお聞きします。</p> <p>あなたが朝食を食べない時の理由は何ですか。</p> <p>あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。</p>	○はいくつでも
-------	---	---------

【全体】

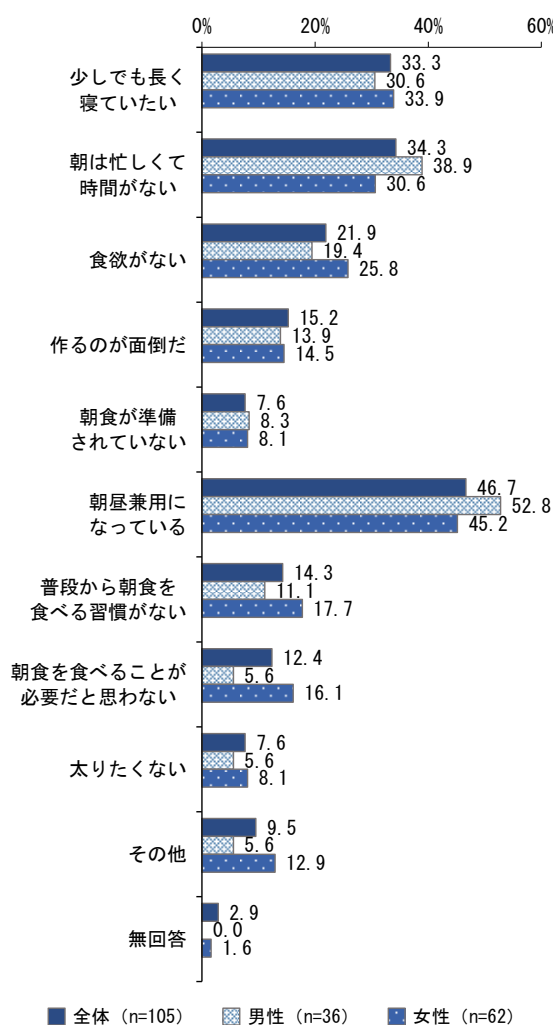
朝食を食べない時の理由については、「朝昼兼用になっている」が46.7%で最も高く、次いで「朝は忙しくて時間がない」が34.3%、「少しでも長く寝たい」が33.3%と続いています。

【性別・年齢別】

●性別で見ると、男女ともに「朝昼兼用になっている」が最も高く、男性(52.8%)が女性(45.2%)より7.6ポイント高くなっています。

【問 4-2 その他の内容】※一部抜粋

- ・健康のため (3件)
- ・飲み物と少しの固形物のみ (2件)
- ・ダイエット (1件)



単位: %

	合計	い少しでも長く寝ていた	朝は忙しくて時間がない	食欲がない	作るのが面倒だ	朝食が準備されていない	朝昼兼用になっている	普段から朝食を食べる習慣がない	朝食を食べることが必要だと思わない	太りたくない	その他	無回答
全体	105	33.3	34.3	21.9	15.2	7.6	46.7	14.3	12.4	7.6	9.5	2.9
男性全体	36	30.6	38.9	19.4	13.9	8.3	52.8	11.1	5.6	5.6	5.6	0.0
20歳代	6	66.7	50.0	16.7	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
30歳代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
40歳代	6	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	9	33.3	77.8	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
60歳代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
70歳代	8	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	62.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
80歳代以上	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性全体	62	33.9	30.6	25.8	14.5	8.1	45.2	17.7	16.1	8.1	12.9	1.6
20歳代	13	69.2	46.2	30.8	30.8	23.1	61.5	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0
30歳代	9	33.3	55.6	33.3	22.2	0.0	33.3	11.1	33.3	11.1	22.2	0.0
40歳代	7	0.0	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0
50歳代	16	25.0	31.3	12.5	6.3	0.0	43.8	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0
60歳代	7	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	42.9	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0
70歳代	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7
80歳代以上	4	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けは上位3項目

(9) 主食について

問5	あなたの主食（ごはん、パンなど）は何ですか。よく食べるものについて、朝食、昼食、夕食ごとにあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
----	--	------

【朝食・全体】

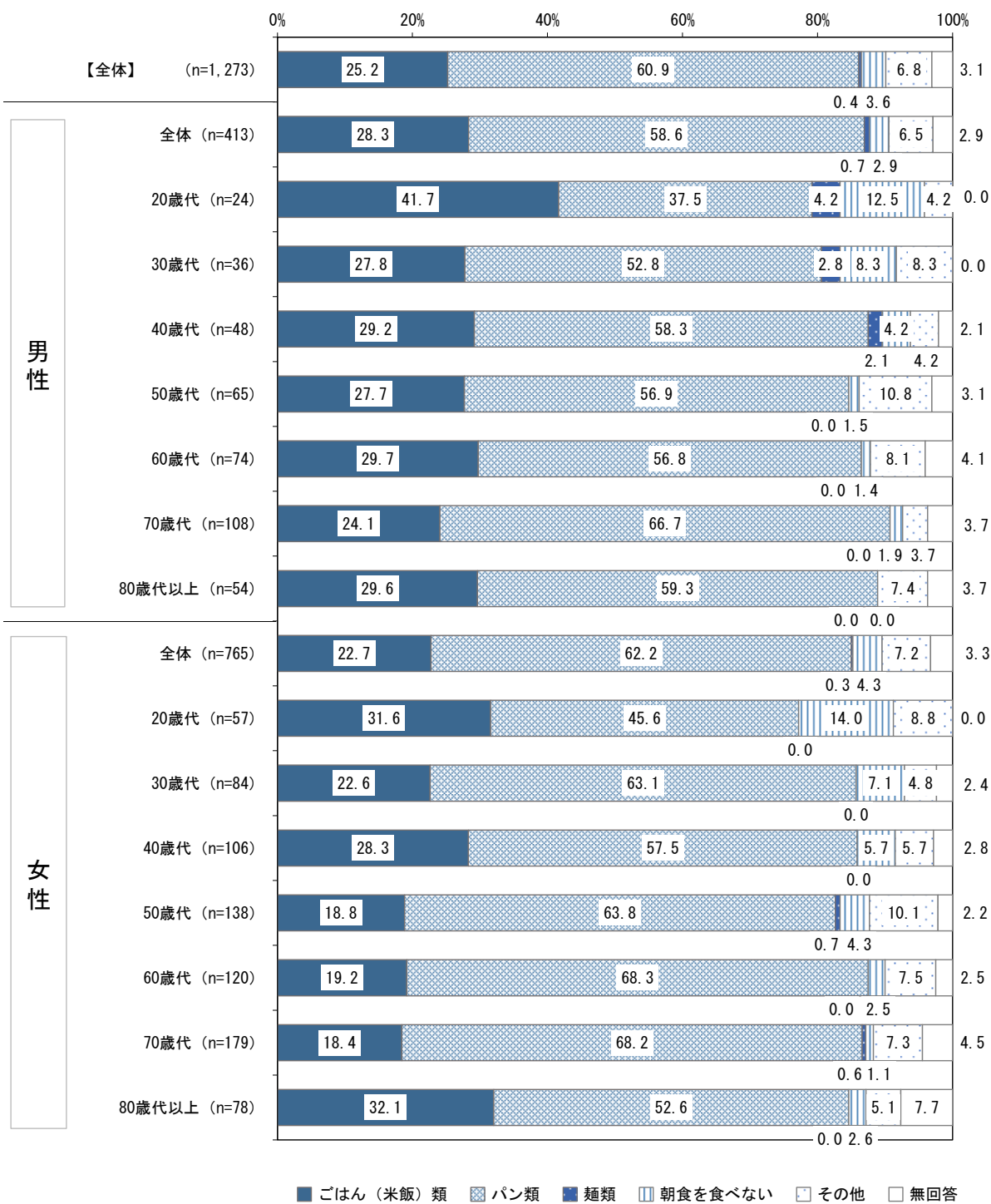
朝食でよく食べるものについては、「パン類」が60.9%で最も高く、次いで「ごはん（米飯）類」が25.2%、「その他」が6.8%と続いています。

【朝食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「パン類」が最も高く、女性（62.2%）が男性（58.6%）より3.6ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「パン類」について、男性では70歳代が60%以上、女性では30歳代と50歳代～70歳代が60%以上となっています。

【問5・朝食 その他の内容】※一部抜粋

- ・果物または果物＋乳製品、果物＋野菜、果物＋その他等（23件）
- ・シリアルまたはシリアル＋乳製品等（13件）
- ・乳製品または乳製品＋その他等（7件）



【昼食・全体】

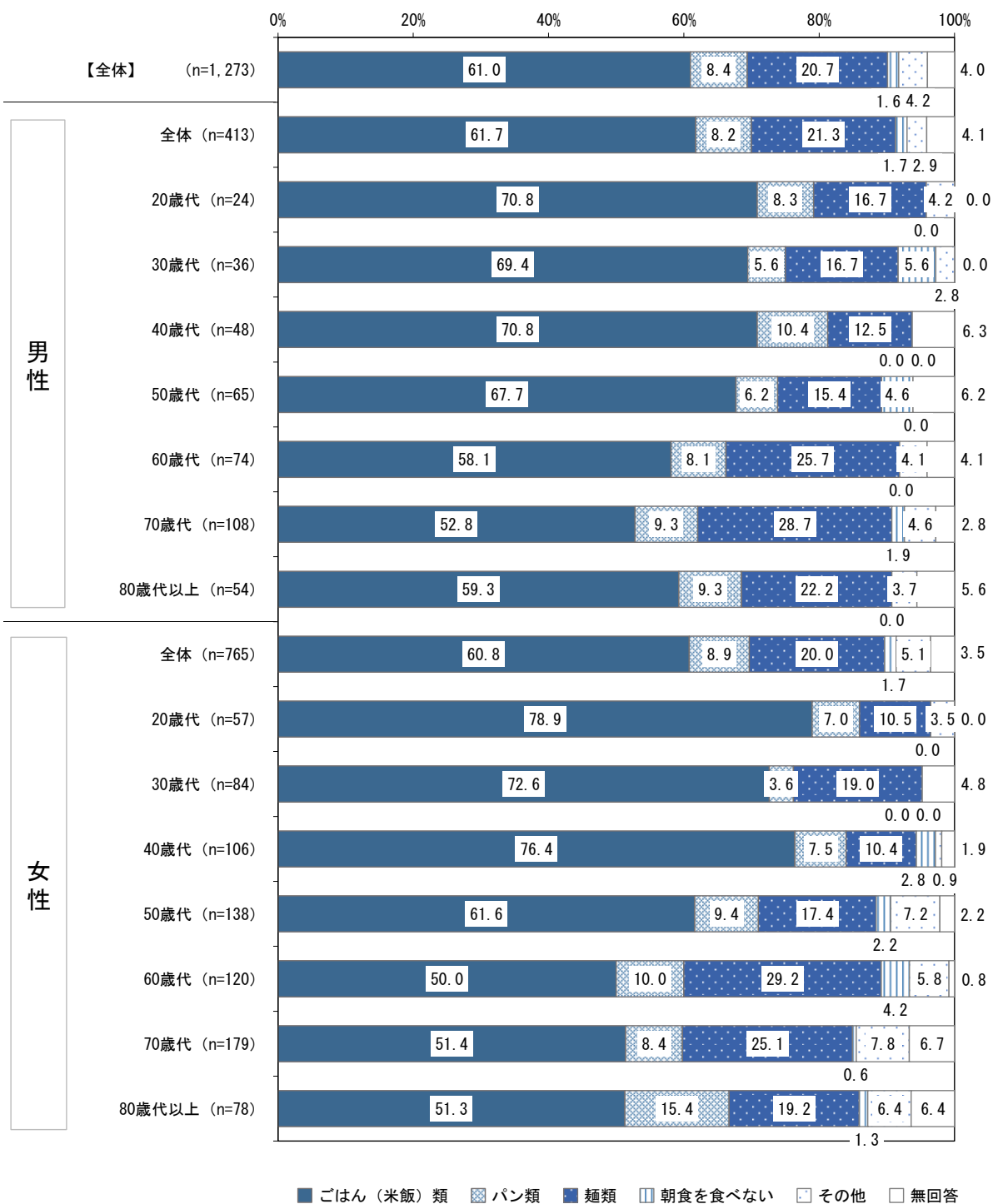
昼食でよく食べるものについては、「ごはん（米飯）類」が61.0%で最も高く、次いで「麺類」が20.7%、「パン類」が8.4%と続いています。

【昼食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「ごはん（米飯）類」が最も高く、男性が61.7%、女性が60.8%となっています。
 - 性別・年齢別で見ると、「ごはん（米飯）類」について、男性では20歳代と40歳代が70.8%で最も高く、女性では20歳代が78.9%で最も高くなっています。
- また、60歳代以上では男女ともに「ごはん（米飯）類」の割合がほかの年齢層よりも低く、「麺類」の割合が高くなっています。

【問5・昼食 その他の内容】※一部抜粋

- ・その時々によって違う（13件）
- ・ご飯・パン・餅・麺類（12件）
- ・野菜（6件）



【夕食・全体】

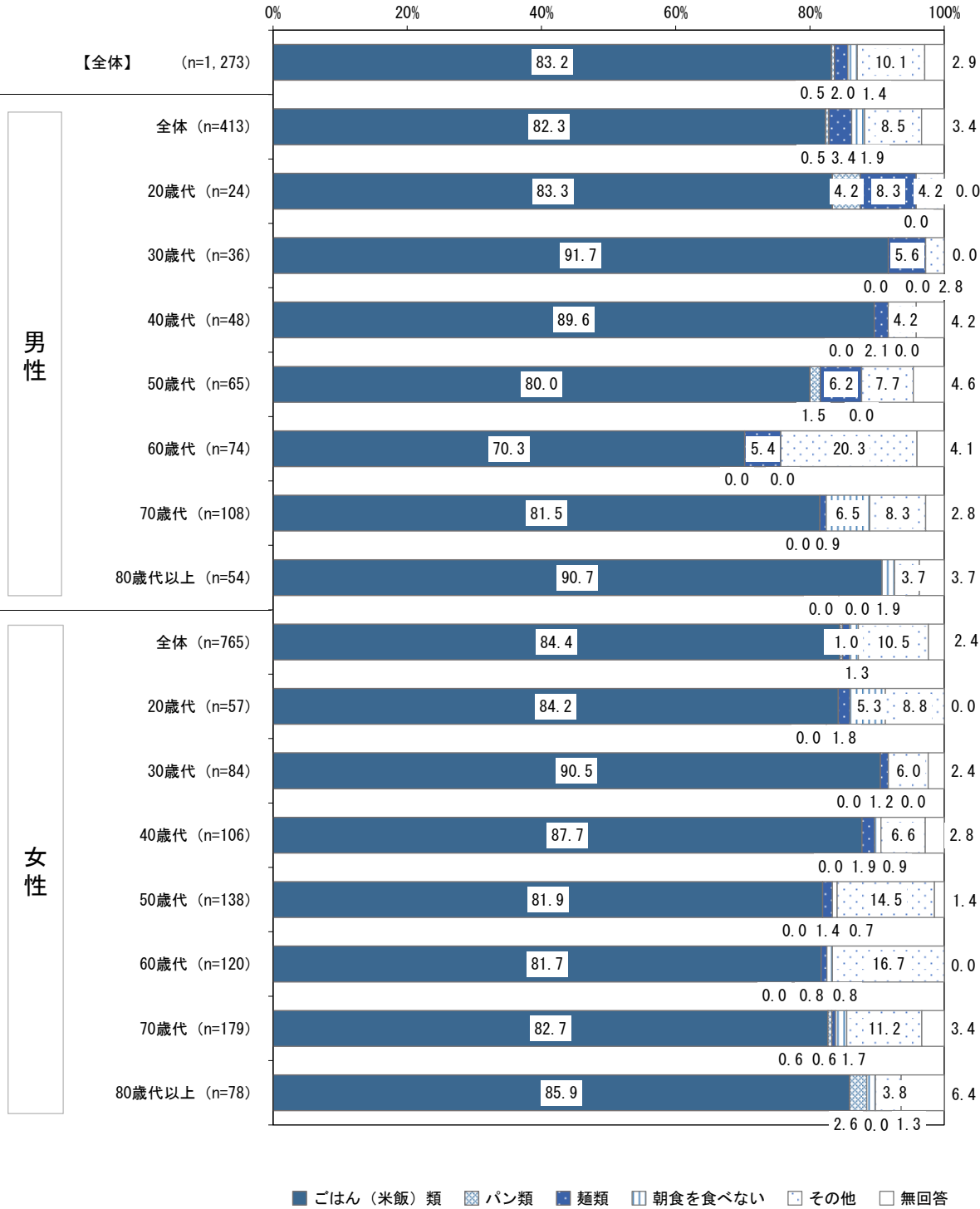
夕食でよく食べるものについては、「ごはん（米飯）類」が83.2%で最も高く、次いで「その他」が10.1%、「麺類」が2.0%と続いています。

【夕食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「ごはん（米飯）類」が最も高く、男性が82.3%、女性が84.4%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、「ごはん（米飯）類」については、男性では30歳代が91.7%で最も高く、女性では30歳代が90.5%で最も高くなっています。

【問5・夕食 その他の内容】※一部抜粋

- ・主食なし（副食のみ）（52件）
- ・アルコール+肴（副食のみ）（18件）
- ・野菜（14件）



(10) 主食・主菜・副菜がそろっているか

問6	あなたのふだんの食事は、下記の①～③がすべてそろったものになっていますか？ 朝食、昼食、夕食ごとにあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
----	---	------

①主食：ごはん（米飯）・パン・麺などのいずれか ②主菜：魚・肉・卵・大豆・大豆製品のいずれか ③副菜：野菜（果物、漬物、野菜ジュースや薬味・飾り程度の量の場合は除く）

【朝食・全体】

主食・主菜・副菜がそろっているかどうかについては、「そろっていない」が55.5%、「そろっている」が41.7%となっています。

また、主食が「ごはん（米飯）類」の人では「そろっている」が59.2%となっており、他を主食としている人と比べ高くなっています。

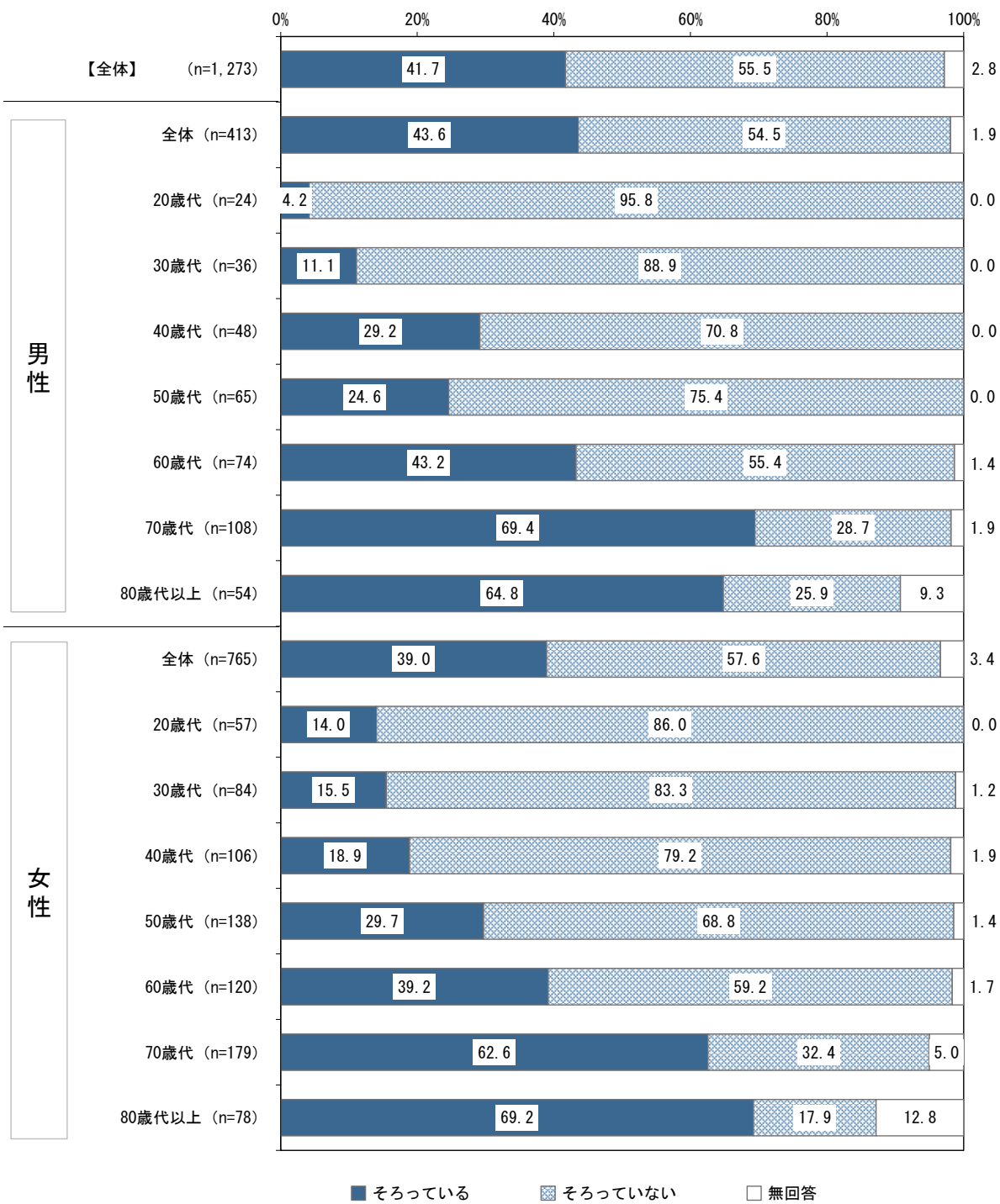
『食育に関心がある人』では「そろっている」が42.6%となっており、『食育に関心がない人』（33.1%）と比べ9.5ポイント高くなっています。

【朝食・性別・年齢別】

●性別で見ると、「そろっている」については、男性（43.6%）が女性（39.0%）より4.6ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、「そろっている」については、男性では20～30歳代は20%未満となっていますが、70歳代以上では60%を超えています。

女性では、年齢が上がるにつれて「そろっている」割合が高くなっています。



【昼食・全体】

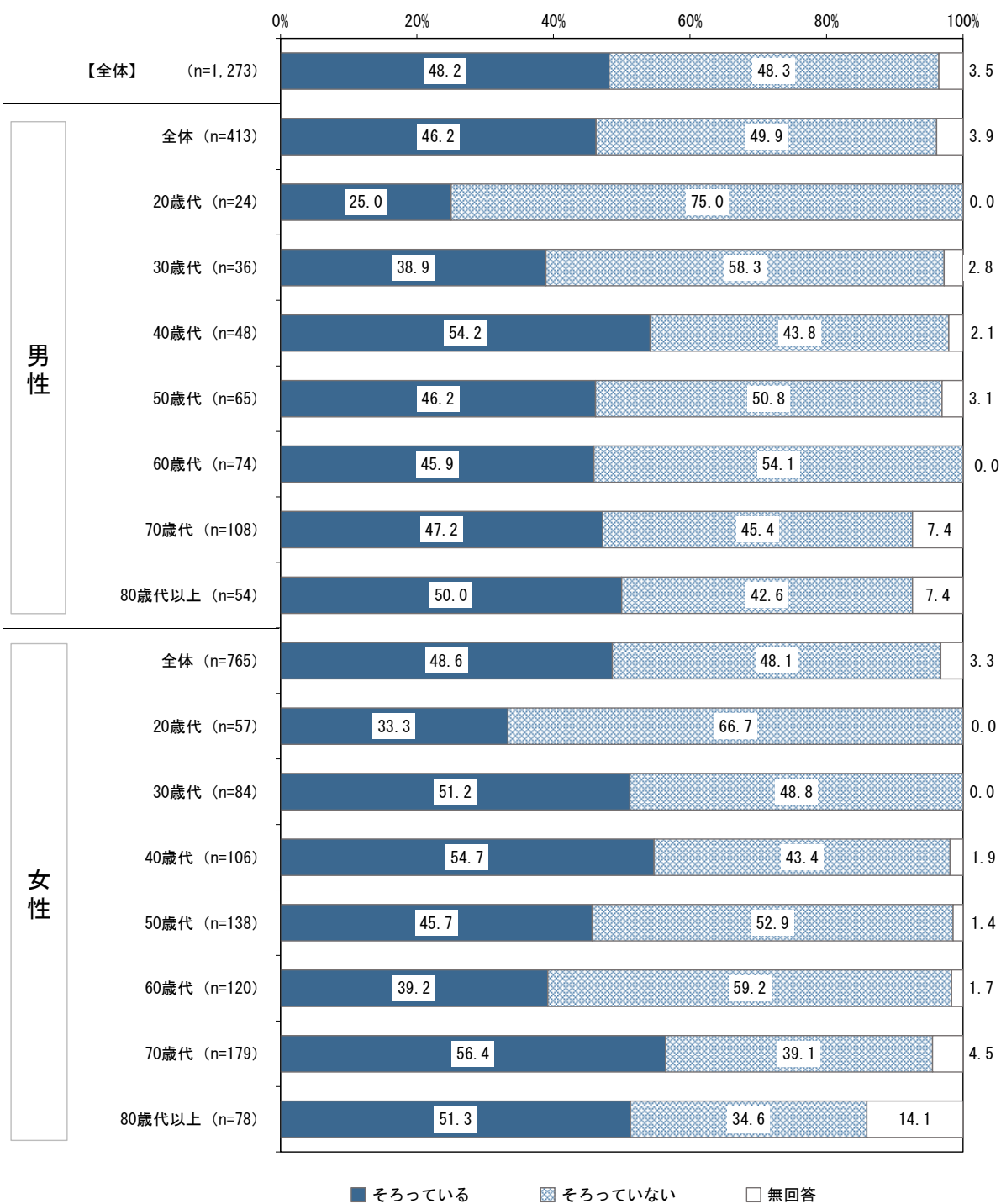
主食・主菜・副菜がそろっているかどうかについては、「そろっていない」が48.3%、「そろっている」が48.2%となっています。

また、主食が「ごはん（米飯）類」の人では「そろっている」が60.3%となっており、他を主食としている人と比べ高くなっています。

『食育に関心がある人』では「そろっている」が50.1%となっており、『食育に関心がない人』（36.5%）と比べ13.6ポイント高くなっています。

【昼食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、「そろっている」については、女性（48.6%）が男性（46.2%）より2.4ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「そろっている」については、男性では40歳代と80歳代以上で50%を超えており、女性では30歳代、40歳代、70歳代、80歳代以上で50%を超えています。



【夕食・全体】

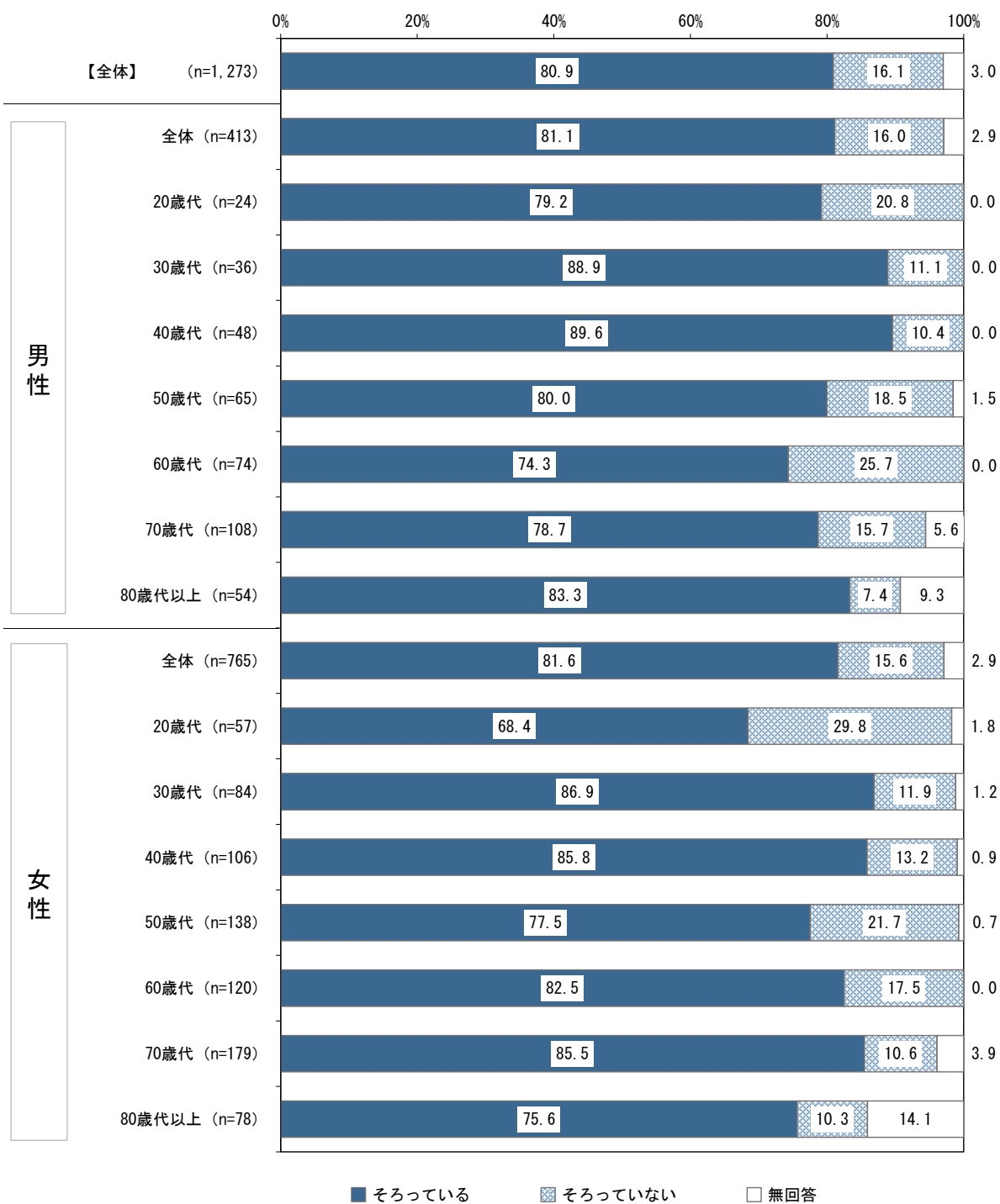
主食・主菜・副菜がそろっているかどうかについては、「そろっている」が80.9%、「そろっていない」が16.1%となっています。

また、主食が「ごはん（米飯）類」の人では「そろっている」が88.6%となっており、他を主食としている人と比べ高くなっています。

『食育に関心がある人』では「そろっている」が83.1%となっており、『食育に関心がない人』（68.0%）と比べ15.1ポイント高くなっています。

【夕食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、「そろっている」については、男性が81.1%、女性が81.6%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、「そろっている」については、男性では30歳代、40歳代、50歳代、80歳代以上が80%を超えており、女性では30歳代、40歳代、60歳代、70歳代が80%を超えています。



(11) 毎日の野菜の摂取量

問7	あなたは、毎日野菜をどのくらい食べていますか。1食あたりの平均の量について、朝食、昼食、夕食ごとにあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
----	--	------

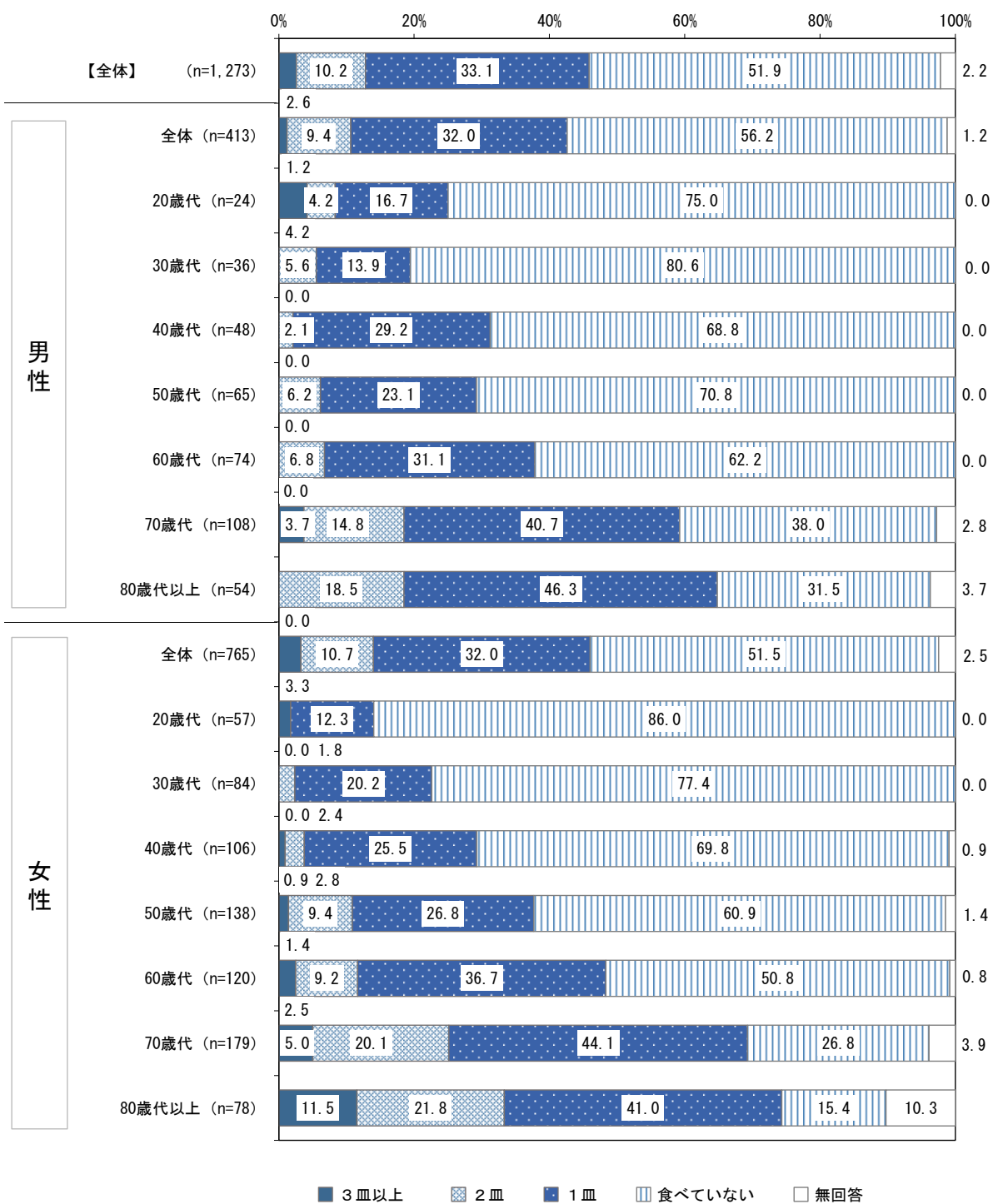
【朝食・全体】

毎日野菜をどのくらい食べているかについては、「食べていない」が51.9%で最も高く、次いで「1皿」が33.1%、「2皿」が10.2%と続いています。

また、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』では、45.9%となっています。

【朝食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』では、女性（46.0%）が男性（42.6%）より3.4ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』については、男性の80歳代が64.8%で最も高く、女性では年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、80歳代以上で74.3%と最も高くなっています。



【昼食・全体】

毎日野菜をどのくらい食べているかについては、「1皿」が48.5%で最も高く、次いで「食べていない」が28.8%、「2皿」が16.7%と続いています。

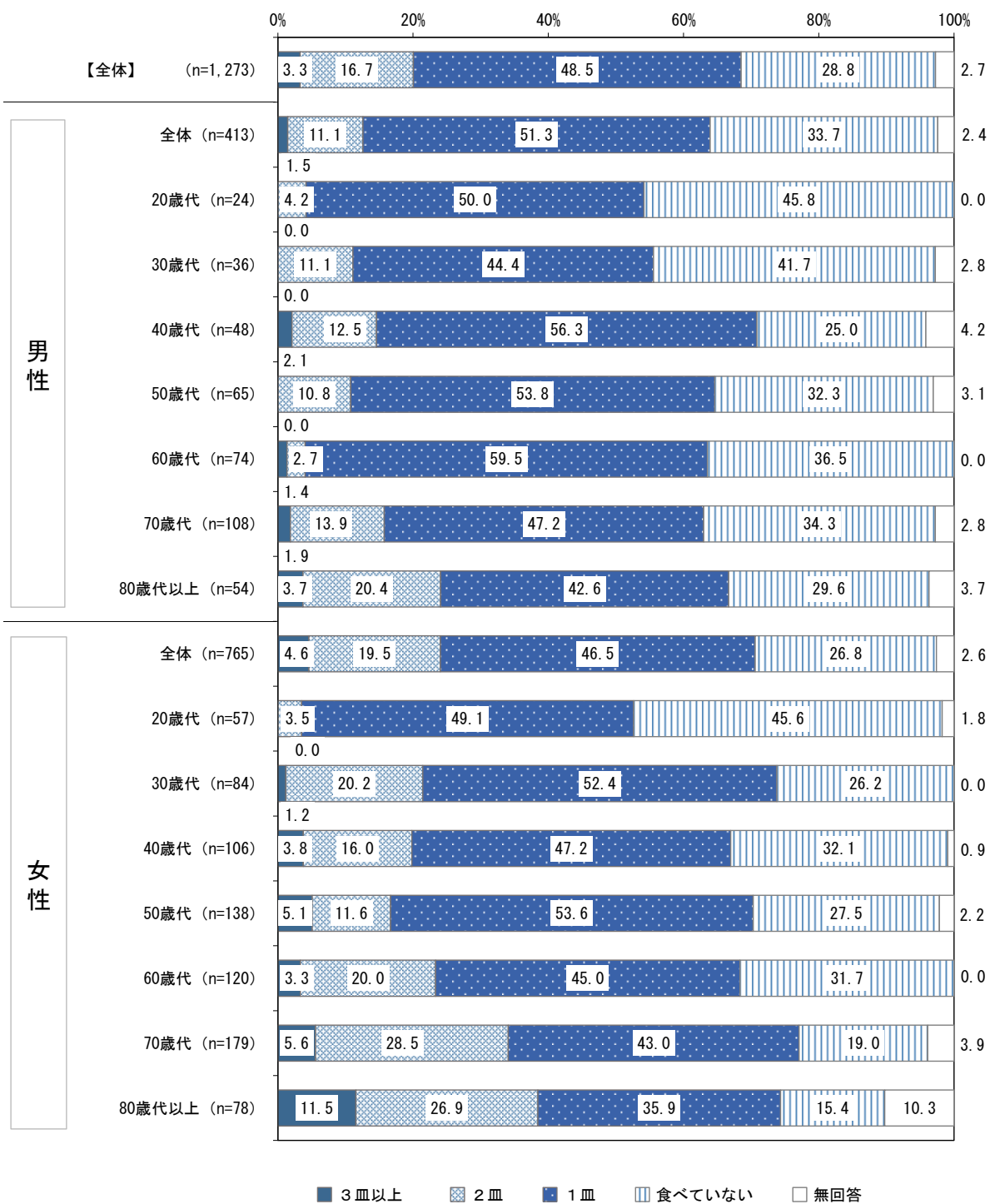
また、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』では、68.5%となっています。

【昼食・性別・年齢別】

●性別で見ると、男女ともに「1皿」が最も高く、男性（51.3%）が女性（46.5%）より4.8ポイント高くなっています。

一方、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』では、女性（70.6%）が男性（63.9%）より6.7ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』については、男性では40歳代が70.8%で最も高く、女性では30歳代、50歳代、70歳代、80歳代以上が70%を超えています。



【夕食・全体】

毎日野菜をどのくらい食べているかについては、「2皿」が42.3%で最も高く、次いで「1皿」が32.8%、「3皿以上」が19.5%と続いています。

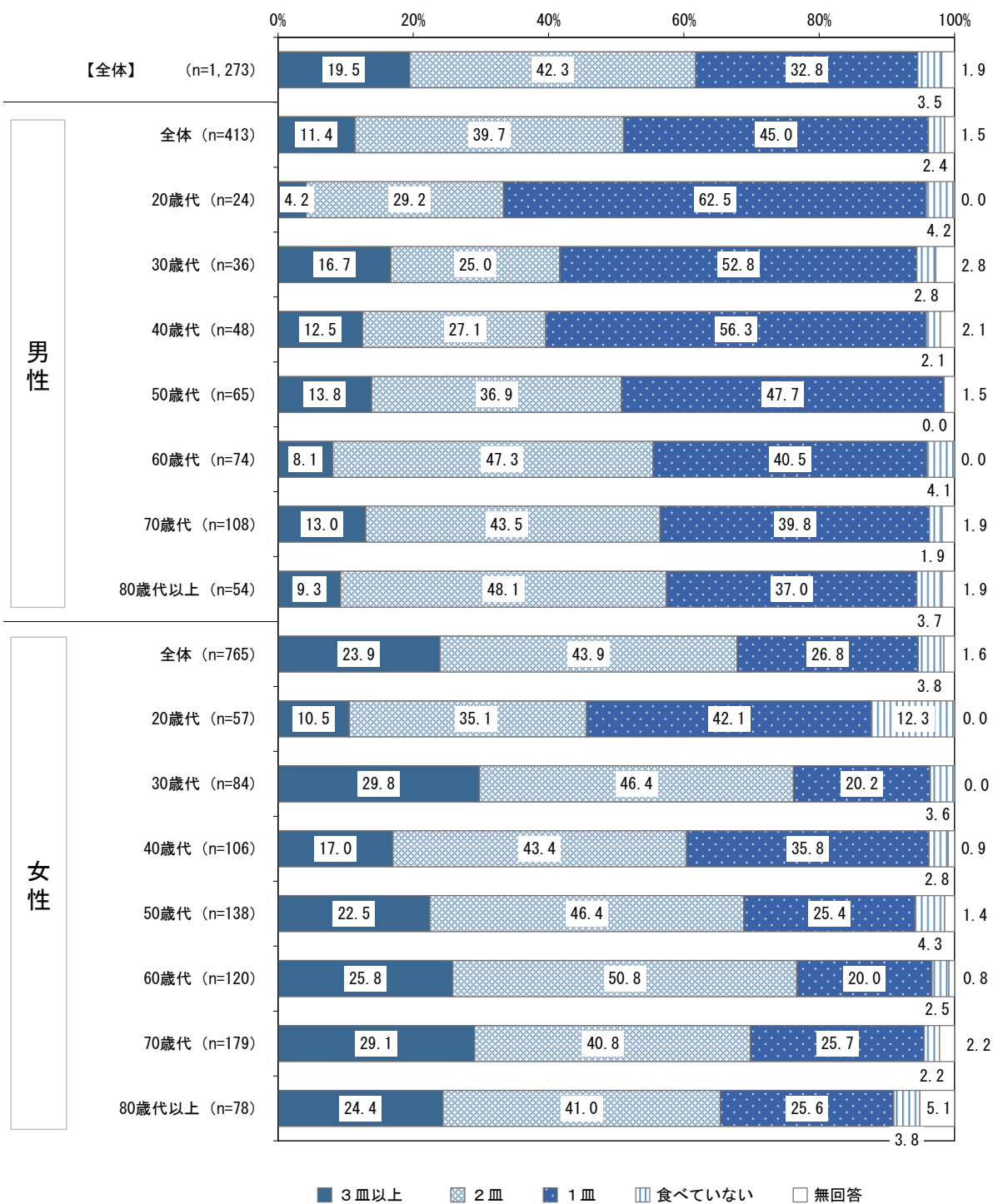
また、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』では、94.6%となっています。

【夕食・性別・年齢別】

●性別で見ると、男性では「1皿」が45.0%で最も高く、女性では「2皿」が43.9%で最も高くなっています。

また、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』では、男性（96.1%）、女性（94.6%）であり、男女ともに90%を超えています。

●性別・年齢別で見ると、『食べている（「3皿以上」、「2皿」、「1皿」の合計）』については、男性の年齢別では、全ての年齢で90%を超えており、女性の年齢別では20歳代を除く全ての年齢で90%を超えています。



(12) 果物の摂取頻度

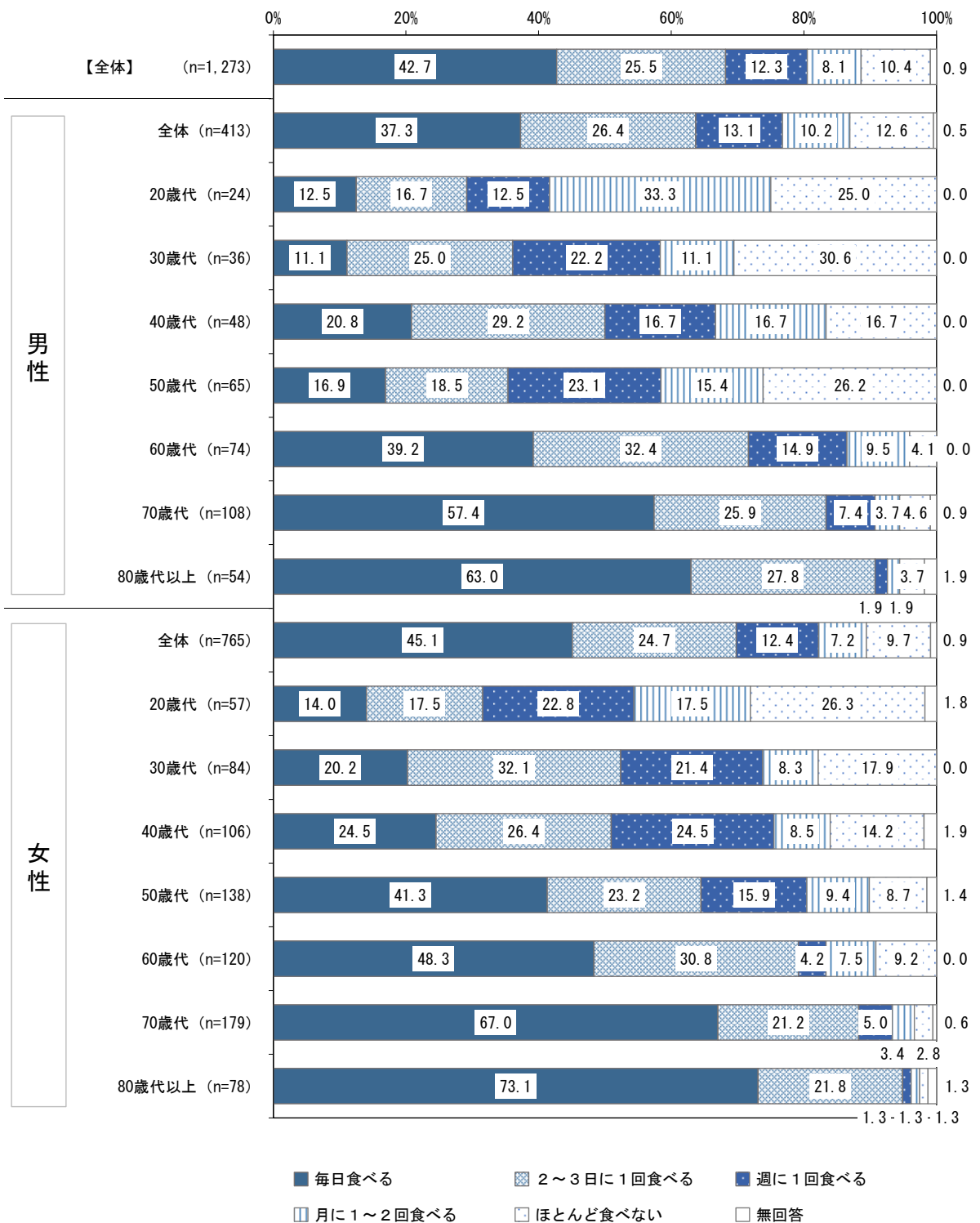
問 8	あなたは、果物をどのくらい食べていますか。食べる頻度について、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	--	------

【全体】

「毎日食べる」が42.7%で最も高く、次いで「2～3日に1回食べる」が25.5%、「週に1回食べる」が12.3%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「毎日食べる」が最も高く、女性(45.1%)が男性(37.3%)より7.8ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「毎日食べる」について、男性では80歳代以上が63.0%で最も高く、女性では年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。



(13) 適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践の有無

問 9	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	---	------

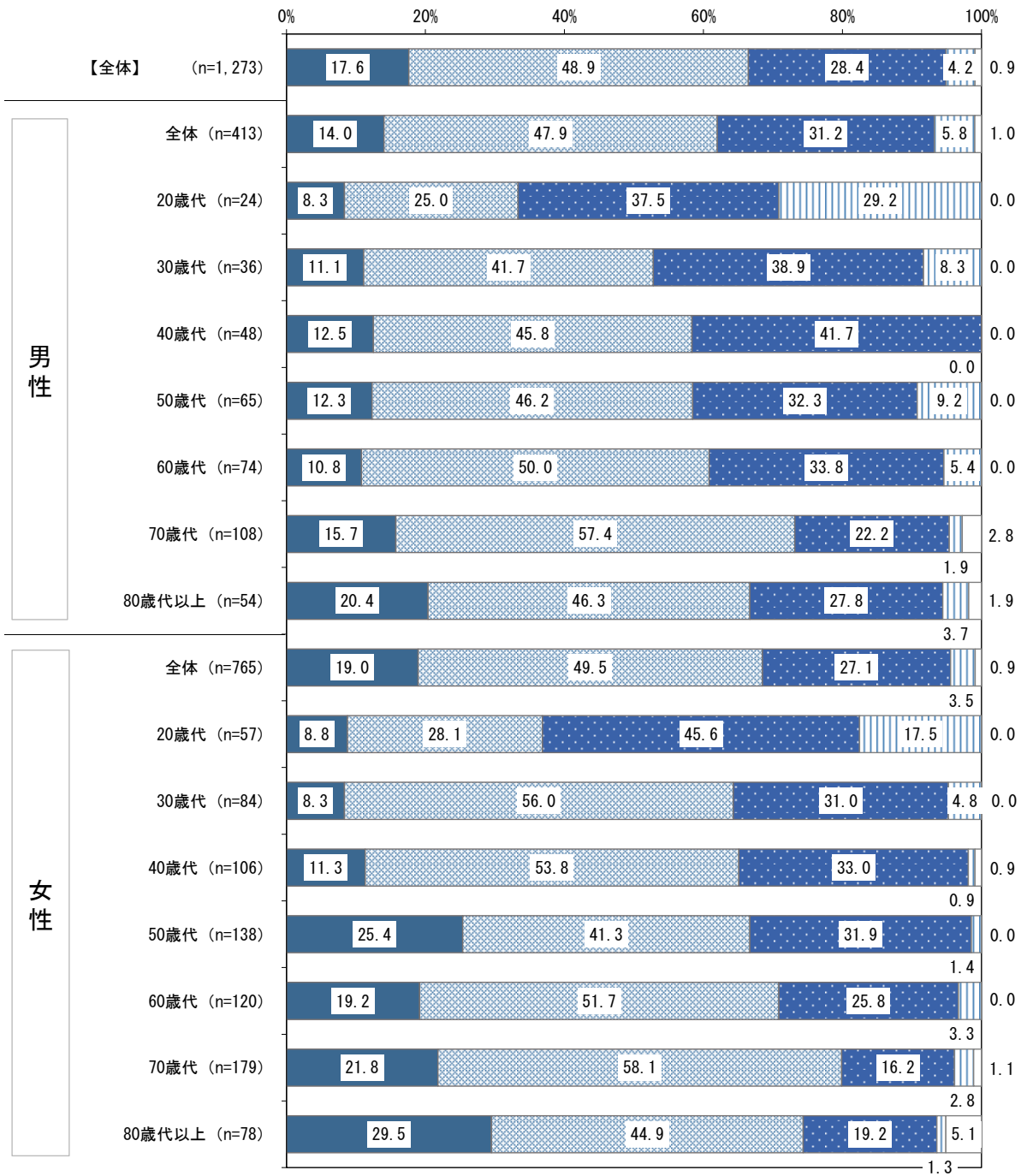
【全体】

「気をつけて実践している」が48.9%で最も高く、次いで「あまり気をつけて実践していない」が28.4%、「いつも気をつけて実践している」が17.6%と続いています。

また、『実践している（「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」の合計）』では、66.5%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、『実践している（「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」の合計）』では、女性（68.5%）が男性（62.0%）より6.5ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、『実践している（「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」の合計）』では、男性では70歳代が73.1%で最も高く、女性では60歳代、70歳代、80歳代が70%を超えています。



(14) 食事をゆっくりよくかんで食べているか

問10	食事をゆっくりよくかんで食べていますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	---	------

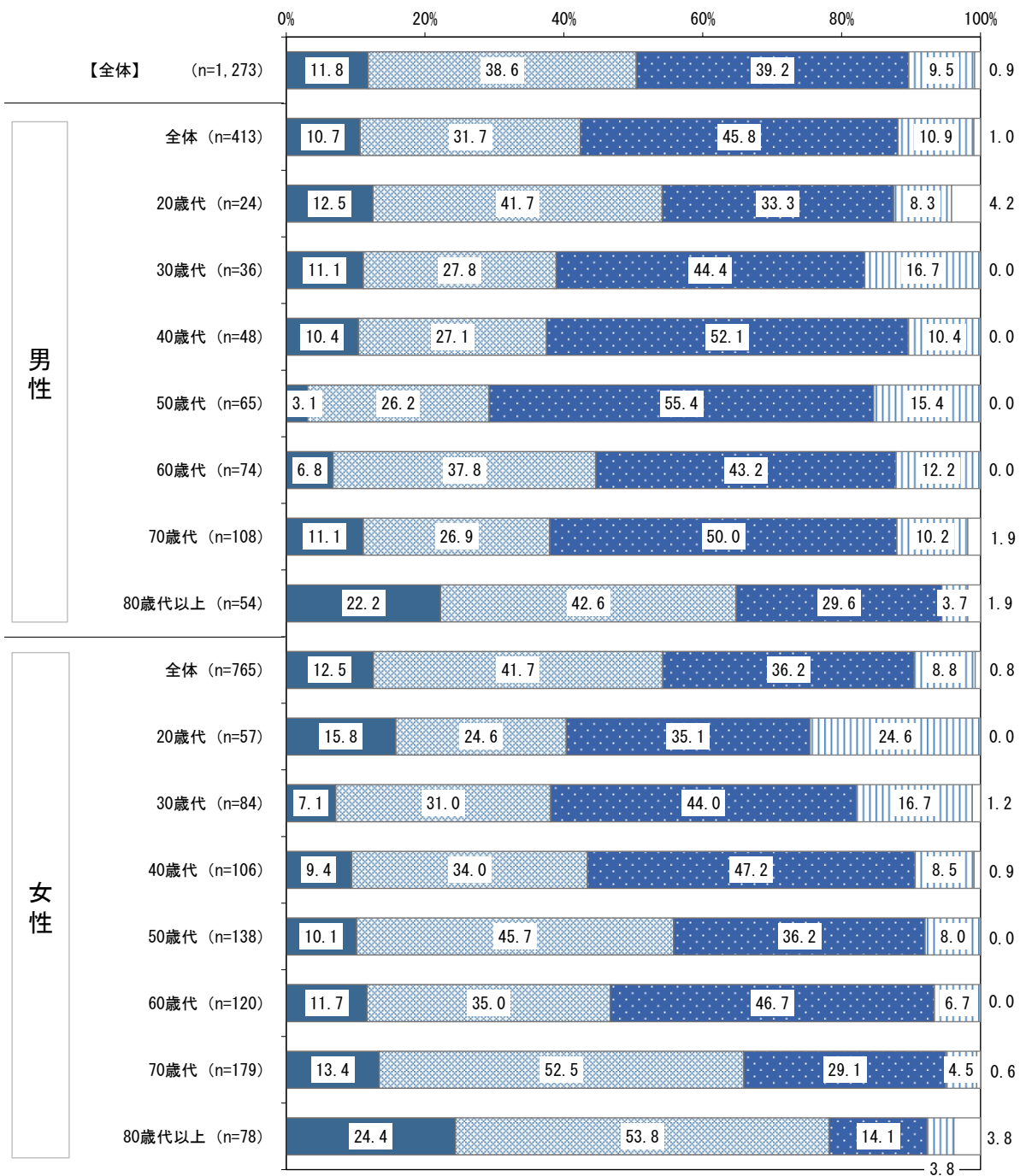
【全体】

「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない」が39.2%で最も高く、次いで「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」が38.6%、「ゆっくりよくかんで食べている」が11.8%と続いています。

また、『ゆっくりよく噛んで食べている（「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」の合計）』では、50.4%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、『ゆっくりよく噛んで食べている（「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」の合計）』では、女性（54.2%）が男性（42.4%）より11.8ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、『ゆっくりよく噛んで食べている（「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」の合計）』では、男性では80歳代以上が64.8%、女性では80歳代以上が78.2%で最も高くなっています。



ゆっくりよくかんで食べている
 どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている
 どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない
 ゆっくりよくかんで食べていない
 無回答

(15) 「食品ロス」を知っているか

問11	「食品ロス」という問題を知っていますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	---	------

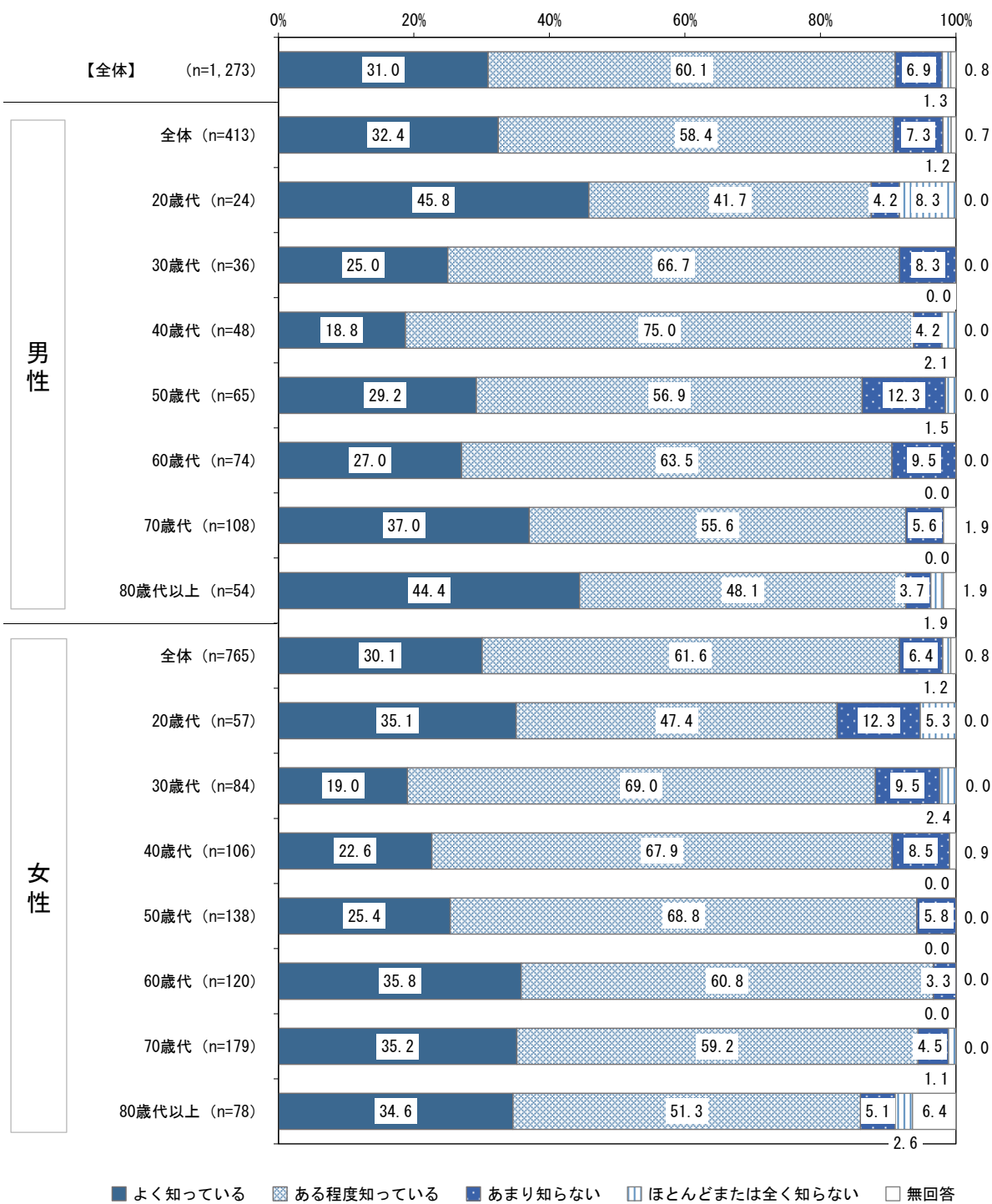
【全体】

「ある程度知っている」が60.1%で最も高く、次いで「よく知っている」が31.0%、「あまり知らない」が6.9%と続いています。

また、『知っている（「よく知っている」と「ある程度知っている」）の合計』では、91.0%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、『知っている（「よく知っている」と「ある程度知っている」）の合計』では、男性（90.8%）、女性（91.6%）であり、男女ともに90%を超えています。
- 性別・年齢別で見ると、『知っている（「よく知っている」と「ある程度知っている」）の合計』については、男性では20歳代と50歳代を除き全ての年齢で90%を超えており、女性では40歳代から70歳代で90%を超えています。



(16) 「食品ロス」軽減のための取り組み

問12	「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
-----	--	---------

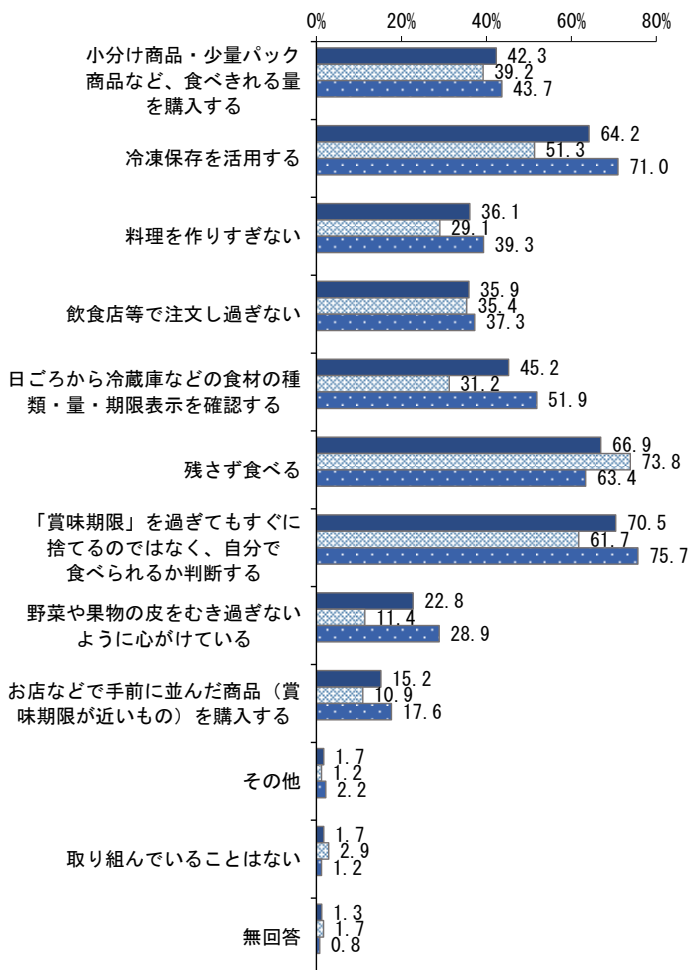
【全体】

「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が70.5%で最も高く、次いで「残さず食べる」が66.9%、「冷凍保存を活用する」が64.2%と続いています。

【性別・年齢別】

●性別でみると、「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」では、女性（75.7%）が男性（61.7%）より14.0ポイント高くなっています。「残さず食べる」では、男性（73.8%）が女性（63.4%）より10.4ポイント高くなっています。「冷凍保存を活用する」では、女性（71.0%）が男性（51.3%）より19.7ポイント高くなっています。

●性別・年齢別でみると、「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」について、男性の年齢別では30歳代以上で60%を超えており、女性の年齢別では30歳代以上で70%を超えています。「飲食店等で注文し過ぎない」については、男性では30歳代、女性では20歳代で50%を超えています。



■ 全体 (n=1,273) ▨ 男性 (n=413) ■ 女性 (n=765)

【問12「その他」の内容】※一部抜粋

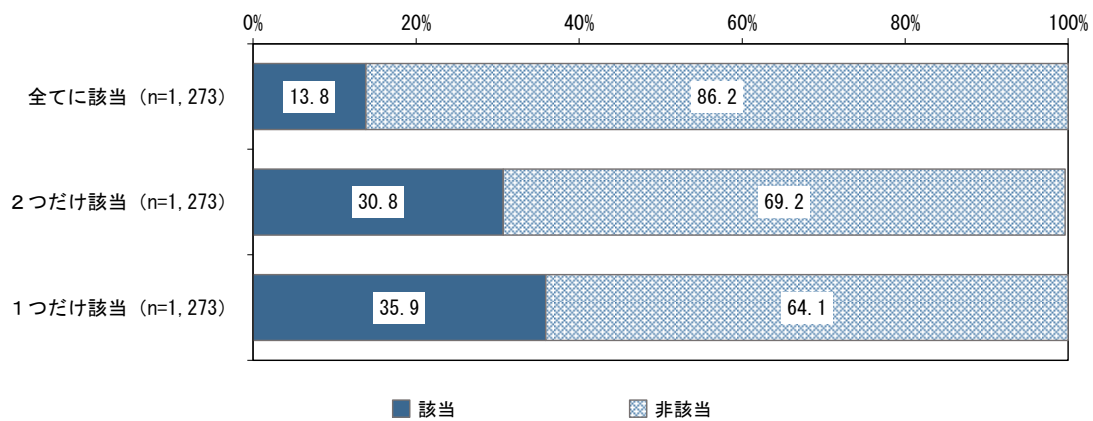
- ・購入を工夫する（9件）
- ・食材を無駄にしない工夫（6件）
- ・生ごみで肥料づくり（2件）

	合計	小分け商品・少量パックを購入する	冷凍保存を活用する	料理を作りすぎない	飲食店等で注文し過ぎない	日ごろから冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	残さず食べる	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	野菜や果物の皮をむき過ぎないように心がけている	お店などで手前に並んだ商品（賞味期限が近いもの）を購入する	その他	取り組んでいることはない	無回答
全体	1,273	42.3	64.2	36.1	35.9	45.2	66.9	70.5	22.8	15.2	1.7	1.7	1.3
男性全体	413	39.2	51.3	29.1	35.4	31.2	73.8	61.7	11.4	10.9	1.2	2.9	1.7
20歳代	24	16.7	33.3	8.3	25.0	4.2	75.0	29.2	4.2	8.3	0.0	4.2	0.0
30歳代	36	36.1	47.2	25.0	50.0	27.8	66.7	61.1	5.6	25.0	0.0	5.6	0.0
40歳代	48	27.1	58.3	29.2	35.4	39.6	81.3	60.4	6.3	16.7	0.0	4.2	0.0
50歳代	65	29.2	44.6	27.7	40.0	21.5	78.9	73.8	15.4	10.8	1.5	3.1	3.1
60歳代	74	43.2	59.5	27.0	35.1	33.8	79.7	63.5	10.8	6.8	0.0	2.7	0.0
70歳代	108	46.3	52.8	34.3	35.2	35.2	72.2	63.0	11.1	8.3	2.8	0.9	2.8
80歳代以上	54	51.9	51.9	35.2	27.8	35.2	63.0	61.1	18.5	9.3	1.9	3.7	3.7
女性全体	765	43.7	71.0	39.3	37.3	51.9	63.4	75.7	28.9	17.6	2.2	1.2	0.8
20歳代	57	24.6	62.6	24.6	50.9	31.6	80.7	64.9	15.8	17.5	0.0	3.5	0.0
30歳代	84	40.5	75.0	32.1	44.0	38.1	61.9	75.0	17.9	21.4	2.4	2.4	0.0
40歳代	106	31.1	75.5	34.9	38.7	42.5	71.7	72.6	27.4	21.7	1.9	0.0	0.9
50歳代	138	42.0	69.6	44.2	47.1	52.2	63.0	81.2	28.3	23.9	1.4	0.0	0.0
60歳代	120	48.3	67.5	42.5	39.2	58.3	65.0	75.0	30.8	15.8	3.3	0.8	0.0
70歳代	179	50.3	74.3	45.3	27.4	61.5	59.8	79.9	33.5	12.8	2.2	1.1	0.6
80歳代以上	78	57.7	73.1	37.2	20.5	62.8	47.4	70.5	38.5	11.5	3.8	2.6	5.1

※網掛けは上位3項目

【「料理を作りすぎない」、「飲食店等で注文し過ぎない」、「残さず食べる」の該当数別】

「全てに該当」については13.8%、「2つだけ該当」では30.8%、「1つだけ該当」では35.9%となっています。



(17) 食べ残しや手つかず食品を家庭で処分することがあるか

問13-1	食べ残しや手つかず食品を家庭で処分することがありますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-------	---	------

【全体】

「ほとんどない」が56.7%で最も高く、次いで「時々ある」が37.1%、「よくある」が2.4%と続いています。

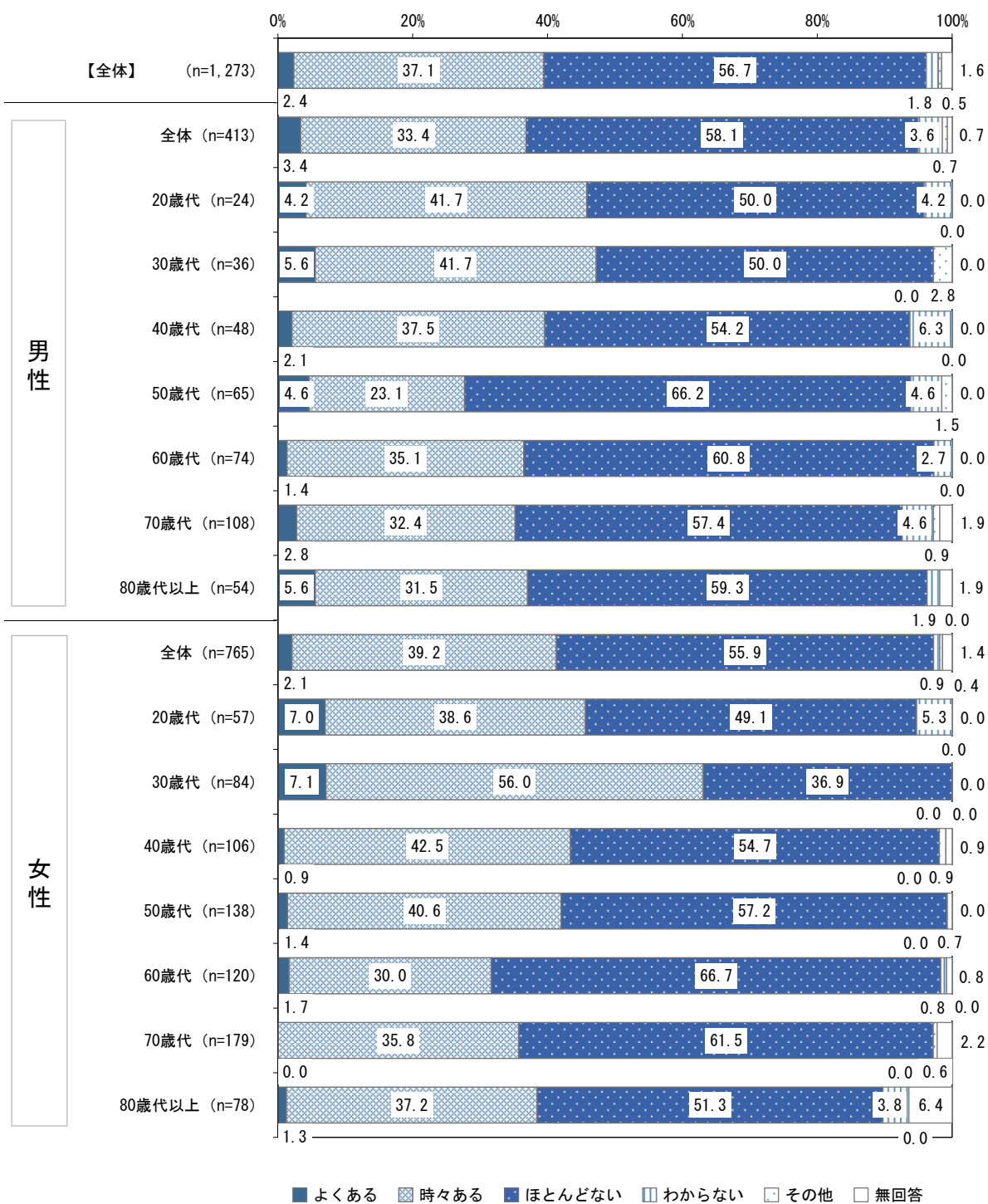
また、『ある（「よくある」と「時々ある」の合計）』では、39.4%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、『ある（「よくある」と「時々ある」の合計）』では、男性（36.8%）、女性（41.3%）となっています。
- 性別・年齢別で見ると、『ある（「よくある」と「時々ある」の合計）』について、男性では20～30歳代が40%を超えており、女性では30歳代が63.1%で最も高くなっています。

【問13-1「その他」の内容】※一部抜粋

- ・ない（5件）
- ・たまにある（1件）



(18) 家庭で食品を処分する理由

問13-2	問13-1で「よくある」「時々ある」に○をつけた方にお聞きします。 その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
-------	---	---------

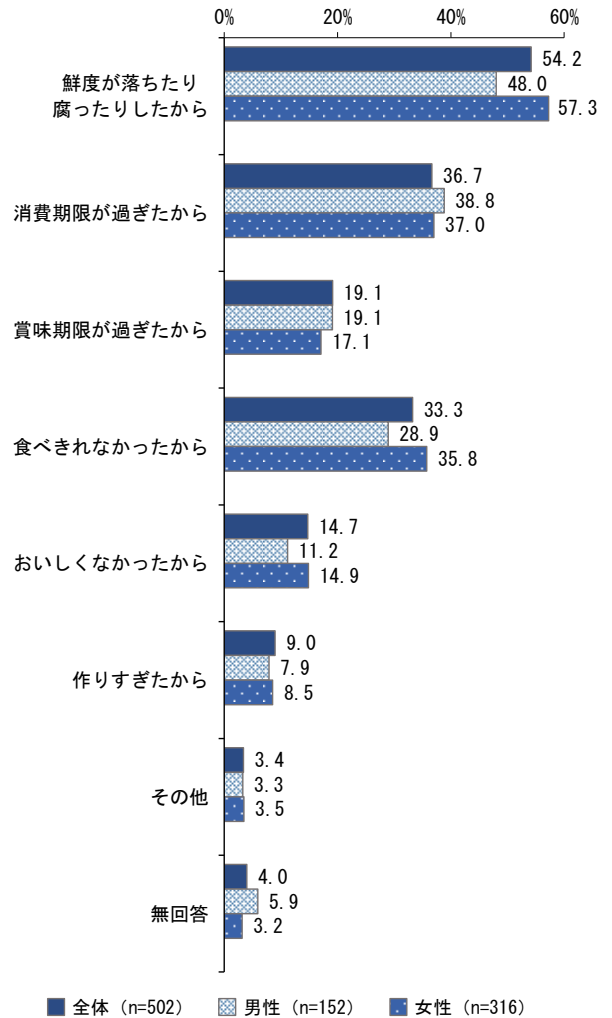
【全体】

「鮮度が落ちたり腐ったりしたから」が54.2%で最も高く、次いで「消費期限が過ぎたから」が36.7%、「食べきれなかったから」が33.3%と続いています。

【性別・年齢別】

●性別でみると、男女ともに「鮮度が落ちたり腐ったりしたから」が最も高く、男性が48.0%、女性が57.3%となっています。

●性別・年齢別でみると、「鮮度が落ちたり腐ったりしたから」について、男性では30歳代、40歳代、70歳代で50%以上となっていますが、20歳代では30%未満となっています。女性では20歳代が73.1%で最も高く、80歳代以上を除き50%以上となっています。



【問13-2「その他」の内容】※一部抜粋

- ・子どもの食べ残し (6件)
- ・在庫確認の忘れ (4件)
- ・調理の工夫が足りない (2件)

	合計	鮮度が落ちたり腐ったりしたから	消費期限が過ぎたから	賞味期限が過ぎたから	食べきれなかったから	おいしくなかったから	作りすぎたから	その他	無回答
全体	502	54.2	36.7	19.1	33.3	14.7	9.0	3.4	4.0
男性全体	152	48.0	38.8	19.1	28.9	11.2	7.9	3.3	5.9
20歳代	11	27.3	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2
30歳代	17	52.9	29.4	11.8	23.5	23.5	5.9	0.0	17.6
40歳代	19	57.9	36.8	26.3	31.6	10.5	15.8	5.3	5.3
50歳代	18	38.9	44.4	11.1	44.4	11.1	0.0	0.0	11.1
60歳代	27	48.1	37.0	11.1	33.3	3.7	11.1	7.4	3.7
70歳代	38	52.6	39.6	23.7	26.3	7.9	10.5	2.6	0.0
80歳代以上	20	45.0	35.0	25.0	25.0	15.0	5.0	5.0	0.0
女性全体	316	57.3	37.0	17.1	35.8	14.9	8.5	3.5	3.2
20歳代	26	73.1	34.6	11.5	19.2	11.5	0.0	7.7	3.8
30歳代	53	60.4	32.1	5.7	35.9	11.3	9.4	9.4	3.8
40歳代	46	52.2	30.4	10.9	34.0	19.6	6.5	2.2	6.5
50歳代	58	69.8	32.8	19.0	32.0	5.2	1.7	1.7	5.2
60歳代	38	57.9	47.4	15.8	47.4	21.1	10.5	0.0	0.0
70歳代	64	51.6	39.1	26.6	34.4	14.1	17.2	1.6	1.6
80歳代以上	30	43.3	46.7	26.7	46.7	30.0	10.0	3.3	0.0

※網掛けは上位3項目

(19) 共食について

問14	「共食」に関する質問です。あなたは家族や友人など、朝食・昼食・夕食を誰かと一緒に食べていますか。朝食、昼食、夕食ごとにあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	--	------

【朝食・全体】

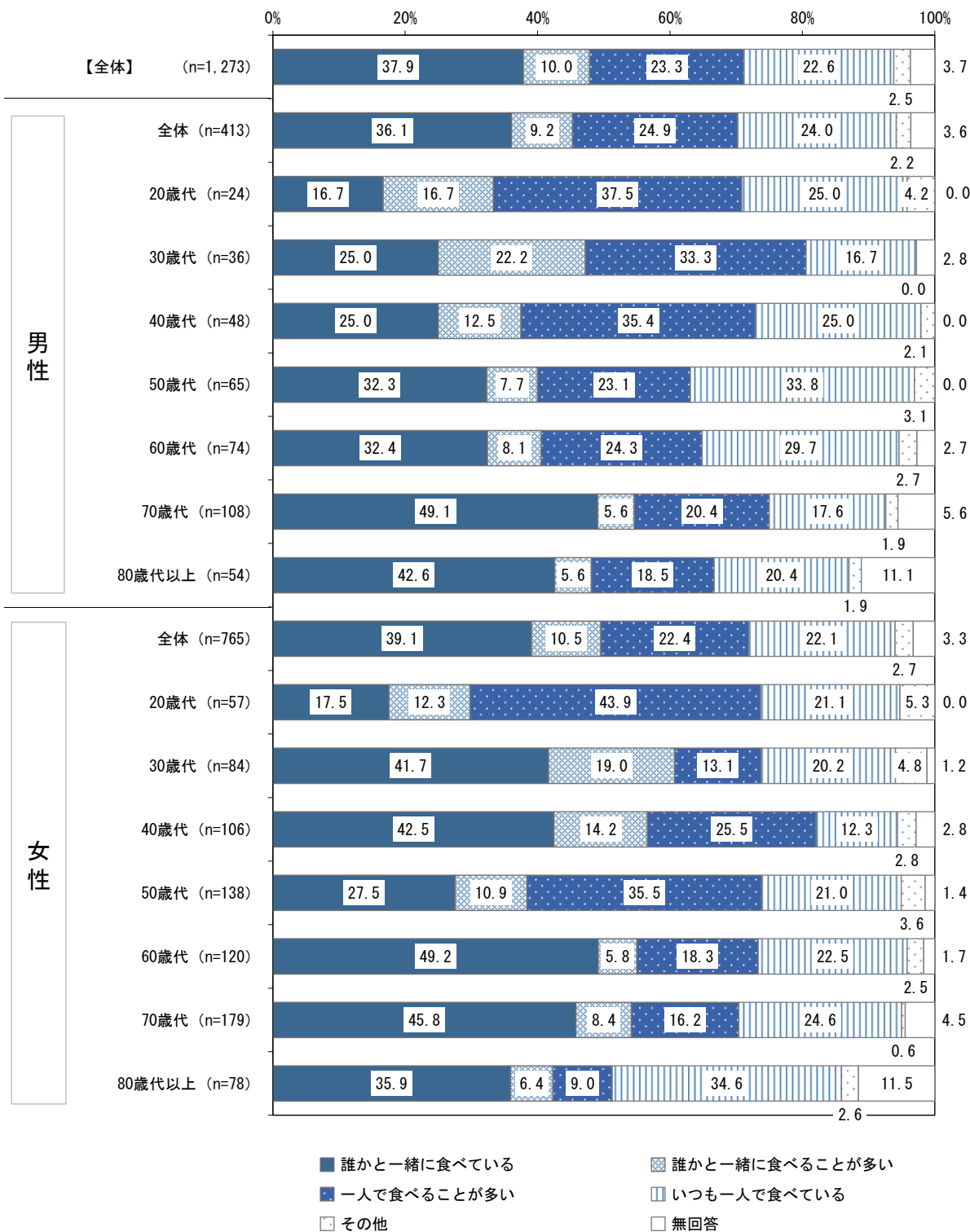
朝食を誰かと一緒に食べているかについては、「誰かと一緒に食べている」が37.9%で最も高く、次いで「一人で食べることが多い」が23.3%、「いつも一人で食べている」が22.6%と続いています。

【朝食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「誰かと一緒に食べている」が最も高く、男性が36.1%、女性39.1%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、「いつも一人で食べている」が「誰かと一緒に食べている」を上回っているのは、男性では20歳代、50歳代となっており、女性では20歳代となっています。

【問14・朝食「その他」の内容】※一部抜粋

- ・食べない（19件）
- ・朝食を食べない（3件）
- ・ほとんど食べない（2件）



【昼食・全体】

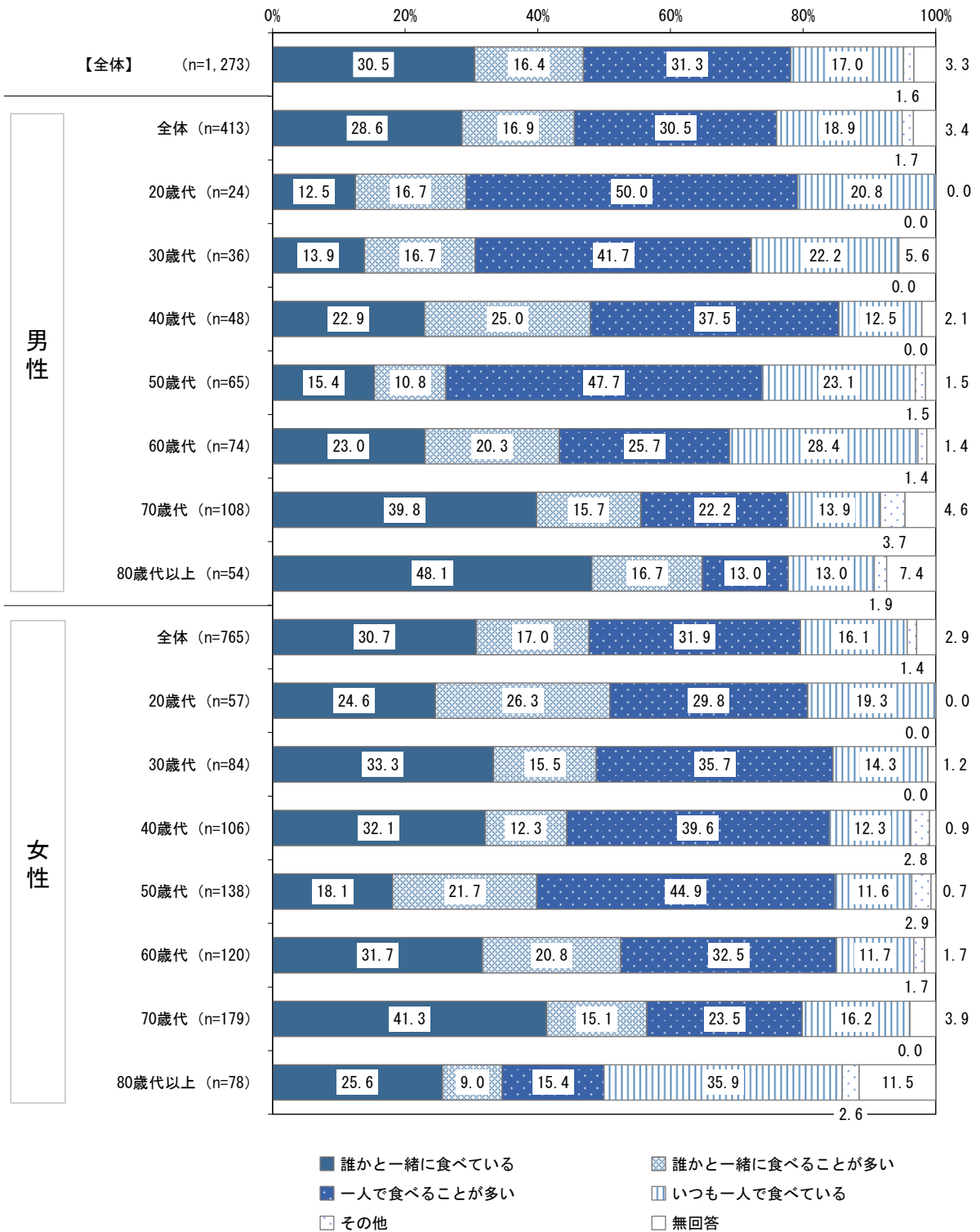
昼食を誰かと一緒に食べているかについては、「一人で食べることが多い」が31.3%で最も高く、次いで「誰かと一緒に食べている」が30.5%、「いつも一人で食べている」が17.0%と続いています。

【昼食・性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「一人で食べるが多い」が最も高く、女性（31.9%）が男性（30.5%）より1.4ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「いつも一人で食べている」が「誰かと一緒に食べている」を上回っているのは、男性では20歳代、30歳代、50歳代、60歳代となっており、女性では80歳代以上となっています。

【問 14・昼食「その他」の内容】※一部抜粋

- ・食べない（9件）
- ・ほとんど食べない（2件）
- ・時々誰かと食べる（2件）



【夕食・全体】

夕食を誰かと一緒に食べているかについては、「誰かと一緒に食べている」が60.7%で最も高く、次いで「誰かと一緒に食べることが多い」が13.5%、「一人で食べることが多い」が12.1%と続いています。

【夕食・性別・年齢別】

●性別で見ると、男女ともに「誰かと一緒に食べている」が最も高く、女性（64.1%）が男性（55.7%）より8.4ポイント高くなっています。

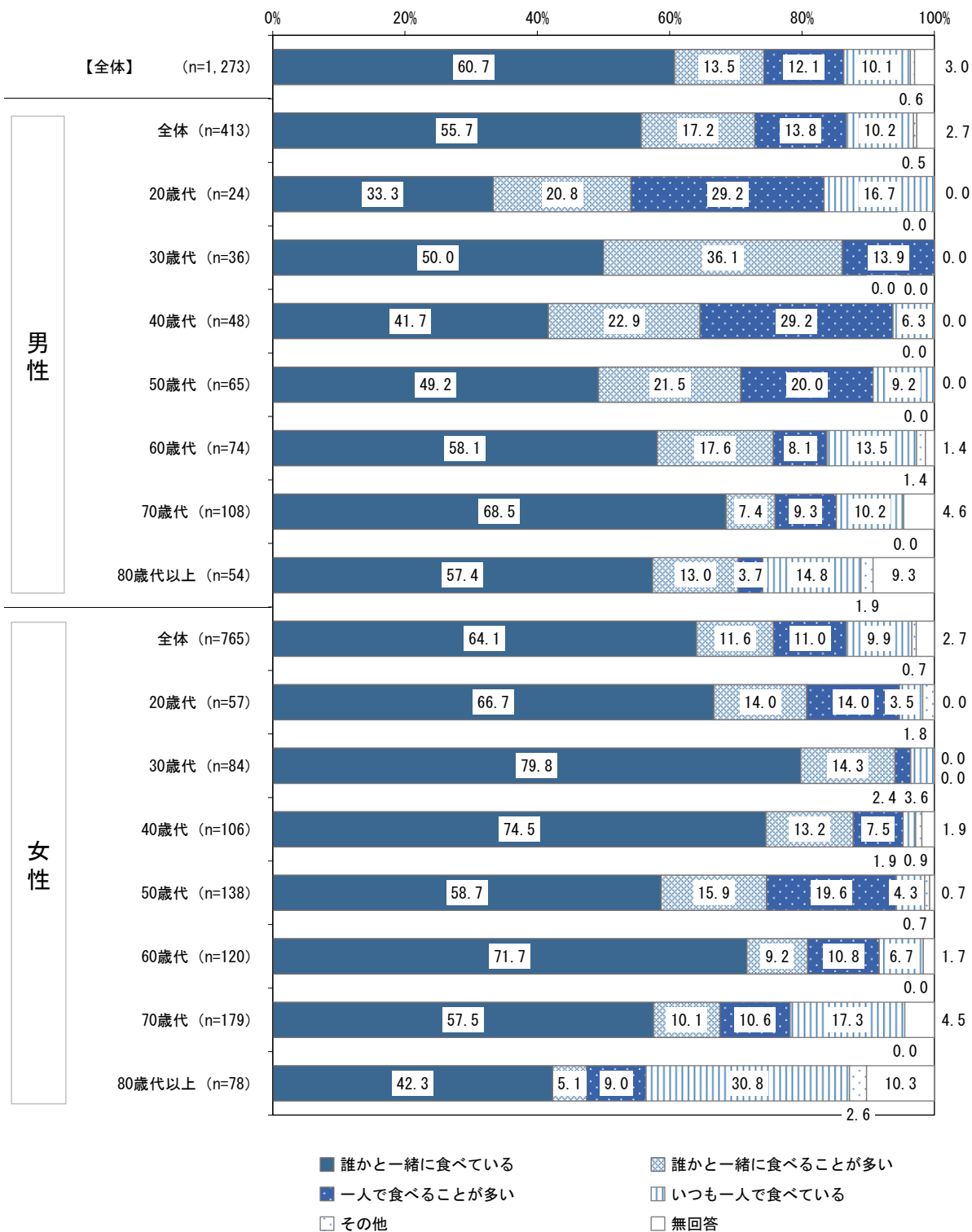
●性別・年齢別で見ると、「いつも一人で食べている」が「誰かと一緒に食べている」を上回っている属性はありません。

「誰かと一緒に食べている」では、男性では30歳代、60歳代以上では50%以上となっていますが、20歳代では40%未満となっています。

女性では、30歳代、40歳代、60歳代では70%以上となっていますが、80歳代以上では50%未満となっています。

【問14・夕食「その他」の内容】※一部抜粋

- ・食べない（2件）
- ・ほとんど食べない（1件）
- ・誰かと一緒にいるが食べる時間が違う（1件）



(20) 共食の回数

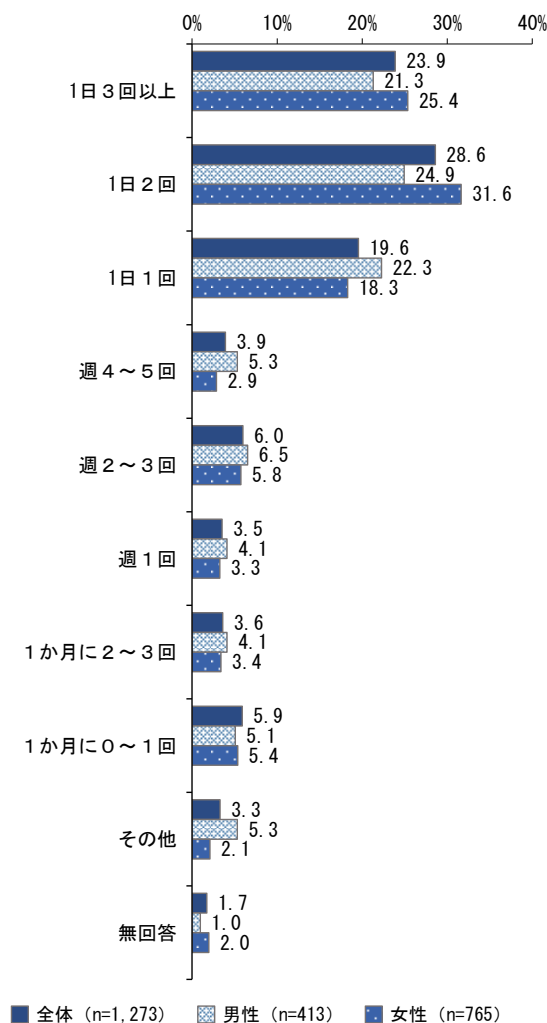
問15	家族・友人・職場の人・地域の人等、誰かと一緒に食べるのはどれくらいありますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。(※共食回数が1日1回以下の場合は、週当たりまたは1か月当たりでお答えください)	○は1つ
-----	--	------

【全体】

「1日2回」が28.6%で最も高く、次いで「1日3回以上」が23.9%、「1日1回」が19.6%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別でみると、『1日2回以上(「1日3回以上」と「1日2回」の合計)』では、女性(57.0%)が男性(46.2%)より10.7ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別でみると、『1日2回以上(「1日3回以上」と「1日2回」の合計)』については、男性では70歳代以上では50%以上となっていますが、20歳代では20%未満となっています。女性では、30歳代、40歳代、60歳代で60%以上となっていますが、80歳代以上では40%未満となっています。



	合計	1日3回以上	1日2回	1日1回	週4~5回	週2~3回	週1回	1か月に2~3回	1か月に0~1回	その他	無回答
全体	1,273	23.9	28.6	19.6	3.9	6.0	3.5	3.6	5.9	3.3	1.7
男性全体	413	21.3	24.9	22.3	5.3	6.5	4.1	4.1	5.1	5.3	1.0
20歳代	24	8.3	8.3	29.2	16.7	25.0	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0
30歳代	36	8.3	36.1	33.3	11.1	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0
40歳代	48	16.7	20.8	22.9	10.4	12.5	6.3	2.1	2.1	6.3	0.0
50歳代	65	4.6	30.8	30.8	6.2	7.7	4.6	6.2	6.2	3.1	0.0
60歳代	74	18.9	27.0	27.0	5.4	0.0	4.1	4.1	8.1	5.4	0.0
70歳代	108	35.2	22.2	13.0	0.0	5.6	5.6	6.5	5.6	5.6	0.9
80歳代以上	54	33.3	25.9	13.0	0.0	3.7	0.0	1.9	5.6	11.1	5.6
女性全体	765	25.4	31.6	18.3	2.9	5.8	3.3	3.4	5.4	2.1	2.0
20歳代	57	17.5	42.1	21.1	10.5	7.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
30歳代	84	31.0	36.9	22.6	2.4	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	106	25.5	37.7	20.9	2.8	4.7	3.8	0.9	2.8	0.0	0.9
50歳代	138	13.0	34.8	31.2	3.6	7.2	3.6	3.6	1.4	1.4	0.0
60歳代	120	27.5	34.2	17.5	3.3	5.8	2.5	4.2	2.5	1.7	0.8
70歳代	179	33.5	25.1	8.4	0.6	5.0	3.4	5.6	11.7	3.4	3.4
80歳代以上	78	24.4	14.1	10.3	1.3	7.7	5.1	6.4	14.1	7.7	9.0

※網掛けは上位3項目

(21) 枚方市の郷土料理を知っているか

問16	下記の枚方市の郷土料理を知っていますか。 知っているものすべての番号に○をつけてください。	○はいくつでも
-----	--	---------

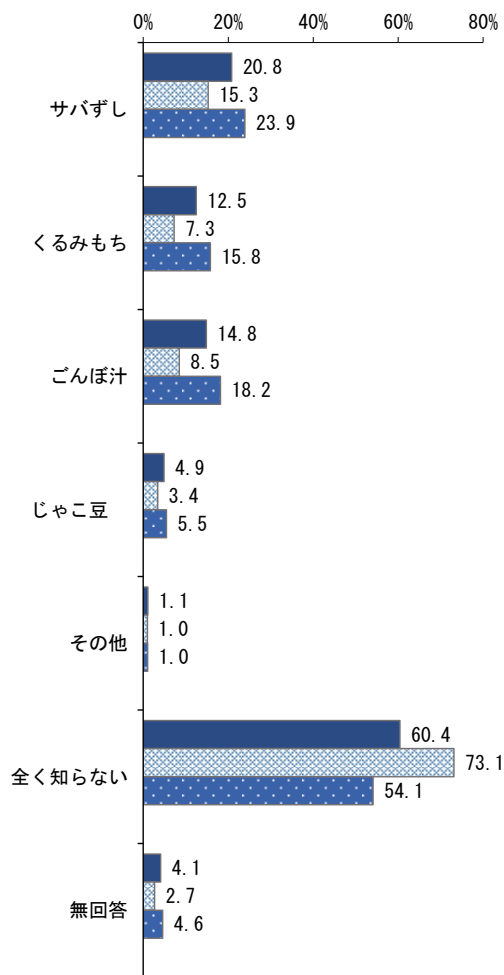
【全体】

「全く知らない」が60.4%で最も高く、次いで「サバずし」が20.8%、「ごんぼ汁」が14.8%と続いています。

【性別・年齢別】

●性別で見ると、男女ともに「全く知らない」が最も高く、男性（73.1%）が女性（54.1%）より19.0ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、「全く知らない」について、男性では80歳代以上を除いた全ての年齢で、70%以上となっており、女性では20歳代～30歳代で60%以上、40歳代～70歳代で50%以上となっています。



【問16「その他」の内容】※一部抜粋

- ・くらわんか餅（5件）
- ・河内そうめん（3件）
- ・知らなかった（2件）

	合計	サバずし	くるみもち	ごんぼ汁	じゃこ豆	その他	全く知らない	無回答
全体	1,273	20.8	12.5	14.8	4.9	1.1	60.4	4.1
男性全体	413	15.3	7.3	8.5	3.4	1.0	73.1	2.7
20歳代	24	12.5	4.2	4.2	4.2	0.0	70.8	4.2
30歳代	36	25.0	0.0	2.8	0.0	0.0	75.0	0.0
40歳代	48	14.6	6.3	4.2	4.2	0.0	75.0	2.1
50歳代	65	6.2	10.8	9.2	1.5	0.0	80.0	0.0
60歳代	74	14.9	9.5	9.5	2.7	4.1	77.0	0.0
70歳代	108	14.8	6.5	9.3	3.7	0.9	72.2	4.6
80歳代以上	54	20.4	5.6	13.0	7.4	0.0	61.1	7.4
女性全体	765	23.9	15.8	18.2	5.5	1.0	54.1	4.6
20歳代	57	17.5	14.0	15.8	5.3	1.8	68.4	1.8
30歳代	84	17.9	19.0	9.5	1.2	0.0	63.1	0.0
40歳代	106	20.8	17.9	27.4	4.7	1.9	50.0	0.0
50歳代	138	20.3	20.3	21.0	5.1	0.7	56.5	2.2
60歳代	120	29.2	14.2	17.5	7.5	0.0	55.8	2.5
70歳代	179	26.8	12.3	16.2	5.0	0.6	52.0	6.7
80歳代以上	78	29.5	12.8	15.4	9.0	3.8	39.7	20.5

(22) 伝統的な行事食摂取の頻度

問17 あなたの家庭では、下記の伝統的な行事食をどのくらい食べていますか。食べているものすべての番号に○をつけてください。 ○はいくつでも

【全体】

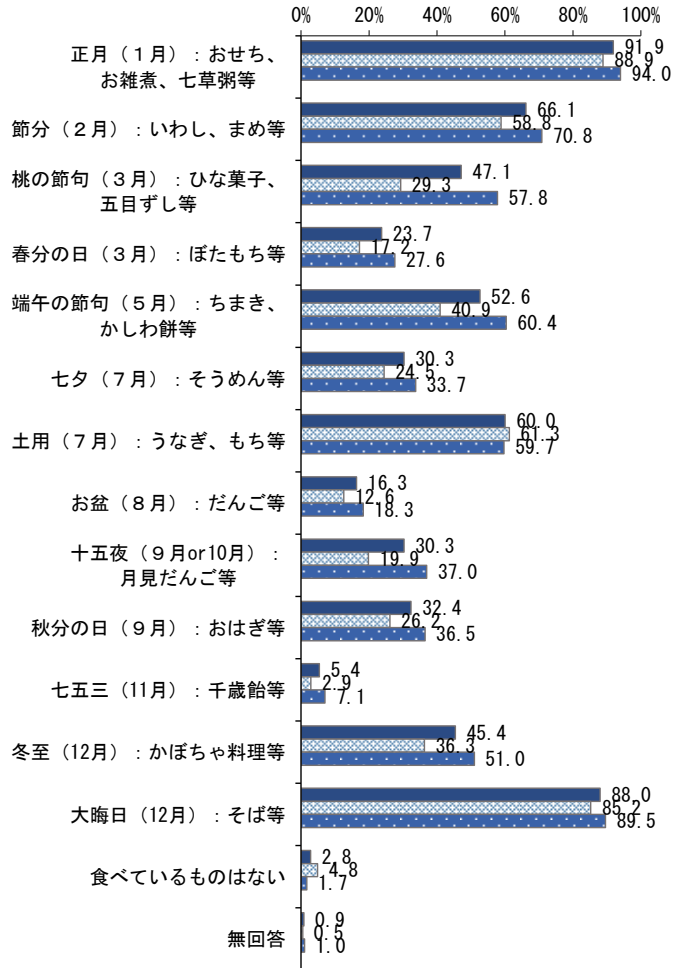
「正月（1月）：おせち、お雑煮、七草粥等」が91.9%で最も高く、次いで「大晦日（12月）：そば等」が88.0%、「節分（2月）：いわし、まめ等」が66.1%と続いています。

【性別・年齢別】

●性別でみると、男女ともに「正月（1月）：おせち、お雑煮、七草粥等」が最も高く、男性が88.9%、女性が94.0%となっています。

また、性別で最も差がある項目は「桃の節句（3月）：ひな菓子、五目ずし等」となっており、女性（57.8%）が男性（29.3%）より28.5ポイント高くなっています。

●性別・年齢別でみると、「正月（1月）：おせち、お雑煮、七草粥等」について、男性では全年齢で80%以上、女性では20歳代以上を除き90%以上となっています。



■ 全体 (n=1,273) □ 男性 (n=413) ■ 女性 (n=765)

	合計	お正月（1月）：おせち、お雑煮、七草粥等	節分（2月）：いわし、まめ等	桃の節句（3月）：ひな菓子、五目ずし等	春分の日（3月）：ぼたもち等	端午の節句（5月）：ちまき、かしわ餅等	七夕（7月）：そうめん等	土用（7月）：うなぎ、もち等	だんご等	お盆（8月）	十五夜（9月or10月）	秋分の日（9月）：おはぎ等	千歳飴等	七五三（11月）	冬至（12月）：かぼちゃ料理等	そば等	大晦日（12月）	食べているものはない	無回答
全体	1,273	91.9	66.1	47.1	23.7	52.6	30.3	60.0	16.3	30.3	32.4	5.4	45.4	88.0	2.8	0.9			
男性全体	413	88.9	58.8	29.3	17.2	40.9	24.5	61.3	12.6	19.9	26.2	2.9	36.3	85.2	4.8	0.5			
20歳代	24	83.3	50.0	41.7	4.2	37.5	66.7	62.5	8.3	20.8	8.3	4.2	41.7	83.3	4.2	0.0			
30歳代	36	88.9	44.4	38.9	11.1	41.7	36.1	61.1	11.1	22.2	25.0	5.6	30.6	80.6	2.8	0.0			
40歳代	48	85.4	68.8	39.6	10.4	43.8	31.3	62.5	14.6	29.2	22.9	4.2	41.7	87.5	4.2	0.0			
50歳代	65	84.6	56.9	27.7	18.5	38.5	21.5	53.8	7.7	15.4	21.5	3.1	32.3	87.7	9.2	0.0			
60歳代	74	89.2	56.8	24.3	16.2	36.5	18.9	60.8	13.5	18.9	21.6	4.1	35.1	85.1	5.4	0.0			
70歳代	108	94.4	61.1	23.1	20.4	43.5	13.9	65.7	9.3	13.0	32.4	0.9	38.9	84.3	1.9	0.0			
80歳代以上	54	87.0	63.0	25.9	24.1	38.9	24.1	61.1	22.2	24.1	33.3	1.9	33.3	85.2	7.4	3.7			
女性全体	765	94.0	70.8	57.8	27.6	60.4	33.7	59.7	18.3	37.0	36.5	7.1	51.0	89.5	1.7	1.0			
20歳代	57	87.7	63.2	54.4	14.0	38.6	35.1	54.4	15.8	24.6	19.3	5.3	38.6	77.2	7.0	1.8			
30歳代	84	90.5	52.4	70.2	14.3	48.8	61.9	48.8	21.4	34.5	19.0	22.6	39.3	88.1	2.4	0.0			
40歳代	106	91.5	75.5	70.8	13.2	74.5	46.2	57.5	17.0	53.8	21.7	15.1	51.9	89.6	1.9	0.0			
50歳代	138	96.4	74.6	53.6	29.0	65.9	26.8	68.1	19.6	40.6	37.7	5.1	53.6	94.2	0.7	0.7			
60歳代	120	96.7	80.0	59.2	38.3	71.7	28.3	65.0	17.5	41.7	52.5	5.8	57.5	93.3	0.0	0.0			
70歳代	179	95.5	72.6	50.3	34.6	55.3	26.8	56.4	14.0	33.0	42.5	1.1	50.8	89.9	2.2	1.1			
80歳代以上	78	93.6	66.7	52.6	35.9	53.8	21.8	61.5	28.2	21.8	46.2	0.0	56.4	84.6	0.0	5.1			

※網掛けは上位3項目

(23) 産地や生産者を意識した食品の選択

問18	あなたは、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいきますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	---	------

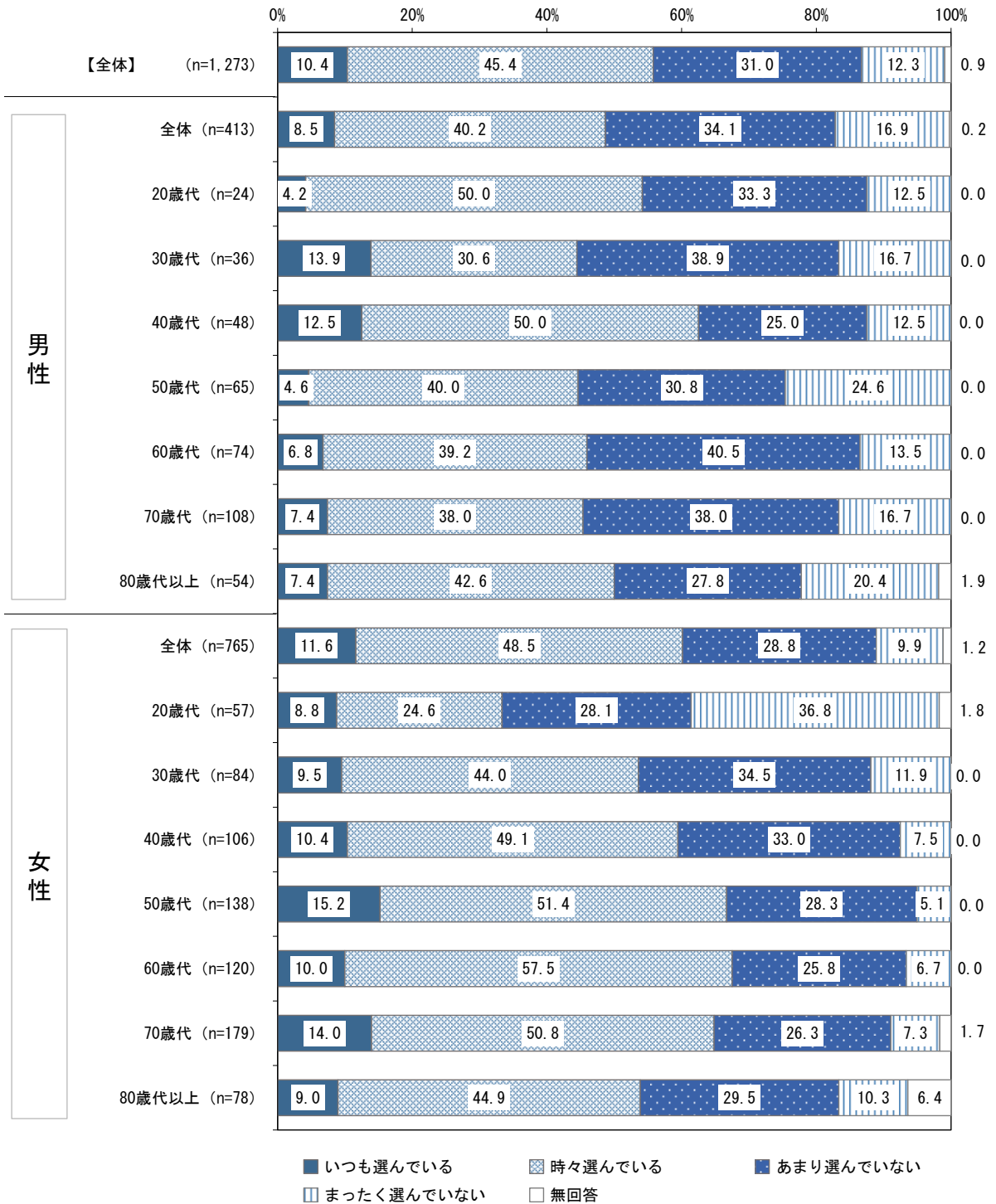
【全体】

「時々選んでいる」が45.4%で最も高く、次いで「あまり選んでいない」が31.0%、「まったく選んでいない」が12.3%と続いています。

また、『選んでいる（「いつも選んでいる」と「時々選んでいる」の合計）』では、55.8%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、『選んでいる（「いつも選んでいる」と「時々選んでいる」の合計）』では、女性（60.1%）が男性（48.7%）より11.5ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、『選んでいる（「いつも選んでいる」と「時々選んでいる」の合計）』では、男性では20歳代、40歳代、80歳代以上で50%以上となっており、女性では30歳代以上で50%以上、20歳代で40%未満となっています。



(24) 環境に配慮した食品の選択

問19-1	あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいきますか。 あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-------	---	------

【全体】

「時々選んでいる」が43.0%で最も高く、次いで「あまり選んでいない」が35.4%、「まったく選んでいない」が10.7%と続いています。

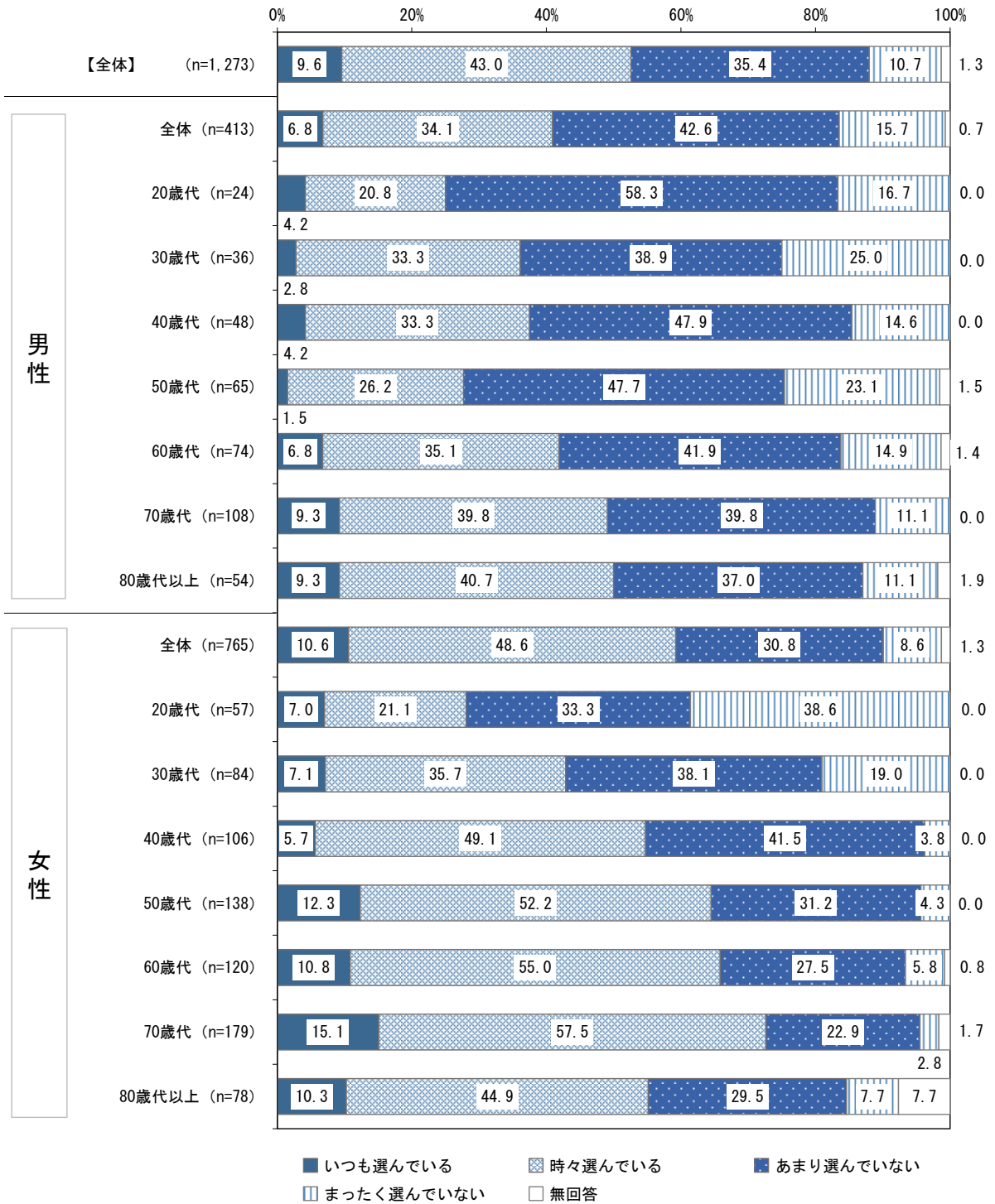
また、『選んでいる（「いつも選んでいる」と「時々選んでいる」の合計）』では、52.6%となっています。

【性別・年齢別】

●性別で見ると、男性では「あまり選んでいない」が42.6%で最も高く、女性では「時々選んでいる」が48.6%で最も高くなっています。

また、『選んでいる（「いつも選んでいる」と「時々選んでいる」の合計）』では、女性（59.2%）が男性（40.9%）より18.3ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、男性では「あまり選んでいない」について、おおむね年齢が上がるにつれて割合が低くなっており、女性では「時々選んでいる」について、おおむね年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。



(25) 選択している環境に配慮した食品の種類

問19-2 問19-1で「いつも選んでいる」「時々選んでいる」に○をつけた方にお聞きします。あなたは、どのような環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいきますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

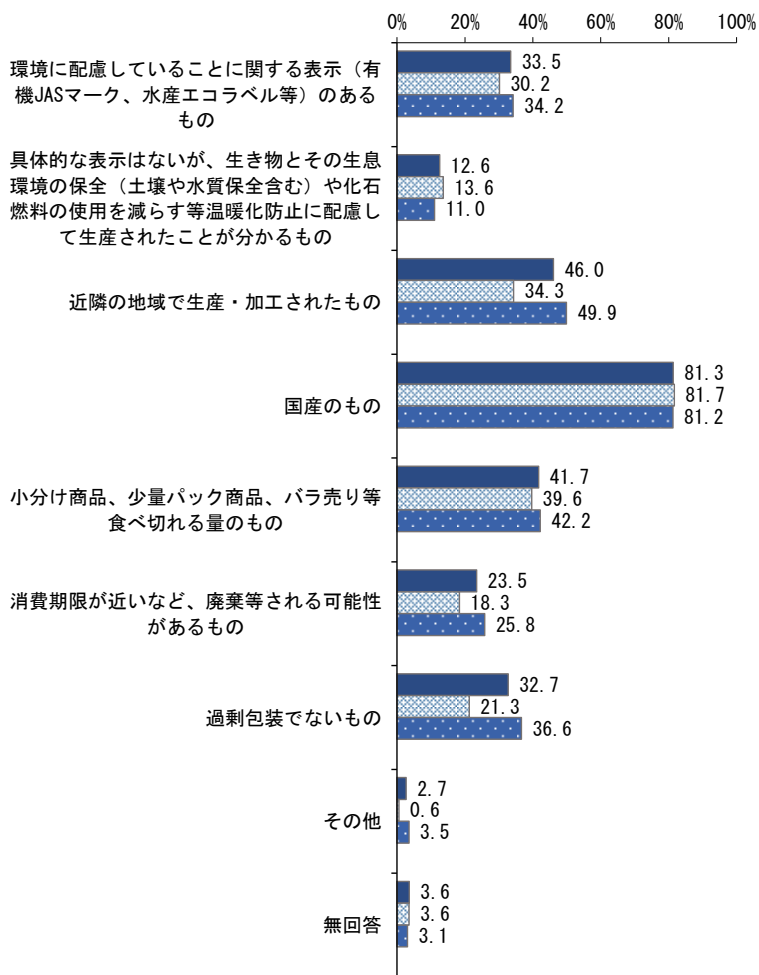
○はいくつでも

【全体】

「国産のもの」が81.3%で最も高く、次いで「近隣の地域で生産・加工されたもの」が46.0%、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量のもの」が41.7%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別でみると、男女ともに「国産のもの」が最も高くなっていますが、男性の上位2番目は「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量のもの」(39.6%)で、女性の上位2番目は「近隣の地域で生産・加工されたもの」(49.9%)となっています。
- 性別・年齢別でみると、「国産のもの」については、男性では40歳代が100.0%で最も高く、20歳代が50.0%で最も低くなっています。女性では、20歳代、40歳代、50歳代が70%以上、30歳代、60歳代以上で80%以上となっています。



【問19-2「その他」の内容】

※一部抜粋

- ・減農薬の野菜（4件）
- ・地場野菜（3件）
- ・生産者から直接購入（3件）

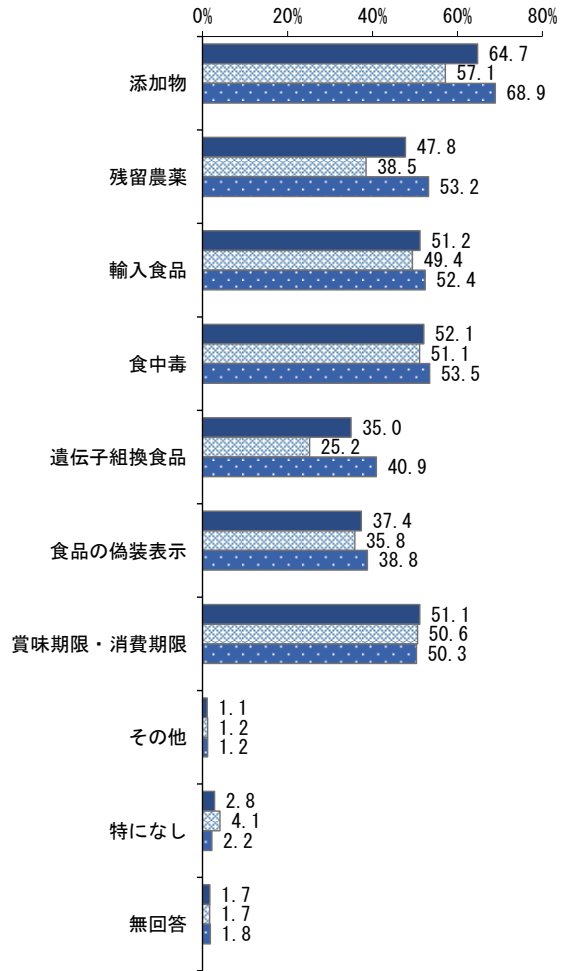
	合計	産る環境に配慮していることに関する表示（有機JASマーク等）のあるもの	さらす生息環境を保全するに配慮していることに関する表示（有機JASマーク等）のあるもの	近隣の地域で生産・加工されたもの	国産のもの	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量のもの	消費期限が近いなど、廃棄等される可能性があるもの	過剰包装でないもの	その他	無回答
全体	669	33.5	12.6	46.0	81.3	41.7	23.5	32.7	2.7	3.6
男性全体	169	30.2	13.6	34.3	81.7	39.6	18.3	21.3	0.6	3.6
20歳代	6	33.3	0.0	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0
30歳代	13	15.4	7.7	46.2	84.6	46.2	30.8	38.5	0.0	0.0
40歳代	18	27.8	11.1	38.9	100.0	27.8	33.3	27.8	0.0	0.0
50歳代	18	22.2	0.0	33.3	77.8	38.9	5.6	27.8	0.0	5.6
60歳代	31	22.6	22.6	35.5	80.6	38.7	9.7	16.1	3.2	6.5
70歳代	53	35.8	15.1	30.2	81.1	37.7	15.1	20.8	0.0	1.9
80歳代以上	27	37.0	14.8	37.0	81.5	55.6	18.5	11.1	0.0	7.4
女性全体	453	34.2	11.0	49.9	81.2	42.2	25.8	36.6	3.5	3.1
20歳代	16	50.0	6.3	18.8	75.0	31.3	31.3	18.8	6.3	0.0
30歳代	36	41.7	13.9	52.8	80.6	38.9	19.4	27.8	2.8	0.0
40歳代	58	32.8	17.2	41.4	75.9	31.0	29.3	24.1	3.4	3.4
50歳代	89	28.1	7.9	56.2	78.7	39.3	39.3	37.1	1.1	4.5
60歳代	79	27.8	19.0	51.9	87.3	39.2	30.4	36.7	5.1	0.0
70歳代	130	40.0	6.2	52.3	83.1	49.2	17.7	45.4	5.4	4.6
80歳代以上	43	32.6	9.3	46.5	81.4	55.8	14.0	39.5	0.0	4.7

(26) 食の安全に関して不安なこと

問20	日ごろから、食の安全について不安に思うことは何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
-----	---	---------

【全体】

「添加物」が64.7%で最も高く、次いで「食中毒」が52.1%、「輸入食品」が51.2%と続いています。



■ 全体 (n=1,273) ■ 男性 (n=413) ■ 女性 (n=765) 単位：%

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「添加物」が最も高く、女性(68.9%)が男性(57.1%)より11.8ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「添加物」について、男性では80歳代が68.5%で最も高く、30歳代、50歳代が50%未満となっています。女性では70歳代が77.7%で最も高く、20歳代が36.8%で最も低くなっています。

【問20「その他」の内容】※一部抜粋

- ・産地 (6件)
- ・アレルギー (2件)
- ・添加物 (2件)

	合計	添加物	残留農薬	輸入食品	食中毒	遺伝子組換え食品	食品の偽装表示	賞味期限・消費期限	その他	特になし	無回答
全体	1,273	64.7	47.8	51.2	52.1	35.0	37.4	51.1	1.1	2.8	1.7
男性全体	413	57.1	38.5	49.4	51.1	25.2	35.8	50.6	1.2	4.1	1.7
20歳代	24	54.2	8.3	20.8	62.5	8.3	16.7	45.8	0.0	4.2	4.2
30歳代	36	47.2	52.8	50.0	63.9	27.8	41.7	38.9	0.0	8.3	0.0
40歳代	48	66.7	39.6	52.1	56.3	31.3	43.8	47.9	0.0	2.1	0.0
50歳代	65	49.2	36.9	43.1	47.7	24.6	49.2	46.2	1.5	7.7	0.0
60歳代	74	55.4	41.9	51.4	54.1	36.5	31.1	50.0	2.7	2.7	1.4
70歳代	108	56.5	38.9	57.4	45.4	21.3	30.6	57.4	1.9	1.9	1.9
80歳代以上	54	68.5	37.0	46.3	44.4	20.4	37.0	55.6	0.0	5.6	3.7
女性全体	765	68.9	53.2	52.4	53.5	40.9	38.8	50.3	1.2	2.2	1.8
20歳代	57	36.8	26.3	28.1	68.4	21.1	28.1	42.1	0.0	5.3	1.8
30歳代	84	63.1	42.9	41.7	65.5	34.5	42.9	44.0	2.4	4.8	1.2
40歳代	106	65.1	48.1	54.7	59.4	43.4	34.0	42.5	1.9	0.9	0.9
50歳代	138	73.9	70.3	62.3	59.4	50.0	50.0	44.9	0.7	2.9	0.0
60歳代	120	74.2	59.2	56.7	45.0	47.5	35.8	50.0	0.8	0.8	1.7
70歳代	179	77.7	54.7	56.4	43.6	43.0	39.1	59.8	1.1	1.7	2.2
80歳代以上	78	66.7	47.4	44.9	46.2	28.2	34.6	61.5	1.3	1.3	6.4

(27) 食品表示をみて、食品を購入しているか

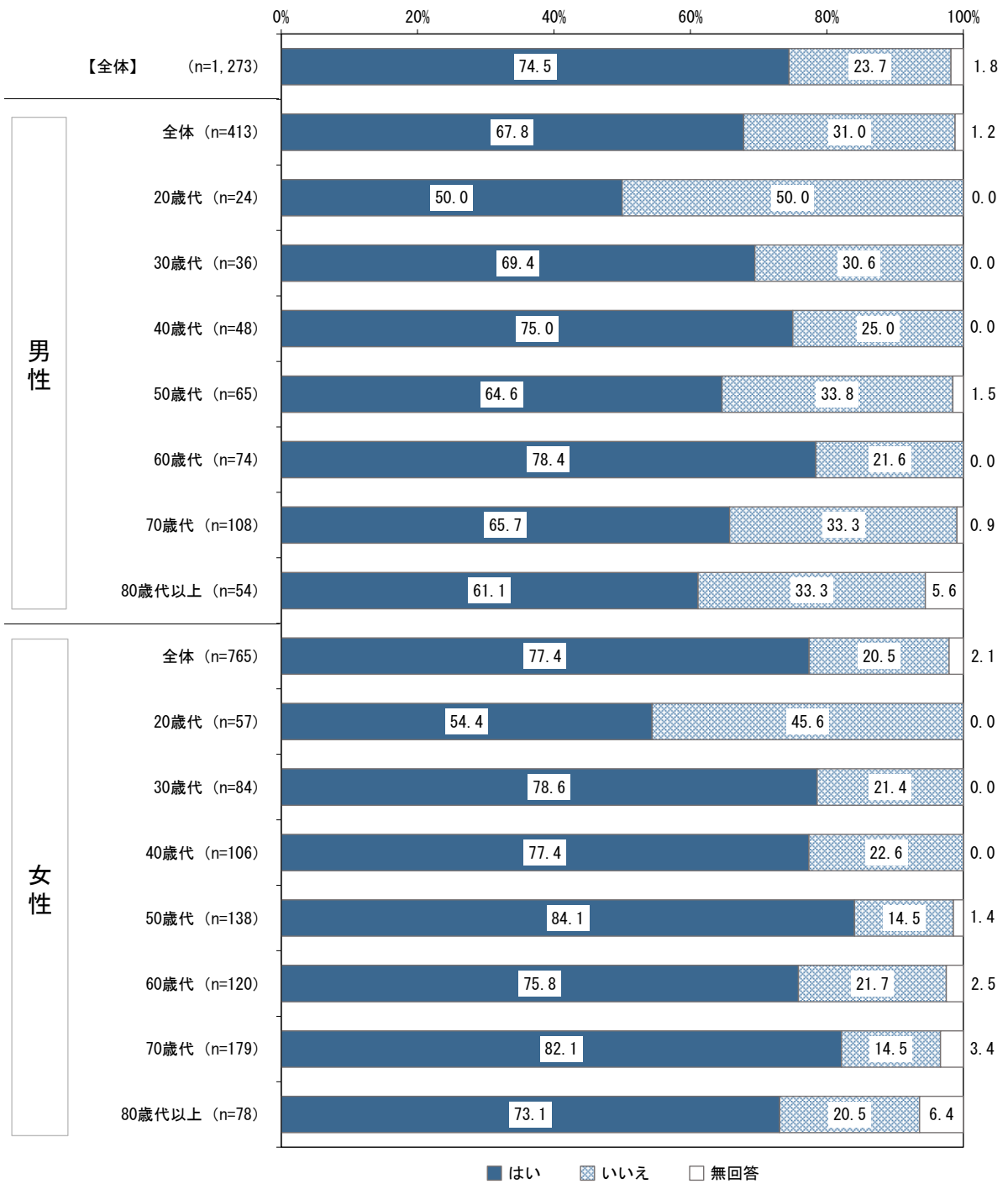
問21	あなたは食品表示をみて、食品を購入していますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	---	------

【全体】

「はい」が74.5%、「いいえ」が23.7%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「はい」では、女性（77.4%）が男性（67.8%）より9.6ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「はい」について、男性では40歳代、60歳代が70%以上となっており、20歳代では50.0%と最も低くなっています。女性では50歳代、70歳代が80%以上となっており、20歳代では54.4%で最も低くなっています。



(28) 食中毒予防の三原則を知っているか

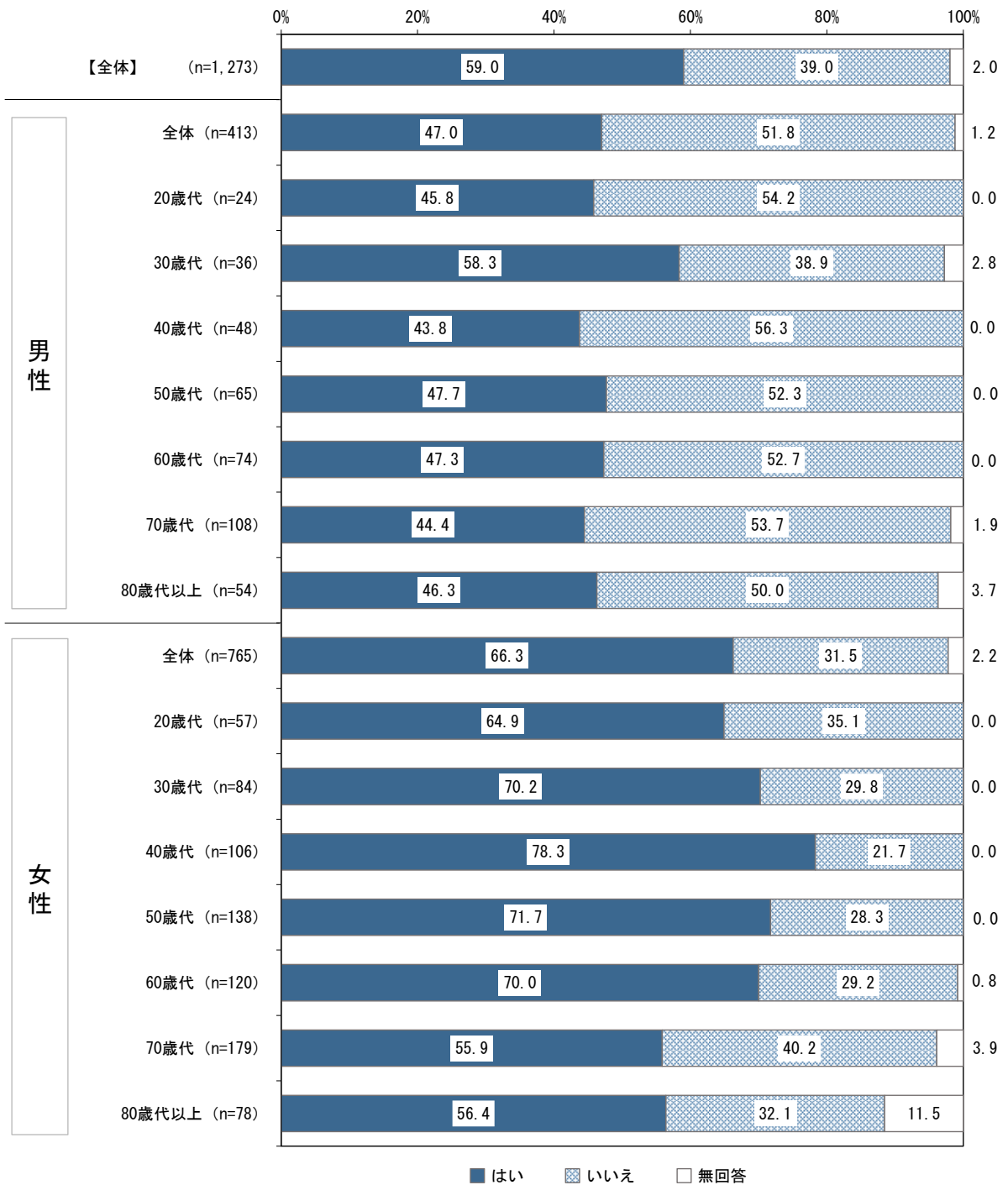
問22	あなたは食中毒予防の三原則「細菌をつけない・増やさない・やっつける」を知っていますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	--	------

【全体】

「はい」が59.0%、「いいえ」が39.0%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「はい」について、女性（66.3%）が男性（47.0%）より19.3ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「はい」について、男性では30歳代が58.3%で最も高く、他の年齢では40%以上となっています。女性では30歳代～60歳代で70%以上となっており、70歳代以上では60%未満となっています。



(29) 調理前・食事前に手を洗うか

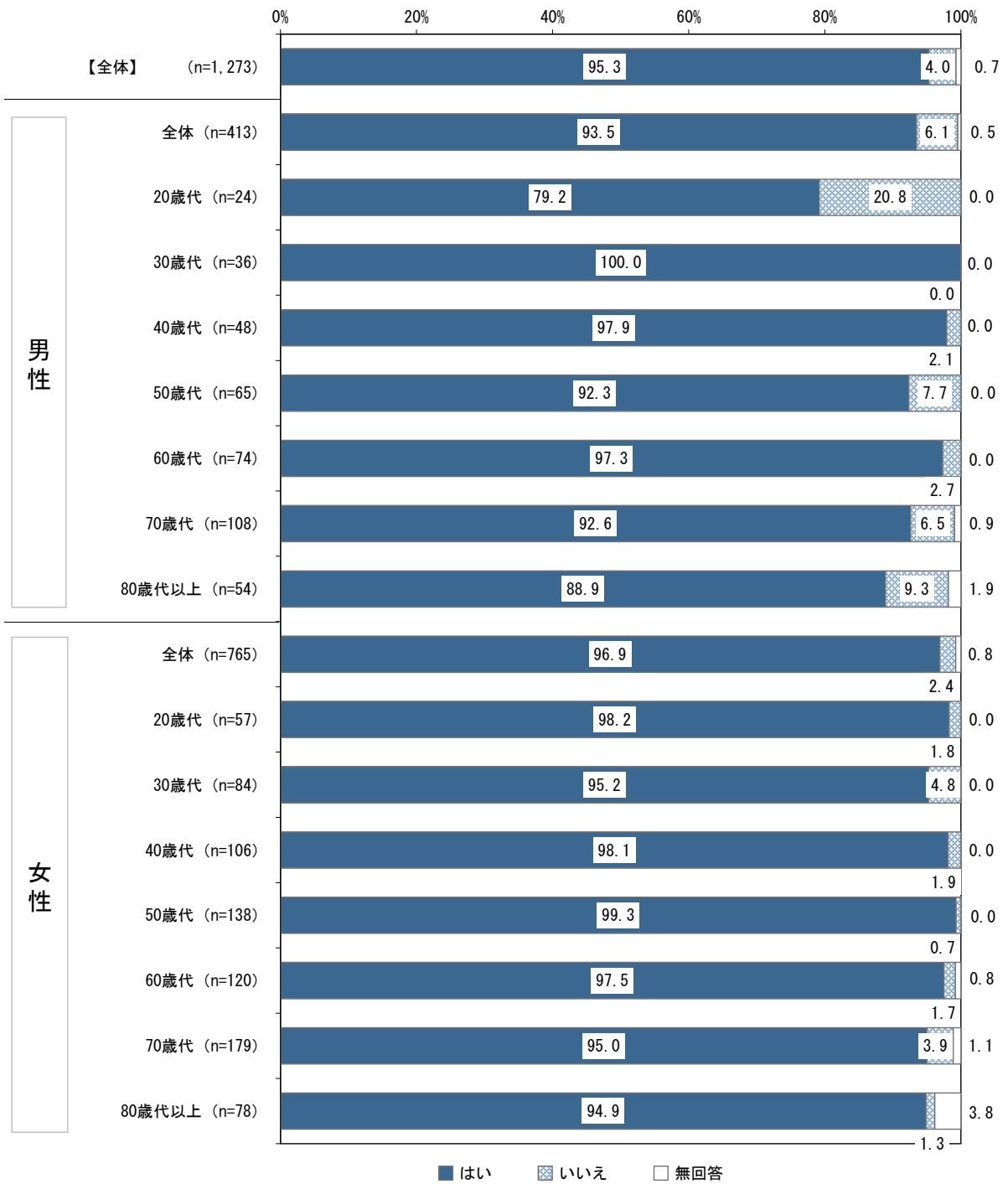
問23	あなたは調理前や食事前に手をあらいますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----	--	------

【全体】

「はい」が95.3%、「いいえ」が4.0%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「はい」について、男性が93.5%、女性が96.9%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、「はい」について、男性では30歳代が100.0%で最も高く、20歳代では80%未満となっており、女性では全ての年齢で90%以上となっています。

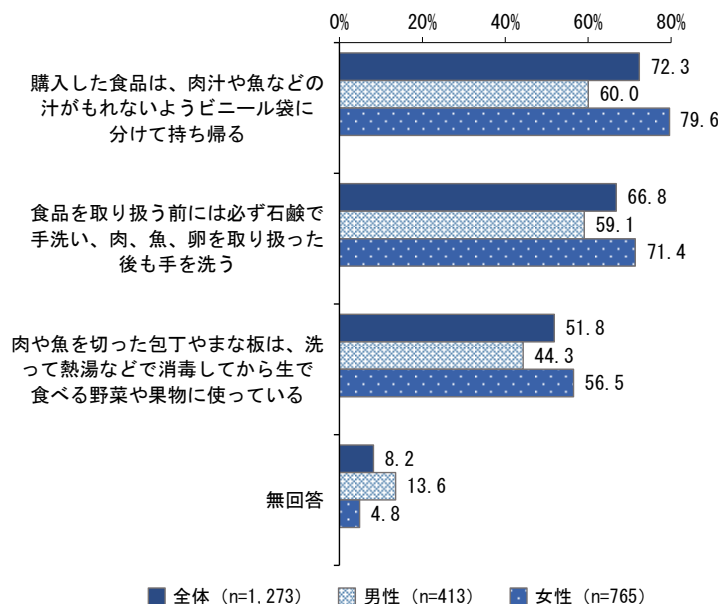


(30) 食中毒予防のために実践していること

問24	家庭での食中毒予防のため実施している番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
-----	---------------------------------------	---------

【つけない・全体】

食中毒予防のための「つけない」行動については、「購入した食品は、肉汁や魚などの汁がもれないようビニール袋に分けて持ち帰る」が72.3%で最も高く、次いで「食品を取り扱う前には必ず石鹸で手洗い、肉、魚、卵を取り扱った後も手を洗う」が66.8%、「肉や魚を切った包丁やまな板は、洗って熱湯などで消毒してから生で食べる野菜や果物に使っている」が51.8%と続いています。



【つけない・性別・年齢別】

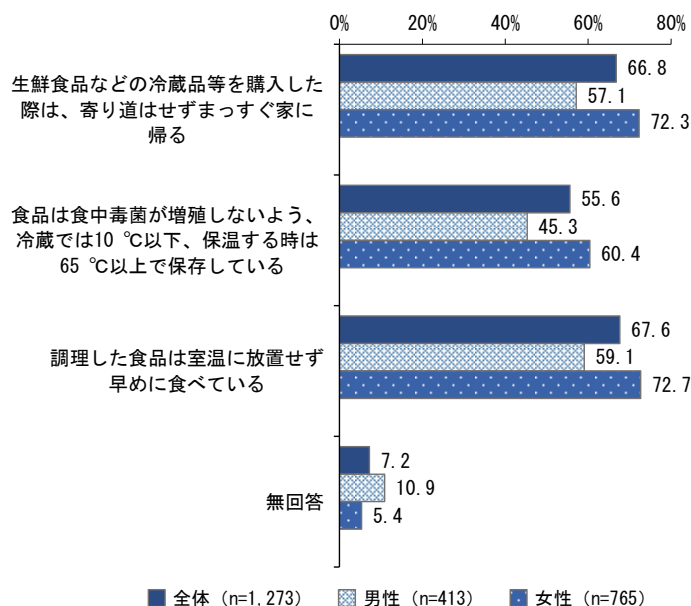
- 性別で見ると、男女ともに「購入した食品は、肉汁や魚などの汁がもれないようビニール袋に分けて持ち帰る」が最も高く、女性（79.6%）が男性（60.0%）より19.6ポイント高くなっています。
 - 性別・年齢別で見ると、「購入した食品は、肉汁や魚などの汁がもれないようビニール袋に分けて持ち帰る」について、男性では、全ての年齢で50%以上となっており、30歳代、40歳代では70%以上となっています。女性では、全ての年齢で70%以上となっており、20歳代、30歳代、50歳代では80%以上となっています。
- また、「食品を取り扱う前には必ず石鹸で手洗い、肉、魚、卵を取り扱った後も手を洗う」についても、30歳代、40歳代の男性と20歳代、30歳代、50歳代の女性での割合が高くなっています。

	合計	購入した食品は、肉汁や魚などの汁がもれないようビニール袋に分けて持ち帰る	食品を取り扱う前には必ず石鹸で手洗い、肉、魚、卵を取り扱った後も手を洗う	肉や魚を切った包丁やまな板は、洗って熱湯などで消毒してから生で食べる野菜や果物に使っている	無回答
全体	1,273	72.3	66.8	51.8	8.2
男性全体	413	60.0	59.1	44.3	13.6
20歳代	24	54.2	70.8	29.2	0.0
30歳代	36	75.0	72.2	44.4	5.6
40歳代	48	75.0	70.8	52.1	10.4
50歳代	65	53.8	63.1	40.0	23.1
60歳代	74	67.6	60.8	40.5	10.8
70歳代	108	50.9	50.0	44.4	13.0
80歳代以上	54	53.7	46.3	51.9	20.4
女性全体	765	79.6	71.4	56.5	4.8
20歳代	57	82.6	78.9	54.4	5.3
30歳代	84	81.0	82.1	56.0	3.6
40歳代	106	77.4	77.4	44.3	3.8
50歳代	138	84.8	84.1	58.0	4.3
60歳代	120	77.5	70.8	58.3	5.0
70歳代	179	78.2	60.3	63.1	3.9
80歳代以上	78	75.6	48.7	55.1	10.3

※網掛けは最上位項目

【増やさない・全体】

食中毒予防のための「増やさない」行動については、「調理した食品は室温に放置せず早めに食べている」が67.6%で最も高く、次いで「生鮮食品などの冷蔵品等を購入した際は、寄り道はせずまっすぐ家に帰る」が66.8%、「食品は食中毒菌が増殖しないよう、冷蔵では10℃以下、保温する時は65℃以上で保存している」が55.6%と続いています。



【増やさない・性別・年齢別】

- 性別でみると、男女ともに「調理した食品は室温に放置せず早めに食べている」が最も高く、女性（72.7%）が男性（59.1%）より13.6ポイント高くなっています。
「食品は食中毒菌が増殖しないよう、冷蔵では10℃以下、保温する時は65℃以上で保存している」については、女性（60.4%）が男性（45.3%）より15.1ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別でみると、「調理した食品は室温に放置せず早めに食べている」について、男性では40歳代以上で60%以上となっており、30歳代では50%未満、20歳代では40%未満となっています。女性では、50歳代～70歳代では70%以上となっており、20歳代では60%未満となっています。

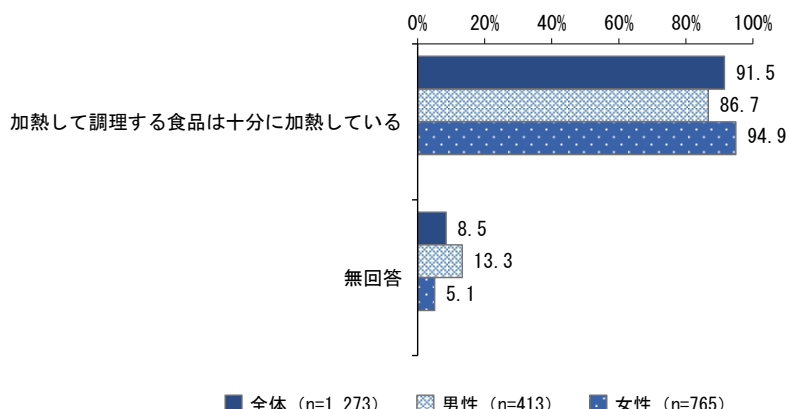
単位：%

	合計	まっすぐ寄り道はせず家に帰る	生鮮食品などの冷蔵品等を購入した際は、寄り道はせずまっすぐ家に帰る	食品は食中毒菌が増殖しないよう、冷蔵では10℃以下、保温する時は65℃以上で保存している	調理した食品は室温に放置せず早めに食べている	無回答
全体	1,273	66.8	55.6	67.6	7.2	
男性全体	413	57.1	45.3	59.1	10.9	
20歳代	24	41.7	29.2	37.5	20.8	
30歳代	36	75.0	41.7	47.2	8.3	
40歳代	48	64.6	52.1	60.4	6.3	
50歳代	65	58.5	38.5	64.6	13.8	
60歳代	74	58.1	51.4	62.2	13.5	
70歳代	108	54.6	45.4	62.0	5.6	
80歳代以上	54	48.1	46.3	61.1	14.8	
女性全体	765	72.3	60.4	72.7	5.4	
20歳代	57	68.4	52.6	59.6	10.5	
30歳代	84	66.7	67.9	64.3	7.1	
40歳代	106	72.6	63.2	67.9	2.8	
50歳代	138	72.5	65.2	79.7	5.1	
60歳代	120	73.3	61.7	75.0	2.5	
70歳代	179	76.0	55.3	78.2	3.4	
80歳代以上	78	70.5	55.1	69.2	12.8	

※網掛けは最上位項目

【やっつける・全体】

食中毒予防のための「やっつける」行動（「加熱して調理する食品は十分に加熱している」）をしているについては、91.5%となっています。



【やっつける・性別・年齢別】

●性別で見ると、「加熱して調理する食品は十分に加熱している」

については、女性（94.9%）が男性（86.7%）より8.2ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、「加熱して調理する食品は十分に加熱している」について、男性では、全ての年齢で80%以上となっており、60歳代が90.5%で最も高くなっています。女性では、80歳代以上を除く全ての年齢で90%以上となっており、40歳代が99.1%で最も高くなっています。

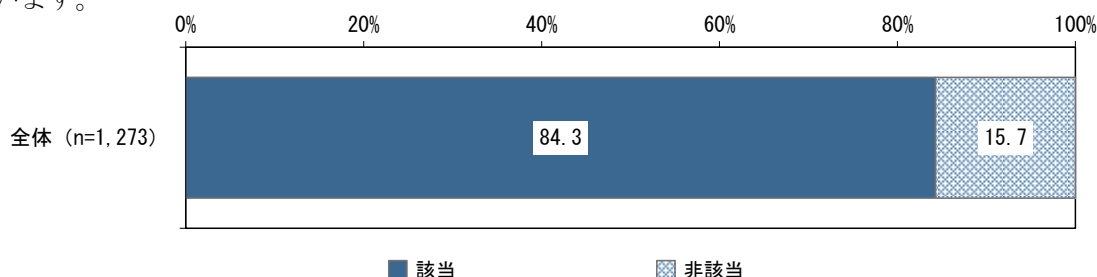
単位：%

	合計	い品加 るは熱 十分に に調 理す る食	無 回 答
全体	1,273	91.5	8.5
男性全体	413	86.7	13.3
20歳代	24	83.3	16.7
30歳代	36	83.3	16.7
40歳代	48	87.5	12.5
50歳代	65	86.2	13.8
60歳代	74	90.5	9.5
70歳代	108	87.0	13.0
80歳代以上	54	85.2	14.8
女性全体	765	94.9	5.1
20歳代	57	96.5	3.5
30歳代	84	96.4	3.6
40歳代	106	99.1	0.9
50歳代	138	98.6	1.4
60歳代	120	98.3	1.7
70歳代	179	91.1	8.9
80歳代以上	78	84.6	15.4

※網掛けは最上位項目

【食中毒予防の三原則である「つけない」「増やさない」「やっつける」の3項目すべてに関する行動を実践している人の割合】

食中毒予防の三原則である「つけない」「増やさない」「やっつける」の3項目すべてに関する行動を実践しているかどうかについては、「該当」が84.3%、「非該当」が15.7%となっています。



(31) 災害に備えた食品の備蓄

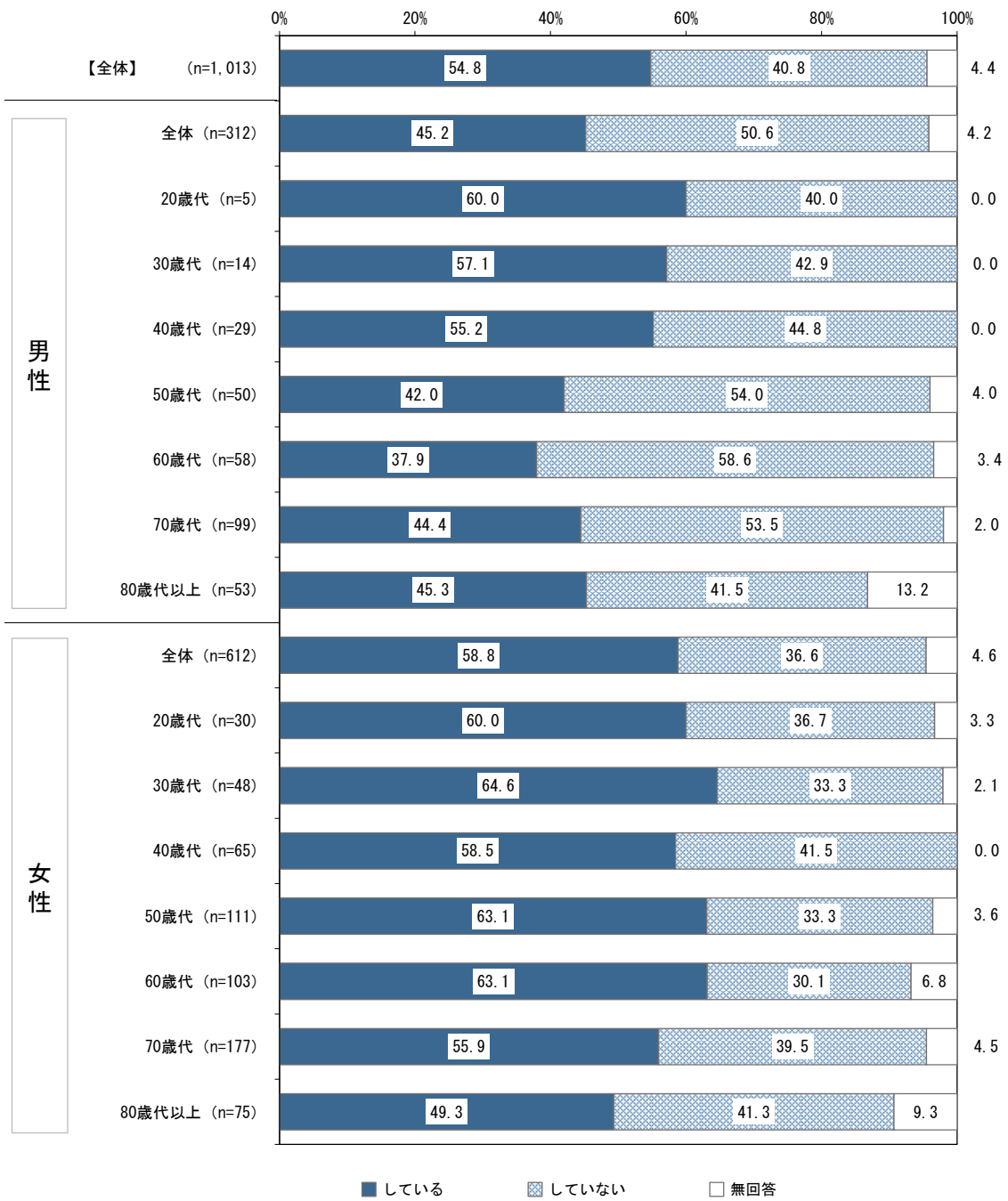
問25-1	災害に備えた食品の備蓄をしていますか。	○は1つ
-------	---------------------	------

【全体】

「している」が54.8%、「していない」が40.8%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「している」について、女性（58.8%）が男性（45.2%）より13.6ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「している」について、男性では20歳代が60.0%で最も高く、60歳代を除いた他の年齢では40%以上となっています。女性では30歳代が64.6%で最も高く、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代では60%以上となっています。



(32) 備蓄している食料品

問25-2	備蓄している食料品は何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
-------	---	---------

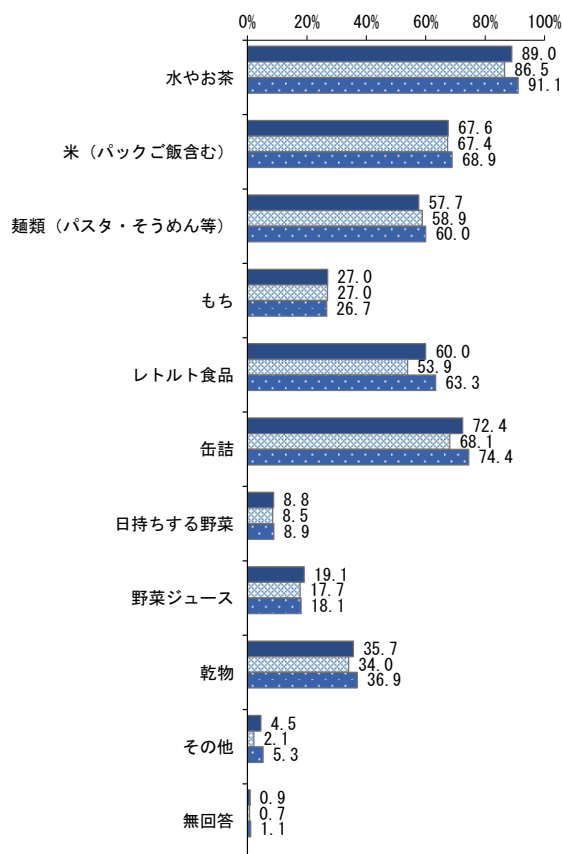
【全体】

「水やお茶」が89.0%で最も高く、次いで「缶詰」が72.4%、「米（パックご飯含む）」が67.6%となっています。

【性別・年齢別】

●性別で見ると、男女ともに「水やお茶」が最も高く、女性（91.1%）が男性（86.5%）より4.6ポイント高くなっています。

●性別・年齢別で見ると、「水やお茶」について、男性では20歳代が100.0%で最も高く、他の年齢ではおおよそ80%以上となっています。女性では50歳代で97.1%となっており、他の年齢ではおおよそ80%以上となっています。



【問 25-2 その他の内容】※一部抜粋

- ・菓子類（14件）
- ・長期保存食（8件）
- ・カップ麺（2件）

	合計	水やお茶	米（パックご飯含む）	ん種類（パスタ・そうめん等）	もち	レトルト食品	缶詰	日持ちする野菜	野菜ジュース	乾物	その他	無回答
全体	555	89.0	67.6	57.7	27.0	60.0	72.4	8.8	19.1	35.7	4.5	0.9
男性全体	141	86.5	67.4	58.9	27.0	53.9	68.1	8.5	17.7	34.0	2.1	0.7
20歳代	3	100.0	66.7	66.7	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
30歳代	8	87.5	37.5	37.5	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
40歳代	16	87.5	75.0	50.0	25.0	87.5	68.8	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0
50歳代	21	81.0	76.2	61.9	23.8	61.9	57.1	9.5	19.0	33.3	0.0	0.0
60歳代	22	90.9	68.2	72.7	22.7	50.0	63.6	4.5	13.6	40.9	4.5	0.0
70歳代	44	88.6	70.5	63.6	31.8	43.2	70.5	9.1	25.0	22.7	0.0	2.3
80歳代以上	24	79.2	58.3	41.7	37.5	45.8	83.3	12.5	20.8	45.8	8.3	0.0
女性全体	360	91.1	68.9	60.0	26.7	63.3	74.4	8.9	18.1	36.9	5.3	1.1
20歳代	18	94.4	38.9	50.0	5.6	50.0	66.7	0.0	11.1	55.6	5.6	0.0
30歳代	31	93.5	71.0	41.9	12.9	64.5	74.2	6.5	9.7	29.0	3.2	0.0
40歳代	38	78.9	71.1	55.3	26.3	68.4	63.2	0.0	15.8	18.4	10.5	5.3
50歳代	70	97.1	65.7	57.1	27.1	68.6	74.3	5.7	10.0	31.4	4.3	0.0
60歳代	65	92.3	76.9	56.9	29.2	70.8	81.5	6.2	20.0	32.3	1.5	1.5
70歳代	99	92.9	72.7	74.7	34.3	60.6	74.7	17.2	25.3	46.5	8.1	0.0
80歳代以上	37	81.1	62.2	54.1	21.6	48.6	78.4	13.5	21.6	48.6	2.7	2.7

※網掛けは上位3項目

(33) 何日分の食料品を備蓄しているか

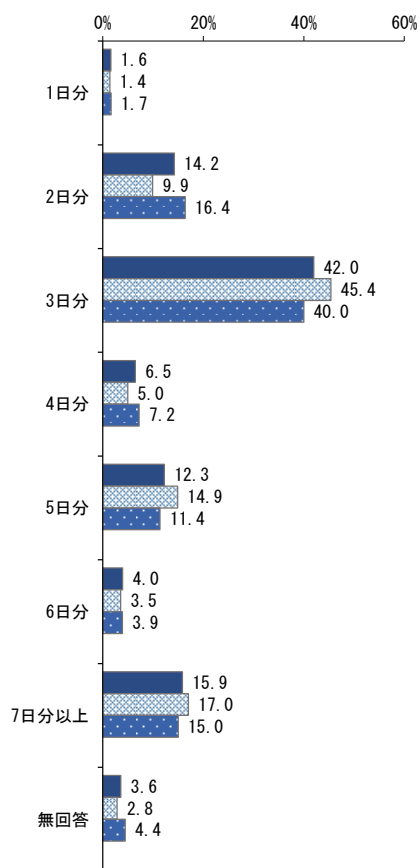
問25-3	何日分の備蓄をしていますか。主にあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-------	---	------

【全体】

「3日分」が42.0%で最も高く、次いで「7日分以上」が15.9%、「2日分」が14.2%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「3日分」が最も高く、男性（45.4%）が女性（40.0%）より5.4ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「3日分」について、男性では40歳代が62.5%で最も高く、30歳代、50歳代、60歳代で50%以上となっています。女性では20歳代が55.6%で最も高くなっており、30歳代～50歳代で40%以上となっています。また、「5日分」について、男女ともに50歳代以上では他の年齢よりも高くなっています。



■ 全体 (n=555) ■ 男性 (n=141) ■ 女性 (n=360)
単位：%

	合計	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	7日分以上	無回答
全体	555	1.6	14.2	42.0	6.5	12.3	4.0	15.9	3.6
男性全体	141	1.4	9.9	45.4	5.0	14.9	3.5	17.0	2.8
20歳代	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
30歳代	8	0.0	12.5	50.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0
40歳代	16	0.0	12.5	62.5	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3
50歳代	21	0.0	0.0	57.1	0.0	19.0	0.0	19.0	4.8
60歳代	22	0.0	13.6	54.5	4.5	18.2	0.0	9.1	0.0
70歳代	44	2.3	9.1	36.4	6.8	20.5	2.3	18.2	4.5
80歳代以上	24	4.2	12.5	37.5	4.2	16.7	8.3	16.7	0.0
女性全体	360	1.7	16.4	40.0	7.2	11.4	3.9	15.0	4.4
20歳代	18	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6
30歳代	31	0.0	25.8	45.2	6.5	0.0	0.0	16.1	6.5
40歳代	38	5.3	23.7	44.7	5.3	2.6	2.6	13.2	2.6
50歳代	70	1.4	27.1	40.0	2.9	12.9	4.3	8.6	2.9
60歳代	65	1.5	12.3	36.9	9.2	16.9	4.6	15.4	3.1
70歳代	99	0.0	6.1	37.4	9.1	17.2	4.0	21.2	5.1
80歳代以上	37	0.0	10.8	35.1	13.5	8.1	8.1	16.2	8.1

※網掛けは上位3項目

(34) 食生活の意識・行動についての变化（コロナ禍以前との比較）

問26	食生活の意識や行動についてコロナ流行前（令和2年（2020年）以前）と比べて変化はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。	○は1つ
-----	---	------

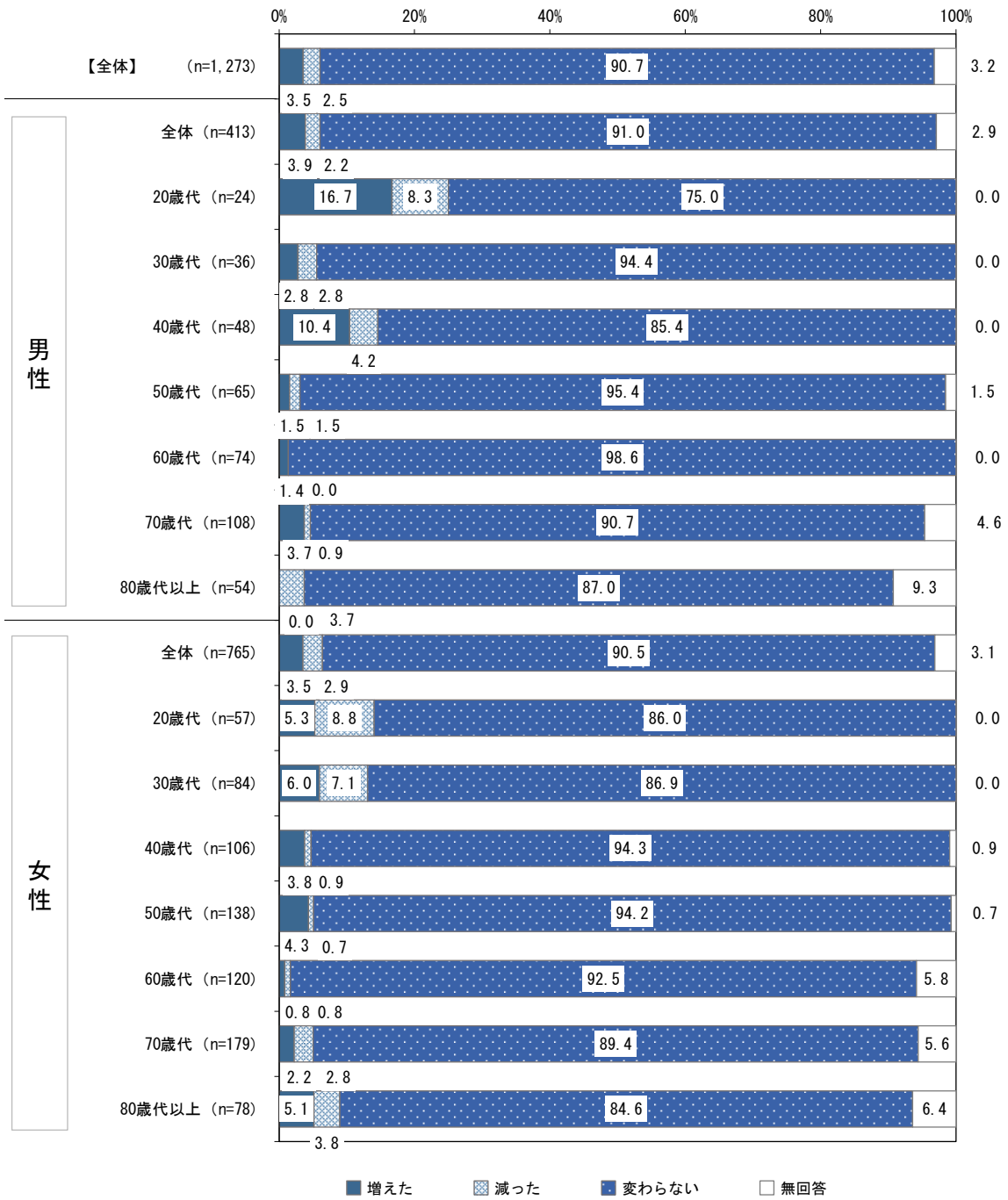
< 1. 食事の回数 >

【全体】

「変わらない」が90.7%で最も高く、次いで「増えた」が3.5%、「減った」が2.5%となっています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「変わらない」が最も高く、男性が91.0%、女性が90.5%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、『食事の回数の変化（「増えた」と「減った」の合計）』について、男性では20歳代が25.0%で他の年齢より変化がみられます。女性では20歳代（14.0%）と30歳代（13.1%）で他の年齢より変化がみられます。



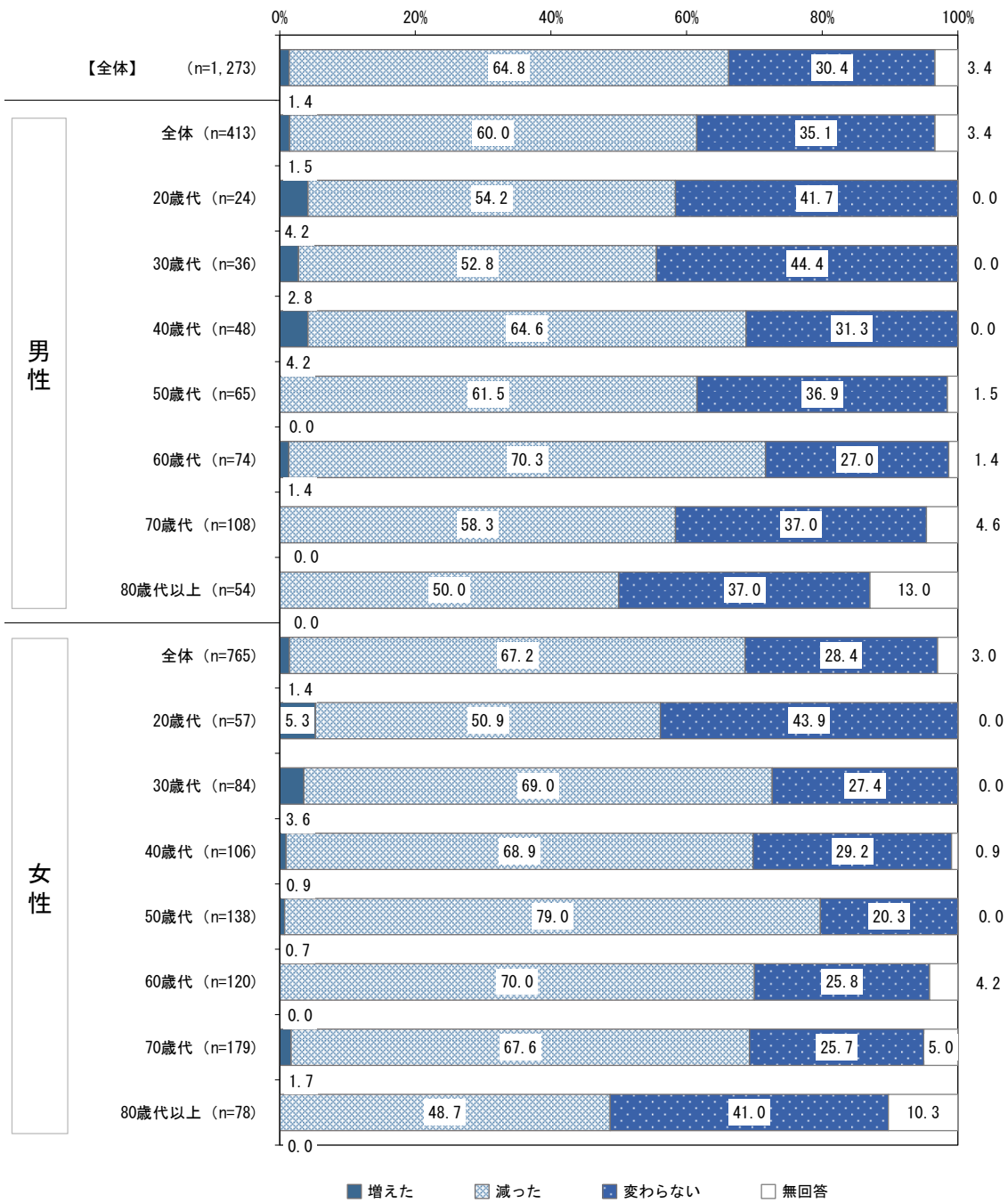
< 2. 外食の頻度 >

【全体】

「減った」が64.8%で最も高く、次いで「変わらない」が30.4%、「増えた」が1.4%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「減った」が最も高く、女性（67.2%）が男性（60.0%）より7.2ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「減った」について、男性では、全ての年齢で50%以上となっており、60歳代が70.3%で最も高くなっています。女性では、50歳代～60歳代が70%以上となっており、50歳代が79.0%で最も高くなっています。



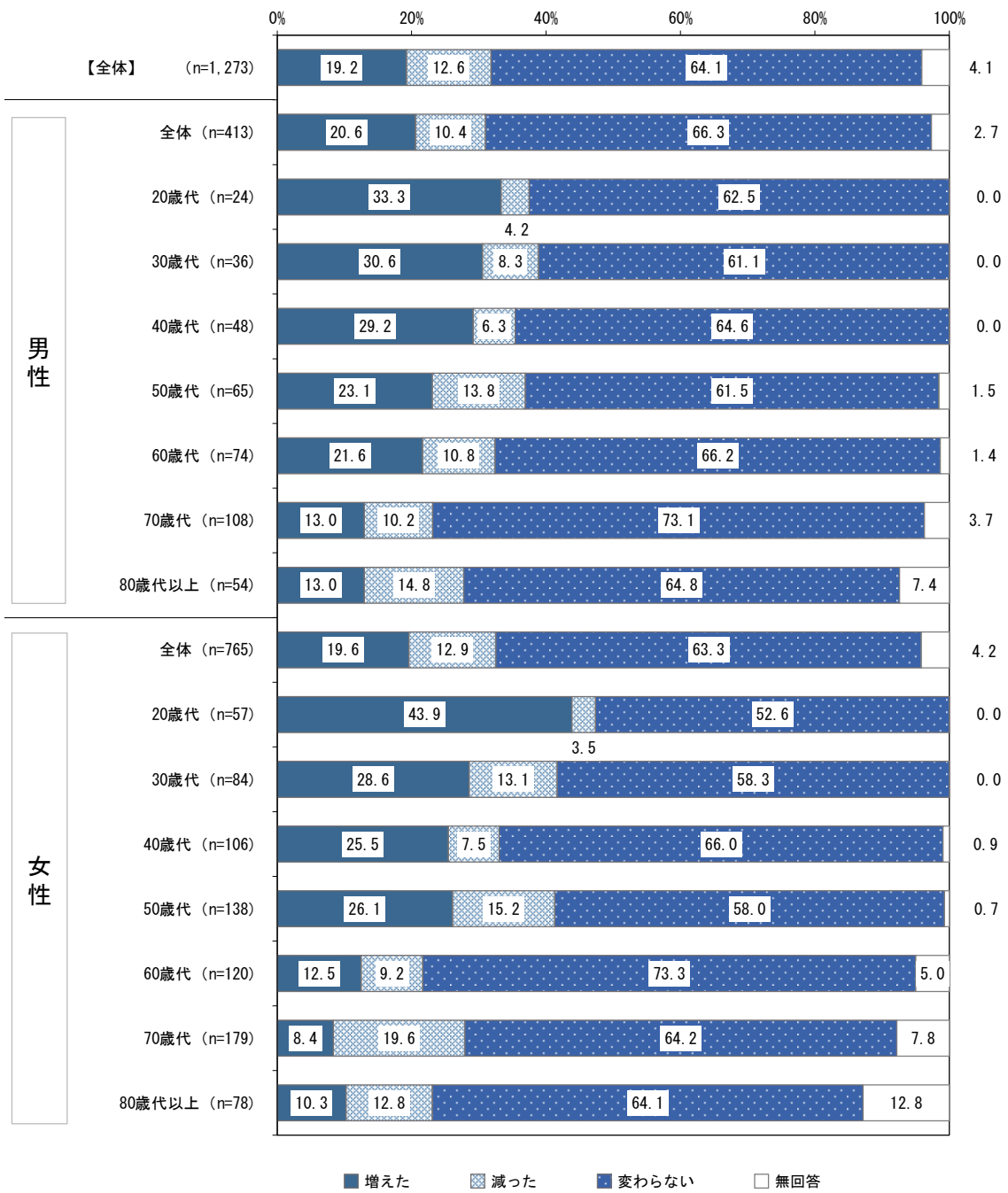
< 3. 中食の頻度 >

【全体】

「変わらない」が64.1%で最も高く、次いで「増えた」が19.2%、「減った」が12.6%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「変わらない」が最も高く、男性（66.3%）が女性（63.3%）より3.0ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「増えた」について、男女ともにおおむね年齢が下がるにつれて割合が高くなっており、男性では20歳代が33.3%で最も高く、女性においても20歳代で43.9%と最も高くなっています。



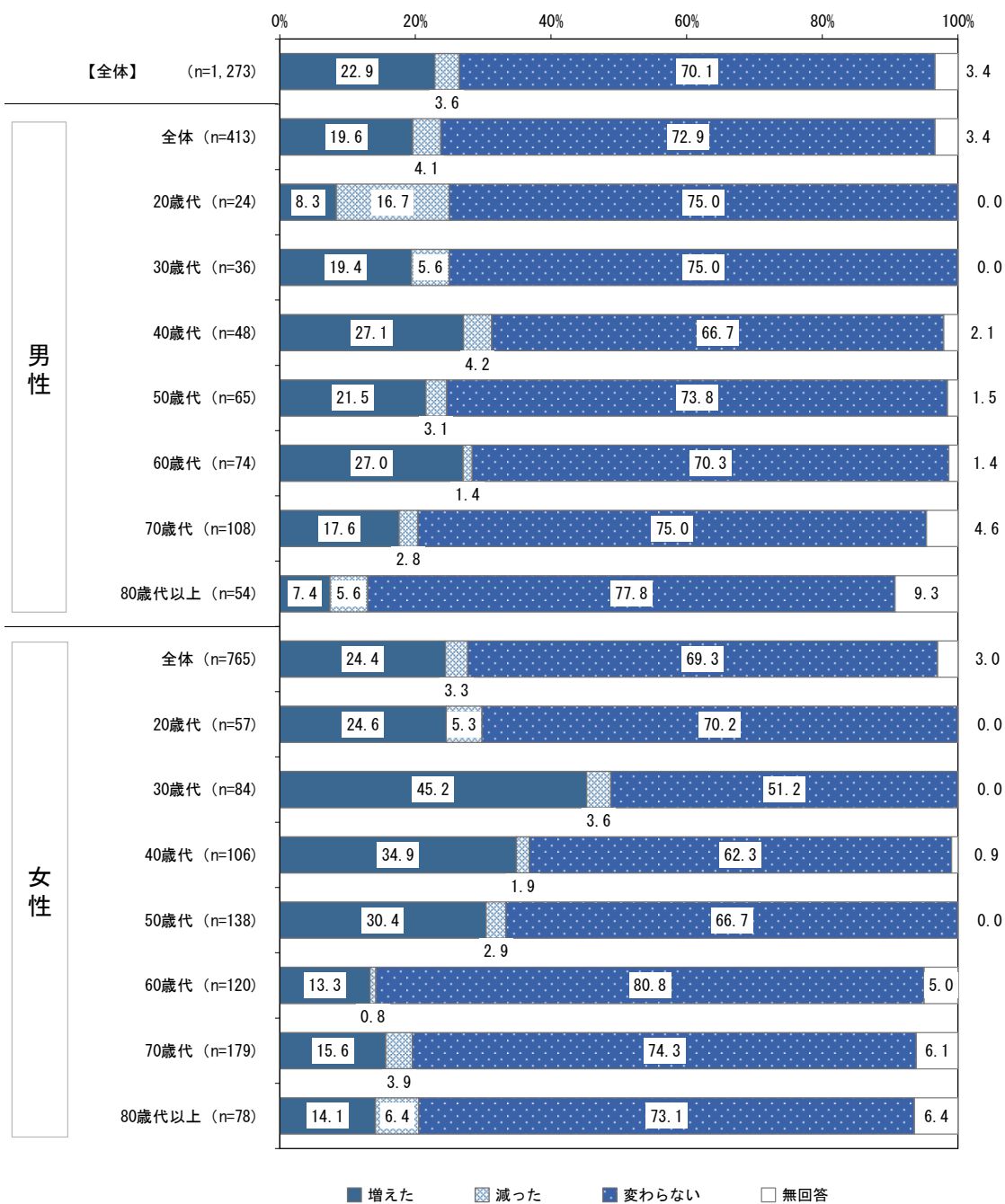
< 4. 自炊の頻度 >

【全体】

「変わらない」が70.1%で最も高く、次いで「増えた」が22.9%、「減った」が3.6%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「増えた」について、女性（24.4%）が男性（19.6%）より4.8ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「増えた」について、男性では、40～60歳代男性において「増えた」が20%以上となっている一方、20歳代男性においては、「減った」（16.7%）が「増えた」（8.3%）を上回っています。女性では、30歳代～50歳代で30%以上となっており、60歳代以上では20%未満となっています。



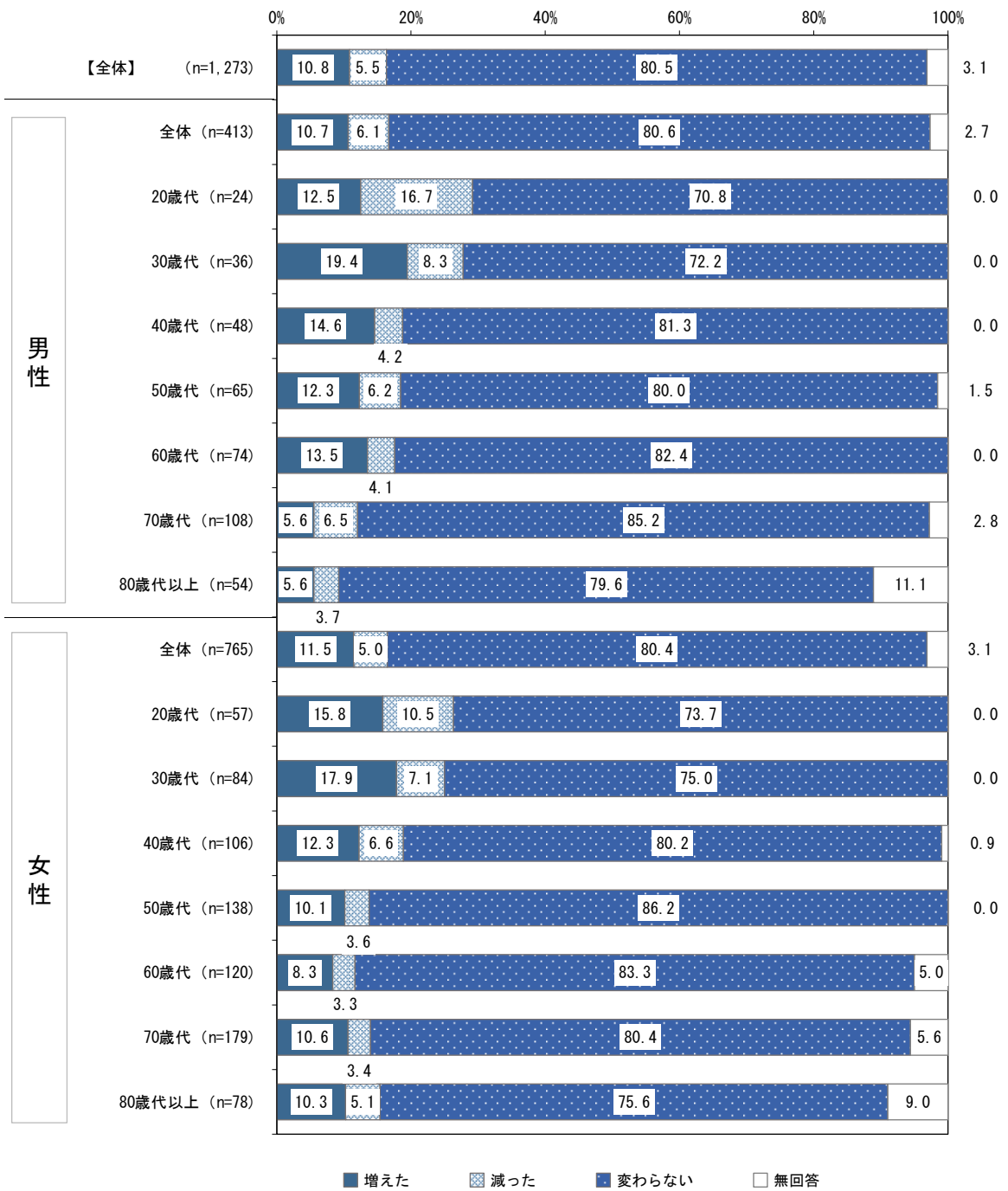
<5. 野菜の摂取量>

【全体】

「変わらない」が80.5%で最も高く、次いで「増えた」が10.8%、「減った」が5.5%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「増えた」では、男性が10.7%、女性が11.5%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、男性では20歳代と70歳代で「減った」が「増えた」を上回っています。「増えた」について女性では、60歳代を除く全ての年齢で10%以上となっており、60歳代では10%未満となっています。



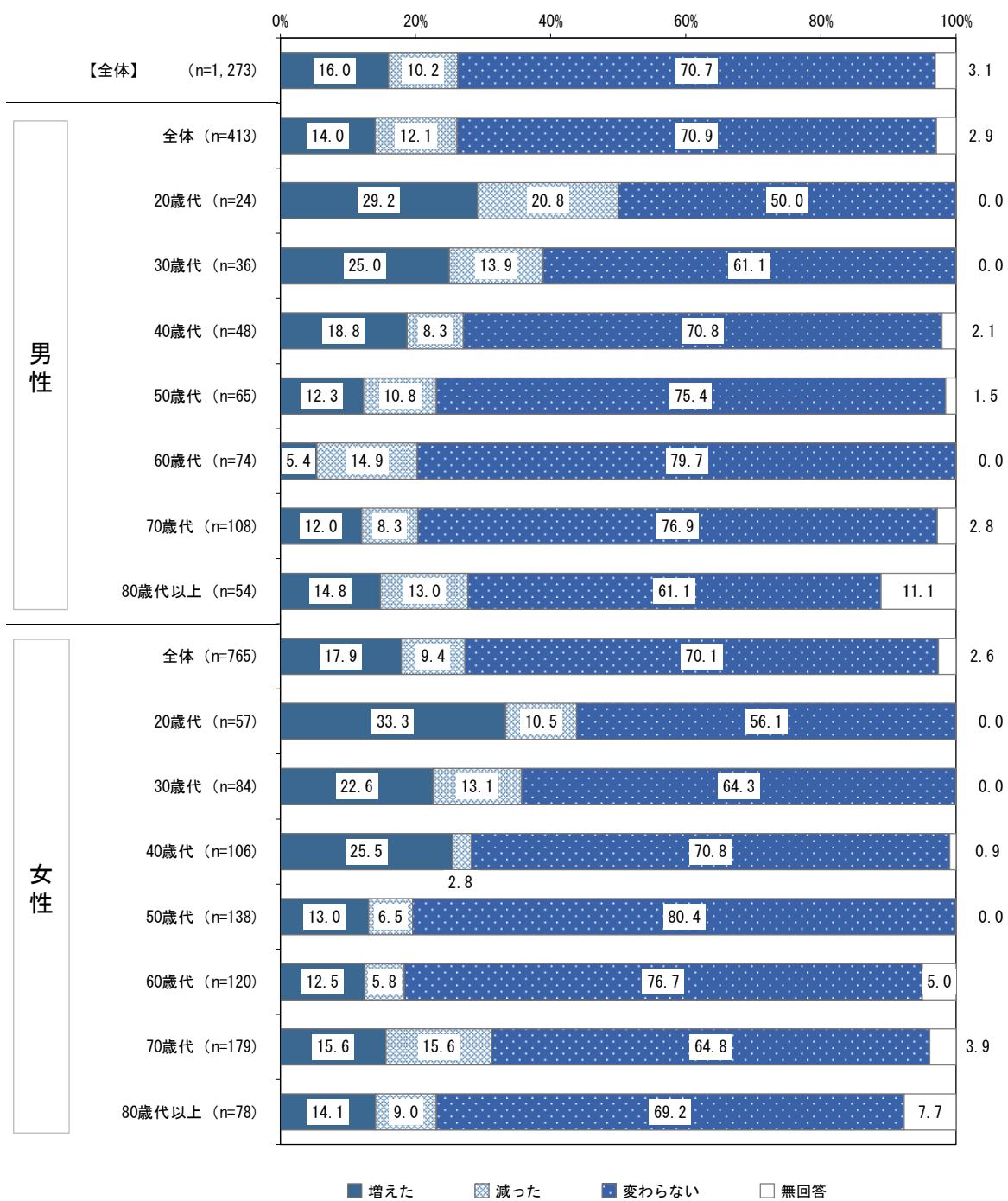
<6. 間食の量>

【全体】

「変わらない」が70.7%で最も高く、次いで「増えた」が16.0%、「減った」が10.2%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「増えた」について、女性（17.9%）が男性（14.0%）より3.9ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「増えた」について、男性では、20歳代～50歳代までは年齢が下がるにつれて割合が高くなっています。女性では、20歳代～40歳代が20%以上となっており、50歳代以上では20%未満となっています。



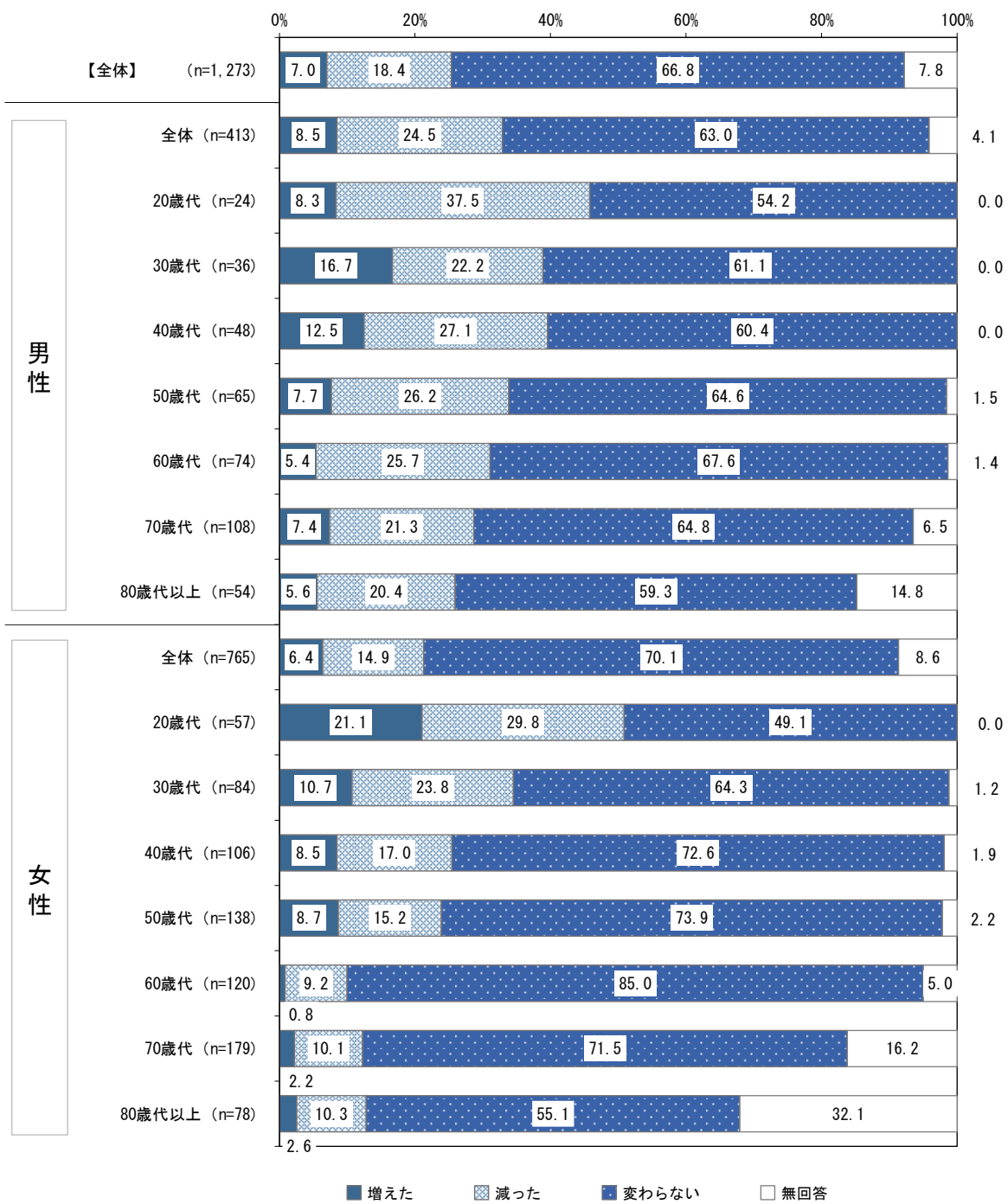
<7. 飲酒量や頻度>

【全体】

「変わらない」が66.8%で最も高く、次いで「減った」が18.4%、「増えた」が7.0%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「減った」について、男性が24.5%、女性が14.9%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、「減った」について、男性では、20歳代が30%以上となっており、その他の年代においても20%以上となっています。女性では、20歳代～30歳代が20%以上となっています。



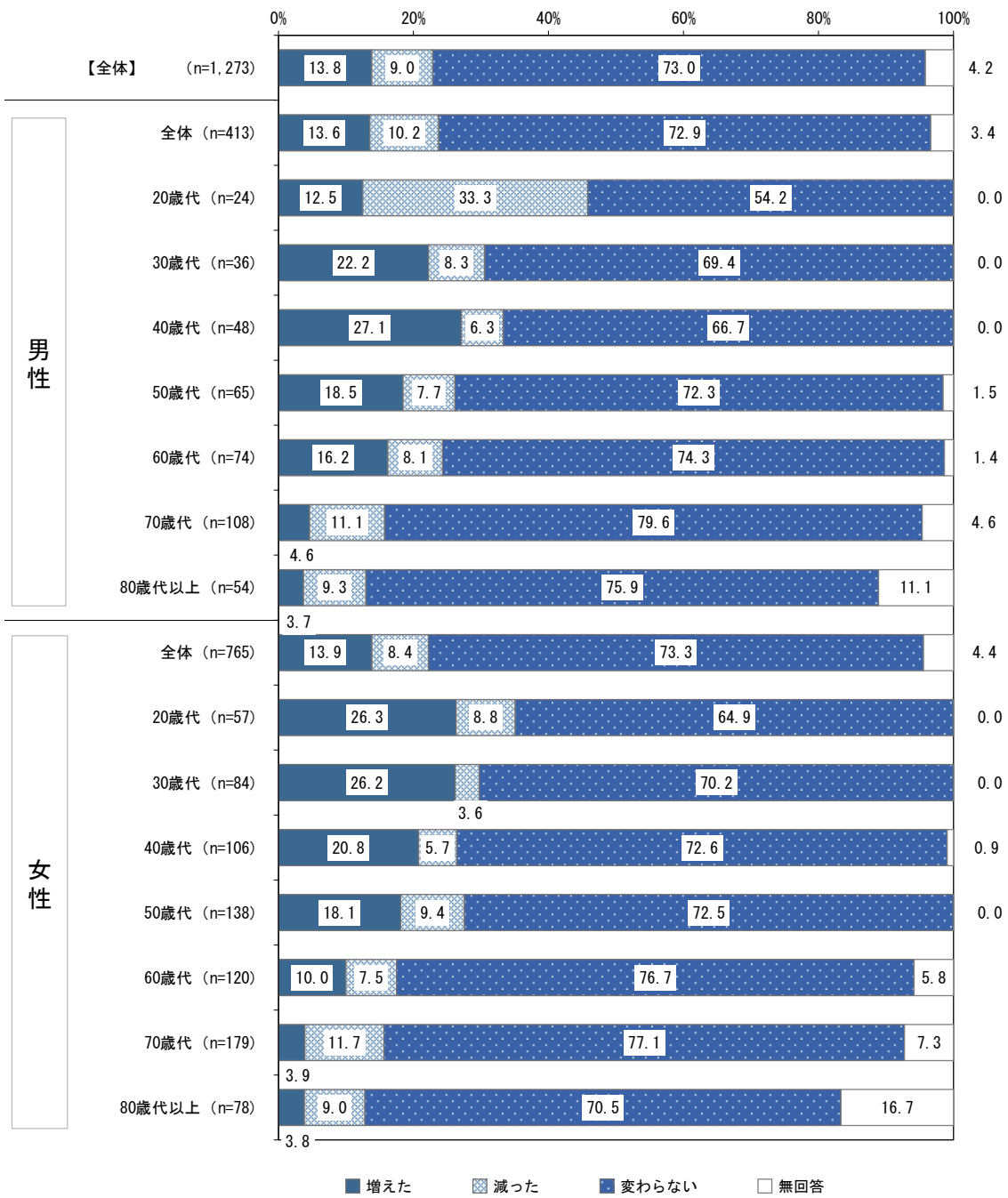
< 8. 家族と一緒に食事をする機会 >

【全体】

「変わらない」が73.0%で最も高く、次いで「増えた」が13.8%、「減った」が9.0%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「増えた」について、男性が13.6%、女性が13.9%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、「減った」が「増えた」を上回っているのは、男性では20歳代、70歳代以上となっています。女性では、70歳代以上となっています。



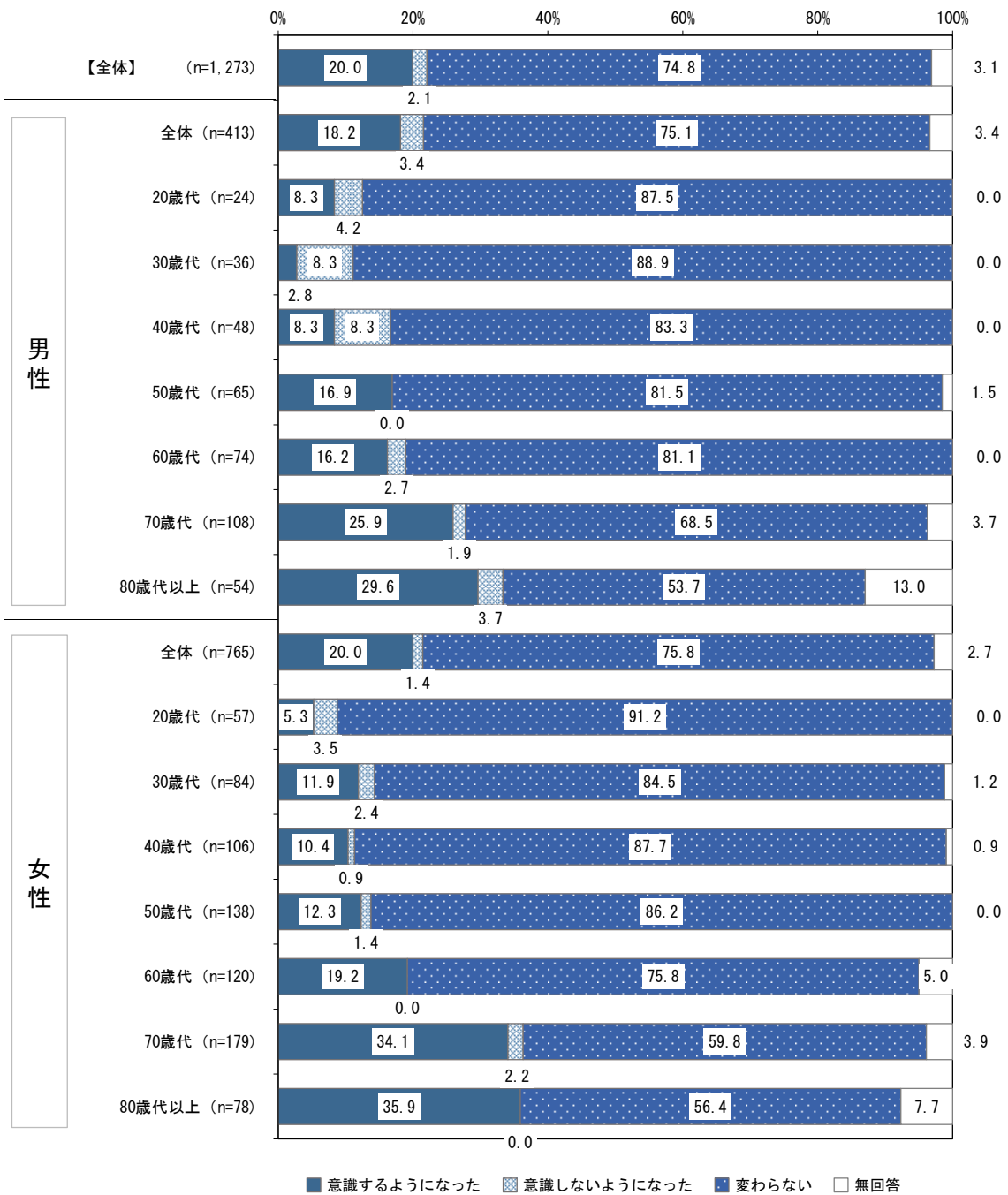
<9. 減塩に対する意識>

【全体】

「変わらない」が74.8%で最も高く、次いで「意識するようになった」が20.0%、「意識しないようになった」が2.1%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「意識するようになった」について、女性（20.0%）が男性（18.2%）より1.8ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「意識するようになった」について、男性では、70歳代以上が20%以上となっており、20歳代～40歳代では10%未満となっています。女性では、おおむね年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。



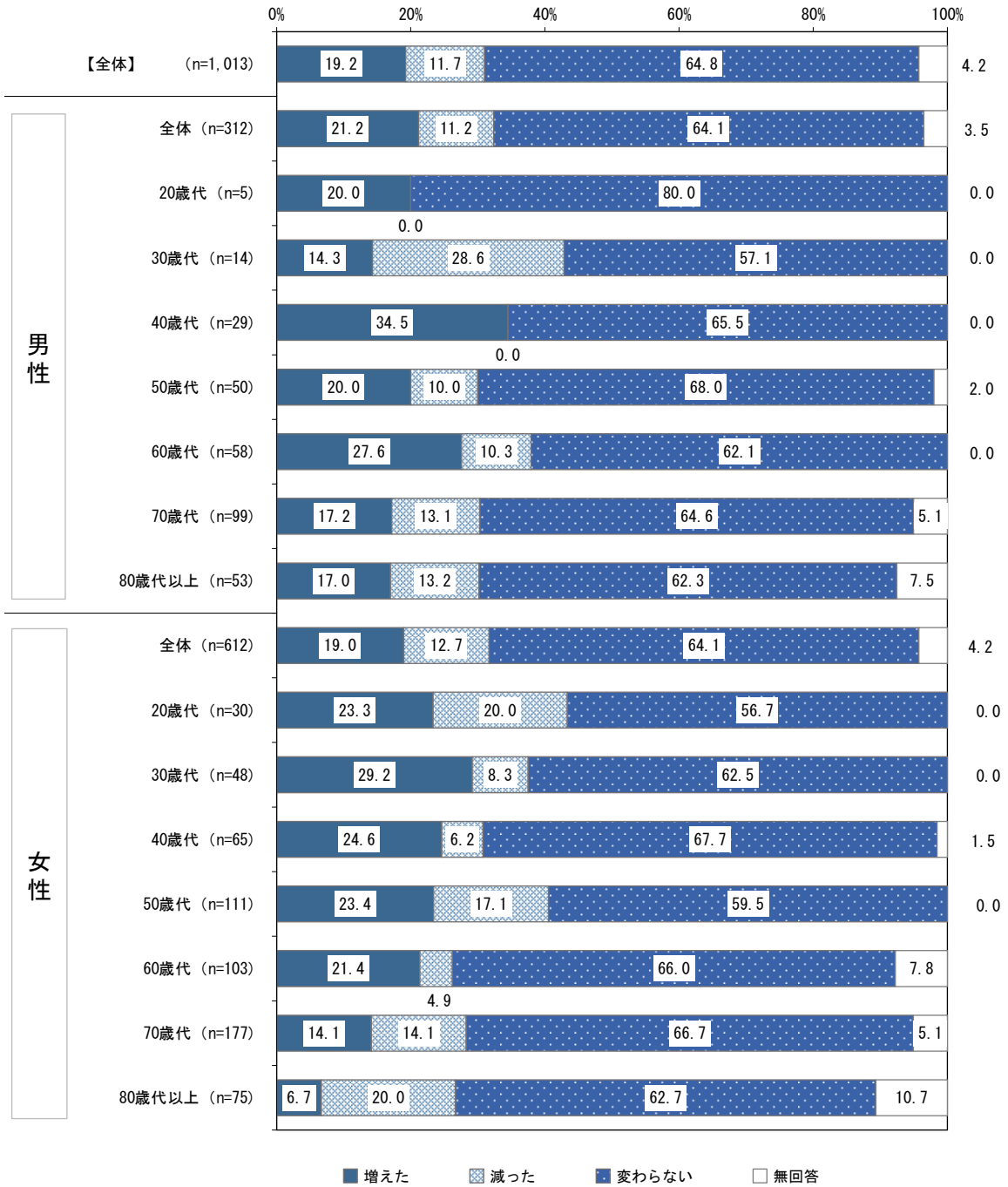
<10. 体重の増減>

【全体】

「変わらない」が64.8%で最も高く、次いで「増えた」が19.2%、「減った」が11.7%と続いています。

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「増えた」については、男性（21.2%）が女性（19.0%）より2.2ポイント高くなっています。
- 性別・年齢別で見ると、「増えた」について、男性では、40歳代が34.5%で最も高く、30歳代、70歳代以上では20%未満となっています。女性では、20歳代～60歳代までは20%以上となっており、80歳代以上では10%未満となっています。



<11. その他>

【全体】

その他については、52件の回答があり「特に変わらない」が17.3%、「食生活が不規則になった」、「自炊の頻度が増えた」、「バランスの良い食事を意識するようになった」が7.7%となっています。

【問 26・11. 「その他」の内容】※一部抜粋

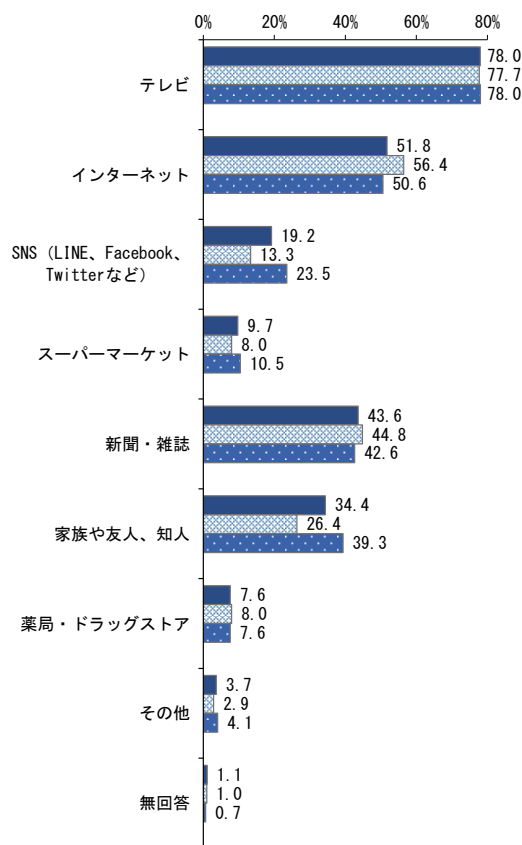
- ・食生活が不規則になった（4件）
- ・バランスの良い食事を意識するようになった（4件）
- ・食生活が規則正しくなった（3件）

(35) 健康に関する情報源

問28	<p>普段、健康に関する情報はどこで得ていますか。 あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。</p>	○はいくつでも
-----	---	---------

【全体】

「テレビ」が78.0%で最も高く、次いで「インターネット」が51.8%、「新聞・雑誌」が43.6%と続いています。



■ 全体 (n=1,273) ▨ 男性 (n=413) ■ 女性 (n=765)

【性別・年齢別】

- 性別で見ると、男女ともに「テレビ」が最も高く、男性が77.7%、女性が78.0%となっています。
- 性別・年齢別で見ると、男性では20歳代から50歳代までは「インターネット」が最も高く、60歳代以上では「テレビ」が最も高くなっています。女性では20歳代は「SNS (LINE、Facebook、Twitterなど)」、30歳代から40歳代は「インターネット」、50歳代以上では「テレビ」が最も高くなっています。

【問 28 「その他」の内容】※一部抜粋

- ・病院、医師、看護師 (10件)
- ・本 (7件)
- ・職場 (6件)

単位：%

	合計	テレビ	インターネット	SNS (LINE, Facebook, Twitterなど)	スーパーマーケット	新聞・雑誌	家族や友人、知人	薬局・ドラッグストア	その他	無回答
全体	1,273	78.0	51.8	19.2	9.7	43.6	34.4	7.6	3.7	1.1
男性全体	413	77.7	56.4	13.3	8.0	44.8	26.4	8.0	2.9	1.0
20歳代	24	37.5	83.3	29.2	0.0	8.3	25.0	8.3	0.0	0.0
30歳代	36	63.9	75.0	38.9	13.9	13.9	16.7	13.9	5.6	2.8
40歳代	48	72.9	75.0	22.9	20.8	27.1	22.9	18.8	2.1	0.0
50歳代	65	66.2	67.7	15.4	4.6	35.4	21.5	7.7	1.5	0.0
60歳代	74	89.2	62.2	9.5	5.4	47.3	29.7	1.4	4.1	2.7
70歳代	108	88.0	46.3	3.7	5.6	64.8	29.6	6.5	0.9	0.9
80歳代以上	54	85.2	14.8	1.9	7.4	66.7	29.6	5.6	7.4	0.0
女性全体	765	78.0	50.6	23.5	10.5	42.6	39.3	7.6	4.1	0.7
20歳代	57	61.4	54.4	70.2	17.5	5.3	29.8	7.0	10.5	1.8
30歳代	84	58.3	79.8	69.0	10.7	14.3	41.7	8.3	3.6	0.0
40歳代	106	71.7	84.0	27.4	15.1	25.5	30.2	8.5	4.7	0.0
50歳代	138	77.5	71.0	20.3	8.0	31.2	44.9	10.9	2.2	0.0
60歳代	120	82.5	50.0	10.8	9.2	52.5	36.7	6.7	2.5	0.8
70歳代	179	88.3	19.6	6.1	10.1	69.8	41.9	5.0	2.8	1.1
80歳代以上	78	89.7	7.7	1.3	6.4	65.4	43.6	7.7	6.4	1.3

令和4年度 枚方市「食」に関するアンケート結果報告書（高校生・大学生・専門学校生）

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、平成30年3月に策定した第3次枚方市食育推進計画策定の最終評価に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 実施要領

調査対象	回収数	回収構成比	調査期間	調査方法
枚方市内の高校（10校）、大学・専門学校（7校）の学生	1,634件 高校生：890件 （うち紙での回答：41件） 大学・専門学生：744件	高校生 54.5% 大学・専門学生 45.5%	令和4年 12月5日 ～令和5年 1月23日	インターネット 回答 （※高校生の一部は紙で回答）

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

(1) 回答者属性 性別

	あなたの性別に○をつけてください。	○は1つ
--	-------------------	------

【全体】

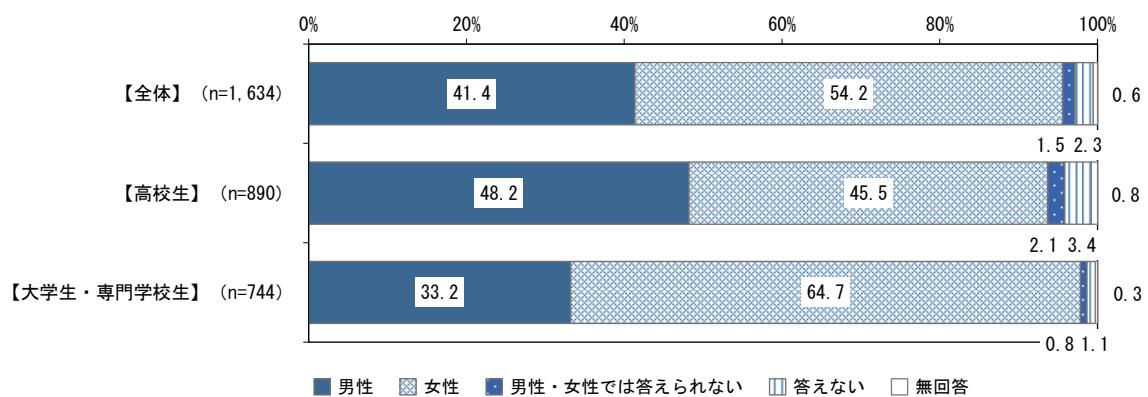
「女性」が54.2%で最も高く、次いで「男性」が41.4%、「答えない」が2.3%と続いています。

【高校生】

「男性」が48.2%、「女性」が45.5%となっています。

【大学生・専門学校生】

「女性」(64.7%)は「男性」(33.2%)より31.5ポイント高くなっています。



(2) 回答者属性 枚方市内在住の有無

あなたは枚方市内にお住まいですか。	○は1つ
-------------------	------

【全体】

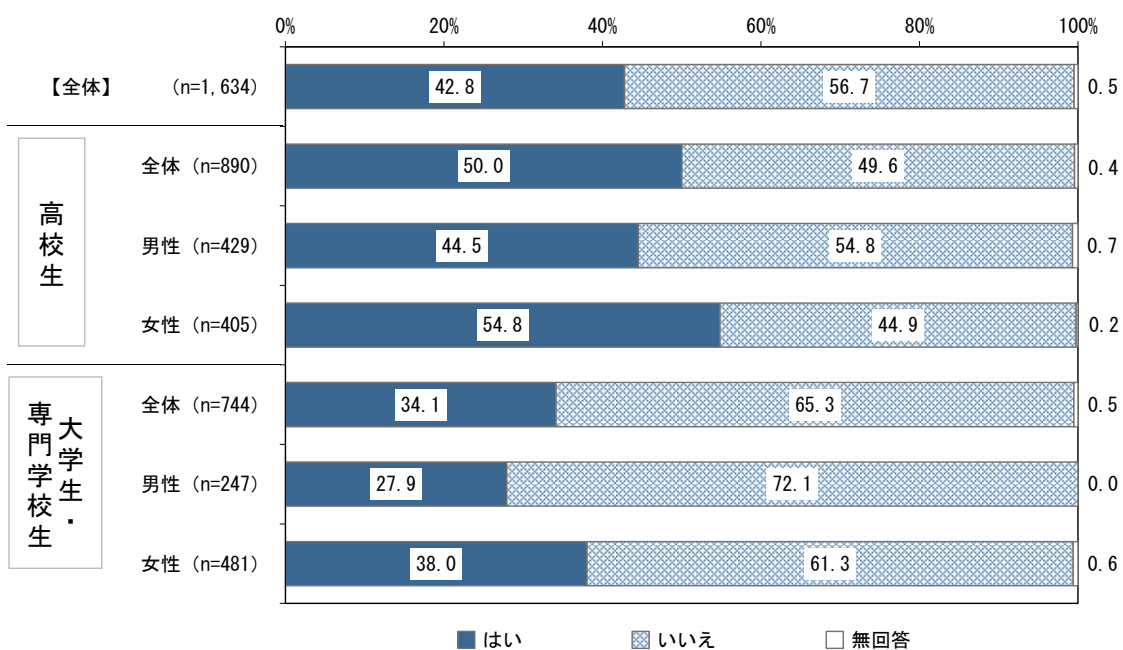
「はい」が42.8%、「いいえ」が56.7%となっています。

【高校生】

男性では「はい」が44.5%、「いいえ」が54.8%となっています。女性では「はい」が54.8%、「いいえ」が44.9%となっています。

【大学生・専門学校生】

男性では「はい」が27.9%、「いいえ」が72.1%となっています。女性では「はい」が38.0%、「いいえ」が61.3%となっています。



(3) 現在の健康状態

問 1	現在の健康状態はいかがですか？	〇は1つ
-----	-----------------	------

【全体】

「よい」が48.2%で最も高く、次いで「まあよい」が27.5%、「ふつう」が17.3%と続いています。

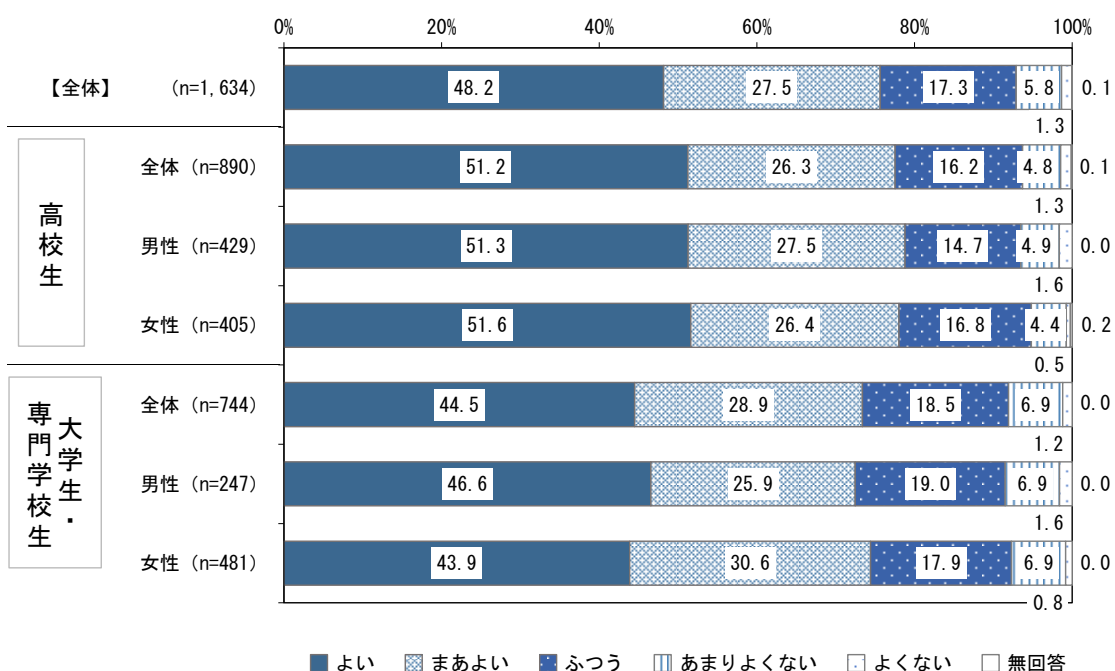
また、『よい（「よい」と「まあよい」の合計）』については、75.7%となっています。

【高校生】

『よい（「よい」と「まあよい」の合計）』については、男性では78.8%、女性では78.0%となっています。

【大学生・専門学校生】

『よい（「よい」と「まあよい」の合計）』については、女性（74.4%）が男性（72.5%）より1.9ポイント高くなっています。



(4) 食育への関心の有無

問2	あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
----	---	------

【全体】

「どちらかといえば関心がある」が39.0%で最も高く、次いで「とても関心がある」が23.5%、「あまり関心がない」が22.9%と続いています。

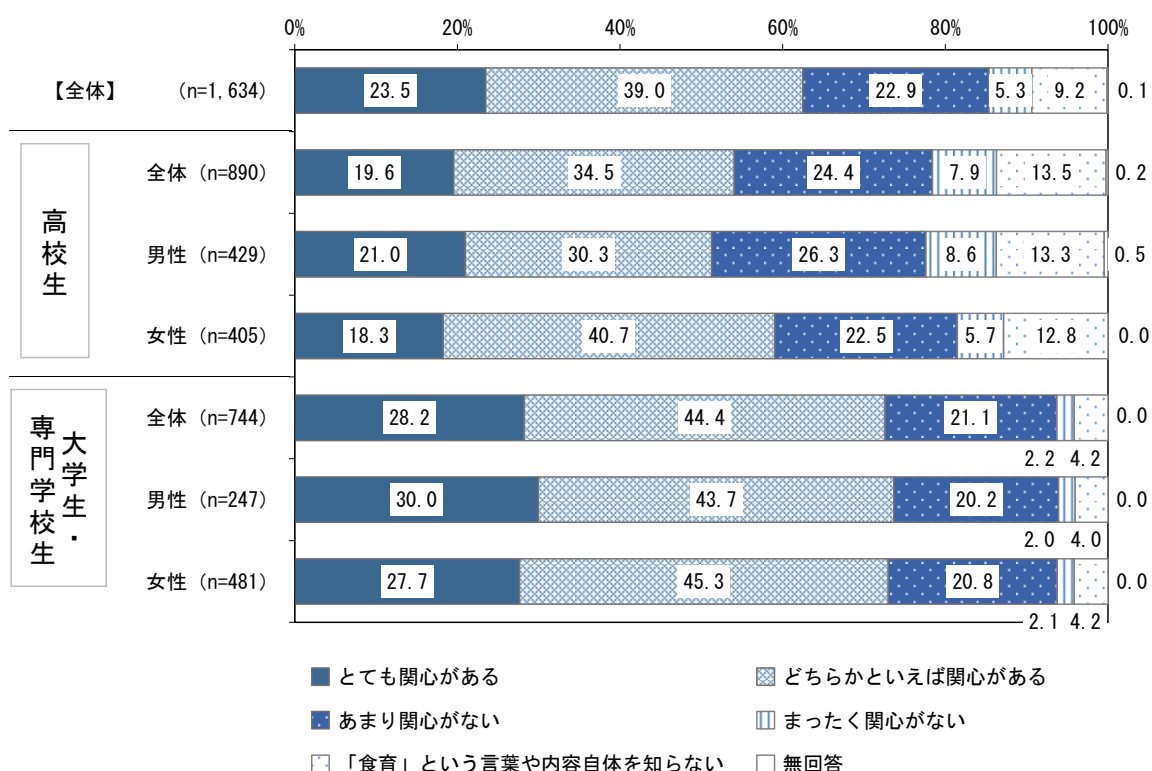
また、『関心がある（「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）』については、62.5%となっています。

【高校生】

『関心がある（「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）』については、女性（59.0%）が男性（51.3%）より7.7ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

『関心がある（「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）』については、男性では73.7%、女性では73.0%となっています。



(5) 自分の食生活をどう思うか

問3	あなたは、自分の食生活をどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
-----------	---	------

【全体】

「少しは問題があるが、おおむねよいと思う」が48.9%で最も高く、次いで「よいと思う」が25.9%、「問題があり改善したいと思う」が20.2%と続いています。

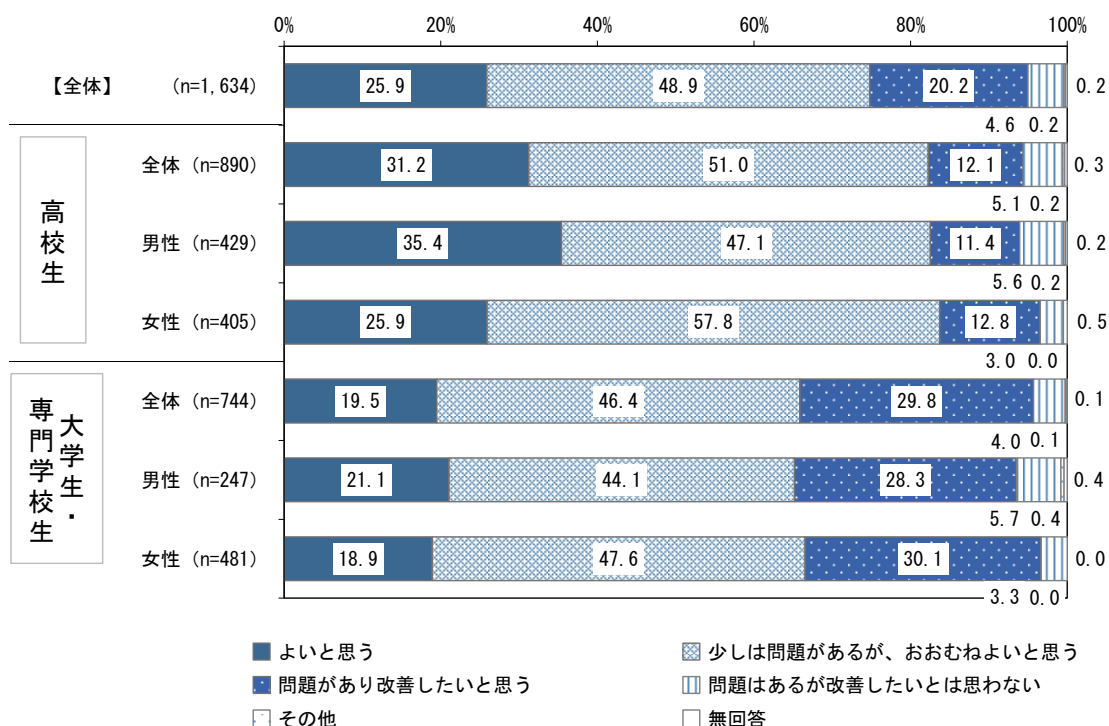
また、『よいと思う（「よいと思う」と「少しは問題があるが、おおむねよいと思う」の合計）』については、74.8%となっています。

【高校生】

『よいと思う（「よいと思う」と「少しは問題があるが、おおむねよいと思う」の合計）』については、女性（83.7%）が男性（82.5%）より1.2ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

『よいと思う（「よいと思う」と「少しは問題があるが、おおむねよいと思う」の合計）』については、女性（66.5%）が男性（65.2%）より1.3ポイント高くなっています。



【問3「その他」の内容】※一部抜粋

- ・分からないため、特に何も感じない。

(6) 食生活の問題点

問4	問3で「問題があり改善したいと思う」「問題はあるが改善したいとは思わない」に○をされた方にお聞きします。あなたの食生活の問題点はどのようなものですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
----	---	---------

【全体】

「栄養バランスが悪い」が72.3%で最も高く、次いで「食事の時間が不規則」が54.6%、「間食が多い」が43.7%と続いています。

【高校生】

「栄養バランスが悪い」が最も高く、女性（68.8%）が男性（60.3%）より8.5ポイント高くなっています。

また、「欠食がある」については、男性（27.4%）が女性（15.6%）より11.8ポイント高くなっています。

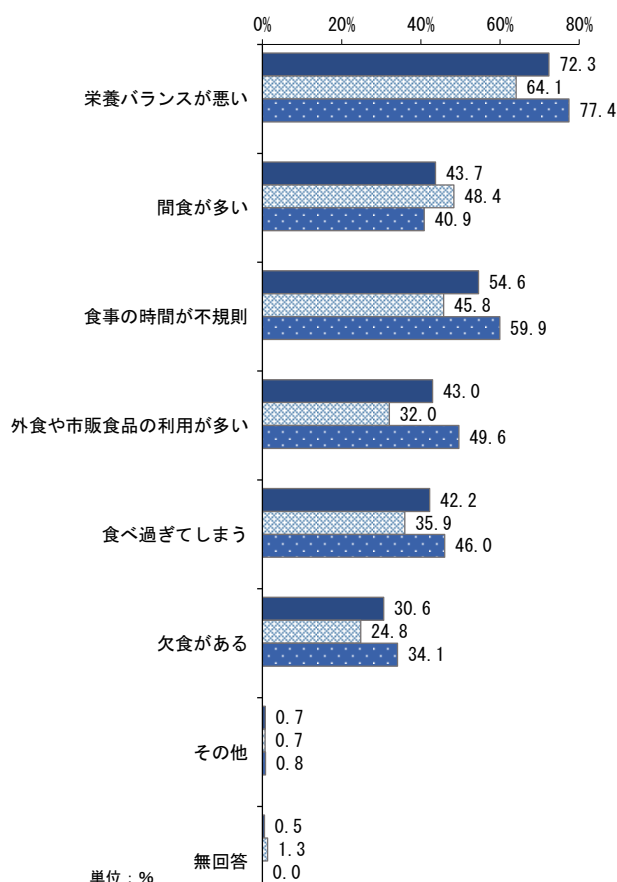
【大学生・専門学校生】

男女ともに「栄養バランスが悪い」が最も高く、女性（80.7%）が男性（72.6%）より8.1ポイント高くなっています。

また、「間食が多い」については、女性（50.3%）が男性（22.6%）より27.7ポイント高くなっています。

【問4「その他」の内容】※一部抜粋

・食べる日と食べない日の量の差が大きい



	合計	単位：%							
		栄養バランスが悪い	間食が多い	食事の時間が不規則	が外食や市販食品の利用が多い	食べ過ぎてしまう	欠食がある	その他	無回答
全体	405	72.3	43.7	54.6	43.0	42.2	30.6	0.7	0.5
高校生全体	153	64.1	48.4	45.8	32.0	35.9	24.8	0.7	1.3
男性	73	60.3	43.8	41.1	34.2	34.2	27.4	0.0	2.7
女性	64	68.8	53.1	50.0	28.1	37.5	15.6	1.6	0.0
大学生・専門学校生全体	252	77.4	40.9	59.9	49.6	46.0	34.1	0.8	0.0
男性	84	72.6	22.6	61.9	41.7	32.1	38.1	2.4	0.0
女性	161	80.7	50.3	57.8	52.8	52.2	31.1	0.0	0.0

※網掛けは上位3項目

(7) 朝食の摂取の有無

問5	あなたは毎食、食事をとっていますか。それぞれあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。	○は1つ
----	---	------

【朝食・全体】

「毎日食べる」が69.3%で最も高く、次いで「週2～3日食べない」が15.9%、「ほとんど食べない」が10.7%と続いています。

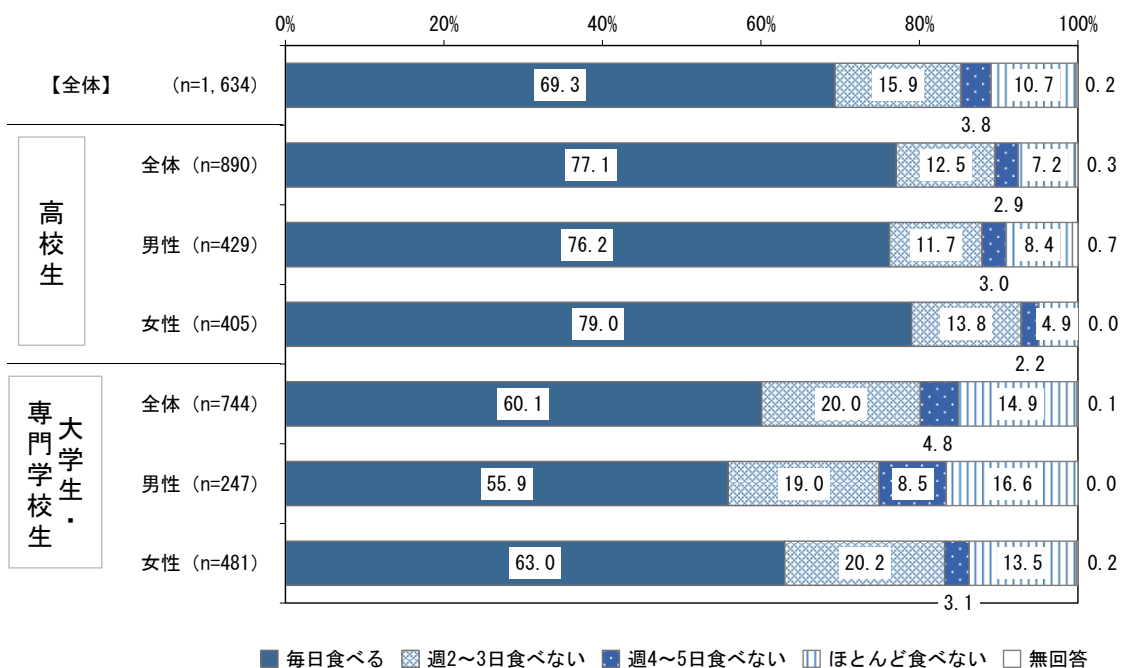
【朝食・高校生】

男女ともに「毎日食べる」が最も高く、女性（79.0%）が男性（76.2%）より2.8ポイント高くなっています。

【朝食・大学生・専門学校生】

男女ともに「毎日食べる」が最も高く、女性（63.0%）が男性（55.9%）より7.1ポイント高くなっています。

また、「毎日食べる」については、大学生・専門学校生の全体（60.1%）では、高校生の全体（77.1%）より17.0ポイント低くなっています。



【昼食・全体】

「毎日食べる」が88.4%で最も高く、次いで「週2～3日食べない」が8.2%、「週4～5日食べない」が1.5%と続いています。

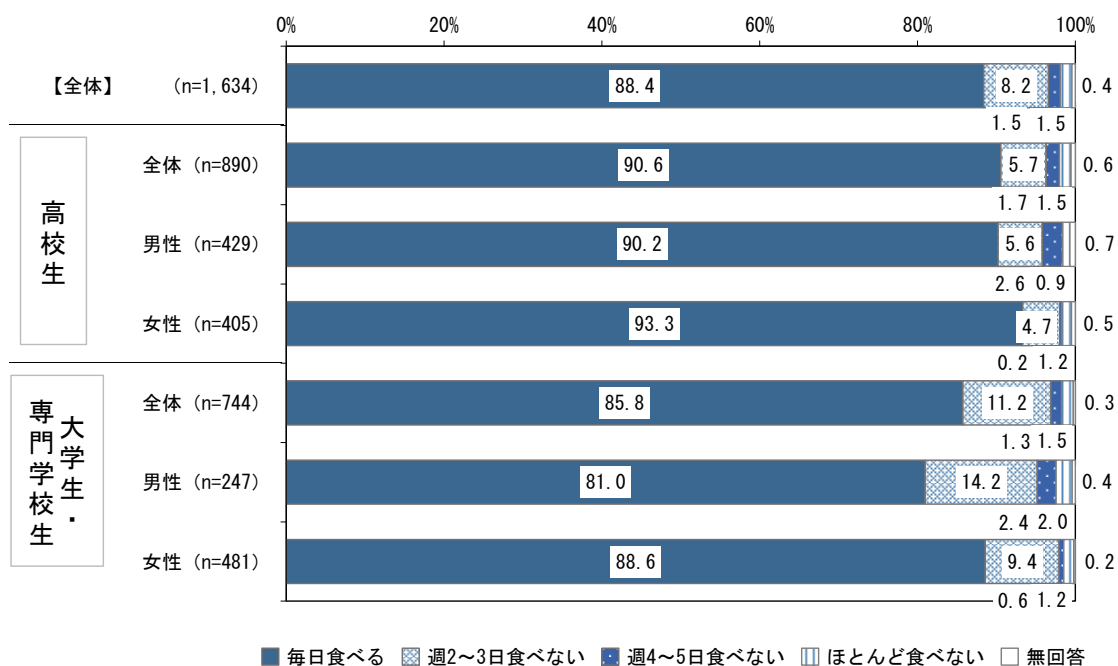
【昼食・高校生】

男女ともに「毎日食べる」が最も高く、女性（93.3%）が男性（90.2%）より3.1ポイント高くなっています。

【昼食・大学生・専門学校生】

男女ともに「毎日食べる」が最も高く、女性（88.6%）が男性（81.0%）より7.6ポイント高くなっています。

また、「毎日食べる」については、大学生・専門学校生の全体（85.8%）では、高校生の全体（90.6%）より4.8ポイント低くなっています。



【夕食・全体】

「毎日食べる」が93.0%で最も高く、次いで「週2～3日食べない」が5.5%、「週4～5日食べない」が0.6%と続いています。

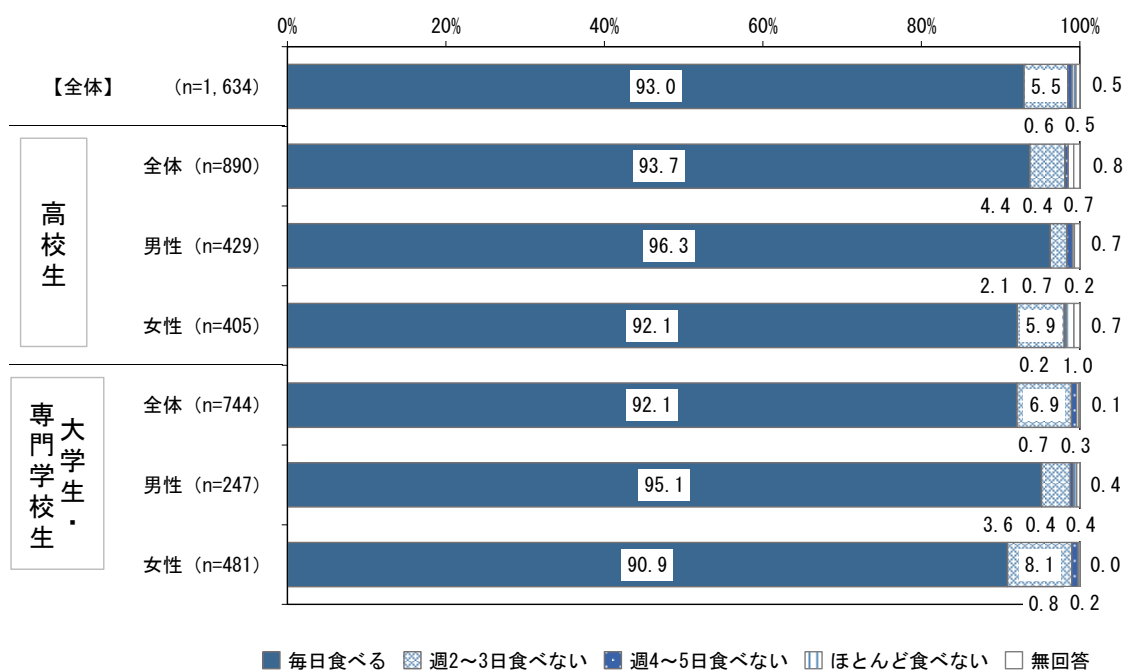
【夕食・高校生】

男女ともに「毎日食べる」が最も高く、男性（96.3%）が女性（92.1%）より4.2ポイント高くなっています。

【夕食・大学生・専門学校生】

男女ともに「毎日食べる」が最も高く、男性（95.1%）が女性（90.9%）より4.2ポイント高くなっています。

また、「毎日食べる」については、大学生・専門学校生の全体（92.1%）では、高校生の全体（93.7%）より1.6ポイント低くなっています。



(8) 朝食を毎日食べない理由

問6	問5で、朝食について、「週2～3日食べない」「週4～5日食べない」「ほとんど食べない」に○をされた方にお聞きします。あなたが朝食を毎日食べない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。	○はいくつでも
----	---	---------

【全体】

「朝は忙しくて時間がないから」が59.2%で最も高く、次いで「少しでも長く寝ていたいから」が52.1%、「食欲がないから」が36.6%と続いています。

【高校生】

男女ともに「朝は忙しくて時間がないから」が最も高く、男性(58.6%)が女性(57.6%)より1.0ポイント高くなっています。

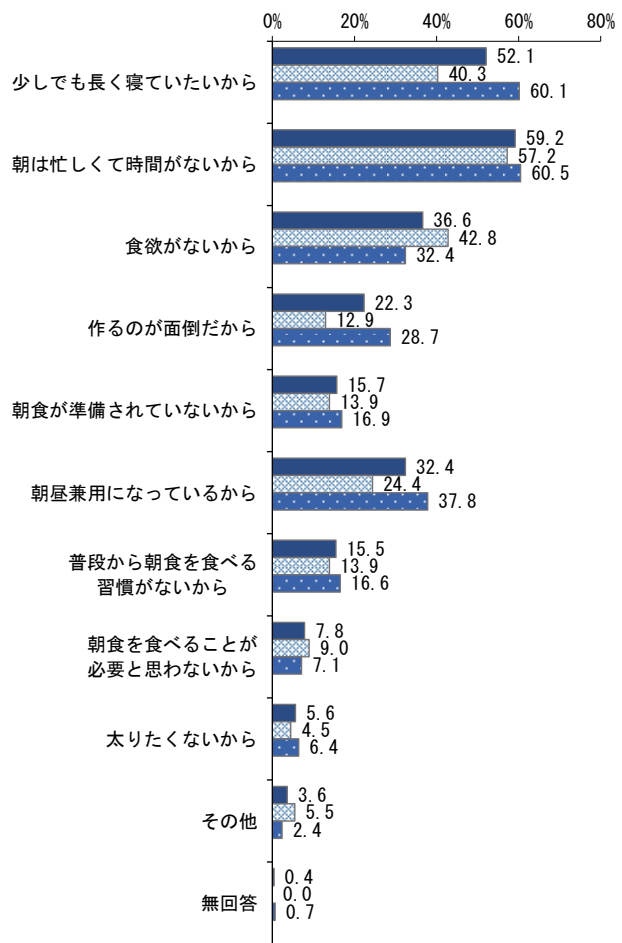
【大学生・専門学校生】

男性では「少しでも長く寝ていたいから」が59.6%で最も高く、女性では「朝は忙しくて時間がないから」が67.8%で最も高くなっています。

また、「少しでも寝ていたいから」については、大学生・専門学校生の全体(60.1%)が、高校生の全体(40.3%)より19.8ポイント高くなっています。

【問6「その他」の内容】※一部抜粋

- ・朝食を食べるとお腹が痛くなるから (5件)
- ・寝ているから、お昼に起きるから (2件)
- ・食べた後の乗り物移動で気分が悪くなるから (2件)



	合計	少しでも長く寝ていたいから	朝は忙しくて時間がないから	食欲がないから	作るのが面倒だから	朝食が準備されていないから	朝昼兼用になっているから	普段から朝食を食べる習慣がないから	朝食を食べることが必要と思わないから	太りたくないから	その他	無回答
全体	497	52.1	59.2	36.6	22.3	15.7	32.4	15.5	7.8	5.6	3.6	0.4
高校生全体	201	40.3	57.2	42.8	12.9	13.9	24.4	13.9	9.0	4.5	5.5	0.0
男性	99	46.5	58.6	37.4	12.1	16.2	17.2	20.2	12.1	1.0	5.1	0.0
女性	85	35.3	57.6	42.4	11.8	11.8	34.1	4.7	4.7	5.9	4.7	0.0
大学生・専門学校生全体	296	60.1	60.5	32.4	28.7	16.9	37.8	16.6	7.1	6.4	2.4	0.7
男性	109	59.6	50.5	33.0	27.5	15.6	42.2	17.4	9.2	6.4	2.8	0.0
女性	177	60.5	67.8	32.2	29.4	17.5	36.2	15.3	5.6	6.8	2.3	1.1

(9) 主食・主菜・副菜がそろっているか

問7	あなたのふだんの食事は、①～③がすべてそろったものになっていますか ①主食となる、ごはん・パン・麺などのいずれか ②主菜の主な食材となる、魚・肉・卵・大豆、大豆製品のいずれか ③副菜の主な食材となる、野菜（果物、漬物、野菜ジュースや薬味・飾り程度の量の場合は除く）	○は1つ
----	---	------

【朝食・全体】

「そろっていない」が53.2%で最も高く、次いで「そろっている」が32.9%、「朝食を食べない」が13.5%と続いています。

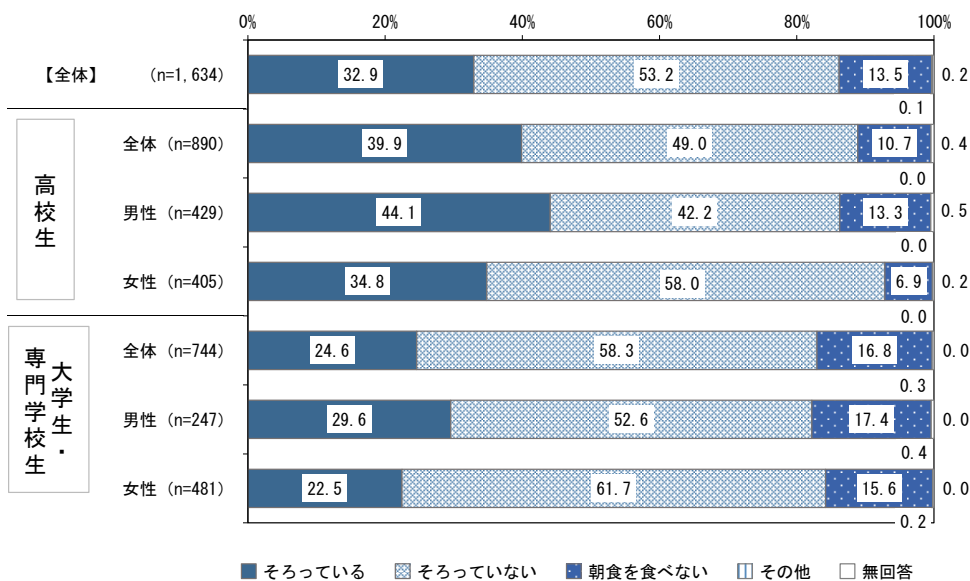
【朝食・高校生】

男性では「そろっている」が44.1%で最も高く、女性では「そろっていない」が58.0%で最も高くなっています。

【朝食・大学生・専門学校生】

男女ともに「そろっていない」が最も高く、女性（61.7%）が男性（52.6%）より9.1ポイント高くなっています。

また、「そろっている」については、大学生・専門学校生の全体（24.6%）では、高校生の全体（39.9%）より15.3ポイント低くなっています。



【問7・朝食「その他」の内容】※一部抜粋

- ・そろっている日もあれば、パンのみの日もある

【昼食・全体】

「そろっている」が58.6%で最も高く、次いで「そろっていない」が38.1%、「昼食を食べない」が2.4%と続いています。

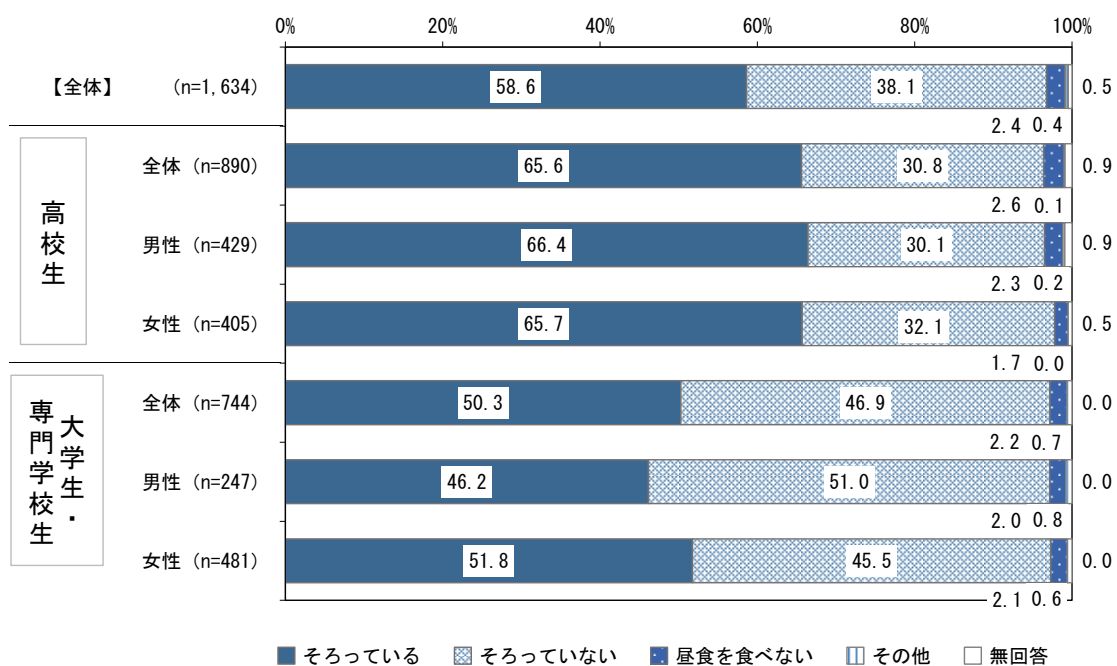
【昼食・高校生】

男女ともに「そろっている」が最も高く、男性では66.4%、女性65.7%となっています。

【昼食・大学生・専門学校生】

性では「そろっていない」が51.0%で最も高く、女性では「そろっている」が51.8%で最も高くなっています。

また、「そろっている」については、大学生・専門学校生の全体（50.3%）では、高校生の全体（65.6%）より15.3ポイント低くなっています。



【問7・昼食「その他」の内容】※一部抜粋

- ・そろっている時とそろっていない時がある（4件）
- ・食べるときは揃ってる

【夕食・全体】

「そろっている」が77.5%で最も高く、次いで「そろっていない」が21.1%、「その他」が0.6%と続いています。

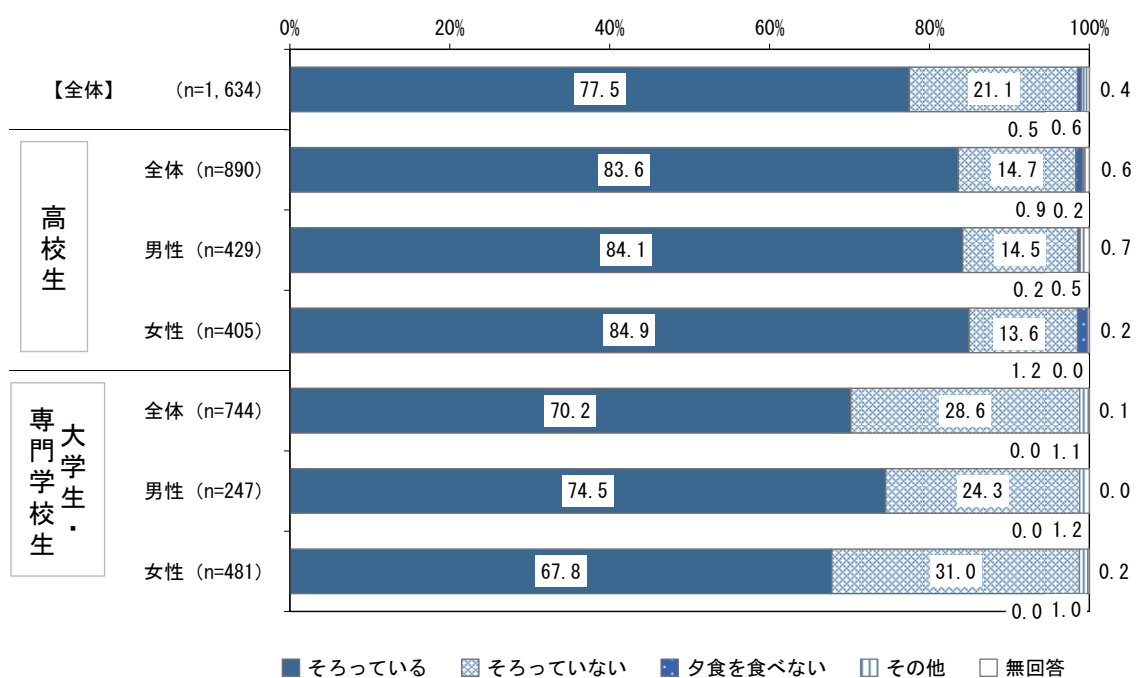
【夕食・高校生】

男女ともに「そろっている」が最も高く、男性では84.1%、女性では84.9%となっています。

【夕食・大学生・専門学校生】

男女ともに「そろっている」が最も高く、男性（74.5%）が女性（67.8%）より6.7ポイント高くなっています。

また、「そろっている」については、大学生・専門学校生の全体（70.2%）では、高校生の全体（83.6%）より13.4ポイント低くなっています。



【問7・夕食「その他」の内容】※一部抜粋

- ・そろっている時とそろっていない時がある（6件）
- ・平日は揃っているが、休日は揃っていない
- ・日によって異なるが、飾りつけ程度の野菜にとどまることが多くビタミンサプリに依存する生活が続いている

(10) 新型コロナウイルス感染拡大による食生活への影響

問8	新型コロナウイルス感染拡大の影響で食生活に変化がありましたか。あてはまるものに○をつけてください。	○はいくつでも
----	---	---------

< 1. 食事の回数 >

【全体】

「変わらない」が80.0%で最も高く、次いで「増えた」が12.5%、「減った」が7.2%となっています。

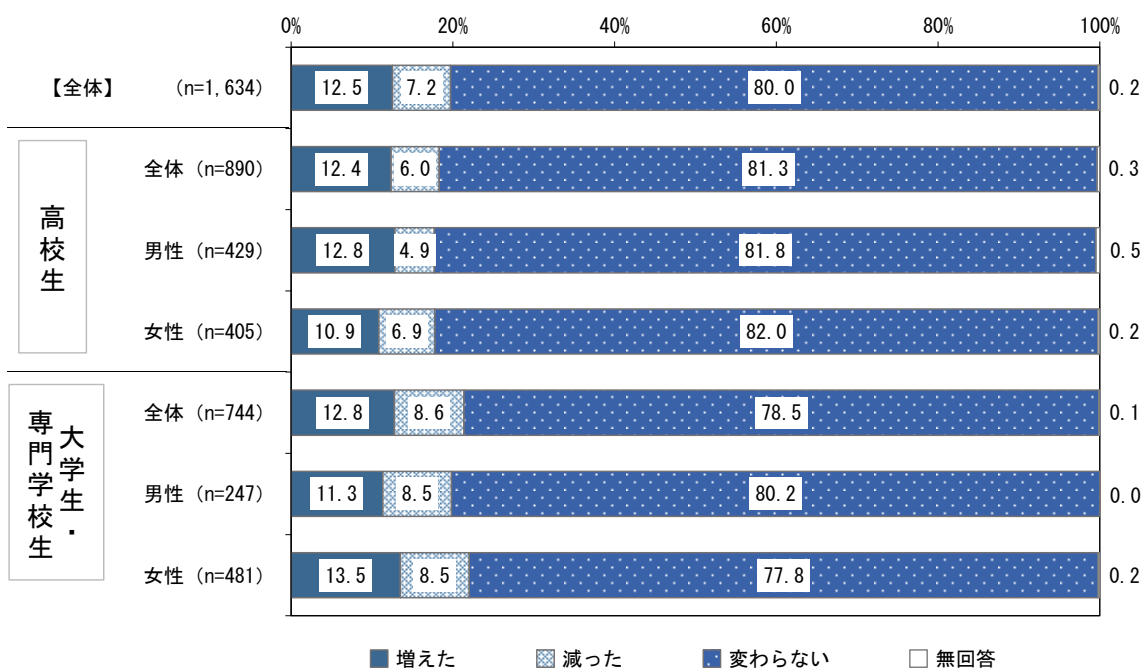
また、『食への影響（「増えた」と「減った」の合計）』については、19.7%となっています。

【高校生】

食への影響（「増えた」と「減った」の合計）』では、男性が17.7%、女性17.8%となっています。

【大学生・専門学校生】

『食への影響（「増えた」と「減った」の合計）』では、女性（22.0%）が男性（19.8%）より2.2ポイント高くなっています。



< 2. 外食の頻度 >

【全体】

「変わらない」が47.4%で最も高く、次いで「減った」が41.7%、「増えた」が10.6%となっています。

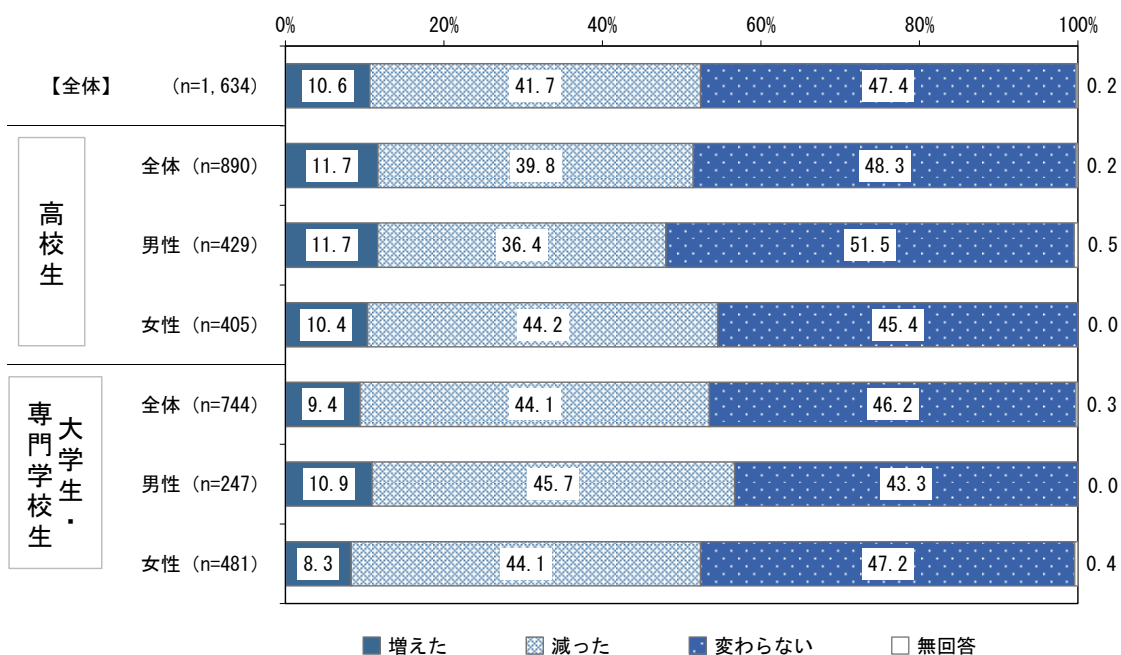
【高校生】

「減った」では、女性（44.2%）が男性（36.4%）より7.8ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

大学生・専門学校生における外食の頻度については、男性では「減った」が45.7%で最も高く、女性では「変わらない」が47.2%、「減った」が44.1%となっています。

また、大学生・専門学校生の「減った」（44.1%）は、高校生の「減った」（39.8%）より4.3ポイント高くなっています。



< 3. 中食の頻度 >

【全体】

「変わらない」が66.2%で最も高く、次いで「増えた」が26.7%、「減った」が7.0%となっています。

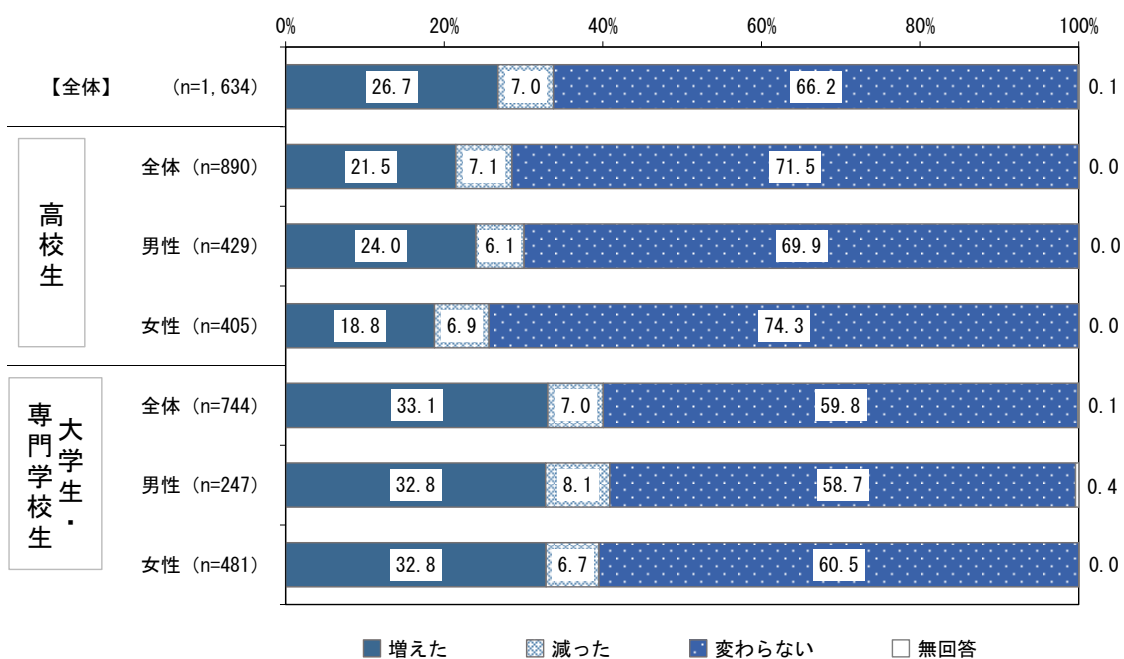
【高校生】

「増えた」では男性（24.0%）が女性（18.8%）より5.2ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

「増えた」では男女ともに32.8%となっています。

また、大学生・専門学校生の「増えた」（33.1%）は、高校生の「増えた」（21.5%）より11.6ポイント高くなっています。



< 4. 自炊の頻度 >

【全体】

「変わらない」が72.4%で最も高く、次いで「増えた」が21.7%、「減った」が5.4%となっています。

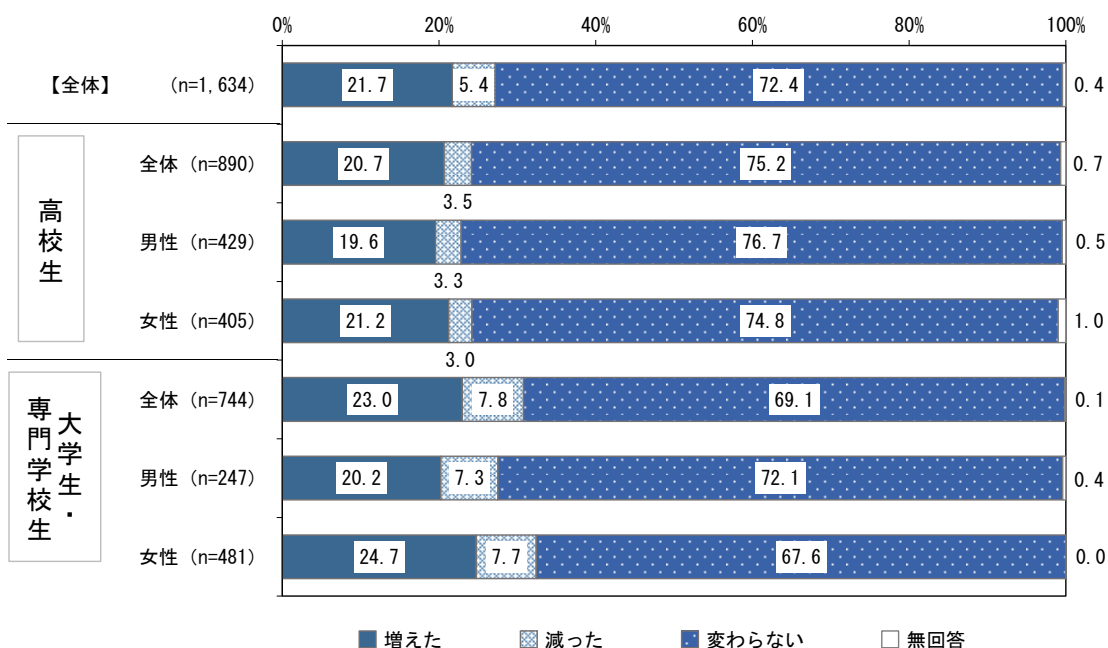
【高校生】

「増えた」では女性（21.2%）が男性（19.6%）より1.6ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

「増えた」では女性（24.7%）が男性（20.2%）より4.5ポイント高くなっています。

また、大学生・専門学校生の「増えた」（23.0%）は、高校生の「増えた」（20.7%）より2.3ポイント高くなっています。



< 5. 野菜の摂取量 >

【全体】

「変わらない」が75.1%で最も高く、次いで「増えた」が15.1%、「減った」が9.7%となっています。

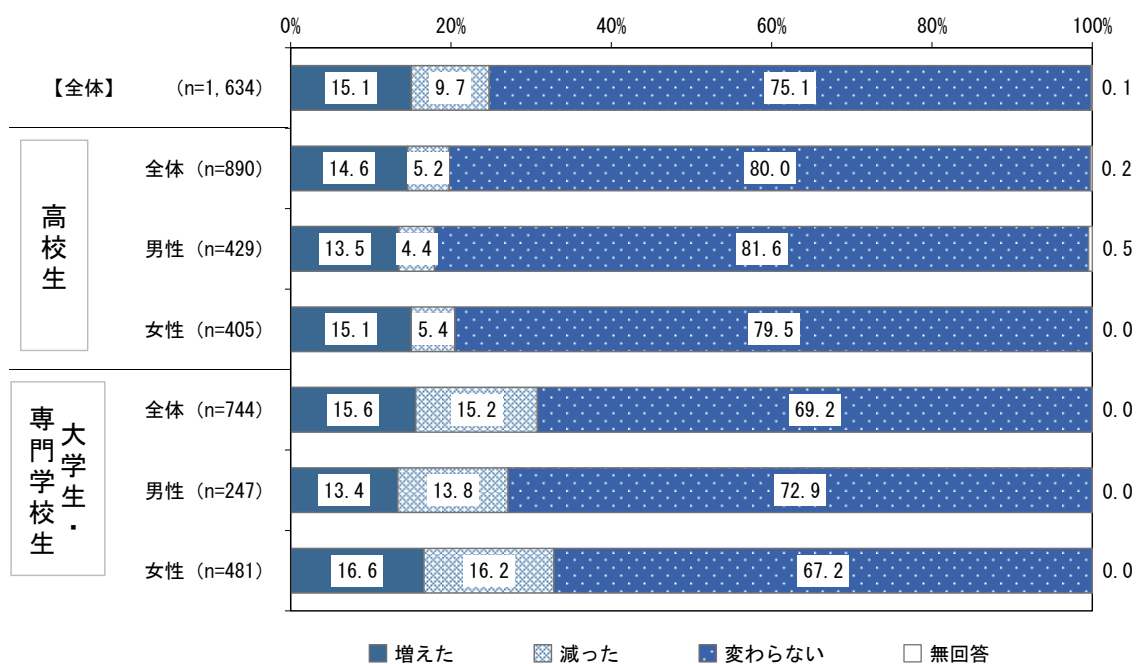
【高校生】

「増えた」では女性（15.1%）が男性（13.5%）より1.6ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

「増えた」では女性（16.6%）が男性（13.4%）より3.2ポイント高くなっています。

一方、大学生・専門学校生の「減った」（15.2%）は、高校生の「減った」（5.2%）より10.0ポイント高くなっています。



< 6. 間食の量や頻度 >

【全体】

「変わらない」が61.1%で最も高く、次いで「増えた」が30.2%、「減った」が8.3%となっています。

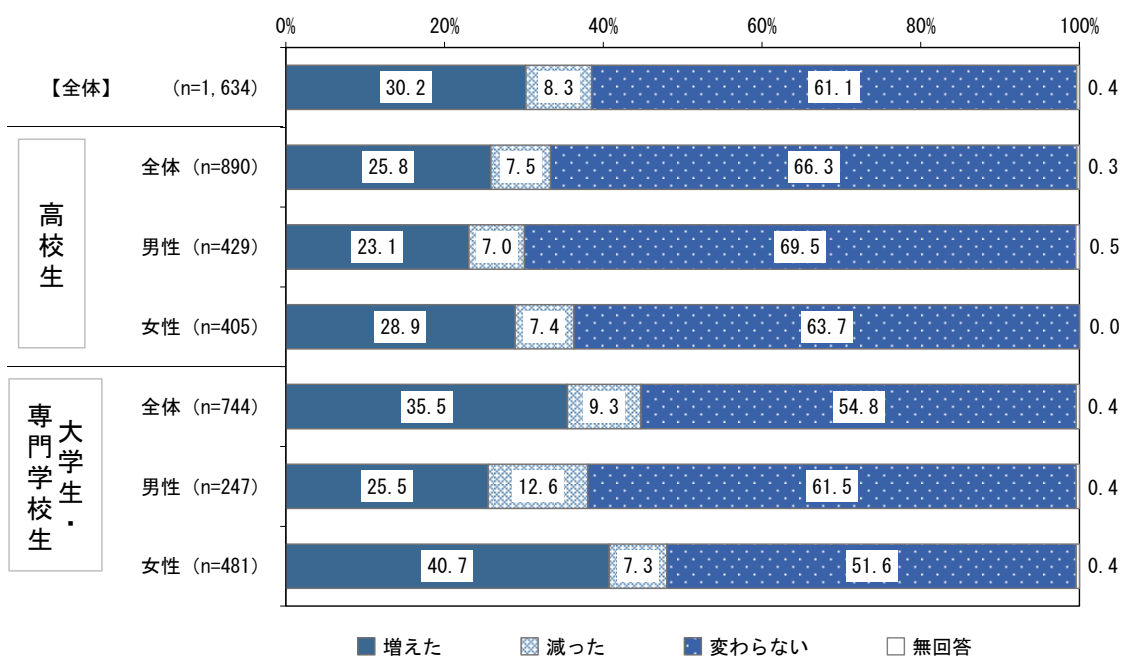
【高校生】

「増えた」では女性（28.9%）が男性（23.1%）より5.8ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

「増えた」では女性（40.7%）が男性（25.5%）より15.2ポイント高くなっています。

また、大学生・専門学校生の「増えた」（35.5%）は、高校生の「増えた」（25.8%）より9.7ポイント高くなっています。



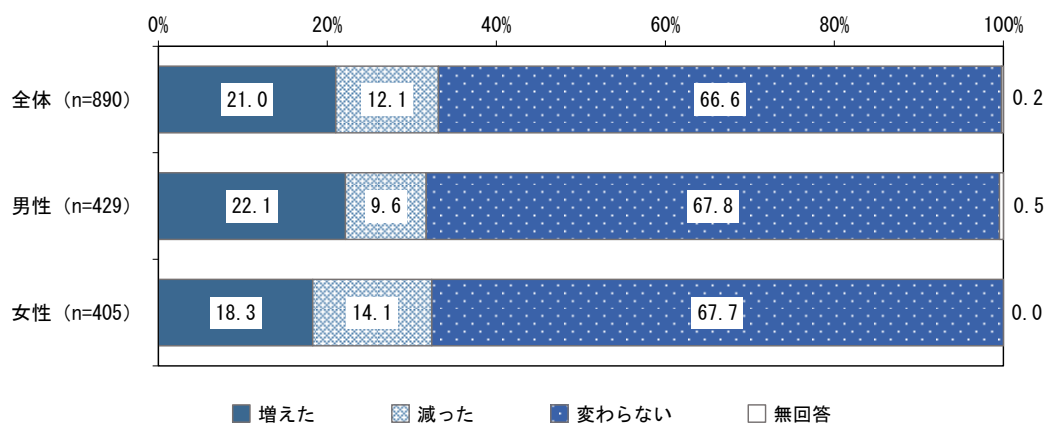
<7-①. 甘い飲み物を飲む頻度> (高校生のみ)

【全体】

「変わらない」が66.6%で最も高く、次いで「増えた」が21.0%、「減った」が12.1%となっています。

【性別】

「増えた」では男性(22.1%)が女性(18.3%)より3.8ポイント高くなっています。



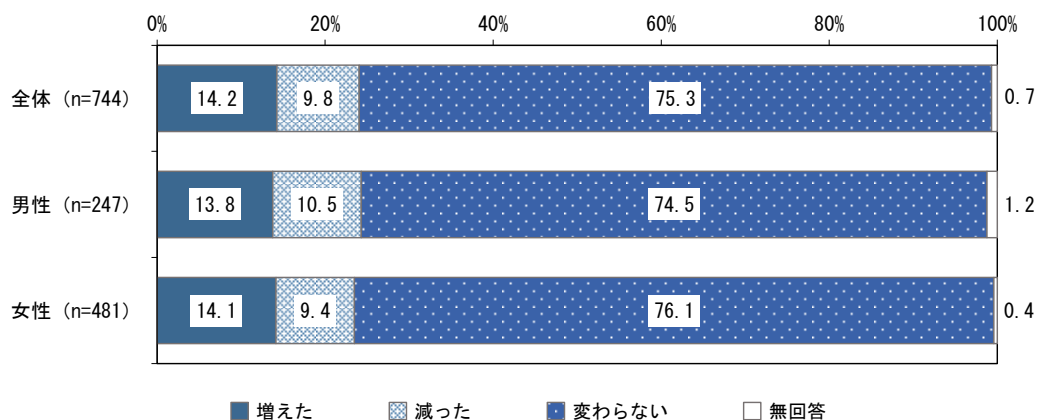
<7-②. 飲酒量や頻度> (大学生・専門学校生のみ)

【全体】

「変わらない」が75.3%で最も高く、次いで「増えた」が14.2%、「減った」が9.8%となっています。

【性別】

「増えた」では男性が13.8%、女性が14.1%となっています。



< 8. 家族と一緒に食事をする機会 >

【全体】

「変わらない」が64.3%で最も高く、次いで「増えた」が18.7%、「減った」が16.7%となっています。

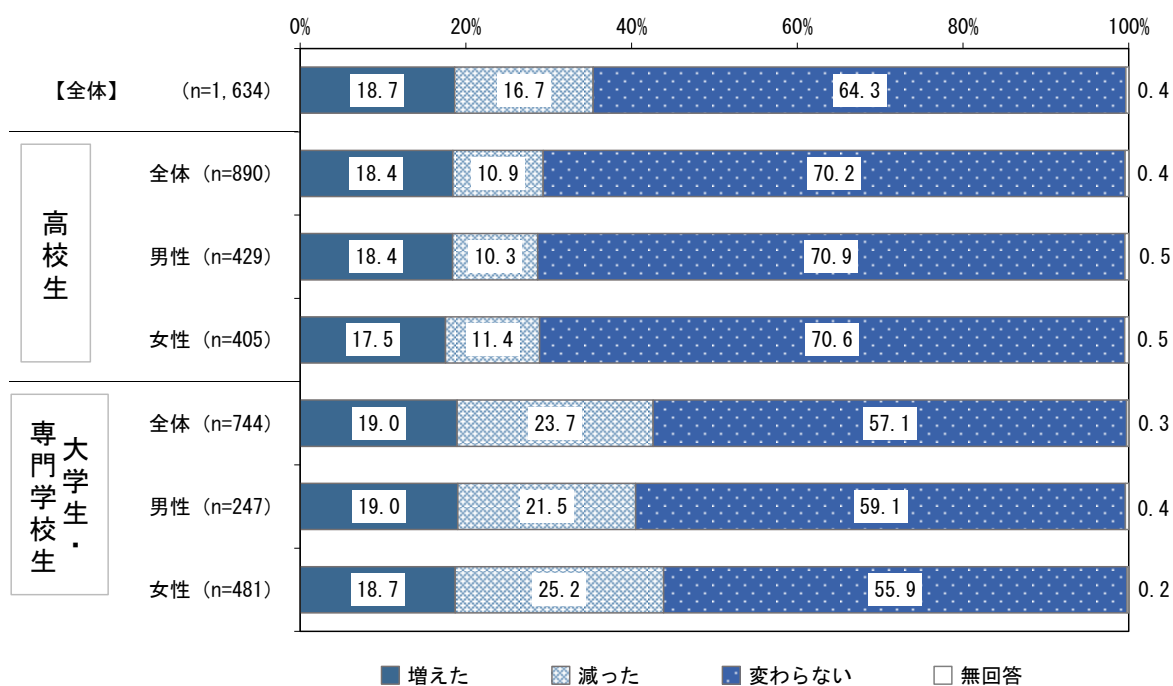
【高校生】

「増えた」では男性が18.4%、女性が17.5%となっています。

【大学生・専門学校生】

「減った」では女性（25.2%）が男性（21.5%）より3.7ポイント高くなっています。

また、大学生・専門学校生の「減った」（23.7%）は、高校生の「減った」（10.9%）より12.8ポイント高くなっています。



< 9. 減塩に対する意識 >

【全体】

「変わらない」が85.6%で最も高く、次いで「意識するようになった」が10.6%、「意識しないようになった」が3.4%となっています。

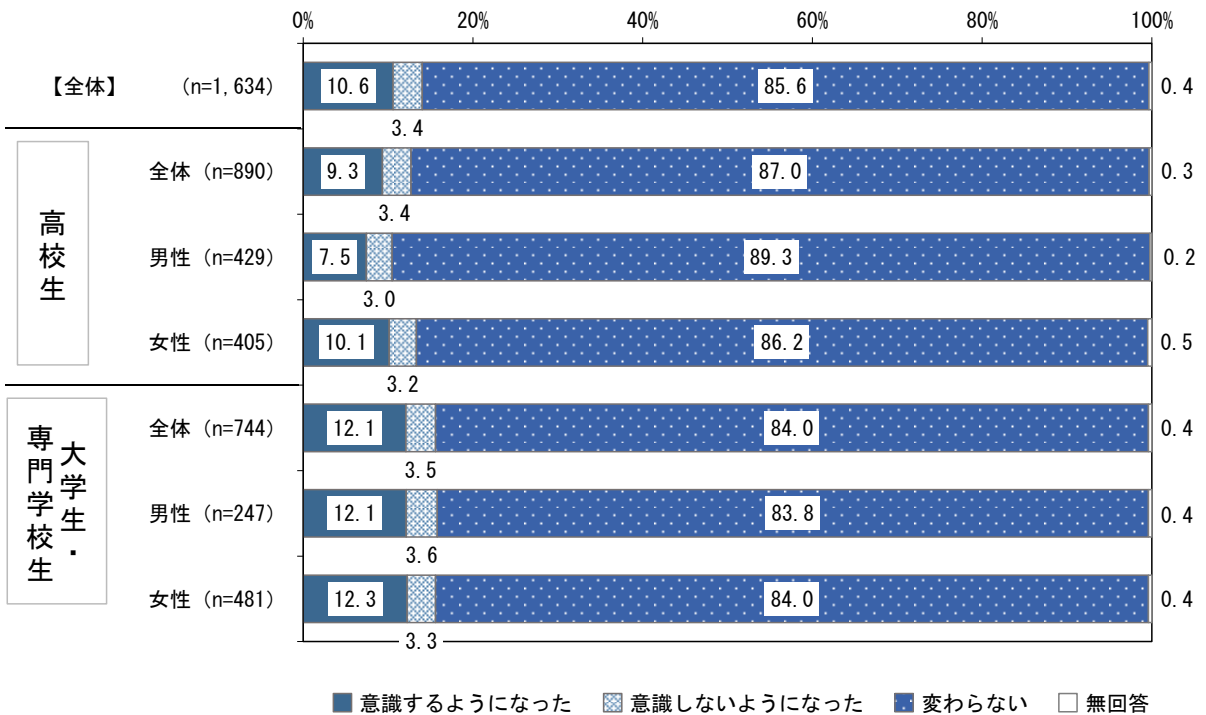
【高校生】

「意識するようになった」では女性（10.1%）が男性（7.5%）より2.6ポイント高くなっています。

【大学生・専門学校生】

「意識するようになった」では男性が12.1%、女性が2.3%となっています。

また、大学生・専門学校生の「意識するようになった」（12.1%）は、高校生の「意識するようになった」（9.3%）より2.8ポイント高くなっています。



<10. 体重の増減>

【全体】

「変わらない」が56.9%で最も高く、次いで「増えた」が28.8%、「減った」が13.9%となっています。

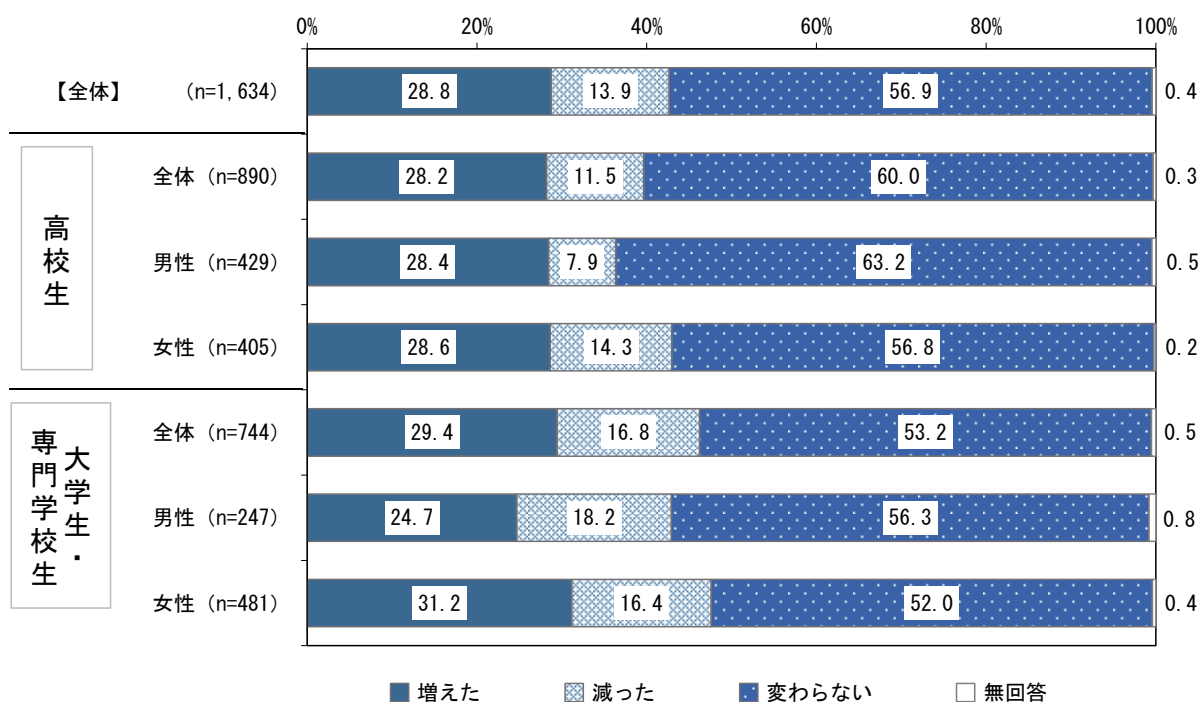
【高校生】

「増えた」では男性が28.4%、女性が28.6%となっています。

【大学生・専門学校生】

「増えた」では女性（31.2%）が男性（24.7%）より6.5ポイント高くなっています。

また、大学生・専門学校生の「増えた」（29.4%）は、高校生の「増えた」（28.2%）より1.2ポイント高くなっています。



<11. その他>

【「その他」の内容】※一部抜粋

- ・食生活が不規則となった（12件）
- ・食材を意識して食べるようになった（8件）
- ・バランスよく食べるようになった（5件）

(11) ゲーム・SNSに費やす時間

問9	ふだん（月曜日から金曜日）、ゲーム・SNS（ライン、ツイッター等）をする時間や動画を見る時間はどれくらいですか。当てはまるものに○をつけてください。	○は1つ
----	--	------

【全体】

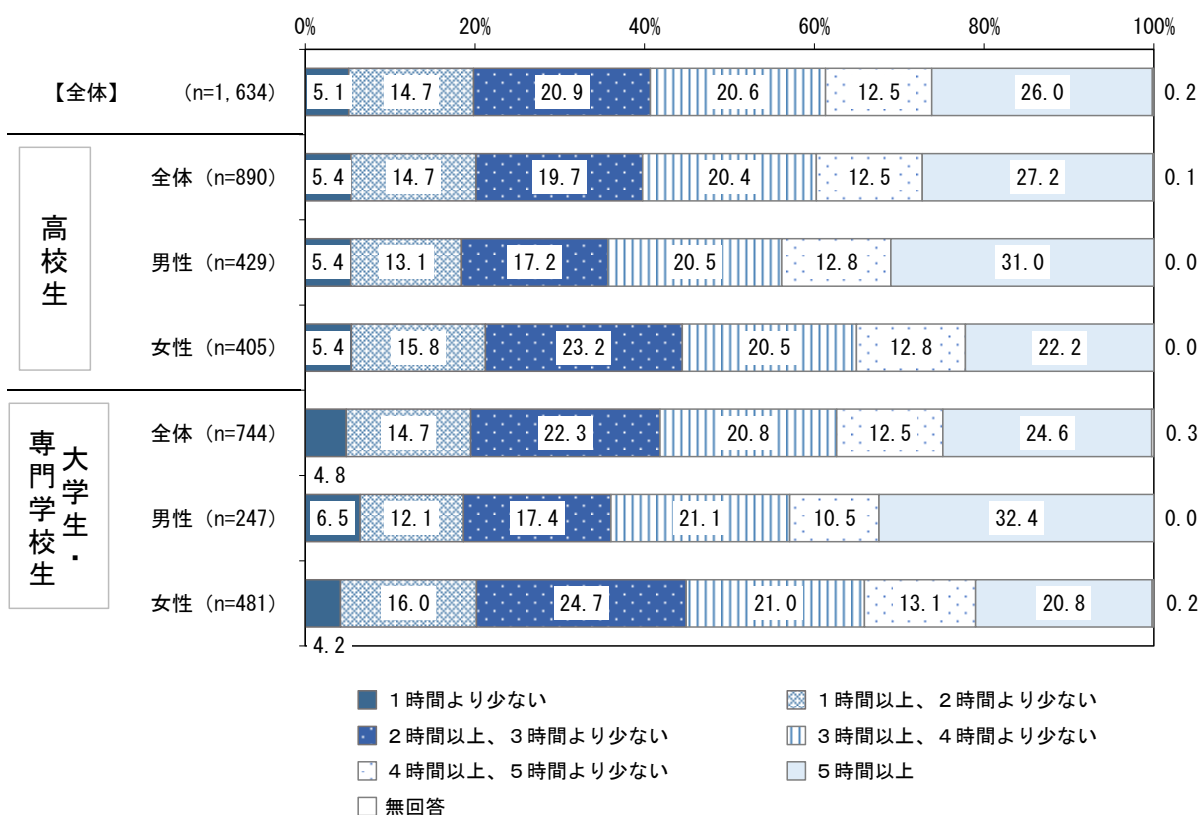
「5時間以上」が26.0%で最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」が20.9%、「3時間以上、4時間より少ない」が20.6%と続いています。

【高校生】

男性では「5時間以上」が31.0%で最も高く、女性では「2時間以上、3時間より少ない」が23.2%で最も高くなっています。

【大学生・専門学校生】

男性では「5時間以上」が32.4%で最も高く、女性では「2時間以上、3時間より少ない」が24.7%で最も高くなっています。



(12) 健康に関する情報の取得方法

問10	普段、健康に関する情報はどこで得ていますか。	〇はいくつでも
-----	------------------------	---------

【全体】

「インターネット」が60.8%で最も高く、次いで「SNS (LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど)」が59.8%、「テレビ」が56.2%と続いています。

【高校生】

男性では「インターネット」が66.9%で最も高く、女性では「テレビ」が66.9%で最も高くなっています。

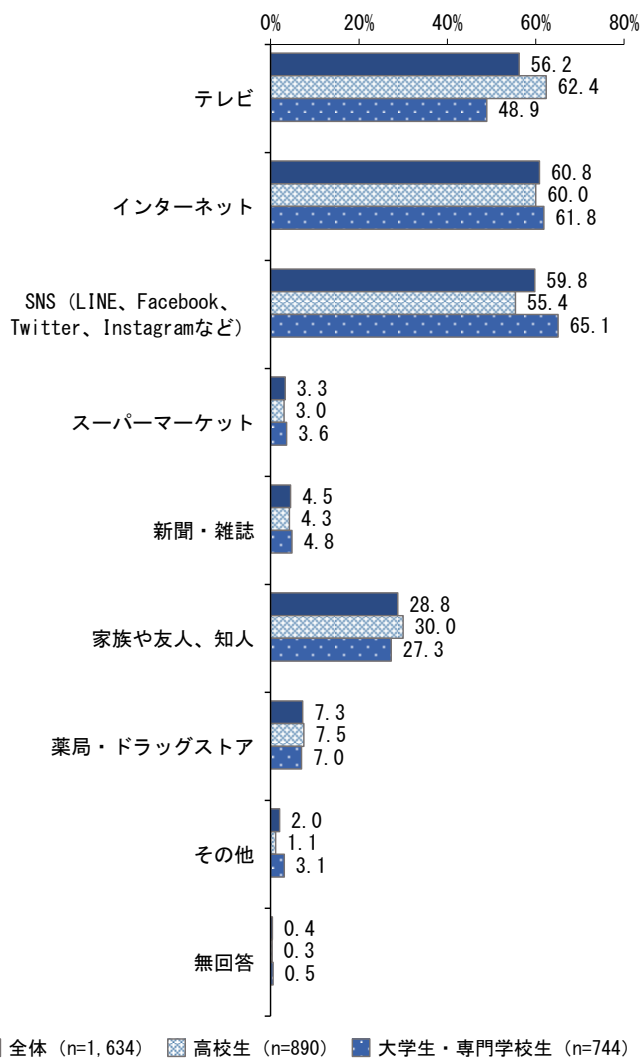
【大学生・専門学校生】

男性では「インターネット」が74.1%で最も高く、女性では「SNS (LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど)」が71.1%で最も高くなっています。

【問10「その他」の内容】

※一部抜粋

- ・学校 (授業・講義) (23件)
- ・本、書籍 (2件)



	合計	テレビ	インターネット	SNS (LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど)	スーパーマーケット	新聞・雑誌	家族や友人、知人	薬局・ドラッグストア	その他	無回答
全体	1,634	56.2	60.8	59.8	3.3	4.5	28.8	7.3	2.0	0.4
高校生全体	890	62.4	60.0	55.4	3.0	4.3	30.0	7.5	1.1	0.3
男性	429	59.2	66.9	53.1	1.6	5.4	25.6	6.1	0.9	0.5
女性	405	66.9	52.1	57.3	3.5	3.0	34.8	8.1	0.7	0.2
大学生・専門学校生全体	744	48.9	61.8	65.1	3.6	4.8	27.3	7.0	3.1	0.5
男性	247	46.6	74.1	53.4	5.3	6.5	26.3	7.3	2.0	0.8
女性	481	50.5	56.3	71.1	2.9	4.2	27.7	7.1	3.5	0.2

※網掛けは上位3項目

令和4年度 枚方市小中学校での食育の取り組みに関するアンケート結果

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、平成30年3月に策定した第3次枚方市食育推進計画策定の最終評価に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
枚方市内の公立 小学校（44 校）、 中学校（19校）	63校 小学校：44 校 中学校：19 校	52件 小学校：34 校 中学校：18 校	82.5% 小学校： 77.3% 中学校： 94.7%	令和4年 12月2日 ～ 令和5年 2月20日	インターネット 及び郵送

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

(1) 地域人材を活用した食育の取り組み実施の有無

問 1

令和3年度に、貴校において地域人材を活用した食育の取り組みを実施されましたか。実施されていたら、下記の表に具体的な内容をご記入ください。(実施されていない場合は、「該当なし」と記載してください。)

<① 地域人材を活用した食育の取り組み実施の有無>

【全体】

地域人材を活用した食育の取り組みについては、「実施していない」が82.7%、「実施した」が17.3%となっています。

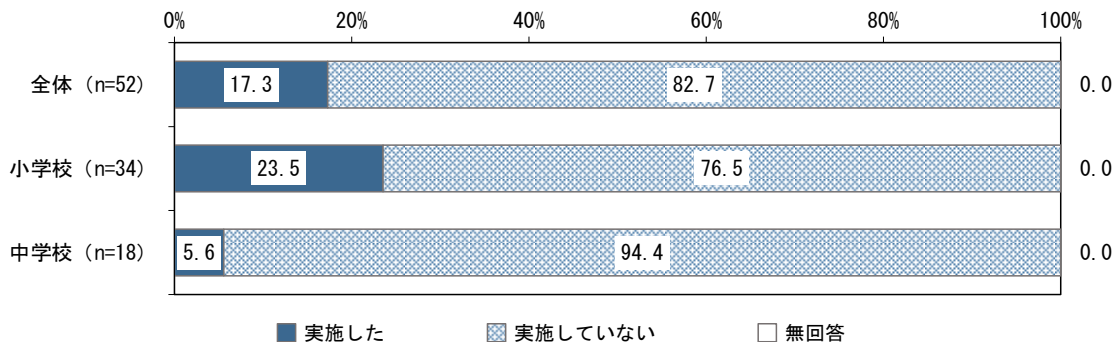
【小学校】

小学校では、「実施していない」が76.5%、「実施した」が23.5%となっています。

また、小学校の「実施した」(23.5%)では、中学校の「実施した」(5.6%)より18.0ポイント高くなっています。

【中学校】

中学校では、「実施していない」が94.4%、「実施した」が5.6%となっています。



<② 実施した地域人材の内訳>

【小学校】

- ・地域の農業者 (5件)
- ・食品関連事業者 (2件) (サントリーホールディングス (株)、北村みそ本家)
- ・JA北河内農協 (2件)
- ・地域のボランティア

【中学校】

- ・地域の農業者

<③ 実施した取り組み内容>

【小学校】

- ・地域の農地や校内で農業体験（6件）
- ・農業見学
- ・調理実習
- ・味噌づくり体験

【中学校】

- ・調理実習
- ・食に関する授業などの実施

<④ 実施した対象（学年）>

【小学校】

- ・5年生（8件）
- ・4年生

【中学校】

- ・3年生

(2) 地域人材の活用に関する冊子の利用有無

問 2

枚方市では、地域人材の活用に関する冊子を作成し、令和元年度に各校へ配付しホームページに掲載していますが、貴校において地域人材を活用する際、冊子を利用されたことはありますか。また、冊子についてご意見があればご記入ください。

<① 地域人材の活用に関する冊子の利用有無>

【全体】

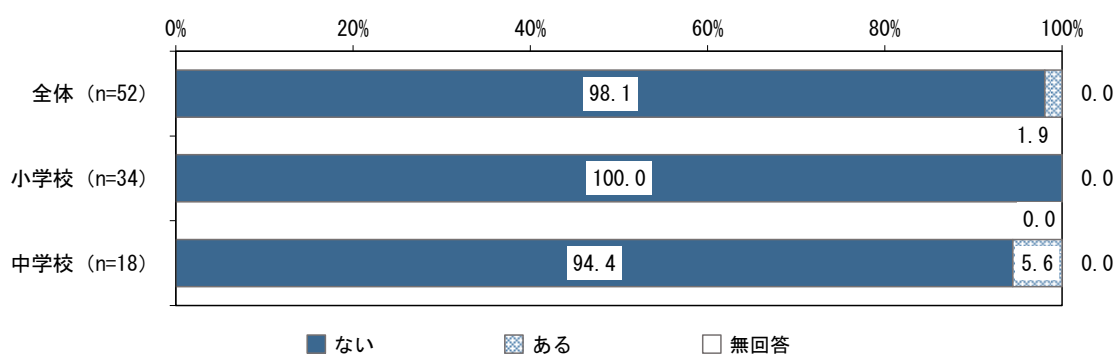
地域人材を活用した食育の取り組みについては、「ない」が98.1%、「ある」が1.9%となっています。

【小学校】

小学校では、「ない」が100.0%となっています。

【中学校】

中学校では、「ない」が94.4%、「ある」が5.6%となっています。



<② 活用した取り組み内容>

【中学校】

- ・性教育 (NPO法人SEANによる出前授業)

(3) 今後取り組みたいと考えている食育の取り組み

問3

貴校において、今後取り組みたいと考えておられる食育の取り組みについて、具体的な内容がありましたら、ご記入ください。

【小学校】

- ・ 田んぼを貸していただいて、5年生の稲作体験をしたい。
- ・ スポーツ栄養学や健康食など、子どもたちが興味を持っている取り組める内容。成長期を意識した食事など。
- ・ 幼小中の系統だった食育の取組みを進めたい。生活に生きる教科学習として食育にも取り組みたい。
- ・ 日本の伝統食（みそ作り等）を教えてほしいです。
- ・ コミュニティ関係者、ボランティア等の協力を得て、地場産の食材を使った料理や伝統食、行事食の児童・保護者への伝達。
- ・ 枚方の郷土料理について詳しく学習したい。
- ・ 伝統食などを伝達してほしい。
- ・ 農業体験。
- ・ 継続的な農業体験＝稲だけでなく、小麦やソバなど。
- ・ 高学年において、社会科での米作りや家庭科での栄養について取り組みがあればと思います。
- ・ 児童が体験を伴って学べる食育に取り組みたい。
- ・ 地域の農地に出向いて田植え、稲づくり、玉ねぎの収穫体験。食育に関する人形劇。
- ・ ゲストティーチャーを招待して「食のバランス」「栄養」についてのお話。
- ・ 社会科や生活科の内容に関係した食育について。
- ・ 枚方市の郷土料理について知りたい。

【中学校】

- ・ 中学校給食コンテストに応募参加。
- ・ 職業講和で栄養教諭の派遣。
- ・ 調理師や専門家などの参画による調理実習。
- ・ 栽培から加工までを行う。例：大豆栽培をして、豆腐を作る。

(4) 令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み

問 4 令和3年度に、貴校において児童・生徒に対してどのような食育の取り組みをされましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください

<① 令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み内容>

【全体】

令和3年度における児童・生徒に対する食育の取り組み内容については、「栄養バランスや郷土料理等の食に関する授業の話」が59.6%で最も高く、次いで「調理実習の実施」が55.8%、「農業・栽培体験の実施」が51.9%と続いています。

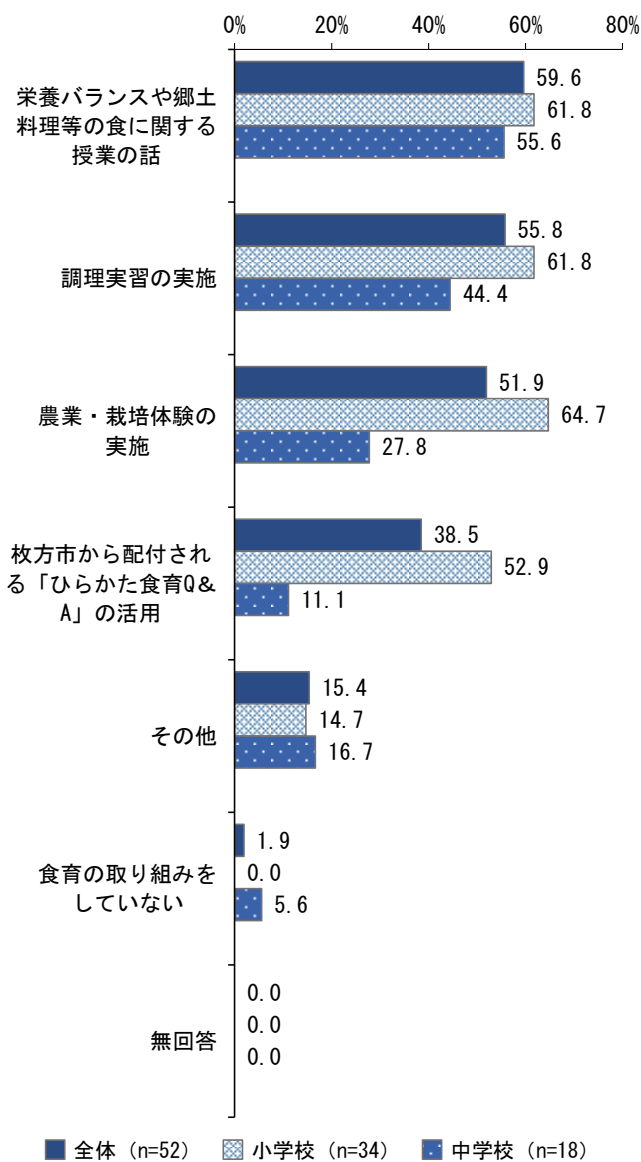
【小学校】

小学校では、「農業・栽培体験の実施」が64.7%で最も高く、次いで「栄養バランスや郷土料理等の食に関する授業の話」、「調理実習の実施」が61.8%、「枚方市から配付される「ひらかた食育Q&A」の活用」が52.9%と続いています。

また、全ての取り組み内容において、小学校は中学校の割合を上回っています。

【中学校】

中学校では、「栄養バランスや郷土料理等の食に関する授業の話」が55.6%で最も高く、次いで「調理実習の実施」が44.4%、「農業・栽培体験の実施」が27.8%となっています。



<② 「その他」の内容>

【小学校】

- ・エンドウ豆のさやむき
- ・2年生に食育「ひみこのはがいーぜ」実施
- ・おはしの使い方
- ・給食が行っているSDG s についての情報提供

【中学校】

- ・家庭科の授業（食生活について扱ったのみ）
- ・保健だよりによる保健指導
- ・昼食(給食)時に、行事食などについての説明

(5) 令和3年度における保護者に対する食育の取り組み

問5 令和3年度に、貴校において保護者に対してどのような食育の取り組みをされましたか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

<① 令和3年度における保護者に対する食育の取り組み内容>

【全体】

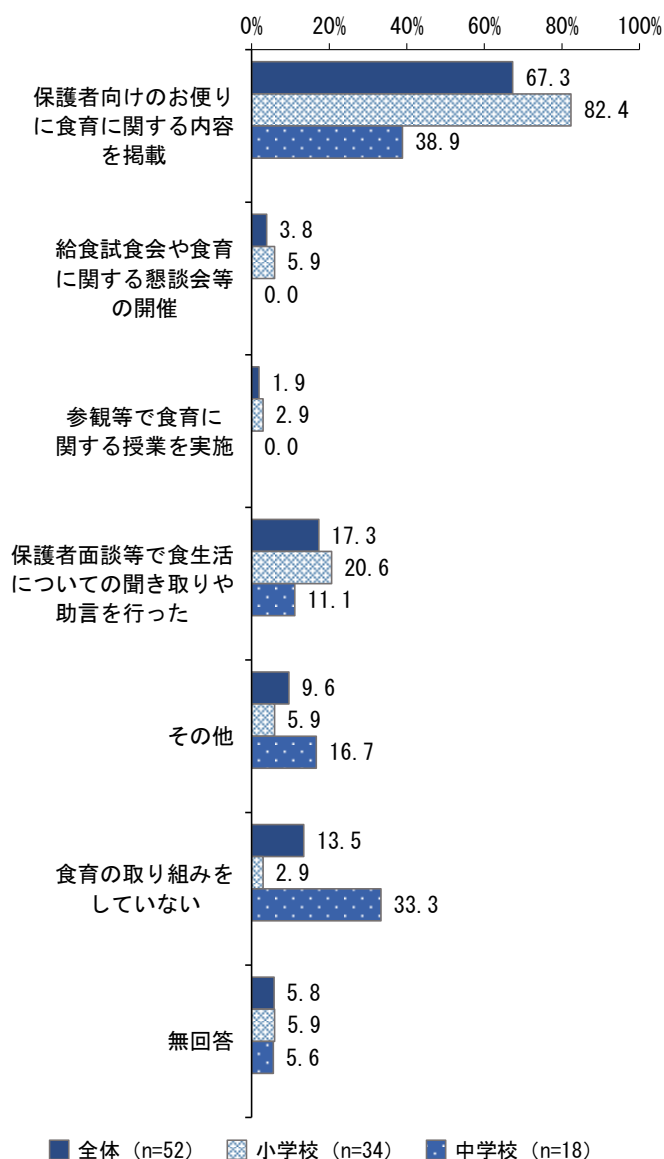
令和3年度における保護者に対する食育の取り組み内容については、「保護者向けのお便りに食育に関する内容を掲載」が67.3%で最も高く、次いで「保護者面談等で食生活についての聞き取りや助言を行った」が17.3%、「食育の取り組みをしていない」が13.5%と続いています。

【小学校】

小学校では、「保護者向けのお便りに食育に関する内容を掲載」が82.4%で最も高く、次いで「保護者面談等で食生活についての聞き取りや助言を行った」が20.6%、「給食試食会や食育に関する懇談会等の開催」が5.9%と続いています。

【中学校】

中学校では、「保護者向けのお便りに食育に関する内容を掲載」が38.9%で最も高く、次いで「食育の取り組みをしていない」が33.3%、「その他」が16.7%と続いています。



<② 「その他」の内容>

【小学校】

- ・保護者のPTA活動（給食委員会）で、放送による食育啓発を行った。

【中学校】

- ・第一調理場発行の給食だよりをクラスルームに掲載。

(6) 食育に関する取り組みの課題等

問6

貴校において、食育に関する取り組みを行うにあたり、困っていることや課題等がありましたら、ご記入ください。

【小学校】

●人員・体制に関すること

- ・栄養教諭が配置されていないため、食育の指導・準備をするのが難しい。(栄養教諭を配置してほしい) (5件)
- ・担任とのT・T形式の授業をもっと推進させたい。

●地域人材の確保に関すること

- ・5年生の稲作体験ができず、バケツ稲を育てたがなかなか実らなかったため田んぼを貸していただける人を探しています。
- ・地域の農業者と学校をつなげてほしい。今の人材は、田植えについては来年度はしないという話を伺っている。同じ体験を継続的に行うためにも、農業者と学校がつながる橋渡しをしていただきたい。地域人材も永続的なものではないため。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で調理実習ができなかった。地域人材の方が高齢化しており、今後学校農園でサツマイモの栽培などをするとき新しい人材の確保が必要である。

●取り組みの内容に関すること

- ・郷土料理や地域の食糧生産についての児童向けの資料が少ない、古い。送っていただくリーフレット等はあるが、いつどんなものが届くか分からないので、計画的に活用できなかつたり、必要な時になかつたりする。
- ・食育を実施したいと思いつつ、あまりできていません。
- ・食事やその内容・大切さについて教育はできても、結局家庭での土台に返ってしまう。
- ・食育に関して保護者への理解関心を高めること。
- ・様々な家庭の状況がある中で、例えば「どんな朝食を食べたか」という内容を取り扱う際にも配慮が必要である。また、実際に収穫や下ごしらえなどの作業を体験させたいが、衛生面で多くの配慮が必要である。
- ・なかなか教科との連携が取れていません。
- ・発達段階に応じた系統的な「食育」の指導。
- ・令和4年度は地域の方と米作りを行った。コロナなどの状況で実施できないことが増えている。

【中学校】

●新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナ禍により、調理実習が一部しか実施できていない。
- ・コロナの影響で調理実習をできない時期が続いた。
- ・コロナの蔓延により、調理実習などに制限がかかり、思うように進めることができなかった。

●取り組みの内容に関すること

- ・食物アレルギー生徒の増加により、調理実習時の事前調査や配慮が大変になっている。また、物価変動と高騰、配達方法など課題がある。

●人員・体制に関すること

- ・食育をきちんと進めることができる資質を備えている教員は家庭科教員1人のみである。全クラスの家庭科の授業を担当しており、学校全体の食育のみに注力できない。
- ・食育をより具体的かつ系統的に行うにあたり専門職である栄養教諭の派遣や設置が必要だと思う。今後、教科でもどんな先生でも食育をしていくべきだと思いますが、まずは枚方市の小中学校で、配属されている学校だけでなくすべての学校で栄養教諭などの専門的な先生から食育が学べる時間があればと思っています。よろしく願います。

令和4年度 枚方市保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小規模保育施設における食育の取り組み状況アンケート結果

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、平成30年3月に策定した第3次枚方市食育推進計画策定の最終評価に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収率	調査期間	調査方法
枚方市内の 保育所(園)・ 幼稚園・ 認定こども園・ 小規模保育施設	96施設 ●保育所(園) (55施設) ●幼稚園 (15施設) ●認定こども園 (11施設) ●小規模保育施設 (15施設)	95.8% ●保育所(園) (96.3%) ●幼稚園 (100.0%) ●認定こども園 (90.9%) ●小規模保育施設 (93.3%)	令和4年 12月2日 ～ 令和5年 2月20日	インターネット 及び郵送

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

(1) 食育に関する計画作成の有無

問 1

貴施設では、食育に関する計画作成されていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

【全体】

食育に関する計画作成の有無については、「作成している」が92.4%で最も高く、次いで「検討中」が5.4%、「作成していない」が2.2%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「作成している」が98.1%で最も高く、次いで「検討中」が1.9%となっています。

【幼稚園】

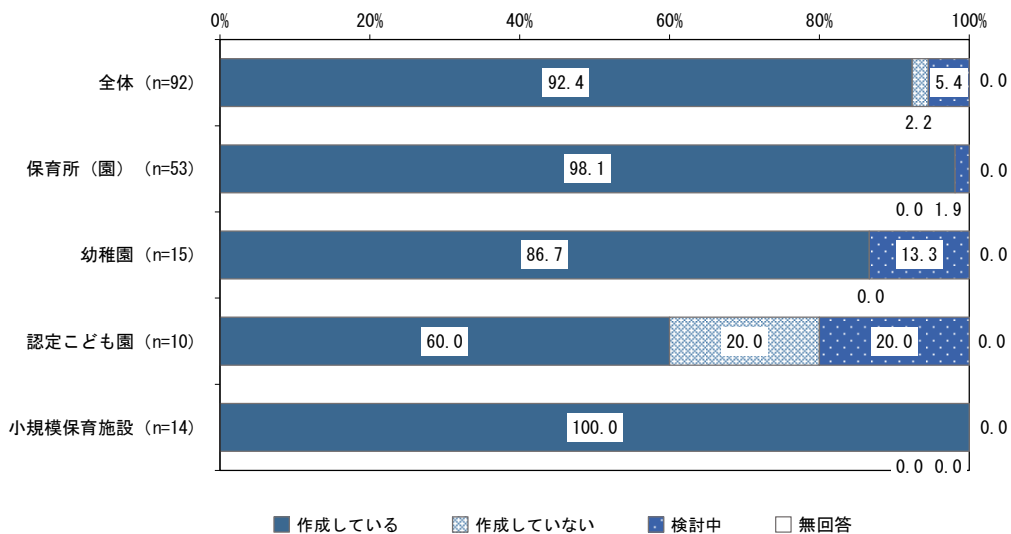
幼稚園では、「作成している」が86.7%で最も高く、次いで「検討中」が13.3%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「作成している」が60.0%で最も高く、次いで「作成していない」、「検討中」が20.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「作成している」が100.0%となっています。



(2) 令和3年度の食育の取り組みについて

問 2

施設利用児を対象に食育の取り組みを実施されましたか？

<① 食育の取り組み実施の有無>

【全体】

食育の取り組み実施の有無については、「実施した」が97.8%、「実施していない」が2.2%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「実施した」が98.1%、「実施していない」が1.9%となっています。

【幼稚園】

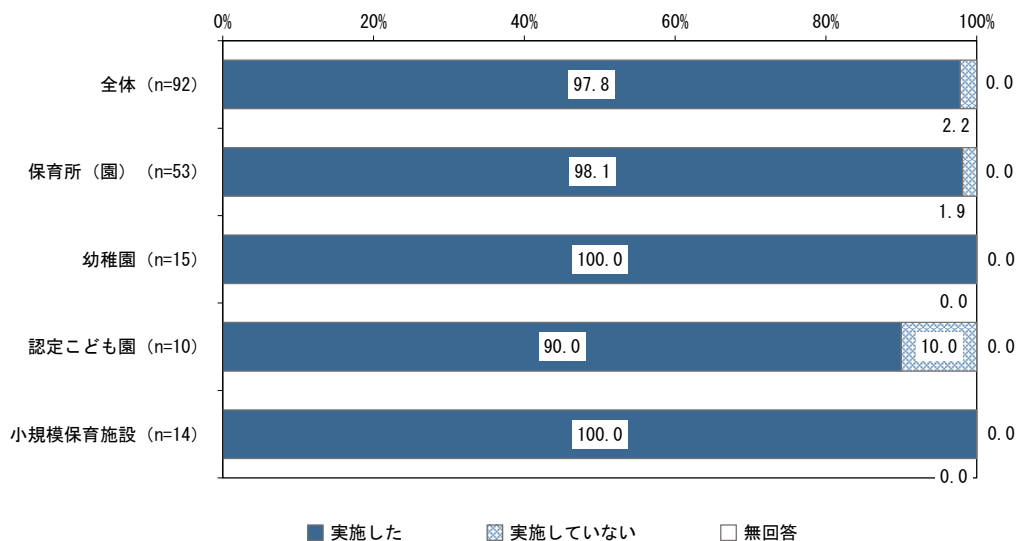
幼稚園では、「実施した」が100.0%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「実施した」が90.0%、「実施していない」が10.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「実施した」が100.0%となっています。



<② 実施した取り組み内容>

【全体】

実施した取り組み内容については、「行事食」が67.8%で最も高く、次いで「食事マナー」が63.3%、「三色栄養バランス」が60.0%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「行事食」が75.0%で最も高く、次いで「三色栄養バランス」が71.2%、「食事マナー」が63.5%と続いています。

【幼稚園】

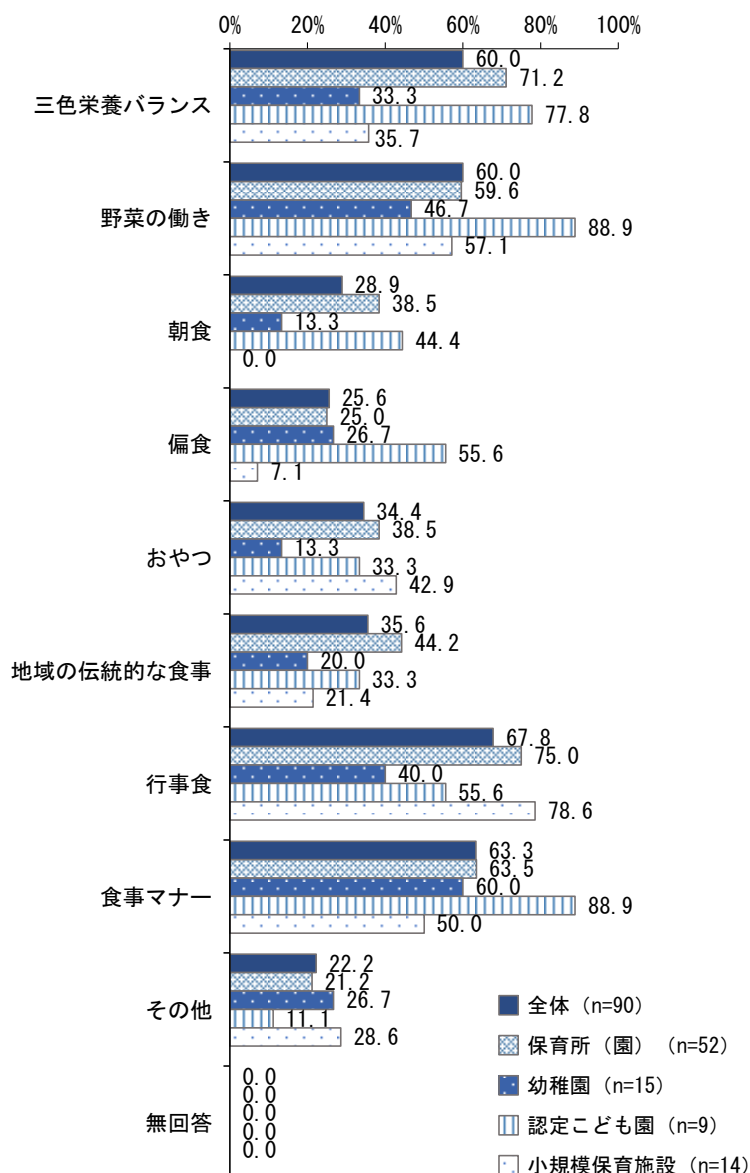
幼稚園では、「食事マナー」が60.0%で最も高く、次いで「野菜の働き」が46.7%、「行事食」が40.0%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「食事マナー」、「野菜の働き」が88.9%で最も高く、次いで「三色栄養バランス」が77.8%、「行事食」、「偏食」が55.6%と続いています。

【小規模保育施設】

規模保育施設では、「行事食」が78.6%で最も高く、次いで「野菜の働き」が57.1%、「食事マナー」が50.0%と続いています。



＜その他の内容＞

【保育所（園）】

- ・クッキング（3件）
- ・菜園活動、畑づくり（3件）
- ・給食メニューの写真掲示
- ・魚の骨とり指導
- ・お手伝い活動
- ・食育レンジャー
- ・季節の野菜、果物 加工品（例えばお米でできているものを集める）乾物等をテーマを決めて見て触って匂って等の取り組みをしている。
- ・ゴミ等の環境学習
- ・保健指導等
- ・野菜の育ち方
- ・身体の働き
- ・お箸指導

【幼稚園】

- ・食物の栽培・収穫（4件）
- ・クッキング（3件）

【認定こども園】

- ・オリジナル食育ソングを歌う

【小規模保育施設】

- ・クッキング（4件）
- ・菜園活動、畑づくり（3件）
- ・歯磨き指導
- ・食材の話
- ・お買い物ごっこ
- ・食材を知る

<③ 実施方法>

【全体】

実施方法については、「飼育・栽培体験」が81.1%で最も高く、次いで「お話」が78.9%、「調理体験」66.7%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「飼育・栽培体験」、「お話」が80.8%で最も高く、次いで「調理体験」、「絵本や紙芝居」が65.4%、「一緒に食事」が28.8%と続いています。

【幼稚園】

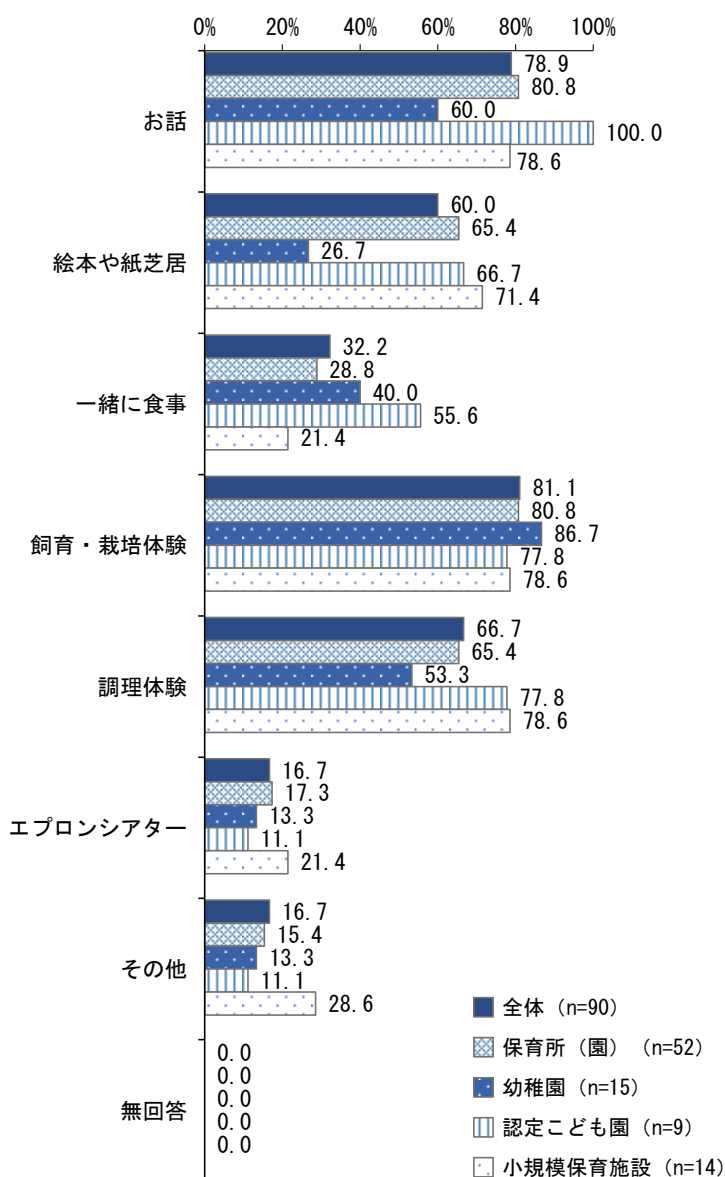
幼稚園では、「飼育・栽培体験」が86.7%で最も高く、次いで「お話」が60.0%、「調理体験」が53.3%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「お話」が100.0%で最も高く、次いで「飼育・栽培体験」、「調理体験」が77.8%、「絵本や紙芝居」が66.7%と続いています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「飼育・栽培体験」、「お話」、「調理体験」が78.6%で最も高く、「絵本や紙芝居」が71.4%、「その他」が28.6%と続いています。



＜その他の内容＞

【保育所（園）】

- ・パネルシアター（3件）
- ・寸劇（2件）
- ・夏野菜、冬野菜等を栽培、収穫してクッキングしたり、給食に取り入れて食べる。
- ・近隣スーパーへの買い物
- ・毎月園だよりに食育だよりを載せている

【幼稚園】

- ・動画
- ・収穫体験

【認定こども園】

- ・お米を育てる

【小規模保育施設】

- ・給食試食会
- ・カード遊び
- ・食事場面で食べ具合を見守りながら、「おいしいね」「もぐもぐ嚙めてるね」などお話をしている。
- ・パネルシアター
- ・具材の写真を撮りパネルにして貼り子ども達と一緒に考える取り組み

(3) 保護者を対象にした食育の取り組み

問3

保護者を対象に食育の取り組みを実施されましたか？

<① 保護者を対象にした食育の取り組み実施の有無>

【全体】

食育の取り組み実施の有無については、「実施した」が66.3%、「実施していない」が33.7%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「実施した」が73.6%、「実施していない」が26.4%となっています。

【幼稚園】

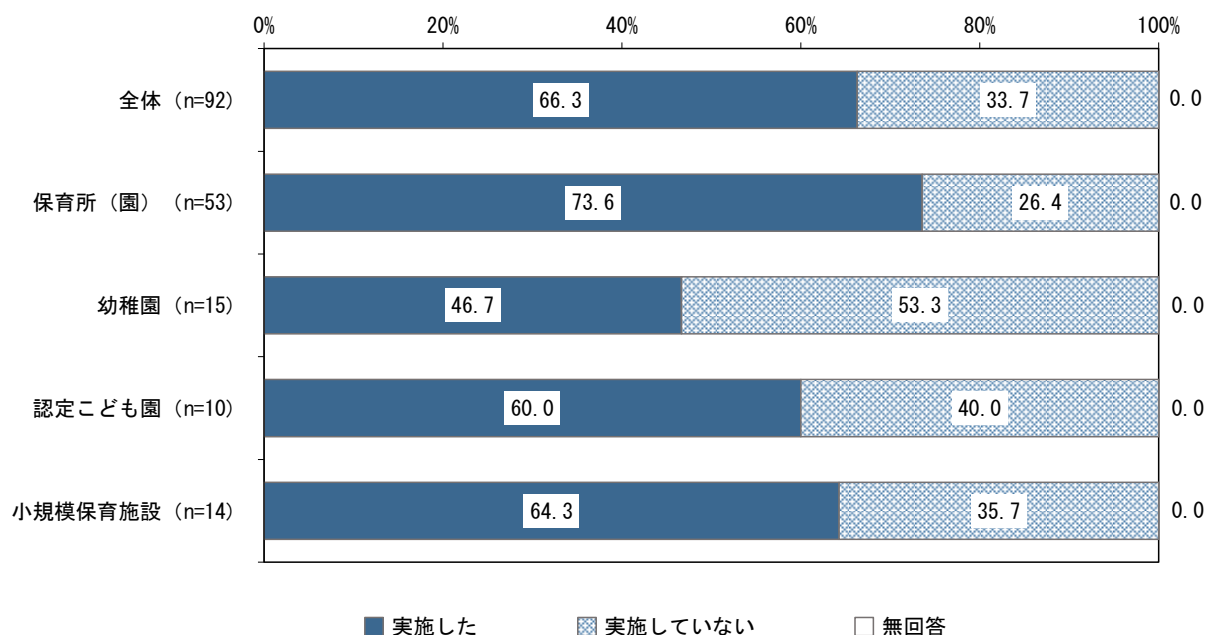
幼稚園では、「実施した」が46.7%、「実施していない」が53.3%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「実施した」が60.0%、「実施していない」が40.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「実施した」が64.3%、「実施していない」が35.7%となっています。



<② 実施した取り組み>

【全体】

実施した取り組みについては、「お便り等での情報提供」が91.8%で最も高く、次いで「給食内容や献立の展示」が86.9%、「お弁当や給食の保護者参観」が32.8%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「お便り等での情報提供」、「給食内容や献立の展示」が92.3%で最も高く、次いで「お弁当や給食の保護者参観」が35.9%、「給食の試食会」が17.9%と続いています。

【幼稚園】

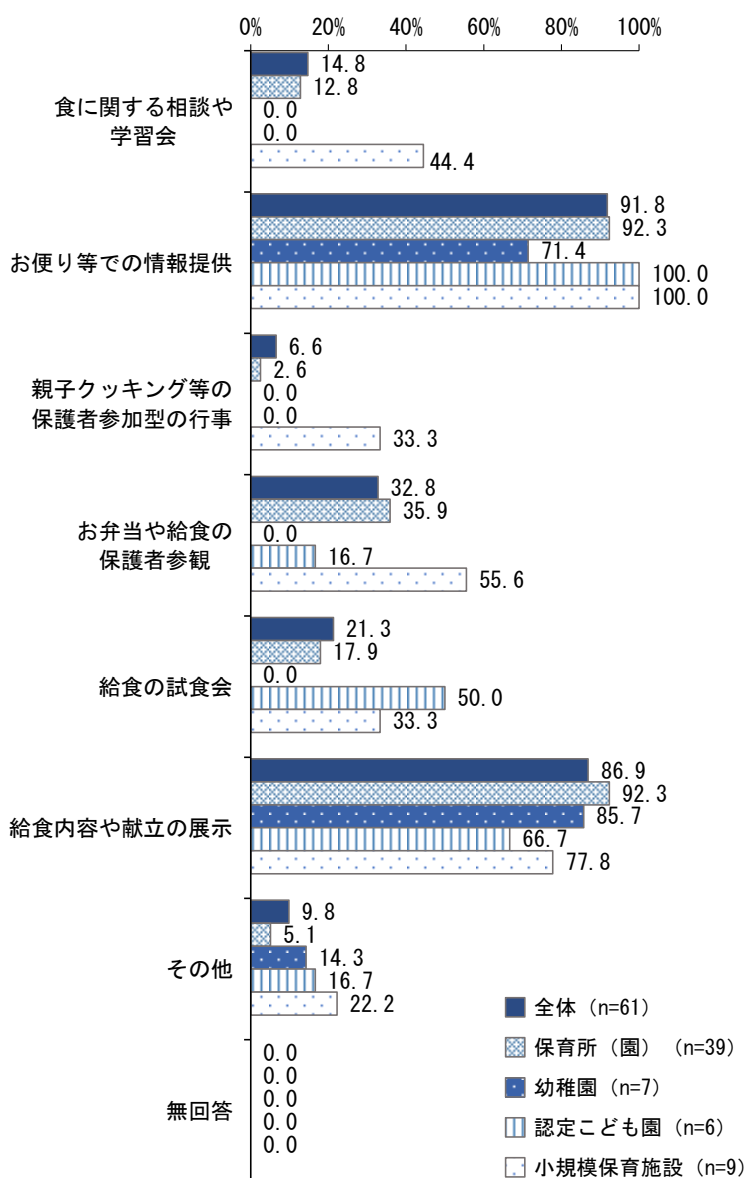
幼稚園では、「給食内容や献立の展示」が85.7%で最も高く、次いで「お便り等での情報提供」が71.4%、「その他」が14.3%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「お便り等での情報提供」が100.0%で最も高く、次いで「給食内容や献立の展示」が66.7%、「給食の試食会」が50.0%と続いています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「お便り等での情報提供」が100.0%で最も高く、次いで「給食内容や献立の展示」が77.8%、「お弁当や給食の保護者参観」が55.6%と続いています。



<その他の内容>

【保育所（園）】

- ・活動を掲示
- ・かべ新聞の掲示

【幼稚園】

- ・ブラッシング指導時、幼児の食の与え方について指導を行ってもら

【認定こども園】

- ・アレルギー食懇談会

【小規模保育施設】

- ・保健センター職員との連携
- ・パンフレット等の配布
- ・子どもの給食好評メニューの紹介とレシピ紹介

(4) 在宅の親子を対象にした食育の取り組みについて

問 4	在宅の親子を対象に食育の取り組みを実施されましたか？
-----	----------------------------

<① 在宅の親子を対象にした食育の取り組み実施の有無>

【全体】

食育の取り組み実施の有無については、「実施した」が32.6%、「実施していない」が67.4%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「実施した」が43.4%、「実施していない」が56.6%となっています。

【幼稚園】

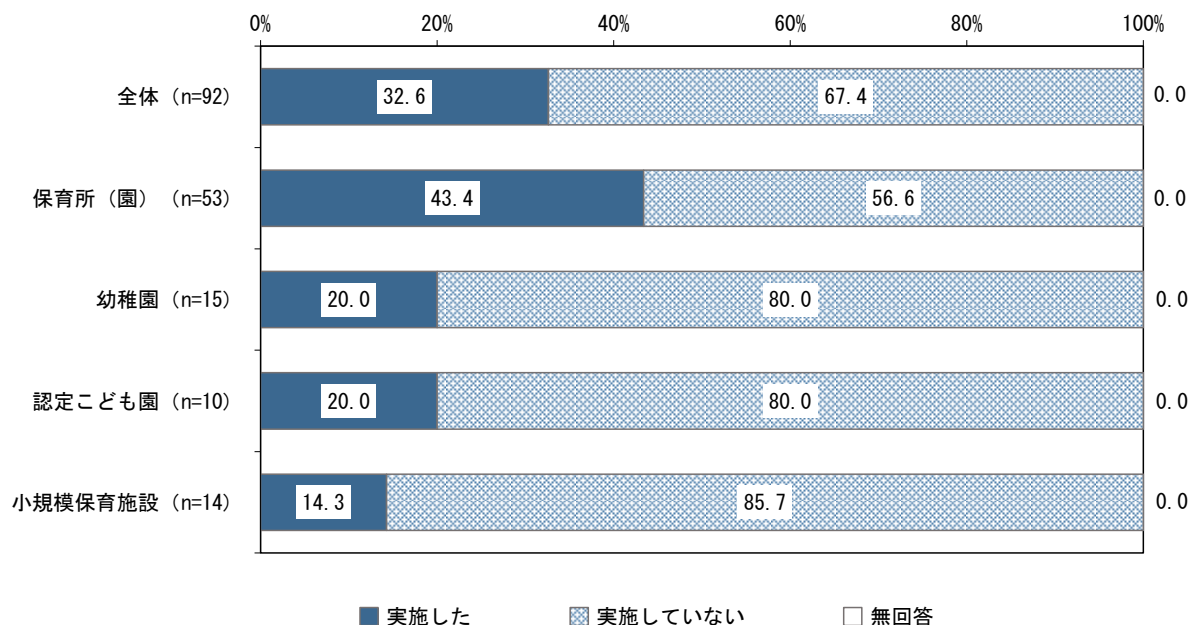
幼稚園では、「実施した」が20.0%、「実施していない」が80.0%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「実施した」が20.0%、「実施していない」が80.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「実施した」が14.3%、「実施していない」が85.7%となっています。



＜② 実施した取り組み＞

【全体】

実施した取り組みについては、「育児相談等における食に関する相談や指導」が76.7%で最も高く、次いで「給食の試食会や展示」が50.0%、「その他」が13.3%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「育児相談等における食に関する相談や指導」が82.6%で最も高く、次いで「給食の試食会や展示」が56.5%、「その他」が17.4%と続いています。

【幼稚園】

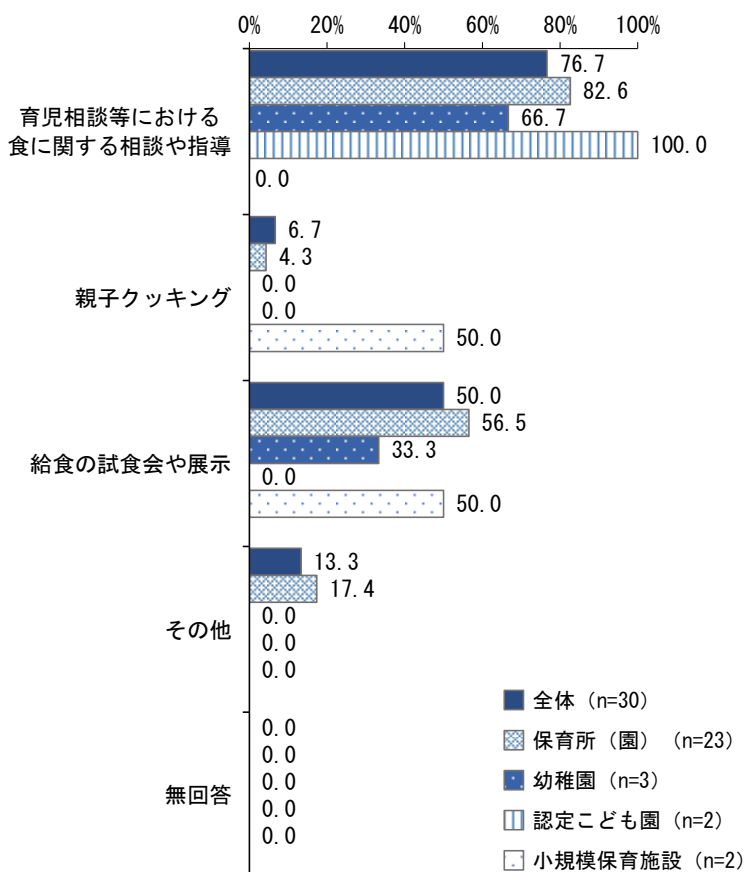
幼稚園では、「育児相談等における食に関する相談や指導」が66.7%で最も高く、次いで「給食の試食会や展示」が33.3%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「育児相談等における食に関する相談や指導」が100.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「給食の試食会や展示」、「親子クッキング」が50.0%となっています。



＜その他の内容＞※一部抜粋

【保育所（園）】

- ・離乳食についての情報配信
- ・よいこネットで配信
- ・クッキング動画の配信
- ・親子で園で育てた黒豆の収穫体験をもらった

(5) 令和4年度の食育の取り組み

問5	今年度、食育の取り組みの予定はありますか
----	----------------------

<① 令和4年度の食育の取り組み実施の有無>

【全体】

令和4年度の食育の取り組みの予定については、「予定している」が90.2%で最も高く、次いで「検討中（見通しがたっていない）」が7.6%、「予定していたができない」、「予定していない」が1.1%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「予定している」が94.3%で最も高く、次いで「検討中（見通しがたっていない）」が5.7%となっています。

【幼稚園】

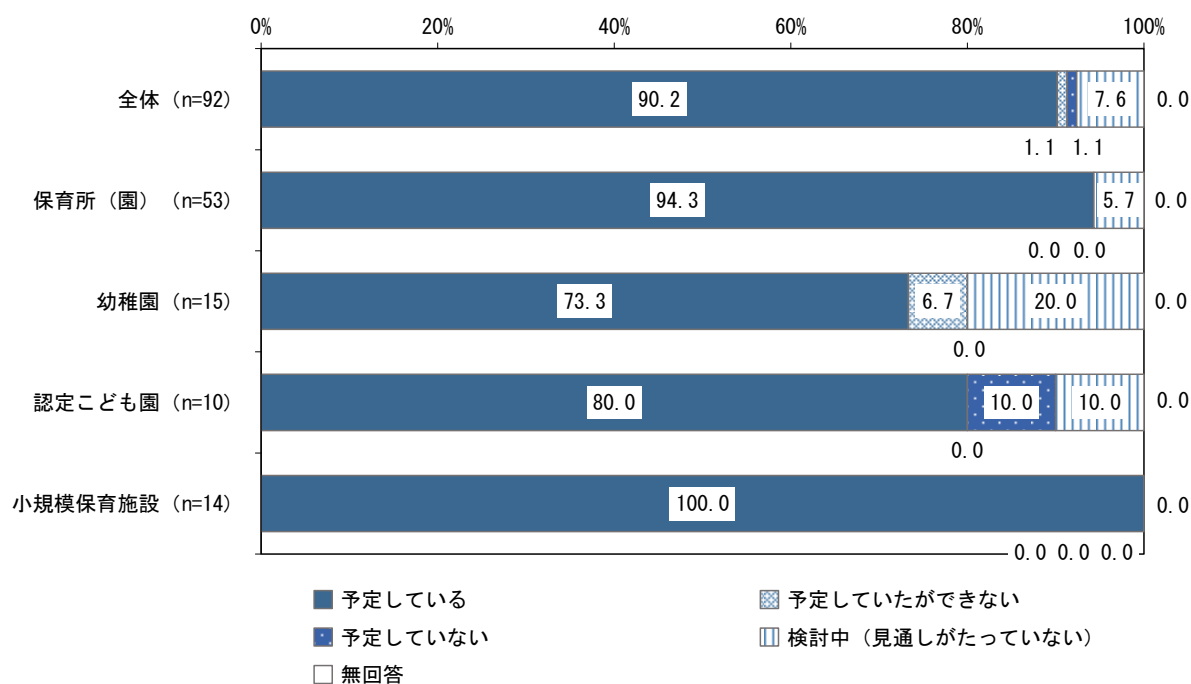
幼稚園では、「予定している」が73.3%で最も高く、次いで「検討中（見通しがたっていない）」が20.0%、「予定していたができない」が6.7%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「予定している」が80.0%で最も高く、次いで「予定していない」、「検討中（見通しがたっていない）」が10.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「予定している」が100.0%となっています。



＜② 予定している内容＞※一部抜粋

【保育所（園）】

- クッキング、調理実習（43件）
 - ・カレークッキング、お味噌汁クッキング、調理体験、おやつ作りなど
- 指導・学習活動（27件）
 - ・骨とり指導、食材を見せたりして食べることへの興味に繋げる、マナー教室など
- 菜園活動（23件）
 - ・野菜の栽培、栽培体験など
- 収穫体験（13件）
 - ・ジャガイモ掘り体験、さつま芋掘り体験、野菜の収穫など
- 保護者向けの活動・情報提供（13件）
 - ・給食内容や献立の掲示、お便りでの情報提供、給食の保護者参観（乳児）など
- 行事体験、行事食（10件）
 - ・もちつき、焼き芋パーティー、クリスマスなど
- 遊び（クイズ等）を通しての学習（6件）
 - ・お買い物体験、3大栄養素の寸劇、触感や色々な果物の話やクイズなど

【幼稚園】

- 菜園活動（7件）
 - ・野菜の栽培、さつまいもの苗植え、じゃがいもの種芋を植えるなど
- 収穫体験（2件）
 - ・収穫したものをみんなで食べる、野菜の収穫
- 行事体験、行事食（3件）
 - ・もちつき、行事食の提供など
- クッキング、調理実習（4件）
 - ・野菜の調理、調理体験など
- 学習活動（2件）
 - ・偏食を無くす取組、食事マナー
- 保護者向けの活動・情報提供（2件）
 - ・食育の取組を含めた園生活の様子を掲示板にて保護者に伝える、食育講演会
- 他活動
 - ・友だちや先生と一緒に食事をする楽しさを感じるなど

【認定こども園】

- クッキング、調理実習（4件）
 - ・おにぎり作り、ホットドッグ作りなど

●菜園活動（3件）

- ・野菜栽培、新しく作った畑での野菜作りなど

●他活動

- ・毎月、行っている誕生日会で給食のピカピカ賞、がんばり賞を渡すなど

【小規模保育施設】

●クッキング、調理実習（10件）

- ・調理体験、デザート作り、調理しておやつに食べる食育活動など

●菜園活動（9件）

- ・栽培体験、じゃが芋、キュウリ、さつまいも、大根の植えつけなど

●保護者向けの活動・情報提供（6件）

- ・おたよりでの情報提供、献立内容の展示、家庭で親子でできる簡単レシピの紹介など

●学習活動（4件）

- ・食事のマナーについてのお話、絵本等の読み聞かせで興味をもたせるなど

●行事体験、行事食（3件）

- ・地域の伝統的な食事、行事食など

●収穫体験（2件）

- ・野菜の収穫

●他活動

- ・食育計画の作成など

(6) 食育の取り組みについての課題

問6	貴施設において、食育に関する取り組みを行うにあたり、困っていることや課題等がありましたら、ご記入ください。	自由記述
----	---	------

<記述内容>※一部抜粋

【保育所（園）】

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・園児のクラスごとのクッキング活動について。コロナ感染症対策を取りながらどのタイミングで始めたらいいか。クッキングの時に、手袋を着用しての活動には課題がある。
- ・コロナウイルス感染拡大防止を行っているなかクッキングの実施の難しさ。現在は自分で食べる分のみのクッキング（おにぎり等）だが、全体で行うには工夫がいると感じている
- ・試食会等ができないので、保護者との共感の場が持ちにくい。特に離乳食などに関する相談が地域の保護者からもあるが、なかなか取り組みにくい。
- ・コロナ前は幼児クラスで野菜を育てて各クラスでクッキングをしていたが、保護者や職員の不安があり実施できていない。
- ・コロナ禍でのクッキング体験を行なうにあたり、体験させたいがどこまでさせるべきかについて悩んでいる。
- ・コロナ禍で、その前より色々なクッキングが積極的に出来ていないのは残念である。試食会は、感染予防のため、全く出来ていない。また、在宅の親子を対象にしたクッキングも全く出来ていない。
- ・コロナ感染症対策として、黙食、パーティション設置、消毒などを今も続けて実施している。今後どのように感染対策をしながら食事の在り方のかんがえていくべきかが課題。
- ・なかなか子供達と直接的に話したり、クッキングなどがしにくいので予定していてもできずの事が多くなっているため、その時は展示の方法など子供と親が両方楽しめるやり方などを考え、実行するように今後していきたいと思います。
- ・コロナ禍において実施される範囲を縮小せざるを得なくなり、園全体での食に関する行事の取り組みが難しくなっているが、皆で行事をし皆で食べる楽しさを伝えていきたい。
- ・コロナ前は幼児クラスで野菜を育て、クッキングをしていたが、いつごろから再開していいのか？悩んでいる
- ・コロナ禍で感染対策のため職員と子どもと一緒に食べれていない
- ・こねたり、丸めたりする調理、みんなのできる調理がまだまだ取り組みにくい

●その他

- ・朝食の大切さをお便りなどを通して伝えているが、多忙な中でだからか、なかなか保護者には響きにくい。

- ・偏食や残飯が多い。
- ・残飯の量の多さ、朝食の摂取状況等。
- ・行事をする中でのアレルギー対応もむづかしい。
- ・もっとクッキングをしたいが子供の数が多くできない。道具も足りない。時間も足りない。(日課が崩れると言われる)
- ・自園給食であるため他施設(園)での取り組みがわかりづらい。もし可能であれば意見交換等できる機会があれば良いと思う。
- ・食材の値上がりにより、産地直送のものなど提供したいが冷凍等になってしまう。

【幼稚園】

- ・昨今の食材の値上がりや光熱費の値上がり等が、子ども達の食育に深い影響を与えるのではないかと心配している。
- ・様々な家庭がある中で、また、偏食の特性をもつ配慮を要する幼児もいるため、一律での食育指導は難しい面があります。来年度からは選択制の給食も実施となるため、給食の幼児・弁当の幼児がクラスの中でも混在するため、食育の取組や食事指導をどうしていくかより考える必要があると思う。
- ・日々の昼食が、お弁当と給食が混在しており、食について話をしにくくなった。
- ・好き嫌いをなくすための方法

【認定こども園】

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・計画をしてもコロナの感染状況によって変更を余儀なくされる、もしくは計画自体をあきらめざるを得ないこと。衛生・安全に対してどこまでの配慮が必要かの判断。
- ・コロナ禍において、夕食の際の家庭的に楽しんで、その日の活動などの話をしながら食事ができなくなり、別の方法を模索しながら中々先に進まないこと。

●その他

- ・屋上園庭に畑を作っているが、そこに雨水をためる設備を整えたり、野菜くず等のゴミを再生したりする取り組みを検討している。

【小規模保育施設】

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・新型コロナウイルスの影響により、調理体験など生の食材に触れる機会を作ることが難しくなった。
- ・コロナ禍ということもあり、1・2歳児の子どもたちはマスクを着用することができないため、豆の皮むきなどをしてきたクッキングやおやつ・牛乳・果物を買っていくお当番活動が出来ません。どの程度の範囲なら出来るのか難しい。
- ・クッキングはコロナ感染状況から計画通りの回数ができていることや、子ども達と一

緒に食事をしながらの食育活動ができていない。

- ・季節柄（特に新型コロナウイルス）の影響で衛生面など気を使っているが、もっといい解決案などを話し合っている。
- ・コロナ前は、保護者の給食試食を随時受け付けていたが、いつごろから再開していいのか？悩んでいます。
- ・乳児のため、マスク着用や乳児用ビニール手袋など難しく、工夫が大変であった。今後どのように活動していくか課題である

●その他

- ・小規模のため、畑を持たない。プランター育成での限界を感じる。
- ・野菜の栽培やお芋堀をさせてもらえるような畑が近くにあればお借りしたいと考えているが、どこにそのような資源があるのか分からないし、どこに相談したらいいのかが分からない。
- ・1、2歳児のみの施設なので、幼児クラスになっての継続ができない。
- ・乳児のみの園なので、日常の給食の取り組みも大事に行う
- ・毎回園全体で子どもにとってどんな経験が必要でどう取り組むか？を考えている
- ・施設が狭い為に栽培場所の確保が難しい
- ・連携園の為に自園で調理していない為毎日出汁の匂いなど感じる事が難しい。

3 主な取組一覧

第3次枚方市健康増進計画 主な取組一覧

主な取組名	内容	基本方向1 個人の行動と健康状態の改善 (ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり)						基本方向2 生活習慣病の発症および重症化予防					基本方向3 健康づくりを支える環境の整備					
		栄養・ 食生活	身体活動 ・運動	歯と口	喫煙	飲酒	休養・ こころ	生活 習慣病	がん	循環器病	糖尿病	COPD	食を 取り巻く	からだを 動かす	受動喫煙	デジタル	職場	地域
離乳食・幼児食講習会	離乳食や幼児食に関する講座や調理実習を開催し、望ましい生活リズムや食事に関する啓発を行う。	●										●						
親子クッキング	幼児及びその保護者を対象に親子料理教室を実施。楽しみながら家族ぐるみで健全な食習慣について学び、食育の推進を図る。	●										●						
公私立保育所(園)・幼稚園における食育の推進	菜園活動で収穫した野菜でクッキング等に取り組む。保護者向けには、給食の展示やお便り・壁新聞等工夫し啓発。	●										●						
学校における食育の推進	栄養教諭等を中心に教育活動全体を通じて、食に関する指導の充実を推進する。	●										●						
食育推進事業	食についての基礎的な知識に関する啓発媒体を作成・配布し、幅広い世代に啓発を実施。	●										●						
枚方キッチン配布	食に対して無関心な層への啓発を図ることを目的に、広報ひらかた(裏表紙)において、おすすめレシピとテーマに沿った食や栄養に関するポイントを掲載。また、掲載をまとめた冊子を広く配布。	●										●					●	
食育カーニバル	市民の食育への関心を高めることを目的に、関係機関・団体と連携し、「ひらかた食育カーニバル」を開催。	●										●			●		●	
食環境づくり推進事業	食を取り巻く環境づくりを整備するため、外食産業や職域、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等を介し、受動喫煙対策等も含めた多様な健康づくりの推進を図ります。	●										●	●	●	●	●	●	
スポーツ・レクリエーション教室	障害者及びその家族の社会参加の促進・健康づくりを目的に様々なスポーツ教室を実施。		●										●					
スポーツ大会レクリエーション	各種スポーツ大会やレクリエーション事業を実施し、市民の健康維持・体力増進を図るとともに、スポーツ活動の活性化を図る。		●										●					
市民スポーツカーニバルの開催	様々なスポーツを楽しんでいただき生涯スポーツの普及を図ることを目的として、毎年度体育の日に市体育施設で各種スポーツの体験会や体力測定会を実施。		●										●					
ライフチャレンジ・ザ・ウォーク	幼児・小学生と18歳以上の保護者のグループが山田池公園内をウォーキングしながらポイント探しやミニゲームを行う。(枚方市スポーツ推進委員協議会主催事業)		●										●					
ひらかたカラダづくりリアル	京阪ホールディングス(株)、京阪電気鉄道(株)と共同で、京阪電車沿線のコースとひらかたの八景コースを紹介する「健康ウォーキングマップ」を作成・配布。また、ウォーキングマップのコースを紹介するウォーキングイベントを実施する。		●										●					
120日チャレンジ	120日間の運動、栄養、歯と口の健康づくりの取組の記録を促し、提出者に対して、健康相談・栄養相談を実施。	●	●	●								●	●					
歯周病検診	満35・40・45・50・55・60・65・70歳の市民に対し歯周疾患検査を実施。			●														
妊産婦歯科健康診査	妊産婦のう蝕、歯周疾患を早期発見・早期予防し、妊婦および胎児の健全な発育に資することを目的に妊産婦歯科健康診査を実施。			●														
成人歯科健康診査	1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査に来所した保護者を対象に歯科健診を実施し、意識向上及び乳幼児のう蝕予防、歯と口の健康づくりの普及啓発を図る。			●														
障害者(児)歯科診療事業	障害者(児)施設等に入所、通所され、歯科保健医療サービスを受ける事が困難な方に対し、施設において歯科健康診査を実施。			●														
在宅訪問歯科事業	在宅寝たきり老人等の口腔内のう蝕、歯周疾患、義歯の不適合、口腔清掃状態等の状況を改善し、口腔機能の回復を図ることを目的とし、訪問による歯科検診を実施。			●														

主な取組名	内容	基本方向1 個人の行動と健康状態の改善 (ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり)						基本方向2 生活習慣病の発症および重症化予防					基本方向3 健康づくりを支える環境の整備					
		栄養・食生活	身体活動・運動	歯と口	喫煙	飲酒	休養・こころ	生活習慣病	がん	循環器病	糖尿病	COPD	食を取り巻く	からだを動かす	受動喫煙	デジタル	職場	地域
8020表彰式	枚方市歯科医師会と連携し、20歯以上の健全な歯を持つ80歳以上の方を表彰することで、市民に対する歯育推進の啓発を行う。			●														
歯科保健の推進	歯間部清掃用具の使用やかかりつけ歯科医を持つことの重要性について、啓発を行う。			●														
健康医療キャラバン事業	大学や基幹病院など健康医療都市ひらかたコンソーシアム構成団体の専門的な知識やノウハウを活用し、市内の小中学生等に対して、「薬の飲み方・薬物乱用」「歯磨き・口腔ケア」に係る学習機会を提供。			●														
非行防止教室等（喫煙防止）	小中学校で、未成年の喫煙の害等について学ぶ機会を設ける。 ※評価時のアンケートにて「たばこの害について「わからない」中学生の割合」も把握				●									●				
受動喫煙防止対策	市民病院や公共機関、学校等における敷地内喫煙に関する調査や啓発住民への啓発を行う。				●									●				
たばこ対策の推進	・たばこの害や受動喫煙による健康への影響、禁煙外来治療費補助に関する情報を市民へ周知啓発。 ・小・中学校や高校、地域や企業へのたばこに関するリーフレットの提供、肺の模型などの資材の貸出を実施。 ※「喫煙率（特定健診結果）」も把握				●									●	●			
非行防止教室（飲酒防止）	小中学校で未成年者の飲酒の害等について学ぶ機会を設ける。 ※評価時のアンケートにて「アルコールの害について「わからない」中学生の割合」も把握					●												
飲酒に関する相談・指導 健康講座・健康教育	アルコール関連問題に関する相談を実施。 飲酒やこころの健康に関する情報や知識の普及啓発を行う。					●												
産後ママ安心ケアサービス	産後、家族からの援助が受けられない等で支援を必要とする母子に対し、医療機関または助産所で、宿泊型(ショートステイ)や日帰り型(デイサービス)のケアサービスを行い、助産師等が心身のケア・休養や乳房のケア等の相談支援を実施する。					●									●			
育児相談	保育所(園)で育児相談の実施(相談内容は、しつけ・食事・遊び等)					●												
早寝早起きの推進	小中学校で、家庭と連携しながら、早寝早起きなど規則正しい生活を推進する。 ※評価時のアンケートにて「睡眠時間7時間未満の小学生・中学生の割合」も把握					●												
ひらかた健康ほっとライン24	健康や医療、子育て、出産、メンタルヘルスに関する電話相談窓口 医師や看護師等が常駐 24時間365日対応					●												
自殺予防相談専用電話 ひらかた いのちのホットライン	自殺予防のための支援体制を充実するため、専門の研修を修了した相談員による電話相談や自殺のサインに早期に気づき、対応するゲートキーパーの養成、市民への情報提供・啓発を実施					●												
ゲートキーパー養成研修	自殺予防のための支援体制を充実するため、専門の研修を修了した相談員による電話相談や自殺のサインに早期に気づき、対応するゲートキーパーの養成、市民への情報提供・啓発を実施					●												
精神保健福祉相談事業	診療を受けるにあたっての相談、社会復帰相談、アルコール、思春期、青年期等、保健・医療・福祉にわたる相談対応					●									●			
自殺対策推進事業	職域団体へ自殺予防のためのゲートキーパー研修、企業の管理者向けのメンタルヘルスに関する研修、市民・関係機関向けに心のサポーター養成研修等を実施。 リーフレットを作成し、研修等で配布し、啓発を図る。					●												
こころの電話相談	こころの電話相談を実施。					●												

主な取組名	内容	基本方向1 個人の行動と健康状態の改善 (ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり)						基本方向2 生活習慣病の発症および重症化予防					基本方向3 健康づくりを支える環境の整備					
		栄養・食生活	身体活動・運動	歯と口	喫煙	飲酒	休養・こころ	生活習慣病	がん	循環器病	糖尿病	COPD	食を取り巻く	からだを動かす	受動喫煙	デジタル	職場	地域
がん発症予防の推進	「大阪府がん対策推進条例」を受けて、枚方市の小中学校では、がん予防につながる学習活動を実施。その一環として、小中学校の教員を対象に、「学校におけるがん教育」の講演を実施。								●									
がん対策推進事業	がん検診に関するチラシの配布、正しい知識の普及のため健康講座や啓発活動の実施。 受診勧奨のチラシ・はがきの配布、精密検査未受診者への受診勧奨。 ウィッグ等の補整具購入費用の一部助成制度の実施。 がん検診精度管理委員会での情報提供。								●									
保育所（園）の地域開放	保育所（園）で地域開放を実施し、地域の児童、保護者を対象に遊びの場の提供。													●				
市立小学校体育施設の開放事業	市民の体力向上のため、市立小学校の体育施設を土日祝日の学校教育に支障のない範囲で開放し、スポーツに対する意欲を高め、青少年の健全育成と明るい市民社会づくりの場としており、学校体育施設解放運営委員会が実施運営。													●				
公園への健康遊具等設置	岡東中央公園、九頭神麩寺歴史跡公園、伊加賀南町、南樟葉の小規模公園に健康遊具を設置。車塚公園・交北・樟葉東公園・翠香園ふれあい公園には、ジョギングコース有。													●				
都市公園有料施設運営事業	市民の健康増進やレクリエーションの場の提供を目的にテニスコート・運動広場・バレーボールコートの貸し出しを行う（有料）。													●				
王仁公園プール管理運営事業	市民の健康増進やレクリエーションの場の提供を目的に7月・8月王仁公園プールを開園(有料)。													●				
ひらかた散策マップの配布	桜のある公園を中心に15コースを設定した「ひらかた散策マップ」を作成し、本庁・別館受付カウンター、各支所に設置し配布。													●				
公共交通の利用促進	公共交通利用促進等のためにNPO法人や交通事業者と連携し、市内の公共交通や施設情報などを掲載した「ひらかた交通タウンマップ」の配布や、このマップを活用した「バス！のってスタンプラリー」を実施するほか、モビリティ・マネジメントについて楽しく勉強するツール「ひらかた交通すごろく」を作成。													●				
枚方市総合交通計画の推進	本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策を推進するため、平成30年12月に枚方市総合交通計画を策定し、枚方市総合交通計画推進協議会において、施策の推進に取り組んでいる。													●				
バリアフリーの推進	市域におけるバリアフリー化の推進のため、鉄道駅を中心とした地区を重点整備地区とし、3つの基本構想を策定している。また、高齢者、障害者、交通事業者、関係行政機関等を代表する者で構成する枚方市バリアフリー推進協議会を設置し、本市域内のバリアフリー化の促進に関する基本構想の実施に係る連絡調整などを実施している。													●				
自転車活用推進計画の推進	自転車の活用の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和2年3月に自転車活用推進計画を策定し、自転車を誰もが無理なく安全に利用できる環境の創出を図っている。													●				
枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画の推進	平成29年6月に自転車ネットワーク計画を策定。歩行者と自転車の安全対策と快適な通行環境の整備を進めるための計画を策定し、大阪府と連携して自転車通行空間の整備を行う。													●				
まち美化啓発事業	市条例で設定している路上喫煙禁止区域において、まち美化・たばこの火の危険防止・受動喫煙防止（保健所との連携）に向けた啓発を行う。 また、市内全域で、歩きたばこや吸い殻などのポイ捨てがなく、清潔で美しいまちとするため、清掃活動等を推進していく。													●				

主な取組名	内容	基本方向1 個人の行動と健康状態の改善 (ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり)						基本方向2 生活習慣病の発症および重症化予防					基本方向3 健康づくりを支える環境の整備						
		栄養・食生活	身体活動・運動	歯と口	喫煙	飲酒	休養・こころ	生活習慣病	がん	循環器病	糖尿病	COPD	食を取り巻く	からだを動かす	受動喫煙	デジタル	職場	地域	
高齢者のICT利用促進事業	通信事業者と連携して高齢者を対象としたスマホ教室の開催などスマートフォンの利活用の促進に取り組む。																●		
働く人への食環境の整備と喫食者指導	特定給食施設への指導を通して、バランスのよい給食提供についてや喫食者に対する栄養教育についてのアドバイスを行う。																		●
健康・医療・福祉フェスティバル	健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、その推進事業の一環として、市民の健康、医療と福祉に対する意識の高揚を図ることを目的に開催																		●
認知症サポーター養成講座	認知症の人や家族を暖かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成講座を実施。 ※「認知症サポーターの人数」も把握																		●
自分でできる認知症の気づきチェックリストの活用	脳の機能低下を早期発見する手段の一つとして、「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の活用を啓発。																		●
元気づくり・地域づくりプロジェクト	地域性を活かした見守り体制や支え合い体制の構築に向け、小学校区を単位とした「元気づくり・地域づくりプロジェクト」の体制整備を行う。																		●
健康教育（母子）	地域で催される子育てサロン等からの依頼により、職員が地域へ出向き、生活習慣や食に関する正しい知識の普及・啓発を目的に健康教育を行う。	●	●	●	●	●	●												
妊娠届時の健康相談	妊娠届出時に、保健師または助産師により、妊娠・出産・育児に関する不安や相談についてのアドバイスとともに、禁煙や禁酒等の指導を行う。	●	●	●	●	●	●										●	●	
マタニティスクール	妊娠期及び産後に向けての望ましい食生活や栄養、歯科や生活習慣に関する講座をオンデマンド配信等にて実施。	●	●	●	●	●	●										●	●	
妊産婦・新生児・乳児指導訪問	助産師や保健師が、妊産婦および新生児を対象に家庭訪問を行い、育児や授乳、栄養に関する助言等を実施。	●	●		●	●	●										●	●	
乳幼児健康相談	・保健師により、乳幼児の生活リズムを含めた健康に関するアドバイスや子育てサロン等の遊び場の情報提供を行う。 ・管理栄養士により、乳幼児の食生活についてのアドバイスを行う。 ・歯科衛生士より、歯と口の相談や口腔内細菌の感染を防ぐ方法などについてのアドバイスを行い、定期的な歯科受診や不正咬合の予防及び口腔機能の育成に関する情報提供を行う。 ・はみがき教室の実施	●	●	●			●							●	●		●		
乳幼児健康診査	・各乳幼児健康診査時に、保健師による育児や望ましい生活リズム等の保健指導を実施。 ・各乳幼児健康診査時に、管理栄養士による食生活についてのアドバイスを実施。 ・1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児健康診査時に、歯科健康診査を実施。1歳6か月児健康診査時には、う蝕活動試験（カリオスタット検査）を、1歳6か月児、3歳6か月児健康診査時にはフッ素塗布を実施。	●	●	●	●		●							●	●	●	●		
介護予防普及啓発事業	地域包括支援センター・枚方スポーツ協会等に委託し、介護予防に関する内容の講座等を地域の身近な場所で開催。 ※評価時のアンケートにて「日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合（75歳以上）」も把握	●	●	●			●							●	●		●		●
高齢者健康づくりプロジェクト	健活フェスタや生活便利帳にて、介護予防に関する知識の普及・啓発等を行う。	●	●	●			●							●	●		●		●

主な取組名	内容	基本方向1 個人の行動と健康状態の改善 (ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり)						基本方向2 生活習慣病の発症および重症化予防					基本方向3 健康づくりを支える環境の整備					
		栄養・食生活	身体活動・運動	歯と口	喫煙	飲酒	休養・こころ	生活習慣病	がん	循環器病	糖尿病	COPD	食を取り巻く	からだを動かす	受動喫煙	デジタル	職場	地域
介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> 【栄養改善教室】 ・口腔機能向上の教室として、歯科衛生士と管理栄養士で教室（まんてん教室）を実施。 【運動機能向上教室】 運動機能向上に関する教室を実施。 【口腔機能向上教室】 ・高齢者の口腔機能の向上に関するICTを活用したオンライン教室を実施。 【認知症予防教室】 ・脳力のチェックおよび認知症予防として「脳力チェック健診」を実施（大阪精神医療センターと共催）。 ・認知症予防教室として「こころとからだ生き生き教室」を実施（大阪精神医療センターと共催）。 ・市職員が地域に出向き、認知症予防講座を実施。 	●	●	●			●						●	●		●		●
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (ポピュレーションアプローチ)	居場所等身近な場においてフレイル予防（栄養・口腔・運動）に関する健康教育を実施。フレイル状態にある高齢者を把握し保健指導等の支援事業や介護予防事業等へつなぐ	●	●	●			●		●	●			●	●		●		●
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (ハイリスクアプローチ)	<ul style="list-style-type: none"> ・健診・医療・介護いずれの情報もない健康状態不明な高齢者の状態を把握し、必要なサービスへつなぐ ・要介護3以上で歯科受診歴がないなど誤嚥性肺炎のリスクが高い高齢者に対し、訪問にて口腔状態の確認と指導、訪問歯科の案内等を行う。 ・骨折予防のため、骨密度測定結果が要精検であった高齢者へ個別保健指導および受診勧奨を実施。 	●	●	●			●		●	●			●	●		●		●
(主に国民健康保険加入者対象) 生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による循環器疾患に関する講座の開催。疾患に関する正しい知識の普及啓発とともに生活習慣改善を図る。 ・骨粗しょう症予防に関する講座を骨密度測定と併せて開催。測定結果に関するアドバイスを運動、栄養の両側面から行うことで生活習慣改善を図り、リスクの高い人へは受診勧奨を行う。 	●	●	●	●	●	●		●	●			●	●		●		
(国民健康保険加入者対象)特定健診の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市内医療機関で受診した場合、独自項目として、クレアチニン・尿酸・尿潜血・心電図検査を追加して実施。 ・日曜日に特定健診を実施（日曜日健診）し、利便性の向上を図る。 ・特定健診とがん健診をセットで受診できる体制を整備。 ・特定健診の対象年齢になる前の30代に向けた「30歳からの国保健診」を実施し、早期からの健診受診の習慣化を図る。 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●		
(国民健康保険加入者対象) 生活習慣病予防のための保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施。特定健診受診者の内、生活習慣病の発症リスクが高い人に対し、生活習慣改善を目的とした個別保健指導を実施する。 ・「30歳からの国保健診」受診者のうち生活習慣病の発症リスクが高い人に対して、生活習慣改善を目的とした保健指導を実施する。 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●		
(国民健康保険加入者対象) 疾病の重症化予防のための保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診者のうち、血圧・血糖高値者に対し、受診勧奨通知の発送や電話での指導を実施。 ・特定健康診査受診者のうち、糖尿病性腎症の重症化リスクがある人に対し保健指導を実施。 ・糖尿病治療中断が疑われる人へ訪問等により、医療機関受診や特定健診受診勧奨を実施 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●		

主な取組名	内容	基本方向1 個人の行動と健康状態の改善 (ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり)						基本方向2 生活習慣病の発症および重症化予防					基本方向3 健康づくりを支える環境の整備					
		栄養・食生活	身体活動・運動	歯と口	喫煙	飲酒	休養・こころ	生活習慣病	がん	循環器病	糖尿病	COPD	食を取り巻く	からだを動かす	受動喫煙	デジタル	職場	地域
訪問指導	保健師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士等が訪問し、相談に応じ必要な指導・援助を行う。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
健康手帳配布	健診（検診）結果や健康づくりの取組の記載ができ、循環器病などの病態や、運動、栄養、歯と口、社会参加などによる健康づくりについて記載している健康手帳を配布。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
健康相談・栄養相談	生活習慣病予防のための個別の相談・指導を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
健康講座・健康教育	食や運動、歯の健康づくり、介護予防、がん等に関する知識の普及啓発するための講座・教室を実施。（健康サポート講演会、血糖コントロールセミナー等）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
地区組織活動	【健康ボランティア講座】 地区組織活動を実践する人材の育成として、枚方市健康づくり食生活改善協議会（ヘルスメイト）や健康リーダーなどの健康ボランティアを養成。 【地区組織活動】 健康づくりボランティアを中心に、生涯学習市民センター等を活動場所とし、栄養や運動などの健康づくりの講座や普及啓発を実施。 【元気はつらつ ひらかたcity】 市民自身が多彩な運動・体操を学習し啓発活動を行うことを目的として、誰もが取り組めるウォーキングイベントを実施。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
健康フェア	関係団体と連携し、市内大学や各種イベントなどにおいて、身体活動・運動、栄養・食生活、歯と口、飲酒、喫煙、こころの6つの分野を中心に健康づくりに関する啓発を実施。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
健康のつどい	健康増進計画の推進を目的として、各種健康づくりに関する講演会や1年間の健康づくりの取組の展示会を実施。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
地域・職域連携推進事業	【ひらかた健康優良企業】 従業員の健康づくりに取り組む企業に「ひらかた健康優良企業」として登録してもらうことで、様々な健康情報の提供や健康教育の実施など直接的な支援を行い、企業が従業員の健康づくりに取り組めるよう支援する。 【健康経営に関する啓発】 市内企業が従業員の健康づくりに取り組めるよう、取り組み方法や健康経営優良法人について健康経営セミナーや健康経営普及セミナー、企業交流会を実施。また、チラシやリーフレットにて健康経営の普及啓発を実施。 【関係機関・団体との連携】 職域保健を担う産業保健関係者、企業、医療保険者等の関係団体と連携し、地域と職域の健康課題を共有し、共通認識を持つことで地域・職域連携の推進を図る。 ※「健康宣言を行った事業場数」「ひらかた健康優良企業登録社数」も把握 ※評価時のアンケートにて「労働者における1日の座位時間の割合」も把握	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ホームページやSNS等を用いた啓発、各種アンケートなど	健康寿命や各種健康づくりに関する啓発をホームページやSNS、アンケートを活用して実施する。 ※評価時のアンケートにて「日常生活影響がある市民の割合、市民の非健康日、市民の生活満足度など」「1日の座位時間」も把握	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

第2次枚方市歯科口腔保健計画 主な事業一覧

主な取組名	内容	基本方向1 個人の歯・口腔の健康維持および 生涯を通じた歯科口腔保健の達成			基本方向2 歯科疾患の発症および重症化予防 (ライフコースアプローチを踏まえた疾患予防)				基本方向3 配慮を要する人の歯科保健				基本方向4 健康づくりを 支える環境の 整備
		歯科口腔保健 の認知	かかりつけ歯 科医への受診	定期的な 歯科健康診査 の受診	う蝕 (むし歯)	歯周病	歯の喪失防止	口腔機能の 獲得・維持 ・向上	妊産婦	障害者(児)	要介護者	有病者	
妊産婦歯科健康診査	妊娠に伴う歯周病・口腔疾患の予防および早期発見・早期対応を目的に実施する。(妊娠中から産後1年まで受診可能。)	●	●	●	●	●	●	●	●				●
マタニティスクール	妊娠・出産・育児に関する正しい知識を普及し、母性および父性が確立できるように支援する。 また栄養指導を行うとともに、災害時の備えについての知識を普及することを目的としている。 参加しやすいオンデマンド形式で開催。	●		●	●	●			●				●
1歳6か月児健康診査	母子保健法に基づき幼児の疾病予防や健康増進を図るため、健康診査及び口腔衛生指導、う蝕活動性試験(CAT21テスト)、フッ化物塗布を実施する。	●	●	●	●			●					●
2歳6か月児歯科健康診査	乳歯列が完成し、う蝕が増加しやすい時期に歯科健康診査及び口腔衛生指導、フッ化物塗布を実施する。	●	●	●	●			●					●
3歳6か月児健康診査	母子保健法に基づき幼児の疾病予防や健康増進を図るため、健康診査及び口腔衛生指導、フッ化物塗布を実施する。	●	●	●	●			●					●
かむかむ歯っぴー教室	1歳6か月児健康診査受診児を対象に、歯科と栄養の集団指導と、う蝕活動性試験(CAT21テスト)の結果説明やブラッシング指導を実施する。保護者がむし歯予防の知識等を得て口腔衛生に関する意識を向上させるとともに、食事の悩みに応じた対応方法や口腔発達に合った食事の進め方についての知識を普及啓発することで育児の負担感の軽減につなげる。	●	●	●	●			●					●
子どものおくちと食事の相談会	未就学児を対象とした、歯科と栄養の個別相談。歯科衛生士によるむし歯予防のポイントや、管理栄養士からの食事やおやつとり方・工夫について助言・指導し、育児の負担感の軽減につなげる。	●	●	●	●			●	●				●
よい歯のコンクール	3歳6か月健康診査を受診した健康な歯を持つ親子を表彰する。	●	●	●	●			●					●
障害児訪問歯科健康診査	重症心身障害、肢体不自由、医療的ケアに該当して、乳幼児健康診査に来所が出来ない児に対して、1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月の時期に訪問にて、歯科健康診査、口腔衛生指導、RDテスト、フッ化物塗布を実施する。	●	●	●	●			●		●		●	●
ブラッシング指導	歯の健康管理面から、むし歯予防対策として、園児に正しい歯の磨き方を習得させるため、歯科衛生士による枚方市立幼稚園へのブラッシングの巡回指導並びに歯に対する指導を行っている。	●			●								●
ブラッシング指導	歯の健康管理面から、むし歯予防対策として、児童に正しい歯の磨き方を習得させるため、歯科衛生士による枚方市立小学校へのブラッシングの巡回指導並びに歯に対する指導を行っている。	●			●								●
成人歯科健康診査	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査の際、その保護者を対象に歯科保健の重要性を認識してもらうとともに、歯科健康診査及び歯科保健指導を実施する。	●	●	●	●	●	●	●					●
枚方市歯周病検診	満35・40・45・50・55・60・65・70歳を対象に歯周病検診を実施する。	●	●	●	●	●	●	●					●
枚方市休日歯科急病診療所	本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、休日に枚方市休日歯科急病診療所として診療を実施する。				●	●	●	●					●
枚方市障害者歯科診療所	毎週木曜日及び土曜日に枚方市休日歯科急病診療所にて、地域の一般歯科で受診及び治療が困難な障害者(児)に対する歯科診療事業を実施する。		●	●	●	●	●	●		●			●
枚方市障害者(児)施設歯科健康診査	歯科保健医療サービスを受ける事が困難な者(障害者(児)施設等に入所、通所している者)に対して、施設において歯科健康診査、口腔清掃指導、希望者にはフッ化物塗布を実施する。 また、希望施設には施設で口腔衛生の重要性やブラッシング方法について健康教育を実施する。	●	●	●	●	●	●	●		●			●
枚方市障害者(児)等歯科医療技術者養成事業	障害者(児)の特性を理解した歯科医療従事者の育成を図り、障害者(児)が地域での歯科医療サービスを受けやすい体制づくりを図る。				●	●	●	●		●			●
在宅訪問歯科健康診査	歯科医院受診が難しい市民に対して、概ね年1回の歯科健康診査(口腔内診査、口腔ケア、歯科治療の必要性の有無等)を実施する。	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
枚方市後期高齢者歯科健康診査	75歳以上の生活保護を受給している市民を対象に口腔機能の低下や誤嚥性肺炎の予防につなげ、健康寿命の延伸をめざすため、歯科健康診査を実施する。	●	●	●	●	●	●	●					●

主な取組名	内容	基本方向1 個人の歯・口腔の健康維持および 生涯を通じた歯科口腔保健の達成			基本方向2 歯科疾患の発症および重症化予防 (ライフコースアプローチを踏まえた疾患予防)				基本方向3 配慮を要する人の歯科保健				基本方向4 健康づくりを 支える環境の 整備
		歯科口腔保健 の認知	かかりつけ歯 科医への受診	定期的な 歯科健康診査 の受診	う蝕 (むし歯)	歯周病	歯の喪失防止	口腔機能の 獲得・維持 ・向上	妊産婦	障害者(児)	要介護者	有病者	
健康医療キャラバン	大学や基幹病院等の健康医療都市ひらかたコンソーシアム構成団体の専門的な知識やノウハウを活用し、市内の小中学生等に対して、健康・医療に係る学習機会を提供することを目的に実施している健康医療キャラバン事業の一環として、枚方市歯科医師会・大阪歯科大学附属病院の研修医等が市内の小中学校等を訪問して、児童・生徒を対象に、歯磨き・口腔ケアに関する講座を実施している。	●			●	●							●
健康・医療・福祉フェスティバル	市民の健康・医療と福祉に対する意識の高揚を図ることを目的に、枚方市医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市で構成する実行委員会が主催して開催している。	●			●	●	●						●
高齢者元気はつらつ健康づくり	身近な地域での介護予防講座の実施により、地域の特徴に応じた介護予防の普及啓発を図る。	●			●	●	●						●
ひらかた口腔オンライン講座	地域の高齢者が、オーラルフレイルの予防に必要な知識・技術を身につけ、介護予防の認識を高めることを目的とし、一般介護予防事業として、ひらかた口腔講座をオンラインで実施する。	●					●						●
高齢者健康づくりプロジェクト	介護予防に関する知識の普及、啓発を目的に年に数回、様々なテーマの専門職による介護予防講座を開催する。	●			●	●	●						●
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	【ポピュレーションアプローチ】 フレイル・オーラルフレイルの啓発のために、地域で体力測定会と栄養・口腔・運動の講座を全圏域で実施する。 【ハイリスクアプローチ】 要介護認定者で歯科レセプトのない者の口腔機能の状態把握と支援を実施する。	●	●		●	●	●			●		●	●
8020表彰式	80歳以上で20本以上自分の歯のある市民を表彰する。	●	●	●			●						●
血糖コントロールセミナー	歯科医師による「糖尿病の合併症である歯周病」の講座や歯科衛生士による個別相談を実施し、歯周病と全身疾患との関連性や歯間部清掃用具の使用、8020・噛ミン30の啓発を行う。	●	●	●	●	●						●	●
サポート講演会	歯と口の健康について正しい知識の普及を図ることを目的に、枚方市歯科医師会会員が講座を実施する。	●	●	●	●	●	●						●
大学健康フェア	市内大学において、健康（運動・食生活・歯科口腔保健・たばこ・薬物乱用防止・性感染症等）に関するクイズ・アンケート、パネルやポスター展示、パンフレットの配布などによる普及啓発イベントを実施する。	●	●	●	●	●							●
健康手帳	健康手帳にて、8020達成に向けて、歯周病検診の受診勧奨や歯間部清掃用具の使用等の歯周病予防のポイントを掲載する。	●		●	●	●	●						●
健康ウォーキングイベント	大阪歯科大学医療保健学部の教員・学生とともに、幅広い年齢層の市民に歯・口腔に関する啓発を実施する。	●			●	●							●
ひらかた健康優良企業	従業員の健康づくりに取り組む企業に「ひらかた健康優良企業」として登録してもらうことで、様々な健康情報の提供や健康教育の実施など直接的な支援を行い、企業が従業員の健康づくりに取り組めるよう支援する。	●	●	●	●	●							●
健康のつどい	市民及び企業へ健康づくりに関する講演会や市民、企業、行政の取り組みを掲示する展示会を開催する。	●	●	●	●	●	●						●
ホームページやSNS等を用いた啓発	健康寿命や各種健康づくりに関する啓発をホームページやSNS、アンケートを活用して実施する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

第4次枚方市食育推進計画 主な事業一覧

※モニタリングとして管理する内容

主な取組名	取組内容	基本方針1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 (ライフコースアプローチを含む)				基本方針2 持続可能な食を支える食育の推進		基本方針3 食育に関する環境の整備		
		生活習慣病 予防のための 食育の推進	歯と口腔に おける 食育の推進	食の安全・安 心の確保に 向けた 食育の推進	災害時に 備えた 食育の推進	日本の 伝統的な 和食文化の 保護・継承	地産地消の 促進と環境に 配慮した食 育の推進	多様な暮らし に対応した 共食の環境 づくりの推進	地域や職場・ 関係機関に おける 食環境づくり (ネットワークによる食育の推進)	デジタルを 活用した 情報提供の 充実
母子健康手帳副読本等の配付	妊娠期及び就学前の家庭における乳幼児の望ましい生活習慣や食事内容について啓発することを目的として、妊娠届出時に、『母子健康手帳副読本』や『マタニティ食事レッスン』を配付します。	●								
マタニティスクール	妊娠期及び産後に向けての望ましい家庭での生活習慣や栄養、食生活に関する講座をオンデマンド配信にて開催します。	●								●
妊産婦・新生児・乳児指導訪問	助産師会と連携し、助産師や保健師が、妊産婦および新生児を対象に家庭訪問を行い、必要に応じて育児や授乳、栄養に関する助言等を実施します。	●								
乳幼児健康相談	身近な会場（保健センター及び生涯学習市民センターなど市内6ヶ所）へ出向き、身体計測や保健相談、栄養相談を実施します。	●								
乳幼児健康診査	乳幼児健康診査の場で、子どもの生活習慣や食事に関する相談に対する助言や啓発を行います。※3歳6か月健診等にて欠食のある幼児数も把握	●	●							
離乳食講習会・幼児食講習会	離乳食や幼児食に関する講座や調理実習を開催し、望ましい生活リズムや食事に関する啓発を行います。	●	●							
健康教育（母子）	地域で催される子育てサロン等からの依頼により、職員が地域へ出向き、食に関する正しい知識の普及・啓発を目的に健康教育を行います。	●	●					●		
栄養相談（母子）	子どもの食事に関する悩みや不安の解消および子どもの健やかな発育への支援を目的に個別の栄養相談（食生活指導）を実施します。	●								
子どものおくちと食事の相談会	未就学児を対象とした、歯科と栄養の個別相談。歯科衛生士によるむし歯予防のポイントや、管理栄養士からの食事やおやつとり方・工夫について助言・指導し、育児の負担感の軽減につなげます。		●							
かむかむ歯っぴー教室	1歳6か月児健康診査受診児を対象とし、歯科と栄養の集団指導と、カリオスタット検査の結果説明やブラッシング指導を実施。保護者がむし歯予防の知識を得て口腔衛生に関する意識を向上させるとともに、食事の悩みに応じた対応方法や口腔発達に合った食事の進め方を知る場を提供することで育児の負担感の軽減につなげます。		●							
食生活に関する相談・指導事業	食育便りの発行、食育講演会、栄養相談を実施します。	●								
育児教室	在宅の親子を対象としたふれあい体験事業や育児教室を通じて、生活リズムや食生活についてのアドバイスをを行います。	●								
栄養教諭・学校栄養職員による食育の推進	「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行い、学校給食を生きた教材として教育実践に活用するなど、栄養教諭・学校栄養職員による食育推進を図ります。	●								
小中学校における給食試食会	小学6年生を対象に、中学校給食の試食会を実施します。また、保護者等を対象に、小学校給食や中学校給食の試食会等を実施される場合にも、給食を提供し、規則正しい食習慣や栄養バランス等、食と身体の関係について理解と関心が深まるよう、給食や資料の提供を行う等、給食を通じた啓発を行います。	●								
健康づくりボランティア講座	地区組織活動を実践する人材の育成として、枚方市健康づくり食生活改善協議会（通称ヘルスマイト）や健康リーダーなどの健康づくりボランティアを養成します。	●	●						●	

主な取組名	取組内容	基本方針1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 (ライフコースアプローチを含む)				基本方針2 持続可能な食を支える食育の推進		基本方針3 食育に関する環境の整備		
		生活習慣病 予防のための 食育の推進	歯と口腔に おける 食育の推進	食の安全・安 心の確保に 向けた 食育の推進	災害時に 備えた 食育の推進	日本の 伝統的な 和食文化の 保護・継承	地産地消の 促進と環境 に配慮した食 育の推進	多様な暮らし に対応した 共食の環境 づくりの推進	地域や職場・ 関係機関に おける 食環境づくり (ネットワークによる 食育の推進)	デジタルを 活用した 情報提供の 充実
地区組織活動	健康づくりボランティアを中心に、生涯学習市民センター等を活動場所とし、食に関わる講座等を実施します。	●							●	
特定保健指導	メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための保健指導を実施します。また、ハイリスク者を対象とした生活習慣や食生活改善の個別指導を実施します。	●								
血糖コントロールセミナー	血糖値またはHbA1Cが要注意・要治療（治療中も含む）に該当する市民、およびその家族に糖尿病に関する医学的知識や食事・運動療法についての知識を普及し、参加者が自己管理や治療の継続、合併症の予防等の講義・個別相談を実施します。	●	●							
ひらかたカラダづくりトライアル（120日チャレンジ）	健康づくりの継続を促すツールとして、アクティブトライ（運動）、バランストライ（栄養）、オーラルトライ（歯科）の3つのトライを設定し、生活習慣病の発症や重症化予防を図ります。	●	●							●
まんてん栄養講座	高齢者の低栄養の予防・改善に必要な知識・技術を身につけ、介護予防の認識を高めることを目的に、必要な知識を身につけて栄養バランスを保ちながら食べやすくなるための調理の工夫等の講座を実施します。講座の中で実施するスクリーニングの結果から、低栄養状態にある高齢者に対しては、個別にフォローアップ栄養指導を行います。	●								
ひらかた口腔講座	オーラルフレイルの予防に必要な知識・技術を身につけ、介護予防の認識を高めることを目的に、必要な知識・技術を身につけるための講義と、口腔体操や発声を通じた口腔機能の向上に資する実技を用いた講座を行います。		●							
栄養士派遣指導事業	介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援サービスで、要支援認定者等を対象に栄養士が自宅を訪問し、規則正しくバランスの良い食事の摂取等、食に関する助言や指導を行います。	●								
身体障害者配食サービス	65歳未満の重度の身体障害者で一人暮らしの方、またはこれに準ずると認められる場合で、身体の障害等により買物及び調理が出来ないため食事の確保が困難な方に一日2食を限度として、食事を配達し、安否確認を行います。	●								
ひらかた健康ほっとライン24	看護師や医師らによるフリーダイヤル健康相談において、授乳や離乳食に関する相談を実施します。	●								
特定給食施設等を通じた食育の推進	特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設に対して、施設管理者及び給食関係者等に栄養改善の見地から必要な指導を行い、給食内容の向上を図ることにより、利用者に対する健康づくりを推進します。	●								
健康教育（成人）	健康や食に関する正しい知識の普及を図ることを目的とし、集団で実施します。	●	●					●		
健康相談（成人）	生活習慣病予防のための個別の相談・指導を実施します。	●								
栄養相談（成人）	生活習慣病予防のための個別の栄養相談（食生活指導）を実施します。	●								
健康フェア	関係団体と連携し、市内大学や各種イベントなどにおいて、身体活動・運動、栄養・食生活、歯と口、飲酒、喫煙、こころの6つの分野を中心に健康づくりに関する啓発を行います。	●	●	●						
枚方キッチン配布	食に対して無関心な層への啓発を図ることを目的に、広報ひらかた（裏表紙）において、おすすめレシピとテーマに沿った食や栄養に関するポイントを掲載します。	●				●	●			●
食育推進事業	食についての基礎的な知識に関する啓発媒体を作成・配布し、幅広い世代に啓発を行います。	●	●	●		●	●	●	●	●
保育所（園）による歯科健康診断	各公立保育所において、歯科検診を実施します。		●							
ブラッシング指導	歯と口の健康づくりのため、歯科衛生士がブラッシング指導を行います。		●							

主な取組名	取組内容	基本方針1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 (ライフコースアプローチを含む)				基本方針2 持続可能な食を支える 食育の推進		基本方針3 食育に関する環境の整備		
		生活習慣病 予防のための 食育の推進	歯と口腔に おける 食育の推進	食の安全・安 心の確保に 向けた 食育の推進	災害時に 備えた 食育の推進	日本の 伝統的な 和食文化の 保護・継承	地産地消の 促進と環境 に配慮した食 育の推進	多様な暮らし に対応した 共食の環境 づくりの推進	地域や職場・ 関係機関に おける 食環境づくり (ネットワークによる 食育の推進)	デジタルを 活用した 情報提供の 充実
学校園歯科健康診断	学校保健安全法第13条第1項に基づき実施している定期健康診断を行います。		●							
よい歯のコンクール	3歳6か月健康診査を受診した幼児と保護者に対し、そろってよい歯を保っている方を表彰します。		●							
歯周病検診	満35・40・45・50・55・60・65・70歳の市民に対し歯周疾患検査を実施します。		●							
妊産婦歯科健康診査	妊産婦のう蝕、歯周疾患を早期発見・早期予防し、妊婦および胎児の健全な発育に資することを目的に妊産婦歯科健康診査を実施します。		●							
成人歯科健康診査	1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査に来所した保護者を対象に歯科健診を実施し、意識向上及び乳幼児のう蝕予防、歯と口の健康づくりの普及啓発を図ります。		●							
障害者（児）施設歯科健康診査	障害者（児）施設等に入所、通所され、歯科保健医療サービスを受ける事が困難な方に対し、施設において歯科健康診査を実施します。		●							
在宅訪問歯科健康診査	在宅寝たきり老人等の口腔内のう蝕、歯周疾患、義歯の不適合、口腔清掃状態等の状況を改善し、口腔機能の回復を図ることを目的とし、訪問による歯科検診を実施します。		●							
8020達成者表彰	枚方市歯科医師会と連携し、20歯以上の健全な歯を持つ80歳以上の方を表彰することで、市民に対する歯育推進の啓発を行います。		●							
枚方市後期高齢者歯科健康診査	満75歳以上の生活保護受給者、中国残留邦人等の方に、誤嚥性肺炎や口腔機能の低下を予防するために歯科健康診査を実施します。		●							
消費者啓発教育事業	食品に関連する消費生活相談に応じるほか、食品表示等の知識の習得を目的とした市民講座を要望に応じて開催します。			●						
食中毒予防三原則の周知	食中毒予防の三原則を理解するなど、食の安全性に関する正しい知識をもち実践するために、講習会開催時に、食中毒予防の呼びかけをする等、食中毒予防対策の普及・啓発を行います。			●						●
給食の衛生管理指導・研修	保育所（園）や幼稚園、学校等の給食調理場の衛生指導を実施するほか、栄養職員を中心に食中毒予防対策の研修を行い、給食の衛生管理の徹底を図ります。			●						
備蓄やローリングストック等に関する啓発	出前講座などを通じて、備蓄やローリングストックの必要性を発信します。				●					●
給食における行事食・郷土料理の提供	子どもたちに地域の味や食材に慣れ親しむことができる機会をつくるため、郷土料理や行事食を取り入れます。					●				
学校給食における行事食・郷土料理の提供	子どもたちに地域の味や食材に慣れ親しむことができる機会をつくるため、学校給食に郷土料理や行事食を取り入れる取組を推進します。					●				●
給食だより・ホームページ等による行事食等の情報発信	保護者が子どもと行事食や郷土料理、地産地消（地元産食材の使用）について理解や関心を共有できるよう、給食だよりやホームページなどを通じて、情報を発信します。					●	●			●
小学校給食における地元農産物の使用	給食の献立に取り入れるために学校給食会と生産農家とで食材使用の時期や生産量の調整を行います。						●			
学校給食ごみの分別化	給食の残菜の減量、給食ゴミの分別を推進します。						●			

主な取組名	取組内容	基本方針1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 (ライフコースアプローチを含む)				基本方針2 持続可能な食を支える食育の推進		基本方針3 食育に関する環境の整備		
		生活習慣病 予防のための 食育の推進	歯と口腔に おける 食育の推進	食の安全・安 心の確保に 向けた 食育の推進	災害時に 備えた 食育の推進	日本の 伝統的な 和食文化の 保護・継承	地産地消の 促進と環境 に配慮した食 育の推進	多様な暮らし に対応した 共食の環境 づくりの推進	地域や職場・ 関係機関に おける 食環境づくり (ネットワークによる 食育の推進)	デジタルを 活用した 情報提供の 充実
食農体験学習支援事業	学校での栽培活動体験や農地を活用しての農業体験等を実施します。						●		●	
農業振興補助事業	安全で新鮮な地元産の野菜を消費者に提供するため、農業者への指導や情報提供を実施します。						●			
農業ふれあいツアー	市内農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫する等の体験事業を実施します。						●			
農業まつり	農業まつりを開催し、農業者と都市住民の交流を図ります。						●			
食農体験学習支援事業	学校での栽培活動体験や農地を借りての農業体験等を実施します。						●			
4 R 啓発事業	市民・事業者・行政との連携により、4 R (リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル) を普及・啓発し、焼却ごみ削減の取組を進めます。						●			
フードドライブに関する取組	事業者と連携し、ご家庭から提供いただける食品を回収し、必要としているところへ届けるフードドライブを実施します。						●			
子どもの居場所づくり推進事業	子どもたちに食事や学習支援や団らんの場の提供を行い、子どもたちを見守る活動に取り組む団体を支援します。							●		
保育所(園)・幼稚園・認定こども園におけるクッキング保育	乳幼児期からの適切な食事のとり方や望ましい食習慣の定着、豊かな人間性の育成等を図るため、菜園活動や調理体験等を実施します。								●	
保護者に食育に関する情報提供	各施設で献立カレンダー等の掲示、ホームページや保護者アプリを通じて、情報を発信します。								●	●
P T Aにおける給食試食会・食育講座	P T Aや学校、市が連携し、給食試食会等の開催時に資料提供を行う等、食育推進の啓発に取り組めます。								●	
中学校の全員給食	成長期の子どもたちの心身の育成、栄養面の確保、食育の観点から中学校での全員給食の実施に向けて取り組みを進めます。								●	
子ども料理教室	生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、子ども料理教室や親子料理教室等を実施します。								●	
親子料理教室	生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、子ども料理教室や親子料理教室等を実施します。								●	
男の料理教室	生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、男性の自立と健全な食生活の推進を目的に、料理経験のない男性を対象とした料理教室を実施します。								●	
料理教室(一般向け)	生涯学習市民センターにおいて市民と連携して、料理教室を開催します。								●	
友好・交流都市物産展	国内友好都市や市民交流都市の野菜や海産物、乳製品等その都市の特産物を販売します。								●	
食環境づくり推進事業	食を取り巻く環境づくりを整備するため、外食産業や職域、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等を介し、受動喫煙対策等も含めた多様な健康づくりの推進を図ります。								●	
ひらかた食育カーニバルの開催	市民の食育への関心を高めることを目的に、関係機関・団体と連携し、「ひらかた食育カーニバル」を開催することで、食育推進の啓発に取り組めます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
食育の日(毎月19日)を主としたSNS発信等の実施	市民の食育への関心を高めることを目的に、食育の日(毎月19日)に市公式SNS(LINE、X、Facebook)にて毎月テーマを変えて発信します。※食育に関することやヘルスリテラシー等の情報提供数等も把握	●	●	●	●	●	●	●	●	●

